

2017 年度

接触場面における日本語学習者の終助詞「ね」

「よ」「よね」の使用に関する研究

—発話連鎖効力と日本語母語話者との相互行為の分析を中心に—

千葉大学
人文社会科学研究科
博士後期課程
崔 英才

目 次

第1章	はじめに	6
第2章	先行研究	8
2.1	終助詞全般の定義と範囲	8
2.2	終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能研究	9
2.2.1	文レベルからの研究	9
(1)	意味用法	10
(2)	発話機能	14
2.2.2	談話レベルからの研究	16
(1)	コミュニケーション機能	17
(2)	発話連鎖効力	18
2.2.3	先行研究の問題点	20
2.3	第二言語としての学習者の終助詞ネ、ヨ、ヨネの研究	20
2.3.1	誤用分析	21
2.3.2	習得メカニズム分析	24
2.3.3	中間言語分析	27
2.3.4	その他のNNSの使用の研究	28
2.3.5	先行研究の問題点	30
2.4	本研究の目的と課題	31
第3章	研究方法	33
3.1	終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類のアプローチ	33
3.1.1	命題内容の事柄の領域	33
3.1.2	発話機能	34
3.1.3	発話連鎖効力	34
3.2	学習者の中間言語分析のアプローチ	35
3.2.1	接触場面研究のアプローチ	36
3.2.2	学習者の終助詞ネ、ヨ、ヨネの中間言語の分類	37
3.3	分析データの概要	39
3.3.1	母語場面のデータ—BTSJコーパス	40
3.3.2	接触場面の調査	41
(1)	調査の目的	41
(2)	調査の協力者	42

(3) 調査方法	44
(4) 文字化方法と分析対象の抽出.....	45
第4章 理論的枠組みの考案—終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能	51
4.1 機能分類の手順.....	51
4.2 命題内容の事柄が聞き手領域の場合	51
4.2.1 要求系の機能.....	52
(1) (その場における)確認要求のネ①.....	52
(2) コメントの受入要求のネ②	53
(3) 行動要求のヨ①.....	56
4.2.2 表明系の機能.....	57
(4) 一致を表明するヨネ①	57
4.3 命題内容の事柄が話し手領域の場合	59
4.3.1 要求系の機能.....	59
(5) 情報・意思受入要求のネ③.....	60
(6) 一致の受入要求のヨネ②.....	63
4.3.2 提示系の機能.....	65
(7) 新情報提示のヨ②.....	65
4.3.3 表明系の機能.....	67
(8) 結論表明のヨ③.....	67
4.4 命題内容の事柄が中立領域の場合	68
4.4.1 要求系の機能.....	69
(9) 同意・共感要求のネ④.....	69
4.4.2 提示系の機能.....	70
(10) 一致を提示するヨネ③	70
4.4.3 表明系の機能.....	72
(11) 同意・共感表明のネ⑤.....	72
4.5 本研究の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能のまとめ	73
4.6 本章のまとめ.....	75
第5章 母語場面と接触場面の使用実態の分析	76
5.1 母語場面の分析結果.....	76
5.1.1 母語場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用頻度	76
5.1.2 母語場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の使用実態	78

5.2	接触場面の分析結果	81
5.2.1	接触場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用頻度	82
5.2.2	接触場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の使用実態	88
5.3	接触場面の母語話者の使用分析	91
5.3.1	母語場面の母語話者と比較	91
5.3.2	接触場面の母語話者に調整が見られた機能	92
	(1) (その場における)確認要求のネ①	93
	(2) NS のコメントの受入要求のネ②	94
	(3) NS の一致を表明するヨネ①	95
	(4) NS の行動要求のヨ①	96
	(5) NS の情報・意思受入要求のネ③	97
	(6) NS の新情報提示のヨ②	98
5.3.3	接触場面の母語話者の使用特徴のまとめ	99
5.4	接触場面の学習者の使用分析	101
5.4.1	学習者のグループ別に母語場面の母語話者と比較	101
5.4.2	学習者の使用頻度が高い機能	103
	(1) NNS の情報・意思受入要求のネ③	103
	(2) NNS の新情報提示のヨ②	106
	(3) NNS の結論表明のヨ③	107
	(4) NNS の同意・共感表明のネ⑤	108
	(5) NNS のコメントの受入要求のネ②	109
	(6) NNS の行動要求のヨ①	110
5.4.3	学習者の使用頻度が低い機能	111
	(1) NNS の一致を表明するヨネ①	112
	(2) NNS の一致の受入要求のヨネ②	112
	(3) NNS の一致を提示するヨネ③	115
	(4) (その場における)確認要求のネ①	116
	(5) 同意・共感要求のネ④	117
5.4.4	使用頻度からみる学習者の使用特徴と習得問題	119
5.5	本章のまとめ	120
6章	学習者の中間言語の考察	121
6.1	言語問題の結果	121

6.2 過剰使用	124
6.2.1 文レベルの過剰使用	125
(1) スーパー文末詞としてネ	125
(2) 強調の文末詞としてのヨ	128
6.2.2 談話レベルの過剰使用	131
(1) NSの働きかけを誘発する談話標識としてのネ	131
(2) 談話展開の談話標識としてのヨ	134
(3) 前置きの談話標識としてのヨ	137
6.2.3 過剰使用のまとめ	139
6.3 不自然な使用	140
6.3.1 ネを提示系のヨネの使用まで機能拡張	141
6.3.2 ヨネの提示系の発話連鎖効力を過剰一般化	142
6.3.3 不自然な使用のまとめ	143
6.4 誤用	143
6.4.1 脱落	144
6.4.2 周辺要素による誤用	145
6.4.3 定型表現の濫用	147
6.4.4 誤用のまとめ	148
6.5 不使用	149
6.5.1 要求系の発話連鎖効力を補うストラテジー	150
6.5.2 提示系の発話連鎖効力を補うストラテジー	152
6.5.3 不使用のまとめ	156
6.6 本章のまとめ	156
7. おわりに	157
7.1 各章のまとめと、本研究の結論	157
7.2 本研究の意義と、日本語教育への示唆	161
7.3 本研究の問題点と、今後の課題	162
参考文献	164
謝辞	170

第1章 はじめに

日本語教育における文法教育が、文型積み上げ式教育ではなく、実際のコミュニケーションを重視する必要性が提唱されて久しい(野田 2005)。学習者言語も従来の誤用分析の枠を超えて、実際の接触場面を対象とした、コミュニケーション上に起きる問題の追及や、接触場面のその場面性から成り立つコミュニケーションのあり方を記述していくことが求められている。こういった背景を基に、筆者は従来の終助詞の機能の研究、及び日本語教育における終助詞の機能の提示のあり方をそのまま踏襲することではなく、学習者(以下 NNS)の終助詞の使用を的確に説明できる終助詞の機能とはどんなものかを考えてきた。そして、NNS の終助詞の使用の問題においても、母語話者(以下 NS)や研究者の視点から捉える誤用分析や習得研究ではなく、NNS の立場からも終助詞の使用の意図や目的、さらに実際の接触場面の相互行為における NS と NNS の終助詞の使用とその働きの実態を明らかにしていく必要があると考えた。そこで、日本語の文末において最も使用頻度が高い終助詞ネ、ヨ、ヨネに焦点を当て、接触場面における NNS の終助詞の使用を追及したいと思い、本研究に踏み込んだ。

終助詞は日本語の大きな特徴の一つで、その役割は非常に大きい。その中でもネ、ヨ、ヨネは最も使用頻度が高く、聞き手に対して話し手が発話の状況をどのように認識し、聞き手にどのように伝えようとしているのかを表す伝達態度のモダリティ(益岡 1991)として、コミュニケーションにおいて重要とされる。そのため、日本語教育においても、初級の早い段階から教科書の会話文を中心に指導が行われている。しかし、終助詞ネ、ヨ、ヨネは相互類似しながらまた区別されており、それぞれ多様な機能を持つことから、NNS にとっては上級レベルになっても適切に使い分けることは難しいとされ、習得が遅れる学習項目の一つとして挙げられている(ナズキアン 2005)。

NNS が終助詞の習得に困難を感じる原因としては終助詞が難しい項目であるところにもあるが、その一方で日本語教育の終助詞教育に問題がるとも指摘されている。現在の日本語教育においては、これまでの研究の蓄積のうち、文法的次元からの内面的意味機能が主に応用され、多様な機能を持つ終助詞であることからすると、終助詞教育は遅れているのが現状である。日本語教育における終助詞教育は、これまでの文法的側面を超えた、終助詞の多様な機能を、NNS の習得と使用から出発して提示する必要がある。

また、日本語教育の分野ではNNSの終助詞の研究もまだまだ十分ではなく、ネ、ヨ、ヨネの使用実態も明らかになっていない部分が多い。これまでのNNSの終助詞の習得と使用問題に関する研究は、文法的側面の誤用に注目したものが多く、文レベルにおける分析がほ

とんどである。とくに実際の接触場面の自然会話をデータにした研究は数が少なく、NNS の実際の使用を体系的に捉えようとした研究は見られない。コミュニケーション教育が重んじられる日本語教育において、会話の中で重要な役割をする終助詞は、研究者・教育者といった第3者の視点ではなく、実際に接触場面に参加する参加者の視点から出発する必要がある。

以上のような日本語教育における終助詞の扱い方と、NNS の終助詞使用の研究背景を基に、本研究ではこれまでの終助詞ネ、ヨ、ヨネに関する研究を整理し、まず母語場面の自然会話データを用い、日本語教育の視点から機能分類を行う。その後、その機能分類を分析の枠組みとして、母語場面と接触場面の自然会話データの分析を行う。母語場面の NS との比較を行いながら、接触場面の NS と NNS それぞれの使用特徴を明らかにし、接触場面におけるネ、ヨ、ヨネの使用実態と働きを解明する。さらに、従来の日本語教育の立場から主に行われてきた誤用分析の限界を指摘し、接触場面・相互行為・NNS の立場を考慮したネ、ヨ、ヨネの中間言語の分類を行う。

本研究の構成は次ようになっている。次章の第 2 章では、先行研究を概観する。第 3 章では、分析のアプローチを説明した後、本研究で分析する母語場面のコーパス・データと実際に調査して集めた接触場面のデータを説明する。第 4 章では、母語場面の自然会話のネ、ヨ、ヨネの用例を分析し、本研究の理論的枠組みとなる終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能をまとめる。第 5 章では、第 4 章で考案した終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能を援用し、母語場面と接触場面の使用実態を分析し、母語場面の母語話者(以下接触場面の NS と区別するために NS' と表記する)、接触場面の NS と NNS の使用特徴を指摘する。第 6 章では NNS の使用実態を基に、終助詞ネ、ヨ、ヨネの言語問題を取り上げ、従来の誤用分析の枠を超えた中間言語としての実態を明らかにする。第 7 章では本研究の結論と意義、及び今後の課題を述べる。

第2章 先行研究

第2章では終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能に関する先行研究と、第二言語としての日本語学習者の終助詞ネ、ヨ、ヨネの先行研究をそれぞれ整理する。前者においては様々な分野から研究がなされているが、本研究ではとりわけ日本語教育に影響を与えた研究成果を中心に上げる。後者においては、研究の流れに沿って誤用分析、習得のメカニズム分析、中間言語分析を中心に上げ、最後に母語の影響を扱った研究とNSの評価を扱った研究にも少し触れておく。

2.1 終助詞全般の定義と範囲

終助詞の定義に関して、『日本国語大辞典』（松村 1971 編）の終助詞の項（山口 1971）をみると、終助詞は「文の終わりにあって、文を完結させ、同時に感動・禁止・疑問・反語・願望・強意などの意味を表す助詞」と説明されている。また、日本語教育の文法に多大な影響を与えた寺村(1982)によると、助詞の定義のうち、終助詞については「文の最後か文節の切れ目に来て、話し手の気持ちや聞き手に対する働きかけを表わすもの(終助詞、間投助詞)などがある(寺村 1982 : 53)」となっており、終助詞・間投助詞は「文の最後か文節の切れ目に来る」という分布に関する記述と、「話し手の気持ちや聞き手に対する働きかけを表わす」という意味に関わる記述になっている。

どの文末詞を持てば終助詞として認めるのかという終助詞の範囲について、野田(2002)は、文末に用いられる助詞のうち、どこまで終助詞として認められるかについて、共通の認識があるわけではないとし、終助詞として認めることにあまり問題がないものとして、本研究のネ、ヨを含んだ次のものを挙げている。

よ、ぞ、ぜ、わ、さ、ね(え)、な(あ)¹

ネに関し、野田ではヨにネが接続されたものとして見ており、上記の終助詞の範囲の中に入れていないが、本研究ではヨネも2つの種類の終助詞が結合された結合型の終助詞とする。

¹ 野田(2002)では終助詞として認めることに問題がないものと、終助詞として扱うかどうか問題になるものに分けて説明している。そして、前者の中にも「な」のような終助詞として認められない用法もあるとしている(野田 2002 : 262)。

2.2 終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能研究

終助詞ネ、ヨ、ヨネに関しては様々なアプローチから数多くの先行研究がある。80年代後半から90年代前半にかけては日本語学の領域によるネ、ヨの文法的性格の記述が行われた。この時期の研究はそれぞれの研究者の問題関心が多少異なるものの、おおよそ聞き手の知識状態の推測という考え方を基にしたものと捉えることができる。例えば、話し手と聞き手が情報や認識において一致しているか、対立しているかという観点(大曾 1986; 陳 1987; 益岡 1991 等)、該当情報が聞き手と話し手のどちらに帰属するのかという観点(神尾 1990; メイナード 1993 等)等が研究の主流であった。この時期の終助詞の研究の背景には当時盛んだった日本語教育の文法研究がバックグラウンドになった部分が大きく(白岩2011)、同時にそれらの研究成果は、直接日本語教育に多大な影響を与え、現在にまで至るとされている。事実、西郷(2012: 98)は「同時期に出版された総合初級日本語教科書が多いことと、また非常に明快で理解しやすい意味用法であるためか、現在でもこれらの説明は日本語教科書で一般的に採用されている」と述べる。

一方で、90年代半ばに入ってから、これまでの聞き手の知識状態の推測という考えから離れ、話し手が発話内容をどのような認知状態で聞き手に伝達しているかを知らせる談話指標と捉える考え方が見られるようになった。この研究例として、終助詞ネとヨは、記憶領域内での発話内容の処理状況を話し手に伝達する談話管理の機能(金水・田窪 1998)、話し手が発話情報の受容レベルを聞き手に提示することで対話調整を行う機能(片桐 1995)、話し手が発話内容について排他的な知識管理を行う準備があるかないかを聞き手に提示する談話指標の機能(加藤 2001)、などの観点から研究がなされた。これらの研究は従来の研究とは違い、対話の中での話し手の意図と終助詞使用との係わりに焦点が当てられたものと言える。しかし、主に意味用法の解明に焦点を当てたため、日本語教育に応用するには抽象的な側面が強く、そもそも日本語教育への応用を念頭に入れたものではなかったため、日本語教育に影響を与える成果とはならなかった(西郷 2012)。

以上のような研究状況を踏まえ、次節から本研究で参考にした先行研究を取り上げ、それらの研究が持つ意義と本研究との関連性を確認した後、残された問題点を指摘する。

2.2.1 文レベルからの研究

本研究では、文レベルにおける研究を、統語論的視点で捉える「文」と、実際の会話(談

話)における発話としての「発話文」とに区別し、前者はモダリティ論から、後者は発話機能論から、それぞれ先行研究を取り上げる。

(1) 意味用法

近年の終助詞の研究、及び日本語教育に影響を与えた研究として、まず、大曾(1986)を取り上げる必要がある。大曾(1986)では日本語学習者の使用に見られる終助詞ネとヨの誤用の用例をもとに、ネとヨを次のように説明している。

「ね」は原則として話し手と聞き手の情報、判断の一致を前提にするなら、「よ」は逆に話し手と聞き手の情報、判断の食い違いを前提にしているようだ。

大曾(1986 : 93)

大曾(1986)のネとヨに対する認識は、その後の益岡(1991)に引き継がれ、日本語文法のモダリティ研究にも取り入れられた。益岡(1991)のモダリティ論は、文構造の観点から「命題」と「モダリティ」という二つの大きな対象領域を認め、「命題」と「モダリティ」は、文を構成する二大要素であり、それぞれが客観的な事柄を表わす要素、主観的な判断・態度を表わす要素であると規定している(益岡 1991 : 6)。益岡は、日本語とは対人的機能を表現形式に組み込む度合いが高い言語であり、モダリティ論の立場から言えば、対話文における伝達のレベルに関わるモダリティの重要性を示唆するものと指摘する(益岡 1991 : 92)。そして、その代表的な表現形式としてネ²とヨを挙げ、このような対話文を特徴づけるモダリティを「伝達態度のモダリティ」とし、聞き手に対する話し手の文伝達の態度を表わすモダリティだと指摘している。ネとヨは、聞き手に伝えたい事柄の内容には無関係であり、仮に取り除いても伝達内容のレベルはいささかも減じない、要するに、伝達内容から独立しているとして、対話文の全ての表現類型³に現れ得るとする。益岡(1991)は、ネとヨが本質的に有する意味—内在的意味を捉えるためには、ネやヨの表現形式によって生まれる表現効果と内在的意味を区別してみる必要があるという。その際、ネとヨを別々に

²益岡(1991)は終助詞としてのネと、間投用法としてのネを両方取り上げているが、本研究では終助詞としてのネの部分のみを取り上げる。

³益岡(1991)は対話文と非対話文を区別し、前者の対話文は聞き手に対する伝達のあり方に応じて、「演述型」、「情意表出型」、「訴え型」、「疑問型」に分類している(益岡 1991 : 3)。

扱うのではなく、同じカテゴリー内で「相対立する項」として考えるべきだと提案している。そして、益岡(1991)はネとヨの内在的意味を次のように規定している。

「ね」と「よ」という形式が内在的意味として表すのは、自分が有する知識や意向のあり方と一致する方向にあるのか、それとも対立する方向にあるのかという点に関する話し手の判断である。「ね」は、一致する方向にあるとの判断、すなわち、「一致型の判断」とでも言うべきものを、一方「よ」は、対立する方向にあるとの判断、すなわち、「対立型の判断」とでも言うべきものを、それぞれ表現する。

益岡(1991 : 102)

ネとヨの内在的意味が実際の表現類型の対話文に用いられた時、ネとヨの意味用法として現れると益岡はいう。具体的には、次のような用例である。

ネの用例と意味用法

- (1) ハンバーグ定食二つにグラタン一つでございますね。(確認を求める)
- (2) 今日は金曜日ですね。(同意を求める)
- (3) すてきなブラウスですね。(コメント)

ヨの用例と意味用法

- (4) (「アメリカ人はあまり働かない」と言われて)いや、よく働きますよ。(反論)
- (5) もう9時ですよ。(思い出させる)
- (6) 上着に何かついて 있습니다よ。(気づかせる・知らせる)

(益岡 1991 : 95、()の中は筆者)

益岡によるネとヨは、文が「命題」と「モダリティ」で構成されるといった統語論を基にした文法的次元から明快に説明された部分があった。そのため、その後のメイナード(1993)など、多くの終助詞研究の参考にされるなど、ネとヨの認識においては影響力のある一説となった。しかしながら、益岡(1991)はネとヨの内在的意味を同じ枠の中で「一致型の判断」と「対立型の判断」といった対立的な捉え方をしており、それが故に結合型のヨネの説明がつかないという問題もしばしば指摘されてきた(白川 1992、蓮沼 1992)。また、益岡(1991)のネとヨの意味用法の分類は「文」を対象にした考察に留まり、「発話」を対象にはしていない。終助詞が基本的に話し言葉に用いられる点を考慮すると、「発話」ではなく、「文」を対象にした意味用法の抽出には限界があったと言える。

益岡(1991)の問題点を一部補った研究成果として、大曾(2005)がある。大曾(2005)は名大会話コーパス⁴を基に、ネ、ヨ、ヨネの意味用法を論じている。ここではまず、大曾(1986)におけるネとヨの捉え方、即ち「ネは話し手と聞き手の情報の一致を前提」とし、「ヨは話し手と聞き手の間に情報の食い違いがあるときに現れる」規定だとすると、ヨネの説明ができない点を認めた。その上で、ネ、ヨ、ヨネの捉え方を見直し、新たに意味用法を抽出している。

大曾(2005)はネの意味用法として、次の6種類を挙げる。そして、ネの付加が必須か、任意かの面から考察を行っている。

- ① (話し手と聞き手が情報・判断等を共有している場合に)同意を求めるネ／必須
- ② (聞き手に帰属する情報について)確認を行うネ／必須
- ③ (話し手に帰属する情報を確認され)確認を与えるネ／任意
- ④ (話し手が聞き手の領域に属するものについて)コメントを行うネ／必須
- ⑤ (自分自身の疑問や、願望などに付加され、聞き手と一致するとは限らない)聞き手と一致を見込んで自らの判断を示すネ／任意
- ⑥ (話し手が自らの発言が相手に伝わったか、理解されたか等)相手の理解確認を行うネ／任意

以上、大曾のネの捉え方をみると、ネを話し手と聞き手の「一致」、または「一致の延長」といった内在的意味を基にして意味用法を取り出していることが分かる。したがって、ネに限っては、大曾(1986)、益岡(1991)の論点と大きく変わらないように思われる。

一方で、ヨに関して大曾(2005)は白川(1992)を参考にして、従来のネと比較してネと対立的に捉える認識を見直している。白川(1992)は、ヨは「その発話が確実に聞き手の耳に入るように聞き手の注意を喚起する」機能があると指摘することで、ヨが持つ聞き手目当ての性質を強調している。また大曾(2005)は、ヨは「話し手が自らの情報、判断、主張、意志等を聞き手に明示的に伝える機能を持つ」とし、ヨは話し手が自分の持つ情報等を聞き手に明示的に伝える必要がある場面に用いられると指摘する。このような場面は2通りあり、一つは聞き手がある情報を持っていないと話し手が判断した場合で、もう一つは話し手が聞き手と自分の判断が異なることに気づき、自分の判断を聞き手に明示的に伝える必要があると判断した場合だという。

⁴大曾(2005)は親しい同士の雑談を分析データとして使っている。

大曾(2005)のヨの意味用法をまとめると次の3種類となる。

- ① (聞き手がこの情報を必要としていると話し手が判断した場合に用いる)知らせる、気づかせるヨ
- ② (単に自らの情報を相手に明示的に伝える場合に用いる)一方的に伝えるヨ、場合によっては、自己主張が強すぎるニュアンスを与える
- ③ (話し手が聞き手と自分の判断が異なることに気づき、自分の判断を聞き手に明示的に伝える必要があると判断した場合に用いる)反論のヨ

以上、大曾(2005)がヨを用いる場面・状況に注目した背景には、ヨをネと対立的に捉えて意味用法を考えるのではなく、ヨそのものが持つ、聞き手目当て性質(白川1992)を意味用法の中に組み込もうとしたことが関与していると思われる。本研究でもヨに関しては、白川(1992)、大曾(2005)を参考に、ネと一概に対立的なものとするのではなく、多様な機能のうちの一部が対立的関係にあるが、対立的でないそれぞれ独自の機能も認める必要があると考える。

上述した大曾(2005)のヨの機能、即ち「話し手が自らの情報、判断、主張、意志等を聞き手に明示的に伝える機能を持つ」という捉え方は、直接ヨネの説明に反映された。大曾(2005)はヨネを、ヨの機能とネの機能を併せ持つものと捉え、単独のヨが、「ネ」を伴う場面として3通りに分類して提示している。一つ目は当情報が聞き手に関わる場合、二つ目は話し手の情報、判断と聞き手のそれが一致すると話し手が想定した場合、3つ目は話し手のみが所有する情報を聞き手に共有してほしい、理解してほしい場合だとする。

大曾(2005)のヨネの意味用法をまとめると、次の3種類となる。

- ① (以前から知っている)話し手の情報について確認を行うヨネ
この①のヨネに関しては、情報を話し手がそれ以前の段階では知らず、会話場面で聞き手から入手した場合にはヨネは使えず、ネを使って確認を行うべきとされている。
- ② (共通の経験、常識など聞き手と共有する情報について)一致を確認するヨネ
この②のヨネに関しては、従来のヨネの用例としてよく取り上げられる(蓮沼 1992、加藤 2001 など)、自らの記憶に付加されるヨネが、②のヨネに属するとしている。つまり、以前話し手のしたことを聞き手が見ていたと想定した発言と捉えることができる点から、二人が経験を共有している、或いは、同じ情報を共有しているとも

考えられると指摘している。

例：私、ゆうべ、メガネここにおいたヨネ。

③ (話し手のみ所有する)情報の共有を促すヨネ

この③のヨネに関しては、ヨネだけではなく、ネ、ヨ、または終助詞を使用しない裸文の選択もありうる。

大曾(2005)はヨネには単独のヨの性質が複合されたゆえに、単独ネに比べるとヨネには「話し手が自分の情報、判断であることを明示する機能」があるが、単独のネにはそういった話し手の主張が表現されないと指摘している。大曾(2005)のヨネの捉え方、及び意味用法の抽出は、結合型ヨネと単独のネ、ヨの区別において一定の示唆を与えたことになる。本研究では結合型ヨネに関して、大曾(2005)を参考に、結合型ヨネは、単独のネとヨの機能を一部ずつ併せ持ち、かつ、独自の機能を持つ終助詞の1つであり、ヨネはネ、ヨいずれとも区別されるべきだと捉え、3章で単独のネとヨの機能を踏まえ、結合型のヨネの機能をまとめる。

以上の大曾(2005)の研究は会話コーパスをデータとして用い、場面性や発話状況など文脈を意識して意味用法を分類した点は参考になるが、依然として文レベルに留まった分析であり、聞き手の存在を意識する視点が乏しい。本研究は話しことばにおける文法的要素である終助詞の機能を考察していくことが目的である。したがって、話し言葉の会話における「発話」を対象に据える。以上の形で考察を進め、大曾・益岡らの意味用法から得られた知見を、発話機能の視点と繋げ、終助詞の機能を発話機能として分類することを試みたい。

(2) 発話機能

発話機能という概念は、表現意図による文の分類を含めれば、早くから研究が行われていることになる。それを談話分析の形で目録に整理したものは、国立国語研究所(1987)のものが代表的である。国立国語研究所(1987)の発話機能の定義とは、「それぞれの文は何を言うために用いられたのか、すなわち個々の文が発話中に用いられて果たす機能」である。日本語の勧誘の談話を、国立国語研究所(1987)の発話機能の定義を基に分類したザトラウスキー(1993)は、発話と談話における発話の機能について「一つ一つの談話には目的があり、参加者達はそれぞれの意図の下に各自の目的を目指して話を進めていく」とし、「個々の発話には目的を達するための何らかの役割が課せられそれが発話機能」だとしている。

終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能を発話機能の視点から考察した研究は管見の限り見当たらない。発話機能という用語を明確に用いていないが、話し言葉としての「発話」を対象にし、聞き手への配慮や終助詞が使われる動機や発話の目的等を考慮して、機能の分類を行った点からみれば、高(2011)が終助詞の発話機能の研究として比較的近いものと考えられる。高(2011)は文末に付くネ、ヨ、ヨネの機能を、神尾(1990)の「情報のなわばり理論」⁵と鈴木(1997)の「聞き手の私的領域」の概念を参考に、当発話の命題内容の事柄の領域に対する話し手の配慮を基に発話の意味用法を捉えている。高が注目したのは、日本語では話し手がある命題内容を聞き手に伝える際、その命題内容の事柄が話し手と聞き手のどちらの領域にあるものかに配慮し、その配慮の示し方として文末にモダリティ標識(益岡 1991)の終助詞が選択されるということである。高(2011)はこれらの命題内容の事柄の領域と聞き手への働きかけの小目的により、ネとヨネは5種類、ヨは7種類の機能に分類できると指摘する。

高の命題内容の事柄の領域による機能分類を、前節の益岡・大曾らのそれと比較すると、命題とモダリティ標識を二分化して発話を捉えた点、または実際のそれぞれの機能のラベル付けも益岡・大曾らの意味用法の分類と重なる部分が多い。ちなみに、高の発話機能の分類にも課題がみられる。ここでは、次の2つの問題点を指摘したい。

まずは、命題内容の事柄の捉え方に明確な基準が欠けており、曖昧な部分が残る点である。例えば、以下の用例について高(2011)は、聞き手が求める情報「この漢字の読み方」を聞き手領域の命題とし、「よ」を「聞き手の求める新情報告知のための<注意喚起 1>」と分類している。

⁵神尾(1990)の「情報のなわばり理論」は情報の帰属を基に文法現象の規則性の一般化を目指しており、中でネを例に説明している。神尾(1990)の情報のなわばり理論の中では、「ネは現在の発話内容に関して、話し手の持っている情報と聞き手の持っている情報とが同一であることを示す必須の標識である(神尾 1990: 62)」と規定される一方で、聞き手のなわばりに属さない情報に用いることができることを考慮し、「任意のネ」を取り上げ、次のように補足している。任意要素としてのネは「さきの」条件が満たされていない場合に、あたかも満たされているかのように想定することにより、仲間意識または連帯感を表現して、発話に丁寧さを加える働きを持つ(神尾 1990: 65)。ネの働きを神尾は「ね」は「協応的態度」を表す標識であるとしている。鈴木(1997)はこうした神尾(1990)をはじめとした田窪(1987、1988)、金水(1988a、1988b)などの情報に関する理論を基に、「聞き手の私的領域」と日本語の丁寧さの関係について考察を行い、日本語は「聞き手の私的領域」が抵触される場合、聞き手は自己のテリトリーが侵害されたと感じ、丁寧さに欠けた印象を与え、日本語の「聞き手の私的領域」に関わる事柄を取りあげている。

(漢字の読み方について尋ねられ、教える場面)

A: すみませんが、この漢字の読み方を教えてください。

B: ...それは、「かきとめ」ですよ。 (高 2011 : 13)

高が分類する「この漢字の読み方」は聞き手領域の事柄である。高は領域の分類において、命題内容の事柄が何か、その事柄は話し手・聞き手のどちらに関係する事柄かに焦点を当て、領域の判断を行っている。上の例では、聞き手 A が知りたい漢字の読み方は「かきとめ」だということが命題内容になり、それは聞き手が求める情報であることから聞き手領域として捉えたのだと考えられる。しかし、ここで「かきとめ」は聞き手が知りたい情報だからと言って、その事柄が聞き手領域であるという判断は十分な説得力がない。すなわち、その情報を所有する側がどちらかによって、「かきとめ」が話し手の領域として捉えられることも有り得るからである。

次に、高の機能分類の問題点は「ね」と「よね」の区別をしていない点である。高は終助詞の機能を捉える際に、前後の文脈を考慮していたが、命題の捉え方が研究者による直感的な捉え方、即ち従来の文法研究のアプローチによる文の命題を客観的に捉えたものと考えていた。このような命題の捉え方は、高の研究が文と発話を区別し、終助詞が使われる動機や発話の目的を考慮したとはいえ、実際にはそれを機能分類に十分組み込んだとは言えない。また、従来の文法研究の視点を超えることはできなかったとも言える。終助詞による発話機能を捉える際、その手がかりを命題だけに注目するのは、話し手が捉える領域を判断する上で根拠が不足していて、話し手の終助詞を使う動機や発話目的を考慮した機能分類が難しい。話し手の発話目的からなる発話機能を判断するためには、終助詞が聞き手に対してどのような働きかけをしていて、そのような働きかけを受けた聞き手側はどのような行動をとるのか、即ち聞き手の応答や反応を手がかりとして加えることが必要だと筆者は考える。確かに終助詞ネ、ヨ、ヨネを用いることで、聞き手に期待する応答が想定されていることを指摘した研究(野田 2002)は確認できるが、実際に聞き手の応答を基にして機能の分類を行った研究は見当たらない。そこで本研究は、終助詞の発話機能の分類を高の分類基準(命題内容の事柄領域のそれ)に加えて、聞き手の応答や反応という観点を組み込みながら考察を進めていく。

2.2.2 談話レベルからの研究

終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能に関しては、文レベルで説明するには限界があり、より長い談話レベルから語用論的文脈やその周辺の発話なども考慮に入れて、談話上の機能を考察した研究成果もいくつか見られる。ここでは談話レベルから捉えたコミュニケーション機能と発話連鎖効力について取り上げる。

(1) コミュニケーション機能

伊豆原(1993、2003)はネ、ヨ、ヨネの機能を談話レベルから広くコミュニケーション機能として捉えることを提案し、それぞれの機能を次のように記述している。

ネは、話し手の認識を聞き手が受け入れることを当然とみなし、聞き手の同意を求めるという過程を取ることで、話し手の認識領域に聞き手を引き入れようとするものである。

ヨは、聞き手の認識に働きかけて何らかの変化を促したり、そのことによって何らかの行動を促そうとするものである。

ヨネは、話し手の認識が聞き手の認識でもあるかを聞き手に確認するという過程をとることで、話し手の認識領域に聞き手を引き入れようとするものである。

伊豆原(2003 : 1)

また、宇佐美(1997)はポライトネス(Brown&Levinson1987)の視点を発展させたディスコース・ポライトネス理論を基にしながら、そこに談話レベルの要素を考慮に入れ、ネのコミュニケーション機能(=語用論的機能)とポライトネス効果として、次の5つを指摘している。

- ① 会話促進／ポジティブ・ポライトネス
- ② 注意喚起／ポジティブ・ポライトネス
- ③ 発話緩和／ネガティブ・ポライトネス
- ④ 発話内容確認／ニュートラル
- ⑤ 発話埋め合わせ／ネガティブ・ポライトネス

これまでの談話上レベルにおける機能の研究で、伊豆原を例にみても、確かに文レベルを超えて、談話を意識した記述となっているように見える。しかし、それらはいくつかの

異なる次元の機能が交えて記述されている印象も受ける。また、宇佐美(1997)が取り出したネのコミュニケーション機能もこれまでの文レベルからの意味用法等の研究からは見えてこなかった多様な語用論的機能が指摘されているが、それらの機能の分類には明確な条件付けがないことから使い分けの手がかりに乏しく、また意味論的機能とどのように結びついているかに関しては明らかではない(滝浦 2008)。このように、これまでの談話レベルにおける研究で一貫して存在する問題として、文レベルから談話レベルに拡大した終助詞が持つ、多様なレベルでの機能を網羅的に記述してきた傾向が挙げられる。

このように終助詞の機能は文法的モダリティ機能や語用論的コミュニケーション機能など、多様なレベルにおける機能が存在している。ただし、これらの多様なレベルの機能をレベルごとに整理しないまま、一括として広く捉えるアプローチは、終助詞が持つ多様な機能が見えにくくなる欠点もあると思われる。そこで本研究では、多様な機能が重層的になって働くものを、まずそれぞれのレベルごとに機能の整理をする。そうすることで、終助詞ネ、ヨ、ヨネの多様な機能を捉えるのには、どのレベルの機能が最も上位レベルとして働き、上位レベルの機能が次の下位レベルの機能にどのように拡散・分類されていくのかを指摘することで、多様なレベルの関わりを統合的に捉える。そこで、終助詞の発話内容ではなく、終助詞の使用を伴う発話連鎖の注目した西郷(2012)の終助詞ネ、ヨ、ヨネの発話連鎖効力の視点がよい参考になった。

(2) 発話連鎖効力

西郷(2012)は、NNS に対する終助詞教育は、意味用法の説明では不十分であり、話し手が何を意図してネとヨを対話で使用しているのかという、終助詞の方略的な使用に焦点を当てた説明を NNS に行うべきだとの問題提起をし、終助詞が談話上において有する発話連鎖効力を機能の説明に取り入れる必要性を提案している。西郷(2012)は終助詞ネ、ヨ、ヨネは発話直後に聞き手に適切な発話での応答を指令する「発話連鎖効力」を持つとし、その効力による後続発話の連鎖を中心に機能を考察することが重要だとしている。例えば、終助詞ネの発話には聞き手から同意や確認を引き出す発話機能があることはよく知られているが、西郷の発話連鎖効力の視点から終助詞の機能を考えた場合、ネは単に同意を表す発話行為を果たすためだけではなく、後続発話においてある目的を達成するために「土台作りをするため」の発話に用いられる。そして、ネのこうした働きは一連の発話連鎖を通

して現れる発話連鎖効力だと指摘する。西郷は以下の談話データ⁶における花子の発話「今日天気いいね」のネは、そのあとの花子の発話「どっか行かない？」という相手への提案(誘い)を行うために、その「土台作り」をする発話連鎖効力があると指摘している。つまり、ネは提案という発話行為の実行のための基盤作りとして選ばれており、終助詞の使用にはこうした発話連鎖効力による方略的な使用がよく見られるという(西郷 2012;132)。そして、西郷(2012)はこのような終助詞を用いた方略的な使用について、日本語教育の場面で NNS に提示する必要があると述べている。

花子：もしもし、おはよ。

太郎：あ、おはよ。

花子：ねえ、今日天気いいね。

太郎：うん、そうだね。

花子：今、何してるの？

太郎：今起きたところだよ。

花子：どっか行かない？

(西郷 2012;132)。

上述の西郷(2012)の聞き手の応答及び一連の後続発話の連鎖を基に捉えた終助詞の発話連鎖効力は、終助詞が使用される発話が高い談話レベルにおいて及ぼす効力を認めたものである。しかし、ここで西郷が認める発話連鎖効力の範囲の捉え方に疑問が残る。上の例で、花子の「ねえ、今日天気いいね」のネが発話連鎖効力を持つために、その後の花子の「どっか行かない？」の提案(誘い)を導いていると解釈しているが、実際に上の例で花子の最初の発話「もしもし、おはよ。」から誘いを導く行為はすでに始まっていると言ってよいだろう。つまり、ここではネの使用によって提案(誘い)の基盤づくりをしているとはいにくいのではないか。

ではここでネの使用により、その後の発話連鎖にどのような特徴をもたらしているだろうか。本研究は西郷のように終助詞の発話連鎖効力がある行為、例えば「提案の土台作り」等に限定せず、聞き手とどのような発話連鎖(相互行為)を構築し、どのような談話展開を行おうとするのかといった発話連鎖や談話展開における話者の志向性を、本研究では終助

⁶西郷 (2012) は NS に対し談話完成テストを行い、それを談話データとして終助詞ネ、ヨ、ヨネの発話連鎖効力を考察している。

詞が持つ発話連鎖効力と捉えたい。

2.2.3 先行研究の問題点

以上本研究と関連のある先行研究を挙げてみた。以上のように本研究の終助詞ネ、ヨ、ヨネはこれまで数多くの蓄積があり、さまざまなアプローチから議論されてきた。なかでも特に、ネの研究が圧倒的に多く、ヨはネと対照的に捉えられがちで、ヨネに関してはネ、ヨの説明の延長としてなされる傾向があったと言えよう。しかし、これまでのネ、ヨ、ヨネの機能分類は十分に NNS の終助詞の使用を説明できる枠組みがないと言える。本研究では先行研究を概観したことを踏まえ、日本語教育の視点から終助詞の機能研究に残された課題として主に次の 2 つの側面から述べたい。

一つ目は、これまでの先行研究は終助詞ネ、ヨ、ヨネの使い分け・区別がし切れず、結合型「よね」に対しても明確な説明が与えられていない。

二つ目は、先行研究における機能研究は発話文レベルに留まった研究が中心となり、一部談話レベルに拡大し、広く機能を捉えようとした研究も見受けられるが、まだ終助詞の多様な機能がレベルごとに整理されておらず、さらに多様な機能が談話全体においてどのように関わって働くのかが明確にされていない。

以上のような機能研究における問題点のゆえに、現在のところ日本語教育の分野には、NNS の終助詞の使用問題を統合的に扱った研究は行われず、問題分析に応用できる機能分類の枠組みもまだ確立されていない。例えば、なぜネではなくヨネを使用したほうがより適切かなどの問題に対し、これまでの自然・不自然など母語話者の視点からの判断ではなく、ネとヨの機能の違いを根拠に説明できる機能分類が求められる。そこで、本研究では、終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能の多様な機能を同一レベルごとに分類した上、レベルの階層関係を探り、談話上においてどのように関わっているかを示す統合的機能分類を行いたい。

2.3 第二言語としての学習者の終助詞ネ、ヨ、ヨネの研究

第二言語習得の研究は NNS の誤用分析から始まっている(大関 2010)。初期は主に NNS の用例を集め、正用と誤用を分析するアプローチが取っていたことから、しだいに誤用だけでは NNS の使用が説明しきれない問題が明らかになり、習得メカニズムや学習者の言語体系を捉える中間言語分析へと発展した。第二言語習得の研究対象は、教室環境で体系的な日本語教育を受けた教室学習者を対象にすることが多いが、自然環境で独学によって

日本語を習得した自然習得者や海外の接触経験のない学習者の使用と習得に注目したものも少数ながら見られる。分析のデータをみると、NNS の用例、OPI の談話、チャット、メール文など様々なデータの種類が見られる。

2.3.1 誤用分析

日本語教育の分野で、第二言語学習者を対象とした終助詞の研究は、NNS による終助詞の誤用を取り上げた水谷(1984)と大曾(1986a)の誤用分析の研究が発端となる(白岩 2011)。誤用分析は主に NS の使用方法との比較から、NNS がどのような誤用をしているのかを分析し、教育における問題点や課題解決を目指すものである。NNS はどのような誤用をするのか、その事例を分類する方法がよく用いられる(大関 2010)。

1) ネの誤用の問題

水谷(1984)・大曾(1986a)はNNSがネを多用する傾向がある一方で、ヨの使用は人間関係にとってマイナスな影響を及ぼすと思われるため、使用回避の傾向があることを指摘している。その上で、日本語教育現場ではNNSに対する終助詞の指導が不十分であることを指摘している。伴・架谷(1996)は終助詞教育の問題として、ネを事例に取り挙げた。具体的には、日本語教科書では自然な発話を載せるため、会話文でかなり早い段階からネが使われているが、それが非常に簡単に触れられているに過ぎない事実を指摘した。その上で、NNSの終助詞ネの誤用はNNSの日本語の学習結果によるものではなく、むしろ指導上の問題であるとした。また、NNSの誤用の特徴をみると、確認のネの誤用やネの不使用によってコミュニケーションが阻害される問題、ネの義務性と随意性の区別の誤解による問題が見られたとして、ネを義務的なネと随意的なネ(神尾1990)に区別して指導する必要があるとしている。ネを義務的なネと随意的なネとに区別する捉え方は、NNSがネを正しく用いるケースと誤用とを判断する際によく用いられるようになり、最近の研究としては船戸(2012)がそれである。船戸(2012)は、海外のNNSの文字チャットデータを軸に分析を行い、NNSは初期段階では任意のネを多用し、必須のネは不使用のケースが見られるが、時間の経過とともに必須のネの使用が顕著に増加する点を指摘している。

2) ヨの使用頻度の問題

誤用分析のアプローチから行われた研究成果としては、NNSのネの研究に比べ、ヨとヨネの研究はあまり多くはない。西川(2000)はNNSはヨの使用が相手にぞんざいな印象を与

えるとの認識から、目上の人には使わない傾向があり、また丁寧体とは併用して使わないなど、ヨの使用回避を指摘している。富並・中村(2004)は韓国人NNSのネとヨの使用を調べ、ネは誤用が多く見られるが、ヨは誤用が少ないと報告している。その原因として、ネは聞き手の情報量や聞き手との関係を考慮して使用する必要があるのに対し、ヨは主に自らの情報提供に使用されるため、NNSにとって習得しやすい面があると指摘している。一方で、高・崔(2015)、崔(2016)はそれぞれ中国語話者と多用な母語を使う多国籍⁷のNNSに対して初対面の会話におけるネ、ヨ、ヨネの使用を調査している。その結果、NSはネを最も多く使用するのに対し、NNSはヨを最も多く使用する傾向を明らかにし、ヨの過剰使用⁸の傾向を明らかにしており、従来のヨの使用回避の認識とは異なるものとなっている。このようにNNSの使用実態はまだ十分には明らかにされておらず、ヨに関しては調査したNNSの日本語レベルや、国籍など多様な要因により、調査結果も異なる可能性が考えられ、更なる調査と分析が必要である。

3) ヨネの習得が遅れる問題

また、NNSのヨネの誤用分析も限られている。例えば、清家(2011)は韓国人NNSのメールデータを使用してヨとヨネの誤用を分析した結果、ヨの誤用は少ないが、ヨネの誤用は半分を占め、誤用となったヨネは、ネまたはヨが選択されるべきところにヨネを選択しているなどの問題を指摘している。高・崔(2015)、崔(2016)もNNSはネとヨネの区別が出来ていない点、特にヨネの習得が遅れ、ヨネを使用すべきところにネを使用する誤用を指摘している。

4) ネ、ヨ、ヨネの逸脱のタイプ

高・崔(2015)は終助詞ネ、ヨ、ヨネを取り上げ、文法的に使用が必須とされる終助詞の機能と、聞き手に配慮を示すために任意に使用される終助詞の機能とに分け、NNSに見られる使用に関する諸問題を「逸脱」と捉えている。以下の4つのタイプを挙げている。

①種類の逸脱

種類の逸脱には以下の3タイプがあるとされている。①種類の選択の逸脱、②使用が必須なものに対し、使用しなかった逸脱、③ネ、ヨ、ヨネのいずれも使用できないのに使用した逸脱。

⁷崔(2016)は4名のNNSを調査し、それぞれの国籍は中国、ネパール、モンゴル、タイである。

⁸高・崔(2015)は過剰使用という用語を使わず、付加による逸脱としている。

②付加による逸脱

終助詞の使用が必須ではなく任意である場合、NNS が必要以上に過剰な頻度で使用した逸脱。

③その他の逸脱

終助詞の使用問題の以前に、発話文自体が誤用となっている逸脱。

④不使用による逸脱

終助詞の使用が必須ではなく任意である場合、適切な頻度で使用することで相手に配慮を示すことができるが、使用しないことで配慮を欠いた表現になった場合の逸脱。

以上の高・崔(2015)の逸脱の分類は、ネ、ヨ、ヨネの三者を同時に取り上げた数少ない研究で、NNS にみられる逸脱のタイプを指摘しており、終助詞の文法的意味用法のほか、円滑なコミュニケーションのために適切な使用頻度で使用することが期待される運用面の機能も扱っている。だが、②付加による逸脱や④不使用による逸脱などを認定する際には、母語話者チェックの手段を取り、母語話者の直観に頼った判断である。そのため、適切な頻度の基準などを明示できず、結局逸脱の認定があいまいになる課題が残る。

成果と問題点

以上のように、第二言語 NNS を対象とした終助詞の誤用分析のアプローチからは、主に NNS が産出した終助詞に対して、その正用と誤用を分類してきた。しかし、終助詞は使用が必須になる義務的なネのようなものもあれば、使用が任意なネ、またはヨ、ヨネも含まれる。使用が必須となる義務的なネに対しては誤用判断ができるが、使用が任意の終助詞の使用(例えば過剰使用)に対しては誤用判断が難しい。誤用分析の領域では正用・誤用の分類をする際、「誤用の一部」を過剰使用、不自然な使い方などの用語を持って説明した場合には、NNS の終助詞の問題は一該に誤用として片付けることができないからである。また、分析対象をみると、誤用分析はネに注目する研究が多いが、ヨとヨネは少なく、3者を同時に取り上げた研究は高・崔(2015)等極少数で見られるだけである。さらに、誤用研究の領域では、ネの不使用(伴・架谷 1996)やヨの使用回避などの問題は指摘するものの、そのような問題が接触場面の実際のやり取りにどのような影響を及ぼすかという視点はなかったと言える。

2.3.2 習得メカニズム分析

誤用分析の分野において、誤用は簡単に分類できない問題があり、さらに実際に誤用として表層化されない「使用回避」の問題も存在する等のことから、誤用分析には限界があることが明らかになった。第二言語習得の研究は誤用分析から始まった研究分野であるが、外国語を学ぶときのメカニズム(仕組み)を明らかにすることを旨とするものでもある(大関2010)。

そもそも第二言語習得研究は言語習得のメカニズムを明らかにすることに関心があったため、初期の終助詞の習得研究は縦断的調査が多く見られる。Sawyer (1992)は教室環境 NNS のインタビューデータを基に終助詞ネの縦断的調査を行い、次の点を指摘している。

1) 習得順序の縦断的調査—教室学習者

Sawyer (1992)は教室環境 NNS のインタビューデータを基に終助詞ネの縦断的調査を行い、次の点を指摘している。

- a) ネの習得は他の一般的な語彙や文法的な助詞(格助詞など)よりも遅れる
- b) 最初は「そうですね」のようなチャンクの形から使用が始まる
- c) ネの習得の仕方には大きな個人差がある。

Sawyer (1992)の指摘はその後のネの習得研究(初鹿野1994、張2005など)でも同様にみられ、ネの習得における一般的な傾向として認識されてきた。

初鹿野(1994)は、1年間にわたって初級のNNSの発話資料を基に終助詞の習得過程を縦断的に調査した。その結果、終助詞の使用が非常に少なく、使用されたものはほとんどが「ね」と「か」であり、終助詞は誤用を繰り返しながら習得される過程を明らかにした。また、機能別にネの習得を分析した結果、確認や同意を求めるネや同意を表わすネは使用が少ない一方で、機能的に特殊と考えられるネの使用が確認されたとしている。つまり、初鹿野(1994)の機能別使用に関する指摘は、換言すればNNSが習得しやすい、または好んで使用するネの機能にはNSとは異なる傾向があり、NNS独自に使用している可能性を示唆している。

峯(1995)は文末表現全般を扱っており、NNS の談話データに見られる文末表現をすべて拾い出し、学習段階ごとに習得する文末表現がある程度決まっている点を指摘している。

峯の調査によると、終助詞ネ、ヨ、ヨネの習得には順番があり、まずネとヨが使用され、それからヨネが使用され、ヨネは中級以降から現れるという。早い段階で使用されるネは使用回数が多いと同時に誤用も多く、その誤用は情報提供文に多く見られるとする。ネの使用が少ない背景には、情報提供文に使用されるネの割合が少なく、その代わりに他の表現形式を使ったことが考えられ、このことから適切な言語形式の欠如と既知の言語形式の汎用が相まって誤用を引き起こした可能性が浮かび上がる。

柴原(2002)は、9カ月間日本に滞在した初級レベルの海外日本語教師研修生を対象にして、宇佐美(1997)のネのコミュニケーション機能の分類を参照しつつ、NNSが学習期間に応じてどのような機能のネを習得したのかを、OPIの文字化資料を基に調査・分析した。それによると、NNSには母語を問わずネの過剰使用が見られること、またNNSの滞日期間が長くなるにつれて、ネの機能が多様化している。特に、滞在初期は、「会話促進」のネの使用のみが目立ったが、日本語の習得が進むにつれてそれまで少なかった「発話緩和」のネの使用が多くみられる点を指摘している。

2) 習得順序の縦断的調査—自然習得者

以上の研究は全て教室環境学習者を対象にしたものである。その一方で尾崎(1999)は、終助詞は自然に習得される場合が多い学習項目であるとし、自然習得者の就労ブラジル人を対象にネの習得状況を縦断的に調査した。その結果、Sawyer(1992)などの調査結果(教室での習得結果)とは異なり、自然習得者はかなり早い段階からネを使用し、格助詞などの文法的な助詞よりも先に使われることを確認した。このことから終助詞の習得はNNSが置かれる学習環境に大きく影響することがうかがえる。さらに興味深いのは、NNSはネをモダリティ以外に統語機能として使用することもあり、NNS独自のネの使用実態も明らかになった。

3) NNSの使用特徴の横断的調査—教室学習者

以上終助詞ネを中心にNNSを対象に行った終助詞の縦断的調査・研究の代表的なものあげた。このほか、習得研究はある一定のレベルのNNSを対象にして、日本語NSとの実際の接触場面の会話をデータ化し、終助詞の使用をNSとの比較から分析したものもある。

張(2005)は柴原(2002)と同じく、宇佐美(1997)のネのコミュニケーション機能の分類を基にして、台湾人日本語学習者の会話におけるネの使用を分析している。その結果、NNSのそれぞれの機能の使用割合は日本語NSと大きな差が見られないものの、いずれの機能においてもNSによる使用頻度の半数も達していない点を明らかにした。また、NNSによる

「会話促進」のネは、主に同意を求めたり、相手との共有化を示したりする時にだけ使用されており、聞き手から働きかける、所謂、相づち的なネの使用は少ないとする。

高・崔(2015)は中・上級レベルの中国語話者を対象に、日本国内で日本語を第二言語として学習するNNS(JSL: Japanese as Second Language)と、中国で外国語としての日本語を学習するNNS(JFL: Japanese as Foreign Language)の両方の接触場面の会話データを収録し、NNSの終助詞ネ、ヨ、ヨを分析している。その結果、JSLとJFL問わず終助詞の問題は意味用法に関する問題だけではなく、発話機能やコミュニケーション機能における問題もみられ、終助詞の問題を捉えるためには様々なレベルから統合的に捉える必要性を指摘している。さらに、学習環境は終助詞の習得に影響を与える要因となる点を指摘すると同時に、学習環境以外にも、JFLはメディアなどを通して間接的に「接触場面」に触れることで終助詞のインプット・習得などの影響が期待できるとしている。

成果と問題点

以上、第二言語NNSの終助詞ネ、ヨ、ヨネの習得研究のアプローチから行われた先行研究をみてきた。まず、縦断的な調査による習得メカニズムの研究成果により、教室環境NNSの終助詞の習得は他の文法項目より遅れることや、習得はある程度決まった順番があること、またネの多様な機能の中には習得しやすい機能やNNSが好んで用いる機能があること、さらに終助詞の本来の機能とは別にNNS独自に「創作して」使う機能があること等が分かってきた。これらの研究の多くはネを取り上げており、ヨとヨネにはあまり注目していない。それは日本語の会話におけるネの使用は必須・任意ともにコミュニケーションの中で聞き手への配慮を表わす際により重要な役割をし、その使用頻度も高く、NNSの習得も早いためであろう。次に、実際の接触場面におけるNNSの使用分析からは、その使用実態やNSとの違い、学習環境による違いなどがある程度明らかにされつつある。

しかしながら、これまでの終助詞の習得研究においては、実際の接触場面の会話データを用いた研究が限られており、またほとんどの研究がNSの視点からの終助詞の習得と使用を捉えようとしていたため、NNSの視点から本課題を調査研究する成果が不足していた。そのため、NNSが終助詞を実際にどのように使うのか、逆に終助詞の使用回避、または不使用がどのような問題を引き起こすかなどの面は扱われてこなかった。また、NSからの終助詞を含む発話を受けて、それにNNSが適切に返すという、相手の発話に対する終助詞への正しい使用法・理解も終助詞習得の過程で考慮すべき問題である。これらの問題点をみれば、習得研究も従来の文レベルの誤用分析の枠から抜け出していないと言えよう。

2.3.3 中間言語分析

中間言語分析という学問領域では、NNS言語を「NNSが作っていく独自の言語体系」と捉え、NNSが自分の中で「新しい言語体系」としての中間言語を作っていくと考えている。中間言語分析は誤用だけを問題にしてきた誤用分析が持つ根本的な問題を、誤用だけではなく正用も含めることで、NNSがどのように目標言語を使っているか、その全体像を考えようとする点に意義がある(大関2010)。

中間言語分析から、NNSの終助詞の使用を捉えた研究は非常に少ない。前節で述べた尾崎(1999)によるNNSのネの統語機能は中間言語分析と捉えられる。これに加えて、以下で金(2001)と崔(2016)を取り上げる。

1) パターン化された使用特徴

金庭・ほか(2011)の調査では、NNSの終助詞を含む発話のうち、ネ・ヨ・ヨネの発話はそのNNSにもパターン化された使用傾向がみられると報告している。そのパターン化された発話例として、「んですね」「と思いますよ(と思う類)」「んですよ」、「そうですね/よね」などが挙げられる。

また、自然会話ではないが、OPI の談話を収録した「KY コーパス」のデータ中の韓国人日本語学習者を対象に、確認要求表現を調べた金(2001)は、ヨネの使用における中間言語的な使用の実態を指摘している。金の調査では、NNS の確認要求の表現には、「ダロウ」、「ジャーナイカ」と比べて、ヨネの使用頻度が圧倒的に多いことを指摘している。このヨネの使用の多くは、確認要求ではなく、単に話し手の情報を表わすもので、ヨに置換可能なものとしている。金はこのようなヨネの使用について、NNS が発話に「丁寧さ」を加えるためにヨにネを付加してヨネを使用していると解釈している。

崔(2016)は初対面の接触場面において NNS は NS と違い、話し手領域の命題においてネよりヨをより多く使用していることを挙げており、NNS はヨを使用することで、NNS 独自の談話展開が確認されることを指摘している。一方、NNS のヨの頻繁な使用は、情報提示の発話に困難を感じた際でも見られ、NNS は言いかけた発話を一度整理する場合でもヨの使用が度々見られ、NNS は独自の終助詞の使用により、自らの言語能力を補っている可能性を示唆している。崔(2016)は NS と明らかに異なる NNS 独自の使用は、必ずしも逸脱として問題を起こすのではなく、実際の接触場面の中でも機能する可能性を指摘している。つまり、これまでの NS の視点から行われた研究では、NNS の終助詞使用を正用ま

たは誤用、逸脱の枠の中で捉えようとしてきた状況に対し、今後は NNS 側の視点も取り入れ、接触場面の中で、実際に果たす終助詞の働きを考察する必要があると考えられる。

2) NNS の視点から捉える独自の使用と働き

高(2016)は NNS の終助詞使用を、NNS の立場から捉えなおす必要性を提起した。そして、誤用や逸脱を単なる問題として片づけるのではなく、接触場面における相互行為を重視し、相互行為の中で果たす中間言語の働きを捉えなおすべきだとする。高(2016)は従来、過剰使用や過少使用または不使用など、いずれも逸脱として認識されてきた NNS の終助詞を、NNS の立場から捉えなおすことで、次のような働き・特徴を持つ中間言語として考えることが可能だとする。

- ① NNS による終助詞の過剰使用は、談話管理のためのストラテジーの一つである。
- ② NNS はヨネの代用としてネを汎用する。
- ③ 終助詞の不使用は NS との相互行為において非協調的な談話展開を導く。

成果と問題点

従来、NNS の終助詞の問題が明確な文法的誤りによる誤用のほか、誤用とは言い切れない不自然な使用などの「誤用」に含められてしまい、後者の「誤用」基準が未だ明確化されていないという課題がある。この課題の背景にはこれまでの研究では NNS の視点が考慮されず、主に NS の視点から出発していたという問題が潜んでいる。NNS の使用の中には、NS には見られない特徴的な使用や、NS に比べ明らかな過剰になったり、過少になったりする頻度の問題等は、しばしば「誤用とは言いきれないが不自然な使用」(市川 2010)と説明され、誤用基準があいまいという問題が存在する。そんな中で、高(2016)のような NNS の終助詞の問題を NS や文法的な視点に立った分析ではなく、NNS の視点も取り入れた指摘は、接触場面という特殊な場面性や学習者当事者を意識したものであり、非常に意義がある。このような接触場面のデータを基に、NNS の終助詞の中間言語そのものの特徴に注目し、相互行為の中で果たす働きを分析する研究は今や緒に就いたばかりであり、より詳しく行われる必要がある。

2.3.4 その他の NNS の使用の研究

上で上げたアプローチ以外に、母語干渉の影響を扱った研究や、NS が NNS の終助詞使用に対し、どのような印象を持つか等 NS の評価を扱った研究も見られる。

1) 母語の影響の問題

Yoshimi (1999)は英語NSの自然会話に見られたネの用例を分析し、ネの誤用を引き起こす要因はネ自体に問題があるのではなく、視点の共有における文化的違いによると述べている。つまり、視点を「共有のもの」と捉えがちな英語話者は、日本語になった場合、視点を共有するのが不適切な文脈においても、ネを使うことで視点の共有化をはかる傾向があると捉えている。またナカミズ(2000)は、ブラジル人就労者のネを取り上げ、ポルトガル語のnéからの転移の可能性を指摘している。ポルトガル語のnéは、確認要求、同意要求、同意表示など日本語のネと似た機能を持っているが、話し手自身の私的領域に関する新情報を聞き手に伝える場合にも使うことができる。そのため、ブラジル人就労者は聞き手にとっての新情報を提示する場合でもネを頻繁に用いると述べている。チューシー(2011)は日本語の助詞ネとタイ語の助詞「NA」を比較し、その類似点と相違点から誤用が生じやすい点を指摘する。例えば同意要求、確認要求、同意表示はネ・「NA」両方に存在するため、同様に使用する傾向があるという。この3種の機能においてはネには、「NA」にはない自己確認表示の機能があるため、その理解が難しく、一方で「NA」が持つ言い直し要求、許可要求の機能はネにはないにも関わらず、ネを用いるため誤用が生じやすいとしている。さらに、出現位置に関して、助詞「NA」の出現位置が限られるため、「ヲ」格、原因・理由の連用節、連体句・連体節に助詞ネをつけて用いることが困難な傾向がみられる点を指摘している。

益岡(1991)はモダリティそのものほどの言語にも共通して存在するものだが、日本語は特にモダリティが発達した言語で、終助詞が占める役割が大きいとしている。このような日本語の終助詞に当たる要素は、言語によってその類似性の比重はそれぞれ異なる。筆者はこういった終助詞の習得が、母語によって影響の度合いの差異が存在することは認めるが、本研究はNNSの母語の影響まで深く立ち入った分析はしていない。本研究で重視するのは多用な母語を使う12カ国のNNSにおいて、母語を問わず普遍的に見られる習得の特徴の面にあることをあらかじめ断っておきたい。

2) 母語話者の評価の問題

伝達態度のモダリティのネとヨは、聞き手に伝えた事柄の内容には無関係で、取り除いても伝達内容の量はいささかも減じない(益岡 1991)。実際の接触場面においてNSはNNSの終助詞の使用をどのように評価しているのだろうか。ここではNSの評価を分析した先行研究を簡潔にまとめたい。

木曾(2013)は中国人日本語学習者の会話中における終助詞の使用に対し、NS がどのような印象を持つか、その評価について調査を行っている。その結果、「会話全体の評価」に対する NS 評価は、終助詞が少ないグループより多いグループの会話が高く評価されることが分かった。その理由としては、「会話全体の評価」に影響する要因には「話題提供」や「会話の展開」を行ったりして相手の会話を「受け取る」姿勢が関わっていること、また、それらの発話においては「か」、「ね」をはじめとする終助詞が効果的に使用されており、そのことが「会話全体の評価」を高める一つの要因になった点を指摘している。一方で、NS に NNS のそれぞれの終助詞を評価させた結果、マイナス評価になる表現の特徴として、①普通体に付加したネ・ヨ、②「そうですね」の誤用、③相手が知らない情報を確認する際に使用するヨ、④一方的な情報提供のネ・ヨ、であった。

木曾(2013)の調査からは NS の「会話全体の評価」の中で捉える終助詞の評価と、終助詞だけクローズアップして捉えるときの評価とにはズレがあり、「会話全体の評価」において終助詞はあまり意識されないものと考えられる。言い換えれば、これまで終助詞そのものに焦点を当てて行われてきた誤用分析や習得研究の中で捉えられてきた誤用は、第 3 者である研究者が捉える誤用の意味合いが強く、会話当事者にとってはそれと異なる捉え方が存在するということである。このような NS の評価を踏まえると、NNS の終助詞ネ、ヨ、ヨネの研究は、従来の誤用分析や習得研究における問題分析に加え、NNS の立場からの中間言語分析、さらに会話参加者の相互行為の視点を取り入れる必要がある。

2.3.5 先行研究の問題点

以上のような第二言語としての NNS の終助詞ネ、ヨ、ヨネの先行研究のアプローチを通して分かったこと、残された課題を基に、本研究では NNS の終助詞研究の新たな視点とアプローチとして幾つかの課題を述べたい。

1) 3 者を統一的に扱う必要性

NNS の終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用実態がまだ明らかにされておらず、3 者を分析対象にした研究は少ない。ネ、ヨ、ヨネの機能が相互関連している点を踏まえると、3 者の使用は相関関係があることが予想され、3 者を統一的に分析・考察することで、ネ、ヨ、ヨネの使用の全貌を捉えることができる。

2) 文レベルの分析ではなく、談話レベルの接触場面研究の視点と、相互行為の視点を取

り入れる必要性

未だに接触場面における終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用実態が明らかにされておらず、その働きについて言及した研究も見当たらない。接触場面という実際の相互行為において終助詞が果たす役割を分析・考察することで、NNS が実際に必要とする終助詞教育に繋げることが求められる。

3) 中間言語分析のアプローチで NNS の視点を取り入れる必要性

NNS の終助詞の使用の問題分析は、誤用という指摘のみで終わることなく、NNS の使用目的も考慮し、NNS がなぜそのような使用をするのか、NNS の視点を取り入れ中間言語として広く捉えなおす必要がある。

2.4 本研究の目的と課題

NNS の終助詞の習得が遅れる要因として、終助詞には日本語の多様な機能・ニュアンスが存在するために習得が難しい側面があるが、その一方には、日本語教育の終助詞教育が遅れている側面も否めない。実際の教育現場で使用されることの多い指導書・教科書に掲載されている機能説明は主に文法的側面からの意味用法が中心となっており、十分な導入をしないまま例文や練習問題に登場する。これまでの終助詞研究を通して、終助詞には文法的側面のモダリティ機能だけではなく、多様な側面からさまざまな機能が存在することが指摘されてきた。それらの多様な機能は談話上において複雑に絡み合って統合的に働くことが予想できる。NNS が使用する終助詞について授業の中で体系的に教わる部分は、主に文法的側面の機能が中心であり、その他の多様な機能に関しては、どのように習得され、実際の接触場面の中でどのように使用されているかは明らかになってはいない。NNS の終助詞使用の全貌が明らかにならない限り、NNS の終助詞使用の問題も適切に捉えることは困難であり、NNS にどのような終助詞の指導をすべきかが明確になりにくい。

そこで、本研究では主に 2 つの研究目的を持って論を進めていきたい。

一つは、母語場面の自然会話をデータにして、談話レベルから終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能分類を行うことである。ネ、ヨ、ヨネの多様な機能にどのような関わりが確認されるのか、その統合的機能の分類を行う。本研究で行うネ、ヨ、ヨネの機能分類は、NNS の終助詞の使用と習得問題を的確に把握する目的から行う機能分類である⁹。

⁹ 本研究の機能分類は、これまでの終助詞の意味用法等を解明しようとし、既存の研究とは異なり、NNS が実際の接

もう一つは、本研究で考案した統合的機能分類を分析の枠組みとして、母語場面と接触場面の両場面における終助詞の使用実態を分析するとともに、母語場面の NS' の使用と比較しながら接触場面の NS と NNS の使用特徴、及び NNS の習得問題を考察し、NNS の中間言語の実態を解明することである。

以上の研究目的に踏まえ、次に各章で設定した具体的な研究課題を挙げておく。

研究課題：

(1) 日本語教育の視点に立ち、発話連鎖の視点を取り入れ、NNS の終助詞の使用と習得問題を説明できる機能分類を行う(4章)。

(2) 母語場面の NS'、接触場面の NS、NNS の終助詞の使用実態を分析し、それぞれの使用傾向を明らかにする。また、NNS に対しては使用実態を基に、習得に潜んでいる問題を探る(5章)。

(3) NNS の視点から終助詞ネ、ヨ、ヨネの中間言語を捉えなおす。具体的には、従来正用と誤用の 2 分類を中心とした誤用分析の視点を批判的に捉え、その成果も引き継ぎながら、新たに発話連鎖の視点を取り入れ、談話レベルから NNS の中間言語にはどのようなタイプがあり、NNS はどのような目的で終助詞を使用しているのかを明らかにする(6章)。

触場面においてコミュニケーションを行う際に終助詞をどのように使用するかを的確に捉え、分析するための機能分類である。そういう目的から発話連鎖という部分に焦点を当てている。したがって、本研究の機能分類は NNS の視点に立ったものであり、日本語教育への応用を考慮したのものである。

第3章 研究方法

第3章では、本研究の理論的枠組みとなる終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能のアプローチと、NNS の中間言語のアプローチを説明してから、本研究で分析する BTSJ コーパスの母語場面データと接触場面と調査の概要について説明する。

3.1 終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類のアプローチ

本研究では機能分類の枠組みとして、命題内容の事柄の領域、発話機能、発話連鎖機能といった概念を用いる。終助詞が持つ多様な機能のうち、文法的側面の概念である命題内容の事柄の「領域」を一番の上位レベルの機能と捉え、その次のレベルとして発話目的による発話機能を認めるものの、実際の会話の中では発話機能だけでは終助詞の説明を十分にできない問題点も指摘する。そして、本研究の新たな視点である発話連鎖効力の概念をさらに次の下位レベルとして捉え、上位レベルの領域との関わりを探ることで、談話上における終助詞の機能を統合的にまとめる。

では、命題内容の事柄の領域、発話機能、発話連鎖効力の3つの概念と単位について、それぞれ取り上げる。

3.1.1 命題内容の事柄の領域

日本語においては、話し手がある命題内容を聞き手に伝える際、その命題内容の事柄が話し手と聞き手のどちらの領域にあるものかを配慮し、その配慮の示し方として文末に終助詞が選択される。前述した高(2011)は、神尾(1990)と鈴木(1997)を参考に、領域を「命題に関わる行動や所有物、命題の内容と関係のある人、情報など命題に関わるすべての事柄を含む」と捉え、話し手と聞き手、また両方で共有する中立領域とに分類している。例えば、聞き手領域に関わることに言及する時は、当然、文末に聞き手領域への配慮を示すモダリティ標識(益岡 1991)が必要であり、そのためにある終助詞が選ばれるのだとする。終助詞の使用に当たり、こうした領域を考えることはどのような終助詞を選択するかを決める最初のステップになるだけに、終助詞の習得において領域に対する認識は重要であると言える。話し手がモダリティ標識としてどのような終助詞の機能を選択するかというモダリティのレベルにおいては、本研究では高(2011)の命題内容の事柄の領域に応じて分析した方法を援用する。命題内容の事柄の領域の判断に関しては、4章の理論的枠組みの考

案で、事例を挙げて詳しく取り上げる。

3.1.2 発話機能

「個々の発話には目的を達するための何らかの役割が課せられ、それが発話機能(国立国語研究所 1987、ザトラウスー1993)」だという発話機能の定義に従うと、終助詞ネ、ヨ、ヨネはモダリティ標識として発話文に付加された場合、その発話文に対し、「要求」、「提示」、「表明」の発話機能のうちのいずれかを担い、ある発話の目的を持って聞き手に働きかける。しかし、高・崔(2015: 299)で触れたように、基本的に 1 発話文を対象に分類する発話機能の概念では、同じ領域に関わるネ、ヨ、ヨネの機能の違いを明確に分類することができない。例えば聞き手領域に関わるネとヨネは、どれも「確認を行う」発話機能としてされている。このような問題点は端的にいうと、発話機能の概念はこれまでの「文」を単位としたアプローチだからである。即ち終助詞ネ、ヨ、ヨネは「文」や「発話内容」だけで相互区別ができない「文法的要素」である。その故に、終助詞が実際の相互行為・談話において果たす機能を捉えるためには、終助詞が持つ文法性と談話性を統合させる必要がある。

3.1.3 発話連鎖効力

これまでの終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能分類では 3 者の明確な使い分けが困難であった。特にネとヨネの区別においては未だに明確な成果がない。主な理由は、ネ、ヨ、ヨネの機能は発話レベルでは区別することが難しいからであろう。そこで、本研究では終助詞ネ、ヨ、ヨネが使用される命題内容の事柄の領域を分類し、それぞれの領域にネ、ヨ、ヨネが使用された時に、発話連鎖のレベルでどのように違いが確認されるのかを分析する。そこで参考にしたのが 2 章の先行研究の 2.2.2 で挙げた西郷(2012)の終助詞の発話連鎖効力である。

具体的には、従来の発話機能の捉え方を踏襲しつつ、命題内容の事柄の領域別に使用された終助詞が、さらに先行発話と後続発話の一連の発話連鎖において、どのように異なる発話連鎖が確認できるのかを分析し、文レベルの発話機能を談話レベルから捉え直すものである。言い換えれば、話し手は命題内容の事柄の領域を意識し、ネ、ヨ、ヨネのうちのどれかを選択したとき、文レベルの発話機能の説明にとどまらず、談話レベルでどのよう

な発話連鎖を通じて、どのような談話展開を志向するのか、といった発話文の命題内容の事柄の領域と談話展開の関わりを示すのが、発話連鎖効力である。

本研究では、母語場面の会話データの用例を分析し、領域別に使用されるネ、ヨ、ヨネが持つ発話連鎖効力をまとめた（崔 2015c）。結論を先に提示する形となるが、筆者が分析した発話連鎖効力には3通りがあり、それぞれの発話連鎖効力の名称を「要求系の発話連鎖効力」、「提示系の発話連鎖効力」、「表明系の発話連鎖効力」とし、以下のように定義する。

要求系の発話連鎖効力

命題内容に不確実性・疑問性を付与し、聞き手の応答を求めることで後続する談話進行を協調的に展開する。単なる相づちではなく、実質発話としての応答を要求する

提示系の発話連鎖効力

命題内容にテーマ性を付与し、後続する談話進行を主導的に(場合によって一方的に)展開する

表明系の発話連鎖効力

(先行発話を基に)命題内容に結論を付与し、談話進行に区切りをつけたり、話題をまとめたりする

以上の3種類の発話連鎖効力は聞き手の後続発話に対して機能するだけでなく、一連の先行発話と後続発話の連鎖を通し、話し手が志向する談話進行の特徴や方向性を含む。具体的になぜこのような発話連鎖効力が認められたかは、後に4章で用例を基に詳しく記述する。

3.2 学習者の中間言語分析のアプローチ

この節では、まず接触場面研究の必要性を述べてから、NNSの中間言語の分類を行う。

3.2.1 接触場面研究のアプローチ

日本語教育において接触場면을対象にした研究が求められることは、今や学界の常識とさえ言えるだろう。ところで、接触場面の概念が日本語教育に導入されたのは、1981年の日本語教育45号「外国人の日本語の実態」という特集号に掲載された7編の接触場面研究の論文(ネウストプニーの論文が中心)からだと言われる。その巻頭論文において、ネウストプニーは接触場面研究の必要性を以下のように述べている。

日本語教育の目的が、日本語を外国人の話し手に使わせることにあるなら、外国人の話し手が実際に日本語をどのように使っているかを研究してみる価値があるはずである。ネウストプニー(1981:30)

このように接触場面研究は母語・母文化が違う相手とのインターアクションの視点を重視することで、発展してきた分野である。第二言語習得の研究が、NNSの言語分析から発達し、NNSの使用言語のメカニズムを含めた様々な実態を解明しようとする視点を持つものに対して、接触場面研究はNSとNNSのコミュニケーションの中で起きる問題に重点が置かれていると言えよう。接触場面の概念が日本語教育学界に登場する以前においては、日本研究は外国の要素は基本的に重要視されておらず、日本語の母語場面に関する研究が中心であった。そこから得られた成果が、日本語教育学界に直接還元されてきたと言える。このような日本語教育研究の実態に対して、ネウストプニーは母語場面研究による問題点を指摘し、接触場面研究を取り入れる必要性を提起したのである。ネウストプニー(1981)は「外国人話者が日本語とはじめて接触するのは、ほとんどの場合、このような「外国人場面¹⁰⁾ (foreignuser situation)の一ケースの教室場面であるし、その後の数年間、外国人場面にしか参加しないであろう」と指摘し、その場面に参加している外国人話者が、NSによって「準母語話者」として認められない限り、接触場面から抜け出すことは難しいと指摘し、NSと外国人(非母語話者)の実際のインターアクションを重要視する必要性を提起している。

このような接触場面は母語場面とは異なる特徴を有している¹¹⁾。例えば、フォリナート

¹⁰⁾ 接触場面の用語は、当初は外国人場面とされていた。

¹¹⁾ 例えば、接触場面には、foreignNSpeaker(外国人話者)が含まれていること、semanticuncertainty(意味の不確かさ)やswitching(切り替え)が発生することなどが特徴として挙げられる(Neustupný1974)。

ーク¹²などの、会話参加者による会話の調整行動は接触場面の特徴の一つとして知られるが、このような調整行動を伴う接触場面は母語場面の視点からではなく、接触場面の場面性やそこに参加する会話当事者(母語話者と非母語話者)の視点から考察を始める必要性が、これまでの接触場面の研究成果を通して徐々に明らかになりつつある。

しかし、従来の第二言語習得研究における誤用分析やNNSの中間言語分析は、以上に述べたような接触場面研究が持つ視点が不足していたため、NNSの言語分析を実際の接触場面のインターアクションから切り離して扱う研究が大半だったと言える。本研究では、こういった従来の第二言語習得研究の在り方を批判的に捉え、NNSの言語を分析するに当たっては接触場面の場面性、NSとの実際のインターアクション(相互行為)を重視しながら、その中でNNS言語の働きと習得の問題を考察するべきだと考えている。よって、本研究は第二言語習得研究の側面を持つと同時に、接触場面研究としても位置づけられる。

3.2.2 学習者の終助詞ネ、ヨ、ヨネの中間言語の分類

第二言語習得の分野においては、誤用分析の限界が徐々に明らかになる中で、NNSの言語体系を研究対象として扱うことの必要性が指摘されるようになった。Selinker(1972)は、母語が異なるNNSから類似した誤用が確認されるという状況に対して、第二言語学習者には母語に影響されない、共通の言語体系が存在すると指摘した。そしてNNSは学習者特有の言語体系「中間言語(interlanguage: IL)を有しており、習得の段階に応じてその体系は変化するとした。本研究でもNNSの誤用だけに注目するのではなく、正しく使えているケース(正用)も含めた考察を進めたい。そしてNNSの言語全般を中間言語として捉えることで、その実態を明らかにしていく。その際、先行研究で挙げた市川(2010)、高・崔(2015)、高(2016)の成果を参考にした。

本研究ではNNSの終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用を、(目標言語に近づける)「正用」から段階的に、明らかにNSより多く使用する「過剰使用」、文法的には問題ないが文脈を考慮してみると「不自然な使用」、「文法的・意味的誤用」、使用回避等による「不使用」といった

¹² 接触場面の参加者による調整行動の面からみると、日本語を使ったコミュニケーションの場合、日本語NSが非母語話者に対して、自分の日本語をモニターしながら調整する話法ということができる。こういう調整話法が採用される理由としては、簡略化された日本語を使うことによって、非母語話者の理解を促進させるという伝達上の配慮のほか、接触場面で起きるコミュニケーション問題を回避するための調整行動としての機能もある(宮崎 2003: 838、応用言語学辞典より)。

の5つの種類に分類して捉える。この分類は一見従来の誤用分析の枠組みを参考にしているように見えるが、本研究では従来の分析方法を踏襲するものではない。本研究の統合的機能分類の視点に立ち、命題内容の事柄の領域から捉える文法性、発話連鎖効力から捉える談話性、さらに機能の使用頻度の分析結果も加えた3つの側面から、中間言語を体系的に捉え直す。以下の表1は、本研究でNNSの終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用を中間言語の視点から分類したものである。

表1：NNSの終助詞ネ、ヨ、ヨネの中間言語の分類¹³

中間言語の種類	文法性 (領域の側面)	談話性 (発話連鎖の側面)	使用頻度
① 正用	○	○	○
② 過剰使用	○	○	△
③ 不自然な使用	○	×	-
④ 誤用	×	×	-
⑤ 不使用	-	-	△

上の表1におけるネ、ヨ、ヨネの中間言語の種類は、それぞれ次のように定義する。

① 正用

統合的な機能分類に沿った使用で、母語話者の使用、即ち目標言語に近い使用を正用として捉える。つまり文法性、談話性、使用頻度の3つとも逸脱を感じない使用である。

② 過剰使用

統合的な機能分類を基に捉えた場合、領域の視点からも、発話連鎖効力の視点からも、適切な使用として捉えることができるが、使用頻度においてはNSと比較して過剰な使用傾向がみられるものである。過剰使用は正用の一部として捉える。

③ 不自然な使用

終助詞が使用された発話文だけをみると逸脱しているとは感じないが、談話レベルに拡大し、発話連鎖の視点から捉えた場合、不自然に感じるもの、即ち談話性における機能を逸脱しているものである。従来の誤用分析において文法的には間違っていないが、文脈を考慮して捉えるとなんとなく不自然に感じる使用を含む。

④ 誤用

¹³ ○：自然/適切な使用、△：不自然・違和感はあるが、逸脱とは言い切れない使用、×：機能の逸脱、-：考慮の対象外

誤用は終助詞の使用により発話文が文法的に、または意味的に逸脱するものである。誤用の中には、終助詞の使用が必須であるにも拘わらず、使用しなかったために発話文が逸脱したものも含む¹⁴。

⑤ 不使用

終助詞の使用が必須ではなく任意である場合、適切な頻度で使用することで、相手に対して配慮した話し方になり、円滑な相互行為になりやすい。だが、これに対して極端に使用が少なかった場合を不使用の問題として捉える。

以上挙げた NNS の中間言語の分類のうち、①～④は学習者が使用した終助詞ネ、ヨ、ヨネに対して捉えたものである。一方で、学習者は終助詞の習得が進んでいない、または使用を敢えて避けたい等の原因から使用回避の問題が生じる。この使用回避の問題において、使用が必須なのに不使用となった場合に関しては④誤用として分類し、使用が任意で使用したほうがより好まれるのに不使用になった場合は⑤不使用の問題として捉える。

また、以上の NNS が使用した終助詞のうち、①正用のほか、②過剰使用として捉える使用は使用頻度における問題であるものの、本研究の統合的機能から捉えたとき機能の逸脱は生じていないものである。

第 5 章の NNS の統合的機能分類の使用実態の結果(5.2.2 の表 14)は、機能の逸脱をしていない①正用と②過剰使用を対象にしたものである。また、正用を除く他の 4 種類は、従来の誤用分析の枠組みだと、学習者が抱える終助詞の言語問題となるため、この 4 種類に対しては、学習者の言語体系を示す「中間言語」という用語と区別し、「言語問題」という用語を用いて記述を行う。

3.3 分析データの概要

本研究では母語場面の会話データは宇佐美まゆみ監修(2011)¹⁵の「BTSJ による日本語話し言葉コーパス(トランスクリプト)」を活用した。一方で、接触場面のデータは実際に調査を行った。

¹⁴ 市川 (2010) は膨大な数の NNS の誤用の用例を集め、「脱落」、「付加」、「誤形成」、「混同」、「位置」、「その他」の 6 つのタイプに分類している。本研究では中間言語の種類の中の機能の逸脱である③不自然な使用と④誤用を捉える際に、市川の誤用分類を参考にした。詳しくは 6 章の 6.3 「不自然な使用」と 6.4 「誤用」で後述する。

¹⁵ http://www.tufts.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj_corpus_explanation.htm 参照

3.3.1 母語場面のデータ—BTSJ コーパス

BTSJ コーパスは宇佐美(2011)の基本的な文字化原則に沿って、意味内容がすぐに理解できるように漢字仮名まじりで文字化された日本語話し言葉のデータベースである。

「BTSJ による日本語話し言葉コーパス(トランスクリプト)」(以下 BTSJ コーパスと記す)は 294 の相互作用の会話から構成されている。会話の総時間は 67 時間 21 分 39 秒、総語数は、789,190 語である。そのうちの約 30%(20 時間分)の会話には、プライバシー保護処理をした「音声資料」がトランスクリプトとともに提供されている。BTSJ コーパスでは全会話で、発話の重なりや沈黙、割り込みなどの情報が記述されているため、会話の文脈や状況を視覚的に捉えることが可能という利点がある。また、それぞれの会話の場面(初対面または知人場面)、話者の属性(性別、年代層、職業など)、会話の種類(雑談か、インタビュー、ロールプレイ、電話会話等)など、会話データの細かい特徴がトランスクリプトに詳細に記録されているため、分析に用いる際の参考にもなる。

以上のことから、本研究では BTSJ コーパスのデータのうち、音声付きの 2 者間の初対面会話 6 つのデータを抜粋¹⁶し、終助詞の機能分析を行うための母語場面のデータとして用いた。音声付きのデータに限定した理由は、終助詞のイントネーションや発話の連鎖等を考慮し、終助詞を「文」ではなく、「発話」の中で捉えるためである。また、初対面場面のデータを選んだ理由は以下である。文末スタイルが普通体か丁寧体かによって、言葉遣いによる相手に示す配慮の度合いが異なり、終助詞の使用・働きが異なると推測されたため、一般的に丁寧体で会話が行われる初対面場面を選択した。本研究で扱う母語場面の 6 つの会話データはいずれの会話も「です・ます体」をベースにした会話となる。終助詞の使用は「年齢」「性別」「親疎関係」等に影響されるという指摘もあるが、本稿では主に機能分類の研究に焦点を当てるため、これらの要素と終助詞の使用の関係については考察を行わないことをあらかじめ断っておきたい。

6 つの会話データの録音時間は計 98 分 40 秒、用いたデータは性別の組み合わせは統一されておらず、4 組は女性同士、1 組は男性同士、1 組は男女の会話である。4 組の女性同士のうち、1 組は年代が違うペアで、その他は同年代のペアである。文字化されたトランスクリプトはライン(行)番号、発話文番号、話者名を含め、原則としてコーパスのまま

¹⁶ BTSJ コーパスには一人の話者が複数の人と会話を行ったデータが一部ある。本研究では抜粋した 6 つのデータは全員それぞれ異なる話者 12 人による 6 ペアのデータである。

使用したが、発話文番号に関してのみ、文末につく終助詞を分析するための必要性から 1 発話文の再認定や 1 発話文を分解し、2 つのラインにして示した箇所もある。

母語場面のデータの詳細を表 2 にまとめる。一番前にデータの出所である BTSJ コーパスにおける番号を載せ、本研究では母語場面データ先頭の番号にして示した。

表 2：母語場面の会話データ

データ 番号	BTSJ 番号	話者 1			話者 2			録音 時間
1	177	BM01	男	年上	YF01	女	年下	16 : 49
2	251	J1	女	同年代	J2	女	同年代	15 : 39
3	254	J3	女	同年代	J4	女	同年代	14 : 52
4	191	JBF01	女	同年代	JSF2	女	同年代	16 : 27
5	194	JOF01	女	同年代	JBF02	女	同年代	18 : 32
6	199	JSM01	男	同年代	JSM02	男	同年代	15 : 44
								98 : 40

3.3.2 接触場面の調査

接触場面のデータは実態に調査を行ったので、その調査概要について説明する。

(1) 調査の目的

本稿では NNS の終助詞の用例を集めた誤用分析ではなく、実際の接触場面の相互行為における終助詞の働きと、NNS の習得時における問題を捉えるために、実際の接触場面での自然な会話を収録した。終助詞の習得は、教室における教師からのインプットによる部分よりも、実際の NS との接触体験を通じたインプットによって習得される部分が多いとの指摘がある(尾崎 1999、高・崔 2015、崔 2016 など)が、まだまだ十分なデータを取り扱った研究は不足している。そこで本稿では NNS の終助詞の習得、その使用の特徴をより明らかにするために、NNS の滞在期間を一定期間に限定せず、さまざまな滞在期間を持つ NNS を対象として会話データを収録し、最終的に 18 組の接触場面の会話データを分析対象とした。

終助詞が会話の中で使用される頻度やその役割は、日本語の特徴の一つとされ、その機

能も多様で複雑である。このような日本語の終助詞は他の言語にはあまり見られない文法的特徴であるため(益岡 1991)、日本語教育においては NNS の母語を問わず、終助詞の習得は普遍的に難しい項目とされている。本研究では母国語を問わず、広く多様な言語を母語とする NNS の終助詞の習得実態を把握するために、NNS の国籍を限定せず、さまざまなデータを集めることを重視した。それは多様な出身地域の多様な母語・第 1 言語の話す NNS を対象に、終助詞の習得、その使用に見られる問題・傾向を分析・考察するためである。

また、調査の場面を全て初対面場面に設定した。

(2) 調査の協力者

本調査の協力者は、NS18 人、NNS18 人で計 36 人¹⁷であり、全員 T 大学に在籍する学生である。NS は学部生が 13 人、修士課程が 4 人、博士課程が 1 人である。NS の出身地は日本の全国各地であるが、使用する日本語は共に標準語である¹⁸。一方で、NNS は学部生が 7 人、修士課程が 8 人、博士課程が 3 人である。NNS の国籍は中国、韓国、タイ、ドイツ、インド、トルコ、フランス、マレーシア、モンゴル、インドネシア、ベトナム、ネパールの 12 か国で、NNS の母語の種類は 11 種類があった。

日本における滞在期間は一番短い 3 カ月から一番長い 9 年まで幅広い。NNS の中には、T 大学と提携した海外の大学から 1 年間の短期留学プログラムで来日した留学生が 5 名、T 大学の入試を受けて在籍している留学生が 13 名である。本研究の接触場面の調査では、様々な NNS の終助詞の習得と使用の特徴を広くみるために、NNS の滞在期間の長さを一定な期間に統一せず、短期から長期まで幅広く調査した。そして、滞在期間の長短により 3 つのグループ、即ち 1 年半未満は短期グループに、2 年以上 4 年未満は中期グループに、5 年以上は長期グループに分けて使用をみた。滞在期間の長短の差が、ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の使用において、どのような相違点が見られるかを探り、中間言語の特徴を母語場面の NS' と横断的な比較を行う。

¹⁷ 調査は 20 組行ったが、データ 13 とデータ 20 は音声不良のため、文字化が難航し、データとして使用できなかった。

¹⁸ NS の NS12 は日本生まれで日本国籍だが、小学校から高校まで韓国で教育を受け、大学から再び日本に戻っている。本人の自己報告では第一言語及び母語は日本語であるとしているため、本研究では日本語 NS として扱う。

NNS の日本語学習歴に関しては、自国にいる時から日本語を学習するケースが多いため、滞在期間と必ず一致するとは限らない。また NNS の日本語能力に関しては、NNS の自己報告によると「日本語 N3」に合格した者が 1 名、「日本語 N2」に合格した者が 5 名、「日本語 N1」¹⁹に合格した者が 11 名、未受験か不合格で検定資格を持っていない者が 2 名である。今回の NNS は全員高校や大学において、体系的に日本語教育を受けた者であり、独学や自然習得を通して日本語を身に着けた NNS はゼロである。

次の表 3 は 18 組の調査協力者を整理したものである。年齢に関しては、年代として表記した。例えば 20 歳～25 歳は 20 代前半と捉え、「20 前」と記した。同じく 10 代後半²⁰は「10 後」と記した。

表 3：調査協力者の内訳

滞在期間	データ	NNS	性別	年齢	身分	出身地	母語	滞在期間	学習歴	検定試験
短期	1	NS1	男	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS1	女	20 前	修士	中国	中国語	3 ヶ月	5 年	N1
	2	NS2	女	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS2	男	20 前	学部	タイ	タイ語	4 ヶ月	3 年	N2
	3	NS3	男	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS3	女	20 前	学部	中国	中国語	8 ヶ月	3 年	N1
	4	NS4	男	10 後	学部	日本	日本語			
		NNS4	男	20 前	学部	ドイツ	ドイツ語	8 ヶ月	3 年	N3
	5	NS5	女	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS5	女	20 前	学部	インド	マラティー語	1 年	5 年	N2
	6	NS6	女	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS6	女	20 前	修士	フランス	フランス語	1.5 年	5 年	N2
中期	7	NS7	男	20 前	学部	日本	日本語			
		NNS7	女	20 前	修士	中国	中国語	3 年	6 年	N1
	8	NS8	女	10 後	学部	日本	日本語			

¹⁹ 国際交流基金と日本国際教育支援協会が運営する日本語能力試験である。N1～N5 までの 5 つのレベルがあり、一番やさしいレベルが N5、一番難しいレベルが N1 である。

²⁰ 10 代後半の NS4、NS8、NS17 は 3 人とも 19 歳である。

		NNS8	女	20 前	学部	韓国	韓国語	3 年	6 年	N1	
	9	NS9	女	20 前	学部	日本	日本語				
		NNS9	男	20 後	修士	トルコ	トルコ語	3 年	3 年	無 ²¹	
	10	NS10	女	20 前	修士	日本	日本語				
		NNS10	女	20 後	修士	中国 ²²	中国語	3 年	8 年	N1	
	11	NS11	女	20 前	学部	日本	日本語				
		NNS11	男	20 後	修士	中国	中国語	3.5	7 年	N1	
	12	NS12	女	20 前	学部	日本	日本語				
		NNS12	男	20 前	学部	マレーシア	マレー語	3 年	5 年	N2	
	長期	14	NS14	女	20 前	学部	日本	日本語			
			NNS14	女	20 後	博士	中国	中国語	5 年	9 年	N1
		15	NS15	女	20 前	修士	日本	日本語			
NNS15			女	30 前	博士	インドネシア	スンダ語	5 年	5 年	N1	
16		NS16	女	30 前	修士	日本	日本語				
		NNS16	女	20 後	修士	モンゴル	モンゴル語	6 年	9 年	N1	
17		NS17	男	10 後	学部	日本	日本語				
		NNS17	男	20 前	学部	中国	中国語	7 年	7 年	N1	
18		NS18	男	20 後	博士	日本	日本語				
		NNS18	男	20 前	修士	ベトナム	ベトナム語	7 年	7 年	N1	
19		NS19	男	20 後	修士	日本	日本語				
		NNS19	男	30 前	博士	ネパール	ネパール語	8 年	8 年	無	

(3) 調査方法

本調査は2015年10月から2016年6月にかけて、千葉県内のT大学の一室を借りて行われた。筆者ら事前に協力者のNSとNNSに調査の依頼をした。初対面同士の会話を収録するために、2人が互いに面識がないことを確認した上でペアを組むようにした。また、年齢差学年の差による上下関係をなるべくなくすために、年齢・学年が近い協力者同士をペアに組むように心がけたが、やむなくデータ14のように学部生のNS14と博士のNNS14が

²¹ NNS9は「日本語N2」の試験を済み、調査当時は結果待ちであった。

²² NNS10は中国の少数民族のモンゴル族で、母語はモンゴル語だが、第1言語は中国語である。

ペアになったようなケースもある。また、NNSの場合は日本の大学機関に入るために日本語学校などを経ることが多く、同じ学年であっても年齢がNSより上になる場合も多い。その一方で、性別要因に関しては接触場面での終助詞の使用においては、ほとんど影響を及ぼさないものと判断し、性別の統一は行っていない²³。

会話収録の際には、筆者が事前に約束場所で2人の協力者を出迎え、調査を実施する部屋まで案内した後、調査説明を行った。協力者には具体的な研究目的は明かさず、「接触場面の会話の研究をする」とだけ伝え、20分間の自由会話をするように指示した。会話は普段の初対面での会話を想定して行うように指示し、話題に関しては協力者に任せた。ただ、万が一話題が途切れて会話が続かないケースに備えて、筆者は口頭で次の5つの話題を提示している。①専門や研究テーマ、②好きな食べ物、③趣味、④旅行、⑤アルバイト、これらである。これらの話題を提供したのは、なるべく協力者の2人が共有できる話題を中心に会話を進めたほうが、終助詞が現れる発話内容が偏らないと考えたからである。実際に収録された会話データの中には、話題が途切れるような場面が一瞬みられたものもあった。ただ、協力者同士で速やかに何らかの話題を作って会話を進めていたので、長い沈黙や滞りが生じたデータはなく、普段の初対面場面の会話に近い会話が行われたものと認識している。なお、会話収録後に協力者全員に対して会話の印象を尋ねたところ、特に調査を意識せずに自然な会話ができたと回答を得た。よって、今回の調査では日常の自然会話により近い初対面場面の会話データが収集できたと思われる。

調査はICレコーダーによる録音と、ビデオ・カメラによる録画を同時に行った。またデータの扱い方に関しては、全ての調査者対象者の協力を得て、筆者が作成した同意書にサインをしてもらった。調査の際に協力者の座る位置は斜め向かい合わせにし、ビデオ・カメラは2人の上半身が映るように設定した。また、ICレコーダーは協力者がなるべく意識しないように少し離れた場所に設置した。

以上のセッティングが済んだ後、調査者である筆者は退室し、調査室がマジックミラーを通して見える別室で会話の様子を観察しながら待機する。調査の設定時間である20分間が経過した時点で、調査者はロックをして入室し、会話収録を終了させた。

(4) 文字化方法と分析対象の抽出

²³ 調査終了後、18組のペアの協力者全員に会話収録中に年齢や学年の差による上下関係と、性別の違いにおいて意識したかどうか確認を行ったところ、協力者全員から意識していなかったという回答を得た。

調査で収録した会話データは、一律20分間に統一し、宇佐美(2011)の基本的な文字化の原則に基づき、文字化を行った。18組の会話データを文字化した時間は計360分間である。文字化は主にICレコーダーで録音した音声データを基に行い、ビデオ・カメラによる動画データは分析の際の参考データとした。

接触場面において分析対象となるネ、ヨ、ヨネも 3 章の母語場面の分析と同様に、NS と NNS のネ、ヨ、ヨネの使用が見られた発話文と、その前後の発話連鎖をもとに終助詞の機能を分析した。なお、母語場面の分析時には「そうですね」などの、相手の発話と重なって相づち的発話として用いられた終助詞は分析の対象外にした。ところで、接触場面の会話は母語場面とは異なり、会話が比較的ゆっくりとしたペースで行われる特徴がある。そのため、「そうですね」「そうですよね」等の発話は相手の発話と重ならず、話者交代の形で現れるケースが多く見られた。特に NNS の場合は、「そうですね」を定型表現として習得し、様々な場面で用いることが確認できる。このような点を踏まえ、接触場面の分析においては、これらの「ソウ類」の発話に使用される終助詞を単純に排除することは難しいと判断し、実質的発話の機能を果たすソウ類の発話は分析対象に加え、ソウ類の発話に使用される終助詞ネ、ヨ、ヨネを分析対象にする。具体的には、質問に対する応答の発話や、同意を求める発話に対して同意を示す場面で実質的発話として使用され、聞き手との発話連鎖に直接関わるようなソウ類の発話は分析対象とする。なお、その際ソウ類の発話に対する領域判断は、発話の目的とソウ類の発話に関わる発話連鎖をもとにして、「そう」が指す事柄を判断しながら領域の分類を行う。

その一方で、本研究で分析対象としなかったものは間投詞的用法(例えば「あのね」「ちょっとね」)、自分自身の発話を行うために使用するフィラー的用法(例えば「そうね」「そうですね」、単独で使用される感動詞的用法「ね」)は分析対象とはしない。また、ソウ類の相づち的発話の中でも、相手の発話と完全に重なったりすることで単なる相づち的発話の機能を果たすものは分析対象から外した。

以上のような文末に終助詞ネ、ヨ、ヨネが付く発話を分析対象とし、文字化資料を作成した。接触場面の音声データの文字化は宇佐美(2011)の「基本的文字化の原則(Basic Transcription System for Japanese:BTSJ)」を参考に行ったが、本研究の研究目的と研究対象を考慮し 1 発話文の認定などにおいて多少変更を加えた。では、本研究の文字化における①1 発話文の認定、②改行の原則、③中途終了発話文、1 語の発話文、倒置文が 1 発話文として認定される場合、④1 発話文として数えず、相手の発話文の途中に入れる相づち、⑤相づち発話に近い形式を成すが、はっきりとした間によって独立して現れるため 1 発話文として認定される場合について、例を挙げながら簡単に説明していく。

① 1 発話文の認定

本研究では宇佐美に従い「発話文」の定義は、会話という相互行為の中における「文」とする。基本的に、一人の話者による「文」を成していると捉えられるものを「1 発話文」とする。接触場面の会話は母語場面と異なる特徴があり、発話文が短く終わるものが多く、発話文が完了しても話者交代がされないまま、次の発話文が連続して産出される場面がよく見られる(例 1、例 2)。その場合は、発話文ごとに 1 発話文として数える。例 12 のように文末に終助詞が用いられる場合は発話文ごとに 1 回使用されると数える。接触場面の会話は発話文が短い発話が多く、そのため母語場面に比べると 1 分当たりの発話文数が多くなりがちである。

例 1

29	28	*	NNS1	だから、その日本語勉強しています(ふーん)。
30	29	*	NNS1	今は、比較文学と世界文学という(ほー)の専門を勉強しています。

例 2

448	435	*	NNS12	ええ、またはまあ、ポライトネスとか、れ、礼儀の面ですね(うーん)。
449	436	*	NNS12	まあ、中国人よりレベルが高いと思いますね(あー)、ええ。

② 改行の原則

接触場面の会話はゆっくり進むことが多く、1 発話文の途中で相手の発話が入る場合が多い。このような接触場面の会話の特徴を示すために、1 発話文が終わっていないことを「,,」でマークし、改行して相手の発話を記入する。以下の例 3 の 46-1 と 46-2 の発話文は 2 つのラインとなるが、発話文としては 1 発話文として数える。

例 3

49	46-1	/	NNS1	いー、あの、稲毛の,,
50	47	*	NS1	稲毛[↑]。
51	46-2	*	NNS1	あの、大將軍。

③ 中途終了発話文、1語の発話文、倒置文

文末が省略されるか、言いよどむことで文末がはっきり終わっていない中途終了発話文(例 4)、倒置文の形をしているが一気に続いている発話文(例 5)、1語の発話に関しては1発話文とする(例 6)。

例 4

70	66	*	NNS1	ああ、あの、稲毛の、あの、駅のところの。
----	----	---	------	----------------------

例 5

122	112	*	NNS15	来ましたよ、2009年に。
-----	-----	---	-------	---------------

例 6

102	98	*	NNS1	湖南省。
-----	----	---	------	------

④ 1発話文と見なさない相づちとフィラー

完全に相手の発話と重なり、なお談話進行にさほど影響しない相づちは、相手の発話文の途中に入れて記入し、1発話文とみなさない(例 7)。また、言葉さがしなどに使用されるフィラー、例えば「そうですね」「あれですね」等も1発話文とせず、後続する発話に含めて記入する(例 8)。

例 7

148	142	*	NNS1	うう、甲府(うん)あの、うーん、途中です。
-----	-----	---	------	-----------------------

例 8

68	65	*	NNS2	そうですね、あのー日本にきてから、あのー日本に来てから(うん)、なんかなんでも、なんかちょっと高いんじゃないかって。
----	----	---	------	--

⑤ 相づち発話をはっきりとした間によって独立する場合は1発話文にする

接触場面では相づち発話「はい」「うん」や「笑い」等が相手の発話と重ならず、独立して現れる場合が多く、その時は1発話文として見なした(例 9)。また本研究の分析対象となる終助詞がつく「そうね/そうですね/ですね」、「そうよね/そうですよね/ですよね」

等の発話が相手の発話と重ならず独立した発話文となり、且つ相手の発話に対して応答の機能や反応を示す機能を持つと判断された発話は1発話文と見なした(例10)。

例 9

179	171	*	NS2	ああ。
180	172	*	NNS2	はい。

例 10

107	99-2	*	NNS2	<その人の>{>}, 好みかもしれないですね。
108	101	*	NS2	そうですね。

以下の表4に文字化の記号凡例をまとめる。

表 4：文字化の記号凡例

記号	記号が意味する意味
。	1発話文の終わりにつける。
?	疑問文に付ける。「?」の後にさらに「。」を付けることで1発話文が終了したことを示す。
.,	発話文の途中で相手の発話が入った場合、前の発話文が終わっていないことをマークするためにつけ、改行して相手の発話を入力する。
/	発話文が終了していないラインは、「/」で発話文の未終了を示す。
,	日本語表記の慣例の通りに読点をつける。
,	発話と発話のあいだに短い間がある場合につける。「,」は文法的意味を持つが、「,」は短い間を示す。
=	「ラッチング」と呼び、改行される発話と発話の間(ま)が、当該の会話の平均的な間(ま)の長さより相対的に短いか、まったくないことを示す。
…	文中、文末に関係なく、音声的に言いよどんだように聞こえるものにつける。
< >{< < >{>	同時発話されたものは、重なった部分双方を< >でくくり、重ねられた発話には、< >の後に、{<}をつけ、そのラインの最後に句点「。」または英語式コマ2つ「.,」をつける。また重ねた方の発話には、< >の後に、{>}をつける。

【 【 】 】	第1話者の発話文が完結する前に、途中に挿入される形で、第2話者の発話が始まり、結果的に第1話者の発話が終了した場合は、「【 【】 】」をつける
[]	文脈情報。(アクセント、声の高さ、大小、速さ等)
()	短く、特別な意味を持たない「相づち」は、相手の発話中の最も近い部分に、()にくくって入れる。
< >	笑いながら発話したものや笑い等は、< >の中に、<笑いながら>、<2人で笑い>などのように説明を記す。一方で、笑い自体が何かの返答になっているような場合は1発話文となる。
###	聞き取り不能であった部分につける。
↑→↓	イントネーションの上昇、平板、下降を表す。
「 」	トランスクリプトを公開する際、固有名詞等、被験者のプライバシーの保護のために明記できない単語を表すときに用いる。

第4章 理論的枠組みの考案—終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能

第4章は、本研究の理論的枠組みを考案する章となる。前述の3.1「終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類のアプローチ」で定めたアプローチを基に、BTSJコーパスの6つの母語場面の初対面会話のデータから集めたネ(181回)、ヨ(74回)、ヨネ(112回)の使用例を分析し、ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類を行う。

4.1 機能分類の手順

機能分析の手順について簡単に説明しておく。

分析の出発点としては一番上位レベルと捉える文法的側面を切口にし、話し手が命題内容の事柄の領域によって、ネ、ヨ、ヨネを使い分けていることに注目する。その後、それぞれの終助詞による発話機能が、談話レベルにおいて要求系、提示系、表明系のどの発話連鎖効力の特徴を持つかを、母語場面の合計367回の使用例を基に分析してまとめた。4章では1つずつ用例を掲載して記述を行っているが、統合的機能分類表を考案するために、全ての用例を観察した。分析の結果、終助詞ネ、ヨ、ヨネは計11種類の機能に分類され、うちネが5種類、ヨが3種類、ヨネが3種類に分類された。

次節から11種類の機能の用例を挙げ、終助詞が使用される発話の「命題内容の事柄の領域の捉え方」、終助詞の使用によって生じる「文レベルの発話機能」を指摘し、発話機能では説明できない限界も指摘する。その後発話連鎖の特徴を基に、談話レベルで働く発話連鎖効力を指摘し、統合的機能の定義を行う。

4.2 命題内容の事柄が聞き手領域の場合

命題内容の事柄が聞き手領域の場合、終助詞ネ、ヨ、ヨネは要求系、表明系の発話連鎖効力が認められ、提示系の発話連鎖効力を持つ機能は見られなかった。要求系の発話連鎖効力を持つ機能として、(その場における)確認要求のネ①とコメントの受入要求のネ②²⁴、行動要求のヨ①が分類された。また、表明系の発話連鎖効力を持つ機能として、一致を表明するヨネ①が分類された。同じ種類の終助詞がいくつもの機能に細分類されるため、機能を分かりやすく示すために、通し番号を付けて表記する。

²⁴ 受入要求は要求系であるが連鎖効力が弱い特徴がある(後述)。

4.2.1 要求系の機能

ではここでもう一度要求系の発話連鎖効力について確認しよう。

要求系の発話連鎖効力

命題内容に不確実性・疑問性を付与し、聞き手の応答を求めることで後続する談話進行を協調的に展開する。単なる相づちではなく、実質発話としての応答を要求する

(1) (その場における)確認要求のネ①

まず、ネの機能として確認を行う機能(大曾 2005 等)があることは周知のとおりであるが、そのような確認を行うネを発話連鎖効力の視点からみると、談話上でどのような特徴を持つのだろうか。

例 11(データ 4)

行	話者	発 話 内 容	領域	連鎖
235	JBF01	船どれくらいかかるんですか?。		
236	JSF02	船はね、船はねすぐ着くんですけど、(うん)なんか停泊してるみたいで。		
237	JBF01	あー。		
238	JSF02	こっち夕方にでて、で、行って停泊して、(あー)朝 8 時くらいに(あー)出れるって形で。		
239	JBF01	船の中泊まるんですね、じゃあ、そういうと。	聞き手	要求
240	JSF02	なんかそれもすごかったですよ、なんか。		
241	JSF02	船の、なんか船員の人が(うん)、なんか今夜一緒に飲もうみたいになって。		
242	JBF01	<船員が?><{}<笑い>。		
243	JSF02	<私たち><{}>が 5 人で行ったんですけど、女の子 5 人で行って、(うん)で、なんか船員の人がこう集まってる場所みたいなのに(うん)“おいでおいで”って言われて行って、		

		で、ビールとか海苔とか食べて<笑い>。		
--	--	---------------------	--	--

上の例は JBF01 が JSF02 に対し、船で韓国に行くことについて聞き、JSF02 が答える場面である。239 行目の JBF01 の発話「船の中泊まるんですね、じゃあ、そういうと」の「ね」がネ①に当たる。まず、当発話²⁵の命題の「船の中に泊まる」主体は聞き手 JSF02 であるため、これは聞き手の領域に属する事柄である。また、当発話は直前の 238 行目にある JSF02 の「夕方にてで、で、行って停泊して、(あ一)朝 8 時くらいに(ああ一)出れるって形で」の情報提供を受け、その内容について確認を行う発話である。直後の 240 行目からそれ以降の JSF02 の発話は、直接に 239 行目の JBF01 の確認に対する直接的応答にはなっていないように見える。ただ、その一連の情報提供は「船の中で泊まった時のこと」を説明しているため、確認に対する「応答」の発話だと考えられる。そのため、ネ①の発話機能は「確認要求」と捉えることができる。大曾(2005: 8)は、ある情報が聞き手に関わる場合に用いられるネとヨネの違いについて、ネは現在の会話場面の聞き手から入手した情報を確認するのに用いられ、ヨネは会話場面以前から話し手が知っていた既得情報を確認する際に用いられるとしている。大曾の指摘は、本研究のネ①にも適用できる。つまり、確認要求の発話機能を持つネ①は聞き手の先行発話に依存した確認要求として用いられるという、先行発話との発話連鎖の特徴が見出せるからである。その一方で、大曾が注目しなかったネの後の聞き手の応答を含めた一連の後続発話をみると、確認要求のネ①は直後の聞き手の応答を期待するだけではなく、聞き手と「確認要求一応答」のやり取りを行うことで、会話を相互行為的なものにし、その後の談話進行が協調的に展開するように促している。この例で 240 行目以降の聞き手による一連の情報提供は、話し手の確認要求に答える形で、一方的な情報提供を行うのではなく、相互行為を図りながらの情報提供として談話が展開されていると考えられる。

以上から、本研究ではネ①は聞き手領域の命題内容に用いられ、要求系の連鎖効力を持ち、談話上の統合的機能としては(その場における)確認要求のネ①と定義する。

(2) コメントの受入要求のネ②

大曾(2005: 4)では聞き手領域に使用されるネのうち、相手の同意を見越した誉めなどに

²⁵ 分析対象となる終助詞を含む発話を「当発話」と呼び、他と区別する。

使用されるネは、確認とはいえず「確認用法の延長」としている。このようなネを本研究では発話連鎖効力の視点から、確認要求のネ①とより明確に区別を行いたい。

例 12(データ 2)

行	話者	発話内容	領域	連鎖
263	BM01	そうですね、そうですね。		
264	YF01	自身ができない(うん)、まあ、しないでいしょうけど。		
265	BM01	まあ、そうなんでしょうけど[声が小さい]。		
266	YF01	そうなん(あー)ですよ。		
267	YF01	あ、そうなんですか。		
268	BM01	うん《少し間》、へえ、デザインか。		
269	YF01	はい。		
270	BM01	器用なんですね=。	聞き手	要求
271	BM01	=僕なんて、美術の成績がいつも悪かったから。		
272	YF01	あ、そうですか〈笑いながら〉。		
273	BM01	できる人は羨ましい〈笑いながら〉。		
274	YF01	ははは〈笑いながら〉、あー、まあ、ちっちゃいごろからやっぱり(うん)、好きで書いていて、周りの人がだいたい褒めてくれるじゃないですか??。		

上の例は YF01 が自分の仕事について語り、その話が終わりに向かう際のやり取りである。270 行目の BM01 の発話の「ね」はネ②に当たる。まず、当発話の命題である「器用である」は聞き手 YF01 に対するコメント、または評価であるため、当然聞き手領域の事柄である。当発話の直前のやり取りでは、YF01 は自分のデザインの仕事について説明した。その話題がいったん終わり、間が生じた時に BM01 は YF01 に対し「器用なんですね」と自分の意見を伝えるコメントを述べている。このネ②を用いた発話の直後は聞き手の応答は見られず、話し手 BM01 の発話 271・273 行目の BM01 の発話は「僕なんて、美術の成績がいつも悪かったから」「できる人は羨ましい〈笑いながら〉」と自分自身に向けた発話となっている。

聞き手に対してコメントする発話は、文レベルの発話機能からすると、意志表明の発話機能として捉えられる。ところで、ここのネ②が用いられる会話の位置に注目すると、先

行する聞き手 J01 の話題が終了したため、話し手 BM01 が次の新しい話題を提供しようと、聞き手の「器用さ」に言及するコメント(褒める)の発話にネ②を用いたことが分かる。さらに、そのコメントを受けた聞き手 YF01 は、272 行目で「あ、そうですか〈笑いながら〉」、274 行目で「ははは 〈笑いながら〉、あー、まあ、ちっちゃいごろからやっぱり(うん)、好きで書いていて、周りの人が…(略)」と、「器用である」とのコメントを受け入れるかのように、談話を展開している。このようにネ②を用いて行うコメントは話し手が単に聞き手に対して意思表示をするだけでなく、聞き手に対してコメントを受け入れることを期待するとともに、その後の協調的な談話展開を期待する働きがあると考えられる。つまり、聞き手に対するコメントの発話に用いられるネ②は、文レベルでは意思表示のように見えるが、発話連鎖に広げてみると談話展開を協調的に展開させる要求系の発話連鎖効力を持つ。

聞き手領域に関わる事柄にネが用いられる事例として、普段の生活で相手の持ち物などに対してコメントをするケースがよく挙げられる。例えば「今日のワンピース素敵ですね」のような使い方がある。この場合もネを用いて単にコメントをすることが発話目的ではなく、聞き手に関する話題を作ることで、その場の談話展開を協調的に進めることに、コメントのネの働きがある。

以上から、ネ②は話し手領域の命題内容に用いられ、要求系の発話連鎖効力を持ち、談話上の統語機能としてコメントの受入要求のネ②を持つと定義する。

ここで、なぜ要求系の機能を「要求」と「受入要求」に区別したのかという問題について少し説明する必要がある。要求系の終助詞の中には、前述した情報の確認要求のネ①のように聞き手の応答を強く期待し、「質問—応答」のような隣接ペア²⁶を作るものもあれば、話し手側が単に自らの発話を聞き手に受け入れてほしいと期待するものもある。例でネ②のあとの発話をみると、聞き手の発話が後続しているわけではなく、話し手自身の発話が継続している。このように発話連鎖に着目した結果、ネ②を要求系として捉えることに疑問が生じるかもしれない。しかし、これは話し手が聞き手にコメントの受け入れを期待し、聞き手がそれを受け入れやすくするために、自分自身の情報提供を根拠として付け加えた発話連鎖である。そのため、ネ②が談話レベルにおいて要求系が持つ発話連鎖効力、即ち後続する談話進行を協調的に展開するために働くことには変わりがない。

²⁶ 隣接ペアは、2つの成分から構成される連鎖タイプで、隣接ペアの第1成分とは、例えば「質問—返答」「誘い—受け入れ(または拒否)」という連鎖タイプを構成する(西坂・訳 2012)。

(3) 行動要求のヨ①

聞き手の領域に対して言及する発話に使用されるヨは、「気づかせる・知らせる」、または「指摘」などの機能として説明されてきたが(益岡 1991)が、本研究の初対面場面では聞き手領域に対して使用するヨの使用は見られなかった。そのため、聞き手領域のヨの用例は先行研究で挙げられた用例を用いて説明を進めたい。

(相手に注意を呼び掛ける場面)

用例 1(高 2011 : 13 より)

A: あのう・・・。

B: はい。

A: かばんが開いていますよ。

B: えっ。あ、どうもすみません。

用例 2(大曾 2005 : 6 より)

SE2 : 髪の毛についているよ。

WA1 : <笑い>ありがとう。

SE2 : 衣みたいなのが。

WA1 : 衣が。

SE2 : うん。

上の用例 1 の「かばんが開いている」情報と、用例 2 の「髪の毛がついている」状況はいずれも聞き手領域の情報であるため、ここで用いられたヨは命題内容の事柄の領域から判断すると聞き手領域のヨとなる。このように聞き手領域の情報にヨを用いると、話し手のほうから聞き手に「知らせる・気づかせる」といった発話機能を持つ発話になる。このように聞き手領域に関する情報で用いられるヨについて、大曾(2005)、高(2011)等は発話内容や命題内容を中心に聞き手が気づいていない情報とし、その機能を認識していた。しかし、本研究では発話機能の分類に当たり、さらにヨ発話の後の聞き手の後続発話に注目する。聞き手の後続発話を見ると「えっ。あ、どうもすみません」「<笑い>ありがとう」となり、直前まで気づいていなかった内容を話し手の指摘を受けて、今気づいた・認識したことを示す発話となっている。つまり、ヨを用いることで話し手は聞き手が気づくべき聞き手領域の情報を「知らせる・気づかせる」だけではなく、さらに聞き手が「気づいた」ことで取るべき行動、または認識変化を期待しているのである。このようなヨが聞き手に対する応答の期待から、「要求」の発話機能を持つと筆者は考える。

ヨ①を一連の発話連鎖の中で捉えると、会話の開始部分にて、話し手側が聞き手に関する情報提供の発話の中で用いており、聞き手はその情報提供を受け、自分の認識変化を表

す発話や適切な行動を取ることで、話し手に応えている。聞き手のこういった連鎖(行動)の展開は、ヨ①を使った情報提供が単なる情報提供ではなく、話し手がわざわざ該当情報が聞き手領域のものであることを聞き手に明示した情報提供であることを示す。話し手がわざわざ聞き手領域を明示して情報提供を行うことは、その情報提供を受ける聞き手に対し、どうするべきかという判断・行動を聞き手自身にゆだねることにつながる。したがって、ヨ①は後続する談話進行を協調的に展開する働きを持つ要求系の発話連鎖効力の性質を持つと考えられる。よって、本研究では談話上の統合的機能として行動要求を促す情報提示のヨ①と定義する²⁷。

4.2.2 表明系の機能

命題内容の事柄が聞き手領域の場合、ヨネが使用されると、談話展開においては表明系の発話連鎖効力を果たしている。以下表明系の発話連鎖効力を確認してから、本研究で分類された聞き手領域のヨネの機能、一致を表明するヨネ①について用例を取り上げる。

表明系の発話連鎖効力

(先行発話を基に)命題内容に結論を付与し、談話進行に区切りをつけたり、話題をまとめたりする

(4) 一致を表明するヨネ①

聞き手領域に対して使用されるヨネは、文レベルの発話機能から捉えると、確認要求のヨネ①と区別することが難しく、両方とも確認を行う機能としてされてきたと言える。本研究では発話連鎖効力の視点から、明確に区別を行う。

例 13(データ 2)²⁸

²⁷ 認識変化の要求を含め、より広く捉えるために「行動要求」の用語を用いる。本研究で用いた母語場面のコーパス・データは全て初対面会話だったため、場面性の特徴から指摘の発話が見られないことから、行動要求のヨ①も見られなかったものと予想される。

²⁸ この用例は、4.3.3の結論表明のヨ③の説明にも用いる。そのため、15行目のヨが用いられる発話も網掛がされている。

行	話者	発話内容	領域	連鎖
10	J2	え、「J1 の名前」っていうのは、真実の「真」に(み...)、「美しい」ですか？		
11	J1	はい、真実じゃないほうです、み、「み」が。		
12	J2	あ、はいはいはいはい、あ、そうそう、真実の人もいますもんね。		
13	J1	うん、そうなんです。		
14	J2	うん。		
15	J1	よく間違っ、手紙とか来ますよ<笑い>。	話し手	表明
16	J2	あー、なるほど。		
17	J1	うん。		
18	J2	でも「J1 の苗字」はその点、多分間違えようがな、<ないですよね>{<}。	聞き手	表明
19	J1	<あ、ない>{>}ですね<笑いながら>。		
20	J2	私も「J2 の氏名」ってのは、あんまり、「くに」っていうのは、あの、なんだ、昔のソビエト連邦の「邦」の字だから、		
21	J1	ああ、はいはいはい。		

上の例は J1 の名前に使われる漢字について確認する場面である。後半の 18 行目の J2 の発話の「よね」がヨネ①に当たる。10 行目で J2 は「え、J1 の名前っていうのは、真実の「真」に(み...)、「美しい」ですか」と聞き、11 行目で J1 が「真実じゃないほうです、み、みが」と答えている。その後 17 行目まで名前で用いる漢字に関する発話が続いた後、18 行目の J2 の発話で、「でも J1 の苗字はその点、多分間違えようがな、ないですよね」と、J1 の発話に対して自分の考えを示すため、文末にヨネ①を含んだ発話を行っている。当発話の命題「J1 の名前」は聞き手である J1 に属するもののため、ヨネ①は聞き手の領域に関わる事柄に用いられている。ヨネ①の発話を受けた聞き手 J1 の 19 行目の発話を見ると、「あ、ないですよね<笑いながら>」となっており、この発話は直前の J2 のヨネを用いた発話内容を認めるものだと考えられる。

ここで前述した話し手領域の確認要求のネ①とヨネ①とを比較してみよう。まずヨネ①が用いられる場合は、この例 13 のように「今までの J1 の名前に関するやり取り」が先行

し、そのやり取り全般に対して話し手が何らかの発言を行う場合に用いられる。この点を踏まえると、聞き手領域の事柄ではあるものの、それはすでに先行発話において話し手・聞き手の両者が共有したものだと考えられるため、新しい事柄ではない。そのため、ヨネ①は聞き手に対し、聞き手領域の事柄確認のために用いられたとは考えにくい。その点から確認要求のネ①と区別される。次に、ヨネ①を使用する発話は、先行する一連の発話連鎖(J1の名前の漢字に関するやり取り)をまとめるように組み立てられる。例えば、J2はその直後の20行目で「私も「J2の氏名」ってのは、あんまり、「くに」っていうのは、あの、なんだ、昔のソビエト連邦の「邦」の字だから」と、談話の方向性を変え、自分の名前を話題にしている。即ち、ここで注目すべき点は、ヨネ①が用いられる発話の聞き手領域の事柄は「今その発話連鎖の位置」において話し手が既に把握でき、共有可能な聞き手領域の事柄であるという点である。そして、もう一つは、ヨネ①が続く発話は先行する一連のやり取りをまとめて、話題を終了へと向かわせようとしている点である。要するに、聞き手領域の命題を共有可能とするためには、共有実現が可能となる発話連鎖の上でヨネ①を用いる必要があるのである。このような談話レベルにおいてヨネ①が有する特徴は、発話連鎖を通してこそ見えてくるものである。

以上の考察から、本研究ではヨネ①は「既に把握し、共有した」聞き手領域の事柄に用いられ、表明系の発話連鎖効力を持つと考える。また、談話上の統合的機能としては、一致を表明するヨネ①と定義する。

4.3 命題内容の事柄が話し手領域の場合

命題内容の事柄が話し手領域の場合、終助詞ネ、ヨ、ヨネは要求系、提示系、表明系のいずれの発話連鎖効力も確認された。即ち、要求系の発話連鎖効力を持つ情報・意思受入要求のネ③と一致の受入要求のヨネ②、提示系の発話連鎖効力を持つ新情報提示のヨ②、表明系の発話連鎖効力を持つ結論表明のヨ③といった、4種類が分類された。

以下要求系、提示系、表明系の機能の順で用例を挙げて説明していく。

4.3.1 要求系の機能

(話し手が自らの発言が相手に伝わったか、理解されたか等)相手の理解確認を行う任意に使用するネ(大曾 2005)があるが、このようなネが使用される発話をみると命題内容の事柄が話し手領域に分類される。本研究では次の情報・意志受入要求のネ③と捉え、談話上

における統合的機能を指摘する。

(5) 情報・意思受入要求のネ③

例 14(データ 2)

行	話者	発話内容	領域	連鎖
346	J1	すっごく、いびつなクエスチョンマークになるんだけど[笑いながら](<笑い>)、だんだんやっているうちに(うん)、なんか、うまくなっていった<笑いながら>。		
347	J2	へえー、でもあれ、パソコンで出せるんですか、ちゃんと?。		
348	J1	出せますね。	話し手	要求
349	J2	おお。		
350	J1	そう、なんか、一応、言語、いじるところがあって、		
351	J2	うんうんうん。		

上の例は J2 が J1 にスペイン語のタイピング方法について聞く場面である。348 行目の J1 の発話の「ね」が情報・意志受入要求のネ③に当たる。347 行目で J2 は「(スペイン語のクエスチョンマークを)パソコンで出せるんですか」と質問している。その質問に対する回答で、348 行目で J1 は「出せますね」とネ③を用いている。質問の応答となる当発話の命題「(スペイン語のクエスチョンマークを)出せる」は話し手領域の情報で、文末にはネ③が用いられている。ネ③の直後の聞き手による発話をみると、349 行目で J2 の「おお」と理解を示す相づちがみられ、その後、350 行目で J1 は「そう」と反応してから、「なんか、一応、言語、いじるところがある」と、直前の「(スペイン語のクエスチョンマークを)出せる」情報をさらに具体的に説明している。

つまり、ここで J2 は J1 の質問を受け、応答をする発話にネ③を用いるが、このような話し手領域の情報提供としての発話に用いるネ③は、その情報を受けた聞き手に対し、より受け入れやすいように話し手側が働きかけ、聞き手に情報を「受け入れた」サインを出すことを期待する。349 行目で J2 の「おお」と理解を示す相づちは、話し手の働きかけに反応した理解のサインだと捉えることができる。

さらに、350 行目で話し手は聞き手の理解の相づちを「そう」と受け止め、聞き手の受け入れサインを確認してから、直前の「出せますね」の発話内容を詳しく説明する発話連

鎖の流れが確認される。このような話し手自身に関する情報提供の発話に用いられるネは、単なる情報提供ではなく聞き手の反応を期待する働きもあるとみることができる。

また、ネ③を一連の発話連鎖の観点から捉えると、話し手が聞き手の受け入れ応答を確認しつつ情報提供を展開する発話連鎖が確認できる。話し手は自らの情報提供を一方的なものとして、聞き手との相互行為的なものとして発話連鎖を形成しており、このような連鎖の特徴から、ネ③は談話進行を協調的に展開する要求系の発話連鎖効力を持つと考えられる。

以上から、ネ③は話し手領域の命題内容に用いられ、要求系の連鎖効力を持ち、談話上の統合的機能としては情報・意思受入要求のネ③であると定義する。

この例で話し手はネ③を用いることで、聞き手に対し受入要求を行っていることが見られた。しかし、ネ③はいつも聞き手のはっきりとした受け入れの応答発話が後続されるとは限らない。以下の例は、ネ③の後に聞き手の受け入れの後続発話が見られない事例である。

例 15(データ)

行	話者	発 話 内 容	領域	連鎖
62	J3	え、どんな、歴史哲学ってどんな感じですか？。		
63	J4	そーですね、えーとー歴史哲学っていうのはー(…中略)		
64	J3	なんか、そう、なんか、全然私が思った哲学と全然違う[↑](うん)って気がする。		
65	J4	そう、ね、歴史学の方法論(うん)、かな、うん。		
66	J4	哲学、純粋な哲学っていう訳じゃないんだけど(ん)、うん。		
67	J4	だけどー、そいでー今ー生懸命歴史哲学系の本読んでるんですけどー。		
68	J4	(…途中中略)		
69	J3	なんか、知ってる哲学の、人で知ってる一人、あのー知り合いの(うん)、哲学学んでる人は(うん)、全然なんか、なんだろー、なんか、去年あのー教育の授業を一つ取っていて(うん)、で、そのー班を作ってグループワークだったんですね。	話し手	要求

70	J3	でー、そしたら教育っても全然皆教育系の人はいなくて、色んな人がその班にいて、あの一、英語の一、なんだろ一、英語の専攻の人とか一(うんうん)、あと一、歴史の専攻の人とか、哲学の専攻の人とか色んな人がいて一、で、なんか、環境教育の班だったんですね。	話し手	要求
71	J3	たら、哲学の人は一環境哲学、あ、環境哲学について考えてきて一、とか色々持ち寄ってやったんですけど一。		
72	J3	うん、なんか、うん、環境哲学って言っても、うん、なぜ、なぜゴミは捨てちゃいけないか一、みたいな、そういう感じの哲学だったんですね。	話し手	要求
73	J3	だから、なんていうんだろう,,		
74	J4	あ、そうなんだ一。		
75	J3	全然だから、うん(へー)、違うな一、<哲学っていても>{<},,		

上の例は J2 の専門である歴史哲学について話す場面である。69・70・72 行目の「ね」は全てネ③に当たる。62 行目で J3 は「え、どんな、歴史哲学ってどんな感じですか」と質問し、63・65・66・67・68 行目で J4 は歴史哲学について説明をしている。その説明を受けた J3 は 69・70・71・72・73・75 行目の一連の発話の中で、自分の知り合いで歴史哲学を専門にしていた人の話題を出し、自身の歴史哲学に対する理解を述べている。69 行目の「その一班を作ってグループワークだったんですね」、70 行目「なんか、環境教育の班だったんですね」、72 行目「そういう感じの哲学だったんですね」の命題はいずれも話し手 J3 が歴史哲学に対して持っていた認識であるため、話し手領域の事柄である。これら J3 の一連の情報提供の発話には次のような特徴がある。まず、ネ③で終わる発話の直後には談話標識である 70 行目の「でー、そしたら」、71 行目の「たら」、73 行目の「だから」が見られる。談話標識によって発話権が維持され、一連の情報提供は一貫して J3 が歴史哲学に対する認識のみに関わる情報であり、情報を徐々に具体化していく展開を成している。次に、J3 の 69・70 行目の「なんだろう」、72 行目の「みたいな」、73 行目の「だから、なんていうんだろう」の発話から、J3 は歴史哲学について詳しく理解しているようには見えず、その場で考え、思い出し、整理しながら情報を提示している様が見て取れる。ところがこの例 15 では、ネ③に対する聞き手の受け入れの発話のはっきり見られない。

その理由として考えられるのは、話し手が情報提供を続けるために、素早く付け足す談話標識により、聞き手に対する「受入要求」の機能が弱まり、むしろ整理しながら展開する特徴のほうが強くなっており、後述する新情報提示のヨ②の談話展開に類似する。しかしながら、ここでヨではなくネが使用される理由は、話し手がある場で考えながら説明を展開するといった情報の不確かさのためであろう。それを聞き手にネを使用して示すということは、ここでのネも協調的な相互行為を志向する発話連鎖効力を持つと捉えることができる。

いずれにせよ、発話連鎖効力の視点で捉えると、例 14 の J1 の聞き手の応答を持って情報提供を相互行為的なものにする情報・意志受入要求のネ③も、例 15 の J3 の自らの情報の不確かさを示しつつ、考えを整理しながら説明展開をする情報・意志受入要求のネ③も、聞き手と相互行為を図ることで談話進行を協調的に展開することを志向する点では共通している。そのため、ネ③は要求系の発話連鎖効力を持つ終助詞として捉えるべきである。

(6) 一致の受入要求のヨネ②

命題内容の事柄が話し手領域の場合、上で上げた情報・意志受入要求のネ③のほか、ヨネの使用も見られた。以下用例を基に、このようなヨネはどのような発話連鎖の特徴があり、ネ③と区別されるかを説明する。

例 16(データ 1)

行	話者	発 話 内 容	領域	連鎖
213	BM01	跡地をそのまま(あー), 校舎にしたって形だったらしいですけどね。		
214	YF01	あー、そうなんですか。		
215	YF01	そんな小さい敷地内に、学生がみんな入りきったんですか?。		
216	BM01	入りきったんですよねー[声が小さくなる]。	話し手	要求
217	YF01	へー。		
218	BM01	ここ大学の規模そんな大き<くないんで><{>。		

上の例は BM01 が自分の所属する大学敷地について説明し、一通り説明が終わってから JF01 が質問をする場面である。216 行目の BM01 の発話「よね」が、ヨネ②に当たる。

215 行で YF01 は「そんな小さい敷地内に、学生がみんな入りきったんですか」と質問をしている。216 行目で BM01 はそれに対して「入りきったんですね」と応答する発話に、ヨネ②を用いている。当発話の命題「(学生がみんな)入りきる」という情報は、話し手が持つ情報であるため、話し手領域の事柄に用いたヨネ②だと捉えることができる。直後の 225 行目で YF01 の「へー」という相づち的発話が見られるが、この相づち的発話は、直前の話し手の「入りきったんですね」の発話に対し、意外さを表わす相づち的発話とみることができる。したがって、ヨネ②にはこのような聞き手の反応を期待する「要求」の発話機能があると考えられる。

発話連鎖効力の視点捉えると、その後の 218 行で BM01 は「ここ大学の規模そんな大きくないんで」と、大学の敷地に関する説明を続けている。よって、218 行目の BM01 の発話は、直前の自分の 216 行目「入りきる」ことに対して説明を与えていると言える。このように、話し手領域の事柄に用いられるヨネ②は、しばしば既に話し手が先行発話において言及し、聞き手が安易に理解できる情報であるか、または 216 行目の BM01 のように、ヨネ②を用いた発話内容に対し、説明を与える発話を付け足す後続発話を持つ連鎖が見られる。つまり、ヨネ②が用いられる発話は、先行連鎖によってサポートされるか²⁹、話し手自身の後続発話の連鎖によってサポートされるかのどちらかのケースで使用可能であるという特徴があり、ここが同じく話し手領域に属するネ③と決定的に異なる点である。このようにヨネ②が聞き手との情報の共有を図りつつ、話し手が発話連鎖を組み立てる性質を持つことから、談話進行を協調的に展開する要求系の発話連鎖効力を持つと捉えられる。よって、本研究では談話上における統合的機能として一致の受入要求のヨネ②と定義する。

一致の受入要求のヨネ②を用いる際に、話し手は聞き手との情報・意志の共有を前提に、一連の発話連鎖を組み立てており、このようなヨネ②が持つ「聞き手との一致」が示される発話連鎖の特徴は、前述の 4.2.2 の一致を表明するヨネ①も、後述する 4.4.2 の一致を提示するヨネ③も共通する、いわば結合型ヨネが共通して持つ特徴であることを指摘しておく³⁰。

²⁹ヨネ②が用いられる時の発話連鎖の特徴は、前述した一致の表明のヨネ①の連鎖の特徴に通じる部分もあるが、両者が用いられる発話の命題内容の事柄領域がそれぞれ話し手領域と聞き手領域で異なる。発話連鎖においてヨネの 3 つの機能が通じる部分があるのは、ヨネのいずれの機能も「聞き手との一致」を志向する機能の特徴にあると考えられる。

³⁰ 発話連鎖においてヨネは、後述するヨネ①とヨネ③を含め 3 つの機能には通じる部分があるが、これはヨネのいずれの機能も「聞き手との一致」を志向する特徴があるためであると考えられる。

4.3.2 提示系の機能

では提示系の機能を挙げる前に、ここでも提示系の発話連鎖効力について再度確認をしよう。

提示系の発話連鎖効力

命題内容にテーマ性を付与し、後続する談話進行を主導的に(場合によって一方的に)展開する

情報提供の発話に使用される終助詞ヨの多くは、提示系の発話連鎖効力を持ち、談話展開において使用されていた。次に説明する。

(7) 新情報提示のヨ②

例 17(データ 2)

行	話者	発話内容	領域	連鎖
61	J1	<じゃあ>{>}むしろなんか(うん)、英語学科みたいなこととかも多いんですか?。		
62	J2	そうそうそうそう。		
63	J1	へー。		
64	J2	なんか英文学科と授業の内容たまに(うん)、内容的にたまにかぶってたりするみたいですね。		
65	J1	ほお。		
66	J2	なんか、あの一、「地名」にも(うん)、言語学科ってのがあるんですよ(うん)。	話し手	提示
67	J2	でもそこいくと一、こう、英語とかメジャー言語ができなくて、あの一、なんだ、こう、どっかのフィールドワークとか行ったりするんですよ。	話し手	提示
68	J1	ほう。		

69	J2	こうなんか、アフリカの奥地とか行って…<笑い>。		
70	J1	え、フィールドワークですか、それ<笑いながら>?。		
71	J2	<笑い>なんかこう…,,		
72	J1	すごそう。		
73	J2	<笑い>なんか、なんか今までは、知られてないような言語の(うん)研究とかをやったり(へー)するようなのが、「地名」の言語学で、で、日本語についてやりたいときは、XX[地名]の国語学(うん)っていうのに行くのと、できるらしいんですよ。	話し手	提示
74	J1	ふーん。		
75	J2	うん。		
76	J1	で、ここでやるのは、だから、もっと、なんですかね…(後略)		

上の例は J2 が自分の学科について説明する場面である。66・67・73 行目の J2 の発話の「よ」は、いずれも新情報提示のヨ②に当たる。61 行目で J1 は「英語学科みたいなこととかも多いんですか」と質問している。その答えとして 62 行目から J2 の一連の発話の連鎖が続く。ヨ②を用いた 66・67・73 行目の情報提供の発話をみると、その命題は 66 行目「言語学科というのがある」、67 行目「フィールドワークとか行ったりする」、73 行目「日本語についてやりたいときは XX[地名]の国語学っていうのに行く」とできるとなっており、いずれも話し手が所有する情報であるため、ヨ②は話し手領域の事柄に用いられている。

前述の情報・意思の受入要求のネ③を述べる際、ネ③が用いられる発話には、一連の情報提供が一貫しており、J3 が歴史哲学に対して持つ認識に関わる情報につながっている点を指摘した。それと比べると、ヨ②で用いられる話し手領域の情報は個々の発話ごとに独立し、かつ、それぞれの情報が個々に各テーマ性を持ちながら順を追って提示される特徴が顕著である。66・67・73 行目の J2 の一連の発話は、いずれも自分の学科に関する説明だが、66 行目「言語学科ってのがあるんですよ」、67 行目「フィールドワークとか行ったりするんですよ」、73 行目「日本語についてやりたいときは XX[地名]の国語学っていうのに行く」とできるらしいんですよ」に対して、各発話が各自のテーマ性を持っている。その後、さらに展開が続くことを聞き手に促している。

このようなヨ②を使った用例に対する聞き手の反応をみると、J1 の発話中、68「ほう」、

74「ふーん」で相づち的発話が見られるが、これは話し手の情報提供の展開を促す相づちと考えられる。実際、J2はJ1の相づち的発話に対してさほど反応せずに、発話権を維持し続けている。したがって、ヨ②は情報・意思の受入要求のネ③のように、聞き手に「受け入れ」を期待するのではなく、自らが続けて実施する情報提供の発話連鎖の流れを、聞き手に知らせており、聞き手もまたそれを期待しているというべきであろう。

したがって、ヨ②は発話連鎖レベルでは命題内容にテーマ性(新情報)を付与し、後続する談話進行を一方向的に展開する提示系の発話連鎖効力を持つと考えられるため、談話上の統合的機能として新情報を提示するヨ②と定義する。

4.3.3 表明系の機能

話し手領域の命題内容の事柄において使用されるヨは、上の提示系の発話連鎖効力を持つ新情報提示のヨ②のほか、先行発話をまとめ、結論として情報を提示することで談話展開を終了へと導くヨがあった。このようなヨは、表明系の発話連鎖効力を持つ、次の結論表明のヨ③として分類した。

(8) 結論表明のヨ③

結論表明のヨ③の用例は4.2.2の例13を参照されたい。

例13はJ1の名前に使われる漢字について確認する場面である。15行目のJ1の発話の「よ」が結論表明のヨ③に当たる。10行目でJ2はJ1の名前に用いられる漢字について「真実の真に(み...)美しいですか」と聞き、11行目でJ1は「真実じゃないほうです、み、みが」と答えている。J1の名前に使われる漢字に関する確認が終わってから、15行目でJ1は「よく間違っって手紙とか来ますよ」と自分の名前にまつわるエピソードを伝える発話にヨ③を用いているため、ヨ③は話し手領域の事柄で使われていることが分かる。その後16行目でJ2の「あーなるほど」という発話が見られるが、このJ2の発話は直前のヨ③の発話内容を認めて承認した発話とみることができる。このような聞き手の受け発話から、ヨ③を用いた情報提示は新しい情報としてではなく、これまでのやり取りのまとめとして提示されたものと捉えるべきである。したがって、前に説明した新情報を提示するヨ②とは区別する必要がある。さらに17行目でJ1は「うん」の相づちを打つのみで、「よく間違っって手紙とか来る」という話題をそれ以上展開していない。つまり、J1の「よく間違っ

て手紙とか来ますよ」という発話は、先行する自身の名前に使用される漢字に関する一連のやり取りをまとめる方向へ持っていくための情報提供の発話であって、さらに話題展開する意思はないのである。このようなヨ③に用いられる発話連鎖の特徴から、ヨ③は(先行発話を基に)命題内容に結論部分を付与し、談話進行を終了へと向かわせる表明系の発話連鎖効力を持つ。

このような特徴を持つヨの機能は普段の会話でもよく見られる。

(聞き手に呼ばれ、返事をする場面)

A: 今忙しい? ちょっと台所へ来てくれない?

B: この手紙を書いてしまったらすぐ行くよ。 (高 2011 : 13 より抜粋³¹)

上記の用例の「よ」も結論表明のヨ③と捉えることができる。ヨが用いられた発話の命題「すぐ行く」は話し手領域の行為であり、ヨ発話が期待する聞き手の後続発話は、もっぱら承認を行う発話としか考えられない。発話連鎖の特徴をみると、ヨは先行発話に応えとともに、先行連鎖を終了(区切りを付ける)させている。つまり、結論表明のヨ③が用いられる話し手領域の情報は、それ以上展開する必要のない情報であるという特徴を持つ。同じ話し手領域のヨを、新情報提示のヨ②と結論表明のヨ③に分類した理由はここにある。即ち、新情報提示のヨ②は話し手自身の後続発話を導き、管理する提示系の発話連鎖効力を持つが、結論表明のヨ③は先行連鎖の方にかかっている、区切りをつける表明系の発話連鎖効力を持つのである。

4.4 命題内容の事柄が中立領域の場合

命題内容の事柄が話し手領域の場合は、終助詞ヨは使用がなく、ネとヨネの使用のみ確認された。一方で、発話連鎖効力としては、要求系、提示系、表明系のいずれの機能からも確認された。即ち、要求系の発話連鎖効力を持つ同意・共感要求のネ④、提示系の発話連鎖効力を持つ一致を提示するヨネ③、表明系の発話連鎖効力を持つ同意・共感表明のネ⑤があった。

以下、同じく要求系、提示系、表明系の機能の順で用例を挙げて説明していく。

³¹この用例の「よ」について、高(2011)は話し手領域に関わる「よ」として、命題内容の事柄は話し手の行為(「台所に行く」)、機能としては聞き手に直接関わる新情報告知のための<注意喚起 6>としている。

4.4.1 要求系の機能

終助詞ネの機能として最も代表的な機能が、同意を求める機能である。ではこのような同意を求めるネを、談話上における統合的機能はどうなっているかを説明する。

(9) 同意・共感要求のネ④

例 18(データ 2)

行	話者	発 話 内 容	領域	連鎖
316	J1	<フランス語>{>とったから。		
317	J2	うん。		
318	J1	もう全然英語ができなくなっちゃって。		
319	J2	ははは<笑い>。		
320	J1	今困ってる<笑い>。		
321	J2	でも、確かに、英語はやらないと忘れますね?。	中立	要求
322	J1	うん。		
323	J2	うん。		
324	J1	全然分かんない、もう(うん)。		
325	J2	もう、単語量なんて、受験の時の半分以下かな。		

上の例は J1 が英語以外の他の外国語を勉強し始めると、英語を忘れてしまうことを語り、J2 が同意を示す場面である。321 行目の J2 の発話の「ね」が同意・共感要求のネ④に当たる。316・318・320 行目で J1 は「フランス語とったから、もう全然英語ができなくなっちゃって、今困ってる<笑い>」と話し、それを受け 321 行目で J2 は「でも、確かに、英語はやらないと忘れますね」と同意を示す発話にネ④を用いている。J2 の当発話の命題「英語はやらないと忘れる」という事柄は J2 と J1 が共有する中立領域の事柄で、ネ④は中立領域の命題に用いられている。J2 の同意を示す発話を受け、J1 は 322 行目で「うん」、324 行目で「全然分かんない、もう」と J2 に対し、同じく同意を示す発話を行っている。ネに同意を求める用法があることは周知の通りだが、このようなネ④は発話連鎖レベルからすると、どのような働きがあるのだろうか。J2 は 321 行目で聞き手に対して同意要求

をし、322・324行目における聞き手の応答を踏まえ、325行目で「もう、単語量なんて、受験の時の半分以下かな」と自分の英語学習に関する情報提供を行っている。この点については西郷(2012)が指摘したその後の相互行為の展開のための「土台づくりのネ」の働きに通じる部分があると言えよう。しかし、既に上で述べてきた通り、ネがいつもこのようなはっきりとした「土台づくり」の発話連鎖機能があるとは言いにいく、西郷の指摘はネの特別な使い方でもある「いい天気ですね」のような特別な発話内容に同意を求める機能として使われる際に、より強く現れるのではないだろうか。

以上のことから、中立領域に用いられるネ④は聞き手の同意を得て、話し手がさらなる談話展開を行うことから、談話進行を協調的に展開しようと志向する要求系の発話連鎖効力を持つと考えられる。そのため、その談話上の統合的機能としては同意・共感要求のネ④と定義する。

4.4.2 提示系の機能

文レベルでみると確認要求の発話機能になるヨネを、談話レベルに拡大してみると、自らが主導的となって談話展開を行うために使用される、提示系の発話連鎖効力を持つヨネが確認された。以下用例を基に説明する。

(10) 一致を提示するヨネ③

例 19(データ 2)

行	話者	発 話 内 容	領域	連鎖
299	J1	ていうか、英語だと、ほら、活用がない、じゃないですか[↓]?,,		
300	J2	はいはいはい。		
301	J1	三人称単数ぐらいしか。		
302	J2	うん、あそう、ラテン系は難しいんです <u>よね</u> 。	中立	提示
303	J1	そう。		
304	J2	私もフランス語だけど(あ)、フランス語、活用けっこう大変だから。		
305	J1	あ、私も、二外、フランス語。		

上の例は J1 と J2 が互いに自分が習っている外国語科目について話し合う場面である。302 行目の J2 の発話の「よね」がヨネ③に当たる。299・301 行目で J1 は「英語だと、ほら、活用がない、じゃないですか」、「三人称単数ぐらいしか」と、英語が(スペイン語に比べると)習得しやすいことを述べている。その発話を受けて、302 行目で J2 は「うん、あそう、ラテン系は難しいんですよね」、「ラテン系(の言語)」という新しい事柄を含んだ発話にヨネ③を用いている。会話の中で J1 と J2 が大学で習っている外国語はそれぞれスペイン語とフランス語であることが述べられ、両方ラテン系の言語である。したがって「ラテン系(の言語)」という命題は両者のどちらにも属する中立領域の事柄であるために、ヨネ③が用いられている。

ここで前に挙げた前述の同意・共感要求のネ④の例 18 の「でも、確かに英語はやらないと忘れますね」の発話を振り返ってみよう。ネ④が付く発話の命題内容は直前の聞き手の命題内容を引き継いだ中立領域の事柄であるのが分かる。しかし、ヨネ③が付く「ラテン系(の言語)」は話し手が新たに持ち出した命題内容である。この点を押さえた上で、その後の後続発話の連鎖をみてみると、J2 は 304 行目で「私もフランス語だけ(あ)、フランス語、活用けっこう大変だから」と述べており、この発話は正に 302 行目「うん、あそう、ラテン系は難しいんですよね」を引きついだものとなっている。ヨネ③は、話し手が新しい命題内容を聞き手と当然共有できる、中立領域のものとして提示すると共に、その事柄を直接共有のものとして話題展開する発話連鎖的特徴を持つことが分かる。このように捉えると、304 行目の J1 の「そう」という発話は、302 行目の J2 のヨネ③を用いて提示した「ラテン系(言語)」に関する話題を、さらに展開するよう促す発話であることが分かる。

以上からヨネ③は命題内容が最初から聞き手と共有可能な中立領域の事柄に用いられ、発話連鎖効力はヨネ③を用いることで、その発話内容をテーマとして、さらに話題展開をしようとする点から提示系の発話連鎖効力を持つと考えられる。本研究ではヨネ③の談話上の統語的機能として、一致を提示するヨネ③と定義する。

ヨネが付く発話内容の特徴を指摘した先行研究は幾つかある。大曾(2005)は、ヨネが話し手と聞き手が共有する共通経験、多くの人によって共有される一般常識などの発話内容に付くと指摘している。これは本研究によるヨネ③の考察とも通じる。共通経験、一般常識など、中立領域の事柄を持ち出す際にヨネ③が用いられる。これらの事柄は話し手によって新しい発話内が提示された場合でも、そのまま直接共有の話題として発話連鎖が展開可能になっている。

4.4.3 表明系の機能

ネの代表的な機能として同意を求める機能と同意を示す機能が指摘され、前者は本研究では前述した中立領域の要求系の発話連鎖効力を持つ同意・共感要求のネ④に当たるが、後者は発話連鎖効力からどのように説明できるか。以下に事例を基にみてみよう。

(11) 同意・共感表明のネ⑤

例 20(データ 2)

行	話者	発話内容	領域	連鎖
235	J1	ここがじゃあ第一志望?		
236	J2	そう、ですね。		
237	J1	でも普通そうですよねえ<笑い>。		
238	J2	<笑い>多分「J2の在籍大学名」受かって、ける人ってあまり<いないしょ>{<}。		
239	J1	<あまり>{>}いないね<笑い>。	中立	要求
240	J2	でも、一応なんか、うん、補欠っていう枠は一応あるらしいですけど(ふーん)、公表はしないですけど、もちろん。		

上の例は J2 が在籍する大学に合格した場合、他大学には行く可能性がないことを話し合う場面である。239行目の J1 の発話の「ね」がネ⑤に当たる。238行で J2 は『多分「J2の在籍大学名」受かって、ける人ってあまりいないしょ』と、自分が在籍する大学に進学できた人に対する自分の考えを述べるが、この発話は同時に、J2 に対し同意を求める発話でもある。それを受け、239行で J1 は「あまりいないね<笑い>」と同意を示し、ネ⑤を用いている。当発話の命題「(ける人が)あまりいない」は直前の J2 の発話内容の一部を繰り返す形式を取っており、聞き手と共有する中立領域の事柄と捉えることができる。実際、ネ⑤が用いられる命題は事例 10 の「いないしょ」に対し、「いないね」と受けるように、先行する聞き手の発話の繰り返しや言い換え等の形式を取り、先行発話の発話内容一事柄を引き継ぐことが多い。そして、その後の 239行で J2 は「でも、一応なんか、うん、補欠っていう枠は一応あるらしいですけど(略)」と直前に行った自分の談話進行を続けている。つまり、ネ⑤はもっぱら聞き手の先行発話に対し、同意を示すことに留まり、聞き手

に対して特に何かを期待しているようには見えない。このようなネ⑤は聞き手の発話を受けて発する応答発話を期待していないため、相づち的発話に近い発話として機能している。

また、ネ⑤の発話連鎖効力に関しては、聞き手の先行発話を受けて反応しており、その方向性が先行発話にかかっていると考えられる。もし聞き手の応答を期待し、その応答を基に、その後の発話連鎖の展開を想定したものであれば、同意・共感要求のネ④として分類される。一方で、もし話し手が聞き手からの促しを期待し、その後、自らがさらに談話展開を行うのであれば、話し手は提示系の発話連鎖効力を持つ認識共有を提示するヨネ③を用いたと考えられる。この点を踏まえると、ネ⑤が持つ発話連鎖効力は、談話進行を終了へと向かわせる表明系の発話連鎖効力に最も近いと言えよう。とはいえ、その発話連鎖効力の度合いは、ネ⑤が発話機能として聞き手の応答を期待する力がほぼないのと同様に、相づち的発話も非常に弱いことを指摘する必要がある。本研究ではこれらネ⑤の談話上の統合的機能を同意・共感表明のネ⑤と定義する。

4.5 本研究の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能のまとめ

以上の論じてきた終助詞ネ、ヨ、ヨネの談話上における統合的機能をまとめると、以下の表5の通りである。

表5：終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の分類表

領域	発話連鎖効力	統合的機能
聞き手	要求	(その場における)確認要求のネ① コメントの受入要求のネ② 行動要求のヨ①
	表明	一致を表明するヨネ①
話し手	要求	情報・意思受入要求のネ③ 一致の受入要求のヨネ②
	提示	新情報提示のヨ②
	表明	結論表明のヨ③
中立	要求	同意・共感要求のネ④
	提示	一致を提示するヨネ③
	表明	同意・共感表明のネ⑤

本研究でこのような機能分類を見出したのは、命題内容の事柄の領域に関わる文法性と、発話連鎖効力に関わる談話性を統合した分析視点によるものである。表 5 にも反映しているように、終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能を統合的機能の階層関係は、文法性を担う領域の概念が上位レベルとなり、談話展開の志向性を示す発話連鎖効力はその次の下位レベルになることが明らかである。これは従来の文法的次元における意味用法による説明に絡めて考えると、従来の機能分類の課題と挙げられるネ、ヨ、ヨネの相互区別できなかつた原因は、命題のみを持って終助詞の機能を定義しようとしたことにある。言い換えると、上位レベルに留まった分析であったとも言えよう。終助詞ネ、ヨ、ヨネは、文レベルの命題または発話内容だけでは、話し手がなぜ談話の中でその終助詞を選択しているか、判断しがたい文法要素であることを指摘しておきたい。そして、統合的機能分類のアプローチにより、終助詞の機能はより短い文レベルの文法性が上位レベルになり、長い談話レベルの機能が下位レベルの機能として領域に「支配」されて、談話上において統合的に働くといった、終助詞の多様な機能が持つ階層関係は実に興味深い。

それでは上の表 5 を基に、ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類のポイントとして以下の 3 点を取り上げる。

1) 命題内容の事柄の領域からみると、ヨは中立領域の命題には使用されない

ヨは話し手領域や聞き手領域に対して、話し手の自らの意思や持っている情報などを聞き手に表明する際、聞き手の注意を喚起する形で明示的に伝えるという働きをしているが、中立領域になると、話し手が聞き手に対し注意喚起をしてまで命題の事柄を明示的に示す必要性や当為生が得られないので、即ち聞き手もすでに知っている、気付いている事柄になるので、中立領域では使われないのではないかと解釈できる。今回のデータから中立領域で使われたヨは確認されなかつた。

2) 聞き手領域に使用されるネ、ヨ、ヨネは、どれも提示系の発話連鎖効力は見られない

聞き手領域に関わる命題内容を話し手が一方的に取り上げ、それをテーマに談話を展開するといった使い方は、初対面の場面では稀なケースである。たとえ知人同士の場面でもそのような使い方がされたとしたら、それは親しさや情報の共有等ほかの文脈や要因によるもので、終助詞の機能からすると「規範的な使い方」ではなく、「変則した使い方」とみるべきである。

3) 本研究は西郷(2012)の発話連鎖効力をより発展させた

本研究の発話連鎖効力を含めた機能分類を、西郷(2012)が指摘する終助詞の発話連鎖効力と関連づけて少し説明を加えておきたい。西郷は主に終助詞の後続発話を中心に論じており、終助詞には聞き手の後続発話を導く発話連鎖効力があるとしている。一方、本研究では終助詞の後続発話だけではなく、先行発話までを含め、さらに終助詞が関わる領域と発話機能を切口に考察した結果、表明系という先行発話に向ける発話連鎖効力もあれば、自分自身の後続発話の展開に向ける提示系も見出した。

最も多くの機能に見られた要求系に関しては聞き手の応答を期待する期待の「強弱の度合い」が存在し、その度合いにより要求系の機能は「要求」と「受入要求」にさらに分類されることも明らかになった。その一方で、要求系よりは機能の種類は少ないものの、話し手自身が談話進行を一方向的に展開する提示系と、話し手が現在の談話進行に区切りをつけたり、まとめたりする表明系の発話連鎖効力の存在も明らかになり、前者は2種類、後者は3種類の機能が確認された。以上の結果からみて、西郷(2012)は終助詞ネ、ヨ、ヨネのうち、より多く見られる要求系の発話連鎖効力についてのみ指摘をしていたことが分かる。

4.6 本章のまとめ

本章では理論的枠組みを考案する章として、終助詞研究における新たなアプローチを提案し、母語場面の自然会話をデータを基に、終助詞ネ、ヨ、ヨネの談話上における統合的機能分類を行った。その結果、ネが5種類、ヨが3種類、ヨネも3種類の計11種類の機能が分類された。この機能分類により従来区別し切れなかった終助詞ネ、ヨ、ヨネの相違点をより明確にするとともに、3者に対して統一的な説明を与え、それぞれの関わりも指摘することに成功した。

統合的機能分類は、次章以降の母語場面と接触場面における終助詞の使用実態分析と、NNSの習得問題の分析に援用する理論的枠組みとなる。

第 5 章 母語場面と接触場面の使用実態の分析

第 5 章では 4 章で考案した終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能分類を用いて、母語場面と接触場面を分析した結果をまとめる。これ以降は、母語場面の NS を接触場面の NS と区別して示すため、母語場面のほうは「NS`」と表記する。

5.1 母語場面の分析結果

ここでは本研究における統合的機能分類を基に、母語場面での 6 つの会話データに使用されるネ、ヨ、ヨネを分析した結果をまとめる。

まずは、母語場面からまとめる。

5.1.1 母語場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用頻度

本研究で用いる BTSJ コーパスの発話文の認定は、宇佐美(2011)に従い、「話者交替」と「間」の 2 つの要素を基に行っている。6 ペアの会話における発話総数と話者ごと発話数、終助詞の合計と終助詞が文末中に占める割合、ペアごとに使用されたネ、ヨ、ヨネの種類別使用回数と割合を集計し、表 6 にまとめた。

表 6：発話文総数と終助詞の使用頻度

データ	発話文総数	話者別発話数		終助詞	割合	ネ	ヨ	ヨネ
1	373	YF01	194	39	20.1%	22	3	14
		BM01	179	51	28.5%	28	9	14
2	408	J1	212	14	6.6%	8	3	3
		J2	196	36	18.4%	19	9	8
3	229	J3	103	7	6.8%	4	3	0
		J4	126	13	10.3%	1	3	9
4	357	JBF01	187	32	17.1%	9	12	11
		JSF2	170	15	8.8%	4	7	4
5	384	JOF01	218	48	22.0%	30	3	15
		JBF02	166	50	30.1%	27	12	11

6	238	JSM01	105	24	22.9%	11	5	8
		JSM02	133	38	28.6%	18	5	15
合計	1989			367	20.3%	181 (9.1%)	74 (3.7%)	112 (5.6%)

表 6 の合計欄を見ると、発話総数 1989 文のうち終助詞ネ、ヨ、ヨネで終わる文は 367 文となり、全体の 20.3%を占めている。ここから NS'による初対面場面での会話中の実質的発話の文末約 2 割強が終助詞ネ、ヨ、ヨネのいずれかで終わることが分かる。ペアごとの使用回数をみると、データ 5 の話者 JBF02 は 30.1%を占め、データ 6 の JSM02 が 28.6%、データ 1 の BM01 が 28.5%を占めるなど、高い頻度で終助詞を使用している。一方で、10%未満の話者も 3 人おり、NS'の終助詞の使用には個人差があることが分かる³²。

合計欄の種類ごとの使用回数を見ると、ネが 181 回、ヨが 74 回、ヨネが 112 回使用されており、ネが一番多く、全体の半分を占めている。次にヨネが 3 割弱、ヨが 2 割強の順で使用されている。この結果は一般的に母語場面の日常会話においてネが最も多く使用されるという、従来の指摘を裏付けるものとなった。また、ヨネとヨの使用状況もある程度把握できたと言えよう。

話者別にみると、種類の使用回数において、J4、JBF01、JSF2 の 3 人を除く 9 人がネが一番多く使用している。ネの使用が極端に少ない J4 と JSF2 は、その他の種類のヨ、ヨネの使用も少なく、終助詞全体の使用回数が少ない。ヨの使用に関しては極端にヨだけ多く使用している話者はおらず、そのうちヨの使用が多かった話者は、終助詞の文末全体で 30.1%を占めたデータ 5 の JBF01 が 12 回、どの種類に関しても同程度の回数を使用したデータ 4 の JBF01 が 12 回と多くなっている。ヨネに関してはデータ 3 がやや特徴的である他、使用回数から極端に変わった点は見られない。データ 3 では J3 が全く使用していないのに対し、J4 はネ、ヨよりも、ヨネが一番多く使用しており、個人差が見られる。

³²特にデータ 6 が同年代の男性同士のデータであるのに対して、これら 10%未満の使用が見られた 3 つのデータが同年代の女性同士の会話である点を踏まえると、女性がネを好んで用いるなどの従来の指摘はやや外れたものと言える。一方で女性が好んで使用した終助詞は間投用法や感動詞、あいづちに用いる終助詞である可能性もうかがえるが、この問題に対して本研究ではこれ以上は深入りしないこととする。

5.1.2 母語場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の使用実態

母語場面のデータに使用された終助詞ネ、ヨ、ヨネを、統合的機能分類を基に分析した結果をまとめる。まず、11種類の機能が6組の会話データの中でそれぞれ何回使用されたか、その合計の使用頻度と総発話文において占める割合をまとめる。以下の表7の通りである。

表7：母語場面のNSの統合的機能の使用実態

機能	データ1		データ2		データ3		データ4		データ5		データ6		合計	割合
	YF0	BM0	J2	J1	J4	J3	JBF	JSF0	JOF	JBF	JSM	JBM		
	1	1					01	2	01	02	02	01		
ネ①	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.1%
ネ②	1	4	2	1	0	0	2	1	4	0	0	1	16	0.8%
ネ③	11	12	13	2	0	4	3	0	18	23	12	9	107	5.4%
ネ④	5	3	3	1	0	0	3	0	4	1	1	0	21	1.1%
ネ⑤	5	8	1	4	1	0	0	3	4	3	5	1	35	1.8%
ヨ①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
ヨ②	0	3	5	1	2	2	7	4	2	7	5	1	39	2.0%
ヨ③	3	6	4	2	1	1	5	3	1	5	0	4	35	1.8%
ヨネ①	3	3	2	2	5	0	8	2	9	4	4	4	46	2.3%
ヨネ②	1	6	1	0	3	0	1	1	5	5	5	4	32	1.6%
ヨネ③	10	5	5	1	1	0	2	1	1	2	6	0	34	1.7%

上の表7の結果を基に、命題内容の事柄を領域別に分けて、談話上の統合的機能がそれぞれの程度の頻度で使用されたのか、領域別の発話連鎖効力の使用傾向を考察する。以下の表8は領域別の使用状況をまとめたものである。

表8：母語場面のNSの領域別にみる使用状況

領域	使用頻度	割合
聞き手	64	17.4%
話し手	213	58.0%
中立	90	24.5%

表 8 をみると、命題内容の事柄を領域別にみると、話し手領域に使用された終助詞は 213 回で全体の 58.0% で一番多かった。その次は、中立領域に使用された終助詞が 90 回で全体の 24.5%、聞き手領域に使用された終助詞が 64 回で全体の約 17.4% と使用が一番少なかった。初対面場面の会話においては、話者が互いに自己開示をしながら会話を進めていく必要があり、話し手領域の機能が多く選択されることが容易に予想できる。その代わりに、聞き手領域と中立領域の機能が少ないのは、人間関係を確立し始める段階にある初対面場面においては、NS' が相手に配慮し、聞き手領域と中立領域の事柄を含む発話を、控えている可能性も想定される。従来、終助詞は配慮を表すモダリティ標識として注目されてきたが、本研究で命題内容の事柄を領域別に分けて、その機能を検討したことで、初対面場面においては聞き手領域、または中立領域といった一般的な配慮を示すと予想された発話文よりも、自己開示をする話し手領域の発話文の中で圧倒的に多く使用されることが分かった。

さらに、発話連鎖効力別に分けて、談話上の統合的機能がそれぞれどのような頻度で使用されているのかをみてみよう。以下の表 9 は発話連鎖効力別の使用状況をまとめたものである。

表 9：母語場面の NS' の発話連鎖効力別にみる使用状況

連鎖	使用頻度	割合
要求系	178	48.5%
提示系	73	19.9%
表明系	116	31.6%

表 9 を 3 つの発話連鎖効力別にみると、要求系の終助詞が 178 回で 48.5% と圧倒的に多く使用されている。次に表明系の終助詞が 116 回で 31.6% と続き、提示系の終助詞は 73 回で 19.9% に留まっている。要求系には 6 種類もの機能が含まれるため、そのため要求系の終助詞の使用回数が増えることは容易に予想できる。言い換えると、NS' の初対面場面において使用される終助詞の半分以上が聞き手の応答を期待しており、協調的な談話進行を展開する要求系の終助詞ということになる。表明系の機能が次に多く使用されていることから、NS' は先行発話に向けた発話も多く発しており、現在の談話進行をいったんまとめてから、次の談話に移るといった談話展開がよくなされることが示唆される。一方で、聞き手からの談話展開の促しを期待しており、一方的に談話進行を展開する提示系

の使用は少ないことがうかがえる。

では領域別にそれぞれの発話連鎖効力の終助詞が使用されているのか、以下の表 10 を通じてみてみよう。統合的機能の用語は省略する。

表 10：領域別に使用された各機能の使用状況

領域	発話連鎖効力	統合的機能	割合
聞き手	要求	ネ①、ネ②、ヨ①	4.9%
	表明	ヨネ①	12.5%
話し手	要求	ネ③、ヨネ②	37.9%
	提示	ヨ②	10.6%
	表明	ヨ③	9.5%
中立	要求	ネ④	5.7%
	提示	ヨネ 3	9.3%
	表明	ネ⑤	9.5%

表 10 が示す結果を基に、以下では領域別にどの発話連鎖機能を持つ機能が、どの割合で使用されたか説明する。

1) 命題内容の事柄が聞き手領域に関わる場合

まず、命題内容の事柄が聞き手領域に関わる場合、NS`は表明系の終助詞を要求系に比べて、倍近く多く使用している。即ち NS`は、初対面場面において一致を表明するヨネ①を多く使用していることが分かった。聞き手領域に関わる要求系の終助詞は 3 種類あるが、実際に使用されたのは、コメントの受入要求のネ②が 17 回と大半を占めた。このことから初対面場面において、NS`は相手の話題展開や話題終了の箇所で「聞き手」として協力しようとした結果、発話を行ったことが分かる。そこに談話進行を終了に向かわせる表明系の一致を表明するヨネ①と、新たな談話展開を協調的にする要求系のコメントの受入要求のネ②を使用したものと考えられる。

2) 命題内容の事柄が話し手領域に関わる場合

次に、命題内容の事柄が話し手領域に関わる場合、NS`は要求系の終助詞を圧倒的に多く使用している。中でも、情報・意思受入要求のネ③が大部分を占めており、一致の受入

要求のヨネ②は少ない。提示系の新情報提示のヨ②と表明系の結論表明のヨ③はそれほど使用回数の差がなく、要求系のネ③とヨネ②に比べると両方を合わせて半分程度にとどまる。このことから、初対面の場面において、NS'は自己開示など話し手自身に関わる内容の発話には、要求系のネ③をよく使用し、聞き手の応答や反応を求めつつ会話を協調的に展開することを求めていることが分かる。その反面、人間関係に弊害を与えかねない、一方的に会話を展開する提示系のヨ②や、先行発話のやり取りに対して結論を表明することで談話をまとめる表明系のヨ③の使用を控えていることも分かる。

3) 命題内容の事柄が中立領域に関わる場合、

最後に、命題内容の事柄が中立領域に関わる場合、NS'は提示系の一致を提示するヨネ③と表明系の同意・共感表明のネ⑤を同程度に使用しており、要求系の同意・共感要求のネ④の使用は少ない。まず多く使用した提示系のヨネ③に関しては、一般的に聞き手との共通経験や社会的常識など、当然聞き手と共有可能な中立領域の事柄に用いられる。発話内容をテーマ(話題)として話し手が引き続き談話を展開する際に用いるのだが、これが初対面の場面においては、終助詞全体の 9.3%を占めたことは興味深い。初対面の場面において、話者は自己開示を頻繁に行う一方で、話題選択においては相手と共有しやすい、世間一般の無難な話題を選択する傾向もあって、提示系のヨネ③がよく用いられたと予想される。次に表明系のネ⑤が多く使用されたのは聞き手の発話に対し同意を示したり、共感を示したりしながら聞き手としての役割を果たしているのに、ネ⑤がよく使用されたと考えられる。一方で、要求系の同意・共感要求のネ④の使用が少なかった結果は、やや予想を反した結果といえる。従来ネの機能として「同意を求める」機能が代表的に挙げられてきたが、本研究の発話連鎖の視点を加えた統合的機能分類を基に初対面場面を分析してみると、聞き手に対して同意を示してくれることを期待して用いるネは、初対面場面において実はあまり使用されないことが判明した。これは言い換えると、これまでのネの機能として「同意を求める」機能があるといった指摘は、文レベルにおける機能分析の側面が強く、その後続発話との関わりを十分に考慮されていなかった可能性がある。

5.2 接触場面の分析結果

次の接触場面の使用結果をまとめる。接触場面においてはまず、接触場面のペア別(NS、NNS)の総発話文数と使用頻度をそれぞれ集計し、接触場面において終助詞がどのような使用頻度で使用されるかを分析する。

5.2.1 接触場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用頻度

本研究では BTSJ の文字化規則(宇佐美 2011)に基づき、1 発話文を認定し、18 組の接触場面の音声データを一律 20 分間で区切り、文字化を行った。具体的には、18 組のデータの文字化した時間、20 分間の会話の総発話文数、NS と NNS の話者別の発話文数、終助詞ネ、ヨ、ヨネを合わせた合計の使用頻度と総発話文から割った割合を集計したものを、以下表 11 にまとめた。表 11 に示されている終助詞の合計は、会話で確認された全ての終助詞を集計した結果であり、中には NNS の使用のうち機能から逸脱した NNS の不自然な使用と誤用も含まれる。また本研究では滞在期間の長短により 3 つのグループに分けたが、以下の使用頻度の結果はグループ別に示したものではなく、18 組のペア別に NS と NNS の使用がどんな特徴があるか、また初対面での接触場面の会話の総発話文数と、終助詞ネ、ヨ、ヨネの 3 種類を合わせた合計頻度を文末に占める割合を集計した。

1) 総発話文数と終助詞の使用頻度

表 11：総発話文数と終助詞の使用頻度

データ 番号	会話時 間 (分)	総発話文数			終助詞			
		合計	NS	NNS	合計	割合	NS	NNS
1	20	391	194	197	27	6.9%	22	5
2	20	226	118	108	35	15.5%	11	24
3	20	430	220	210	64	14.9%	45	19
4	20	252	118	134	18	7.1%	13	5
5	20	499	239	260	10	2.0%	5	5
6	20	547	279	268	99	18.1%	43	56
7	20	244	132	112	46	18.9%	27	19
8	20	351	177	174	89	25.4%	40	49
9	20	365	164	201	16	4.4%	5	11
10	20	454	217	237	36	7.9%	13	23
11	20	427	196	231	67	15.7%	34	33

12	20	467	228	239	117	25.1%	47	70
14	20	547	288	259	90	16.5%	47	43
15	20	260	120	140	83	31.9%	33	50
16	20	379	203	176	116	30.6%	66	50
17	20	380	193	187	74	19.5%	46	28
18	20	533	282	251	93	17.4%	47	46
19	20	233	113	120	69	29.6%	28	41
合計	360	6985	3481	3504	1149	16.4%	572	577

上の表 11 の結果を次の 4 点からまとめる。

①総発話文数のバラツキ

まず、18 組のデータの総発話文数をそれぞれみると、大きなバラツキが見られた。例えば、発話文数が一番多いデータ 14 においては 547 文となっているが、一番少ないデータ 2 では 226 文となっており、その差は 2.5 倍弱の開きがある。文字化したどのデータも時間は共に 20 分間であるにもかかわらず、なぜデータによって総発話文数がこれほど異なるのだろうか。その理由として以下が挙げられる。まず、会話のスピードに関わると考えられる。NNS の日本語能力が不十分な場合会話はよりゆっくり進む傾向があり、発話文の総数も少なくなる。次に、1 発話文の長さが理由として挙げられる。発話文が多いデータは話者の 1 発話文が短く、話者交代が頻繁に行われる会話であったと解釈できる。したがって、発話は短い単文の形や、一語の発話文などが多く含まれている可能性が高い。逆に総発話文数が少ないデータは、話者の 1 発話文が長く、ターンを維持した形で発話を続けたことが考えられ、文末の終助詞の使用も少なくなる可能性が生じる。NS と NNS の話者別に発話文数を比較しても、バラツキがみられる。もっとも差が大きい上位の 3 つのペアを挙げると、データ 9 が NNS が 37 文多く、データ 11 は NNS が 35 文多く、データ 18 は NS が 31 文多かった。NS のほうが発話文数の多いペアとしては、データ 18 を含む 8 組(データ番号：2、3、6、7、8、14、16、18)で、NNS の発話文数が多いペアは上記のデータ 9 とデータ 11 を含む 10 組(データ番号：1、4、5、9、10、11、12、15、17、19)である。以上から、今回の接触場面における調査では、NNS の方が NS より総発話文数も若干多く、ペア別にみても 2 組多い結果となった。

②接触場面の終助詞の平均割合は 16.4%

まず合計結果をみると、18組のデータの会話(約 360 分)における総発話文は計 6985 文となっており、そのうち NS の発話文数が 3481 文、NNS の発話文数が 3504 文、NNS が若干上回っている。次に、文末で使用された終助詞の合計頻度は計 1149 回となっており、うち NS が 572 回、NNS が 577 回であり、NS と NNS の合計頻度はあまり変わらない。また、初対面の接触場面における文末の割合は 16.4%となり、この結果は母語場面の NS の 20.3%よりは低い。

③ペア別の終助詞の使用頻度のバラツキ

18組のそれぞれの終助詞の合計と割合にも大きなバラツキがあることが分かる。もっとも多い割合で使用された上位の3つをあげると、データ 15 が 31.9%、データ 16 が 30.6%、データ 19 が 29.6%となり、これは発話文の約 3 分の 1 前後の文末においてネ、ヨ、ヨネのいずれかが使用されていることになる。そのほか、20%以上の割合で使用されたデータが 5 組確認できる。その一方で、極端に使用が少なかったデータも見られた。最も少ないデータ 5 は約 2%にすぎず、データ 9 は約 4.4%、データ 1 は 6.9%となっており、10%未満のデータは 5 組であった。

④NNS の使用頻度は NS の使用頻度に影響する

NNS の使用が少ないケースは習得上の問題として考えることができるが、NS の方も極めて個人差が激しく、使用頻度にバラツキが見られる。例えば、使用が最も少ないデータ 5 をみると、NS と NNS は双方ともに 5 回しか使用がみられない。NS の終助詞の合計が 572 回となっているため、20 分間の会話の中で平均約 32 回の使用が確認される計算であるが、10 回前後の NS が 5 人も存在した。そのうちの 4 組が、上記文末の割合が 10%未満のペアに当たることから、NS の終助詞使用は、NNS の使用に影響を受けることが予想できる。このことは NS の接触場面における終助詞の使用は、母語場面と異なり、調整を行った使用となることが容易に予想できる。このような接触場面の NS に見られる特徴的な使用に関しては、後に 5.3 節の「接触場面の母語話者の使用分析」で取り上げる。

2) 種類別使用頻度

次は、接触場面の NS と NNS に使用されるネ、ヨ、ヨネの種類別の使用頻度を集計した上で、その合計と文末における使用の割合を、表 12 にまとめた。

表 12：終助詞ネ、ヨ、ヨネの種類別の使用実態

データ 番号	ネ		ヨ		ヨネ	
	NS	NNS	NS	NNS	NS	NNS
1	8	1	10	3	4	1
2	8	19	2	1	1	4
3	36	8	4	11	5	0
4	10	3	2	2	1	0
5	1	5	1	0	3	3
6	27	51	1	5	15	0
7	20	4	0	12	7	2
8	22	30	3	17	15	0
9	5	10	0	1	0	3
10	4	17	2	3	7	2
11	25	30	1	1	8	6
12	32	50	4	14	11	10
14	40	18	3	15	4	16
15	20	23	1	11	12	7
16	51	38	4	5	11	0
17	35	24	2	4	9	0
18	35	34	6	10	6	2
19	22	9	1	30	5	2
合計	401	374	47	145	124	58
割合	11.5%	10.7%	1.3%	4.1%	3.6%	1.7%
平均	22	21	3	8	7	3

上の表 12 の接触場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの種類別使用実態の結果を基に、以下は① NS と NNS のネ、ヨ、ヨネの使用頻度の順番の違いと、②平均頻度からみる NNS と NS の使用傾向についてまとめる。

①NS と NNS のネ、ヨ、ヨネの使用頻度の順番の違い

NS と NNS の話者別の合計と割合³³をみると、接触場面において NS はネを 401 回の頻度で使用し、文末の 11.5% を占めた。また、ヨが 47 回の頻度で使用され、文末の 1.3% を占めた。最後に、ヨネが 124 回の頻度で使用され、文末の 3.6% を占めている。この NS の結果は、一般的に日本語の母語場面での日常会話において指摘される結果、及び本研究の母語場面データの分析結果とも一致している。接触場面のネ、ヨ、ヨネの使用頻度は、ネが最も多く、次がヨネ、最後にヨが一番少ない順で使用されていることが、今回確認されたことになる。ネ、ヨ、ヨネの使用頻度の順番に関して今回の母語場面の NS` の場合は、4 人がネ、ヨネ、ヨの順で使用し、意外に少ない結果となりヨを多く使用することが確認された。しかし、ネを最も多く使用する点とヨネの使用が多い点に関して接触場面の NS と母語場面の NS` は一致しており、NS のヨネの頻繁な使用が分かる。一方で、NNS のネ、ヨ、ヨネを種類別にみると、ネが 374 回で 10.7% を占め、ヨが 145 回で 4.1%、ヨネが 58 回で 1.7% を占めた。接触場面における NNS の使用頻度の順は接触場面の NS や母語場面の結果と異なり、ネが最も多く使用される点では一致するが、その次に多いのはヨであって、ヨネが最も少ないという結果となった。特に、ヨの使用割合はヨネに比べると、2.5 倍の開きがあることが特徴的である。これを接触場面の NS の使用と比べると、NS は逆の傾向が確認された。具体的には、ヨネはヨと比べて 3 倍以上の開きがみられた。これは日本語教育でよく指摘される NNS のヨの過剰使用の問題と、ヨネの習得が遅れるという学習上の課題が、本調査における種類別の使用実態の結果からも示唆されたと言えよう。また、集計結果からみると、NS はネ、ヨ、ヨネの種類別の使用頻度の順番において、15 人が NS の全体の使用順番(ネ>ヨネ>ヨネの順)と一致した。残りの 3 人は、ヨネ(またはヨ)がネより多く使用されているが、この 3 人は共に全体的に終助詞使用が少ない話者である。一方で、NNS は使用順番における個人差が NS より激しかった。具体的には、10 人が NNS の全体の使用順番と一致するが、残りの 5 人は全くばらばらな結果となっている。この点から、NNS の種類別の習得に関する特徴が見えてくる。つまり、ヨの習得・使用は個人差が激しく、ヨネの場合は全体的に習得が遅れるという点である³⁴。

³³接触場面の NS と NNS の終助詞の合計と割合はそれぞれの話者の総発話文から割った割合である。一方で母語場面の結果は母語場面の 6 つのデータにおける総発話文をペアとなった 12 人の NS で割った結果であるため、集計方法が異なる。このように接触場面において、NS と NNS のそれぞれの使用傾向をみるために、話者を別に分けて集計を行った。

³⁴使用頻度順の問題に関しては、高・崔(2015)の中国語話者 NNS に限定した調査によると、NNS の使用頻度順はヨが最も多く、次にネ、ヨネの順になっていたが、本研究の多様な国籍の NNS に対する調査においては、ヨが頻繁

②平均頻度からみる NNS と NS の使用傾向

まずネをみると、20分間の会話の中でNSの平均頻度は22回、NNSは21回となっている。ただ、NSでもNNSでも極端に使用が少なかった話者が見られた。それが、データ5のNS5と、データ1のNNS1である。NNSの場合は5回未満の話者が4人(NNS1、NNS4、NNS5、NNS1)確認できた。その一方で、平均値の倍を超えた頻度で使用する話者も存在した。NSの場合は、データ16のNS16が51回で最も多く、次にデータ14のNS14が40回であった。NNSの場合は、最もネを多く使用したのはデータ6のNNS6の51回で、次にデータ12のNNS12の50回となっている。ネの使用に関しては、NSとNNSの双方ともにバラつきが極めて激しい。

次にヨをみると、20分間の会話の中でNSの平均頻度は3回に留まっているのに対し、NNSは8回となっている。NSの場合はヨの使用がまったくない話者が2人(NS7、NS9)、1回のみ話者が5人(NS5、NS6、NS11、NS15、NS19)いる。一番多く使用した事例は、データ1のNS1で10回の使用であった。一方でNNSはまったく使用していない話者が1人(NNS5)、1回のみ使用したのが3人(NNS1、NNS9、NNS11)いる。しかし、一番多く使用したデータ19のNNS19は30回の使用が確認された。7人のNNSが10回以上使用し、NSの中で一番多い話者であるNS1の10回を超えている。ヨに関しては、NSの方がNNSよりもバラつきが激しくなく、一部のNS1とNS18を除き、全体的に使用が少ないと判断してよいだろう。しかし、NNSの場合はバラつきが激しく、NS19の場合はヨがネの3倍以上となっており、個人差が激しい。また合計でみると、NNSの場合はネの使用がヨより多いが、話者別にみると、ヨの使用がネより多いNNSが4人(NNS1、NNS3、NNS7、NNS19)も確認できた。しかし、NSの場合はNS1のみがネよりヨのほうが2回多いだけである。

最後にヨネをみると、20分間の会話の中でNSの平均頻度は7回の使用であったのに対し、NNSはその半分以下の3回にとどまる。NSの場合、ヨネをまったく使用しない話者はデータ9のNS9のみであった。一方、NNSの場合は4人(NNS3、NNS4、NNS5、NNS9)見られた。NSの場合、ヨネの使用が3回未満と極端に少なかったデータは、NS2、NS4、NS5、NS9の4つが挙げられる。これらのNSは他の種類の使用も少なく、終助詞全体の使用が少ない話者である。しかし、NNSの場合、他の種類の使用が多いにもかかわらず、ヨネの使用だけ少ないのが特徴的である。NSの場合、ヨネを最も多く使用したのはNS6

に使用されることが確認されたものの、決してネの使用頻度は超えていなかった。このことから、高・崔による結果のヨを著しく多用する傾向は、中国人話者NNSの特徴の一つである可能性も考えられる。

と NS8 で、共に 15 回使用しており、10 回以上使用した話者が 5 人いる。一方、NNS の場合は NNS14 が 16 回と最も多く、次に NNS12 が 10 回と多く、この二人だけが 10 回以上使用している。

以上の 2 点を基に考えると、NNS の使用問題として従来指摘されてきた過剰使用は、ヨとネにおいて起きることが予想される。一方で、接触場面の NS の場合は終助詞の使用においてヨを多く使用するといった調整や、母語場面で頻繁に使用するネを含め、終助詞の使用を控える場合もあることが使用頻度の結果から予想できる。

5.2.2 接触場面の終助詞ネ、ヨ、ヨネの統合的機能の使用実態

本節では、談話上における統合的機能を援用し、接触場面の NS と NNS のネ、ヨ、ヨネの機能を分析し、その結果をまとめる。その際、NNS の使用状況のうち、機能分類の中で不自然な使用と誤用に分類されたもの(計 50 回)は分析対象とはしない。その結果、NNS に関しては機能の逸脱が生じていない正用と過剰使用の 527 回を対象として機能の分類を行う。分析した結果は、次の頁の表 13 に NS の結果を、表 14 に NNS の結果を掲載する。接触場面の NS と NNS の統合的機能の使用に関しては、次節の 5.3 以降母語場面の NS と比較しながら、それぞれの使用特徴を分析・考察する。

表 13：接触場面の NS の統合的機能の使用実態

話者	NS1	NS2	NS3	NS4	NS5	NS6	NS7	NS8	NS9	NS10	NS11	NS12	NS14	NS15	NS16	NS17	NS18	NS19	合計	割合
ネ①	3	2	6	2	0	11	1	0	2	1	3	19	18	6	2	3	1	11	91	2.6%
ネ②	0	0	4	3	0	8	2	3	0	0	1	0	11	0	6	7	4	0	49	1.4%
ネ③	5	2	19	4	0	1	13	6	2	1	17	7	4	11	33	16	20	7	168	4.8%
ネ④	0	0	0	0	0	4	1	6	0	1	0	0	2	1	4	1	7	0	27	0.8%
ネ⑤	0	4	7	1	1	3	3	7	1	1	4	6	5	2	6	8	3	4	66	1.9%
ヨ①	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	6	0.2%
ヨ②	6	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	0	3	0	4	0	19	0.5%
ヨ③	4	2	2	0	0	1	0	3	0	1	0	3	2	1	1	1	1	0	22	0.6%
ヨネ①	2	0	3	1	2	7	6	12	0	1	3	4	2	2	7	4	4	2	62	1.8%
ヨネ②	0	1	0	0	1	3	0	1	0	6	3	3	2	7	2	4	1	0	34	1.0%
ヨネ③	2	0	2	0	0	5	1	2	0	0	2	4	0	3	2	1	1	3	28	0.8%
合計	22	11	45	13	5	43	27	40	5	13	34	47	47	33	66	46	47	28	572	-

表 14：接触場面の NNS の統合的機能の使用実態

話者	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	NNS1	合計	割合
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	4	5	6	7	8	9		
ネ①	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	8	0.2%
ネ②	0	2	0	0	0	6	2	0	0	4	6	4	1	2	6	1	2	0	36	1.0%
ネ③	0	14	3	0	1	32	2	21	10	6	22	34	11	14	15	13	17	9	224	6.4%
ネ④	0	1	0	0	0	2	0	3	0	2	0	5	0	2	0	0	0	0	15	0.4%
ネ⑤	0	2	2	2	1	2	0	6	0	4	2	4	3	3	8	8	14	0	61	1.7%
ヨ①	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	7	0.2%
ヨ②	0	1	4	1	0	6	5	14	0	3	1	7	11	6	1	2	4	20	86	2.5%
ヨ③	1	0	7	1	0	0	6	3	1	0	0	7	4	5	4	2	2	10	53	1.5%
ヨネ①	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	1	6	3	0	0	1	14	0.4%
ヨネ②	0	3	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	9	0	0	0	1	17	0.5%
ヨネ③	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	1	0	6	0.2%
合計	2	24	17	4	2	49	19	49	11	20	32	65	32	49	40	26	45	41	527	-

5.3 接触場面の母語話者の使用分析

この節では、接触場面の NS の統合的機能の使用について、母語場面の NS` との比較を行い、使用頻度または具体的な用例において、接触場面の特徴が強く出た機能を取り上げ、NS の接触場面の調整(使用特徴)としてまとめる。

5.3.1 母語場面の母語話者と比較

次の図 1 は接触場面の NS と母語場面 NS` が命題内容の事柄の領域別に、どの発話連鎖効力の終助詞をどの割合で使用したかを示したものである。図 1 が示す割合は終助詞の使用頻度を総発話文数から割った割合である。

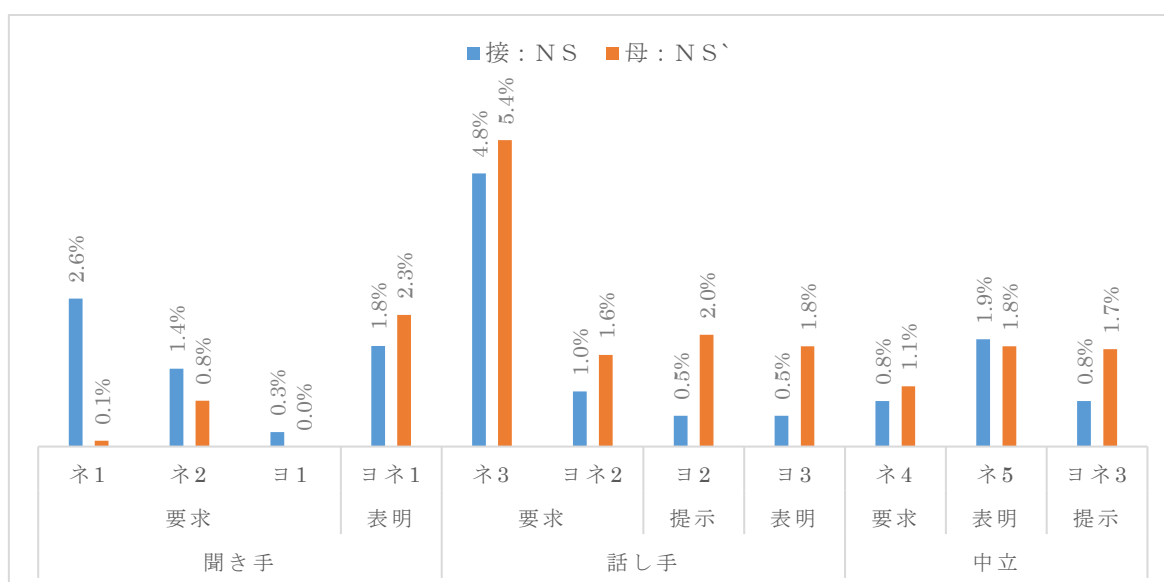


図 1: NS と NS` の各機能の使用割合の比較

上の図 1 を基に、領域別に使用傾向をまとめる。

(1) 聞き手領域の使用の比較

まず、聞き手領域に関わる機能(ネ①、ネ②、ヨ①)を比較すると、全体的に接触場面の NS の方が多く使用するの是一目瞭然である。発話連鎖効力別にみると、NS は要求系の機能を母語場面の NS` より顕著に多く使用し、接触場面で NS は聞き手領域の要求系の機能を頻繁に使用する特徴が確認できる。各機能をみると、NS は特に確認要求のネ①を高い頻度で使用する点が注目される。一方で、行動要求のヨ①に関して、NS` は一度も使用していないのに対し、NS は 7 回の使用が確認される。聞き手領域の表明系の機能一致を表明するヨネ①に関しては、両方ともかなり高い頻度で使用されている。

(2) 話し手領域の使用の比較

話し手領域に関わる機能をみると、全体的には接触場面の NS は母語場面の NS' より使用が少ない。要求系の情報・意志受入れ要求のネ③と一致の受入要求のヨネ②において、NS' のほうがやや使用が多くなっているが、共に高い頻度で使用している点では共通する。特に情報・意思受入れ要求のネ③は両場面ともに最も高い頻度で使用されている機能となっている。提示系の新情報の提示のヨ②をみると、NS' のほうが NS を大きく上回る特徴が見られる。表明系の結論表明のヨ③も同様の特徴が見られる。提示系のヨ②と表明系のヨ③は談話を展開したり、先行発話をまとめたりする等、談話の方向性を調整する機能が強いが、このような機能が接触場面の NS にあまり使用されていないということは、接触場面における NS は、自ら談話の方向付けることを母語場面より控えている可能性を示唆している。

(3) 中立領域の使用の比較

最後に、中立領域に関わる機能をみると、聞き手領域や話し手領域ほどの差は見られないと言ってよい。要求系の同意・共感要求のネ④に関しては NS のほうが若干上回るが、両方とも使用が少ない。初対面場面において同意・共感要求のネ④があまり使用されないのは、接触場面においても共通して確認できた結果となる。提示系の一致を提示するヨネ③に関しては、NS' のほうが 2 倍近く多い。提示系のヨ②と同様に、談話展開を聞き手に示す機能を接触場面の NS はあまり使用していないことがうかがえる。表明系の同意・共感表明のネ⑤は、NS のほうが若干上回るが、NS も NS' も中立領域の中で一番使用が多く使用されるのは共通している。

以上の比較を通し、接触場面の NS は母語場面の NS' と終助詞の使用において異なる傾向があることが指摘できる。まず、接触場面の NS は領域から捉えると聞き手領域の機能を多く使用する点が挙げられる。次に、話し手領域においてネ③の使用は多いが、一方でヨ②とヨ③の使用は顕著に少ない点や、また中立領域において提示系のヨネ③の使用が少ない点などが挙げられる。このような NS と NS' の使用頻度の差から接触場面において NS は相手が NNS である等、接触場面の場面性を考慮し、終助詞の使用において母語場面とは異なる使用をすることが容易に予想できる。では次節から接触場面における NS が母語場面とどのような異なる使用をするかをみるために、NS の使用頻度が高かった機能のネ①、ネ②、ネ③、ヨネ①と、母語場面ではあまり見られないような発話、フォリナー・トークにおいて使用されたヨ①とヨ②を取り上げ、事例を基に分析・考察する。

5.3.2 接触場面の母語話者に調整が見られた機能

まず使用頻度が高い聞き手領域の機能からみてみよう。

(1) (その場における)確認要求のネ①

5.2.2 の表 14 で示す通り(その場における)確認要求のネ①を 91 回使用し、総発話文の文末全体の 2.6%を占めている。これは表 6 の母語場面の NS'の 0.1%と比べると、遥かに多い。

次は NS のネ①の使用例である。

例 21

行	話者	発 話 内 容
229	NNN14	で、千葉に来てから(はい)、一人暮らしを始めたんですよ。
230	NS14	はい。
231	NNN14	もうむちゃくちゃ寂しいですよ。
232	NS14	<ははは>{<}。
233	NNN14	<ははは>{>}。
234	NS14	ひと、二人で住んだんですね=。
235	NS14	=寮[↑],とか<だったんですか>{<}?。
236	NNN14	<うんじゃなくて>{>}, <あのー…>{<}。
237	NS14	<あ一緒に>{>}だっ<たんですね>{<}。
238	NNN14	<一緒に>{>}, はい、そうですね、部屋は別々なんですけど。

上の例は、NNS14 が以前はルームメイトと 2 人で住んでいたが、今は一人暮らしをしているため、寂しいと話している場面である。それを聞いた NS14 は 234 行目「ひと、二人で住んだんですね。」、237 行目「あ一緒に>{>}だっ<たんですね>{<}。」において確認要求のネ①を用いている。確認要求のネ①は直前の聞き手の発話に向けられて使用され、且つ直後の聞き手の応答を要求すると同時に、その応答後の発話 238 行目の「部屋は別々なんですけど。」という発話を導き、話し手領域の情報を追加する形で談話を展開している。NNS の場合、確認要求のネ①の使用は非常に少なく、習得が難しい機能である可能性が浮かんできたが、それと逆に接触場面の NS はネ①を頻繁に使用していることが分かった。NS は確認要求のネ①を用い、直前の NNS の発話内容に対し積極的に確認を行うことで、NNS の談話展開を促している。

また、NS の確認要求のネ①の使用頻度が高かった要因として、「そうなんですね」といったソウ類の発話形式を用い、NNS の談話展開を促すこと挙げられる。

次は NS14 の確認要求のネ①の使用例である。

例 22

行	話者	発 話 内 容
332	NNN14	はい、えっと 2 泊[にぱくと発音]…す、する(ああ)つもりなんですけど。
333	NS14	そうなんです <u>ね</u> 。
334	NNN14	で、1 日目は、えっと温泉で(はい)、二日目はスキーで。

上の例は、NNS14 が後日スキーに行く予定について話している場面である。接触場面においてソウ類の発話に終助詞を使用することにおいて NS の間には個人差が激しく、20 分の間まったく使用していない NS もいれば、頻繁に使用する NS12 と NS14 もいた。NS14 の 333 行目の「そうなんですね」は NNS14 の先行発話に対する理解確認の相づちで、これにより 334 行目の聞き手の情報提供の展開を促している。NS14 は頻繁に「そうなんですね」と聞き手の発話を促すが、このような意図的な促しは母語場面においてはあまり見られない発話である。

(2) NS のコメントの受入要求のネ②

コメントの受入要求のネ②は、接触場面の NS は 49 回の使用が確認され、NS の発話全体の 1.4% を占めている。この使用頻度は母語場面の NS の 0.8% を明らかに上回っている。次は NS のネ②の使用例である。

例 23

行	話者	発 話 内 容
104	NNS17	本当[↑]、ははは、うん。
105	NS17	つ、強い、そうですね。
106	NS17	よく<知ってます <u>ね</u> >{<}>。
107	NNS17	<<笑い>>あ、はい>{>}。
108	NS17	なんか、いろいろそういう噂が流れたりするんですけど(そうですね)、なんでしょうね、僕の友達も(はい)、その強いおん、女性の方っていっぱいいたかなあ、みたいな。
109	NNS17	あの、なんか、その、ある言葉で「かかあ天下」。
110	NS17	ああ、かかあ天下、すごい、そうですね。
111	NS17	よくご存じです <u>ね</u> 。
112	NNS17	電車で面白いなあと思って。
113	NS17	はいはいはい。

114	NNS17	お母さんはどうですか<笑い>?。
115	NS17	えっと、うちの家庭は、お父さんよりもお母さんのほうが怖い。

上の例は、NNS17 が NS17 の出身地である群馬県の女性はとても強いため、「かかあ天下」と呼ばれていると聞いたことを語る場面である。それを聞いた NS17 は 106 行目「よく知っていますね」、111 行目「よくご存じですね」と、NNS が情報通であることに対して感心の気持ちを示す発話にコメントの受入要求のネ②を 2 回用いている。この NS17 の発話は聞き手を褒める発話としても捉えられ、聞き手に対する働きかけ行為の一つであると見ることができる。ここでコメントの受入要求のネ②の後続発話をみると、114 行目から NNS が談話を主導し、「お母さんはどうですか<笑い>?。」と、NS に働きかけるやり取りに展開されている。このように NS は初対面の会話の中で、聞き手領域の機能コメントの受入要求のネ②を使用し、聞き手 NNS のその後の談話展開をよりスムーズに行えるように促すことが多い。このような使い方は母語場面の NS' にも同様によく見られた。

(3) NS の一致を表明するヨネ①

一致を表明するヨネ①の集計結果をみると、NS は 62 回の使用が確認され、発話全体の 1.8% を占める。また、ヨネ①の中には、「そうですよね」「そうだよね」などソウ類の発話も大量に含まれる。

次は NS8 の一致を表明するヨネ①の使用例である。

例 24

行	話者	発 話 内 容
283	NNS8	そういうんじゃないくて、いい意味で単純に言うのも、コミュニケーション、をする上で(笑い)、ダメになるときもあったんで、
284	NS8	ああ、難しい<ですよ>{<}<。}
285	NNS8	<まだ分かんない>{>}ですね。
286	NS8	社交辞令とか、もう、なんかちょっと、私も思ってることすぐ口に出しちゃうので、なんか「遊びに行こうね」と言われたら、「うん」って言って(はいはいはいはい)、もうそのつもりなんですけど。

上の例は、NNS8 が日本留学の中で最も難しかったのは日本人とのコミュニケーションだったと話している。283・285 行目で NNS8 はこれまでの話をまとめようとし、283 行目「コミュニケーション、をする上で(笑い)、ダメになるときもあったんで、」、285 行目「<まだ分かんない>{>}ですね。」と現在の気持ちを述べて談話を締めくくっている。このようあな聞き手が談話終了に向かう場面において、NS8 は 284 行目で「ああ、難しい<ですよ>{<}<。}

>{<}。」と聞き手と一致を表明するヨネ①が用いて発話している。つまりここでの NS8 のヨネ①が使用されることは、283・285 行目の NNS8 の談話のまとめ作業を受け、談話終了に対して働く表明系の発話連鎖効力により、NNS8 と共同的に談話終了を行う働きがある。その後の NS8 の 286 行目の発話をみると「社交辞令とか、もう、なんかちょっと、(略)」といった次の展開に向ける発話内容が切り出されている。接触場面で NS は一致を表明するヨネ①を頻繁に使用することが確認されたが、その働きは NNS の先行発話に対し積極的に共感を示すことで、NNS の談話進行に参加しようとする母語話者としての姿勢が読み取れる。NNS の談話展開の方向性に敏感に反応し、会話を相互行為的なものにしようとすることが終助詞の使い方と使用頻度から伺うことができる。

(4) NS の行動要求のヨ①

行動要求のヨ①に使用をみると、接触場面の NS は 6 回使用され、まったく使用されなかった母語場面と違いを見せている。

では以下で NS はどのような発話に行動要求のヨ①を使用しているのか、事例をみてみよう。

例 25

行	話者	発 話 内 容
73	NNS4	でも、哲学と…まあ日本学はあんまり、そのあんまり…う～んなんていう…一致してせんけど(はい)、その、その大学の中で、(はいはい)でも私は、なんか実はその日本学、そう、本当に難しいんですけど>{<}[少し笑いながら]。
74	NS4	<ははは>{>}、[笑って]大丈夫ですよ。
75	NNS4	なんかドイツの全体は(なんか、はい)、いろんな日本学の(はい)大学がありますけど(はい)、その日本学は(はい)、大学によって全然、その、かん、対象が、だ、大学によって全然ちがいます。

上の例は、NNS4 が日本語を勉強するようになったきっかけを説明している場面である。NNS4 は来日して 1 年未満の短期留学生で、まだ日本語の会話能力が十分ではないため、一連の説明において言いよどみが頻繁に生じている。NNS4 の 73 行目の発話をみると、説明がうまくまとまらなかったため、「そう、本当に難しいんですけど>{<}[少し笑いながら]」と笑いながら説明が難しいことを伝え、説明を一旦中断している。そのような NNS4 に対して、NS4 は 74 行目で「<ははは>{>}、[笑って]大丈夫ですよ」と、NNS の言語能力をフォローしているが、この発話の中でヨ①が用いられる。この発話において「大丈夫」とされている事柄は「NNS4 の日本語」であるため、ヨ①は聞き手領域に関わる機能として捉えられる。ヨ①の発話を受けた NNS4 の 75 行目の発話をみると、「なんかドイツの全体は

(略)」と直前の自分の発話を続ける発話連鎖が確認され、NNS4 が日本語を勉強するようになったきっかけの説明を最後まで完成しようとする様子が見て取れる。このように接触場面において NS が使用する行動要求をするヨ①は、発話産出に躓いた NNS を「支援」し、NNS の談話展開を促すことにおいて用いられていた。このような行動要求のヨ①の使用は母語場面の談話展開においては稀なケースであろう。

(5) NS の情報・意思受入要求のネ③

情報・意思受入要求のネ③の集計結果をみると、NS は 168 回使用し、4.8%を占めており、11 種類の機能の中で最も高い頻度で使用された機能である。NS の情報・意思受入要求のネ③が使用される発話をみると、ネ③を使用することで発話を短く、且つ簡単な形式で完了し、NNS に対してより分かりやすい情報提供を行おうとする場面が確認される。

次は NS の情報・意思受入要求のネ③の使用例である。

例 26

行	話者	発 話 内 容
275	NNS3	<なんか>{>}、日本人はわさび、基本的に食べますか?。
276	NS3	食べますね。
277	NS3	お刺身とかお寿司にはつけて食べますね。
278	NNS3	が、が、に、苦手な人ないですか?。
279	NS3	あ、たまにいますね。
280	NS3	にが、そのわさび苦手な人、本当たまにいます。
281	NS3	寿司とかそのマグロ、とか(ああ)、わさび抜きで、という人いますね。
282	NNS3	ああ、そっか(うん)、みんな、た、た、食べると思った。

上の例は、NNS3 がわさびを食べられないことを紹介した上で、日本人は基本的に皆食べられるかと尋ねる場面である。NNS3 の質問に対して、NS3 は 276 行目で「食べますね」と答えてから、277 行目で「お刺身とかお寿司にはつけて食べますね」と答えの内容をより具体的に説明し、文末に情報・意志受入要求のネ③を用いている。その間に NNS3 は 278 行目で「苦手な人ないですか」と質問をしており、それに回答として NS3 は 279 行目で「あ、たまにいますね」、280 行目で「にが、そのわさび苦手な人、本当たまにいます」、さらに 281 行目で「寿司とかそのマグロ、とか(ああ)、わさび抜きで、という人いますね」と答えている。ここで NS3 は回答発話の特徴をみると、発話内容を少しずつ増やしていく発話にネ③を使用しているのが分かる。これらの発話の文末は「食べます」「います」という現在形の動詞文が繰り返される等、分かりやすい情報提供の発話となっている。このように NS3 は NNS3 の理解を支援するフォリナートークの特徴を持つ発話にネ③を使用しており、こ

のようなネ③は同時に NNS3 に対し、質問や理解を示す発話を発する機会を与えている働きも担っているように思われる。

(6) NS の新情報提示のヨ②

NS の新情報提示のヨ②の使用が全体的には少なかったが、個別に多く使用した話者も見られ、個人差があることが分かった。最も多く使用した NS1 の新情報提示のヨ②の使用をみると、学習者の使用と非常に類似した例も見られた。

次の例は NS1 が頻繁に新情報提示のヨ②を用い、談話展開を行っている例である。

例 27

行	話者	発 話 内 容
240	NNS1	でも、先の、こうふん(古墳)があります,ね?こうふん、こうふん[↑]。
241	NS1	古墳?。
242	NNS1	うん。
243	NS1	は、埼玉県にあります。
244	NNS1	ああ。
245	NS1	で、あの古墳、先言った古墳、古い、墳,,
246	NNS1	墓[↑]。
247	NS1	墓、あれは古いお墓なんですよ。
248	NNS1	ああ。
249	NS1	もう何年前かな、本当 2 千年ぐらい前の(ああ)、王様のお墓なんですよ。
250	NNS1	ほー。
251	NS1	小学校の頃、い、行かされて、僕,,
252	NNS1	ああ。
253	NS1	でも、全然おもしろくなくて。
254	NNS1	<笑い>。
255	NS1	で、古墳って、なんか、公園みたいなところに,,
256	NNS1	うん。
257	NS1	なんか、土がこう掘ってあるだけなんですよ。
258	NNS1	はい。
259	NS1	画像あります、みます?古墳の画像、全然おもしろくないですよ。
260	NNS1	<笑い>。
261	NS1	僕、小学校の時連れて行かれたんですけど、友達と、ずっとおにごっこしました。

262	NS1	(スマートフォンで動画を探す)ああ、これです。
-----	-----	-------------------------

上の例で NS1 は、埼玉の古墳について一連の説明を行っている。NS4 の 247 行目の発話、「墓、あれは古いお墓なんですよ」と、249 行目「王様のお墓なんですよ」、257 行目「なんか、土がこう掘ってあるだけなんですよ」、259 行目「古墳の画像、全然おもしろくないですよ」の四か所で新情報提示のヨ②を使用している。これらのヨ②が用いられる発話は話し手が持つ情報であるため、話し手領域となる。ここで個々の発話情報をみると各情報は一つの情報、即ち埼玉の古墳に関する情報であるものの、その情報が一つ一つ区切られ、独立した新情報として次々に提示されている³⁵。そして、NS1 はヨ②を用いることで発話を終了し、一つの発話をシンプルな単文の形にした後、長い情報提供の談話を少しずつ区切って、新情報を順次と聞き手に提示する談話展開を行っている。さらに NS は、ヨ②の後ではっきりとした間を置き、直後では聞き手の相づち的な発話、即ち NNS4 の 248 行目「ああ」、250 行目「ほー」、258 行目「はい」、260 行目「笑い」が来るように導いている。このような聞き手の相づち的な発話を挟みながら、次々と話し手が主導的に説明の発話連鎖を展開できるのは、ヨ②が提示系の発話連鎖効力を用いた使用とみることができる。

NS1 のこのようなヨ②の使用は、4 章の 4.3.2 の母語場面の例 17 と類似しているように見えるが、文末の「お墓なんですよ」「面白くないですよ」等の繰り返す発話にヨ②を用いることで、分かりやすい情報提供の談話展開の形を取る点と、NNS1 の反応をしっかり確認しながら進める点は、NNS1 の理解を意識した接触場面ならではのヨ②の使い方であるとみることができる。特に NNS1 は滞在歴が 3 か月とまだ短く、接触場面の会話に慣れていない NNS の言語能力を補うために、談話展開において調整を行っていることが考えられ、そこに提示系の発話連鎖効力を持つヨ②が大量に使用されている点は興味深いケースである。

5.3.3 接触場面の母語話者の使用特徴のまとめ

以上の接触場面における NS の事例を通し、NS が多く使用する終助詞ネ、ヨ、ヨネを接触場面の場面性を考慮し、次の 2 点からまとめることができよう。

1) NS は聞き手領域の終助詞、中でも特に要求系の機能を多用し、NNS に働きかける

³⁵ 例 27 の新情報提示のヨ②の発話はどれも「のだ」文になっている。説明モダリティとされる「のだ」も、発話連鎖の視点で捉えると先行発話と後続発話において説明の発話連鎖を作る可能性が十分に考えられる。しかしながら、提示系のヨ②がこのような「のだ」文と特に相性が良い点を踏まえると、ヨ②に提示系の発話連鎖効力があることは確実である。本稿では終助詞ヨが持つ発話連鎖効力のみ注目し、「のだ」等ほかの文末要素が担う働きに対しては深く踏み込まないで、今後の課題としたい。

接触場面において NS は聞き手領域の機能を特に多く使用していることが分かった。これは接触場面における NS は聞き手領域に関わる発話を多く発していることを意味している。使用頻度が高かった確認要求のネ①、一致を表明するヨネ①、コメントの受入要求のネ②は聞き手の先行発話に対して使用され、聞き手の談話展開を促進したり、聞き手と共同的に談話をまとめたりする働きを持つ。このような機能がよく使用されることから、NS は NNS の先行発話に対して積極的に反応し、また NNS のその後の発話の産出や談話の展開がよりスムーズに行えるように、談話促進を行っていることが指摘できる。このような使用からは、NNS と積極的に相互行為を図ろうとしていることが伺え、終助詞の調整行動によって示される使用頻度を通して反映されている。

2) NS は NNS の理解支援を工夫し、話し手領域の機能を使用して、文末形式または談話展開をシンプルにする

接触場面の NS は情報提供を行う際に、NNS の日本語の理解能力を配慮し、発話文を分かりやすく短く産出したり、情報を少しずつ提示したりするなどフォリナートークの特徴を持つ発話が多くみられ、これらの発話の文末には話し手領域の情報・意思受入要求のネ③や新情報提示のヨ②をよく活用されている。これは NS が NNS の理解支援を行うための調整行為の一つとしてみることができる。終助詞が用いられるフォリナートーク的な発話は「です・ますね」、「んですよ」等のシンプルな文末形式を取ったり、発話と発話の間にはっきりした間が見られたり等、NS が NNS の理解反応を伺いつつ、情報提供が一方的ではなく、NNS との相互行為的なものとして進めようとする工夫が確認できる。

3) 個人差はあるものの、NS は全体的に提示系の使用を控える

NS1 のように提示系の新情報提示のヨ①を頻繁に使用する NS もいたが、NNS または母語場面の NS' に比べると、接触場面の NS は自らが談話の主導権を取る提示系の機能は控えていることが分かった。特に中立領域の提示系の一致を提示するヨネ③の使用においては、NS と NS' には大きな差が見られる。

これまで母語場面を中心としてきた終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能に関する研究は、語用論的側面の配慮を示す機能が重んじられてきたが、接触場面における NS の使用をみると、そのような語用論的機能と異なった、NNS との相互行為を円滑に行うための機能、即ち本研究で注目する談話上における発話連鎖効力のほうがより優先的に使用されていることが指摘できる。

5.4 接触場面の学習者の使用分析

では接触場面の NNS はどうだろうか。本節では、NNS の滞在期間の長短によって短期グループ、中期グループ、長期グループの3つのグループに分けて、母語場面の NS' と比較を行いながら、NNS の使用特徴を習得問題を探っていく。このような滞在期間が異なる NNS の使用を、横断的に母語場面の NS' の使用と比較することで、終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用が滞在期間の差によってどのような違いを見せているかを指摘する。

5.4.1 学習者のグループ別に母語場面の母語話者と比較

次頁の図 2 は接触場面の NNS を短期グループ、中期グループ、長期グループに分け、母語場面の NS' の使用頻度と比較したものである。図 2 は上位レベルの命題内容の事柄の領域別に分け、それぞれの領域別に使用した下位レベルの機能の発話連鎖効力の頻度の割合を示した。図 2 が示す割合は、前の図 1 と同様に、終助詞の使用頻度を総発話文数から割った割合である。

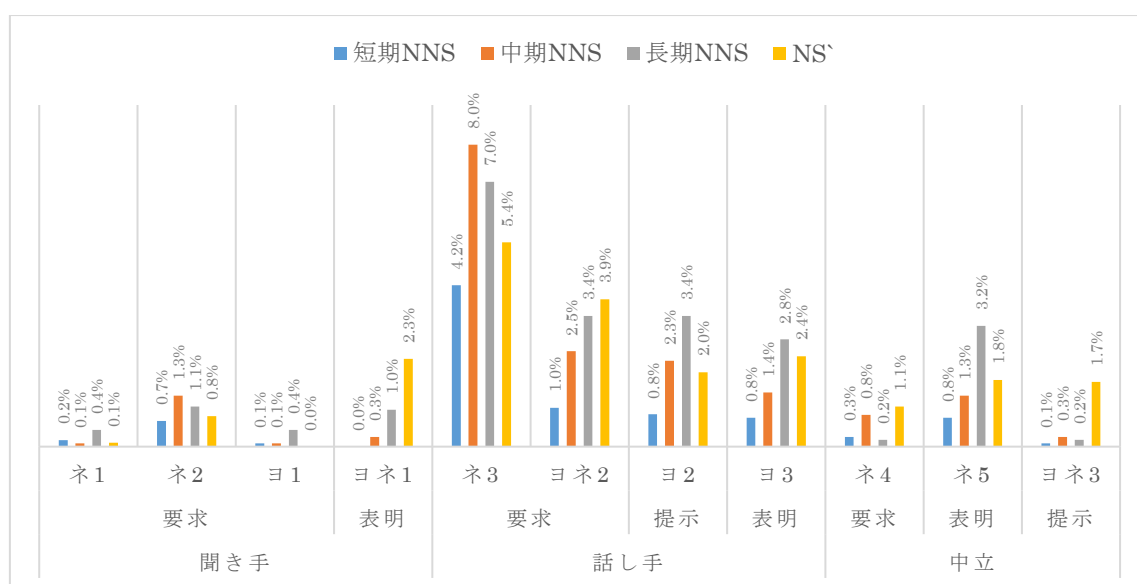


図 2： NNS と NS' の各機能の使用割合の比較

図 2 が示す結果を基に、NNS の使用傾向を三つの領域別にまとめいく。それぞれの機能の詳しい事例と分析は次の 5.4.2 で取り上げる。

- 1) 聞き手領域の機能は全体的に使用が少ないが、個人差もあり、コメントの受入要求のネ②と行動要求のヨ①を積極的に使用する NNS も見られる

聞き手領域の機能から比較してみると、要求系の確認要求のネ①は全体的に NNS も NS` も使用頻度が少なく、初対面場面では使用が少ない機能となっている。一方で、長期グループの NNS になると確認要求のネ①使用が増える可能性があることが伺える。次に、要求系のコメントの受入要求のネ②をみると、一番使用が少ない短期グループの NNS も NS` に近づける使用頻度となり、中期・長期グループの NNS は NS を上回っている。中期グループの NNS と長期グループの NNS を比較すると、中期グループの NNS のほうの使用が多い。この結果は後述する NNS11 が断トツに多く使用したことによるものである。つまり、初対面場面において NS はコメントの受入要求のネ②をあまり使用しない傾向がみられるが、NNS の中には頻繁に使用する話者もいた。要求系の行動要求のヨ①は、NS` は全く使用していないのに対し、NNS は短期グループの NNS から使用が見られた。表明系の一致を表明するヨネ①に関しては、NNS は3つのグループともに NS` に比べ、使用が顕著に少なく、長期グループの NNS も NS` の使用頻度の半分を満たないことが判明し、習得されにくい機能であることが示唆された。

2)話し手領域の機能の使用は母語場面の NS`よりも多く、滞在期間によって見られるネとヨの使用特徴に違いが見られる

話し手領域の機能をみると、要求系の情報・意思受入要求のネ③は、NNS も NS` も使用頻度が最も高い機能となっている。NNS の場合は短期グループの NNS は NS` より少ないが、中期グループの NNS ははるかに上回る。しかし、長期グループの NNS は中期グループの NNS より使用が少なくなっている。この結果から、情報・意思受入要求のネ③の習得は早く、実際の使用も多いが、滞在期間が長い NNS は使い方が定着されると、NS` に近づけることにより、使用頻度が減少する可能性があることが予測される。これはほかの終助詞や文末形式の習得によって情報・意思受入要求のネ③の使用を取って代わる可能性もある。言い換えると、ネの過剰使用は、習得とともに減少していく可能性がある。要求系の一致の受入要求のヨネ②は、前述した一致を表明するヨネ①と類似した結果となり、NNS はグループ別に使用頻度が高くなってはいるものの、長期グループの NNS も NS` より顕著に低い。一方で、提示系の新情報提示のヨ②と表明系の結論表明のヨ③は、両方ともグループ別に使用頻度が大幅に高くなり、NS` と比較すると、短期グループの NNS は使用が少ないが、中期グループの NNS は NS` を超えており、長期グループの NNS は NS` の2倍近い頻度で使用している。これは上で述べたネ③の減少現象と対照的で、NNS はヨを習得すると、頻繁に「活用」していく傾向がうかがえ、NNS のネとヨの習得特徴の違いを確認することができる。

3)中立領域の機能の使用は少なく、これは初対面場面の会話の特徴として母語場面の NS`、接触場面の NS と共通する

中立領域の機能をみると、要求系の同意・共感要求のネ④の使用は全体的に NNS も NS も少なく、初対面場面において使用が少ない機能であることが分かる。これは 5.1 で指摘した接触場面の NS にも共通して見られた現象であった。NNS のグループ別にみると中期グループの NNS だけが NS' と近い使用頻度になっており、これだけでは今回の初対面場面のデータから NNS の同意・共感要求のネ④の使用傾向は把握しにくい。表明系の同意・共感表明のネ⑤をみると、NNS の場合は短期グループの NNS から使用が多く、中期グループの NNS は NS' に近づいているが、長期グループの NNS は NS' をはるかに超えている。これは後述する NNS にみられる「そうですね」などソウ類の発話の定型表現を多く発することによるものと考えられる。最後に提示系の一致を提示するヨネ③は極端に使用が少なく、NS' と顕著な差を見せている。上で挙げた一致を表明するヨネ①、一致の受入要求のヨネ②を含め、ヨネの 3 つの機能の使用は全体的に使用頻度が少ないが、中には分析対象から排除し、図 2 の結果に含まれない誤用や不自然な使用の数も多く、そのゆえに図 2 に反映されるヨネの使用頻度はさらに少なくなっている。且つ、ヨネの習得問題は長期グループの NNS にも依然と存在し、ヨネの習得の難しさが反映されている。

以上の NNS の使用頻度の傾向を踏まえ、使用頻度の多い機能と少ない機能に分けると以下のようなになる。

使用頻度が高い機能(6 種類)

話し手領域： 情報・意思受入要求のネ③、新情報提示のヨ②、結論表明のヨ③

中立領域： 同意・共感表明のネ⑤

聞き手領域： コメントの受入要求のネ②、行動要求のヨ①

使用頻度が低い機能(5 種類)

聞き手領域： 確認要求のネ①、一致を表明するヨネ①

話し手領域： 一致の受入要求のヨネ②

中立領域： 同意・共感要求のネ④、一致を提示するヨネ③

5.4.2 学習者の使用頻度が高い機能

この節では NNS の使用頻度の高い 6 種類の機能を、多い順から順次事例を取り上げて論じていく。

(1) NNS の情報・意思受入要求のネ③

情報・意思受入要求のネ③の集計結果をみると、NNS は 224 回の使用し、6.4%を占め

ており、11 種類の機能の中で最も高い頻度で使用された機能である。NNS のネ③の使用の中には、「そうですね」「そうだね」など、ソウ類に分類される使用も多く含まれており、このようなソウ類の発話もネ③の使用頻度を高くする要因の 1 つと言える。

次の例は NNS のネ③の事例である。

例 28

行	話者	発 話 内 容
9	NS8	よろしくお願ひします。
10	NNS8	よろしくお願ひします。
11	NS8	国際ですか?。
12	NNS8	国際です <u>ね</u> 、へへへ。
13	NS8	ははは。
14	NNS8	日文…(はい),つて私は友達が一人もいないんで,,
15	NS8	ああ、そうなんですか。
16	NNS8	文学かなと。

上の例は、話者同士が自己紹介をする場面である。この事前のやり取りで、NS8 は「M 学部」の所属であることを話している。そして、NNS8 とは面識がなかったことから、「M 学部」の別の専門ではないかと予測し、11 行目で「国際(専門の略称)ですか?」と聞いている。12 行目で NNS8 は「国際ですね、へへへ。」と答える発話の中で情報・意思受入要求のネ③が用いられている。従来の研究では、自らの専門のような話し手の自明な事実に、ネが使用されると不自然な文となると指摘することが一般的だった(北野 1993 等)。しかし、文レベルではなく、発話連鎖に拡大して捉えた時、NNS8 の 12 行目の情報・意思受入要求のネ③の発話は、引き続き NNS の 14 行目の発話に繋がっているのが分かる。即ち、NNS8 は 14・16 行目の発話において、NS の予測が当たったことを述べる発話を産出する意図が「国際ですね」のネ③に含まれていると思われる。

次のネ③の機能が用いられた「そうですね」³⁶の例をみてみよう。

例 29

行	話者	発 話 内 容
354	NNS17	なんか、周りの人も取るみたいんで。

³⁶ NNS は聞き手の質問に答える発話として「そうですね」をよく発する。このような「そうですね」は質問に対する応答の発話機能を持つことから、情報・意思受入要求のネ③を適用したソウ類の発話として分類し、後述する同じ「そうですね」であるが、同意・共感表明のネ⑤を適用し、聞き手の発話に同意を示す発話機能を持つものと区別した。

355	NS17	中国人の友達?。
356	NNS17	そうですね。
357	NS17	中国に住んでいる方ですか?。
358	NNS17	いいえ、日本の。
359	NS17	日本の、ああ、文系の…。

上の例は、周りの人の中には簿記などの国家資格を取る人がいると話しており、それを聞いた NS17 は 355 行目で「中国人の友達?」と質問し、NNS17 は 356 行目で「そうですね」と答えている。質問に対する応答であるため、このネは情報・意志受入要求のネ③だと考えていい。データ 17 の NNS17 は、20 分の会話の中で聞き手の質問に回答する発話として「そうですね」を 9 回も発しており、質問への応答の定型表現として使用していた。このような現象からは NNS が情報・意思受入要求のネ③が付くソウ類の発話を、様々な質問への応答発話として「習慣的に」使用していることが伺える³⁷。

NNS6 に限った事例ではあるが、NNS6 は「んですね」を多く使用していた。

例 30

行	話者	発 話 内 容
299	NNS6	本当に。
300	NNS6	あの一ビュフェとかであっても、ちゃんと分かれてるんですね。
301	NS6	おお。
302	NNS6	たまに結婚式とか、たまに結婚式とかは、ビュフェとかあるんですね。
303	NS6	うんうん。
304	NNS6	あの一、たまにはテーブルに、あの一なんだろう、(後略)

上の例は、NNS6 がフランス料理について説明する場面で、300 行目と 302 行で「ちゃんと分かれてるんですね。」「ビュフェとかあるんですね。」と「のだ」文にネ③を使用し、「んですね」の定型化された形式で情報提供を行っている。「んですね」の発話の直後は、間を置くために、NS6 の相づち「おお」「うんうん」と発話が相互に交代しながら、情報提供を展開していくが、このような「んですね」は NS の確認の相づちを受けながら、自らの後続発話がさらに続くことも暗示し、シンプルな談話展開を成している。

³⁷初鹿野 (1994) では NNS のネが使用される発話としては「そうですね」を挙げており、NNS が発話のかたまりとして覚えて使用する傾向があるとしているが、このような会話の中で頻繁に発せられる「そうですね」が実際の相互行為においてどのような働きをするかは注目していない。

(2) NNS の新情報提示のヨ②

新情報提示のヨ②の集計結果をみると、NNSは76回の使用が確認され、総発話文の2.2%を占めている。これはNNSの情報・意思受入要求のネ③の6.4%に続く2番目に多い使用となる。

以下NNS14の例を挙げる。

例 31

行	話者	発 話 内 容
416	NS14	は、えっ、どんな…《沈黙1秒》違いがあります?。
417	NNN14	私まず、だめ、生ものがだめなんですよ。
418	NS14	ああ、そうなんですネ。
419	NNN14	はい。
420	NS14	じゃお寿司<とかを><{ } 【 【。
421	NNN14	】 <で《少し間》><{ }、そういなり寿司ぐらいしか、<しか食べれなくて><{ }。
422	NS14	<ああ、はは><{ }、いなり寿司。
423	NNN14	うん、そうですね。
424	NS14	うんうん。
425	NNN14	あと、ラーメン結構好きですよ。
426	NS14	あ、ラーメン。
427	NNN14	日本のラーメンめっちゃおいしいなあ<と思って><{ }。
428	NS14	<ああ><{ }そうなんですネ。
429	NNN14	せん、先月かな、友達と(はい)、ずっとな、あの一有名で知ってたんですけど。
430	NS14	はい。
431	NNN14	一蘭のラーメン。

上の例は、NNS14が日本の食べ物について説明する場面である。NNS14は417行目で、「私まず、だめ、生ものがだめなんですよ。」を自分の飲食に関する話題を提示する発話に新情報提示のヨ②を使用している。NNS14の417行目のヨ②の発話の直後を注目すると、NS14が420行目で「じゃお寿司<とかを><{ } 【 【³⁸」といった「寿司とかだめなのか」の質問を言いかける場面が見られる。この発話と重なっている412行目にNNS14は「で」

³⁸ 【の文字記号は、直後の発話に遮られて、発話が途中で終わったことを示す記号である。

の談話標識が見られるが、この「で」の談話標識があったということは、NNS14は直前のヨ②の発話を引き続き展開しようとしたと予測できる。ところが、NS14の420行目の発話(質問)が重なったため、NNS14は先に質問に答えて「そう、いなり寿司ぐらいしか」と発している。NNS14の以降の425行目の発話でも「あと、ラーメン結構好きですよ。」と新情報提示のヨ②が用いられている。このようにNNS14は自らに関する新情報を提示する際に、新情報提示のヨ②を用いて提示する傾向があった。その後は427・429・431行目で確認できるように、ヨ②で提示したラーメンに関する説明を詳しく展開している。

(3) NNSの結論表明のヨ③

結論表明のヨ③はNNSは63回がみられ、NNS全体の1.8%を占めており、11種類の機能のうち、情報・意思受入要求のネ③と新情報提示のヨ②に続く3番目に多く使用された機能である。

以下ヨの使用が最も多いNNS19の結論表明のヨ③をみてみよう。

例 32

行	話者	発 話 内 容
151	NNS19	で日本…て、日本からもネパールの政策とかについて(ふん)、そんなに研究、 まあネパールについての研究者まずはないんですよ、あんまり。
152	NS19	ああ、そう。
153	NNS19	う、な、すくな、まあたぶん私あってない、たぶん知らないかもしれない けど、そんなにネパールことじゃない、ネパールのヒマラヤとかについて あるかもしれないけど。
154	NS19	ああー。
155	NNS19	あの一なんか経済とかそんなものについては、ないんですよ(ああ)。
156	NNS19	JICA くらい…が JICA の報告書くらいですよ。
157	NS19	ああ。
158	NNS19	あんまり、ないんですよ。
159	NS19	ああ、なるほど。

上の例は、NNS19が博士論文のテーマに説明する場面で、ネパールに関する日本語の文献があまりないと話している。その説明は長く続くが、その中でNNS19は151行目の「研究者まずはないんですよ、あんまり。」、155行目の「そんなものについては、ないんですよ(ああ)。」、156行目の「JICAの報告書くらいですよ」、158行目の「JICAの報告書くらいですよ」と、4回も結論表明のヨ③を使用している。NNS19は「文献がないこと」と一連の先行発話の結論を述べる発話として提示しているように見える。しかし、NNS19は文末

の約 3 割をヨを使用しており、明らかに過剰使用をしているとみることができる。そのためヨを用いる発話が、どのような発話連鎖を志向するか、はっきりしない使用も多く見られる。

では、4 章の 4.3.3 の母語場面の NS' の例 13 における結論表明のヨ③の使用と比較してみよう。例 13 の J1 は先行連鎖における説明や理由述べを前提として、談話をまとめるために結論表明のヨ③を用いる特徴が強い。このように母語話者はヨが持つ表明系の発話連鎖効力を意識して使用するため、談話展開の必要性に応じて使用しており、この例 32 の NNS19 のように必要以上にヨ③を使用して結論表明や自己主張はしないと思われる。NNS19 のこのような過剰使用は、ヨ③が持つ発話連鎖効力の故に談話展開の方向性が把握しにくくなり、聞き手を疲れさせる相互行為を生み出す恐れがある。

(4) NNS の同意・共感表明のネ⑤

同意・共感表明のネ⑤の集計結果をみると、NNS は 61 回の使用が確認され、全体の 1.7% である。NNS の同意・共感表明のネ⑤の使用状況に注目すると、ソウ類の発話「そうですね」「そうね」に使用されたネ⑤が大量に含まれている。このことから NNS は情報・意思受入要求のネ③に続き、同意・共感表明のネ⑤も「そうですね」の定型表現を通して多く使用される可能性が理解できる。

まず、実質的発話に使用された NNS の同意・共感表明のネ⑤の例をみてみよう。

例 33

行	話者	発 話 内 容
33	NS17	亡くなって、本当、あれですよ、気の毒な事件だと。
34	NNS17	まあ、そう、多くの大学生の、大変でした <u>ね</u> 。
35	NS17	はい、すごく悲しい事件でした、本当に。
36	NNS17	そうですね、群馬県で、ああ。
37	NS17	そうですね、あっちのほうはスキーが有名で、あの一、山奥の道で、危ない、峠[↑]、あの一、くねくねした…。

上の例は、NS17 が少し前に起きたあるバス事故について話している場面であり、33 行目では「亡くなって、本当、あれですよ、気の毒な事件だと。」と事故に対して同情の気持ち述べている。このやり取りにおいて、NNS17 は 34 行目「まあ、そう、多くの大学生の、大変でしたね」、36 行目「そうですね、群馬県で、ああ」とそれぞれ同意・共感表明のネ⑤を用いている。バス事件は NS と NNS の両者にとってどちらの領域にも属さないことから中立領域と捉えることができる。NNS17 は同意・共感表明のネ⑤を用い、NS17 の一連の発話に対して同意を示しているが、談話の進行は NS17 が主導して行われている。

実は NNS の発話の中には NNS17 の 34 行目のように、実質的内容に同意・共感表明の

ネ⑤を用いて、聞き手に同意・共感を示すことは決して多くない。それより「そうですね」のような実質的内容を含まない定型化された表現を用いて、同意・共感を示すことが圧倒的に多い。そして中には会話のやり取りからして「そうですね」の定型表現の使用が不適切なものもしばしば見られる（6.4.3の例61で後述）。

(5) NNS のコメントの受入要求のネ②

コメントの受入要求のネ②の集計結果をみると、接触場面のNNSは36回の使用し、NNSの総発話文数の1.0%を占めている。

次は、NNS11のコメントの受入要求のネ②の例である。

例 34

行	話者	発 話 内 容
401	NS11	15年、15年より経ってますよね。
402	NNS11	えー、すごい、すごい[笑いながら]、完全に韓国人になりましたね、へへへ[笑いながら]。
403	NS11	そうですね。
404	NNS11	へへへ[笑う]、食べ物は?、韓国の食べ物はもうなれました?。
405	NS11	あーあたしあまり辛いのが好きじゃくて、<あははは>{<}[笑う]。
406	NNS11	<あははは>{>}[笑う]。
407	NNS11	ああなるほどね。
408	NS11	食べ物はどうですか?。
409	NNS11	マレーシアのですか?。

上の例は、NS11が生まれは日本だが、小学校から高校まで韓国で学び、途中日本を歩き来た経験話を話している場面である。それを聞いたNNS11は402行目で「完全に韓国人になりましたね」とNS11に対しコメントをする発話にコメントの受入要求のネ②が用いられる。403行目でNS11は「そうですね」とコメントを受け入れているのが見られる。さらにその後の展開をみると、NNS11は404行目で「へへへ[笑う]、食べ物は?、韓国の食べ物はもうなれました?。」と、引き続き聞き手に対する質問を続けている。前述した母語場面の事例の例12のBM01と、接触場面の事例例2、例23をみると、母語話者はいずれの場面においてもコメントの受入要求のネ②を使用し、聞き手領域に触れることで、聞き手の自己開示の後続発話を促している。ところが、ここでNNS11は「韓国人になりましたね」とコメントの発話をしたあと、自分から積極的に聞き手に働きかけ、聞き手の情報を引き出そうとしている。このようなNNS11がコメントの受入要求のネ②の発話の後、さらに自らが主導して談話展開を行う点は、母語話者とは異なる使用特徴の一面を見せている。

NNS11 はコメントの受入要求のネ②を 6 回も使用しており、NNS の中でもっともネ②の使用が多い者である。そして、その 6 回の使用例は全てこの例 34 のように聞き手領域に自ら触れた後、引き続き聞き手に働きかける談話展開を行う特徴が確認される。

次の NNS6 にみられた「いいね」の発話を簡単に触れておく。

例 35

行	話者	発 話 内 容
152	NS6	そう、パリと、ベルギーとか,,
153	NNS6	ああ、 <u>いいね</u> 。
154	NS6	回りました。

上の例は、NS6 が NNS6 の出身地であるフランスパリに旅行したことを話す場面である。NNS6 は 153 行目の「いいね」とコメントをしている。NNS は 20 分の会話の中で、何度も「いいね」を発していたがこのようはコメントの受入要求のネ②の使用は、おそらくその機能を理解して使ったというよりは、「いいね」の発話を固まりごとに習得し、習慣的に使う言い回しの一つである可能性が高い³⁹。

(6) NNS の行動要求のヨ①

行動要求のヨ①の集計結果をみると、NNS は 7 回で、発話全体の 0.2%の割合で使用されており、まったく使用していない母語場面の NS' と異なった一面を見せる。

以下は、NNS18 の行動要求のヨ①の例である。

例 36

行	話者	発 話 内 容
543	NS18	何度ぐらいですか、5 度、5 度とか?。
544	NNS18	いや、5 度はいかない。
545	NNS18	やっぱ 10 何度だけど,,
546	NS18	えー、そ、それは<ちょっと、<笑い>><{}>。
547	NNS18	<い、いや、違うよ>><{}>。
548	NNS18	15 度だけど、その寒さが違うよ。
549	NS18	寒さが違う↑<軽く笑いながら>。
550	NNS18	そう、だから、温度、関係ないですよ。

³⁹ インターネットの「いいね」ボタン等も習得源の 1 つである可能性があるろう。

551	NS18	うん。
552	NNS18	だから、ロシアみたい(うん)【【。
553	NS18	】】あー、ああいう寒さじゃなくて、あー。
554	NNS18	寒さじゃない。
555	NNS18	なんていう、温度で関係なく…、でしょ?。
556	NS18	なるほど。
557	NNS18	うん、その寒さが、すごいじゃん(あー)。

上の例は、日本とベトナムの天気について話す場面である。NNS18 がベトナムの冬の温度は 10 度ぐらいあり、日本よりも寒いと話すと、NS18 は 10 度は寒くないとして 546 行目で「えー、そ、それは<ちょっと、<笑い>><{}>。」と笑いながら否定する発話をしている。それに対し、NNS18 は 547・548・550 行目で NS18 の発話に反論を示し、「<い、いや、違うよ>><{}>。」「15 度だけど、その寒さが違うよ。」「だから、温度、関係ないですよ。」とヨを繰り返して使用している。これらの発話は聞き手の認識の間違いを指摘すると同時に、認識の変化を要求していると捉えられ、ヨは行動要求のヨ①に分類される。その後も NNS18 は 552・554・555・557 行目で、自分の意見を強く主張する発話が続いている。行動要求のヨ①の発話の後の聞き手 NS18 をみると、553 行目「あー、ああいう寒さじゃなくて、あー」、556 行目「なるほど」と直前の自分の認識を修正し、納得したことを示す発話を発している。

NNS の行動要求のヨ①の使用は全部で 7 回に過ぎないため、容易に結論づけることは難しいが、NNS の行動要求のヨ①の使用をみると、NNS は聞き手の認識や情報が間違っていると察したら、直ちにそれを指摘する発話にヨ①を用いることがしばしばある点には注目する価値がある。さらに、接触場面の NS の行動要求のヨ①(例 26)と比較してみると、NS は発話産出に困難を感じる NNS に対し「大丈夫ですよ」等「指摘」することで、NNS の後続発話の産出を応援して促した。一方で、NNS は行動要求のヨ①で聞き手の認識変化を導いてから、さらに自分の主張を展開している。特に、NNS18 のように滞在期間も長く、日本語レベルも極めて高い話者にも頻繁に使用される点を踏まえると、NNS は行動要求のヨ①が場合によってコミュニケーションの摩擦を生み出す危険性がある側面を十分に理解しないまま使用している可能性が高い。

5.4.3 学習者の使用頻度が低い機能

では以下は、接触場面の NNS の使用頻度が少ない機能を取り上げる。まずヨネの 3 つの機能、一致を表明するヨネ①、一致の受入要求のヨネ②、一致を提示するヨネ③を挙げ、その後聞き手領域の機能の(その場における)確認要求のネ①、中立領域の同意・共感要求のネ④の順でみていきたい。

(1) NNS の一致を表明するヨネ①

一致を表明するヨネ①の集計結果をみると、NNS は 14 回の使用で全体の 0.4%であった。また、ヨネ①の使用頻度の中には「そうですよね」「そっだよね」などソウ類の発話に使用されたものも含まれるが、NNS は全体の 17 回のうちソウ類の発話に 8 回も使用していた。つまり、一致を表明するヨネ①の約半分がソウ類の発話が占めており、NNS のヨネ①は使用頻度が少ない反面、ソウ類の使用の割合が多い。

次は NNS のヨネ①の用例を挙げる。

例 37

行	話者	発 話 内 容
153	NS15	なんで、帰っても、急に病気になった時に(はんはんはんはん)見てくれる人が近くにいないし、みたいなの。
154	NNS15	それはそっだよね、心配だよね。
155	NS15	そうなんですよね、なんで、帰りたくても帰れないみたいなの、はは、感じらしいんですよ、なんか。
156	NNS15	はあー、なるほどなるほど(うんうん)。
157	NNS15	なんかこの前テレビで見たんですけど、(後略)

上の例は、NS15 が地元福島原発について話す場面である。NS15 はそれまで福島原発に関する一連の情報提供を行ってきているが、153 行目で「見てくれる人が近くにいないし、みたいなの」と「みたいなの」といったぼかし表現を使って談話を柔らかくまとめている。それを受け NNS15 は 154 行目で「それはそっだよね、心配だよね。」と一致を表明するヨネ①を用い、これまでの聞き手の一連の先行発話に対し、自分も一致する考えを持つと示している。

初対面場面で母語話者は母語場面、接触場面問わず積極的に一致を表明するヨネ①を使用しているが、それに比べて NNS の使用は非常に少ないことが分かる。ヨネ①の使用が少ない主な原因として NNS は NS の先行発話に向けて発する発話が少ないことが挙げられる。NNS にとって聞き手の先行発話を受け、一致を表明しながら聞き手と共に談話をまとめる行為は難度が高いことが予想できる。それに比べると、自らの後続発話の産出を行う行為が比較的しやすく、こういった NNS の発話産出の能力が終助詞の使用頻度の高低にも反映されていると言えよう。

(2) NNS の一致の受入要求のヨネ②

一致の受入要求のヨネ②の集計結果をみると、NNSは17回使用され、発話全体の0.5%の使用が確認された。

以下NNSの一致の受入要求のヨネ②の事例をみてみよう。

例 38

行	話者	発 話 内 容
105	NNS2	<まあ、たぶんそれはひ>{>}、人のなんか好みによって、
106	NS2	うん、<まあまあまあ>{<}。
107	NNS2	<その人の>{>}、好みかもしれないですよ <u>ね</u> 。
108	NS2	そうですね。
109	NNS2	はい。
110	NS2	うーん。
111	NNS2	うーん。

上の例は、食べ物のチーズについて話している場面で、NNS2が「女性は皆チーズが好きなようだ」と話すと、NS2が「男性もチーズが好きな人は女性よりも好きだ」と意見を述べている。NNS2は107行目で「<その人の>{>}、好みかもしれないですよね。」と一致の受入要求のヨネ②を使用している。ヨネ②の後の発話連鎖をみると、両者とも談話終了の相づち「はい」「うん」を発して、チーズの話題を共同的に終了している。NNS2の一致の受入要求のヨネ②の発話をみると、先行発話においてNNS2による「女性がチーズが好きだ」という主張、NS2による「男性もチーズが好きな人は女性よりも好きだ」という主張があり、このような意見交換のやり取りを経て、NNS2は「(この問題)人の好みの問題である」として、「折半する」形で聞き手に一致することを受け入れるように求めている。

NNSの一致の受入要求のヨネ②の使用は少なかったが、限られた使用例をみると、この例のNNS2と類似し、会話のその場のやり取りを通して話し手が改めて思い出したり、感じたり、判断したりすることにヨネ②をよく使うといった、使い方のバリエーションが限定される特徴が見られた。以下の例も同様である。

例 39

行	話者	発 話 内 容
93	NNS8	で、国選とか、そうですね、国選で、私はKATTUNが好きだったんですけど(ああ)、嵐とか好きだった人が結構大半だったんですね、その時代は。
94	NS8	ええ、私も最初はKATTUNが好きで、はは。
95	NNS8	ああ、そうなんですか。
96	NS8	はは、もう本当その頃ですね、きっと。

97	NNS8	そうですね、<中2とか、中3だったんで>{<},,
98	NS8	<すごく好きで>{>}。
99	NNS8	小学生じゃないですか、はは?。
100	NS8	そうですね、KATTUN、小学生の時に大好きで,,
101	NNS8	ああ、はいはい。
102	NS8	小学生6年生ぐらいの時から嵐に、<なったんですけど>{<}。
103	NNS8	<ああ、はい>{>}はいはい。
104	NS8	もうジャニーズ好きです、ははは。
105	NNS8	そうですね、なんか魅力があるんですよ、<面白いし>{<}。
106	NS8	<はい>{>}。

上の例は、好きなアイドルについて話す場面である。先に、NNS8が93行目で日本のアイドルグループのKATTUNが好きだったと話すと、NS8も94行目でKATTUNが好きだったが、後で嵐が好きになったと話している。この例の一連のやり取りは互いにどのアイドルが好きだったかということが、共有される発話連鎖となっている。そして、105行目でNNS8は「そうですね、なんか魅力があるんですよ、<面白いし>{<}。」と、この場のやり取りを通して改めて思い出した以前のアイドルに対する思い出または感想を述べる発話に一致の受入要求のヨネ②を使用している。

次の例も「改めて思い出したことを言う」発話に一致の受入要求のヨネ②を使用している。

例 40

行	話者	発 話 内 容
236	NS15	=なんか地震がきたら(地震だと)、机の下に隠れてとか、そういうのも結構普通に、たぶん海側の方だと、そのやっぱ津波のこととかあるんで、高台に逃げるとかもやってたのかなとは思うんですけど、なんかそういう訓練とかもない感じですか?。
237	NNS15	それが訓練が無いんだよね、ほんとに。
238	NS15	あ、そうなんですね。
239	NNS15	なんか(うん)、もう地震が起きたらどうすればいいのか、どこへいけばいいのかさえも、(うんうん)たぶんインドネシア人分からないですよ。

上の例は、NS15が日本では学校で地震訓練を多く行っていることを紹介した後で、236行目で「(インドネシアには地震の)訓練とかもない感じですか?」と質問をしている。この前のやり取りにおいて、NNS15によってインドネシアでは地震対策が遅れていることが語られていた。そのこともあって、237行目でNNS15は「それが訓練が無いんだよね、ほん

とに。」と、インドネシアには地震の訓練がないことを改めて思い出して、困った事実(結論)として聞き手に示し、受け入れを期待する発話に一致の受入要求のヨネ②を用いている。

このように一致の受入要求の NNS のヨネ②は使用頻度が少ない上に、使い方においてもバリエーションが限定され、特定の使い方を中心に用いられているのが分かる。

(3) NNS の一致を提示するヨネ③

一致を提示するヨネ③の集計結果をみると、NNS は 6 回のみでの使用が確認され、発話全体 0.2%に留まり、母語場面の NS の 1.7%と比べると遥かに少ない。

次は NNS による、一致を提示するヨネ③の事例である。

例 41

行	話者	発 話 内 容
105	NNS12	いや、自分が例えばあの、TBS のモニタリングみたいな,,
		<中略>
115	NS12	】 あ、たしかにモニタリングとかそれけっこう面白<いですよ>{<}[笑いながら]。
116	NNS12	<面白いですよ>{>}=。
117	NNS12	=もしかしたら、こういう場面がもに、モニタリングされたらまあ。
118	NS12	あーたしかに、ははは[笑う]。
119	NNS12	実は、モニタリングですってみたいいな感じでね↑。
120	NS12	たしかに(うん)、へへへ[笑う]。
121	NNS12	びっくりするよね、それね。
122	NNS12	先週もちょっとあの、面白い番組、あの、見てたんですけど(うん)、あの、なんか京都の人、もし無料なものが、ただでもらえる場合だったら(ああ)、まあ大阪の人と京都の人は→。
123	NS12	よく見ますそれ、ははは。
124	NNS12	そうそうそう。
125	NNS12	で、あの、自分の指導教官が大阪出身なので。

上の例は、NNS12 が日本の好きなテレビ番組について話す場面で、105 行目で TBS の「モニタリング」が面白いと話している。その後、116 行目と 121 行目をみると「<面白いですよ>{>}=。」「びっくりするよね、それね。」の発話に一致を提示するヨネ③が使用されている。ヨネ③は提示系の発話連鎖効力を持ち、その後の発話を見ると NNS12 は直ぐに後続発話において談話展開を行っている。即ち、117 行で「=もしかしたら、こういう場面が」とラッチングが見られる展開と、122 行目で「先週もちょっとあの」で始まる展開から確認

できる。

NNS の一致を提示するヨネ③の正用となった使用は 6 回と非常に少ない。ところが、6 章の 6.3.2 節で逸脱として判断したヨネの不自然な使用をみると、全て提示系の発話連鎖効力を適用していることが判明した(後述)。つまり、逸脱となったヨネに適応した提示系の発話連鎖効力の事実を合わせて考えると、NNS はヨネの習得が遅れるとは言え、ヨネにおいても提示系の発話連鎖効力を多く適応していることが浮き彫りになる。

(4) (その場における)確認要求のネ①

(その場における)確認要求のネ①の集計結果をみると、接触場面の NNS は 8 回使用し、NNS の総発話文数の 0.2%に留まっている。

次は、NNS の確認要求のネ①の事例である。

例 42

行	話者	発 話 内 容
194	NS16	そ、「い」だけでよん、四個ぐらいあったりとか(ああ)、なんかぐちゃぐちゃ崩して書くから(はいはいはい)よく分かんなかったり(へえ)[笑いながら]とかするんですけど、そういうの…を,そのまま活字になって直してないので(うん)、そのまま読まなきゃいけないとか(えー)、それはちょっと大変かなと思う><【。
195	NNS16	】 <そう、じゃ昔の><{}日本の文字も読めてる《少し間》、<という,ことです <u>ね</u> 、ははは><{}。
196	NS16	<そうですね、でもあれはもう写本とか><{}、手で書く、書いてるやつは本当に難しい,(ああ)<ですね><{}。
197	NNS16	<へー><{}。
198	NS16	もう書道やったりするといいのかもしれないけど、そうじゃなくてももう江戸時代であると・・・(後略)

上の例は、NS16 が自分の専門である江戸文学について話している場面である。NNS16 は、195 行目で「そう、じゃ昔の><{}日本の文字も読めてる《少し間》、<という,ことですね」と確認要求のネ①を使用し、直前に NS16 から提供された NS の古文の知識について確認を行っている。この確認の発話は、直後の 196・198 行目以降の NS16 の一連の情報提供を促している。

ところが、(その場における)確認要求のネ①は、以前から知っていた聞き手領域の情報ではなく、会話当時に得られた聞き手領域の情報に対する確認に用いられるとされる(大曾

2005)。つまり、確認要求のネ①は聞き手の先行発話に対する内容の確認に用いられ、その確認要求を受けた聞き手はさらに情報提供を具体化する発話連鎖の特徴がある。このような聞き手の先行発話・後続発話の両方に対して働く確認要求のネ①は、NNSにとって習得が難しい機能である可能性が容易に予想されよう。したがって、NNSの確認要求のネ①の使用頻度は低い結果となったと思われる⁴⁰。

(5) 同意・共感要求のネ④

同意・共感要求のネ④の集計結果をみると、NNSは15回の使用がみられ、発話全体の0.4%に留まる。

次は、NNSの同意・共感要求のネ④の例をみてみよう。

例 43

行	話者	発 話 内 容
176	NS8	そうですね、この辺だと全然ですよ。
177	NNS8	千葉、千葉降らないですね。
178	NS8	ですよ。
179	NNS8	今年なんか東京とか降ったのに。
180	NS8	はは、びっくりしました。
181	NNS8	晴みたいな感じでしたね。
182	NS8	晴か、雨かみたいなの、あれって、雪はって、ははは。
183	NNS8	降るって言ったよね、みたいなの感じですね。
184	NS8	ははは、ちょっとがっかりですよ、ははは。
185	NNS8	初雪見れる一、と思ったら、全然(ははは)降らないみたいなの、ははは。

上の例は、NNS8が日本は雪があまり降らないと話している場面で、中立領域の天気話題になっている。NNS8は、177行目「千葉、千葉降らないですね」、181行目「晴みたいなの感じでしたね」、183行目「降るって言ったよね、みたいなの感じですね。」と、同意・共感要求のネ④を使用した発話で聞き手に対して同意・共感の要求を打ち出している。それらの発話の直後にはNS8の178・182・184行目の同意を示す発話をはっきりと表れている。このようなやり取りを挟み、NNS8は185行目以降で引き続き談話展開を行っているため、この例は非常に相互行為的なやり取りとなった印象を受ける。

⁴⁰ 確認要求のネ①と同意・共感要求のネ④は母語場面のNSでも使用が少なかったことから、初対面場面においてそれほど頻繁に使用される機能ではないことが考えられる。したがって、NNSの使用問題を捉えるためには、初対面場面だけでなく、もっと場面を増やして調査・分析を行ってみる必要はある。

このような会話をより相互行為的なものにしつつ、その後の談話展開を協調的にするのに用いられる同意・共感要求のネ④は、まだ人間関係や情報の共有が十分に成り立っていない初対面場面では使用が少ない機能である。一方で、このような聞き手と関係性を考慮しつつ、一連の談話展開を通して適切に使用する必要があるネ④は、前節の確認要求のネ①と同様に NNS にとっては習得が難しい機能である可能性がある。

以下は、NNS が聞き手の同意・共感要求のネ④の発話を受けて、期待される同意を示す応答を返さないことが確認された事例である。以下の斜字で示す発話に注目されたい。

例 44

行	話者	発 話 内 容
338	NNN14	でも初めてなんですけど、<今回が>{<}.
339	NS14	<ああそうなん>{>}ですか。
		<中略>
351	NS14	<u>えっ初めて、緊張しますね、ははは。</u>
352	NNN14	<u>どうだろう、ふふふ。</u>
353	NS14	えっ結構、運動はされますか?。
354	NNN14	いやー。
355	NS14	ああ、しないですか?。
356	NNN14	しないです。

上の例は、NNS14 が後日スキーに行く予定があることを話し、初めてする体験だと話している場面となる。スキーに行ったことがある NS14 は 351 行目で自分も緊張していたことを伝え、中立領域の同意・共感要求のネ④を用いた発話「初めて、緊張しますね」と発して同意を求めている。しかし、直後の NNS14 の 352 行目の発話をみると「どうだろう、ふふふ」と返しており、この応答は直前の NS14 の同意・共感要求のネ④の発話に対し、同意を示す発話とは捉えにくい。むしろ否定している発話に近いと言えよう。NNS14 のこういった同意・共感要求への応答により、NS14 は直後の 353 行目で「えっ結構、運動はされますか?。」と驚きを伴う質問を発することになり、やり取りは非協調的な印象を受ける。

この例の NNS14 と、上の例の NS8 の応答を比較してみると、NS8 は NNS8 の同意・共感要求のネ④の発話に対し、積極的に同意を示す発話を返しているが、この例の NNS14 はそのような応答が欠けているため、会話のやり取りに協調性が欠け、ぶっきらぼうに感じる。それは NNS14 が聞き手の同意・共感要求のネ④の発話連鎖効力を適切に理解されず、同意を示すといった適切な応答ができなかったために起きた違和感であろう。このことから接触場面において NNS の終助詞の使用と問題は、NNS が使用する終助詞に限ったものではなく、NS が使用する終助詞の発話を受け、聞き手が期待する応答を返すことができる

か否かにも反映されることが分かる。

5.4.4 使用頻度からみる学習者の使用特徴と習得問題

以上の NNS の使用頻度と事例分析と通し、終助詞の多様な機能のうち習得が早い機能と遅い機能が分かれることが分かる。以下はネ、ヨ、ヨネの種類別に NNS の使用頻度を通して見られる使用傾向と習得の問題点をまとめる。

1) ネの使用特徴と習得問題

ネの 5 種類の機能において、確認要求のネ①は使用が少なく、NNS は聞き手領域の発話に確認要求のネ①を使用することはなかなかできないことが分かった。その理由として考えられるのは、NNS は確認要求のネ①が持つ連鎖の特徴、即ち聞き手の先行発話に向けて発話することは難度の高い言語行動であるからだと考えられる。コメントの受入要求のネ②は全体的には使用が少なかったが、個別に繰り返し使用する NNS の使用特徴をみると、自分から聞き手に働きかけるといった NS とは異なる使用が見られた。情報・意思受入要求のネ③の使用頻度は一番高く、習得が早い機能であることは明らかになった。NNS は「です・ますね」「思いますね」「そうですね」「んですね」等で文末をシンプルな形式にしたり、または発話を複文などにせず、切りのいいところで短く完結したりして、文の産出をしやすくするのに、終助詞の代表的なものネをよく用いていた。NNS のこのようなネ③の使用に対し、NS が積極的に応答や反応を示すことも確認され、ネ③の使用は会話を相互行為的なものにする一役を担っていることも見て取れる。同意・共感要求のネ④は使用が少なく、一方で NS が使用する同意・共感要求のネ④の発話を受け、適切な応答を返せない問題も確認された。上述の確認要求のネ①と並んで、同意・共感要求のネ④が持つ聞き手との相互行為を要する発話連鎖効力の難しさのゆえに、NNS は習得に困難を感じる問題が浮き彫りになった。同意・共感表明のネ⑤の使用は多かったが、中には先行研究でもよく指摘された通り「そうですね」の定型表現の形の使用が多い割合を示すのが本研究でも確認できたが、一方で発話連鎖の視点からこれらの定型表現の働きを見直したら、接触場面の談話展開に寄与するものも多く含まれることが明らかになった。

2) ヨの使用特徴と習得問題

ヨの 3 種類の機能においては、行動要求のヨ①は初対面場面において使用する必要性が低いにもかかわらず、積極的に使用する NNS も見られ、NNS はヨ①の機能が場合によって聞き手に失礼な言い方になることを十分に理解しないまま使用していることが示唆された。新情報提示のヨ②の使用頻度は非常に高く、特に「んですよ」のような「のだ」文の

形式で長い談話レベルにかけて、繰り返し使用する傾向が目立った。NNSにとって自分の発話を引き続き産出し、談話展開を継続する提示系のヨ②は習得が早く、好んで使用する機能であることが明らかになった。結論表明のヨ③の使用頻度も高かったが、発話連鎖効力のはっきりしない使用が多く観察され、新情報提示のヨ②との違いが見られた。このようなヨ②とヨ③の使用に見られる相違点から、NNSは先行発話をまとめる発話を発することに困難を感じる一方、後続発話を展開することには積極的であるという、言語産出能力の一面が浮き彫りになったと言えよう。このような言語産出の能力が、ヨの機能の選択と使用頻度を通して反映される結果となった。

3) ヨネの使用特徴と習得問題

ヨネの3種類の機能においては使用が全体的に少なかった。ヨネの使用が少ないのは、ネとヨを先に習得し、より優先的に選択して使用するためであることが考えられよう。一方で発話連鎖の視点からヨネの使用問題をまとめると、次のことが指摘できる。まず、一致を表明するヨネ①は使用が接触場面のNSまたは母語場面のNS'は多く使用するのに対し、NNSは使用が少なく対照的となった。ヨネ①は聞き手の発話に向けて使用する表明系の発話連鎖効力を持ち、上述したように先行発話を受けて適切な発話を発することは、NNSにとっては難度の高いことから、ヨネ①の習得も遅れると考えられる。一致の受入要求のヨネ②の使用も使用が少なかったが、使用例をみるとその発話内容のバリエーションが少なく、NNSは特定なパターンを中心に使用される傾向が見られた。一致を提示するヨネ③も使用は少なかったが、全ての例がヨネ③の提示系の発話連鎖効力に沿った談話展開をしていることが確認され、NNSはヨネの使用においても提示系の発話連鎖効力を好んで適応する側面が浮き彫りになった。

5.5 本章のまとめ

本章では4章で分類した終助詞ネ、ヨ、ヨネの談話上における統合的機能を援用し、母語場面のNS'と接触場面のNS、NNSの終助詞の使用実態を明らかにした。母語場面のNS'の使用実態と比較を行うことで、接触場面においてNSに見られる調整的な使用と、NNSに見られる過剰使用や習得の遅れる機能の難しさについて探り、NSとNNSの使用特徴としてまとめた。次の6章では、NNSの使用頻度の高い機能を中心にNNSの過剰使用の問題を考察し、使用頻度が少ない機能や本章で分析対象外となった逸脱の例を中心にNNSの中間言語に含まれる言語問題を考察する。

6 章 学習者の中間言語の考察

第 6 章では学習者の終助詞に関する言語問題について分析・考察を行う。終助詞の使用における言語問題の分析として、過剰使用、不自然な使用、誤用、不使用の順で事例を取り上げながら、分析・考察していく。

6.1 言語問題の結果

本節では終助詞の使用における言語問題として、過剰使用、不自然な使用、誤用を取り上げ、分析・集計し、ネ、ヨ、ヨネの種類別にみられた回数を表 15 にまとめた。誤用の中には終助詞ネの使用が必須にも関わらず、使用しなかったことで誤用になったものがあり、その誤用は()の中に示した。

表 15：使用における言語問題の結果

学習者	過剰使用		不自然な使用		誤用			言語問題の 合計	使用頻度の 合計
	ネ	ヨ	ネ	ヨネ	ネ	ヨ	ヨネ		
NNS1			1	1		1		3	5
NNS2	7							7	24
NNS3		6	2					8	19
NNS4					1			1	5
NNS5					3			3	5
NNS6	2	1	5		2(1)			11(1)	56
NNS7		4						4	19
NNS8		12						12	49
NNS9	4	1			(2)			7(2)	11
NNS1 0	1		1	2				4	23
NNS1 1	4	1					1	6	33
NNS1 2	15	5	1	2	1(1)		1	26(1)	70
NNS1 4		10		5	2		4	21	43
NNS1 5			1					1	50
NNS1 6	2		2	3	4(1)		1	13(1)	50
NNS1 7		2			2			4	28
NNS1 8	10						1	11	46
NNS1 9		12						12	41
合計	45	54	13	13	15(5)	1	8	154(5)	577
	99		26		24(5)				

表 15 が示す通り、今回の調査では NNS が使用した終助詞のうち、過剰使用、不自然な使用、誤用となったものは合計 154 回であった。

1)言語問題の種類別の数

まず、過剰使用をみると、ネとヨを中心に確認され、うちネが 45 回、ヨ 54 回で合わせて 99 回の使用に上った。過剰使用と判断されたネとヨは、ネとヨの全体の使用回数・全体の割回を見ると、ネは 374 回で全体の約 12%、ヨは 145 回で全体の約 38%であった。次に、不自然な使用は、ネとヨネが確認され、それぞれ 13 回ずつで合わせて 26 回の使用が見られた。最後に、誤用はネ、ヨ、ヨネの全てで確認され、合わせて 29 回の誤用が見られた。うち、ネの誤用が最も多く 20 回となるが、()の中に示す使用が必須なのに使用しなかったために誤用となったネの問題が 5 回含まれる。次にヨネが 8 回、ヨが 1 回となり、ヨの誤用が少なかった。ヨは使用が必須ではなく任意の場合が多いため、過剰使用には集中してみられるが、誤用として判定される使用は少なかったと考えられる。

これら 3 種類の言語問題の使用頻度を比較すると、過剰使用が圧倒的に多く、次が誤用、最後が不自然な使用であった。この結果から、NNS の終助詞使用における言語問題をみると、誤用と不自然な使用という機能の逸脱による問題よりも、過剰使用のほうが多くなっていることが分かる。これは従来の誤用分析で NNS の問題を終助詞の機能理解における問題として捉える狭い「誤用」の範疇で考えては、NNS の言語問題の全体像を十分に捉えられない点を示唆している。また、使用回避による不使用の問題も、NNS が機能の理解不足によって発生する言語問題の 1 つであると考え、従来の誤用分析の枠組みでは NNS の終助詞の言語問題を扱うことは不十分であるのが明白である。

2)言語問題の数と総使用頻度の関わり

次に、NNS 別にみてもみると、3 種類の言語問題の回数が全体的に多い話者は、NNS12 の 26 回がもっとも多く、その次が NNS14 の 21 回と続く。また、これらの NNS は過剰使用が多だけでなく、誤用と不自然な使用の回数も上位に位置する。言語問題が多く見られた NNS は、終助詞の総使用頻度が高い NNS であり、言語問題の発生は実際の使用頻度と大きく関わると言える。このことは、総使用頻度が少なく、言語問題も少ない NNS1、NNS4、NNS5 を見ても明らかである。一方で、全体の総使用頻度が高い NNS15 のように、中間言語的な使用が 1 回しか確認されず、基本的には NS の使用に近い正用を大半の場面で使用した NNS もいた。

機能の逸脱となる不自然な使用と誤用が全く見られなかった NNS は、NNS2、NNS7、NNS8、NNS19 の 4 人であった。この 4 人の場合、NNS2 は終助詞の総使用頻度が少なく、それに伴う形で言語問題も見られなかったと判断できる。一方、NNS8 と NNS19 の場合、不自然な使用と誤用が見られない代わりに、ヨの過剰使用が圧倒的に多く確認された。なお、過剰使用が全く見られなかった NNS として、上述の総使用頻度が少なかった NNS1、

NNS4、NNS5と言語問題が1回しか見られないNNS15がいる。ここから過剰使用は、習得が進んでいないため使用自体少ないことによる場合、その逆の習得が進んでいるからこそ、過剰使用が起きる場合、NNSに近い使用をするから過剰使用が少ない場合の3パターンで捉える必要がある。

以下では事例を挙げながら、NNSの終助詞使用に関わる問題を考えていく。

6.2 過剰使用

過剰使用に関しては従来から明確な量的基準を用いて考察が行われてきたわけではなく、NSの使用と比較して相対的に捉えるか、研究者の直感に頼った判断が多かった。本研究も過剰使用を客観的に捉える量的基準を設けることは難しいと考え、5章の機能の使用実態の結果を基に、母語場面のNS'の使用頻度と比較しながら、NNSが顕著に過剰使用していると見られる機能に着目し、過剰使用の傾向とその原因を探っていくことにしたい。ここで接触場面のNSとの比較は避けた理由は、接触場面のNSの言語使用は既に接触場面の場面性に影響され、調整が行われているからである。本節で注目したのは母語場面のNS'と比較して、使用頻度が明らかに高い情報・意志受入要求の③、新情報の提示のヨ②、結論表明のヨ③の3つの機能となる。これらの使用頻度が高い機能には、NS'とどのような異なる使用特徴がみられるのだろうか。本節ではNNSの独自の使用パターンを見つけることで、過剰使用の原因及びその働きを含めて探っていきたい。NNSの独自の使用パターンを見つけることは、NNSが繰り返し習慣的に使用する終助詞が、母語話者からすると「過剰使用」の印象を持つ問題に繋がると考えたからである。従来の母語話者の視点から行う誤用分析だと、「過剰使用」は主に言語問題として捉える見方だったが、本研究では以上のような学習者独自の使用に視点を置き、なぜ学習者はそのような過剰使用をするのかといった、学習者の視点にも立った分析と考察を行う。金庭・ほか(2011)の調査では、NNSの終助詞を含む発話のうち、ネ・ヨ・ヨネの発話ほどのNNSにもパターン化された使用傾向がみられると報告している。しかし、金庭・ほかによるパターン化された終助詞の使用の指摘は、1発話を単位に分析したものである。本研究では金庭・ほかの指摘を踏まえ、使用頻度からして過剰使用となる終助詞をより長い談話レベルに拡大し、発話連鎖の視点から捉えた時、どのようなNNS独自の使用パターンが見られるのかを明らかにした。

分析の結果、過剰使用のパターンには2つ、即ち文レベルの過剰使用と、談話レベルの過剰使用があることが判明し、さらに前者に2タイプ、後者に3タイプが分類された。

以下の表16は、過剰使用のタイプをまとめたものである。

表 16:過剰使用のタイプ

	文レベルの過剰使用	談話レベルの過剰使用
--	-----------	------------

情報・意思受入要求のネ③	スーパー文末詞	NS の働きかけを誘発する談話標識
新情報提示のヨ②	-	談話展開の談話標識
		前置きの談話標識
結論表明のヨ③	強調の文末詞	-

まず文レベルの過剰使用には、「スーパー文末詞」としての情報・意思受入要求のネ③を使用するタイプと、「強調の文末詞」として結論表明のヨ③を使用するタイプが見られた。一方で、談話レベルの過剰使用には3つのタイプがあり、即ち「NSの働きかけを誘発する談話標識」として情報・意志受入要求のネ③を使用するタイプ、「談話展開の談話標識」として新情報提示のヨ②を使用するタイプ、「前置きの談話標識」として新情報提示のヨ②を使用するタイプが見られた。

以下5つのタイプを用例を取り上げ、詳しく考察する。

6.2.1 文レベルの過剰使用

まず、文レベルの過剰使用から取り上げる。

(1) スーパー文末詞としてネ

NNS の情報・意志受入要求のネ③の中には、要求系の発話連鎖効力の働きは薄いものが多く含まれる。これらの情報・意志受入要求の③の使用は「ですね」「ますね」「んですね」等シンプルな文末形式となり、NNS が聞き手の応答を求めて使用するのではなく、文末表現を簡単でシンプルなものとして産出するために使用している特徴が共通して見られた。このようなネ③の使用は、NNS が日本語の多様な文末詞をネで広くカバーし、文末処理を行う目的で使用していると捉え、スーパー文末詞としての情報・意志受入要求のネ③と呼ぶ。

次の例をみてみよう。

例 45

行	話者	発 話 内 容
424	NNS12	まあしゃべっても、ちょっと発音が<変な>{<},,
425	NS12	<ちょっとちがう>{>}。
426	NNS12	ええ、大変なので、やっぱり慣れるのがたい…問題ですね(へえ)。

427	NNS12	慣れるのが問題です <u>ね</u> 。
428	NS12	そうなんですね。
429	NNS12	え、千葉に来たら、全然なれる問題ならないです、 <u>慣れるのが問題にならないです<u>ね</u></u> 。
430	NS12	うーん。
431	NNS12	全然まあすぐに入れる、今の生活。

上の例は、NNS12 が最初に日本に留学した時には慣れるのが大変だったが、T大学に入学し、T市に来た時には直ぐに慣れたと話している場面である。NNS12 は 426・427・429 行目で「慣れるのがたい…問題ですね」「慣れるのが問題ですね」「慣れるのが問題にならないですね」と、3 回も文末に情報・意志受入要求のネ③を使用し、同じ形式の文末表現を繰り返している。ところが、この情報・意志受入要求のネ③の使用を通しては、その後の NNS12 の談話展開を直ぐに予想することができない。例えば、426 行目と 427 行目の発話が一気に繋がっていることを踏まえると、一連の NNS12 の発話は特に聞き手の応答を求めながら談話展開をしようとする特徴は薄いように感じる。むしろ、NNS12 が「慣れることが問題になる、またはならない」といった発話内容を単文レベルで羅列していく特徴が強く、一連の発話を情報・意志受入要求のネ③を用いて完結しようとしているように思われる。さらに、聞き手の NS12 は 428 行目で「そうなんですね」、430 行目で「うーん」と確認の相づちを発しているが、それに対する NNS12 の反応も特に明らかではない。つまり、NNS12 は情報・意志受入要求のネ③を聞き手の受け入れを期待する機能より、情報・意志受入要求のネ③で文末を完了する機能を優先して使っているのではないだろうか。

金庭・ほかが指摘するパターン化された「と思います(思う類)ね」を含め、本研究のデータにみられる「です・ますね」等シンプルな文末形式にネが使用される発話をみると、NNS が終助詞ネで日本語の多様な文末詞を広くカバーして文末を完結する使用が目立っていた。そして、発話連鎖の視点を加えて捉えると、このような文末詞として使用されるネ③は聞き手の受け入れを期待する機能は薄く、NNS が次の発話の産出を急ぐ特徴がより強く出ている。

次の例を見てほしい。

例 46

行	話者	発 話 内 容
13	NNS9	あーそこで…ちょっと…、うーん、てん…地震予測(ふーん)、の研究、簡単に言えば、地震予測、の研究を、してます。
14	NNS9	《少し間》うーん、はいちょっと電子電気…と関係ある、研究です <u>ね</u> [→]。
15	NNS9	うーん、はい、### よろしくお願ひします。

例 46 の NNS9 はトルコ出身で日本滞在期間は 3 年となるが、普段英語中心の生活をしており、日本人との接触経験が比較的少ない学習者である。NNS9 は日本語能力検定 NS2 に未だ合格しておらず、日本語の会話能力は同程度の滞在期間を有する NNS より劣る。例をみると、13 行目からずっと NNS9 側の発話文が続いており、どの発話文にも言葉の産出に困難を感じながら、言いよどむ様子が確認できる。14 行では「《少し間》うーん、はいちょっと電子電気…と関係ある,研究ですね[→]。』と、考えながら自らの専門について説明をする発話文の中で、情報・意思受入要求のネ③を用いている。そして、続く 15 行目で「うーん、はい、よろしくお願ひします。」と、自己紹介を突然切り上げる展開となっている。この例の NNS9 も発話文を短く完結し、文構成をシンプルな形にして一連の発話連鎖を展開するのに情報・意思受入要求のネ③を使用している。特に、発話の産出に躓き、言いよどむ場面でネ③を用いていったん文末を完結するケースとみることができる。このような使用は、NNS9 のように日本語のレベルが不十分な NNS だけに限ったことでなく、日本語のレベルが極めて高い NNS12 にも確認された。

情報・意思受入要求のネ③を用いた文末の完結、および後続発話の産出を優先する使い方は、ネ③で聞き手と相互行為を図るといった目的よりは、NNS が自分の発話産出を意識し、文末処理を行うためにネ③を用いるといった、ネ③をスーパー文末詞として活用している独自の使用と言えよう。このような情報・意思受入要求のネ③の使用は 25 例見られ、以下にまとめる。

スーパー文末詞のネの事例(25 例)

NNS2: その、味は、味ですね

NNS6: ああ、えーいっぱいあるねー。

NNS6: まあ、けっこう家族の、家族ですね、やっぱり。

NNS9: うーん、はいちょっと電子電気…と関係ある,研究ですね

NNS9: ほんとに難しいですね。

NNS9: トルコで、試験だけですね。

NNS9: みんなバイトしてますね。

NNS10: そうですねこれは文化ですね

NNS11: たぶんそれであう,あつたと,思います

NNS11: 知りませんねえ。

NNS12: まだまだ慣れてますね

NNS12: その焼く時間ですね。

NNS12: 上海まだいったことないですねえ。

NNS12: まあ、なんか京都の人と大阪の人みたいですね
 NNS12: 言い方が乱暴ですね
 NNS12: やっぱり慣れるのがたい…問題ですね
 NNS12: 慣れるのが問題ですね
 NNS12: 慣れるのが問題にならないですね
 NNS12: 日本人みたいに考えることができないですね
 NNS12: 普通に多く考えるはずですね、日本人は
 NNS12: ポライトネスとか、れ、礼儀の面ですね
 NNS12: 中国人よりレベルが高いと思いますね、ええ
 NNS12: 中国人はそういう習慣はないですね
 NNS12: いや、とは思わないないですね
 NNS12: 逆に面白いと思いますね(あー)

(2) 強調の文末詞としてのヨ

NNS は結論表明のヨ③を頻繁に使用して、自己主張を行っているが、その結論表明のヨ③が果たす表明系の発話連鎖効力をはっきり示されない使用が多く見られる。このようなヨ③の使用は、主に発話内容を強調する目的で使用し、聞き手との発話連鎖や談話展開を意識した使用ではないと捉え、本研究では「強調の文末詞」としての結論表明のヨ③を名づける。

以下例をみてみよう。

例 47

行	話者	発 話 内 容
366	NNS12	上海と杭州とか、あと南の広州と香港とか。
367	NS12	うーん、へえ。
368	NNS12	近いですから、競争してますよ。
369	NS12	あー(うん)、なるほど。
370	NS12	え、一番その(うん)代表的な(そう)、あれはなんなんですか?。

上の例は、NNS12 が中国の北のエリアと南のエリアの都市間の関係性について説明している場面である。NNS12 はそれまで具体的にいくつかの都市を挙げながら説明をした上で、368 行目で「(上海と杭州、あと広州と香港は互いに)近いですから、競争してますよ」と、競争の原因を「距離的に近いからだ」と理由を述べる発話にヨ③を用いている。NNS のヨ

③の使用をみると、NNS は自分の感想、意見、根拠づけなどの発話にヨ③を用い、突然談話展開を打ち切ることがよく観察できる。その証拠として、この例でもヨ③の発話の後の NS12 の反応をみると、370 行目で NS12 の「あー(うん)、なるほど。」と受け入れの発話の後、371 行目で「え、一番その代表的なあれはなんなんですか?」と NS12 のほうから新たな話題作りのための質問を行って談話を維持しようとする場面から確認できる。つまり、NNS の過剰使用となるヨ③は、発話連鎖効力を意識した使用というより、発話内容を強調する目的で使用しているものが多い。

次の例も結論表明のヨ③の表明系の発話連鎖効力がはっきりしないゆえに、NS が談話展開の意図が読み取れず、戸惑いを見せる事例である。

例 48

行	話者	発 話 内 容
135	NNS3	(前略)なんかからあげ食べ放題(ほっ)というものが<あって><{<}
136	NS3	<本当ですか><{>、<それすごいですね><{<}
137	NNS3	<そうそうそう><{>そうそう。
138	NNS3	99 円なんですよ。
139	NS3	《少し間》99 円で食べ放題。
140	NNS3	そう。
141	NS3	すごい安いじゃない[軽く笑いながら]。
		<中略>
364	NS3	ははは、一番<寒いときに><{<}
365	NNS3	<一番寒いときに><{>、いっ、行ったんですよ。
366	NS3	《少し間》へー、《少し間》<それは…><{<,,
367	NNS3	<めっちゃ><{>寒かった。
368	NS3	スキー、しに行ったんですか?。

上の例は NNS3 発話 138 行目と 365 行目で結論表明のヨ③が使用されているが、両方とも直後に NS3 による間が生じた後、NNS3 が発話が切り出している。まずここで NS3 の発話の冒頭の「《少し間》」に注目してほしい。そして、139 行目をみると NS3 が単に直前の NS3 の発話を繰り返す発話であり、さらに 370 行目では言いよどみが見られる発話となっている。これらの NS3 の発話からは NS3 がどのような発話をすればいいか迷っている様子が明らかである。NS3 の発話がこのような特徴を持つ理由は、NNS3 がヨを用いた発話を発した後、突然談話を終了し、それ以上展開しなかったことにある。つまり、NS3 は NNS3 がどのような談話展開を行うか、はっきり掴められなかったのである。言い換え

ると、ヨは提示系のヨ②にしても、表明系のヨ③にしても、談話進行の方向性を聞き手に明確に伝える発話連鎖効力があるが、上の NNS3 の結論表明のヨ③の発話は、こういった発話連鎖効力の働きがはっきり示されていない。従って、NNS3 の結論表明のヨ③は聞き手 NS3 にとって、後続発話の連鎖を予想しにくい使用となってしまう、相互行為に滞りを感じる間が生じたり、急に中断した談話を再起するための NS の発話の調整が行われたりするケースとなった。

以上のような発話連鎖効力の働きが薄く、文レベルにおいて主に発話内容の強調を中心に使用される NNS の結論表明のヨ③の事例として 24 例が観察された。

発話内容を強調するためにヨ③の事例(24 例)

NNS3: 量がすごい多いんですよ

NNS3: 今でもなんかおかしいんですよ。

NNS3: 全然時間がないですよ

NNS3: 一番寒いときに、いつ、行ったんですよ

NNS3: 転ぶしかないですよ

NNS9: 得意学生ですよ

NNS12: 近いですから、競争してますよ

NNS12: あの上海の人は、まあケチで、中国で有名ですよ

NNS14: いや、違うんですよ

NNS14: 郷土料理けっこう好きなんですよ

NNS14: ぜひ食べてくださいよ

NNS17: カーブがおお、多すぎですよ

NNS17: 田舎のほうなんですよ

NNS19: はい、長いんですよ

NNS19: 先生は一年から二年にいったみたいではないんですよ

NNS19: 決まってないから、わかんないんですよ

NNS19: できてないことだったんですよ

NNS19: 研究者まずはないんですよ、あんまり

NNS19: そんなものについては、ないんですよ

NNS19: JICA くらい…が JICA の報告書くらいですよ

NNS19: あんまり、ないんですよ

NNS19: 書かなきゃいけないんですよ。

NNS19: 日本の博士課程だけでもっていったらないですよ

NNS19: 政府関係だと実施するのほうになるんですよ

6.2.2 談話レベルの過剰使用

談話レベルの過剰使用の3つのタイプをみると、いずれもネとヨが有する発話連鎖効力が談話展開において強く表れていた。なお、上記の文レベルの過剰使用となるネとヨの発話は文末形式がシンプルな形をとる特徴があるのとは異なり、談話レベルの過剰使用は一連の発話連鎖において発話と発話を繋げるその他の談話標識とセットとして使用され、ネ、ヨも談話展開のための談話標識の機能を強く担っている特徴が見られた。

では3つのタイプを、それぞれ例を挙げながらみてみよう。

(1) NS の働きかけを誘発する談話標識としてのネ

このタイプのネはNNSがネを用いる発話でNSに働きかけることで、自らは相互行為の受け身の立場におかれようとしたものである。具体的な働きかけの仕方としてはNSに追加質問を求める場合が多くみられ、その際の発話連鎖のパターンとして「ネ③-NSの質問-ネ③-NSの質問」の展開となるものが多くみられた。

次の例をみてみよう。

例 49

行	話者	発 話 内 容
85	NNS18	財団という所に住んでいて(はい、はい)、で、財団の人と一緒に。
86	NS18	へえー、ぎ、財団?。
87	NNS18	財団ですね。
88	NS18	財団?。
89	NNS18	そうですね。
90	NS18	え、す、住んでるとこ?。
91	NNS18	住んでる…りよ、寮みたいな,,
92	NS18	寮みたいな、あー。
93	NNS18	はい、所で。
94	NS18	あ、それはなんか、奨学金っていうか,,

上の例はNNS18が住まいについて話題にしている場面である。85行目でNNS18は「財団で住んでいて、財団の人たちとよく飲んでいる」と話しており、それを聞いたNS18はその意味がよく理解できなかったのか、86行目で「へえー、ぎ、財団?。」と聞き返している。この聞き返しに対し、NNS18は87行目で「財団ですね。」と情報・意思受入要求のネ③を使用して回答している。しかし、NNS18のこの回答だけでは聞き手にとって十分な情報提供とは言えず、そのゆえにNS18の88行目「財団?。」といった再度の聞き返しを

導いている。そしてさらに、その後の 89 行目でも NNS19 は「そうですね」と不十分な情報提供の発話で終わっており、90 行目で NS18 は三度目の聞き返しを行っている。

この例 49 のように NNS は聞き手の質問に答える第 1 発話にネ③をよく使用していたが、ネ③の発話における情報提供が不十分にも関わらず、それ以上の情報提供を展開しないで、NS から聞き返しや追加質問を行うようにさせる特徴が確認された。つまり、「NNS のネ③を用いた情報提供—NS の質問—NNS のネ③を用いた情報提供—NS の質問」といった発話連鎖の形での NNS に関する情報提供または自己開示が行われている発話連鎖が見られた。このようなネ③の使用は、NNS が自らが主導的に談話を進めて自己開示することを避け、NS の働きかけに頼って自分は受け身的に相互行為を行おうとするストラテジーの現れではないだろうか。もし、母語話者同士でこのようなネを多く使用するとどんな印象を受けるのだろうか。不十分な情報提供で終わる相互行為は、積極的に参加する姿勢が欠け、聞き手に配慮に欠けた会話になる恐れがある。

このタイプの使用は NNS2、NNS11、NNS16、NNS17 の 4 人を中心に 20 例見られた。このような NS が直後の NS の質問等 NS からの働きかけを要求するパターンの過剰使用は、情報・意思受入要求のネ③の要求系の発話連鎖効力を活用したストラテジーと捉えられよう。

NS の働きかけを誘発する談話標識としてのネの事例(20 例)

NS2 : タイの料理は安いですか？

NNS2: 安いですね

NS2: 本は高いですか？

NS2: 食べに行ったりしますか？

NNS2: そうですね、あのーときどき、ですね

NS2 日本ラーメンのほうがおいしいですか？

NS2: 日本ラーメンのほうがおいしいですか？

NNS2: 合わせるかもしれないと思って、そうですね(=おいしいですね)

NS2: NNS8 さんは日本ラーメンのほうが好きですか？

NS2: 稲毛の駅の近くですか

NNS2: それはよく分からないですね

NS2: 分からないですか

NS2: 趣味は何ですか

NNS2: 読むこととか、まあいろいろですね

NS2: どんなゲームをするんですか

NS2: 一日にどれぐらいするんですか

NNS2: そうですね、3 時間ぐらいですね

NS2: 3 時間ぐらいですか

NS11 : : というと？

NNS11:あの大学院にいくつもりですね

NS11:T大学も考えてる？

NS11:いつからT大学にいるんですか？

NNS11:去年からですね

NS11:あっ、そうなんですか、それまでは、あの、インドネシアとかで？

NS16:K先生とか、の関係なん、ですか？

NNS16:あっ、全然違いますね、はい

NS16:あっ経済の関係なんですか、学部からT大なんですか。。

NS16:今、何歳くらいなんですか

NNS16:今一歳四か月ですね

NS16:まだ反抗期はこない

NS18:今はまってることってない、ないんですか

NNS18:僕一、特に趣味とか、ないですね

NS18:ないですか

NS18:へえー、ざ、財団？

NNS18:財団ですね

NS18:財団？

NNS18:そうですね

NS18:え、す、住んでるとこ？

NS18:みどり台駅の近く

NNS18:みどり台駅ですね

NS18:みどり台駅?、あの一、京成の？

NS18:研究室所属じゃないんですか

NNS18:あ、研究室、そうですね

NS18:研究室のひと、遊びに行ったりとかってしないんですか

NS18:そこに行かないとできないんですか、研究は

NNS18:自分のコンピューターだと弱いですね

NS18:やっぱ研究室行かないとできない？

NS18:はあー、じゃあ、やっぱ研究室行かないとできない

NNS18:できないですね

NS18:一日、中いるんですか、研究室に

NS18:あの、学部から？

NNS18:学部からですね

NS18:結構じゃあ、帰られたり？

NS18:結構じゃあ、帰られたり？

NNS18:2年に一回ですね

NS18:2年に一回/2年に一回ですね

NS18:はまってることってない、ないんですか?

NNS18:趣味とか、ないですね

NS18: ないですか

(2) 談話展開の談話標識としてのヨ

談話展開の談話標識としての新情報提示のヨ②は、NNS がヨ②と一緒に「で」「そしたら」等ほかの談話標識をセットにして使用し、情報提供の発話を短く区切り、個々の情報を追加していくタイプである。このタイプはNNS が自ら主導して談話展開を行うために使用するものと捉えられる。

以下 NNS8 の事例を挙げる。NNS8 は 20 分の会話でヨ②を 14 回も使用していた。

例 50

行	話者	発 話 内 容
38	NS8	すみません、そちらのほうが好きですか?。
39	NNS8	えっと、言語ですか?。
40	NNS8	日本語がいちおう(ほお)、そうですね、あと、英語とか全然ダメなんで、へへ。
41	NS8	いやいやいや、はは。
42	NNS8	なんか、国際でいったん、一回専門の外国語を学ばんですよ、4年間。
43	NS8	はい。
44	NNS8	で、その言語を用いて論文を書く形にするんですけど。
45	NS8	おおお。
46	NNS8	私に、あの一留学してるんで、自分の国のテーマでも全然大丈夫なんですよ。
47	NS8	おお。
48	NNS8	で、自分の国のテーマをしたら、その自分の国の言語が使えるということになるんで、英語とか全然勉強してなくて、ははは。
49	NS8	ははは、えーそうなんですか。
50	NNS8	はい。
51	NS8	えー、ちなみにどうして日本語を…。
52	NNS8	どうしてですか?。
53	NS8	ははは。
54	NNS8	理由は、あの、中学校の時、たまたま(はい)、日本のアイドルが好きになった

		んですよ。
55	NS8	ああ、はい。
56	NNS8	ちょうど韓国でジャニーズブームみたいな感じで、ちょっと日本の芸人達が(はい)、ちょっと流行ることになって、で、ドラマを一日に、もう数編っていうんですかね、(ああ)&,、
57	NNS8	&見たんですよ。
58	NS8	へえ。
59	NNS8	塾の前に、ドラマ見たいから、なんて、1.5倍の速さにしたり(ははは)、1.7倍の速さにしたり、かけあしみみたいな感じに、ははは。
60	NS8	ははは、かけあしですよ、ははは。
61	NNS8	みんなが、で、3年間一人でそうやって動画とか見てたんですよ。
62	NS8	はい。
63	NNS8	で、いつ、なんか偶然な機会があって、ばら、バラエティ番組[↑](はい)、バラエティ番組(バラエティ)、20分(にじゅうふんと発音)とかじゃないですか。

上の例はNS8がNNS8に「今の専攻を選んだ理由」や「日本に留学した理由」について質問をしており、NNS8が答えている場面である。NNS8は42行目「一回専門の外国語を学ぶんですよ」、46行目「自分の国のテーマでも全然大丈夫なんですよ。」、54行目「日本のアイドルが好きになったんですよ。」、57行目「見たんですよ。」、61行目「3年間一人でそうやって動画とか見てたんですよ」と、ヨを用いた文末完了の形で情報提供を行っている。また、ヨ発話の後には談話展開を引き続き行うための談話標識である「で」が44行目、48行目、63行目で見られる。このように提示系の発話連鎖効力を持つ新情報提示のヨ②を使用し、談話を展開する際に、NNSは談話標識の「で」とよくセットにした形で用いることがほかの例でも多く見られる。このような新情報提示のヨ②と談話標識「で」のセットとなった使用により、NNS8は自らに関わる情報提供の発話をヨ②で区切り、「で」で談話を再起させ、情報を少しずつ逐次追加して提示していく談話展開を成している。また、新情報提示のヨ②の発話の直後にはNS8の55行目「ああ、はい」、58行目「へえ」、62行目「はい」が見られ、これらの発話はNNS8の談話展開を促しており、その際には発話の重なりも見られず、はっきりした話者交代が行われているため、会話は対話的な印象を受ける。このように接触場面においてNSはNNSの新情報提示のヨ②による談話展開に応じて、積極的に先へと展開するように促す発話を発しており、NNSの談話展開に協力しようとするのが確認できる。

新情報提示のヨ②の使用には共通してみられる特徴があり、以下3点にまとめておきたい。

- 1) NNS は談話標識の「で」のほか、「そしたら」「それで」「でも」「例えば」等ヨ②の発話に続き、後続発話を展開する談話標識をセットとしてよく使う。
- 2) NNS は長い談話レベルにおける情報提供を行う際に、新情報提示のヨ②を用いて、個々の情報提供の発話文を短く区切り、情報を小分けして逐次追加していくストラテジーを使う。
- 3) NNS は新情報提示のヨ②の発話の後m一瞬間を置く等、NS が反応を示す機会を与え、長い談話レベルの相互行為を対話的なやり取りにする。

また、上の例は前述した 5.3.2 の NS の事例のうちの例 27 に非常に似ている。例 27 で NS1 は NNS1 に分かりやすく情報提供をするためにヨ②を使用していた。一方で、この例 50 の NNS8 の立場からすると、自らの情報提供の談話展開をしやすくするために、ヨ②を使用している。ヨはこれまで使いすぎると口調が強い、押し付けがましい等、発話緩和の機能を持つネと対照的にされ、ネガティブに捉えられる傾向が強かった。しかし、本研究の接触場面における NS と NNS の実際の使用をみると、自らの談話展開の方向性を聞き手にはっきり知らせるために使用するヨ②の提示系の発話連鎖効力は、接触場面の会話を「対話的な特徴」をもたらすが、言語能力が問題となりうる接触場面では、はっきりと自らの談話展開の方向性を NS に知らせる使い方は、効果的に働く一面もあると考えられる。

このタイプの使用の事例は、以下のとおり 18 例見られた。

談話展開の談話標識としてのヨの事例(18 例)

-
- NNS3: 最初は理系だったんですよ/で、～
- NNS4: 飛行機だと 2 時間ぐらいか、かかるんですよ/で、～
- NNS5: で、食べたんですよ/で、～
- NNS6: 分かんないですよ/で、～
- NNS8: 一回専門の外国語を学ぶんですよ、4 年間/(はい)/で、～
- NNS8: 全然大丈夫なんですよ/(おおお)/で、～
- NNS8: そうやって動画とか見てたんですよ/(はい)/で、～
- NNS8: 自主休講に(ははは)、し、したんですよ/(ははは、はい)/そしたら、～
- NNS8: 出さないといけなかったんで、忙しかったんですよ/(はい)/で、それで、～
- NNS8: 単純に口にするタイプなんですよ/(はい)/で、～
- NNS8: あの向こうは何の答えも無しで受け取るんですよ/(へえ)/でも、～
- NNS8: 言葉が混ざっちゃってるんですよ、私/(ああ)/で、～
- NNS11: あのおまだ学部生の四年ですよ/学部四年生、ああ/でも、～
- NNS12: まあ地域の競争が大変ですよ/(へえー)/例えばね、～
-

NNS12: 競争がずっと、まあ続いていますよ/(へえー)/で、～

NNS14: 私まず、だめ、生ものがだめなんですよ/(ああ、そうなんですな)/で、～

NNS14: で、食べに行ったんですよ/で、～/で、～、と思って(自分の感想を追加)/でも～

NNS14: 食べに行ったんですよ/(はい)/で、～

(3) 前置きの談話標識としてのヨ

新情報提示のヨ②はもう 1 つのタイプとして、結論や話の前提を先に提示してから、その後説明を具体化していく使用が確認され、このようなヨ②の発話の直後には指示詞「その」「あの」など直前のヨ②の発話内容と関連付ける関連語が度々確認された。

以下事例をみてみよう。

例 51

行	話者	発 話 内 容
54	NS7	(前略)まあ、翻訳の文章もいろいろ変わってきているので、そういうところの特徴を、まとめられたらいいなあーと思ったんですけども、ふふふ、なかなか。
55	NNS7	えーじゃ、例えばの(はい)話ですよ。
56	NNS7	例えば、《少し間》今急に思い出せないんですけど、例えば『マクベス』があったとして、それを明治の時に訳した日本語バージョンと、しょ、昭和とか戦後に訳した日本語バージョンと、現代…日本語訳[↑]、的なものも比べて、その中で日本語がどういうふうになって、どういった特徴があるのかみたいな[↑]？。
57	NS7	はい、そうです、まさにそんな感じですよ。
58	NNS7	ああ。

上の例は、NNS7 が NS7 の研究内容について持つイメージを述べる場面である。NNS7 は、55 行目「えーじゃ、例えばの話ですよ」に新情報提示のヨ②を用いて、これから行う情報が「例えばの話」であることを会話の前提として前置きを行っている。その後、56 行目から「例えばの話」を具体的に展開している。このやり取りにおける聞き手の研究に対する自分の理解を述べるような発話内容を「例えばの話ですよ」と、あえてヨを用いて前提を強調してから更に展開する言い方は、ヨの提示系の発話連鎖効力からすると逸脱しているとは言いにくい。しかし、母語話者ならおそらくあまり見られないケースであろう。母語話者だったら、「けど」や「が」等を用い「例えばの話ですけど/が」と言って前提を和らげる前置きを行ってから自分の意見を述べる人が多いように思われる。

もう1つ例をみてみよう。

例 52

行	話者	発話内容
138	NS19	うーんまあまあまあ、まあわかります、はい。
139	NS19	なるほど。
140	NNS19	あれだよ、もうそれだけですよ。
141	NNS19	あの一、あんまりないです、全くすすんでない(ふうん)。
142	NNS19	言い合いになってる[笑いながら]、ふふふ。
143	NS19	その論文でどん…何語で読むものなんで、ネパール語で読むんですか?。
144	NNS19	えっとねえ,,

上の例は NNS19 が博士論文のためのネパールに関する日本語の文献があまりないため、悩んでいると話している場面である。140 行目で NNS19 は「あれだよ、もうそれだけですよ。」と新情報を提示するヨ②を使用し、その後の 141・142 行目で引き続き、「文献がないこと」を述べ、そのために指導教官と「言い合いになっている」と話している。140 行目から 142 行目の発話は一気に続けており、間には 141 行目当りで NS19 の「ふうん」の相づちが見られるだけで、ほとんど NNS19 が主導する情報提供の談話となっている。

この例をみると、NNS が新情報提示のヨ②を使用する目的は、先に結論を前置きするのにヨ②を使用し、それによって発話権を確保し、その後説明を具体化する立場を取ろうとしている談話展開の方向性が読み取れる。これは前節で述べた新情報提示のヨ②で個々の情報を区切り、情報を逐次追加していくパターンとは異なる。むしろ、このタイプは情報の追加ではなく、結論を先に出してから結論の補充説明とみるべきであろう。

このタイプのヨ②が使用にみられる特徴として以下の 2 点をあげたい。

- 1) NNS は新情報提示のヨ②で先に結論を前置きとして提示した後、具体的な説明を行う。説明に入る発話はヨ②で提示する発話とつなげるマーカーとして「あの/その」等指示詞、「例えば」、「発話の繰り返し」等がよくみられる。
- 2) NNS は新情報提示のヨ②の発話で発話権を確保すると、NS との交渉的な相互行為ではなく、自分が主導的となって説明を行う。

既に述べたように NNS のネの過剰使用をみると、NS に働きかけることで NNS が受け身になって相互行為に参加しようとする独自の使用特徴が見られた。それに比べ、ヨの過剰使用をみると、NNS は自分が主導的になって談話展開を進めようとする特徴を持ち、ネとの対照的な部分が見えてくる。

このタイプの事例は 14 回見られ、以下にまとめる。

前置きの談話標識としてのヨの事例(14 例)

NNS7: えーじゃ、例えばの(はい)話ですよ/例えば～

NNS7: 見ましたよ/私の世代は～

NNS7: ああ、なんか就活してたんですよ/夏休み前まで。で～

NNS7: ときどき、本当にときどきですよ/別に文句あるわけでは～

NNS8: 日本のアイドルが好きになったんですよ/(ちょうど～

NNS8: 見たんですよ/～塾の前に、ドラマ見たいから～

NNS8: 日本のドラマを流しはじめたんですよ/その時期に～

NNS8: 大阪を夜行で行ってたんですよ/その、～

NNS12: 最初は怖いんですよ/最初は、～

NNS14: らいもののラーメン結構好きなんですよ/あの、～

NNS14: あの一郷土料理がほうとうって言われたんですよ/私～好きで

NNS14: 言われて、言われたんですよ/～と思って

NNS14: しかもなんか中国ですごく人気なんですよ/わけわかんないですけど、で、～

NNS19: 学部は本当はK大学だったんですよ/学部K大学で、～

6.2.3 過剰使用のまとめ

以上 NNS の過剰使用を発話連鎖の視点を加え、NNS がなぜ過剰使用をするのか、その実態を分析してきた。その結果、文レベルの過剰使用は、文末詞としての働きの側面が強く、談話レベルの過剰使用は談話展開の談話標識として働きを持つことが明らかになった。つまり、文レベルの過剰使用は発話連鎖効力の働きが薄く、主に文末処理や当発話の内容強調を意識して使用する独自の使用とみることができる。一方で、談話レベルの過剰使用は、後続する談話展開の仕方や方向性を作る談話標識として、終助詞が持つ発話連鎖効力を活用する独自の使用とみることができる。

このような終助詞の発話連鎖効力を活用した過剰使用は、実際には NS の受け入れや促しがはっきり見られる場合が多く、母語場面とは異なる特徴を持ついわゆる接触場面特有の相互行為として行われることが見受けられる。このような NNS の終助詞の独自の使用は接触場面の相互行為に対し、時には問題を引き起こす場合も想定されるが、そればかりではなく、接触場面特有な特徴を持たせる相互行為にする「働き」もあろう。更に詳しく掘り下げると、問題を引き起こしやすい独自の使用はどちらかというと、発話連鎖効力の働きが薄い文レベルにおけるスーパー文末詞的なネや発話内容を強調するヨである可能性が高く、これらが過剰に多くなると、NS は終助詞の使用意図が捕まえず、会話の滞りが生じる危険性が生じる。これまで指摘されてきた過剰使用の問題も、この文レベルの独自の使用にあ

ったのではないだろうか。また、グループ別の使用実態の分析結果からも、情報・意思受入要求のネ③は中期グループが最も多く、長期になって定着すると使用頻度が減る傾向があるのに対し、新情報提示のヨ②と結論表明のヨ③は増える一方でとなっている点を踏まえ、NNSはネの使用に関しては定着とともにNSに近づく可能性が高いが、ヨの使用は習得が進むとともに、より戦略的な使用が増えることが示唆されている。

6.3 不自然な使用

この節では発話文レベルで文法的・意味的に不適切さを感じないものの、発話連鎖の視点を取り入れ、より長い談話に拡大して文脈を考慮した場合に不自然に感じる言語問題を取り上げる。

これまで終助詞の不自然な使用に関して、明確な分析の枠組みを基にした研究は管見の限りは見当たらない⁴¹。殆どの場合、NSの視点や研究者の直感を頼りにした、判断が行われてきたと言える。このような不自然な使用に対する判断基準があいまいであった現状に対し、高・崔(2015)は発話連鎖の視点を加え、上記の使用状況を捉えなおそうとしてきた。以下は高・崔(2015)による事例から抜粋したデータである。

CS4：え、とですね、日本語一級能力検定みたいなやつありますね、英語も(はいはい、英語も)、はい、それを、それをあの、受かってるのが基本的な条件とされて、後から大学を卒業してあのおう、その条件に当たるは申し込んでる。(高・崔 2015：298 より抜粋)

高・崔は、上の事例がヨネを使用すべきところに、ネを使用した種類の間違いによる逸脱だと捉えている。ここでネの使用が不自然に感じる理由については、次のように指摘している。この事例の「日本語一級能力試験」のような命題内容の事柄が中立領域である場合、ネとヨネのどちらかを選択しなければならないが、この事例のCS4のようにネの発話後に、引き続き説明を展開したい場合には、要求系のネではなく、提示系のヨネを選択するのがより適切である。つまり、この事例におけるネの使用が不自然に感じるのは、要求系のネを選択したにも関わらず、発話連鎖においては提示系の発話連鎖効力を適用して談話展開を行ったからである。

以上のような発話連鎖の視点を取り入れることで、これまで不自然に感じられた使用に対する説明が可能になり、且つ発話連鎖からより適切な終助詞の種類を提示することが出来ると考える。そこで本研究の統合的機能分類においては、ネ、ヨ、ヨネの機能を命題内

⁴¹ 市川(2010) 文法的に完全には間違っていないが文脈を考慮して捉えると「なんとなく不自然に感じる使用」を「その他」に分類して扱っている。

容の事柄領域と発話連鎖効力の 2 つの視点から、その多様な機能を明確に区別することにした。これにより、発話文レベルでは的確に捉えられない不自然な使用について、的確な基準に立ちながら発話連鎖レベルで説明できると考える。

本研究では不自然な使用の次の 2 つのタイプとしてまとめる。つまり、ネの不自然な使用は「ネをヨネの使用へ機能拡張」したために生じる不自然さであり、ヨネの不自然な使用は、「ヨネの提示系の発話連鎖効力を過剰一般化」して使用したために生じる不自然さであることを指摘し、事例を基に論じる。

- 1) ネの不自然な使用：ネを提示系のヨネの使用まで機能拡張した問題
- 2) ヨネの不自然な使用：ヨネの提示系の発話連鎖効力を過剰一般化した問題

以上のこの 2 つのタイプの不自然な使用は、今回のデータからそれぞれ 13 例確認された。

6.3.1 ネを提示系のヨネの使用まで機能拡張

次の例はネを用いつつ、その後の後続発話では談話展開を行う事例で、提示系の発話連鎖効力を適用しているために、ネの使用が不自然に感じられる事例である。即ち、ネをヨネの代用とすることで、ヨネの機能まで含んだ機能の拡張現象と捉えることができる。

例 53

行	話者	発話内容
54	NNS3	確か、こう、国際教養…学部の先生なんですけど。
55	NS3	[沈黙 3 秒]。
56	NNS3	これ黙っちゃいけないですね<{>。
57	NS3	<黙っちゃ>{>いけない、はは、黙っ<ちゃいけませんね>{>。
58	NNS3	<黙っちゃ>{>いけないですね、はは。
59	NNS3	どうしよう、えーと…さき、さきのあー趣味。

上の例は、会話途中で二人の協力者が一瞬沈黙した後、56 行目で NNS3 が「これ黙っちゃいけないですね<{>。」とネを用いた発話を行う場面である。この発話はネよりもヨネを使用したほうがより適切だと思われる。その理由はネを用いることで、聞き手に確認をする発話機能となるからであり、これにより「黙ってはいけない状況」を聞き手に提示すると同時に、押しつけのニュアンスが生じる。ここでの「黙ってはいけない」といった命題内容の事柄は、調査協力者の立場である二人からすると、両者が共有する中立領域だと考えてよいだろう。したがって、ここは中立領域の共有を示すヨネ③を用いるのが最も適切である。さらに、59 行目で NNS3 は「どうしよう、えーと…さき、さきのあー趣味。」と自ら新しい話題を見つけ、会話を続けようと試みる談話展開を行っている。ここから

NNS3 は終助詞のネを選択しているが、談話展開においては提示系の発話連鎖効力を適用した、いわゆる発話連鎖効力の逸脱であるとの判断が可能である。このような問題を高(2016)は NNS がネをヨネの代用として使用した結果、ネの汎用(ネの過剰使用)になる可能性を指摘しているが、その指摘にもほぼ該当するものと言えるだろう。また、5章でヨネの使用頻度が少ないことと直接関連していることも指摘できる。

6.3.2 ヨネの提示系の発話連鎖効力を過剰一般化

ヨネの不自然な使用は、聞き手領域・話し手領域・中立領域に問わず提示系の発話連鎖効力を適応して、談話展開を行うために生じる発話連鎖の不自然さである。

次の例は、ヨネが用いられた後の後続発話において談話展開が行われた事例である。ここでヨネが使用されることで、はじめて持ち出した話し手領域の事柄を「いきなり」提示すると同時に、さらにそれを話題にして、直接談話展開を行うニュアンスが感じとれるため、このヨネの使用には唐突感を感じる。

例 54

行	話者	発話内容
129	NNS10	《少し間》すごいねえ。
130	NNS10	色々[少し笑いながら]いろ面白いもの<を,研究してる人がいる>{<}<。</td>
131	NS10	<ふふふっ[笑う],う全然>{>},違いますよね(うーん)、人によって。
132	NNS10	そうですね、うーん、《少し間》なんか、私のゼミも、うーん、なんかあ《少し間》人文社会科学[↑](うん)ですよ(うん)。
133	NNS10	=それで、中には、なんか人類学と社会=。
134	NNS10	=私の(うん)方はちょっと社会教育(うんうん)に、入るから、人類学の方にもいろんな、なんかラクダを…、研究している、あと豚を研究していると<か、いろんなのほほ[笑いながら]《少し間》本当に>{>}【【。
135	NS10	】】 <はははっ[大きく笑う]ふーん、え先生は>{>}だ、どなたがいるの?。
136	NNS10	あ今私の一、私の指導員の先生(うーん)は《少し間》「S先生も名前」、S先生。

上の例は、NNS10が自分の研究テーマを説明する場面である。132行目で「なんか、私のゼミも、うーん、なんかあ《少し間》人文社会科学[↑](うん)ですよ(うん)」とヨネを用いており、自分が所属する研究科名を提示している。さらに、その後の発話連鎖をみると、ラッチング⁴²が生じていることから明らかなように、NNS10はヨネを用いることで、その

⁴² 文字化記号の「=」はラッチングの表記であり、発話と発話の間が通常より短く、発話文がすぐに連続される特徴を表

後直ちに情報提供を展開している。つまり、ここでヨネに適用している発話連鎖効力は、提示系の発話連鎖効力であると予想される。ところが、この発話の命題となる「私のゼミは人文社会科学である」は、話し手領域の事柄であると同時に、現在のやり取りにおいてNNS10が初めて持ち出した情報である⁴³。このような聞き手とまだ共有されていない話し手領域の情報をヨネを用い、あたかも聞き手と共有しているかのように情報提示を展開することで、「いきなり」一致の提示を聞き手に求めるニュアンスが生じるため、談話レベルで捉えるとヨネの使用が不自然に感じられる。ここでヨネの代わりに、より適切な表現としては「けど」・「が」等を挙げるができる。また終助詞を用いる場合には、話し手領域の提示系の発話連鎖効力を持つヨ②を用い、「人文社会科学なんですよ」と発話することもできる。

統合的機能分類の面から見ると、ヨネの3つの機能にはどれも聞き手と共有する側面が存在する。NNSのヨネの不自然な使用に着目すると、ヨネの機能に含まれる「共有」の側面について理解されておらず、3つの領域、聞き手領域、話し手領域、中立領域を問わず、ヨネを用いた際には提示系の発話連鎖効力をよく適用しがちである使用傾向が見られた。このように、どの領域にも提示系の発話連鎖効力を適用しがちであるという傾向から、NNSはヨネのいずれの機能においても、提示系の発話連鎖効力を過剰に適用している可能性が浮き彫りになった。

6.3.3 不自然な使用のまとめ

以上の事例分析を通し、ネとヨネの不自然な使用はネとヨネの混同問題としてされてきたが、本研究の統合的機能分類を用いて捉えると、発話連鎖効力における問題であることと解釈できる。特に、ヨネに関しては、5章の正用の使用実態の分析で提示系の一致を提示するヨネ③の正用がたった6回しか見られなかったが、集計対象外となる本節の不自然な使用の13回の内訳を合わせてみると、NNSは実は命題内容の事柄の領域がどの領域かわず、ヨネを使う場合は提示系の発話連鎖効力を適用し、談話展開を行う傾向が強いことが確認された。つまり不自然な使用は、ネとヨネの発話連鎖効力に関わる逸脱で、しいていうと、NNSは提示系の発話連鎖効力の過剰使用することからくる問題だと言える。

6.4 誤用

終助詞ネ、ヨ、ヨネの誤用は、さらにその下位レベルのタイプとして脱落、周辺要素に

す。

⁴³ 金(2001)が調査した韓国入習者のヨネの使用においても「発話の中での情報の帰属先が話し手に属する場合が多い」という指摘している。

よる誤用、定型表現の濫用の3つに分類することができる。

6.4.1 脱落

脱落は終助詞の使用が必須な箇所で使用していない、逆に終助詞を使用すると不適切な箇所で使用したために、発話文が文法的・意味的に逸脱したものである。脱落の用語は、市川(2010)の「脱落」の定義である「該当項目を使用しなければいけないケースで使用していない誤用」を参考にした。

以下、事例を挙げて説明する。

例 55

行	話者	発話内容
391	NNS1	<笑い>私は、私も、この年齢は、あつ、でも、私は今大学院生なので、いつも、ああ、私、年を取るな、年を取るなあと、思っていたんで。
392	NS1	<笑い>。
393	NNS1	でも、今、私、まだ若いですよ<笑い>。
394	NNS1	私、何歳と思いますか?。
395	NS1	ああ、じゃ…。
396	NNS1	<笑い>うん、難しい?。
397	NS1	今、院2年生でしたっけ? (中略)
402	NNS1	いや、22歳ですよ。
403	NS1	えー、すみません<笑い>。

上の例は、終助詞の使用によって失礼な表現になったため、脱落の誤用と判断した事例である。例えば、NNS1がNS1に自分の年齢を伝える場面で、一方的に聞き手が知らない自分に関する情報を、ヨを用いて提示している。ここでヨを使用すると、聞き手を指摘する発話になり、失礼な表現になるため、適切な使用とは言えない。この事例では、文末表現は終助詞ではなく、「私まだ若いですけど」や「私まだ若いと思いますが」などの情報提示が適切だと言えよう。このようなヨの誤用は、その後のNSの403行目「えー、すみません<笑い>。」のような謝罪の発話を導くなど、相互行為に予想外の場面を引き起こす恐れがあると言える。

例 56

行	話者	発話内容
65	NS9	KUMON トルコにもありますか?。

66	NNS9	あー、トルコにない,,
67	NS9	ない,<ふーん>{<}
68	NNS9	<と、ない>{>}。
69	NNS9	面白いです。
70	NS9	ふふふ[軽く笑う]。

上の例は、NNS6がNS6に対してコメントした発話の中で、使用が必須であるはずのコメントの受入要求のネ②が使用されていない。このため、発話機能が脱落した事例と考えられる。このようにネを使用すべき発話にネが使用されないと、その発話が聞き手、話し手、または中立のどの領域の事柄に対するものが、話し手の意図を把握することができない。そのため、直後の70行目のNS9の笑いが見られるように、適切な応答を返すやり取りではなく、談話展開の方向性がはっきりせず、会話の滞りを感じる。

例 57

行	話者	発 話 内 容
112	NS16	まあ、それになりたくて、もう一回、年取ってたけど(ああ)、学校来た、ので、<はい>{<}。
113	NNS16	<ああ>{>}、そうなんですな[声が小さい]。
114	NS16	そうですね[囁くような小さい声で]。
115	NNS16	今、あの普通の免許、教師の<免許は取って、るんですね>{<}。
116	NS16	<あっそれは持ってます>{>}、はい<はいはいはい>{<}。
117	NNS16	<すごい>{>}ですね。
118	NS16	そうですね(ああ)、確かに経済学部…とかで取る、と<大変なことになるっ>{<}。

上の例は、質問文の中で「か」の代わりにネを使用して脱落が確認される事例である。ここではネを用いると確認要求の発話機能となってしまうため、質問の発話とは異なる。このように本来は質問によって情報を求めるべき場面に、いきなりネを使用し、聞き手領域に対して行う確認要求は、その直後の116行目「<あっそれは持ってます>{>}、はい<はいはいはい>{<}。」のNS16の発話にみられる驚きや戸惑いのように、相互行為が協調的ではなく、NSがNNSの談話展開を探りながら行うようにしている。

6.4.2 周辺要素による誤用

終助詞以外の文法的要素において逸脱が生じたことで、終助詞の機能さえも逸脱するケースは、周辺要素による誤用と捉える。その一方で周辺要素の逸脱が見られても、終助詞

は適切な使用が確認できる場合、本研究では終助詞の逸脱として判断せず、正しい使用だと考える。では、事例をみてみよう。

以下の2例は活用によるネの誤用も例である。

例 58

行	話者	発 話 内 容
452	NNS5	あ、じゃあカナダ全国はフランス語使えないんですか?。
453	NS5	うん、(ああ)西のほうだと全然英語だけで。
454	NNS5	え、でもカナダのフランス語はちょっと違いますね、なんか。
455	NS5	って(ああ、ふふ)、そうよく、でも、私ほんとにできないから(ああ)、あの一、ジュヌセパ[↑]?(ああ)、なんかもうそれくらいしかいえなくて[笑いながら]、なんか、そうだから、でもどっちも勉強できたらいいなっておもって。

例 59

行	話者	発 話 内 容
516	NS14	ひさびさ、武蔵屋も、ははは。
517	NNN14	ふふふ、好きかもですね。
518	NS14	好きかもしれないです。

上にあげた2つの事例は共に活用の面で逸脱が生じたため、終助詞の機能も逸脱した事例である。例58は、NNS5がNS5にカナダのフランス語について紹介する発話の中でネを用いている。しかし、この発話の文末表現は「違いますね」ではなく、「違いますからね」が正しい。「から」が抜けると情報提供の発話ではなく、確認を行う発話として捉えられる恐れがある。したがって、この事例のネは周辺要素による誤用だと判断した。また、その下の例46はNNS14がNS14に勧められたラーメン店の情報を受けて、回答する際に「好きかもですね。」とネを用いている。これは恐らく、「好きかもしれないですね」の間違いだったと予想される。しかし、その直後のNS14の後続発話を見ると、「好きかもしれないです」と正しい文法に訂正をしていることが確認できる。このように聞き手に発話の逸脱が明確に留意された発話における終助詞は、その発話文が逸脱の事例だと見なし、周辺要素による誤用として分類する。

以下の例は発話内容の不備によるネの誤用である。

例 60

行	話者	発 話 内 容
---	----	---------

82	NNS4	はい、その日本の<哲学についても>{<}、
83	NS4	<おおすごいです>{>}ねえ。
84	NNS4	まあ、興味、持った、その…。
85	NNS4	まあ、そしてそうまあ、なんと一致してますね[↑](ああ、はいはい)=。
86	NNS4	=私はなんか高校、高校から哲学に興味を持って(はい)、でも日本の中でも哲学は…なんか、

上の例は、発話内容が逸脱したため、終助詞の使用も逸脱した事例である。終助詞「ね」は、NNS4が日本語を勉強するようになったきっかけを説明する中で使われている。「なんと一致してますね」とネを用いているが、この発話自体がどのような意図で発せられたのか、話の流れから読み取ることができないため、NNS4がどのような内容を伝えようとしたのかは予想がつかない。そのため、NS4は85行目でNNS4の発話と重なる「ああ、はいはい」の相づちは見られるが、NNS4の話聞くだけで、聞き手としてネの発話に対する適切な応答を返したりすることで、相互行為的な会話を行うことはできない。

実際の終助詞の誤用をみると、このような周辺言語により、終助詞そのものが機能しない誤用のほうが多かった。なお、終助詞の使用は発話内容に影響を及ぼさない点を踏まえると、周辺言語による誤用は発話内容のほうに影響する場合が多く、この類の誤用の後はNSによる意味交渉の調整や、または会話のやり取りに協調性が欠けたり、会話の滞りが生じたりすることが確認できた。

6.4.3 定型表現の濫用

「そうですね」、「そうですよね」など終助詞がつくソウ類の発話は定型表現の一つとされ、NNSは定型表現をひと固まりとして習得し、会話に頻繁に用いる傾向がある。このような定型表現に使用される終助詞は、他の使用に比べて早い段階から習得されると考えられている。一方でNNSの場合は、終助詞が付く定型表現の意味・機能を理解しないまま、手当たりしだいに発する濫用傾向が見られるという(Sawyer1992、初鹿野1994など)。本研究ではソウ類の発話に使用された不適切な使用を、定型表現の濫用だと判断し、誤用の一つに加えた。

例 61

行	話者	発 話 内 容
152	NS6	そう、パリと、ベルギーとか、
153	NNS6	ああ、いいね。
154	NS6	回りました。
155	NNS6	ああそうね。

156	NS6	疲れましたが、でも、ははは。
157	NNS6	楽しいね。

上の例は、NS6がNNS6の出身国であるフランスへの旅行について話している場面である。158行目で「ああそうね」と話しているが、ここで聞き手からの情報提供を受けた場合、「そうね」の返答は発話機能として適切ではない。このようなソウ類の発話に用いる終助詞の使用は、定型表現として発話の塊として習得し、さまざまな応答発話や聞き手の発話を受ける相づちの発話として「濫用」し、会話のやり取りが相互行為の視点から見ると、気ごちないやり取りとなる問題を引き起こすことがある。

6.4.4 誤用のまとめ

以上の誤用をさらに3つの下位タイプ、脱落、周辺要素による誤用、定型表現の濫用に分類して分析した結果、32回の誤用が確認された。それらの内訳は、表17の通りである。

表 17: 誤用の内訳

	脱落	周辺要素による誤用	定型表現の濫用
ネ	6	6	8
ヨ	1	—	—
ヨネ	2	3	3
合計	9	9	11

表17をみると、誤用のうち脱落が9回、周辺要素による誤用が9回、定型表現の濫用が11回であった。脱落はネの使用において6回、ヨの使用において1回見られ、ヨネの使用において2回見られた。ネの脱落のうちにはネの使用が必須のものが含まれており、それを使用しない、或いは別の文末表現を選択することで発話機能が逸脱した誤用が5回含む。このようなネと違ってヨの機能は、使用が任意の場合がほとんどである。そのため、脱落の誤用が少ない傾向にある。ヨネに脱落が少ない背景には、NNSのヨネの使用自体が少ないことが挙げられる。周辺要素による誤用は、ネの使用において6回、ヨネの使用において3回見られ、ヨの使用においては見られなかった。定型表現の濫用は、「そうですね」「そうだね」の発話の濫用が8回、「そうですよね」「ですよね」の濫用が3回見られた。

従来の文レベルの誤用分析は、即ちこの節で取り上げるNNSの誤用にフォーカスが当てられたが、実はその数はそれほど多くないのが分かる。今回は誤用によって生じる発話連鎖の問題までは深く分析することができなかったが、NNSの誤用に注目し、その誤用が相互行為にどのような影響を及ぼすか、NSとの相互行為を通して、誤用の問題を捉えなおしてみる必要もある。

6.5 不使用

本節では NNS による終助詞の中間言語的使用のうち、不使用の問題について取り上げる。まず不使用の定義を再度確認すると、次のようになる。

終助詞の使用が必須ではなく任意である場合、適切な頻度で使用することで、相手に対して配慮した話し方になり、円滑な相互行為になりやすい。だが、これに対して極端に使用が少なかった問題を不使用の問題として捉える。

本研究で不使用として扱うものは、発話文で終助詞の使用が必須ではなく任意の場合、適切な頻度で使用することで相手に対して配慮する話し方となり、より円滑な相互行為として期待されるものであるが、同時にこのような任意の終助詞の使用が極めて少ないことで、起こり得る問題を指す。一方で、終助詞ネ、ヨ、ヨネは聞き手に伝えたい事柄の内容には無関係であるため、仮に取り除いたとしても伝達内容の量は少しも減少することはない(益岡 1991 : 93)。これは換言すれば、終助詞の不使用の問題は、聞き手との相互行為の在り方に影響を及ぼすものの、話者が伝達したい発話内容に対してはさほど影響しないと考えることもできよう。これまでの NNS による終助詞の不使用の問題については、主に接触経験の少ない海外の日本語学習者(JFL: Japanese as Foreign Language)に確認される問題として、ごく少数の研究成果が見られるが(顔 2009、高・崔 2015)、依然として不使用または過少使用の問題について言及した成果は少ない。そこで、本研究では終助詞の不使用の問題を、使用頻度が最も少なかった4つの会話データ、即ちデータ1・4・5・9を発話連鎖の視点から捉え直し、終助詞の不使用が相互行為にどのような影響を及ぼすのかを分析・考察していく

文末が文法的には終了した発話であるにも関わらず、終助詞が使用されない文末形式について、いくつかの呼称が存在する。例えば上原・ほか(2004)では「裸の文末形式」とし、朴(2008)は「言い切り文」、甲田(2016)は「言い切り型」と呼んでいる。庄山(2014)は接触場面における NNS の文末表現を分類し、終助詞等が使用されずに終了した発話を「動詞、補助動詞、形容詞、形容動詞、繫辞の終止形で終わっている文」として、「動詞等φ形」としている。それらに対して本研究では、終助詞が使用されずに文法的には終了している発話に対して、言い切り発話と呼ぶことにする。NNS の発話は文末形式により、終助詞が使用された「終助詞発話」、「言い切り発話」のほか、文末が省略された形で発話文が終わる「中途終了発話」(宇佐美 1995)と、名詞・代名詞等の体言で発話文が終わる「体言止め」の4つに分けて捉えることができる。

先述の通り、本稿では終助詞の使用頻度が最も少ない4つのデータを取り上げ、NNS の発話のうち終助詞の使用が期待されるが、使用されていない発話と、その後の NS の後続発

話の連鎖を分析した。その結果、終助詞の不使用によって果たされない談話展開における発話連鎖効力を、ほかの手段で補おうとすることが確認された。本研究では主に以下のストラテジーを挙げる。

- 1) 要求系の発話連鎖効力を補うストラテジー
- 2) 提示系の発話連鎖効力を補うストラテジー

ではこれらのストラテジーは、どのような形で行われるのか、事例を挙げてみてみよう。

6.5.1 要求系の発話連鎖効力を補うストラテジー

要求系の発話連鎖効力を補うストラテジーとしてみられた特徴としては、文末における付加要素による聞き手のフィードバックを要請することで、NSの支援を受けつつ談話展開をするものである。過剰使用のうちのNSに働きかけを誘発する談話標識として情報・意志受入れ要求のネ③を使用することを踏まえると、発話連鎖の視点で捉えると要求系の発話連鎖を補うためのものと捉えることができる。

以下の例はデータ 5 で確認された事例である。

例 62

行	話者	発 話 内 容
125	NS5	へー、なんのドラマ？。
126	NNS5	ドラマ、綾瀬はるかのホテルの光が一番好き。
127	NS5	ああ、私も大好き。
128	NNS5	そう、嵐。
129	NS5	嵐[↑]。
130	NNS5	そう、嵐が大好き。
131	NS5	の中では誰かがいるの？。

上の例は、NNS5が日本のアイドルや芸能人が好きだと話している場面である。126・130行目の「一番好き」「大好き」は、形容動詞の「だ体」による言い切り発話となっている。また、128行目では「嵐」というように、名詞による体言止めの発話文となっている。これらの終助詞が使用されていない発話文をみると、特に126行目のような発話は「一番好きですね」とネを使用した方が、言い切り発話より発話を緩和する効果もあり、より聞き手に配慮した言い方だと言えよう。一方でNNS5の発話をみると、1発話文が短くて、文末の終了時にメリハリをつけてはっきりと言い切ることで、聞き手に発話文の終了を明確に

示していることが確認される。そして、NNS5 の発話を受けた NS5 の後続発話をみると、NS5 は 127 行目で NNS5 の発話内容を含んだ共感を示し、129 行目では NNS5 の発話を繰り返す、131 行目では NNS5 の直前の中途終了発話を完成させる共同発話文を発している。つまり、このやり取りにおける発話連鎖は、NNS5 が NS5 の後続発話を強く要請しているという特徴が確認できることから、終助詞の使用はなくても要求系の初連鎖だと判断できる。一方で、もしここで NNS5 が終助詞ネを使用して情報提供をしていたと仮定すると、NS5 は恐らく後続発話において本事例のような発話ではなく、受け入れの「そうですね」等が発せられたものと推測できる。このように終助詞の不使用の事例から、NNS は言い切りや体言止め、中途終了発話を発した際、文末にメリハリをつける等のイントネーションや発話間の「間」等に工夫を行うことで、NS5 の後続発話を要請し、聞き手と要求系の発話連鎖を展開することが確認できる。

つまり、終助詞の使用が少ない会話をみると、終助詞の習得が進んでいない NNS は、聞き手と要求系の発話連鎖を志向する場合、文末にほかの工夫(例えば、文末形式やイントネーション等の工夫)によって NS に働きかけ、NS の支援やフィードバックを行うことで相互行為に参加し、結果的に相互行為は一方向的でなく、双方向に行われるものとなる。

以下、文末に「笑い」を伴う事例を見ていこう。

例 63

行	話者	発 話 内 容
499	NS5	じゃあ英語のほうが。
500	NNS5	うん、(ああ)できるけど、マラティー語はできない、<ふふふ><{<。>
501	NS5	<ふふふ[笑う]>>{>。
502	NS5	ず、家族と話すときはマラティー語?。
503	NNS5	マラティー語と英語(ああ)混ぜて話すから、(へー)うん。
504	NS5	すごい。
505	NNS5	だから、ふふふ、ちょっと。
506	NS5	ふふふ[笑う]。
507	NS5	なんか私の両親どっちも日本語しかしゃべれない …(途中勝省略)
512	NS5	めったに英語使わないって行ってて。
513	NS5	でもインド旅行行ったら普通に英語で?。

上の例は、NNS5 がインドで使う言語について話している場面である。500 行目では「マラティー語はできない、<ふふふ><{<。」と文末で笑いが確認され、505 行目では「だから、ふふふ、ちょっと。」と文の途中に笑いを挟み、その後「ちょっと」と中途終了の発話で終わっている。500 行目の発話は「(英語は)できるけど、マラティー語はできないですね/ね」

とネを使用しているが、言い切りに比べるとネを使用した方が配慮した言い方だといえる。505行目は「だからちょっとできる」という発話の最後が省略されたものと思われるが、この発話も「ちょっとできますね」とネを用いることが可能である。しかし、NNS5は文末を言い切り、または中途終了発話で終えており、笑いを伴っている。

このように主に文末で笑いを付加することで、発話全体を和らげて終了させる場面が初対面の接触場面ではよく見られる。特に505行目のように、NNS5は発話文の産出にやや戸惑いを見せていると感じられるが、発話の産出を最後まで行わずに中途終了発話の形をとり、笑いを利用することで聞き手の後続発話を要請していると考えられる。そして、このNNS5の笑いを付加した発話文(2回)の後続発話をみると、NS5の501行目の笑いの返しと502行目の追加質問、さらに506行目の笑いの返しと自己開示を行い、521・513行目では再度NNS5に質問を行うことでNNS5に働きかけている。例63のNNS5の文末に付加された笑いは言い切り発話をやわらげて発話を終了させると共に、聞き手の後続発話を要請する連鎖効果も十分にあると考えられる。

以上データ5のNNS5が聞き手NS5の後続発話を期待する、いわゆる要求系の発話連鎖の特徴を持つ一連のやり取りを取り上げてみた。その結果、NNS5の発話は終助詞を使用していないものの、発話文が短い言い切り発話、体言止め、中途終了発話となっており、発話文自体が特徴を有したものとなっている。さらに文末には付加要素としてイントネーションや笑い等を伴うことで、聞き手の後続発話を強く要請している。このようなNNS5の発話を受け、NS5も積極的に直前の発話を繰り返す、共同発話を発することで支援を行うなどの方法で、相互行為を形成しており、接触場面の特徴も強く表れていると言える。これらの点から、NNS5は終助詞の不使用が目立つものの、その他の要素によってNSに相互行為に参加するように働きかけ、接触場面の相互行為の活性化を図ろうとしていると考えられる⁴⁴。

6.5.2 提示系の発話連鎖効力を補うストラテジー

提示系の発話連鎖効力を補うストラテジーとしては、特定の談話標識を用いた「発話文の羅列」による一方的な談話展開が見られた。つまり、NNSが聞き手のNSの存在を意識せず、一方的に談話展開を行うものであるため、発話連鎖の視点から捉えると提示系の発話連鎖効力を補うものと捉えることができる。

⁴⁴ 高・崔(2015)や高2016では、文末に「はい」を用いることで、聞き手に発話文の終了を知らせ、聞き手の後続発話を導く場合があるとしている。しかし、今回の不使用が目立つ4例のデータからは特にそういった発話が確認できなかった。一方で、終助詞の使用が頻繁なデータからは「はい」「ええ」で終了する例が見られたことから、終助詞の習得が進んでいないために発話文が「はい」で終わるとは必ずしも言えないと考えられる。よって、高の指摘はさらに検証が必要であるように思われる。

終助詞の不使用が顕著であった4つのデータをみると、上で挙げたNNS5のように終助詞の不使用の問題が確認されるものの、ほかの要素を用いて聞き手に相互行為の参加を促した要求系の発話連鎖は多くはされなかった。それよりも、終助詞の習得が遅れ、終助詞を使いこなせないことにより、NNSの聞き手との相互行為に配慮できなかったために、自らが一方的に談話展開を行う提示系の発話連鎖が増え、会話が非協調的に感じられたケースが目立った。次の例をみてほしい。

例 64

行	話者	発話内容
330	NNS1	本物です。
331	NNS1	そして、でも、あの、今の、おばあちゃんのお腹の内臓とか、全部取りました。
332	NS1	ああ。
333	NNS1	だから、あの、ある<笑い>、雑菌[↑]、雑菌ではなくて、布団を(うん)、あの、お腹が、とか引かれて[↑],,
334	NS1	うん。
335	NNS1	でも、顔とか、あの、手とか,,
336	NS1	は見える。
337	NNS1	足とか見える。
338	NS1	へえ。
339	NNS1	内臓も見えます、でも他は<笑い>。
340	NS1	気持ち悪い、それは<笑い>。
341	NNS1	そして、この、あの、発見されたの、あの、あの、墓の中で、あの、中国の最も薄い、ふくろもあります。

上の例はNNS1が中国の地元の博物館にある2000年前のミイラについて説明している場面である。この中でNNS1は長い説明を続けている。これらの一連の説明は発話連鎖の形に着目すると、文末ではネまたはヨの終助詞を使用し、発話機能の使用が可能であるが、文末はすべて用言で終了する言い切り型の発話文となっている。一方で、331・333・335・341行目の発話冒頭には、談話標識としてそれぞれ「そして」「だから」「でも」を頻繁に使用している。確かに、これらは前後の発話連鎖からみて、適切な談話標識とは言えないが、NNS1は談話展開のためにこれらの談話標識を用いることで、自らの発話と発話をつなげていると判断することも可能である。つまり、NNS1は談話を展開するにあたり、文末において発話連鎖効力を持つ終助詞などの要素は使用されていないが、談話標識を使用することで提示の発話連鎖を展開しているのである。ちなみに、不使用が目立つデータの方が、このような談話標識の「濫用」が目立つ。

次に、データ 9 の事例をみてほしい。

例 65

行	話者	発 話 内 容
137	NNS9	=でもちょっと,うーん自分の経験を,もう入れて(うん)あ普通の関塾…じゃなくて(うーん)えー…ちょっと、例えば、トルコでも,こういう塾がありました(うん)=。
138	NNS9	=こういう塾で,えーちょっと…少しえーシステムが,えーうーん,異なりました(ふーん)=。
139	NNS9	=例えばいろいろ経験を,合わせて《少し間》授業,あつくるつか作りたい=。
140	NNS9	=特に, えー理由は,うー 《少し間》日本の学生は《少し間》私にとってあまり留学のことを《少し間》(あー)知らないと思う。

上の例は NNS9 が日本の塾について意見を述べている場面である。ここでの一連の説明は NNS9 が一方的に行っており、NNS9 の言語能力が不十分なことから話がまとまらないまま、どのようなことを述べたいのか、やや捉えにくい話し方となっている。ここでは NNS9 の発話文は全て言い切りの発話となっており、そのうち「ありました」「異なりました」「作りたい」の文末はどれも同じ動詞の過去形による言い切りとなっている。つまり、NNS9 は文末形式において比較的シンプルな形を使用することで、自分の言語能力を補おうとしているようにも見られる。さらに、一連の NNS9 の発話連鎖における発話冒頭に注目すると、「でも」「こういう」「例えば」「特に」などと、前後の発話文を繋ぎ、談話を継続展開する談話標識を用いていることが確認できる。また、発話文と発話文の間には、「間」をあまりおらずに素早くつなげるラッチング「=」の特徴も見られる。一方で、NNS9 の発話を受けた NS9 をみると、NNS9 の発話と重なった形の「うーん」「あー」などの相づちは確認できるが、NNS9 の説明に積極的に参与できないまま、ひたすら聞き手の役割しか果せないことが分かる。

以下のデータ 4 でも同じような傾向が多く見られた。例えば、NNS4 は聞き手に発話をする機会を与えず、一方的に談話展開を行ったため、NS4 が途中に行おうとした確認の発話と重なりが生じ、その確認は最後までできないままで終わっている。

例 66

行	話者	発 話 内 容
133	NNS4	でも他のが、がい、まあ、が私の言語でまあ、母語でも(はい)、そのようなマスターのゆうな、こ、言語の、使い方がありますが、でも私にとってなんか(はいはいはい)、言語をマスターする… ことができません [↑]=。

134	NNS4	=ただ、なんかなんか母語者でも(はい)、まあなんかいつも、なんかほ、いろいろあったな、あたり(はい)、なんか言葉をみにつけられると 思 います=。
135	NNS4	=そして,,
136	NS4	そうですね、<つまり、言語話すより、はいはい>< } 【 。
137	NNS4	】 <だからその、なんかマスタ、マスターした>< }、レベルが…なんか自分の中で(そうですね)達していないです。

上の例は NNS4 が外国語の勉強における自分の考え方を語る場面である。NNS4 は聞き手の NS4 の存在にはまったく気を配る余裕がないかのように、一方的に情報提供の発話を行っている。一連の発話を見ると、文末は「できません」「思います」などと言い切り発話となっており、発話文の間には短いラッチングが確認されると同時に、発話文の冒頭には「でも」「だた」「だから」などの談話標識が多く見られる。NNS4 の発話をただ聞くことしかできない NS4 は、NNS4 の会話には参加できないまま時折、NNS4 の発話と重なる相づちをするだけである。136 行目で NS4 は「そうですね、つまり…」と確認の発話を行っているが、これも直後の 137 行目での NNS4 の発話に割り込まれてしまい、その確認に失敗している。

以上の例 66 での NNS9 の発話連鎖は、提示系の発話連鎖が強く見られ、NNS9 は聞き手である NS9 の存在に気を配る余裕もないかのように、一方的な談話展開を行っている。同じく提示系の発話連鎖が多く見られた NNS8 や NNS19 等を見ると、ヨを用いることで提示系の連鎖効力を聞き手に示すことが可能になるため、聞き手の促しのサインを受けつつ、相互行為的に談話展開を行うことができる。例えば、例 66 の 134 行目で「思います」の言い切りではなく、「思うんですよ」と新情報を提示するヨ②を使用することで、その後も引き続き談話展開の意図を NS4 に知らせることができたと考えられる。その場合、NS4 はその場で確認を行う行動は取らず、談話展開を促す発話を行っていたかもしれない。このように終助詞の使用が少ないデータをみると、その不使用の問題は、発話内容の伝達における問題でも、配慮に関わる問題でもなく、終助詞の発話連鎖効力が使用されないことで生じる相互行為に関連した問題の方がより大きいと考えられる。NNS が言葉の産出をより優先的に考慮するため、「発話文の羅列」と特定の談話標識を用いた発話内容の伝達が実行されようとはしている。しかし、その発話内容をどのように聞き手との相互行為を通して行うかは未習得であるため、そのことが相互行為において発話連鎖効力を持つ終助詞の習得がされていないことから分かる。

このような聞き手との相互行為ではなく、NNS が一方的な発話内容だけを伝達する会話のやり取りは、聞き手の参加が困難な会話となってしまう、聞き手に負担を強いる会話となる恐れがある。実際、既に紹介した NNS4 のような一方的な談話展開は、NS4 の参加が困難なものとなり、NS4 がひたすら聞き手となり続ける性格を有するため、相手から得た

情報をまとめて確認を行い、自分の理解を確認する場面が見られた。

6.5.3 不使用のまとめ

終助詞の極端と少ないデータを通し、不使用の問題を考察した結果、二つのタイプの発話連鎖のストラテジーが確認された。即ち、要求系の発話連鎖の特徴を持つ「文末における付加要素による聞き手のフィードバックの要請」するストラテジーと、提示系の発話連鎖の特徴を持つ「特定の談話標識を用いた「発話文の羅列」による一方的な談話展開」するストラテジーであった。一方、表明系の発話連鎖の特徴ははっきり確認されなかった。その理由として、NNS の場合は自らが産出しようとする発話に向けて工夫したり、調整を行ったりするなどのストラテジーを行使することは割と簡単にできても、すでに産出された先行発話に対して発話を行うことは困難を感じているためだと考えられる。つまり、NNS はこれから産出する要求系と提示系の発話連鎖のためのストラテジーを先に習得するが、先行発話との関連付けのために用いる表明系のストラテジーの習得については遅れる可能性が考えられる。

6.6 本章のまとめ

本章では従来の NNS の誤用分析の枠組みを踏襲する形で、発話連鎖と NNS の視点を取り入れ、本研究で考案したネ、ヨ、ヨネの統合的機能を用いて NNS の中間言語の一部である言語問題を再検討した。まず、5章の NNS の終助詞ネ、ヨ、ヨネの正用の使用実態の結果を基に、使用頻度が明らかに高かった情報・意思受入要求のネ③、新情報提示のヨ②、結論表明のヨ③を取り上げ、過剰使用と捉えてそのタイプ分類を行った。分類の際には NNS の立場に立った分析を行い、過剰使用から NNS の独自の使用パターンが見いだされた。次に、これまで誤用とは言い切れない文脈上の不自然なネとヨネの使用を取り上げ、発話連鎖の視点からその不自然さの原因を追究した。結果、不自然な使用はネとヨネの混同として処理するのではなく、ネとヨネが持つ発話連鎖効力の不理解によって生じる言語問題であることを明らかにした。さらに、文法的・意味的に誤用となった使用を分析した結果、その数は他の言語問題に比べ少なく、終助詞以外の周辺言語の誤用や「そうですね」などソウ類の発話の濫用のほうが目立つことが明らかになった。このような誤用の用例から、従来の誤用分析の限界と問題点を再確認した。最後に不使用の問題に関しては、誤用の認定を行わず、発話連鎖特徴を探ることで、終助詞の不使用の機能を補うストラテジーを指摘した。

6章は本研究の最もメインとなる部分である。7章では特に6章を中心に本研究の結論を述べる。

7. おわりに

本研究では日本語学習者の終助詞の習得と使用における問題を明らかにすることを目的とし、文末における終助詞ネ、ヨ、ヨネに焦点を当てて分析を行った。本研究では既存のネ、ヨ、ヨネの機能分類が学習者(NNS)の談話レベルにおける使用を説明するには不十分な部分があることを指摘したうえ、BTSJ コーパス・データの母語場面の初対面の会話データを用い、先に談話上における統合的機能の機能分類を行い、その機能分類を用いて母語場面データの母語話者(NS[`])と接触場面の母語話者(NS)と学習者(NNS)の使用をそれぞれ分析した。以下、本研究の各章において行った分析と結果をまとめ、最後には本研究の結論と意義、及び今後の課題を述べる。

7.1 各章のまとめと、本研究の結論

本研究は全部で7つの章で構成される。

第2章では先行研究をまとめた。先行研究はまず、ネを中心に数多く存在する終助詞の機能を取り上げた研究のうち、とりわけ日本語教育と関連性の深いネ、ヨ、ヨネの意味用法の研究と発話機能の研究を取り上げた。その後、第二言語としてのNNSの終助詞使用に関する先行研究を誤用分析、習得のメカニズム分析、中間言語分析の順で取り上げた。先行研究で残された課題を基に、本研究の視点として、①文法性と談話性の統合する視点、②接触場面の参加者による相互行為の視点、③学習者の立場から終助詞使用を考察する視点を取り入れる必要性を指摘し、次のような3つの研究課題を提示した。

- (1) NNSの終助詞の使用と習得問題を説明できる機能分類を行う
- (2) 母語場面のNS[`]、接触場面のNS、NNSの終助詞の使用実態と使用傾向を分析・考察する
- (3) NNSの視点からNNSのネ、ヨ、ヨネの中間言語の使用実態を明らかにする

第3章は本論文の研究方法について概観した。まず、本研究の分析の枠組みとなる統合的機能の視点と、NNSの中間言語の分類における定義と範囲を示した。その後、データの概要として母語場面のBTSJ コーパス・データの紹介と、本研究の接触場面の調査概要を述べた。

第4章では理論的枠組みについて考案を行った。BTSJ コーパスの母語場面の初対面会話をデータとして用い、母語場面のNS[`]が使用するネ(181回)、ヨ(74回)、ヨネ(112回)の使用例を基に、終助詞ネ、ヨ、ヨネの談話上における統合的機能を分類した。詳しくは、命

題内容の事柄の領域、発話機能、発話連鎖機能といった概念を用い、終助詞が持つ多様な機能のうち、文法的側面の概念である命題内容の事柄の「領域」を一番の上位レベルの機能と捉え、その次のレベルとして発話目的による発話機能を認めるものの、実際の会話の中では発話機能では終助詞の説明が十分にできない問題点を指摘したうえ、本研究の新たな視点である発話連鎖効力の概念をさらに次の下位レベルとして捉え、上位レベルの領域との関わりを探ることで、談話上における終助詞の統合的機能としてまとめた。その結果、終助詞ネ、ヨ、ヨネは、命題内容の事柄の領域、即ち聞き手領域、話し手領域、中立領域の3つの領域の違いにより、それぞれ要求系、提示系、表明系の3つの発話連鎖効力を持った11種類の談話上における統合的機能に分類された。ネ、ヨ、ヨネの種類別にはネが5つの機能に、ヨが3つの機能に、ヨネも3つの機能に分類された。

第5章では、第4章で考案した機能分類を基に母語場面のNS`の使用と、接触場面のNSとNNSの使用に対し、機能の使用頻度について分析を行った。先に母語場面のNS`の使用実態を明らかにしてから、接触場面のNSとNNSの使用を母語場面のNS`と比較を行うことで、接触場面における終助詞の使用傾向を指摘した。

第6章では第5章のNNSの終助詞使用実態の結果を基に、NNSの終助詞使用の問題を取り上げた。NNSの終助詞の言語問題は、NNSの正用のうちの過剰使用とみられる問題と、不自然な使用、誤用、終助詞の不使用の問題を扱った。

言語問題を考察の結果、まず「過剰使用」となった使用は、文レベルの過剰使用と談話レベルの過剰使用があることが明らかになった。前者においてはさらに、1)スーパー文末詞として情報・意志受入要求のネ③を使用するタイプと、2)強調の文末詞として結論表明のヨ③を使用するタイプが確認された。後者の談話レベルの過剰使用においては、1)NSの働きかけを誘発する談話標識として情報・意思受入要求のネ③を使用するタイプ、2)談話展開の談話標識として新情報提供のヨ②を使用するタイプ、3)前置きの談話標識として新情報提示のヨ②を使用するタイプの3種類が確認された。これらの過剰使用のタイプをNNSの視点から捉え直すと、文レベルの過剰使用はNNSが文末の発話産出において文末形式をよりシンプルにするために、終助詞でほかの多様な文末詞をカバーしようとした独自の使用である。このような使用は終助詞が持つ機能を完全に理解した使用とはいいがたい部分がある。一方で、談話レベルの過剰使用は、終助詞の発話連鎖効力を活用して談話管理における独自の使用である。談話レベルで一定のパターン化された使用がなされる点を踏まえると、NNSは談話標識として終助詞を認識し、談話レベルで定着された使用である。

次に、NNSの終助詞の言語問題として従来の誤用分析の枠組みの中で「不自然な使用」とされた問題を取り上げた。まずネの不自然な使用は、ネを提示系のヨネの使用まで機能拡張し、ネを使用して談話展開を行うために生じた不自然さであった。一方でヨネの不自

然な使用は、ヨネの提示系の発話連鎖効力を過剰一般化した問題で、どの領域にも問わず提示系の発話連鎖効力を適応して、談話展開を行うために生じる発話連鎖の不自然さであった。このようなネとヨネの不自然な使用に共通する問題は、NNS が提示系の連鎖効力を適切に使いこなせないことによる問題である指摘できる。言い換えると、従来の文脈における不自然な使用は、ネとヨネの発話連鎖効力に関わる問題で、さらに言うと NNS の談話上における終助詞の提示系の発話連鎖効力を「好んで」使用する傾向がある。このような不自然な使用にみられる NNS が提示系の発話連鎖効力の使用を「好む」傾向は、上の過剰使用のうち、提示系のヨの使用が多く確認されて点とも通じる。

さらに、終助詞の使用が文法・意味的に逸脱となり、発話文自体が誤用になっているものは、①脱落による誤用、②周辺言語による誤用、③定型表現の不適切な汎用による誤用といった3つのタイプに分類して取り上げた。ただし、その合計の数は 29 例にとどまり、実際には終助詞の文法的な誤用の数は多くないことが判明される。またこの種の誤用の発話については、不自然な使用のような特定の発話連鎖の特徴は確認されず、この点を踏まえると、NNS の誤用は文レベルにとどまった逸脱であるとみることができる。

最後の不使用の問題は、終助詞の使用が極端に少ないデータをとりあげ、文末の特徴と発話連鎖の特徴を考察することで、終助詞が使用されないことがどのようなほかの現象を生み出しているかを考察した。結果、NNS は終助詞の不使用を補うストラテジーを使用していることが考察された。例えば、要求系の発話連鎖効力を補うストラテジーとして、文末における付加要素、即ちインドネーションや間等の周辺要素による聞き手のフィードバックの要請する要求系の発話連鎖パターンを使用したり、提示系の発話連鎖効力を補うストラテジーとして、特定の談話標識を用い、速やかに文末に繋げて発話文を羅列していく形で談話展開をする提示系の発話連鎖パターンをよく使用していた。このような要求系と提示系の発話連鎖効力の使用は、過剰使用および不自然な使用においても指摘した通り、NNS は発話産出と談話展開のために要求系と提示系の発話連鎖をよく活用していることともつながる。しかしながら、NNS には上記のような要求系と提示系の発話連鎖を補う文末特徴と連鎖特徴は確認されてはいるものの、表明系を補う連鎖の特徴は確認されなかった。これは言い換えると、NNS はその場における発話産出や談話展開を意識した独自の使用はできるものの、先行発話との関係を考慮して使う表明系の発話連鎖の使用はできず、習得が遅れていることを示唆している。

以上各章で論じた内容を基に、以下は本研究の結論として研究目的と研究課題に答える形で、本研究の結論を次の3点に絞ってまとめておきたい。

第一、本研究は終助詞ネ、ヨ、ヨネの機能を談話レベルで捉えるために、文法的側面の命題内容の事柄の領域を上位レベルの機能と捉え、さらに発話連鎖において果たす発話連鎖効力という談話レベルの機能を、領域の次の下位レベルとして取り入れることで、終助

詞が持つ多様なレベルの機能を統合させた。こうして本研究で考案した談話上における統合的機能は、従来区別がはっきりしていなかった、ネ、ヨ、ヨネの機能を区別することができた。また、文レベルの意味機能を超え、終助詞の機能は談話展開においても働くことを指摘し、終助詞の使用を通して談話展開の志向を指摘することができた。本研究の機能分類は NNS の使用を分析する目的から考案されたものであるが、このような統合的機能分類のアプローチにより、終助詞の機能はより短い文レベルの文法性が上位レベルになり、長い談話レベルの機能が下位レベルの機能として命題内容の事柄の領域によって「支配」され細分類される形で、談話上において統合的に働くといった、終助詞の多様な機能が持つ興味深い階層関係も示すことができた。

第二、母語場面の NS`、接触場面の NS、NNS の終助詞ネ、ヨ、ヨネの3つを同時に取り上げて、その使用実態の分析と相互比較することにより、NS`、NS、NS の使用実態の全貌が初めて明らかになった。特に、本研究では接触場面の場面性がもたらす NS の使用特徴と、NNS の中間言語の特徴を明らかにすることに重点を置いた結果、接触場面の NS の使用特徴をまとめると次の3点が挙げられる。

NS の使用特徴

1) NS は聞き手領域の終助詞、中でも特に要求系の機能を多用し、NNS に働きかける特徴が見られた。

2) NS は NNS の理解支援を工夫し、話し手領域の機能を使用して、文末形式または談話展開をシンプルにしようとする特徴が見られた。

3) 最後には、個人差はあるものの、NS 全体的に自らが主導して談話展開をする提示系の使用を控えていた。

以上のような NS の使用特徴を生み出す要因としては、接触場面の NS は NNS の談話展開や発話理解を促進する発話を多く発していることに起因することを指摘できる。そのような発話の調整が、終助詞の機能の使用頻度に影響していると解釈することができる。

一方で、接触場面の NNS の中間言語のうち正用にみられる使用特徴は領域の視点と発話連鎖の視点でまとめると次の通りです。

NNS の使用特徴

1) 領域からみる使用特徴としては、話し手領域の機能は早く習得し、使用頻度も高いのに対し、聞き手領域の機能は使用が少なく、習得が遅れる。

その要因としては聞き手に働きかける発話の難度が高く、産出する機会も少ないためであると考えられる。

2) 発話連鎖からみる使用特徴としては、提示系の機能は使用頻度が高く、正用の使用も多いことから習得が早いことが示唆される。さらに、提示系の機能は談話レベルを通して使いこなせており、NNSの独自の使用としての定着が強く現れた。それに対し、要求系の機能と表明系の機能は、提示系の機能に比べると談話レベルを通して使う側面は薄く、どちらかという文レベルに留まった使用として定着したものが多く含まれる。

その要因としては、NNSは自分の後続発話の産出に対する強い意識から提示系の機能は頻繁に使用しているのに対し、聞き手と協調的な相互行為を図る発話や、先行発話に向けた発話の産出する意識は比較的薄く、結果、それに関係する発話連鎖効力の使用も比較的に少ないことが明らかになった。

第三、NNSの言語問題をNNSの視点から捉えなおすことができた。具体的にはNNSの言語問題について、本研究では談話レベルを中心にNNSの視点から捉えなおしており、結果、次の4点を明らかにすることができた。

1) NNSの過剰使用は、使用頻度の問題を超えてNNSの独自の使用(ストラテジー)であることを明らかにした点である。NNSの過剰使用の分析と考察からは、NNSの終助詞の使用がNSの使用の特徴と類似し、NSに近づく使い方をしている場合もあれば、反対にNNSの独自の使用を増やしていく場合もある。また種類別の使用からは、発話産出や談話展開において活用するヨのほうは、定着すると独自の使用が増え、独自の使用として定着されるが、ネのほうは文レベルのスーパー文末詞として過剰使用していたことが、定着とともにNSの使用に近づけるため、使用頻度もNSに使づけて減少する可能性が示唆される。

2) 不自然な使用は、単純なネとヨの混同問題ではなく、提示系の連鎖効力の濫用として捉えることができる。しかし、過剰使用の問題は、NNSの視点から捉え直すと、発話の生成や談話展開のためのNNSの独自の使用の一つとしてみることもできる。

3) 不使用の問題は、単純に終助詞の使用頻度が少ない問題ではなく、NNSの習得の視点から捉えると談話展開において働く終助詞が習得されていない問題として捉えることもできる。さらに、不使用の問題が影響するのは、接触場面におけるNSとのやり取りのほうにあり、聞き手としてのNSの応答や調整行動に影響し、会話の相手としてのNSの調整行動の負担が重くなる可能性が生じていることが示唆された。

4) 産出された使用における誤用の数をみると、実に少なく、さらに上の3点を踏まえて考えると、誤用分析ではNNSの使用は説明しきれないことが再確認された。

7.2 本研究の意義と、日本語教育への示唆

本研究の意義と日本語教育への示唆については主に以下の2点をあげることができる。

(1) 接触場面研究としての意義

本研究では母語場面と接触場面の両方の会話データを用い、分析の枠組みとなる機能分類方法を独自に考案し、その機能分類の枠組みを使い、母語場面と接触場面それぞれにおける終助詞の使用を分析・考察した。それによって、接触場面のNSの使用を、母語場面のNSと比較し、接触場面の使用の特徴を明らかにすることができ、それは、学習者の終助詞の習得問題のみならず、広く接触場面の言語使用や特徴を明らかにした研究としても意義がある。

(2) 学習者の中間言語研究としての意義

学習者の中間言語研究としての意義として、以下の2点を挙げたい。

1) 誤用分析の研究を深めた点

本研究ではNNSの終助詞ネ、ヨ、ヨネの使用を文ベルから談話レベルに拡大して見ること、学習者の終助詞使用の問題の原因が文法的側面にあるのか、それとも談話展開の側面にあるのかを明らかにすることができ、終助詞の誤用分析を談話レベルで行うことへとさらに深めることができた。このようなアプローチを通し、NNSの終助詞の言語問題は文法的側面における問題は一部に過ぎず、より多くの問題は文末の産出や談話展開といったNNSの独自の使用からくる側面にあることが指摘できた。そして、さらにそこからNNSの視点から行う中間言語分析の意義が導かれた。

2) NNSの中間言語にみられる独自の使用を指摘した点

本研究はNNSの視点を取り入れ、終助詞の談話上の機能と実際の接触場面の相互行為の中でNNSの中間言語の実態を体系的に分類して提示することができた。このように実際の接触場面を対象に、NNSの中間言語として終助詞の使用と働きを捉えることで、これまで主に誤用を中心にNNSの使用問題をネガティブに捉えた誤用分析の領域を超え、そもそもNNSはNSとは異なる視点と目的を持って終助詞を使用することが明らかになった。即ち、NNSにとって、終助詞はモダリティよりも、談話展開や発話産出のために使用し、談話展開の仕方(母語の影響も含めて)が終助詞の使用に影響することを明らかにした。このようNNSの終助詞使用の分析視点は、これまではなかったもので、本研究で初めて考案されたものとして、終助詞ネ、ヨ、ヨネの第二言語習得研究に新たな示唆を与えることができたと考える。

7.3 本研究の問題点と、今後の課題

本研究はいくつかの未解決な課題も含んでおり、次の 3 点を主にあげたい。まずは、終助詞とイントネーションとの関わりである。イントネーションと終助詞の関わりを必要に応じて考慮はしたものの、体系的に考慮したものではないのでその考察が十分ではない部分もある。イントネーションと発話連鎖の関連はもう少し厳密に見て行く必要はあろう。また、本研究は初対面の会話に統一し、文末のスピーチスタイルは丁寧体をベースにした。しかしながら、中には常体に就く終助詞も一部存在する等、文末形式が混ざっている問題もある。「～けどね」「～です・ますしね」などの接続助詞に付く終助詞もあり、文末形式を厳密に区別する必要性についても検討の余地があろう。さらに、終助詞の発話文には「のだ文」とされる「んですね」、「んですよ」が多く含まれていたが、今回は終助詞の発話連鎖のみに注目しており、「のだ」のモダリティの機能による発話連鎖働きの可能性については考察の対象としていない。ただし、説明モダリティの「のだ」が説明展開と関係していることは明らかであり、それに関する発話連鎖効力については、今後の課題にしたい。

その他にも本研究は、NNS の調査対象者を滞在期間別に分けているにも関わらず、短期、中期、長期の比較が十分になされていなかった。また、本研究では相互行為の視点を入れているが、主に話し手としての NNS の使用に焦点が当てられており、NNS の発話に対する NS の応答や、また NS の終助詞の使用に対する NNS の応答を相互的に捉える分析には至っていない。NS が使用する終助詞に対し、NNS は適切な応答を返しているかどうか、NNS の終助詞の習得問題の一部であると考え、NS の終助詞発話に対する NNS の応答に注目する分析と考察も必要であると言えよう。以上の課題については、さらに今後研究を進めていきたい。

参考文献

- アサダーユット・チューシー (2011) 日本語の助詞「ネ」とタイ語の助詞“NA”の伝達機能—タイ人学習者の日本語の談話における使用傾向 日本語/日本語教育研究 [2] 日本語/日本語教育研究会 pp.99-118
- 伊豆原英子 (1993) 「ね」と「よ」再考—「ね」と「よ」のコミュニケーション機能の考察から 日本語教育(80)pp.103-114
- 伊豆原英子(2003) 終助詞「よ」「よね」「ね」再考 愛知学院大学教養部紀要 (51) pp.1-15
- 市川保子 (2010) 日本語誤用辞典 スリーエーネットワーク
- 井上優(1997) 「もしもし、切符を落とされましたよ」—終助詞「よ」を使うことの意 月刊言語26-2 pp.62-67
- 上原聡・福島悦子 (2004) 自然談話における「裸の文末形式」の機能と用法 世界の日本語教育. 日本語教育論集 14 pp.109-123
- 宇佐美まゆみ(1995) 談話レベルから見た敬語使用—スピーチレベルシフト生起の条件と機能 学苑 (662)pp.27-42
- 宇佐美まゆみ(1997) 「ね」のコミュニケーション機能とディスコース・ポライトネス 現代日本語研究会編『女性のことば:職場編』 pp.241-268 ひつじ書房
- 宇佐美まゆみ(2011) 基本的な文字化の原則(Basic TraNScriptioNSystem for Japanese:BTSJ)URL:<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj.htm>
- 小池生夫 編 (2003) 『応用言語学事典』 研究社
- 大嶋真紀(1989) 外国人の発話を不自然にする要因の分析—中・上級日本語学習者の終助調の使用をめぐって 鹿児島大学史学科報告36 pp.103-112
- 大曾美恵子(1986) 誤用分析 1「今日はいい天気ですねはい」—「そうです」 日本語学 5(9) pp.91-94
- 大曾美恵子(2005) 終助詞「よ」「ね」「よね」再考—雑談コーパスに基づく考察— 言語教育の展開 pp.2-15 ひつじ書房
- 大関浩美 (2012) 『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版
- 大塚容子(2003) ディベートにおける文末表現—日本語学習者の場合— 岐阜聖徳学園大学紀要外国語学部編42 pp.33-45
- 尾崎明人(1996) 追跡調査にみられる終助調「ね」の使用状況と変化 日本語研修コース修了生追跡調査報告書2 名古屋大学留学生センター pp.151-160.
- 尾崎明人(1999) 就労ブラジル人の発話に見られる助詞の縦断的研究(その1) —終助調「ね」を中心として 『日本語・日本文化論集』7 pp.91-107
- 何桂花(2008) 日本語教育における終助詞「ね」の習得の特徴—インタビュー形式の会話における中国語を母語とする学習者を中心に 日本語・日本文化研究18

- pp.117-126大阪大学『日本語・日本文化研究』編集委員会.
- 片桐恭弘(1995) 終助詞による対話調整 『言語』第 24 卷 11 号 pp.38-45 大修館書店
- 加藤重広(2001) 文末助詞『ね』『よ』の談話構成機能 富山大学人文学部紀要 第 35 号
pp.31-48
- 神尾昭雄(1990) 『情報のなわ張り理論』 大修館書店.
- 顔暁冬・松村瑞子(2013) 中国における日本語教育の現状と分析：日本語終助詞「よ」「ね」「よね」の扱い方を中心に 言語文化論究 (30)pp. 39-53
- 木曾美耶子(2013) 中国人日本語学習者の会話における終助詞に対する母語話者評価
国文論叢46 pp.18-35
- 金京実(2001) 中間言語としての確認要求表現「よね」「だろう」「じゃないか」韓国人日本語学習者を中心として 人間文化学研究集録 10 pp.47-58 大阪府立大学大学院人間文化科学研究科・総合科学研究科
- 金水敏(1993) 終助詞ヨ・ネ 『言語』第 22 卷 4 号 pp.118-121 大修館書店.
- 金水敏・田窪行則(1998) 談話管理理論に基づく「よ」「ね」「よね」の研究『音声による人間と機械の対話』(堂下修司・新美康永・白井克彦・田中穂積・溝口理一郎編) pp. 257-271 オーム社
- 小金丸春美(1990) 作文における「のだ」の誤用例分析 日本語教育 71 pp.182-196
- 高民定(2008) 接触場面における終助詞の言語管理—非母語話者の終助詞「ね」と「よ」の使用を中心に— 村岡英裕編『言語生成と言語管理の学際的研究』 pp.97・112, 千葉大学大学院社会文化科学研究科
- 駒井(木寅)裕子(2008) OPI 超級・上級話者の普通体会話にみられる終助詞の特徴 日本語・日本文化研究14 pp.61-71 京都外国語大学留学生別科
- 高民定(2011) 日本語学習者の「よ」「ね」「よね」について—日本語初級・中級教科書の機能分析を中心に— 国際教育 (4) pp.11-23 千葉大学国際教育センター
- 高民定・崔英才(2015) 日本語学習者の終助詞「よ」「ね」「よね」の使用と習得問題—国内と海外における接触場面の会話データの分析から— 한국언어연구학회 언어학연구 pp.83-305
- 高民定(2016) 中間言語としての終助詞の使用：接触場面における談話展開と相互行為から捉えなおす 特集 終助詞の世界) 日本語学35 pp.58-69
- 国立国語研究所(1987) 『談話行動の諸相—座談資料の分析—』 三省堂
- 崔英才(2015a) 日本語母語場面における終助詞「ね」の一考察 千葉大学人文社会科学研究紀要第 30(号) pp.187-198
- 崔英才(2015b) 日本語母語場面における終助詞「よ」の一考察—発話連鎖効力に基づく分析枠組みの試み— 千葉大学人文社会科学研究科研究プロジェクト報告書第 292 集 pp.31-44
- 崔英才(2015c) 終助詞「ね」「よ」「よね」の談話上における機能分析—コーパス・デー

- タの母語場面の会話を中心に— 千葉大学人文社会科学 31 pp.94-115
- 崔英才 (2016) 電話の問い合わせにおける案内者の言語行動—終助詞「ね」に注目して— 『日語 語言文化研究』 第四輯 pp.177-187
- 西郷英樹(2012) 終助詞「ね」「よ」「よね」の発話連鎖効力に関する—考察：談話完成タスク結果を基に 関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 22 pp.97-118
- 西郷英樹 (2016) 終助詞「ね」「よ」「よね」の発話連鎖効力に関する—考察：大規模談話完成テスト調査報告 関西外国語大学留学生別科日本語教育論集 26 巻 pp.95-120
- 三枝催予・大野文(2001) 文末表現の習得 『東アジア日本語教育・日本語文化研究 3』 pp.59-70 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- ザトラウスキー(1993) 『日本語の談話の構造分析—勧誘のストラテジーの考察』 くろしお出版
- 柴原智代(2002) 「ね」の習得—2000/2001 長期研修 OPI データの分析— 日本語国際センター紀要12 pp.19-34
- 白川 (1992) 終助詞「よ」の機能 日本語教育 (77) p36-48
- 白川 (1993) 「働きかけ」「問いかけ」の文と終助詞「よ」の機能 広島大学日本語教育学科紀要 3 pp.7-14
- 杉勝美代子(2001) 終助語「ね」の意味・機能とイントネーション 音声文法研究会編『文法と音声Ⅲ』 pp.19-34
- 鈴木睦 (1997) 日本語教育における丁寧体世界と普通体世界 『視点と日本語教育』 くろしお出版
- 鈴木洋子(2004) 確認を要求する日本語応答期待文の文末形式とその機能—母語話者と学習者の使用から 『応用言語学研究』 6 pp.249-261 明海大学大学院応用言語学研究科紀要編集委員会
- 清家健司 (2011) 外国人留学生による終助詞「よ」・「よね」の誤用に対する一考察 國學院雑誌(12)pp.1-13
- 張鈞竹(2005) 台湾人日本語学習者の終助詞「ね」の使用—コミュニケーション機能を中心に— 宇佐美まゆみ編『言語情報学研究報告』 6 pp.281-299 東京外国語大学大学院地域文化研究科21世紀COEプログラム 「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」
- 陳常好 (1987) 終助詞—話し手と聞き手の認識のギャップをうめるための文接辞 『日本語学』 6(10) pp.93-109 明治書院
- 滝浦真人 (2008) 『ボライトネス入門』 研究社
- 富並美希・中村渉(2004) 日本語の終助詞習得に関する横断的研究—韓国人日本語学習者の語用分析に基づいて— 言語科学会第6回年次国際大会論文集 pp.187-192
- 寺村秀夫(1982) 『日本語のシンタクスと意味』 くろしお出版

- ナカミズ・エレン(2000) 在日ブラジル人就業者の言語行動概観—日本語使用を中心として—
 国立国語研究所編 日本語とポルトガル語(2) :ブラジル人と日本人との接触場
 面 pp.127-150.
- ナズキアン富美子 (2005) 終助詞「よ」「ね」と日本語教育 『言語教育の新展開—牧野成
 一教授古稀記念論集』 167-180 ひつじ書房
- 西川弘速(2000) 終助詞「よ」使用に関する学習者の認識 南山大学国際教育センター紀要1
 pp.195-207
- 西阪仰編訳(2010) 会話分析基本論集 世界思想社
- 西元淳子・白川博之 (2005) 日本語教育における文法の扱いに関する一提案 広島大学日
 本語教育研究 (15) pp.39-46
- ネウストプニー, J.V. (1981) 外国人の日本語の実態(1)外国人場面の研究と日本語教育
 『日本語教育』 45 pp.30-40
- ネウストプニー, J.V. (1983) 日本語教育と二重文化教育 『日本語教育』 49 pp.13-
 24
- ネウストプニー, J.V. (1994a) 日本研究の方法論—データ収集の段階— 『待兼山論叢日
 本学篇』 28 (大阪大学) pp.1-24
- ネウストプニー, J.V. (1995a) 日本語教育と言語管理 『阪大日本語教育』 7 pp.67-
 82
- ネウストプニー, J.V. (1995c) 『新しい日本語教育のために』 大修館書店
- ネウストプニー, J.V. (1997a) プロセスとしての習得の研究 『阪大日本語研究』 9 (阪大
 文学部日本語学講座) pp.1-15
- ネウストプニー, J.V. (1999) コミュニケーションとは何か 『日本語学』 18-7 明治書
 院 pp.4-16
- ネウストプニー, J.V.・宮崎里司共編著 (2002) 『言語研究の方法 言語学・日本語学・
 日本語教育学に携わる人のために』 くろしお出版
- 野田春美 (2002) 『新日本語文法選書4 モダリティ』 くろしお出版 pp.261-288
- 野田尚史編(2005) 『コミュニケーションのための日本語教育』
- 橋本修(1992) 終助詞「ねJ の、意味の型とイントネーションの型 日本語学92-11
 pp.89-97.
- 蓮沼昭子 (1992) 終助詞の複合形「よね」の用法と機能 筑波大学つくば言語文化フォー
 ラム (2) pp.63-77
- 蓮沼昭子(1996) 終助詞「よ」の談話機能 上回功ほか編 『言語探求の領域 小泉保博士古
 希記念論文集 pp.383-395 大学書林
- 蓮沼昭子(1997) 終助詞「よ」の談話機能—その2 日本語教育論文集—小出調子先生
 退職記念— pp.581-599 凡人社
- 初鹿野阿れ(1994) 初級日本語学習者の終助詞習得に関する一考察—「ね」を中心として—

- 『言語文化と日本語教育』8 pp.14-25 お茶の水女子大学日本言語文化学会
 林朝子(2000) 終助詞「よ」が持つ「失礼さ」の度合い 三重大学留学生センター紀要2
 pp.39-51
- 伴紀子・架谷真知子(1996) 誤用から見た終助詞「ね」の指導法 アカデミア.文学・語学編
 61 pp.135-156 南山大学
- 福島悦子(1994) 終助詞「ね」の用法と機能:指導上の留意点 東北大学留学生センター紀要
 2 pp.55-62
- 船戸はるな(2012) 継続的な文字チャットによる日本語学習者の終助詞「ね」の使用
 の変化: 必須要素/任意要素の観点から 日本語教育 (152) pp. 1-13
- 堀池晋平(2007) 学習者は「ね」意味をどのようにとらえているか—「ね」の自然さに関
 する評定調査に基づく考察— 日本語教育論集23 pp.33-47 国立国語研究所日
 本語教育センター
- 朴仙花 (2008) 現代日本語における接続助詞で終わる言いさし表現について—「けど」「か
 ら」を中心に 言葉と文化 (9)pp.253-270
- 益岡隆志(1991) モダリティの文法 くろしお出版
- 水谷信子(1984) 誤用分析4 きのお新宿へ映画を見に行きましたね—開き手への関心を示
 す表現の誤用と非用 日本語学3-7 pp.113-115
- 峯布由紀(1995) 日本語学習者の会話における文末表現の習得過程に関する研究 日本語教
 育86 pp.65-80
- 峯布由紀(2006) 第二言語習得における「授業」と「言語接触」の影響についての考察—日
 本語文末表現の使用に関する内省アンケート調査をもとに— 人間文化論業 9
 pp.265-275 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
- 峯布由紀・高橋蒸・黒滝真理子・大島弥生(2002) 日本語文末表現の習得に関する一考察—
 自然習得者と教室習得者の事例をもとに 第二言語としての日本語の自然習得
 の可能性と限界 pp.64・85 お茶の水女子大学大学院日本語教育コース
- 宮崎里司・ネウストプニー, J.V.共編著 (1999) 『日本語教育と日本語学習 学習ストラ
 テジー論にむけて』 くろしお出版
- メイナード(1993) 『会話分析』 くろしお出版
- 森山卓郎(2001) 終助詞「ね」のイントネーション—修正イントネーション制約の試み
 — 音声文法研究会編『文法と音声Ⅲ』 pp.31-54 くろしお出版.
- 山田京子(2006) 中国語母語話者の終助詞「よ」の運用に関する問題点—「よ」に対応す
 る中国語表現との対照研究から— 早稲田大学日本語教育研究8 pp.123-135
- 楊虹(2008a) 中日接触場面の初対面会話における「ね」の分析—共感構築の観点から— 東
 京成徳大学人文学部研究紀要 15 pp.36
- Sawyer, Mark(1992) The Development of Pragmatics in Japanese as a Second Language:
 The Sentence-Fine Particle NE, in Gabriele Kasper(ed), Pragmatics of Japanese as

Native and Target Language, University of Hawaii, Second Language Teaching & Curriculum Center, pp.85-113

Selinker,L. (1992) Rediscovering interlanguage.Longman

謝辞

本研究をまとめるに当たり、多くの方々からご指導・ご協力をいただきました。ここで心より感謝申し上げます。まずは、修士を修了してから一度社会人としての道を選択していた私を、再び博士課程の学生として拾ってくださった指導教員の高民定先生に深く感謝申し上げます。高先生からは博士論文もご指導だけではなく、私がこれから日本語教育に携わる一員として歩いていくべき道を、大きく導いて頂きました。いつも貴重な時間を私の研究のために惜しまず割り当ててください、感謝しきれないほどお世話になりました。

また、いつも貴重なアドバイスをくださった副指導教員の村岡英裕先生、岡部嘉幸先生、石井正人先生、そして修士の時からご指導いただいた吉野文先生にも深く感謝します。日本語教育合同ゼミの佐藤尚子先生、西住奏子先生、ゼミの院生仲間、毎回の発表で貴重なコメントをいただき、ありがとうございました。そして、何よりも本研究の調査に快く協力してくださった多くの調査協力者の皆様に感謝の意を表したいと思います。また、論文執筆が難航するなか、私の時間に合わせながら校正を快く引き受けてくださった千葉大学特別研究員の三村達也氏にも感謝申し上げます。

さらに、誰よりも私の永遠な見方として、心の支えとなってくれた両親と姉、そして親友の時春、博士論文を書く中で家族の大切さをより実感することができたことを伝えてあげたいです。

最後に、博士時代に巡り会って、私の人生観と価値観に多大な影響を与えてくださった、上司でもあり友でもある元日本 PTA 全国協議会会長の相川敬氏にも、この場をお借りして感謝の意を伝えたいです。

接触場面の会話データ集

データ 1

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS1	こんにちは、よろしくお願いします。	/	/
2	2	NNS1	よろしくお願いします。	/	/
3	3	NS1	と、ぼーく(僕)は、「NS4 の名前」っていいます。	/	/
4	4	NNS1	「NS4 の苗字[↑]」…。	/	/
5	5	NS1	「NS4 の名前」。	/	/
6	6	NNS1	ああ。	/	/
7	7	NS1	「NS4 の名前」で大丈夫です。	/	/
8	8-1	NNS1	はい、<あの>{<},,	/	/
9	9	NS1	<で、はい>{>}。	/	/
10	8-2	NNS1	私、「NNS4 の名前」と申します。	/	/
11	10	NS1	「NNS4 の苗字」、「NNS4 の苗字」さん[↑]。	/	/
12	11	NNS1	「NNS4 の苗字」と呼んでも、いいです。	/	/
13	12	NS1	はい。	/	/
14	13	NNS1	はい、よろしくお願いします。	/	/
15	14	NS1	よろしくお願いします。	/	/
16	15	NS1	僕、学部2年生なんですけど。	/	/
17	16	NNS1	ああ。	/	/
18	17	NS1	あの、学部は、あの、法政経学部って分かります?。	/	/
19	18	NNS1	法政…あ、<分かります>{<}。	/	/
20	19	NS1	<法政経、で、>{>}政治政策勉強してます。	/	/
21	20	NNS1	ああ、すごいな。	/	/
22	21	NS1	いえいえ<笑い>。	/	/
23	22	NNS1	<笑い>。	/	/
24	23	NS1	えっ、何勉強されてますか?。	/	/
25	24	NNS1	あの、私は大学院生です。	/	/
26	25	NS1	はい。	/	/
27	26	NNS1	もう、2年生になります。	/	/
28	27	NNS1	だから、あの、大学時代は日本語勉強、日本語学科の専門の学生です。	/	/
29	28	NNS1	だから、その日本語勉強しています(ふーん)。	/	/
30	29	NNS1	今は、比較文学と世界文学という(ほー)の専門を勉強しています。	/	/
31	30	NS1	比較文学。	/	/
32	31	NNS1	はい、日本文学と、中国の文学は、あの、どんな、比較して、そして研究をします。	/	/

33	32	NS1	あ、日本と、他の国の[↑]、他の国【【。	/	/
34	33	NNS1	】】いや、中国と他の国<笑い>。	/	/
35	34-1	NS1	中国と、あの、ごめんなさい<笑い>、中国と日本、とか<中国語と><{}>, ,	/	/
36	35	NNS1	<うん、の文学><{}>。	/	/
37	34-2	NS1	ヨーロッパの国とか。	/	/
38	36-1	NNS1	うん、でもあの、この分野もあ、あるし、私は、あの、大学時代は日本語勉強しているの、だから今は私の分野は、日本文学と中国の(うん)文学を比較して,,	/	/
39	37	NS1	あ、分かりました。	/	/
40	36-2	NNS1	はい。	/	/
41	38	NNS1	<笑い>あの、ふふふ<笑い>。	/	/
42	39	NS1	ふふふ<笑い>、なんか、あの、さっき聞いたんですけど、最近バイト始めるって。	/	/
43	40	NNS1	バイト。	/	/
44	41	NS1	バイト、アルバイト。	/	/
45	42	NNS1	はい。	/	/
46	43	NS1	何やるんですか?。	/	/
47	44	NNS1	私今あの、焼肉[↑]店、を【【。	/	/
48	45	NS1	】】えっ、そこの、何でしたっけ、牛福?。	/	/
49	46-1	NNS1	いー、あの、稲毛の,,	/	/
50	47	NS1	稲毛[↑]。	/	/
51	46-2	NNS1	あの、大將軍。	/	/
52	48	NS1	だしよ、あー、しっ、大將軍ね<笑い>(<笑い>)、大將軍、行ったことないな。	/	/
53	49	NNS1	そっか。	/	/
54	50	NS1	近いですか、駅から?。	/	/
55	51	NNS1	うんうん、私は、寮に住んでいるので、私の寮から、あの、稲毛の大將軍の、や、焼肉[↑](うん)、の店に行くと、あの、時間が、あの、あまりかか、かからない。	/	/
56	52	NS1	あー、そっか、なるほど。	/	/
57	53	NS1	僕も最近バイト始めたんですよ。	yo2	/
58	54	NNS1	あー、<なんの><{}>?。	/	/
59	55	NS1	<あの、稲毛の><{}>、ペリエって分かります?。	/	/
60	56	NNS1	<笑い>。	/	/
61	57	NS1	駅の中に、あの、ユニクロとかあるの知りませんか?。	/	/
62	58	NNS1	ユニク?。	/	/
63	59	NS1	ユニクロ。	/	/
64	60	NNS1	ユニクロ。	/	/
65	61	NS1	服、服屋さん。	/	/

66	62	NNS1	ああ。	/	/
67	63	NS1	本屋とか(ああ)、く、靴下が(あっああ)売ってる…。	/	/
68	64	NNS1	知ります。	/	/
69	65	NS1	あそこのユニクロ####から働きます。	/	/
70	66	NNS1	ああ、あの、稲毛の、あの、駅のところの。	/	/
71	67	NS1	そうです、そうです、そうです、駅のどこにあるやつです。	/	/
72	68	NNS1	私も行ったころ、ことがあります。	/	/
73	69	NS1	あ、本当ですか。	/	/
74	70	NNS1	はい、中国も、ユニクが有名です。	/	/
75	71	NS1	おお(く笑い)、なんか、に、日本で買うほうが自分の国で買うより、みんな安いって言って、留学生とかよく(はい)、使ってますよ、ユニクロ。	yo3	/
76	72	NS1	みんな、ユニクロで服買ってますよ。	yo3	/
77	73	NNS1	そうです、あの一、若い(うん)、の、ひ、皆の服ですの。	/	/
78	74	NS1	ああ、中国の人も、中国ってけっこう、そんなユニクロあるんですか?。	/	/
79	75	NNS1	うん、ユニクあるです。	/	/
80	76	NNS1	そして、うん、そして、あるニュースがあって、ユニクが有名、もっと有名になる。	/	/
81	77	NNS1	でも、もともとユニクが(はい)、中国に有名です。	/	/
82	78	NS1	えっ、ニュースって何ですか?。	/	/
83	79	NNS1	うー、あの、よくないニュースです。	/	/
84	80	NS1	良くないニュース(く笑い)。	/	/
85	81	NNS1	(く笑い)でも、あの、これは中国の人の、悪いかもしれません。	/	/
86	82	NNS1	だから、このニュース、うん、うん、良くないですの(うん)、あの、省略します(く笑い)。	/	/
87	83	NS1	(く笑い)。	/	/
88	84	NNS1	でも、これ、これはもっと有名になる、ユニク。	/	/
89	85	NS1	ええ。	/	/
90	86	NNS1	はい。	/	/
91	87	NS1	まあ、その事件で(く笑い)、ユニクロがもっと有名になった(く笑い)。	/	/
92	88	NNS1	ええ、中国は、今の、いつも悪くニュースがもっと、この、あの、さん、産品とか有名になる、のはいつも良くないニュース(く笑い)(く笑い)、通じて(ええ)のような感じがあるみたいな。	/	/
93	89	NS1	あっ、なるほど。	/	/
94	90	NNS1	はい。	/	/
95	91	NS1	ええっ。	/	/
96	92	NNS1	でも、ユニクは、うん、このニュース、お、が、あった前に、私たちいつもユニク、	/	/

			もう行くことです。		
97	93	NS1	ああ。	/	/
98	94	NNS1	はい。	/	/
99	95	NS1	ちなみに中国どっち出身ですか?。	/	/
100	96	NNS1	私?。	/	/
101	97	NS1	はい。	/	/
102	98	NNS1	湖南省。	/	/
103	99	NS1	湖南省?。	/	/
104	100	NNS1	はい。	/	/
105	101	NS1	って、どこらへんですか?、すみません<笑い>。	/	/
106	102	NNS1	中国の、真ん中の、ちょっと南の。	/	/
107	103	NS1	じゃ、海沿いではなくて、ちょっと、こう入ったとこ?、海、あります、湖南省って?。	/	/
108	104	NNS1	No、ありません。	/	/
109	105	NS1	ああ、ない。	/	/
110	106	NNS1	はい、こう、こうしゅうしょう、知ってますか?。	/	/
111	107	NS1	こうしゅうしょう、分かんない<笑い>。	/	/
112	108	NNS1	江西省、知ってますか?。	/	/
113	109	NS1	僕知ってんのは四川省とか。	/	/
114	110	NNS1	ああ、四川省の隣。	/	/
115	111	NS1	あ、じゃ、けっこう中ですよね(うん)。	yone1	/
116	112	NS1	内陸って言うんですか?。	/	/
117	113	NNS1	はい、四川省の隣は、なんだっけ、けしゅう省[↑](けしゅうしょう)、だから、湖南省は、四川省、に、近い、です。	/	/
118	114	NS1	ああ、<なるほど、近い、近い><く>。	/	/
119	115	NNS1	<中国の内陸><く>[↑]。	/	/
120	116	NS1	うん、うん。	/	/
121	117	NNS1	はい。	/	/
122	118	NS1	《少し間》僕埼玉出身なんですけど。	/	/
123	119	NNS1	うん[↑]。	/	/
124	120	NS1	埼玉、埼玉って知ってます?。	/	/
125	121	NNS1	埼玉、知らない。	/	/
126	122	NS1	えっ、埼玉自体は、知ってます?。	/	/
127	123	NNS1	<さいたま><く>?。	/	/
128	124	NS1	<埼玉県><く>。	/	/

129	125	NNS1	か【【。	/	/
130	126	NS1	】】東京、東京の(はい)、上にある(ああ)、県なんですけど、知ってます?、埼玉県って。	/	/
131	127	NNS1	もし、漢字がわか、か、か、書けば、私、知るかもしれません。	/	/
132	128	NS1	これありかな。	/	/
133	129	NS1	《少し間》まあ、いいか、普通に会話してくださいって言われたんで、埼玉県、これです(スマートフォンで知らばて見せる)。	/	/
134	130	NNS1	ああ、お、一度行きます。	/	/
135	131	NS1	ああ、行ったことあります<笑い>?。	/	/
136	132-1	NNS1	<笑い>、あの、もみ,,	/	/
137	133	NS1	<笑い>僕、そこ出身なんですよ。	yo3	/
138	132-2	NNS1	紅葉温泉。	/	/
139	134	NS1	紅葉温泉?。	/	/
140	135-1	NNS1	あの、はい、この、ここ、あの、<そこに>{<, ,	/	/
141	136	NS1	<埼玉県>{>}。	/	/
142	135-2	NNS1	はい、そこに行きました。	/	/
143	137	NS1	紅葉温泉、俺知らね<笑い>。	/	/
144	138	NNS1	<笑い>あの、甲府。	/	/
145	139	NS1	甲府[↑]。	/	/
146	140	NNS1	甲府。	/	/
147	141	NS1	いや、甲府は、山梨県です。	/	/
148	142	NNS1	うう、甲府(うん)あの、うーん、途中です。	/	/
149	143	NNS1	あの、私甲府通して、そして、うん、この<笑い>、さい、さきやま[↑]。	/	/
150	144	NS1	埼玉県。	/	/
151	145	NNS1	埼玉県、温泉は確かに埼玉県に<笑い>。	/	/
152	146	NS1	あっそうなんだ。	/	/
153	147	NNS1	でも、私、いつも甲府、甲府、あのー、興味があります(うん)。	/	/
154	148	NNS1	あの、あの、ある日本のドラマ、あの、あの、見ます、あの。	/	/
155	149	NS1	あ、撮影が…。	/	/
156	150	NNS1	撮影[↑]。	/	/
157	151	NS1	ドラマ[↑]。	/	/
158	152	NNS1	ドラマ、ドラマ。	/	/
159	153	NS1	ドラマ。	/	/
160	154	NNS1	あの、花子とあに、あに、というドラマをみて、甲府が、興味が<あるの>{<}	/	/
161	155	NS1	<あ、花子とアン>{>}。	/	/

162	156	NNS1	花子とアン。	/	/
163	157	NS1	うんうん。	/	/
164	158	NNS1	はい、だから、あの、私、ここから<笑い>、温泉に行く途中は、甲府をみて、あの、 すごく興味があつて。	/	/
165	159	NS1	あつ、古墳[↑]。	/	/
166	160	NNS1	こふ、はい。	/	/
167	161	NS1	あつ、古墳か、あつ、分かりました。	/	/
168	162	NNS1	こふん、こふん、こふん。	/	/
169	163	NS1	こうふって聞こえました、古墳ですね。	ne1	/
170	164	NNS1	こふん。	/	/
171	165	NS1	古墳、埼玉県有名ですね(ああ)。	ne3	/
172	166	NS1	古墳、ああ、なんで、良かった、何の話、今分かりました。	/	/
173	167	NS1	あの、古いお墓ですよ。	yone3	/
174	168	NNS1	お墓[↑]。	/	/
175	169	NS1	知ってます?古墳ってなんだか。	/	/
176	170	NS1	この、こういうやつですよ。	yone3	/
177	171	NNS1	ああ。	/	/
178	172	NS1	あれ、古墳、古墳、して、分かんないですか?。	/	/
179	173	NNS1	《少し間》地名?。	/	/
180	174	NS1	うーん。	/	/
181	175	NNS1	山の形?こふ?。	/	/
182	176	NS1	あれ、ごめん、花子とアン見たことないんですけど。	/	/
183	177	NNS1	ああ、私、み、見たことがあります。	/	/
184	178	NS1	こ、こふん?。	/	/
185	179	NNS1	こ(平仮名を書いてみせる)。	/	/
186	180	NS1	こ。	/	/
187	181	NNS1	ふ。	/	/
188	182	NS1	なんですか、それ、こふ。	/	/
189	183	NNS1	こふ、かふ、こふ、ふ。	/	/
190	184	NS1	漢字分かります?。	/	/
191	185	NNS1	か、漢字分かります。	/	/
192	186	NS1	これですか(書いて見せる)?。	/	/
193	187	NNS1	No、いいえ<笑い>。	/	/
194	188	NS1	<笑い>違った。	/	/
195	189	NNS1	こふん、いつも。	/	/

196	190	NS1	えっ。	/	/
197	191	NNS1	(スマートフォンで知らべる)この?。	/	/
198	192	NS1	ああ、じゃ、山梨の甲府ですね。	ne1	/
199	193	NNS1	やまはなし[↑]。	/	/
200	194	NS1	やまなし、山梨県。	/	/
201	195	NNS1	山梨県、でも、隣の県ですか?。	/	/
202	196	NS1	埼玉と?どこと?。	/	/
203	197	NNS1	この、あの…。	/	/
204	198	NS1	あの、甲府は(はい)、町です。	/	/
205	199	NNS1	まち?。	/	/
206	200	NS1	City、甲府 City。	/	/
207	201	NNS1	ああ。	/	/
208	202	NS1	で、山梨は、山梨 Prefecture なんですよ。	yo3	/
209	203	NNS1	ああ。	/	/
210	204	NS1	だから、山梨県、甲府。	/	/
211	205	NNS1	ああ、そっか。	/	/
212	206	NS1	そうです<笑い>。	/	/
213	207	NNS1	<笑い>。	/	/
214	208	NS1	え、甲府…に、何しに行くんですか?。	/	/
215	209	NNS1	うん[↑]。	/	/
216	210	NS1	甲府に何しに行くんですか?。	/	/
217	211	NNS1	甲府に、い、い、行く、なに。	/	/
218	212	NS1	行く理由、甲府に行く理由。	/	/
219	213	NNS1	ただ、このドラマを見て、甲府に興味があります。	/	/
220	214	NS1	ああ、で、こ【【。	/	/
221	215	NNS1	】】興味があります。	/	/
222	216	NS1	で、何するんですか?甲府で。	/	/
223	217	NNS1	何もしません。	/	/
224	218	NS1	何もしない<笑い>。	/	/
225	219-1	NNS1	行くこともない、ただあの途中で、甲府、甲府という(うん)地名が、みた、,	/	/
226	220	NS1	あ、だけ?。	/	/
227	219-2	NNS1	はい。	/	/
228	221	NS1	ああ、なるほど。	/	/
229	222	NNS1	だから、私はいつも甲府は、あの、あの、この温泉の、温泉と近いと思ったみたい。	/	/
230	223	NNS1	でもこれは違う、違いますよね。	中間	d

231	224	NNS1	遠いですか?。	/	/
232	225	NS1	埼玉と?。	/	/
233	226	NNS1	近いですか?。	/	/
234	227	NS1	うん、遠い。	/	/
235	228	NNS1	ああ、遠いですか?。	/	/
236	229	NS1	遠い。	/	/
237	230	NNS1	ああ、いつもこれは、これ、もしかして近いかなど、あの【【。	/	/
238	231	NS1	】】甲府と埼玉は遠いですね。	ne3	/
239	232	NNS1	は一、そっか、じゃー、なるほど。	/	/
240	233	NNS1	でも、先の、こうふん(古墳)があります、ね?こうふん、こうふん[↑]。	中間	d
241	234	NS1	古墳?。	/	/
242	235	NNS1	うん。	/	/
243	236	NS1	は、埼玉県にあります。	/	/
244	237	NNS1	ああ。	/	/
245	238-1	NS1	で、あの古墳、先言った古墳、古い、墳、	/	/
246	239	NNS1	墓[↑]。	/	/
247	238-2	NS1	墓、あれは古いお墓なんですよ。	yo2	/
248	240	NNS1	ああ。	/	/
249	241	NS1	もう何年前かな、本当2千年ぐらい前の(ああ)、王様のお墓なんですよ。	yo2	/
250	242	NNS1	ほー。	/	/
251	243-1	NS1	小学校の頃、い、行かされて、僕、	/	/
252	244	NNS1	ああ。	/	/
253	243-2	NS1	でも、全然おもしろくなくて。	/	/
254	245	NNS1	<笑い>。	/	/
255	246-1	NS1	で、古墳って、なんか、公園みたいなどころに、	/	/
256	247	NNS1	うん。	/	/
257	246-2	NS1	なんか、土がこう掘ってあるだけなんですよ。	yo2	/
258	248	NNS1	はい。	/	/
259	249	NS1	画像あります、みます?古墳の画像、全然おもしろくないですよ。	yo2	/
260	250	NNS1	<笑い>。	/	/
261	251	NS1	僕、小学校の時連れて行かれたんですけど、友達と、ずっとおにごっこしました。	/	/
262	252	NS1	(スマートフォンで動画を探す)ああ、これです。	/	/
263	253	NNS1	ああ、きれいじゃないですか。	/	/
264	254-1	NS1	これ桜が咲いてるから、きれいなんですけど、	/	/
265	255	NNS1	ああ。	/	/

266	254-2	NS1	僕が行った時は、普通の緑の葉っぱで、別に、特にきれいでもないしく笑い。	/	/
267	256	NNS1	でも、この墓の中で、何もないですか？。	/	/
268	257	NS1	たぶん、もう何もないですね、たぶん。	ne3	/
269	258	NNS1	全部、あの、博物館に。	/	/
270	259-1	NS1	とか、あとね、あの一、やっぱ王様だから、中に入ってる人が、あの一、宝石とか、,	/	/
271	260	NNS1	ほうせき。	/	/
272	259-2	NS1	金とか(ああ)、銀とか(ああ)、一緒に埋めたんだけど、全部、こう取られちゃった、,	/	/
273	261	NNS1	ああ。	/	/
274	259-3	NS1	から、たぶん、そんなにね、中身は残ってないですね。	ne3	/
275	262	NNS1	ああ、中国も、あの、この、古墳、湖南省、有名、すごく有名な、あの、古墳があります。	/	/
276	263	NS1	うん。	/	/
277	264-1	NNS1	その中で、2千年前の、あの、女子[↑],,	/	/
278	265	NS1	うん。	/	/
279	264-2	NNS1	あの、おばさんです、で、でも2千年後、この墓を発見、発見されて、そしてこのおばさんのはた[↑]、肌も、あのピカピカ。	/	/
280	266	NS1	ええ、すげー。	/	/
281	267	NNS1	<笑い>。	/	/
282	268	NS1	2千年?。	/	/
283	269	NNS1	そうです、2千年前、こんなに、よ、良い、ほうぞん(保存)されたのは、皆全部びっくりしました。	/	/
284	270	NS1	ああ、2千年で、まだ、お肉あったわけですか?、こうやって。	/	/
285	271	NS1	すげー、なんで?。	/	/
286	272	NNS1	そして、あの、あの、そして、その、2千年前のスープとかも(うん)あります、そして【【。	/	/
287	273	NS1	】】 スープ[↑]。	/	/
288	274	NNS1	そし、はい。	/	/
289	275	NS1	食べ物、スープ?。	/	/
290	276	NNS1	はい、そして(<笑い>)、そのスープの、上の(うん)、あの、蓮根も見えます。	/	/
291	277	NS1	<笑い>。	/	/
292	278	NNS1	<笑い>、すご【【。	/	/
293	279	NS1	】】 2千年<笑い>…。	/	/
294	280	NNS1	<笑い>2千年前、本当ですよ。	yo3	/
295	281	NNS1	すごく有名です。	/	/
296	282	NS1	ええ、えっ、2千年前のスープが、一緒に入ってたの<笑い>?。	/	/

297	283	NNS1	そうです、そして、梅、梅もあります。	/	/
298	284	NNS1	そして、梅の(うん)中の、あの【【。	/	/
299	285	NS1	】】種?梅?。	/	/
300	286	NNS1	梅(うん)、梅も、あの、非常に、よく保存して(はー)、あの、今の梅みたいです。	/	/
301	287	NS1	へー。	/	/
302	288	NNS1	同じです、全部同じ。	/	/
303	289	NS1	梅干しって分かります?。	/	/
304	290	NNS1	うヴェえ[↑]。	/	/
305	291	NS1	梅干し。	/	/
306	292	NNS1	梅干し、あ、<分かります>{<}。	/	/
307	293	NS1	<あんな感じ>{<}?。	/	/
308	294	NNS1	《少し間》。	/	/
309	295	NS1	あんな感じになったの?2千年経って。	/	/
310	296	NNS1	はい。	/	/
311	297	NS1	<笑い>。	/	/
312	298	NNS1	全部、あの、あの、2千年のよ、様子です。	/	/
313	299	NS1	はい。	/	/
314	300	NNS1	そのまま保存して。	/	/
315	301	NS1	へー。	/	/
316	302	NNS1	すごく、でも、そして、あの、このおばあちゃんも(うん)、あの、中国の、第一、 病気、病気、あの、中国の高齢者の病気もあるし、だから、これは研究価値が高い のです。	/	/
317	303	NS1	へー。	/	/
318	304	NNS1	発見第一人、一、初めての人。	/	/
319	305	NS1	なるほど。	/	/
320	306	NNS1	そして、このおばあちゃんはずごく、美人です(笑い)。	/	/
321	307	NS1	見たことありますか?。	/	/
322	308	NNS1	いや、自体、み、見たことあります。	/	/
323	309	NS1	えっ、本物?。	/	/
324	310	NNS1	おばちゃん、はい、おばちゃん。	/	/
325	311	NS1	えっどっかで飾ってあるんですか?。	/	/
326	312	NNS1	あの、墓の中で、でも、あの、ガラ、ガラス、グラス。	/	/
327	313	NS1	あ、じゃ、こう顔がみえるように、こうガラスになって、ガラスで囲まれて。	/	/
328	314	NNS1	はい、全部見えます。	/	/
329	315	NS1	へー。	/	/

330	316	NNS1	本物です。	/	/
331	317	NNS1	そして、でも、あの、今の、おばあちゃんのお腹の内臓とか、全部取りました。	/	/
332	318	NS1	ああ。	/	/
333	319-1	NNS1	だから、あの、ある<笑い>、雑菌[↑]、雑菌ではなくて、布団を(うん)、あの、お腹が、とか引かれて[↑],,	/	/
334	320	NS1	うん。	/	/
335	319-2	NNS1	でも、顔とか、あの、手とか,,	/	/
336	321	NS1	は見える。	/	/
337	319-3	NNS1	足とか見える。	/	/
338	322	NS1	へえ。	/	/
339	323	NNS1	内臓も見えます、でも他は<笑い>。	/	/
340	324	NS1	気持ち悪い、それは<笑い>。	/	/
341	325	NNS1	そして、この、あの、発見されたの、あの、あの、墓の中で、あの、中国の最も薄い、ふくろもあります。	/	/
342	326	NS1	袋?。	/	/
343	327	NNS1	衣服?。	/	/
344	328	NS1	ああああ、薄い?。	/	/
345	329	NNS1	薄い、世界の最も薄いの。	/	/
346	330	NS1	服?。	/	/
347	331	NNS1	あの、はい、あの、この服を、借りて(うん)、あの、この中に入れます。	/	/
348	332	NS1	えっ?。	/	/
349	333	NNS1	あの、この、この、このようなサイズの、この袋…。	/	/
350	334-1	NS1	あっ、あっ、服が,,	/	/
351	335-1	NNS1	うん、服が,,	/	/
352	334-2	NS1	こう、たたむと,,	/	/
353	335-2	NNS1	はい、たたむと,,	/	/
354	334-3	NS1	こんぐらい、すっと入る。	/	/
355	335-3	NNS1	はい、こんなに薄くて、今の技術もこの、衣服を作成できない。	/	/
356	336	NS1	ああ。	/	/
357	337	NNS1	おり、おりません。	/	/
358	338	NS1	じゃ、昔の人がすごく高い技術を持ってて。	/	/
359	339-1	NNS1	あ、そして、あの、その、昔の塗師[↑](うん)、も今の塗師と違うので、今の塗師が喧嘩しましたので(はいはい)、このような衣服がまだ,,	/	/
360	340	NS1	作れない。	/	/
361	339-2	NNS1	はい、作れません。	/	/

362	341	NS1	あ、材料がないん。	/	/
363	342	NNS1	そうです。	/	/
364	343	NS1	なるほど。	/	/
365	344	NNS1	うん。	/	/
366	345	NS1	へー。	/	/
367	346	NNS1	だから、私、高校生の時、この、は、博物館の、あの、ボランティアになりましたので、この知識をよく<笑い>…。	/	/
368	347	NS1	<笑い>そうですね、なんかすごく、すごく、細かいこと知ってるから、なん、なんでそんな細かいこと知ってるかなと思って。	/	/
369	348	NNS1	びっくりしました<笑い>、その時。	/	/
370	349	NS1	働いてたんですね。	ne1	/
371	350	NNS1	はい、もしこん、今度、チャンスがあったら、ぜひ<笑い>。	/	/
372	351	NS1	<笑い>行ってみます、じゃ。	/	/
373	352	NNS1	はい。	/	/
374	353	NS1	僕、まだね、海外行ったことないんですよ。	yo2	/
375	354	NNS1	ああ。	/	/
376	355	NS1	一回も。	/	/
377	356	NS1	日本、出たことなくて。	/	/
378	357	NNS1	ま、まだ若いです。	/	/
379	358	NS1	<笑い>。	/	/
380	359	NNS1	<笑い>、まだ【【。	/	/
381	360	NS1	】】まだ、《少し間》、今 21 です。	/	/
382	361	NNS1	ああ、若いすな。	/	/
383	362	NS1	<笑い>若いすな。	/	/
384	363	NNS1	<笑い>。	/	/
385	364	NS1	どうなんですかね。	ne3	/
386	365-1	NS1	最近一緒にいる人たちが、自分の同級生と、あと、1年生が多いんですけど、	/	/
387	366	NNS1	はい。	/	/
388	365-2	NS1	僕より若い人といつも一緒にいるんで、	/	/
389	367	NNS1	あーうん。	/	/
390	365-3	NS1	ちょっと、俺、ちょっと年取ってきたなあって。	/	/
391	368	NNS1	<笑い>私は、私も、この年齢は、あっ、でも、私は今大学院生なので、いつも、ああ、私、年が取るな、年を取るなあと、思っていたんで。	/	/
392	369	NS1	<笑い>。	/	/
393	370	NNS1	でも、今、私、まだ若いですよ<笑い>。	中間	a

394	371	NNS1	私、何歳と思いますか?。	/	/
395	372	NS1	ああ、じゃ…。	/	/
396	373	NNS1	<笑い>うん、難しい?。	/	/
397	374	NS1	今、院2年生でしたっけ?。	/	/
398	375	NNS1	うん。	/	/
399	376	NS1	大学院、2先生ですよ?。	yone1	/
400	377	NNS1	大学院生、2先生。	/	/
401	378	NS1	と、4年、1年、2年、6だから、24か、5ですか?。	/	/
402	379	NNS1	いや、22歳ですよ。	yo1	/
403	380	NS1	えー、すみません<笑い>。	/	/
404	381	NNS1	いやいやいや<笑い>。	/	/
405	382	NS1	えー、あれ、そんな若いのになれるんですか?。	/	/
406	383-1	NNS1	うん、そうです、中国は、あの、うん、この<笑い>,,	/	/
407	384	NS1	<笑い>すみません。	/	/
408	383-2	NNS1	年齢の人が、大学院生、2年生の人が(はい)、いっぱいいます。	/	/
409	385	NS1	えっ[↑]。	/	/
410	386	NNS1	と思います、いっぱいいると思います。	/	/
411	387	NS1	えっ、22歳で大、修士でしたっけ?。	/	/
412	388	NNS1	もー【【。	/	/
413	389	NS1	】】修士2年生なんですか?。	/	/
414	390	NNS1	そうです。	/	/
415	391	NNS1	修士2年生、でも小学校は…。	/	/

データ 2

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS2	じゃ、さっそく始めましょう[やや笑いながら]。	/	/
2	2	NS2	あ、はい。	/	/
3	3	NNS2	じゃ、あの、取りあえず、お、お名前は?。	/	/
4	4	NS2	えーと、NS8 です。	/	/
5	5	NNS2	えっと、私は、「NNS2 の名前」と言います。	/	/
6	6	NS2	<NNS2 さん>{<}。	/	/
7	7	NNS2	<あの、>{<}、「NNS2 の名前」は、あの、えっと、本名は「NNS2 の本名」ですけど、その、えっと、、苗字はちょっと長いですけど、あのー、[NNS2 の苗字]と言います =。	/	/
8	8-1	NNS2	=<あのー>{<},,	/	/
9	9	NS2	<はい>{<}。	/	/
10	8-2	NNS2	「NNS2 の名前」とは日本語では、あのー、えっと、その、しゅっ、えーと、ああ、その一頭が良いという意味で(うーん)、その、えっと、賢者、ですか(うん)、で、あのー、後は私の、えっと、ええ、私の苗字は、その、人を、その、幸せにする香りってという意味が、《少し間》はい。	/	/
11	10	NS2	えっとそれはタイ語でそういう意味が、<あるんですか>{<}?。	/	/
12	11	NNS2	<はい>{<}、タイ語でそういう意味です。	/	/
13	12	NS2	うーん、<そうなんですな>{<}。	ne1	/
14	13	NNS2	<で、その、日本語で>{<}、あの、日本、日本語、日本語の、日本語の意味にすると、あの、あのさき言った通り、えーと、人を、あのー幸せにする香り(うん)、という意味です、はい。	/	/
15	14	NS2	そうなんですか。	/	/
16	15	NNS2	ふふふ。	/	/
17	16	NS2	へー。	/	/
18	17	NNS2	でもこれは、か、書く時はちょっとその一長すぎて、なんか、あのー、えっと書く部分が足りないとか(うん)、そういう場合もありますので。	/	/
19	18	NS2	うーん[→]。	/	/
20	19	NNS2	はい。	/	/
21	20	NS2	あ、タイの苗字はそういうふうに、なんか、こう意味が付いてることが多いんですか?。	/	/
22	21	NNS2	そうですね。	ne3	/
23	22	NS2	うーん、そう。	/	/

24	23	NNS2	あとは、その一、その、名前の場合は(うん)、なんか、ひ、ひ、人によって意味、あの一意味がないとか、たぶんそういう場合もあります。	/	/
25	24	NS2	うーん、そうなんですか。	/	/
26	25	NNS2	はい。	/	/
27	26	NS2	ふーん。	/	/
28	27-1	NNS2	《沈黙1秒》〈えーと〉{<,},	/	/
29	28	NS2	〈えっ〉{>}。	/	/
30	27-2	NNS2	じゃその,,	/	/
31	29	NS2	はい。	/	/
32	27-3	NNS2	えーと、おしゅ、あの一趣味とかは?。	/	/
33	30	NS2	趣味ですか。	/	/
34	31	NNS2	はい。	/	/
35	32	NS2	うーん、趣味、うーん、趣味、趣味、そうですね、趣味、なんだろう、あまああ、でも、どこか出かけたとか(うーん)、旅行するのは(うーん)好きです。	/	/
36	33	NNS2	じゃ、その、えーと(うん)、タイに、あの一行ったことがありますか?。	/	/
37	34	NS2	タイには行ったことないです。	/	/
38	35	NNS2	うーん。	/	/
39	36	NS2	あっても行ってみたいです。	/	/
40	37	NNS2	じゃ、その、あの、あの、テレビとかで(うん)、なんか、なんかあの、あの、テレビとかでみて、タイ、なんか、タイという国に対するイメージは、なんかどんなイメージですか?。	/	/
41	38	NS2	うーーん、(ふふふ)なんかテレビで、テレビで、あんまりタイの、なんかテレビでみたイメージがあまりない、ですけど、でもなんか、私の友達はなんか(うん)、タイ、の料理はすごいおいしいから、(ふーん)なんかタイに行きたいって言って、なんかちょっと一緒に行こうという話をして、(ふーん)だからなんかタイの料理とか、そういうのに興味があります(へえ)、なんかおいしい。	/	/
42	39	NNS2	えー、そー、と、タイの料理ですか。	/	/
43	40	NS2	ふん。	/	/
44	41	NNS2	じゃそのトムヤンクンとか、(うん)、それはなんか、えっと目にしたことがありますか?。	/	/
45	42	NS2	うん、聞いたことあります=。	/	/
46	43	NS2	=トムヤンクンはまあ日本でも食べれるけど(ふふふ)、でもそれはタイの料理じゃないかもしれないけど、まあ、まあまあ。	/	/
47	44	NNS2	で、あのとむ、とむや、トムヤンクンって、なんか、ま、その、うーんまあ、はっきりと言うと、ま、そのタイの、えっと、ま、代表的な料理《少し間》、みたいな	ne3	/

			感じですが、あの一みたいな感じですね。		
48	45	NS2	ふんふん[声が小さい]。	/	/
49	46	NNS2	だからその、なんかトムヤンクンと言ったら、たぶん、なんか知らない人が、ちょっと、そのなんか、あの、す、少なくともだと思いますが。	/	/
50	47	NS2	うんと、えと、NNS2 さん?。	/	/
51	48	NNS2	はい。	/	/
52	49	NS2	は、えーとタイにいた時は、そのトムヤンクンをよく食べたりするんですか?。	/	/
53	50	NNS2	えーと、そうですね。	ne3	/
54	51	NS2	はは。	/	/
55	52	NNS2	でも、あー【【。	/	/
56	53	NS2	】タイの人はなんか、こう普通に、毎日食べる【【。	/	/
57	54	NNS2	】いやいや毎日食べるくっていうわけじゃないんですけど>{<。	/	/
58	55	NS2	くっていうわけではないけど>{<、なんか。	/	/
59	56	NNS2	なんか、たぶん、確かに昔は(うん)、そーよく食べてたんですけど、今、でも、最近はね、あの一、なんか、あの、その、値段で、値段も上がってきて(うん)、なんか、例えば、まあ、えっと一個は、その###60 バースぐらいですね。	ne3	/
60	57	NS2	60 バースくぐらい}<。	/	/
61	58	NNS2	<で、それは}<、日本、日本のお金に換算すると(うん)、えーと確か…えーと 400 円ぐらいですかね。	ne3	/
62	59	NS2	ふーん。	/	/
63	60	NNS2	でもそれはまあ、まあ、日本、日本ではけっこう安いかな、ふふ。	/	/
64	61	NS2	そうですね[やや笑いながら]、ふーん。	ne5	/
65	62	NS2	《少し間》タイの料理は安いですか?。	/	/
66	63	NNS2	安いですね[笑いながら]。	ne3	e1
67	64	NS2	日本は高いですか[笑いながら]?。	/	/
68	65	NNS2	そうですね、あの一日本にきてから、あの一日本に来てから(うん)、なんかなんでも、なんかちょっと高いんじゃないかって。	/	/
69	66	NS2	うーん、日本に来てからなんか自分で料理しますか、それともなんか食べに行ったりしますか?。	/	/
70	67	NNS2	そうですね、あの一ときどき、ですね。	ne3	e1
71	68	NS2	ときどき自分で作りますか?。	/	/
72	69	NNS2	はい。	/	/
73	70	NS2	それは、自分でタイの料理を作るんですか?。	/	/
74	71	NNS2	まあ、その、たまには、あの一、たまにはその一###、タイ、###料理とか、えっとそれはあ m の一気分転換によって。	/	/

75	72	NS2	うん、なるほどなるほど。	/	/
76	73	NNS2	なんかその日本に、あの一日本、日本に来る前には(うん)、なんかお母さんに、日本、日本に来る前にちゃんとタイ料理を食べて、食べなさない(うんうん)と言われて(はは)、なんかそうすると日本にいる時は、なんか、その、その、タイ料理の味を、忘れない、わす、忘れないかもしれないって。	/	/
77	74	NS2	うんうんうん、なるほどなるほど、うーん。	/	/
78	75	NS2	食べ物は何が好きなんですか、なんか?。	/	/
79	76	NNS2	えーと、そうですね、あの《少し間》、これはその一、日本、あのえっと日本料理の中で、何か一番、一番好きってということですか?。	/	/
80	77	NS2	うーん…。	/	/
81	78	NNS2	それでも、何でもいいってということ?。	/	/
82	79	NS2	うん、なんでも、なんか自分のタイで食べれる料理<でもいいし、なんか>{<}	/	/
83	80	NNS2	<えーと>{>}そうも、あれですね。	/	/
84	81-1	NNS2	あの一、その好きなのは、えーそれはなんて言うんだらう《少し間》、あの一そうです###、えーとあのースパゲティとかも、なんかかぼなら[↑],,	/	/
85	82	NS2	カルボナーラ。	/	/
86	81-2	NNS2	はい、それとも、そういうのが好きで、あと、あとは、なんかチーズが、なんかいっぱい入ってるく《少し間》なんか>{<}	/	/
87	83	NS2	<うん、ああ>{>}、チーズが好きなんですね。	ne1	/
88	84	NNS2	はい。	/	/
89	85	NS2	うーん、えっ[↑]タイの料理は、えっタイ、でもそういうチーズが入ってる料理、とか食べるんですか?。	/	/
90	86	NNS2	えっと、[息を吸う音]あの一タイに、たの、タイにいた時、は、そうですね、あの、まあ、でも、ああ、そのタイ、タイにいた時は、なんか毎日食べるとお母さんに、なんか、あの、あの、ちかれちちやう[叱られるの意味]、ちかれちちやうので、ははは(ははは)、だから時々だけ。	/	/
91	87	NS2	ふーん、ああ、そうですか。	/	/
92	88	NNS2	はい。	/	/
93	89	NS2	うーん。	/	/
94	90-1	NNS2	うーん、えーと,,	/	/
95	91	NS2	はい。	/	/
96	90-2	NNS2	まあ、その…《沈黙》秒、でもあの一女性で、なんか、あの一チーズが、なんか好き、あの一好きって、あの一、聞いたこと、聞いたことがあるんですけど、あの一チーズが好きですか?。	/	/
97	92	NS2	うーん、チーズ、まあ、好き…です、うん、でもなんか別になんか女性のほうが男	/	/

			性よりチーズが好きっていうイメージはあまりなくて(ああ)、なんか私の、なんか男性の友達でも、すごいチーズ、私よりもチーズが好き男性…(ほー)がいるし、だから、あまり、その女性のほうがチーズが好きっていうイメージはあまりない>{<}。		
98	93-1	NNS2	<なんかタイでも>{>}そういう、なんかあの一チーズが、チーズが特徴[↑]、みたいな店があって,,	/	/
99	94	NS2	うん。	/	/
100	93-2	NNS2	で、その、その店のなんか、えっと[NNS8の携帯が鳴る]、あっ。	/	/
101	95	NS2	あ、大丈夫ですか。	/	/
102	96	NNS2	誰だよ[小さい声で言って、携帯をしまる]。	/	/
103	97	NNS2	なんか、その、その店の、なんかお客さんはだいたいその女性ばかりで(うん)、で、だからその、たぶん女性が、なんか女性のほうがチーズが、なんか好きじゃないかなあとって、ふふ。	/	/
104	98	NS2	うーん、まあ、そうかもくれないね>{<}。	ne3	/
105	99-1	NNS2	<まあ、たぶんそれはひ>{>}、人のなんか好みによって,,	/	/
106	100	NS2	うん、<まあまあ>{<}。	/	/
107	99-2	NNS2	<その人の>{>}、好みかもしれないですね。	yone2	/
108	101	NS2	そうですね。	ne5	/
109	102	NNS2	はい。	/	/
110	103	NS2	うーん。	/	/
111	104	NNS2	うーん。	/	/
112	105	NS2	なんか日本…あ、じゃー、なんか日本の料理でこれが好きみたいなのありますか?。	/	/
113	106	NNS2	えーと、そうですね、あの一、あ一、まあ、その、たぶん一番の、一番好きとか(うん)、なんかそういうの、あの一そういうのはないんですけど(うん)、なんかなんか普通に好き、なんか、っていうのが例えばラーメンとか。	/	/
114	107	NS2	ラーメン[↑]。	/	/
115	108	NNS2	あとは、その一、えっとお寿司とか。	/	/
116	109	NS2	うんうん。	/	/
117	110	NNS2	だいたいそれぐらいですね、ふふふ(うん)、はい。	ne3	/
118	111	NS2	なんか、うーん、あんまり日本のラーメンとかはタイではなんかタイでは食べれないんじゃないですか[笑いながら]、<どうですか>{<}?。	/	/
119	112	NNS2	<ああ、そうですね>{>}、でもタイには、なんか日本のラーメンとか(うん)、なんかそういう店が、なんか多くあるんですよ。	yo2	/
120	113	NS2	ああ、そうなんですか。	/	/
121	114	NNS2	でも、その一、なんというか、その、味は、味ですね。	ne3	f

122	115	NS2	うん。	/	/
123	116	NNS2	なんか、その、まあ、やっぱり本物にかわないですよね[「かなわない」の間違い]。	yone2	/
124	117	NS2	ああ、あんまり変わらないですか?。	/	/
125	118	NNS2	なんか、なんか本物の味に、そのえっと、なんかかなわない[↑]。	/	/
126	119	NS2	ああ、日本のラーメンのほうがおいしいですか?、ふーん。	/	/
127	120	NNS2	ああたぶんそれは、そのまあ、その、そのタイ人の(うん)、なんか、その、えっと …《少し間》たぶんそれはタイ人のなんか好みに(うん)、それをなんか合わせる(うんうんうん)、 かもしれないと思って《少し間》、そうですね。	ne3	e1
128	121	NS2	でも NNS8 さんは日本のラーメンのほうが好きですか?。	/	/
129	122	NNS2	そうですね、<ふふふ>{<}。	ne3	e1
130	123	NS2	<へへへ>{<}、この辺に住んでますか?。	/	/
131	124	NNS2	その…稲毛、のあたりですけど。	/	/
132	125	NS2	ああ、稲毛に住んでるんですか。	/	/
133	126	NNS2	はい。	/	/
134	127	NS2	なんか稲毛とか、西千葉なんかたくさんラーメン屋さんが《少し間》、ありますか よね>{<}。	/	/
135	128	NNS2	<そうで>{<}すね。	/	/
136	129	NS2	なんか、好きなラーメン屋さんありますか?。	/	/
137	130-1	NNS2	ああ、###の、えっと、私の家の近くに(うん)、なんか北海道ラーメンっていう、 その、北海道ラーメンっていう店があって、,	/	/
138	131	NS2	北海道ラーメン[↑], うーん。	/	/
139	130-2	NNS2	でも、そ、その、なんか、そっちの店ではなんか1回しか[笑いながら], 食べな かったんですけど。	/	/
140	132	NS2	あ、そう【【。	/	/
141	133	NNS2	【】なんか塩ラーメンとか(うーん)、一回だけ[笑いながら]。	/	/
142	134	NS2	稲毛の駅の近くですか?。	/	/
143	135	NNS2	はい。	/	/
144	136	NS2	ヒムロ[↑]かな。	/	/
145	137	NNS2	<ああ…>{<}。	/	/
146	138	NS2	<ヒムロ>{<}。	/	/
147	139	NNS2	それはよく分かりませんね[笑いながら]。	ne3	e1
148	140	NS2	分かりませんか[笑いながら]。	/	/
149	141	NS2	<でもその>{<}【【。	/	/
150	142	NNS2	【】<まあ、その>{<}、なんか好き、好きって言うても(うん)、なんかその、憧れ だっという、あのーレベルじゃないから。	/	/

151	143	NS2	うん、ふふ、ああ、まあまあ、ちょっと好きなラーメン《少し間》、っていう感じですか、ふふふ？。	/	/
152	144	NNS2	まあ、そうですね。	/	/
153	145	NS2	うーん、そうですっか、あー、あと NNS8 さんの趣味は何ですか？。	/	/
154	146	NNS2	ああ、えっと趣味は、そのだいたい、そのゲームとか[笑いながら](うん)、その一ときどきその一、えっと本を読むとき、読むこととか、まあいろいろですね。	ne3	e1
155	147	NS2	うーん。	/	/
156	148	NS2	どんなゲームをするんですか？。	/	/
157	149	NNS2	ああ、そうですね、あの一、だいたい、その、なんか男っぽいゲーム[笑いながら]、ふふふ。	/	/
158	150	NNS2	<まあ、その、なんか>{<}。	/	/
159	151	NS2	<うーん、テレビゲーム>{>}？。	/	/
160	152	NNS2	いや、その一、なんか《少し間》、えっとなんか携帯ゲーム[↑]。	/	/
161	153	NS2	うんうん、スマホ。	/	/
162	154	NNS2	あとは、なんかその、PSP とか(うんうん)、PSVITA とか(うんうん)、だいたいそういう、そういうのが多いです。	/	/
163	155	NS2	うーん《少し間》、一日にどれぐらいするんですか[笑いながら]。	/	/
164	156	NNS2	はは、ああ、難しい質問ですね、これ。	ne2	/
165	157	NS2	ははは。	/	/
166	158	NNS2	そうですね、3時間ぐらいですね。	ne3	e1
167	159	NS2	3時間ぐらいですか。	/	/
168	160	NNS2	ああそれは、《少し間》、なんかダメですよ、ははは。	yone2	/
169	161	NS2	ははは、いやいや、ははは。	/	/
170	162	NNS2	ダメかな。	/	/
171	163	NS2	まあ、でもでも、でも寝る時とかにして、なんか、っていう感じですか、ははは。	/	/
172	164	NNS2	うーん、あの、###は、なんかあの一テレビ、テレビとかよくみますか？。	/	/
173	165	NS2	テレビは、うーん、なんか、テレビ好きなんですけど(はい)、でも今寮に住んでて、テレビがなくて、だからテレビ(うーん)あんま見れないんですけど。	/	/
174	166	NS2	でもあの見るのは好きです。	/	/
175	167	NNS2	じゃそのだいたい、そのネットで、とか。	/	/
176	168	NS2	うーん、だからあんまり最近のテレビが分からないんですけど[笑いながら]、うん。	/	/
177	169	NS2	テレビよく見ますか？。	/	/
178	170	NNS2	ああ、えっと、そのうちの部屋にはテレビがないので。	/	/
179	171	NS2	ああ。	/	/
180	172	NNS2	はい。	/	/

181	173	NNS2	《少し間》だからその一、今のなんか、なんか経済、日本の経済の情報とかは、まったく知らなくて[笑いながら]。	/	/
182	174	NS2	うんうん、《少し間》そうですね、なんか。	ne5	/
183	175	NNS2	はい。	/	/
184	176	NNS2	《少し間》ああ、それはよくないですね[笑いながら]。	ne2	/
185	177	NS2	ははは、そうですね。	ne5	/
186	178	NNS2	外の世界の、あのあの、外の世界は今どうやってるか分からないのが《少し間》(うん)、ちょっとよくない[笑いながら]。	/	/
187	179	NS2	そうですね[笑いながら]、私もそう思います。	/	/
188	180	NS2	なんかたまに友達とかになんか、なんか最近だったら、なんか、なんかバスの、事故論(ああそうですね)に走るとか、全然知らなくて、なんか[笑いながら]、「えっ知らないの」みたいな[笑いながら]、ちょっと。	/	/
189	181	NNS2	まあ、そうなりますね、ふふふ。	ne5	/
190	182	NS2	でもなんか知っといたほうがいいですよ、へへ。	yone2	/
191	183	NNS2	うん、《少し間》、えーと、じゃその一、《少し間》、えーと、《少し間》、なんか(うん)、その、なんか日本の、あの、なんか観光地の中で、何か、なんか一番好きなどころはありますか?。	/	/
192	184	NS2	日本の観光地の中で[↑]、好きなどころ[小さな声で]。	/	/
193	185	NNS2	はい。	/	/
194	186	NS2	うーん[↓]、そうですね、私は、そう、なんか、うーん、まあ、食べるのが好きなので、へへ(ははは)、北海道とか(ああ)、そうですね、なんか、まだ2回し…、あっ3回かな、3回しか行ったことないんですけど、でもすごく、なんかまあ、寒いけど、本当になんかおいしいものいっぱいあるし、それことラーメンとか、お寿司もおいしいし、あとなんか、ま、牛乳とかそういうミルクみたいな(うーん)、す、す、あまいものが好きだから(はーそう)、あまいものもおいしいし、チーズもおいしいし(うーん)、あっそう、北海道のチーズすごくおいしい、北海道のチーズケーキ(へえ)、くめっちゃめっちゃおいしいですよ、ふふふ<{}>。	yo3	/
195	187	NNS2	<なんか>{}、えっと、なんか、その、確か、北海道では(うん)、なんかある店が、建物が有名[↑](うん)、なんかそのケーキ屋。	/	/
196	188	NS2	うんうん、あ、ルタオ。	/	/
197	189	NNS2	あそうです、ルタオ、<そうですね>{}。	ne5	/
198	190	NS2	<チーズ>{}、本当においしいですよ[笑いながら]。	yo3	/
199	191-1	NNS2	ああそうですね、なんか私(うん)、と、でもタイにいた時、その、ルタオっていう会社と(うん)、一緒になんか、た、働いたことがあって、	/	/
200	192	NS2	ああそうなんですか。	/	/

201	191-2	NNS2	なんか、なんていうか、その…、私の会社は(うん)、なんていうか、でも、なんか、その…えっと###探してみたいな会社で(うん)、で、その…ある日その、なんか、イベントは、なんかイベントとかおこっ、起こって、その、なんかルタオっていう会社も一緒になんか参加した、参加してくれて、なんか###、ああるタオって、なんか北海道にあるって、いうのきき、聞いたんですけど。	/	/
202	193	NS2	うん。	/	/
203	194	NNS2	《少し間》でもおいしいですね、ふふふ。	ne4	/
204	195	NS2	そう、すごくおいしい。	/	/
205	196	NNS2	なんか一個だけ(うん)、その、あの、たべせ、あの、なんか、1個だけもらう、もらいましたけど。	/	/
206	197	NS2	うん[調査室に人が入ったため、会話が一時中断する]。	/	/
207	198	NNS2	ふふふ。	/	/
208	199	NS2	ははは。	/	/
209	200	NNS2	じゃ、あの、《少し間》、また別の話なんですけど、あのー(うん)、じゃ、そのー、りんつ、ディズニーランドとか、その、えっと富士急とか(うん)、あとはU、あの、USJとか(うんうん)、なんか、この三つは、あの、いつ、行ったことがあります?。	/	/
210	201	NS2	うん[↑]、えっとディズニーランドと?。	/	/
211	202	NNS2	えっと、富士急。	/	/
212	203	NS2	富士急と、USJ[↑]?。	/	/
213	204	NNS2	えっと、はい。	/	/
214	205	NS2	ああ、と、USJは行ったことがないです。	/	/
215	206	NS2	でも富士急ハイランドと、ディズニー、は行ったことがあります。	/	/
216	207	NNS2	そのー、ディズニーランドと、ディズニ、ディズニーシーどっちですか?。	/	/
217	208	NNS2	<ディズニーランドですか>{<}?。	/	/
218	209	NS2	<えー、ディズニーランド>{>}と、ディズニーシー、うーん、まあ、なんかどっちのほうが好き、うーん、そうですね、なんか、ま、ディズニーシーのほうが、なんか景色がきれいって感じ。	/	/
219	210	NNS2	おお。	/	/
220	211-1	NS2	なんか海が見えて、こうなんか、町もこう、なんかちょっとあんまり日本ぼくない、	/	/
221	212	NNS2	日本ぼくない[笑いながら]。	/	/
222	211-2	NS2	感じの町、というか風景という感じで、なんかあのー、ディズニーシーに行ったら、こう、なんかディズニーランドとか、なんかディズニーはなんか夢の国みたいな感じで[笑いながら](はは)、なんか日本人は言うけど、なんかディズニーシーのほうが、まあ、ディズニーランドとディズニーシー比べたら、ディズニーシーのほうが夢の国っていう感じ、	/	/

223	213	NNS2	おお。	/	/
224	211-3	NS2	がします。	/	/
225	214	NS2	でもまあ(なるほど)、ディズニーランドは、なんか、乗り物、あの一、なんか、行ったことありますか、スプラッシュマウンテンとか。	/	/
226	215	NNS2	えっと、あの、あの、行ったことあるのは、ディズニーシーのほうだけ。	/	/
227	216	NS2	ああなるほどなるほど。	/	/
228	217	NNS2	なんか、その、その、ディズニーランドは、なんか、友達に、友達の話によると、なんか子供っぽい[笑いながら]。	/	/
229	218	NS2	うーん、まあまあ、そう、ですね、なんか、ディズニーランドのほうがたぶんなんか、小さい乗り物がたくさんあって、なんかまあ、ちっちゃい子供でも楽しめる、ような乗り物が結構多い感じですね。	ne3	/
230	219	NS2	でも、なんか、うーん、ジェットコースターとか好きですか?。	/	/
231	220	NNS2	うん、そうですね、まあ、そう、そう、それ、それなりに。	/	/
232	221	NS2	それなりに。	/	/
233	222	NNS2	かな。	/	/
234	223	NS2	うーん、まあ、そしたらなんかディズニーランド、は、なんか、そういう、まあ、ジェットコースターじゃないけど、まあ、そういう乗り物、が、大きい乗り物が三つぐらいあるし、あの、なんか乗り物が楽しめる(うん)、と思います。	/	/
235	224	NNS2	《少し間》じゃその、えっと、なんかディズニーシーに行った時は(うん)、なんかあれ、エレベーターみたいなものが、ありますよね。	yone3	/
236	225	NS2	ありますあります。	/	/
237	226	NNS2	なんか、その、その、日本人の知り合いの話によると、その、それが…。	/	/

データ 3

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS3	はじめまして。	/	/
2	2	NS3	はじめまして=。	/	/
3	3	NS3	=えーと、1年生の「NS9の苗字」って言います。	/	/
4	4	NNS3	「NS9の苗字」[↑]。	/	/
5	5	NS3	はい。	/	/
6	6	NNS3	「NS9の苗字」さん、えーと、今短期留学生で、えーと「NNS9の苗字」と申します。	/	/
7	7	NNS3	えーと、高いって書いて。	/	/
8	8	NS3	ああ、「NNS9の苗字」(はい)、「NNS9の苗字」さん。	/	/
9	9	NNS3	はい。	/	/
10	10	NS3	なん、何学部なんですか?。	/	/
11	11	NNS3	あの一、そ、中国では、日本語学部なんですけど(はい)、ここには、えーと文学部に配属さ、されています。	/	/
12	12	NS3	そうなんですか。	/	/
13	13	NS3	えー、なんで日本語勉強しようと思ったんですか?。	/	/
14	14	NNS3	うーんなんかね(ふふ)、入試の時に第一志望…というのがあって、で、そこに…なんか、《少し間》最初は理系だったんですよ。	yo2	e2
15	15-1	NNS3	で、理系全部落ちちゃって、で、仕方なくなく<日本>{<}[やや笑いながら],,	/	/
16	16	NS3	<仕方がなく>{>}[やや笑いながら]。	/	/
17	15-2	NNS3	日本、日本、日本語学科…。	/	/
18	17	NS3	そうなんですね。	ne1	/
19	18	NNS3	高校時は理系だったんです。	/	/
20	19	NS3	僕も高校の時は理系で、物理とかこう勉強しました。	/	/
21	20	NNS3	えっ、今、な、何学部ですか?。	/	/
22	21	NS3	今は国際教養学部って言って、そ一、文系と理系両方やるっていう《少し間》学部で【【。	/	/
23	22	NNS3	】】国際…こ一、うん[↑]。	/	/
24	23	NS3	国際教養学部。	/	/
25	24	NNS3	あっ教養学部。	/	/
26	25	NNS3	で、何勉強するですか。	/	/
27	26	NS3	今、まあ、だからその文系的な、その言語の(ああ)話もする、しますし、それ、理科の勉強もしますし、っていう。	/	/
28	27	NNS3	両方勉強している[→]。	/	/

29	28	NS3	両方勉強している<学部で>{<}>。	/	/
30	29	NNS3	<ああ>{<}>、すごい。	/	/
31	30	NS3	いや、はは、そうですかね。	ne3	/
32	31	NNS3	それ、なんかすごい。	/	/
33	32	NS3	ふふ[軽く笑う]。	/	/
34	33	NNS3	両方勉強するのはなかなかないですね。	ne1	/
35	34	NS3	そう、なかなか珍しい学部だと思うんですけど。	/	/
36	35-1	NNS3	今年、は、<なんか>{<}>, ,	/	/
37	36	NS3	<そう>{<}>、今年【【。	/	/
38	35-2	NNS3	】】あ、あ、新しく、で、できた…。	/	/
39	37	NS3	そう、そこです(ああ)、新しくできて。	/	/
40	38	NNS3	そうですか。	/	/
41	39	NS3	へへ[軽く笑う]。	/	/
42	40	NNS3	なんか私もあの一、国際…センターって知ってますか>{<}>?。	/	/
43	41	NS3	<あ、国際教育>{<}>センター。	/	/
44	42	NNS3	あ、そうそうそう。	/	/
45	43	NNS3	そこで、なんか授業が、ほとんどそ、そ、そこで。	/	/
46	44	NS3	はい。	/	/
47	45	NNS3	《少し間》で一、で一、先生も、たぶん知ってると思う、「W先生」とか。	/	/
48	46	NS3	「W先生」[↑][軽く笑いながら]。	/	/
49	47	NNS3	あっ、しら、知らないんですか?。	/	/
50	48	NS3	分かんないですね、へへへ。	ne3	/
51	49	NNS3	うーん(くふふふ)。	/	/
52	50	NNS3	「K先生」、《少し間》知ってますか、知らないんですか?。	/	/
53	51	NS3	へへへ。	/	/
54	52	NNS3	確か、こう、国際教養…学部の先生なんですけど。	/	/
55	53	NS3	[沈黙3秒]。	/	/
56	54	NNS3	これ黙っちゃいけないですね>{<}>。	中間	d
57	55	NS3	<黙っちゃ>{<}>いけない、はは、黙つ<ちゃいけませんね>{<}>。	ne5	/
58	56	NNS3	<黙っちゃ>{<}>いけないですね、はは。	中間	d
59	57	NNS3	どうしよう、えーと…さき、さきのあー趣味。	/	/
60	58	NS3	あ、趣味、趣味は映画…を見るのが結構好きですね。	ne3	/
61	59	NNS3	《少し間》。	/	/
62	60	NS3	映画。	/	/
63	61	NNS3	うーん、なんの映画ですか。	/	/

64	62-1	NS3	映画,,	/	/
65	63	NNS3	あ、アメリカの<映画ですか><?>。	/	/
66	62-2	NS3	<アメリカ見ますね><}>、けっこう。	ne3	/
67	64	NNS3	あの一、な、な、何でした、だっけ(へへ)、スパイ<ダーマン><?>。	/	/
68	65	NS3	<あ、スパイダー><}>マンも見ますね。	ne3	/
69	66	NNS3	それ、えっと、《少し間》けっこう長いシリーズじゃないですか、あれ。	/	/
70	67	NS3	ああ、けっこう長い。	/	/
71	68	NNS3	ああ、そっか、で、ほかの映画は見ないんですか?。	/	/
72	69	NS3	ほかは…日本の映画も、まあたまには見るんですけど、あんま見ないんですね、<はは><?>[軽く笑いながら]。	ne3	/
73	70	NNS3	<ああ><}>、そっか。	/	/
74	71	NS3	うーん、スターウォーズとか知ってます?。	/	/
75	72	NNS3	ああ、知ってます><?>。	/	/
76	73	NS3	<スターウォーズ><}>見ます、結構好きです。	/	/
77	74	NNS3	知ってます、あ、あれ、知ってます。	/	/
78	75	NS3	なん、何が趣味ですか?。	/	/
79	76	NNS3	えっと…《少し間》食べること[やや笑いながら]。	/	/
80	77	NS3	はは、食べる。	/	/
81	78	NNS3	だめかな、それ。	/	/
82	79	NS3	いやいや。	/	/
83	80	NNS3	えーと、映画見るのも好きなんですけど、なん、なん、趣味、な、何してたっけ。	/	/
84	81	NS3	へへへ。	/	/
85	82	NNS3	ふふふ、《少し間》あ、音楽[↑]。	/	/
86	83	NS3	あ、音楽。	/	/
87	84	NNS3	ロックが好きです。	/	/
88	85	NS3	あ、ロック、が好きなんですか、アメリカのロックとイギリスのロックと。	/	/
89	86	NNS3	いや、イギリスの、と、日本の。	/	/
90	87	NS3	あ、日本のロックも好きなんですか。	/	/
91	88	NNS3	そうそうそう。	/	/
92	89	NNS3	で、しょっちゅうライブ見に行きます。	/	/
93	90	NS3	おお、すごい。	/	/
94	91	NNS3	それが趣味なんです。	/	/
95	92	NS3	た、ロックってあの一、た、日本だと例えば何を聞くんですか?。	/	/
96	93	NNS3	えーと、《少し間》れ、レッドって知ってますか?。	/	/
97	94	NS3	レッ、レッド?。	/	/

98	95	NNS3	えー、red wisp。	/	/
99	96	NS3	《少し間》 ああ、聞いたことがあります。	/	/
100	97	NNS3	知ってますか。	/	/
101	98	NS3	知ってます、知ってます、曲は聴いてないんですけど[軽く笑いながら]、アーティスト名は知ってます、へー。	/	/
102	99	NNS3	そう、それが好き…【【。	/	/
103	100	NS3	】】で、ライブに行くんです?。	/	/
104	101	NNS3	そう、そうですね。	ne3	/
105	102	NS3	いいですね。	ne5	/
106	103	NNS3	はー、ライブ見に行くために、日本に来たと思うんですよ>{<。	yo3	/
107	104	NS3	<ははは>{>}、そう、そんな好きなんですね。	ne1	/
108	105	NNS3	《少し間》。	/	/
109	106	NS3	<へー>{<。	/	/
110	107	NNS3	<ラ、ライブ>{>}めっちゃ好きなんです(ふふ)。	/	/
111	108	NNS3	あと、何かな…《少し間》、えーと[沈黙1秒]、勉強以外は(はい)、映画見ってます?。	/	/
112	109	NS3	勉強以外に[↑]。	/	/
113	110-1	NNS3	普通…,,	/	/
114	111	NS3	普通に[↑]。	/	/
115	110-2	NNS3	暇,な時[↑]。	/	/
116	112	NS3	暇な時も映画見ますね。	ne3	/
117	113	NNS3	《少し間》。	/	/
118	114	NS3	うん[↓]。	/	/
119	115	NNS3	そっか。	/	/
120	116	NS3	ふふふ。	/	/
121	117	NNS3	何かな、ふふ、早く早く早く、話題、話題[軽く笑いながら]。	/	/
122	118	NS3	あ、話題ね、食べ物,が、食べるのが好きっておっしゃったじゃない、<おっしゃったじゃないですか>{<。	/	/
123	119	NNS3	<うんうんうんうん>{>}うん。	/	/
124	120	NS3	なん、何の食べ物が特に好きですか?。	/	/
125	121	NNS3	《少し間》 あっ日本のだと、からあげ[↑]。	/	/
126	122	NS3	あ、からあげ。	/	/
127	123	NNS3	からあげ<好きです>{<。	/	/
128	124	NS3	<お、おいしい>{>}ですよ。	yone1	/
129	125	NNS3	おいしい。	/	/
130	126	NS3	はは、本当に、出来立てのからあげは本当においしいですよ。	yone1	/

131	127-1	NNS3	そうそうそう、で、なんか正門の、	/	/
132	128	NS3	はい。	/	/
133	127-2	NNS3	あそこ…居酒屋があつて、	/	/
134	129	NS3	はい。	/	/
135	127-3	NNS3	あそこ居酒屋は、あのーラインのと(ああ)、友達登録が一定の人数[「じんすう」と発音]がた、達してると、《少し間》なんかからあげ食べ放題(ほっ)というものがあつて>{<}。	/	/
136	130	NS3	<本当ですか>{<}、<それすごいですね>{<}。	ne5	/
137	131	NNS3	<そうそうそう>{<}そうそう。	/	/
138	132	NNS3	99円なんですよ。	yo3	e3
139	133	NS3	《少し間》99円で食べ放題。	/	/
140	134	NNS3	そう。	/	/
141	135	NS3	すごい安いじゃない[軽く笑いながら]。	/	/
142	136	NNS3	からあげ食べ放題、正門の前。	/	/
143	137	NS3	へー。	/	/
144	138	NNS3	そうそうそう。	/	/
145	139	NS3	じゃ気になる、ははは、へー。	/	/
146	140	NS3	《少し間》で、か、からあげ[↑]好きなんですわ。	ne1	/
147	141	NNS3	そう。	/	/
148	142	NS3	からあげけっこう食べます、僕も。	/	/
149	143	NNS3	あつ1年生なんですか?。	/	/
150	144	NS3	1年生です。	/	/
151	145	NNS3	出身は「T場所」、ですか?。	/	/
152	146	NS3	出身は「H場所」って分かりますか?。	/	/
153	147	NNS3	[沈黙 0.5 秒]。	/	/
154	148-1	NS3	あのー、	/	/
155	149	NNS3	どこだつて。	/	/
156	148-2	NS3	はは、ちょっと南、西、西だし、南のほうなんですけど、本州じゃないんです。	/	/
157	150	NNS3	あー、九州?。	/	/
158	151	NS3	分かります?。	/	/
159	152	NNS3	九州、<そうですそうです>{<}。	/	/
160	153	NS3	<ああああ>{<}、<聞いたことがあります>{<}。	/	/
161	154	NNS3	<が出身です>{<}。	/	/
162	155	NNS3	ああ、そつか、じゃこらへん、なん、なんというか、<今来たばつか、ですか>{<}?。	/	/
163	156-1	NS3	<ああ、でも>{<}、中学校と高校がT県、の学校だったんで、	/	/

164	157	NNS3	<ああ>{<}.	/	/
165	156-2	NS3	<けっこう T 県には>{>}慣れてます。	/	/
166	158	NNS3	ああ、そっか、一人暮らししてますか?。	/	/
167	159	NS3	いや、家から、実家から通ってます。	/	/
168	160	NS3	一人暮らしじゃなくて、あの、おー【【。	/	/
169	161	NNS3	】】 えっ、実家「H 場所」じゃないですか?。	/	/
170	162	NS3	いや、ひっこ、お、家族全体で引越しをしたんです(ああ)、「T 場所」のほうに。	/	/
171	163	NNS3	ああ、そっか。	/	/
172	164	NS3	まあ、家族全員が「T 場所」に住んでいます。	/	/
173	165	NNS3	《少し間》、おおそういうこと、ああああ。	/	/
174	166	NS3	ないですか、そういうの、家族全員でどこかに引っ越すっていうことあんまりないんですか?。	/	/
175	167	NNS3	《少し間》友達にはあるんですけど、私…はないですね。	ne3	/
176	168	NS3	そうですね[小さい声で]。	/	/
177	169	NNS3	わた、私は出身は(はい)、中国のみ、真ん中のほうなんですけど、大学は上海なんです。	/	/
178	170-1	NS3	あ、それ、けっ,,	/	/
179	171	NNS3	けっ、けっこうはな【【。	/	/
180	170-2	NS3	】】 かなり遠い…【【。	/	/
181	172	NNS3	】】 そうそうそう(ですよ)、か、かなり、と、遠くて、でー、飛行機だと 2 時間ぐらいか、かかるんですよ。	yo2	e2
182	173	NNS3	でー、大学では…寮に住んで、で、お母さん、お、お、親は実家に住んでいます。	/	/
183	174	NS3	ああ、なるほど。	/	/
184	175	NNS3	そうそうそう。	/	/
185	176-1	NS3	へー、でもここの大学にもけっこう、北海道からかよっ、あのー一人暮らししてきた人もいるし、あの、そういう熊本とか、も、からも来た人もいるし,,	/	/
186	177	NNS3	ああ。	/	/
187	176-2	NS3	そう、いろんなところから来た人がいますね。	ne3	/
188	178	NNS3	そうですね[声が小さい]。	/	/
189	179	NNS3	あ、さきなん、なんか言ったか、あっ南門の前、ポッポキーって知ってますか?。	/	/
190	180	NS3	ポッポキー[↑]。	/	/
191	181	NNS3	ポッポキー。	/	/
192	182	NS3	知らない[軽く笑いながら]。	/	/
193	183	NNS3	定<食屋さん>{<}。	/	/
194	184	NS3	<定食屋さん>{>}。	/	/

195	185	NNS3	めっちゃおいしいです。	/	/
196	186	NS3	ははは、ポッポキー、えっ、南門?。	/	/
197	187-1	NNS3	南門…を出て,,	/	/
198	188	NS3	出て。	/	/
199	187-2	NNS3	右に曲がって,,	/	/
200	189	NS3	ええ。	/	/
201	187-3	NNS3	で一、なんか十字路、えっ、十字路っていうのか。	/	/
202	190	NS3	十字路。	/	/
203	191	NNS3	《少し間》十字路ですか?。	/	/
204	192	NNS3	あああ、合ってますか?。	/	/
205	193	NS3	分かんくないです>{< [軽く笑いながら]。	/	/
206	194	NNS3	<えっ>{> [↑]。	/	/
207	195	NS3	南門があって、信号があるじゃないですか。	/	/
208	196-1	NNS3	あっ、南門を出て,,	/	/
209	197	NS3	出て。	/	/
210	196-2	NNS3	わたら、渡らないでこっちに…。	/	/
211	198	NS3	渡らないで曲がって。	/	/
212	199	NNS3	うん、曲がって、で、なんか、こう、交差点[↑]。	/	/
213	200	NS3	ああ、交差点。	/	/
214	201	NNS3	交差点なんだ、十字路じゃない、交差点を、交差点を渡って(うん)、で一、あの、ここ辺。	/	/
215	202	NS3	ポブキってとこですね。	ne1	/
216	203	NNS3	ポッポキー[ゆっくり発音する]。	/	/
217	204	NS3	ポッポキー。	/	/
218	205	NNS3	そうそうそう。	/	/
219	206	NS3	じゃ、後で調べてみますね<、ポッポキー>{<}。	ne3	/
220	207	NNS3	<あそこ>{>}, めっちゃおいしい。	/	/
221	208	NS3	何の定食ですか?。	/	/
222	209	NNS3	なんか、うーん、焼肉もあって(うん)、えっと…魚の[↑]定食もあって、で、鶏肉のもあって、で一、安いです。	/	/
223	210	NS3	あ、かなり、いいですね、それ幅広くて。	ne5	/
224	211	NNS3	で一、昼ごはんは(うん)、みんなかつ、あの一値段は一緒なんです。	/	/
225	212	NNS3	みんなご、500円で(おお)、で、夜は600円なん、なので。	/	/
226	213	NS3	安いですね、<本当に>{<}。	ne5	/
227	214	NNS3	<そうそうそう>{>}、で、量がすごい<多いんですよ>{<}。	yo3	e3

228	215	NS3	<ははは>{>}, じゃ食べきれないかも、はは、えーすごいな。	/	/
229	216	NNS3	そう、おいしいです。	/	/
230	217	NS3	じゃ、今度行ってみます。	/	/
231	218	NNS3	お勧めです。	/	/
232	219	NS3	ははは、えー、その一、日本、の食べ物って、舌に合いましたか?。	/	/
233	220	NS3	あの一、慣れましたか、食べ、<日本の食べ物には>{>}?。	/	/
234	221	NNS3	<ああ>{>}, 《少し間》生ものは苦手なんで。	/	/
235	222	NS3	ああ、魚とかじゃ生ものは…。	/	/
236	223	NNS3	そう、刺身とかは無理です。	/	/
237	224	NS3	ああ、やっぱそうですか。	/	/
238	225	NNS3	そう。	/	/
239	226-1	NNS3	あつても、友達には(うん)、なんか生もの大好きー(ははは)という人もいて、けっこう慣れてる…,,	/	/
240	227	NS3	ああ。	/	/
241	226-2	NNS3	みたい。	/	/
242	228-1	NNS3	《少し間》で(うん)、生もの以外は全然、	/	/
243	229	NS3	食べれる[↑]。	/	/
244	228-2	NNS3	食べます。	/	/
245	230	NS3	へー、僕も小さいごろは、そう、刺身が苦手で、中学生ぐらいですね、けっこう食べるようになったの。	ne3	/
246	231	NNS3	ああ、なんか、なんか、なんというか、なま、生もの<沈黙1秒>なんか食感を、今、今でもなんかおかしいんですよ。	yo3	e3
247	232	NS3	ははは。	/	/
248	233	NNS3	しょっ、食感の、した…。	/	/
249	234	NS3	食感が苦手[→]。	/	/
250	235	NNS3	そうそうそうそう。	/	/
251	236	NS3	ああ、ふーん。	/	/
252	237	NNS3	あと、わさびも無理です。	/	/
253	238	NS3	ははは、わさび、わさびはうーん[↓]、ははは。	/	/
254	239	NNS3	わさび無理です。	/	/
255	240	NS3	わさび食べれないんだ。	/	/
256	241	NS3	じゃ生姜は?生姜は、食べれる?。	/	/
257	242	NNS3	あ、生姜食べれます。	/	/
258	243	NS3	生姜食べれる、へーわさび、ああ[↓]。	/	/
259	244	NNS3	なんか一回、えっと4月1日に(はい)、友達から、いたずらされてクッキーの中、え	/	/

			っと…クッキーの中にわ、わさびを入れ【【。		
260	245	NS3	】あ、いたずらで。	/	/
261	246	NNS3	そうそうそうそう。	/	/
262	247	NNS3	で、食べたんですよ。	yo2	e2
263	248	NNS3	で、食べてめっちゃ泣いて。	/	/
264	249	NS3	ははは。	/	/
265	250	NNS3	それ、それ以来【【。	/	/
266	251	NS3	】それは強烈ですね。	ne2	/
267	252	NNS3	そうそうそうそう。	/	/
268	253-1	NS3	日本人でも絶対に[笑いながら]、た、食べれない、	/	/
269	254	NNS3	そう。	/	/
270	253-2	NS3	ような、クッキーですね、それは。	ne2	/
271	255	NNS3	もう、とら、トラウマ[↑]。	/	/
272	256	NS3	うんうん、トラウマ。	/	/
273	257	NNS3	そう、トラウマなってる[軽く笑いながら]。	/	/
274	258	NS3	ははは、へー、くそうなんですわ{<}。	ne1	/
275	259	NNS3	<なんか>{>}、日本人はわさび、基本的に食べますか?。	/	/
276	260	NS3	食べますね。	ne3	/
277	261	NS3	お刺身とかお寿司にはつけて食べますね。	ne3	/
278	262	NNS3	が、が、に、苦手な人ないですか?。	/	/
279	263	NS3	あ、たまにいますね。	ne3	/
280	264	NS3	にが、そのわさび苦手な人、本当たまにいます。	/	/
281	265	NS3	寿司とかそのマグロ、とか(ああ)、わさび抜きで、という人いますね。	ne3	/
282	266	NNS3	ああ、そっか(うん)、みんな、た、た、食べると思った。	/	/
283	267	NS3	ははは、まあ、みんなじゃないですね。	ne3	/
284	268	NNS3	[沈黙 1 秒]。	/	/
285	269	NS3	へー↓。	/	/
286	270	NNS3	《少し間》はい、ふふふ。	/	/
287	271	NS3	《少し間》ふーん。	/	/
288	272	NS3	[沈黙 0.5 秒]あっ中国から来ていらっやって、日本のほかに海外かへ行ったりはしたんですか?。	/	/
289	273	NNS3	ないですね。	ne3	/
290	274	NS3	ない。	/	/
291	275	NNS3	ないです。	/	/
292	276	NNS3	なんか、夏休み、冬休みとかも(うん)、国内で遊んでました。	/	/

293	277	NS3	ああ。	/	/
294	278	NNS3	国内旅行。	/	/
295	279	NNS3	えっありますか?。	/	/
296	280	NS3	僕はマレーシアと(ああ), オーストラリアに行ったことが, あるん, です。	/	/
297	281	NNS3	どうでしたか?。	/	/
298	282	NS3	いや, もうすごいいろんなことが新鮮でいい経験だっ, でした。	/	/
299	283	NS3	マレーシア, 行ったときに現地の, 学校の人と交流して(ああ), それ, 向こうってイスラム, の社会じゃないですか。	/	/
300	284	NS3	だから学校, の授業の合間に礼拝の時間があったり【【。	/	/
301	285-1	NNS3	】】礼拝の時間[↑],,	/	/
302	286	NS3	礼拝, お祈り[↑]。	/	/
303	285-2	NNS3	あっ, うんうん。	/	/
304	287	NS3	の時間があって, それも見学させてもらって, ああ, なんかすごいいい経験だなあ と思いましたね。	ne3	/
305	288	NNS3	えっいつですか?。	/	/
306	289	NS3	ええ, 4年前かな, 4年前ですね。	ne3	/
307	290	NS3	マレーシアに<行ったのは>{<}</td>		
308	291	NNS3	<4年前>{<}</td>		
309	292	NS3	そうそう, 中学<3年生のときに>{<}</td>		
310	293	NNS3	<すごい>{<}</td>		
311	294	NS3	いや, 一人じゃないですけど, 学校で。	/	/
312	295	NNS3	ああ, あっすごい。	/	/
313	296	NS3	へへ。	/	/
314	297	NNS3	オーストラリアは?。	/	/
315	298	NS3	オーストラリアは, 高校2年生の時, だから2年前ですね。	ne3	/
316	299	NNS3	りよ, りよ, 旅行…交流?。	/	/
317	300	NS3	まあ, それはまあ旅行みたいなもんなんですけど。	/	/
318	301	NS3	オーストラリアのシドニー[0.5秒沈黙]わかり, シドニー。	/	/
319	302	NS3	に行って, シドニーも行きましたし, なんかちょっと大陸からちょっと離れた砂, ほとんど砂でできた島に, があって, そこに泊まって【【。	/	/
320	303	NNS3	】】あ, 泊まったんですか?。	/	/
321	304	NS3	泊まったんですよ。	yo3	/
322	305	NS3	すごい《少し間》星がきれいで, 夜に(ああ), すごかったですもう。	/	/
323	306	NS3	写真, に撮ろうと思っても, その, カメラには映らなくて, その現場にしか見れない ものような(ああ, そうですね), すごかったです, うっ, 空気が澄んでて。	/	/

324	310	NNS3	行きたーい。	/	/
325	311	NS3	本当にきれいでした。	/	/
326	312	NS3	《少し間》星がきれいで。	/	/
327	313	NNS3	いいね。	ne5	/
328	314	NS3	ふふふ。	/	/
329	315	NNS3	行きたいわ。	/	/
330	316	NS3	そのなんか日本でも田舎のほう、だったら星がよく見えるらしんですけど。	/	/
331	317	NNS3	[沈黙 1 秒]。	/	/
332	318	NS3	ふん。	/	/
333	319	NNS3	田舎のほう？。	/	/
334	320	NS3	田舎のほう、山のほうとか。	/	/
335	321	NNS3	例えば。	/	/
336	322	NS3	例えば、たぶん《少し間》長野とか群馬とか。	/	/
337	323	NNS3	群馬県《少し間》、ああ、そっか。	/	/
338	324	NS3	その、都心は街燈とか光が多いじゃないですか。	/	/
339	325	NS3	だから星が見えづら、見えづらくなっちゃって。	/	/
340	326	NS3	ふん、光がないとよく見えない。	/	/
341	327	NNS3	行きたーい。	/	/
342	328	NS3	その、夏とか、星を見に、ふふふ。	/	/
343	329	NNS3	日本は今たぶん大阪…(ああ)、関西のほうは旅行して、あっ関西と北海道。	/	/
344	330	NS3	おお、行ったんですか？。	/	/
345	331	NNS3	そうそうそう、ほかのところも行ってみたいなあと思ったんですけど(うん)、忙しくて(ああ)、全然時間がない、はは。	/	/
346	332	NNS3	全然時間がないですよ。	yo3	e3
347	333	NS3	《少し間》ふん、関西って京都も、京都とか奈良ってことですか？。	/	/
348	334	NNS3	うん、大阪、京都、とか。	/	/
349	335	NNS3	大阪[沈黙 0.5 秒]、大阪の、た、食べ物おいしかった。	/	/
350	336	NS3	ああ、大阪おいしいですよ、たこ焼きとか食べたんですか？。	yone3	/
351	337	NNS3	そうそうそうそうそう、お好み焼きとか{<}。	/	/
352	338	NS3	<お好み焼きも>{>}、もうかなり、食べてますね[笑いながら]、いろんなものを。	ne2	/
353	339	NS3	おいしいですよ、本当に。	yone3	/
354	340	NNS3	大阪おいしい、<大阪おいしい>{<} [笑いながら]。	/	/
355	342	NS3	<ははは>{>}、僕も大阪、大阪におばあちゃん、の家があって、よく行きます。	/	/
356	343	NS3	2年に1回は必ず行って、その、たこ焼きを食べに行くようなもんなんですけども[笑いながら]。	/	/

357	344	NNS3	[沈黙 0.5 秒]。	/	/
358	345	NS3	うん。	/	/
359	346-1	NNS3	北、海<道…>{<}、,	/	/
360	347	NS3	<北海道>{>}は。	/	/
361	346-2	NNS3	寒かった[笑いながら]。	/	/
362	348	NS3	あっ、いつ、いつ北海道に行ったんですか?。	/	/
363	349	NNS3	1月2月。	/	/
364	350	NS3	ははは、一番<寒いときに>{<}。	/	/
365	351	NNS3	<一番寒いときに>{>}、いつ、行ったんですよ。	yo3	/
366	352-1	NS3	《少し間》へー、《少し間》<それは…>{<}、,	/	/
367	353	NNS3	<めっちゃ>{>}寒かった。	/	/
368	352-2	NS3	スキー、しに行ったんですか?。	/	/
369	354	NNS3	あ、スキーもしたけど、あ、あそこにと、友達が(とも)、住んでて(へえ)、で、一緒にあ、あそ、あ、遊びに行きました。	/	/
370	355	NS3	へー、それまた中国から向こうの大学に留学…<しに>{<}【【。	/	/
371	356	NNS3	】】<あそうそう>{>}そうそうそう。	/	/
372	357	NS3	へえ、いいですね。	ne2	/
373	358	NS3	それなんか、かなり格好いいような、海外で友達に会うって、ふふふ。	/	/
374	359	NNS3	あそう、そうですね。	ne5	/
375	360	NS3	へへ、楽しそう《少し間》へー。	/	/
376	361	NNS3	あ、ス、スキー行きました、スキーしたことがあります?。	/	/
377	362	NS3	あ、スキーしたことがありますね。	ne3	/
378	363	NNS3	《少し間》ふふふ。	/	/
379	364	NS3	ふふふ。	/	/
380	365	NNS3	ど、どう、どう、どうですか、上手です?。	/	/
381	366	NS3	いや、うん、うん、人並みには滑れると思うんですけど。	/	/
382	367	NNS3	すごい(へへ)、すごい。	/	/
383	368	NS3	いや、でも【【。	/	/
384	369	NNS3	】】全然は、は、は、は、はじめでした。	/	/
385	370	NS3	ああ、はじめてで。	/	/
386	371	NNS3	そうそうそう。	/	/
387	372	NS3	で【【。	/	/
388	373	NNS3	】】や、山…、まず山…の上に、なんか観覧車。	/	/
389	374	NS3	ああ、リフト。	/	/
390	375-1	NNS3	あ、リフト(で)<乗って>{<}、,	/	/

391	376	NS3	<乗って>{>}。	/	/
392	375-2	NNS3	で、その…山の上の(うん)、そ、そっことから、下へ乗って(ふふふ)、たぶんほとんど、ころん(ふふふ)、転びながら(ははは)。	/	/
393	377	NNS3	そうそうそう。	/	/
394	378	NS3	まあ、はじめは、まあ難しいですね。	yone1	/
395	379	NNS3	痛かった[笑いながら]。	/	/
396	380	NS3	ははは、筋肉痛になっ、翌朝筋肉痛で、みたいな。	/	/
397	381	NNS3	なんか、みつ、三日、1週間ぐらい[沈黙 0.5 秒]歩けない(ははは)<です>{>}。	/	/
398	382	NS3	<そんなに>{>}、うん。	/	/
399	383	NNS3	あれ、重いじゃないですか。	/	/
400	384	NS3	あースキー板ね。	ne5	/
401	385	NNS3	そうそうそう。	/	/
402	386	NS3	それで。	/	/
403	387	NNS3	おも、重くて、で、転んじゃって、なんかと、と、止める方[止める方法の間違い]は分かんないですよ。	yo2	e2
404	388	NS3	ああ。	/	/
405	389	NNS3	で、こ、なんか、止めたいときは、こ、転ぶしかないですよ。	yo3	e3
406	390	NS3	ああ、ははは、うん。	/	/
407	391	NS3	しょうがない、はじめのほうは、ははは。	/	/
408	392	NNS3	なんか滑る人、本当にすごいなあとおもっ。	/	/
409	393	NS3	いや、な、たぶん2回目ならもうたぶん大丈夫ですよ。	yo1	/
410	394	NS3	もう一回行ったら、はは。	/	/
411	395	NNS3	無理無理、だめ。	/	/
412	396	NS3	ふふふ、うーん、《少し間》、そうですね[声が小さくなる]。	ne5	/
413	397	NS3	スポーツなんかやっていたりしたんですか、向こうで?。	/	/
414	398-1	NNS3	<えーと>{>},,	/	/
415	399	NS3	<高校時代に>{>}。	/	/
416	398-2	NNS3	アイスの上で、あ、あれなんですか?。	/	/
417	400	NS3	アイス、フィギュアスケートですか、アイススケートですか?。	/	/
418	401	NNS3	アイススケ、スケート。	/	/
419	402	NS3	アイススケート。	/	/
420	403	NNS3	そう。	/	/
421	404	NS3	へー、すごい、え[↑]アイススケート僕やったことないですよ。	yo2	/
422	405	NNS3	千葉の、なんか、千葉の、海の、え[↑]、なんでしたっけ、あ、あ、あそこ。	/	/
423	406	NS3	海。	/	/

424	407	NNS3	なんかスケー場が。	/	/
425	408	NS3	あるんですか?。	/	/
426	409	NNS3	あります。	/	/
427	410	NS3	へー、知らない。	/	/
428	411	NNS3	あります。	/	/
429	412	NS3	えーあるんだ。	/	/
430	413	NNS3	うんうん。	/	/
431	414	NS3	そこで滑ったんですか?。	/	/
432	415	NNS3	滑った、2回ぐらい。	/	/
433	416	NS3	《少し間》じゃ、けっこう上手なんですね。	ne1	/
434	417	NNS3	えーん、滑れます。	/	/
435	418	NNS3	す、す、スキーより上手。	/	/
436	419	NS3	ははは。	/	/
437	420	NNS3	スキーより上手。	/	/
438	421	NS3	へーあれって、すごい立つの、滑ってすごい難しそうだなーと思うんですけど。	/	/
439	422	NNS3	いや、そんなに難しくないです。	/	/
440	423	NS3	あっそうなんですか。	/	/
441	424	NNS3	そうそうそう、すぐ…すぐす、す、滑れーます。	/	/
442	425	NS3	うん。	/	/
443	426	NNS3	やったことないです?。	/	/
444	427	NS3	やったことないですよ、ふふふ。	yo3	/
445	428	NNS3	《少し間》。	/	/
446	429	NS3	ふーん、へー、そう、難しそうだなあー、はは。	/	/
447	430	NNS3	いや、全然難しくない。	/	/
448	431	NS3	全然難しくないですか。	/	/
449	432	NS3	うん、で、アイス、陸上、うん[↑]、陸上の、あ、あ、あれもあるあるんじゃないですか。	/	/
450	433	NNS3	ローラスケートですか。	/	/
451	434	NS3	あっ、ローラスケ、そうそう。	/	/

データ 4

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS4	よろしくおねがいします。	/	/
2	2	NNS4	よろしくおねがいします。	/	/
3	3	NS4	じゃあ、まず(はい)、僕の自己紹介します。	/	/
4	4	NNS4	はい。	/	/
5	5	NS4	えっー、僕の名前は、「NS4 の名前」です。	/	/
6	6	NNS4	「NS4 の名前」?。	/	/
7	7	NS4	「NS4 の名字」で、名前が「NS4 の下の名前」です。	/	/
8	8	NNS4	はい。	/	/
9	9	NS4	なんで、まあ、「NS4 の下の名前」ってよんでください。	/	/
10	10	NNS4	はい。	/	/
11	11	NS4	で、工学部の電気電子工学科の一年生で、今年齢は 18 才です。	/	/
12	12	NNS4	18 才?。	/	/
13	13	NS4	18 才。	/	/
14	14	NNS4	はい。	/	/
15	15	NS4	《少し沈黙》。	/	/
16	16	NNS4	それぐらいですか?。	/	/
17	17	NNS4	まあ[軽く笑う]大丈夫ですけど。	/	/
18	18	NS4	それと他には、まあ千葉県出身で(はい)、それで大学も千葉大学なんで、ずっと千葉に住んでいます。	/	/
19	19	NNS4	はい。	/	/
20	20	NNS4	まあ、他にはあとで、聞きます[軽くわらって]。	/	/
21	21	NS4	他はあとで、じゃあ。	/	/
22	22	NNS4	はい、じゃあええ、はじめまして、私は、「NNS4 の名前」です。	/	/
23	23	NNS4	まあ、苗字は「NNS4 の名字」、下の名前は「NNS4 の下の名前」です。	/	/
24	24	NNS4	「NNS4 の下の名前」。	/	/
25	25	NS4	「NNS4 の下の名前」?。	/	/
26	26	NNS4	「NNS4 の下の名前」、んっとお、うん、と呼んでください。	/	/
27	27	NS4	はい、「NNS4 の下の名前」。	/	/
28	28	NNS4	えーそして、他にはああはい、ドイツからきました(はい)。	/	/
29	29	NNS4	=えっとおー…まあ、さっきも、書きましたが私は、えっとおー二千…十二年から、ドイツ…ドイツのライプチヒ大学に(へえ)、うん、入って(はい)、ここ、まあここで、えっー、2012 年から(はい)、日本語を勉強しました=。	/	/

30	30	NNS4	=そして(はい)、去年の10月から、んー、千葉大学…にりゅうがす、留学生として(はい)、まあ勉強しています、ふふ[軽く笑う]。	/	/
31	31	NS4	はい。	/	/
32	32	NS4	え、日本語勉強しようって思ったのはなんですか?。	/	/
33	33	NS4	よろしくおねがいします。	/	/
34	34	NNS4	ああ、そうはながい話です、けど(はい)、えっと、まずは(はい)、なんか、小学校の時は、えっと、ドイツのテレビで(はい)、まあ、日本語のなんかアニメや(はい、アニメ)をみ、みてでした=。	/	/
35	35	NNS4	=そのなんか、小学校の前にもアニメを見ましたけど(はい)、そのときはアニメはなんですか、知りませんでした(ああ)=。	/	/
36	36	NNS4	=も、もちろん私が聞いたのは、そんな、日本の中でアニメは、なんか日本のアニメだけでなく(うんうん)、ドイツではその日本のアニメだけ(ああ)、その区別がまあ、その時にもありました=。	/	/
37	37-1	NNS4	=そして(ふーん)、そのほかの小学生は(はい)まあ、わたしに、なんかアニメという概念?かな[笑い],,	/	/
38	38	NS4	概念[笑いながら]。	/	/
39	37-2	NNS4	を、を、概念はちょっと変かな[笑いながら]、アニメという呼び方、をまあ、紹介してもらいました><{>。	/	/
40	39	NS4	<に><{>、日本のものしかアニメって言わないんですか?、そのアニメって。	/	/
41	40	NNS4	え、今までそのなんか、しょうがっこう、小学校のときは多分日本についてはあまり知りません<でした><{>。	/	/
42	41	NS4	<知らな><{>かった、ああ(うん)。	/	/
43	42	NNS4	まあ、そのときはたぶんなんか、世界の問題はあんまり、まあ問題じゃなくて、世界の、他の国はあまり知らない…知らないは当然かもしれません(うんうん)。	/	/
44	43	NNS4	そして、まあそのお、中学校のときまあ、は、その、ま、は、はじめてなんか(はい)、インターネットにアクセス…できるようになりました=。	/	/
45	44	NNS4	=そして(おお)そのときは、まあ、前にはときどきドイツのテレビでアニメをみましたが(はい)、その…なんかテレビのアニメは、だんだん減ってしました(ああ)=。	/	/
46	45-1	NNS4	=そしてネット(ネットで)、違法なドイツのテレビではないアニメも見ましたが(おおー)、そのときは、その前のアニメは(はい)、まあ好きなアニメがありましたけど(はい)、そのなんか別になんていう、ええ…[少し間]、なんかホントに大好きなアニメが<ありま><{>,,	/	/
47	46	NS4	<見つかり><{>【【。	/	/
48	45-2	NNS4	】】ませんでした、はい(ああ)=。	/	/
49	47	NNS4	=でもそのあとは、そうそしてそのときはもっとアニメをみました=。	/	/

50	48	NNS4	=でも、そ、そ(はいはい)、そのアニメをきっかけに、なんかアニメの中におけるような、日本に関連する…まあ(はい)、なんいうかな、社会と歴史の問題も(へえ)、興味にはじ、持ち始めて、そのあとは、だんだん(ほかの)、ぶ、分野かな?まあ、いや間違っても[軽く笑いながら](分野)、ほかにはかに(はい)、日本についてまあいろんな興味、なんていう、いろんな、あー、【【。	/	/
51	49	NS4	【】まあアニメが日本が全体についていってみようって(はいはい)、そこ、だから、え、その一、中学校に入ってインターネットでそのアニメとか(うんうん)、日本の文化とか(うん)に触れるきっかけがやっぱ一番、その日本に留学してみたいなって思ったきっかけ?。	/	/
52	50-1	NNS4	まあ,,	/	/
53	51	NS4	小学校のときは【【。	/	/
54	50-2	NNS4	【】ちよつと、ちよつと、もっと難しいけど、そして、そのあと中学校にはいって、はいつてん、はいつてくんじゃなくて(はい)、それがなんかその、中学校のなんていうご、ご(ご?)語学級?###ただ、そのまま(はいはい)、そのときは私ももうなんか14才とかで(ふんふん)しました(はい)=。	/	/
55	52	NNS4	=そしてまあ、ネットもなんか、私のなんていう、うち…じゃなくて周り(はい)なんか日本の、日本に、き、日本のアニメに興味がある人があまりいませんでした(はいはい)=。	/	/
56	53	NNS4	=それでもネットでは、##いろいろな、ドイツのなかでいろいろなど、場所から(うんうん)、ひとと通してなんか、掲示板、掲示板かな?掲示板に会話して、そして他にはまあ、その日本のほかの《少し間》なんていう、興味?(ふふ)にもなんか、会話できました=。	/	/
57	54	NNS4	=そして、高校の時は、まあなんか、日本に(はい)行きたいという気分が湧いていました[軽く笑いながら](おお)=。	/	/
58	55	NNS4	=そして《少し間》、まあ、そのときは(はい)何をべん…なんか、高校のあとに何をすればいいかについてまあよく考えました(はいはい)=。	/	/
59	56	NNS4	=そしてそのときがまあ、是非なんか、たぶん、その、今現在は(はい)、なんか大学の卒業##が必要で、(はいはい)そしてその大学でもなんか、日本についてなにを勉強したんですけど、でもなんか、ドイツの大学はだいたい、専攻とうなんていう選択科目もなんかその(はい)副、副専攻みたいな、ことが。	/	/
60	57	NS4	ああ、いっぱいあるんですね。	nel	/
61	58	NNS4	そして、そのときはなんか(はい)、日本、日本について、なんか専攻か、副専攻については、まあ、ちょっと悩みました。	/	/
62	59-1	NNS4	でも結局は、なんか専攻として,,	/	/
63	60	NS4	専攻。	/	/
64	59-2	NNS4	日本学という、まあ、ちょ、直訳すれば、日本学という(はい)専攻を(ええ)、選び	/	/

			ました。		
65	61	NS4	ええ、もうそれで、日本について、えっと、日本についてだけ、日本学を勉強して(はい)、それ以外の副専攻【【。	/	/
66	62	NNS4	】 あああ、副専攻は、まあ私の、大学はちょっと例外です。	/	/
67	63	NNS4	その、普通の大学はだいたい副専攻だけど(はい)、わたしの大学は(はい)、副専攻以外、なんか自分で(はい)、いろんな、なんていう…分野から、ああ…なんていう…え、科目が(はい)選べる大学です。	/	/
68	64	NS4	ふうん、じゃあくなんでも自由に><【【。	/	/
69	65	NNS4	】><そして私は><、私は、最初からはど、ど、どんなあの、なんていう…(はい)まあ他のどの副専攻みたいなものを(はい)、選びたいのはちょっと悩んでました。	/	/
70	66	NS4	><ああ><。	/	/
71	67-1	NNS4	><まあ><、最初は哲学に興味がありましたけど><、,	/	/
72	68	NS4	><哲学><、へえ。	/	/
73	67-2	NNS4	でも、哲学と…まあ日本学はあんまり、そのあんまり…う～んなんていう…一致してせんけど(はい)、その、その大学の中で、(はいはい)でも私は、なんか実はその日本学、そう、本当に難しいんですけど><【少し笑いながら】。	/	/
74	69	NS4	><ははは><、[笑って]大丈夫ですよ。	yo1	/
75	67-3	NNS4	なんかドイツの全体は(なんか、はい)、いろんな日本学の(はい)大学がありますけど(はい)、その日本学は(はい)、大学によって全然、その、かん、対象が、だ、大学によって全然ちがいます。	/	/
76	70	NS4	ふうん。	/	/
77	71-1	NNS4	だから私が選んだ大学は(はあ)、その哲学の、を、対象する…なんていう部分?[軽く笑いながら],,	/	/
78	72	NS4	部分の【【。	/	/
79	71-2	NNS4	】部分もあります。	/	/
80	73	NNS4	分野もあります。	/	/
81	74	NS4	あー、の分野の、で、哲学という分野で日本を学んでいたっていうこと。	/	/
82	75-1	NNS4	はい、その日本の><哲学についても><、,	/	/
83	76	NS4	><おおすごいです><ねえ。	ne2	/
84	75-2	NNS4	まあ、興味、持った、その…。	/	/
85	77	NNS4	まあ、そしてそうまあ、なんと一致してますね[↑](ああ、はいはい)=。	中間	b
86	78-1	NNS4	=私はなんか高校、高校から哲学に興味を持って(はい)、でも日本の中でも哲学は…なんか,,	/	/
87	79-1	NS4	日本の哲学は,,	/	/
88	78-2	NNS4	すごいです[笑いながら]、日本の哲学。	/	/

89	79-2	NS4	僕は一応理系であんまり知らない{<}[笑いながら]。	/	/
90	80	NNS4	<いやいや>{>}、大丈夫です、大丈夫、大丈夫です[笑いながら]。	/	/
91	81	NS4	え、【【。	/	/
92	82	NNS4	【】ただ、うん、今までは(はい)、今まではそんなにたくさん学んでないけど(はい)、そんなに多くないにしても[笑いながら](はい)、とりあえず、その、すみません{<}[笑いながら]。	/	/
93	83	NS4	<すみま>{>}<せん>{>}[笑いながら]。	/	/
94	84	NNS4	<ちょっと>{>}、長い話になり<ましたけど>{>}。	/	/
95	85	NS4	<では>{>}もう【【。	/	/
96	86-1	NNS4	【】えーっとその《少し間》でも(はい)、そ、結局なんかその前の話、うん<質問>{>,,	/	/
97	87	NS4	<大丈夫>{>}ですよ、もう、はい。	yo1	/
98	86-2	NNS4	に対して[笑いながら](はい)、えっとその、副専攻はその結局、まあなんか言語も実は私興味があります<けど>{>}。	/	/
99	88	NS4	<えええ>{>}やっぱり。	/	/
100	89	NNS4	言語、言語にも興味があつて(はあ)、まあ国家、中学校から習うような言語を習いました。	/	/
101	90	NS4	おお、すごいですね。	ne2	/
102	91	NNS4	そして、その、その私の大学のライブチヒ大学は私は、私に(はいはい)入った大学は(はい)、なんか言語学として有名(へえ)、言語##で有名なので、そのいろいろな勉強、あああ言語を…習いました。	/	/
103	92-1	NNS4	そして私は、もっといろいろ(はい)、まあ、ただ、なんか無関係な言語を…まあ、日本と<無関係な>{>,,	/	/
104	93	NS4	<関係>{>}ない。	/	/
105	92-2	NNS4	言語を選んだら、ちょっと変になるんですけど[少し笑いながら](ふふふ)。	/	/
106	94	NS4	ふふふ、いえいえ【【。	/	/
107	95	NNS4	【】まあなんか就、就活の面でね(ああ)、そして、その時はなんかど、どんな言語を…学んだらいいか考えて(はい)。	/	/
108	96-1	NNS4	そしてその日本語を関係ある、その最初は(はい)、まあ、中国語とインドネシア語を,,	/	/
109	97	NS4	インドネシア語を。	/	/
110	96-2	NNS4	勉強しました(へー)=。	/	/
111	98	NNS4	=ただ、インドネシア語は、えーっとその大学はただ、一年間だけの(はい)、そのそれは、初級レベルだけです。	/	/
112	99	NS4	あー。	/	/

113	100	NS4	それだからあんまり(はい)、話せるようにはならなかったですね。	ne1	/
114	101	NNS4	そう。	/	/
115	102	NS4	え、中国語は?、<中国語は>{<} 【 【。	/	/
116	103	NNS4	】<中国語は>{<}、ずっと続いて(おお)、そしてあとはもう中国語だけじゃなくて、まあ中国史と…まあだいたい中国史を選んで(へえ)、そしてその…まあ、最初からその計画がなかったんですよ(はい)。	yo2	/
117	104	NNS4	結局、なんか東アジアに、専攻になります[軽く笑いながら]、<私の>{<} 【 【。	/	/
118	105	NS4	】<ああ>{<}、なるほど(はい)、日本とか中国語とか(はい)いろいろ 【 【。	/	/
119	106-1	NNS4	】そして、まあ将来もなんかあの、,	/	/
120	107	NS4	将来?。	/	/
121	106-2	NNS4	大学先生は(はい)、えっと、大学先生にはいつて、そのなんか朝鮮についても、まあ朝鮮、<韓国と>{<}、,	/	/
122	108	NS4	<韓国>{<}。	/	/
123	106-3	NNS4	北朝鮮についても(はい)、まあ勉強したいという、つ、つもりです。	/	/
124	109	NS4	おおお。	/	/
125	110	NNS4	まあ勉強したいと思ってます。	/	/
126	111	NS4	でもまだ韓国語は話せ…ません[↑]?	/	/
127	112	NNS4	ああ韓国語は、あーなんか千葉大学で(はい)、今学期から(おお)、はじめました。	/	/
128	113	NS4	おおお、すごいですね、なんか 【 【。	/	/
129	114	NNS4	】】そして、まあもちろん、なんか千葉大学でも中国語の勉強を続け、続けてます。	/	/
130	115	NS4	はい[強い発音で](はい)、ってことはもう今は五カ国マ、五カ国語、ドイツ語と英語と日本語と、あと中国語と(はい)いま韓国語をいま勉強して(はい)、でも五ヶ国語をマスターしてるって、マスターしようとしてる、<すごい>{<}。	/	/
131	116	NNS4	<まあ>{<}、そのマスター(ふふふ)に、日本語のあの言葉がその、マスターということばが使い方が(ああ)、よくわからない[笑いながら]。	/	/
132	117	NS4	ああ、ははは[笑いながら]。	/	/
133	118	NNS4	でも他のが、がい、まあ、が私の言語でまあ、母語でも(はい)、そのようなマスターのゆうな、こ、言語の、使い方がありますが、でも私にとってなんか(はい)はいはい)、言語をマスターする…ことができません[↑]。	/	/
134	119	NNS4	ただ、なんかなんか母語者でも(はい)、まあなんかいつも、なんかほ、いろいろあったな、あつたり(はい)、なんか言葉をみにつけられると思います。	/	/
135	120-1	NNS4	そして、,	/	/
136	121	NS4	そうですね、<つまり、言語話すより、はいはい>{<} 【 【。	/	/
137	120-2	NNS4	】<だからその、なんかマスタ、マスターした>{<}、レベルが…なんか自分の中で(そうですね)達していないです。	/	/

138	122	NNS4	<いつもは、なんか><【 【。	/	/
139	123	NS4	】<ずっと、常に母語で勉強でもして><{> (はい)、終わりはいいですね、その(はい)、日本語でも、母語でも、他の外国語でもマスターし【 【。	ne3	/
140	124	NNS4	】 たぶん、たぶん他の…なんか他の、科目もそうですね。	ne5	/
141	125	NS4	そうですね。	ne5	/
142	126	NNS4	<たぶん><{>。	/	/
143	127	NS4	<別に><{> 言語以外にもついても<言える><{>。	/	/
144	128	NNS4	<うん><{> そうですね。	ne5	/
145	129	NS4	すごいですね。	ne2	/
146	130-1	NNS4	だから,,	/	/
147	131	NS4	ははは[軽くわらって]。	/	/
148	130-2	NNS4	ですからそれは…なんか《少し間》、まあでも(はいはい)、そこはいいことだと思います。	/	/
149	132	NS4	さっきちょっと、話聞いて気になったんですけど(はい)、その、日本で興味もった、日本のアニ、アニメって(はい)、なんですか?。	/	/
150	133	NS4	アニメの(ああ)<種類><{>。	/	/
151	134	NNS4	<どうして><{> アニメが好きですか?。	/	/
152	135	NS4	いやいや、ちがうアニメの、種類。	/	/
153	136	NNS4	ああ、はい。	/	/
154	137	NS4	どんなアニメが好きですか。	/	/
155	138	NNS4	ああ、私は、まあ実にはいろいろな種類が好きですが(はい)、もっとも好きですがは、歴史的なアニメと(はいはい)、ミステリー…アニメですけど。	/	/
156	139	NS4	ミステリーアニメ。	/	/
157	140	NNS4	まあ、ミステリーといえば…だいたい(はい)たぶんまあ、そう国によってかどうかわかりませんが(はいはい)。	/	/
158	141	NNS4	ミステリーというなんか…ミステリーというアニメの(はい)、なんか範囲がだんだん、ひろがっていますけど、(はいはいはい)。	/	/
159	142-1	NNS4	実は私が好きなのは、なんか…もっとなんていうか…せん…ちがう二千世紀のはじめの、なんか,,	/	/
160	143	NS4	20 世紀の。	/	/
161	142-2	NNS4	イギリスの…なんていう、日本語で…えーっと《少し間》、探偵?じゃなくて、探偵、まあ推理小説かな、推理小説(はいはい)をもとにして、(はい)、日本にも、まあ日本にも今でも、人気な#種類なので(はい)、私にとってすごく面白いです。	/	/
162	144	NNS4	た、ただ、それは(はい)、アニメのなかであんまりないです[笑いながら]。	/	/
163	145	NNS4	ふふふ[笑って]。	/	/

164	146	NNS4	あ、(ええ)でも時々、そのなんか(はい)、有名な小説が(はいはいはい)アニメ化して(はい)、そういえばすごくおい、まあ私にとってすごく嬉しいんです。	/	/
165	147	NS4	へえー。	/	/
166	148-1	NNS4	あとは、<まあそれはなんか基本>{<},,	/	/
167	149	NS4	<結構歴史的な>{<}。	/	/
168	148-2	NNS4	基準てきな(はい)、基準的な、基準じゃなくてえっと…なんていう、普通の種類… あああ、なんていうかなあ。	/	/
169	150	NS4	ふふ、いや大丈夫です[笑いながら]。	/	/
170	151	NNS4	す、推理小説では(はい)なくて(はい)、でも、そのなんか、魍魎の匣という小説…。	/	/
171	152	NS4	もようのはく?。	/	/
172	153	NNS4	魍魎の匣。	/	/
173	154	NS4	もんようのはく。	/	/
174	155	NNS4	という小説(おおすごい)、しますか、<知ってますか?>{<}。	/	/
175	156	NS4	<いやああ>{<}知らないです。	/	/
176	157-1	NNS4	<それは>{<},,	/	/
177	158	NS4	<いやあ>{<}なんかちゃんとした、なんか<すごい>{<}【【。	/	/
178	157-2	NNS4	】<それは>{<}もう歴史と(はい)、あああミステリーも入ってます。	/	/
179	159	NNS4	それはなんか、昭和な、な、せん、せん、戦後?のまあ昭和時代の、なんていう… えーっ、じん…殺人[↑](ふふ)事件について(はい)、なんですけど(はいはい)。	/	/
180	160-1	NNS4	それがいろいろな…まあちょっと(はい)、そのどうすればいいかな、たんたん探偵 探偵もいますし(はい)、でもその、住所は魍魎という言葉の(はい)概念と(はい)、 その…あーなんていう、妖精[↑],,	/	/
181	161	NS4	妖精?。	/	/
182	160-2	NNS4	うーん、そのなんか、古いから、化物みたいなものは。	/	/
183	162	NS4	<ああ、化物>{<}、幽霊。	/	/
184	163	NNS4	そして、その、そしてそのゆうれ、まあ幽霊(幽霊)と妖精と、(はい)箱を、あとな んか箱がいろいろな感じがあって(はいはいはい)、その箱のなかが感じによって、 概念がちがって(はい)、それは妖精と関連して、えーそしてそれはだいたい、なん か仏教も(はいはい)哲学も、まあ哲学的な問題もも(はい)あがって、それはなんか その人殺事件と関係が(おお)あるんですよ。	yo3	e3
185	164	NS4	おおお、<すごく深い、ふふふ[笑いながら]>{<}。	/	/
186	165	NNS4	<すごく面白い、ふふふ[笑いながら]>{<}、です。	/	/
187	166	NS4	すごい。	/	/
188	167	NNS4	はい。	/	/
189	168	NS4	ああ、<####>{<}。	/	/

190	169	NNS4	<でも、残念>{>}なのは、その小説…は自分、あ自体は(はい)まだ呼んでませんけど(はい)、でも将来は、まあもうすぐ、是非読みたいです。	/	/
191	170	NS4	ああ。	/	/
192	171	NNS4	ただ、私の読むレベルはまだ、ちょっと低い、ははは[軽く笑う]。	/	/
193	172	NS4	いや、でも僕もそういう本はあまり読まないんで(ええ)。	/	/
194	173	NS4	やっぱ、そこまで理解しようとして(はい)、でなんか、その、そのレベルに達しようとしてるってすごく(はい)、日本語でも、てか、その小説の(はい)、その理解しようとしてるレベルがとても高くて、すごい羨ましく思う>{>}。	/	/
195	174	NNS4	<そうですね>{>}、でも<ですからたぶん私も>{>}【【。	/	/
196	175	NS4	】<まったくもう>{>}、なんかしてるかなって日本人だから(はあ)知ってるかなっておもったらまったく、なんかすごい、自分でなんか、選んでもっとなんか(はい)結構マニアックな本も読まれてるみたいな(ははは)、あんまり日本人で<有名ではない>{>}。	/	/
197	177	NNS4	<まあ、そうですね>{>}、ただ、でも、えーまああそしてそれも、その本もたぶんまあ例えば私、今その本をよめば多分日本語がわからないんです。	/	/
198	178	NNS4	でもそれもなんか(はいはい)、私の日本学の研究と関連して、もしかしたら、なんか五年あとも、もういちど(はいはい)読んだら(おお)、たぶんもうすごく…、もう深くわかるようになりますと思います。	/	/
199	179	NNS4	そして、まえになんか(はい)、ドイツでは、他のあー…まあ日本人[↑]留学生と(はい)話してましたけど、それはほんくろいなか、なんていう愛読者…。	/	/
200	180	NS4	愛読書、愛読者、<愛読者>{>}。	/	/
201	181	NNS4	<はいはい>{>}。	/	/
202	182-1	NNS4	そうすると、<彼は多分マニアック>{>},,	/	/
203	183	NS4	<本を読むのが好きですか>{>}。	/	/
204	182-2	NNS4	とゆいますか、いえるかもしれませんが(はいはい)、それはその本が知っていました。	/	/
205	184	NNS4	その魍魎の匣(ああ)という本をしってました。	/	/
206	185	NS4	その、日本人のこがしってた?。	/	/
207	186	NNS4	はい。	/	/
208	187	NS4	やっぱぼくは、あんまり本を読まないんで、(ああ、そうですか)うん、アニメも見ないし、漫画も読まないし。	/	/
209	188	NNS4	それは別に…。	/	/
210	189	NNS4	《少し間》え、すみませんもう一度(え)名前をきいてもいいですか?[少し笑いながら]>{>}。	/	/
211	190	NS4	<あ、「NS4 の下の名前」です>{>}。	/	/

212	191	NNS4	「NS4 の下の名前」？。	/	/
213	192	NS4	「NS4 の下の名前」。	/	/
214	193	NNS4	「NS4 の下の名前」。	/	/
215	194-1	NNS4	「NS4 の下の名前」さんは、まあしょうたさんは本，	/	/
216	195	NS4	<本は読まないです>{<}。	/	/
217	194-2	NNS4	<まあ本じゃなくて何>{>}が好きですか？。	/	/
218	196-1	NS4	ああ，	/	/
219	197	NNS4	まあ、趣味とか。	/	/
220	196-2	NS4	趣味は野球をみることですね。	ne3	/
221	198	NNS4	ああー、そうですか。	/	/
222	199	NS4	はい、千葉だったら、日本のプロ野球をみるのが好きです。	/	/
223	200	NNS4	ああー。	/	/
224	201	NS4	あんまり、そのアメリカのメジャーリーグとかみないで【【。	/	/
225	202	NNS4	】】あ、日本の。	/	/
226	203	NS4	日本の、はい。	/	/
227	204	NS4	毎日その試合の結果チェックして(はい)それでまあ、もともとその小学生のときに 野球やってて(ああそうですか)、それで、はい【【。	/	/
228	205-1	NNS4	】】<なんか今でも>{<}，，	/	/
229	206	NS4	<野球やりたいな>{>}。	/	/
230	205-2	NNS4	なんか、千葉大学に、の…なんていう野球部[↑]に<はいって>{<}。	/	/
231	207	NS4	<野球部には>{>}入っていないです。	/	/
232	208	NNS4	ああそうですか、でも【【。	/	/
233	209	NS4	】】野球サークルに入っています。	/	/
234	210	NNS4	ああ、そうですか。	/	/
235	211	NS4	はい。	/	/
236	212	NNS4	ああ、そうですか。	/	/
237	213	NS4	はい、野球好きですね。	ne3	/
238	214-1	NNS4	ふん、じつは私はもうなんか、<野球>{<}，，	/	/
239	215	NS4	<なんかスポーツ>{>}【【。	/	/
240	214-2	NNS4	】】興味がありますが、ただ私はいまでも、なんかその野球のルールが(ふふふ)、 よくわからない(ふふふ)[笑いながら]。	/	/
241	216	NS4	昔からヨーロッパではあまり野球はやらない？。	/	/
242	217	NNS4	そうですね、うん、ドイツではなんか(はい)一回野球の試合みましたが(はい)。	/	/
243	218	NNS4	でもただその、その野球クラブは(はい)私のまあ実家から(はい)ずーっと離れて [笑いながら](ふふふ)。	/	/

244	219	NS4	あんまりやるばしょがないですね。	yone1	/
245	220	NNS4	うん、そしてまあライブチヒでは、なんかまあとりあえず野球部にはいったんですが(はい)、実はあんまり参加してなかったんです[笑いながら]。	/	/
246	221	NS4	ふふふ。	/	/
247	222	NNS4	そのなんか、まあ私はもともと(はい)あんまりスポーツがにが、まあ苦手じゃなくて、ただ、だいたい興味がなくてもうなんか、(はいはい)なんとか野球に楽しそう[笑いながら]。	/	/
248	223	NS4	楽しそう?。	/	/
249	224	NNS4	うん、そう思います。	/	/
250	225	NNS4	ああ、そして【【。	/	/
251	226	NS4	【】 あ、すみません、名前聞いても、もう一回、いいですか[軽く笑いながら](ああ)。	/	/
252	227	NNS4	レース。	/	/
253	228	NS4	レースさんは、ええ、なんかスポーツとか、得意なのとか、好きなスポーツとかないんですか?。	/	/
254	229-1	NNS4	うーん、あんまりない、まあなんていう…,,	/	/
255	230	NS4	得意?。	/	/
256	229-2	NNS4	なんか、Eスポーツというのを知ってますか[笑いながら]?。	/	/
257	231	NS4	Eスポーツ?。	/	/
258	232	NNS4	うん。	/	/
259	233	NS4	Eスポーツ?、ウィースポーツ?。	/	/
260	234-1	NNS4	####[笑いながら]、なんか英語のE,,	/	/
261	235	NS4	Eスポーツ?、きいたことない。	/	/
262	234-2	NNS4	そう、あのなんか電子のスポーツ。	/	/
263	236	NS4	えー[軽く笑う]、なんかすごい。	/	/
264	237	NNS4	それが好き[笑いながら]。	/	/
265	238	NNS4	そういうのが<好き>{<}	/	/
266	239	NS4	<パソコン>{<}とか使ってやるんですか?。	/	/
267	240	NNS4	はいはいはいはい。	/	/
268	241	NS4	頭つかう<感じ>{<}	/	/
269	242	NNS4	<ほ、ほかには>{<}ない、まああるけど、ただそうあだいたい動かないスポーツかな[笑いながら]。	/	/
270	243	NS4	へえー、へへへ[笑いながら]。	/	/
271	244-1	NNS4	えー、なんていう、えーなんていう、日本語でえっとその、まあ机があって(はい)、そのなんていうんだ、長い棒があって(はいはい)、えー,,	/	/

272	245	NS4	あーなんか【【。	/	/
273	244-2	NNS4	】玉があってその玉を棒で(はい)、なんていう…【【。	/	/
274	246	NS4	】あーそのなんか見えないけど、そういうふうに電子上でなんかそういうふう にゲームやるみたいなスポーツですか？。	/	/
275	247	NNS4	いや、なんかその、なんていうかな、なんていう日本語で話そう(ははは)、あのそ のテーブルは(はい)6つの穴があって、そしてその玉はこの穴に…。	/	/
276	248	NS4	なんかビリヤードに近い。	/	/
277	249	NNS4	はいはい、ビリヤード、ビリヤード。	/	/
278	250	NS4	ビリヤード、ビリヤード?[笑いながら]。	/	/
279	251	NNS4	あ、ビリヤードといいますか…【【。	/	/
280	252	NS4	】ビリヤードですね、へへへ[笑いながら]。	ne3	/

データ 5

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS5	こんにちは。	/	/
2	2	NNS5	こんにちは。	/	/
3	3	NNS5	初めまして。	/	/
4	4	NS5	はい。	/	/
5	5	NNS5	「NNS の名前」と申します。	/	/
6	6	NS5	「NNS の名前」。	/	/
7	7	NNS5	はい、インド出身です。	/	/
8	8	NS5	はい。	/	/
9	9	NNS5	よろしく<お願いします>{<}>。	/	/
10	10	NS5	<よろしくお願いします>{<}>。	/	/
11	11	NS5	と、私は「NS の名前」です。	/	/
12	12	NNS5	「NS の名前」…[「NS の名前」の一部を繰り返す]。	/	/
13	13	NS5	「NS の名前」。	/	/
14	14	NNS5	はい。	/	/
15	15	NS5	と、今、3年生、学部3年生です。	/	/
16	16	NNS5	学部3年生[小さい声で]。	/	/
17	17	NS5	お願いします。	/	/
18	18	NNS5	専門は何ですか?。	/	/
19	19-1	NS5	と、あのー《少し間》、研究室は多言語多文化接触論という、,	/	/
20	20	NNS5	はい。	/	/
21	19-2	NS5	ところにいるんですけど。	/	/
22	21-1	NS5	と、3年次論文[↑],,	/	/
23	22	NNS5	ああ。	/	/
24	21-2	NS5	があるんですけど、それは、と、日本在住のトルコ人[↑],,	/	/
25	23	NNS5	ああ。	/	/
26	21-3	NS5	の言語意識、とかを<やろうかなあって>{<}>,,	/	/
27	24	NNS5	<へー、面白い>{<}>。	/	/
28	21-4	NS5	思ってます。	/	/
29	25	NNS5	はは。	/	/
30	26-1	NS5	何を《少し間》せん,,	/	/
31	27	NNS5	あつ。	/	/
32	26-2	NS5	研究とか、専門[小さい声で]。	/	/

33	28	NNS5	ああ、T 大学では(はい)日本語と(ああ)日本の文化が専門で(はい)、あ、まあ、### と無宗教について、論文書いてます。	/	/
34	29	NS5	へー、あつすごい。	/	/
35	30	NNS5	はい[やや笑いを含んで]。	/	/
36	31	NS5	今いくですか[声が小さくなる]、なん。	/	/
37	32	NNS5	23 歳です。	/	/
38	33	NS5	あつ 23 歳、あつ。	/	/
39	34	NNS5	いくつですか。	/	/
40	35	NS5	20[「にじゅう」と発音]です。	/	/
41	36	NNS5	あ、そうか。	/	/
42	37	NNS5	[なんか話そうとしている様子を見せる]。	/	/
43	38	NS5	はい、いつ、あ、なんで[声が小さくなる]。	/	/
44	39	NNS5	あ、どうぞどうぞ。	/	/
45	40	NS5	あつ、いつから日本にいるんですか?、今。	/	/
46	41-1	NNS5	去年の、10 月[↑],,	/	/
47	42	NS5	10 月。	/	/
48	41-2	NNS5	9 月の終わりから、(ああ)今年の 8 月の終わりまで。	/	/
49	43	NS5	あつ、あと少し、8 月。	/	/
50	44	NNS5	そう、8 月に帰りますが。	/	/
51	45	NS5	と、何を聞こうと、そう言えば。	/	/
52	46	NNS5	ああ、なんか旅行に行く…<と聞いたら><[声が小さくなる]。	/	/
53	47	NS5	<ああ、ああ、><>夜からベトナムに。	/	/
54	48	NNS5	あつ、今日?。	/	/
55	49	NS5	うん、今日、ははは。	/	/
56	50	NNS5	どれぐらい?。	/	/
57	51	NS5	あ、もう 4 日間だけで(ああ)、金曜日に帰ってきます。	/	/
58	52	NNS5	あ、そうですか。	/	/
59	53	NNS5	友達と?。	/	/
60	54	NS5	そう…です。	/	/
61	55	NNS5	へー。	/	/
62	56	NS5	インドのどこから来たんですか?。	/	/
63	57	NNS5	「場所 A」、西いん、(ああ)「場所 B」知ってますか?。	/	/
64	58	NS5	あ、はい、分かります。	/	/
65	59	NNS5	「場所 B」の近くの町。	/	/
66	60-1	NS5	ふーん、なんか私インドカレーが大好きで、,	/	/

67	61	NNS5	ああ、そうなんですか。	/	/
68	60-2	NS5	なんか、週に1回ぐらい近所のインドカレー[笑いながら]とか、<食べに>{<}。	/	/
69	62	NNS5	<へー>{<}、どんなカレーが好きですか?。	/	/
70	63-1	NS5	あの一、ほうれん草[↑],,	/	/
71	64	NNS5	ああ。	/	/
72	63-2	NS5	入った、さぐー[↑]。	/	/
73	65	NNS5	サーグ。	/	/
74	66	NS5	サーグなん、とかが好きで。	/	/
75	67	NNS5	ああ、はは、そうですか、はは。	/	/
76	68	NS5	あと、辛いものが好きくなんで>{<}。	/	/
77	69	NNS5	<あ、好き>{<}、私辛いもの<食べれない>{<}。	/	/
78	70	NS5	<ははは、食べれない>{<}。	/	/
79	71	NNS5	インド人なのに食べれない、ふふふ。	/	/
80	72	NS5	そう、だから来年[↑],に、あの一友達とインド,<行こうって、話して>{<}。	/	/
81	73	NNS5	<えっそうなんですか>{<}。	/	/
82	74	NNS5	来たら連絡してください{<}。	/	/
83	75	NS5	<はい、ははは>{<}。	/	/
84	76	NS5	そう、今、こっちは一人で《少し間》、あっ寮?。	/	/
85	77	NNS5	ああ、寮、稲毛寮。	/	/
86	78	NS5	ああ、稲毛寮に中国人の友達いて。	/	/
87	79	NNS5	うん、誰?。	/	/
88	80	NS5	えっと、なんか日本、の名前でアオイちゃんって…。	/	/
89	81	NNS5	ああ、はいはい。	/	/
90	82	NS5	あ、わかりますか。	/	/
91	83	NNS5	あ、なんか同じ階で住んでいる[やや笑いを含んで]。	/	/
92	84	NS5	あ、そうなんですか。	/	/
93	85	NNS5	そうそうそう。	/	/
94	86-1	NS5	で、その子、と、前、私の研究室で、あの一、なんか調査をして(ああ)、こういう感じの会話を取ったときに、(ああ)アオイちゃんと喋って,,	/	/
95	87	NNS5	ああ、そうかそうかそうか。	/	/
96	86-2	NS5	それ以来…。	/	/
97	88	NNS5	アオイ知っています、ははは。	/	/
98	89	NS5	仲いいんですか?。	/	/
99	90	NNS5	あっ。	/	/
100	91	NS5	ちょっと話す程度。	/	/

101	92	NNS5	そうそうそう、なんか会ったら話す(ああ)ぐらい。	/	/
102	93	NS5	なんで日本, 語勉強しようと思ったんですか?。	/	/
103	94-1	NNS5	ああ、なんか、父が日本が好きで、,	/	/
104	95	NS5	へー。	/	/
105	94-2	NNS5	ずっと子供のごろから日本[↑], (ああ)憧れだったから。	/	/
106	96	NS5	へー、お父さん好きなんですか?。	/	/
107	97	NNS5	そうですね。	ne3	/
108	98	NNS5	日本語喋れないけど、〈好き〉{<}。	/	/
109	99	NS5	〈あつ〉{>}、ははは。	/	/
110	100	NNS5	ははは、そうです。	/	/
111	101	NS5	いやうれしい。	/	/
112	102	NNS5	そうですね。	/	/
113	103	NS5	日本語難しくないですか?。	/	/
114	104	NNS5	難しい、漢字が。	/	/
115	105	NS5	ああ。	/	/
116	106	NNS5	全然分からない、はは。	/	/
117	107	NS5	私も漢字難しい、はは。	/	/
118	108	NNS5	はは、ふーん[↓]。	/	/
119	109	NS5	《少し間》日本の文化もやってるんですか?。	/	/
120	110	NNS5	うん。	/	/
121	111	NS5	ああ。	/	/
122	112	NNS5	そう、うん。	/	/
123	113	NS5	なんか、《少し間》好きな《少し間》アニメとか好きなんですか?。	/	/
124	114	NNS5	あつドラマが好き。	/	/
125	115	NS5	へー、なんのドラマ?。	/	/
126	116	NNS5	ドラマ、綾瀬はるかのホテルの光が一番好き。	/	/
127	117	NS5	ああ、私も大好き。	/	/
128	118	NNS5	そう、嵐。	/	/
129	119	NS5	嵐[↑]。	/	/
130	120	NNS5	そう、嵐が大好き。	/	/
131	121	NS5	の中では誰かがいるの?。	/	/
132	122	NNS5	ああ、大野君、ははは。	/	/
133	123	NS5	大野君、はは、いいよ、いいですよ、はは。	yone1	/
134	124	NNS5	ははは、そうですね。	ne5	/
135	125	NNS5	《少し間》好きですか、なんか歌手とか。	/	/

136	126-1	NS5	あっ、私…も、前嵐が好きで、だからアイポット[↑],,	/	/
137	127	NNS5	ああ。	/	/
138	126-2	NS5	の中にいっぱい嵐入ってる。	/	/
139	128	NNS5	嵐の誰が、好きですか[声が小さくなる]？。	/	/
140	129	NS5	ああ、相葉、ちゃんが好き、でした、ふふふ。	/	/
141	130	NNS5	ああ、ふふ、そうですか。	/	/
142	131	NS5	なんか、面白い、から。	/	/
143	132	NNS5	ああ。	/	/
144	133-1	NS5	そう、でも大野君、が一番歌がうまいと,,	/	/
145	134	NNS5	ああ。	/	/
146	133-2	NS5	思います。	/	/
147	135	NNS5	コンサートとか行きましたか？。	/	/
148	136	NS5	行ったことない、行ったことある？。	/	/
149	137	NNS5	あっ、コンサートじゃなくて、###[↑]。	/	/
150	138	NS5	おお、えー[声が大きくなる]。	/	/
151	139	NNS5	先週…行きました。	/	/
152	140	NS5	えっえっ、行ったんですか？。	/	/
153	141	NNS5	ふふふ、そうです。	/	/
154	142	NS5	どこで？。	/	/
155	143	NNS5	東京ドーム。	/	/
156	144	NS5	ああ。	/	/
157	145	NNS5	うんうん。	/	/
158	146	NS5	面白かった？。	/	/
159	147	NNS5	うんうん、面白かった、ふふふ。	/	/
160	148	NS5	<いいな>{<}。	/	/
161	149	NNS5	<なんか>{>} 夢みたいだった、嵐、<ははは>{<}。	/	/
162	150	NS5	<ははは>{>}。	/	/
163	151	NNS5	ずっと好きだったから。	/	/
164	152	NS5	えっ、申し込んだ、の、お、あれって抽選なんですか？。	/	/
165	153	NNS5	あっそうそうそう。	/	/
166	154	NS5	当たったんですか？。	/	/
167	155-1	NNS5	あっ、なんか友達の、チケット(ああ)、うっ、友達が行けなくなったから,,	/	/
168	156-1	NS5	あっ,,	/	/
169	155-2	NNS5	うん。	/	/
170	156-2	NS5	すごい、運がいい。	/	/

171	157	NNS5	ははは。	/	/
172	158	NS5	へー。	/	/
173	159	NNS5	そう。	/	/
174	160	NS5	いいな、嵐, 見たことない。	/	/
175	161	NNS5	ああ。	/	/
176	162-1	NS5	なんか、関ジャニエイト[↑],,	/	/
177	163	NNS5	あっ関ジャニー。	/	/
178	162-2	NS5	が、なんか、24時間テレビって, 知って[声が小さくなる]…ます?。	/	/
179	164	NNS5	あっ【【。	/	/
180	165-1	NS5	】】なんか日本の番組で, あって, その司会を毎年(はい)、あの一出る人が違って,,	/	/
181	166	NNS5	ああ。	/	/
182	165-2	NS5	で、たまたま行ったときが関ジャニエイトで,,	/	/
183	167	NNS5	ああ[↑]。	/	/
184	165-3	NS5	関ジャニエイトは見たけど。	/	/
185	168	NNS5	えっえっえー。	/	/
186	169	NS5	嵐じゃなかった。	/	/
187	170	NNS5	ああ、はは。	/	/
188	171	NS5	はは、惜しいと思う。	/	/
189	172	NNS5	はは。	/	/
190	173-1	NS5	そう、《少し間》でもあのホタルの光[↑],,	/	/
191	174	NNS5	うん。	/	/
192	173-2	NS5	で、すごい、綾瀬はるか,,	/	/
193	175	NNS5	はい。	/	/
194	173-3	NS5	グター,,	/	/
195	176	NNS5	《少し間》。	/	/
196	173-4	NS5	あっぐー、うーん、いつも<ジャージ姿で><{>,,	/	/
197	177	NNS5	<ああ、そうそうそう><{>。	/	/
198	173-5	NS5	私もあんな感じです、<ははは><{>。	/	/
199	178	NNS5	<あっそうですか><{>、はは。	/	/
200	179	NS5	そう、ひも、<ひもの><{>。	/	/
201	180	NNS5	<ひもの><{>、ははは。	/	/
202	181	NS5	ははは。	/	/
203	182	NNS5	そう、ホタルの光はたぶん4、5回みた。	/	/
204	183	NS5	あっ, そんなに[↑]。	/	/
205	184	NNS5	うん、大好き。	/	/

206	185	NS5	日本に来てから?。	/	/
207	186	NNS5	<うん、あつ>{<}【【。	/	/
208	187	NS5	】】<向こうで>{>}?。	/	/
209	188	NNS5	うん【【。	/	/
210	189	NS5	】】放送されてるですか?。	/	/
211	190	NNS5	うん、じゃなくて、<YouTube とか>{<}【【。	/	/
212	191	NS5	】】<YouTube>{>}[↑]。	/	/
213	192	NNS5	うんうん、で。	/	/
214	193	NS5	へー。	/	/
215	194	NNS5	そう、ふふ。	/	/
216	195	NS5	えっ人気なんですか?、<じゃなくて>{<}。	/	/
217	196	NNS5	<じゃなくて>{>}、私が好き、はは。	/	/
218	197	NS5	ああ、他にどんなドラマ見たんですか?。	/	/
219	198	NNS5	うん、「花より男子」[↑](ああ)、とか。	/	/
220	199	NS5	ああ。	/	/
221	200	NNS5	たくさん見てる、ふふ。	/	/
222	201	NS5	へー。	/	/
223	202	NNS5	どんなドラマが好きですか?。	/	/
224	203-1	NS5	私、でも花より「男子大好き」で、映画もみつ、	/	/
225	204	NNS5	ああ。	/	/
226	203-2	NS5	見に行ったり、したし、あとこないだ、あんだっけ、「ダメな私に恋をしてくださ い」ってこないだ…、	/	/
227	205	NNS5	ああ[声が大きくなる]。	/	/
228	203-3	NS5	深田恭子と、	/	/
229	206	NNS5	ああ、そうそうそそうそう。	/	/
230	203-4	NS5	そう、りー…、	/	/
231	207	NNS5	そう。	/	/
232	203-5	NS5	あれ…を見て。	/	/
233	208	NNS5	面白かったですか?。	/	/
234	209	NS5	面白かったです。	/	/
235	210	NNS5	あっそうか。	/	/
236	211	NS5	そう。	/	/
237	212	NS5	[沈黙 1 秒]映画が好きで、けっこう。	/	/
238	213	NNS5	ああ。	/	/
239	214	NS5	なんだろうな。	/	/

240	215	NNS5	私この前【【。	/	/
241	216	NS5	】】 なになに?。	/	/
242	217-1	NNS5	あっ《少し間》「世界から猫が消えたら」,,	/	/
243	218	NS5	あっ見たんですか>{<}。	/	/
244	217-2	NNS5	<見た>{<}。	/	/
245	219	NS5	見たい。	/	/
246	220	NNS5	ずっと<泣いてた、ははは>{<}。	/	/
247	221	NS5	<泣いた、はは、えー>{<}。	/	/
248	222	NNS5	そう。	/	/
249	223	NS5	すごい見たい。	/	/
250	224	NNS5	<よかった>{<}。	/	/
251	225	NS5	<面白かった>{<}?。	/	/
252	226	NNS5	面白かった。	/	/
253	227	NS5	うーん、泣ける?。	/	/
254	228	NNS5	うん、ずっと。	/	/
255	229	NS5	ずっと、ははは。	/	/
256	230	NNS5	ずっと。	/	/
257	231	NS5	あれ誰が出るん、誰が出てたんだっけ。	/	/
258	232	NNS5	あっ、でも名前分からない。	/	/
259	233	NS5	ずっと泣ける?。	/	/
260	234	NNS5	うん、ふふ。	/	/
261	235	NS5	あれ、猫も消えちゃうんですか?。	/	/
262	236	NNS5	あっ、猫は《少し間》消えないけど、そうなったら、<どうなるか>{<}。	/	/
263	237	NS5	<ああどうなる>{<}。	/	/
264	238	NNS5	うんうん。	/	/
265	239-1	NS5	あれ、なんだっけ、寿命[↑]、命と引き換えにどんどん消えちゃう,,	/	/
266	240	NNS5	あ、そうそうそうそう。	/	/
267	239-2	NS5	と言って。	/	/
268	241-1	NNS5	なんか、脳の,,	/	/
269	242	NS5	病気[↑]。	/	/
270	241-2	NNS5	うんうん、そう。	/	/
271	243	NS5	なんかすごいみたいなあと思って。	/	/
272	244	NNS5	はは。	/	/
273	245-1	NS5	あとこないだ、帰ってきたヒトラーって,,	/	/
274	246	NNS5	あっ。	/	/

275	245-2	NS5	今やってるんですけど。	/	/
276	247	NNS5	はい。	/	/
277	248-1	NS5	なんか、現代の世界に(はい)、ヒトラーが、	/	/
278	249	NNS5	ヒトラー[声が小さくなる]。	/	/
279	248-2	NS5	ヒトラー、ヒトラーって、ヒトラー、ヒトラー。	/	/
280	250	NNS5	あつ、ああ、ああ、ヒトラー、ああ、はい。	/	/
281	251	NS5	が、よみがえったら、っていう話。	/	/
282	252	NNS5	えー、見た？。	/	/
283	253-1	NS5	見て、なんかコメディ[↑],,	/	/
284	254	NNS5	あつ、コメディ。	/	/
285	253-2	NS5	って、すごい面白かったけど、すごいシリアスっていうか,,	/	/
286	255	NNS5	ああ。	/	/
287	253-3	NS5	っていうか、怖いなあーと思って、ふふ。	/	/
288	256	NNS5	あつそうか、ふふふ。	/	/
289	257	NNS5	《少し間》###見たかったけど(ああ)、見た？。	/	/
290	258	NS5	ああ、私[↑]、両親が、父と母が見て(ああ)、なんか良かったという。	/	/
291	259	NNS5	ああ、###が好き。	/	/
292	260	NS5	あつ好きなんですか。	/	/
293	261	NNS5	好き。	/	/
294	262	NS5	あの、###[↑]。	/	/
295	263	NNS5	あつ見た。	/	/
296	264	NS5	み、みつ。	/	/
297	265	NNS5	ドラマで「結婚できない男」、ふふ。	/	/
298	266	NS5	ああ、阿部寛格がいい、ふふふ。	/	/
299	267	NNS5	かっこう、くふふふ、そう>{<。	/	/
300	268	NS5	<ふふふ>{>。	/	/
301	269	NS5	すごい、濃い、顔が。	/	/
302	270	NNS5	あーそうそうそう。	/	/
303	271	NS5	しっかり、ほりが。	/	/
304	272	NS5	あと、好きな、俳優さんとかいるんですか？。	/	/
305	273-1	NNS5	小栗旬[↑],,	/	/
306	274	NS5	ああ。	/	/
307	273-2	NNS5	と藤木直人[↑]。	/	/
308	275	NS5	ああ、格がいい、確かに。	/	/
309	276	NNS5	はは。	/	/

310	277	NS5	あの一、「おしゃれイズム」[↑]、藤木…。	/	/
311	278	NNS5	見てない。	/	/
312	279	NS5	あっ見てない、最近見てない?、藤木直人。	/	/
313	280	NNS5	ああ、最近あれ[↑]、うーんなんか、結婚[沈黙1秒]…できない、わけじゃないけど。	/	/
314	281-1	NS5	あっ、〈あーっ〉{<},,	/	/
315	282-1	NNS5	<したくない、なんか、ふふ〉{>},,	/	/
316	281-2	NS5	出た、そういえば出てましたね(そうそうそう)。	ne5	/
317	282-2	NNS5	あれ。	/	/
318	283	NS5	たしかに。	/	/
319	284	NS5	小栗旬、小栗旬花より男子にでてくますよね>{<}[声が小さくなる]。	yone1	/
320	285-1	NNS5	<花より〉{>}男子と、リッチマンブアウーマン,,	/	/
321	286	NS5	あー、あーああー。	/	/
322	285-2	NNS5	石原さとみと。	/	/
323	287	NS5	私あれ見てない(ああ)、面白かったくですか>{<}?。	/	/
324	288	NNS5	<面白>{>}かった。	/	/
325	289	NS5	《少し間》え、日本語で、見て、(うん)わかるんだ、すごい。	/	/
326	290-1	NNS5	あ、でも、英語の,,	/	/
327	291	NS5	あっ、<字幕>{<}。	/	/
328	290-2	NNS5	<サブタイトル>{>}、あ字幕があるから。	/	/
329	292	NS5	すごい《少し間》、なんか《少し間》でも小栗旬、私も好きなんですけど、花より男子に出てた時(はい)、の髪型があんまりすきじゃない<{>}。	/	/
330	293	NNS5	<あ、そう>{>}そう私も。	/	/
331	294-1	NS5	あー、###、なんかうーん,,	/	/
332	295	NNS5	かつこいいけどあの【【。	/	/
333	294-2	NS5	】】かつこいいけど髪が,,	/	/
334	296	NNS5	そうそうそう、私も。	/	/
335	294-3	NS5	今のほうが、<かつこいい〉{<},,	/	/
336	297	NNS5	<かつこいい〉{>}。	/	/
337	294-4	NS5	ですよ。	/	/
338	298	NNS5	はい、ふふふ[少し笑う]。	/	/
339	299-1	NNS5	《沈黙一秒》そう、か、まあ通常の(うん)花より男子では、なんか(ああー)あんまり、なんか、好きだけであの一…。	/	/
340	300	NS5	なんだろう、キャラクター?。	/	/
341	299-2	NNS5	あ、キャラクターじゃなくて、なんか(みたいな)、服とかも(ああー)、<あんまり	/	/

			>{<, ,		
342	301	NS5	<あんまり>{>}。	/	/
343	299-3	NNS5	好きじゃない。	/	/
344	302	NNS5	それより今のほうがもっと(うーん)、かっこいい。	/	/
345	303	NS5	なんか髪の毛もすごい(そうそう)、パーマが強かった[笑いながら]。	/	/
346	304	NNS5	そうそう[笑いながら]。	/	/
347	305-1	NS5	《沈黙2秒》あれ、あと他出てた誰がでてただんだ、あ、なんかその<四人>{<, ,	/	/
348	306	NNS5	<四人>{>}。	/	/
349	305-2	NS5	男の人いて, ,	/	/
350	307	NNS5	外の二人の名前<わかんない、ははは[>{<}笑いながら]。	/	/
351	305-3	NS5	<二人…・私もわかんない、ははは>{>}[笑いながら]。	/	/
352	308	NS5	でもやっぱり、松潤と(松潤)小栗旬がかっこよかった。	/	/
353	309	NNS5	かっこいい、ふふ。	/	/
354	310	NNS5	あの、あれも、福士蒼汰。	/	/
355	311	NS5	あー、好きですか?。	/	/
356	312	NNS5	かわいいと思う。	/	/
357	313	NS5	あー、かわいい[笑いながら]。	/	/
358	314	NNS5	笑顔、スマイルが(ああー)。	/	/
359	315-1	NS5	最近、かわいい人、男の(ああー)俳優さんが, ,	/	/
360	316	NNS5	でて。	/	/
361	315-2	NS5	増え、多い気がする。	/	/
362	317	NS5	あとあの、《少し間》福士蒼汰とかあと、坂口健太郎ってわかります?。	/	/
363	318	NNS5	どんなだろう。	/	/
364	319	NS5	えっと、《沈黙2秒》あーなにに出たんだろう《沈黙2秒》、いまあの、朝ドラマ みってますか?。	/	/
365	320	NNS5	あー、日本に来てから逆にみなくなっちゃった、ふふふ[笑いながら]>{<}。	/	/
366	321	NS5	<あ、みなくなっちゃった、ははは[笑いながら]>{>}。	/	/
367	322	NNS5	<ふふふふ>{<}。	/	/
368	323	NS5	<あ、そっか[笑いながら]>{>}。	/	/
369	324	NNS5	そうそうそう[笑いながら]。	/	/
370	325	NNS5	インドいたときに結構(ああー)見てた。	/	/
371	326	NS5	でも、坂口健太郎、最近のドラマばかり、かもしれない(ああ)。	/	/
372	327	NS5	なんかすごい、なんていう…そう福士蒼汰みたいな雰囲気なの。	/	/
373	328	NNS5	えー、朝口?。	/	/
374	329	NS5	えっと、坂口。	/	/

375	330-1	NNS5	坂口,,	/	/
376	331	NS5	健太郎。	/	/
377	330-2	NNS5	健太郎。	/	/
378	332	NNS5	あとで探して<みる>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
379	333	NS5	<調べて>{<}みて、<ははは[笑う]>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
380	334	NNS5	<ふふふ[笑う]>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
381	335	NS5	そう、なんか、最近ね、柔ら…、雰囲気(ああ)柔らかい人が、多い(おおい、あー)かんじが。	/	/
382	336	NNS5	そっか。	/	/
383	337	NS5	インド《少し間》の映画って、なんか面白いのありますか?。	/	/
384	338	NS5	わたしコメディが大好き{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
385	339	NNS5	<インド>{<}</td>の映画は、踊りとかたくさん(あ、そうなんですか[↑])、踊りと歌。	/	/
386	340	NS5	あー、え、おどれますか?。	/	/
387	341	NNS5	ちょっと。	/	/
388	342	NS5	へー。	/	/
389	343	NNS5	あるからたぶん面白い。	/	/
390	344	NS5	ああ。	/	/
391	345	NNS5	たぶんどんな映画見ても踊りと歌あると思う[笑いながら]。	/	/
392	346	NS5	あ、そうなんですか、ははは[笑う]。	/	/
393	347	NS5	なんかでもインド料理屋、インドカレー屋さんとかでも、テレビとかでよく(ああ)、そういう映像が流れてて、(あーそう)あーなんかすごいいいなって思う。	/	/
394	348	NNS5	だから、全然言語わからなくても、なんとなくわかる、ふふふ[笑う]。	/	/
395	349	NS5	あー、踊りと歌で。	/	/
396	350	NNS5	そうそうそう。	/	/
397	351	NS5	見てみよう。	/	/
398	352	NNS5	はい。	/	/
399	353	NNS5	どこ出身ですか?。	/	/
400	354	NS5	私東京あの、東京ドームの近くなんですよ。	yo2	/
401	355	NNS5	あ、そうですか。	/	/
402	356	NS5	でも、コンサートとかいったことない(ああー)、もったいないけど(ああ)、だからここまで、東京ドーム遠くなかったですか?。	/	/
403	357	NNS5	うん。	/	/
404	358	NS5	一時間ちょっと。	/	/
405	359	NNS5	うん、五十分くらい、たぶん、五十分。	/	/

406	360	NS5	私、あの秋葉原駅(はい)、まで総武線でいって、そっから山手線で10分くらいのところなんで(ああ)、いつも一時間半くらい、家出て(ああ)、つづの、ちょっと遠い(遠い)と思いながら。	/	/
407	361	NS5	《沈黙2秒》稲毛から、自転車です、あ、歩き?。	/	/
408	362	NNS5	うん、自転車。	/	/
409	363	NS5	《少し間》近いですよ。	yone2	/
410	364	NNS5	10分くらい、10分もない。	/	/
411	365	NS5	ああ、いいな。	/	/
412		NS5	こないだ《少し間》、そのあおいちゃんと(はい)もう一人日本人の女の子と、三人で餃子パーティーをして(ああ)。	/	/
413	366	NS5	でも葵ちゃんその日食べすぎたからって言って(うん)、歩いて稲毛寮までかえってきました。	/	/
414	367	NNS5	ええー。	/	/
415	368	NS5	結構遠い。	/	/
416	369	NNS5	ここから?。	/	/
417	370	NS5	うん、こっから。	/	/
418	371	NNS5	あ、三十分。	/	/
419	372	NS5	あー、そうエクササイズするっていって(あーははは)、歩いて帰ってて。	/	/
420	373	NNS5	はは[軽く笑う]。	/	/
421	374	NS5	すごいなっておもしろいながら。	/	/
422	375	NNS5	私、なんか、一人で歩くのは、《少し間》なんかめんどくさくなる、ふふふ[笑う]。	/	/
423	376	NS5	うん、友達と(そう)、だれかと話しながらだったら(そう)。	/	/
424	377	NNS5	大丈夫だけど。	/	/
425	378	NS5	一人だったら。	/	/
426	379	NNS5	ちょっと[少し笑って]。	/	/
427	380	NS5	確かに。	/	/
428	381	NS5	あと、《沈黙2秒》家でインド料理創りますか?。	/	/
429	382	NNS5	あんまり、なんかできない私、くふふふ{<}。	/	/
430	383	NS5	<はははは>{>}。	/	/
431	384	NNS5	あ、でも私、肉魚食べないから(あそっかあ、ああ)、ちょっと難しい。	/	/
432	385	NS5	家、家族みんな?。	/	/
433	386	NNS5	食べない。	/	/
434		NS5	なんかあの一、カナダに留学してたんですけど(ああ)、そのときインド《少し間》、インド出身だけど、ずっとカナダに住んでる(ああ)友達がいる、その子も、あの(ああ)お肉とか魚とか(食べない)食べない(そう)っていって。	/	/

435	387-1	NS5	でもあのインドカレーで別にお肉とかお魚いらない,,	/	/
436	388	NNS5	あ、いらない、そう。	/	/
437	387-2	NS5	いらないから、ほんとにおいしかった。	/	/
438	389	NNS5	そう、ふふふ。	/	/
439	390	NS5	そう、スパイス。	/	/
440	391	NNS5	スパイスがたくさん。	/	/
441	392-1	NS5	あははは、なんかそのホームステイ先が(はい)スリランカ出身の(ああ)夫婦,,	/	/
442	393	NNS5	料理が、ちょっと似てる。	/	/
443	392-2	NS5	似てる、そう、なんかだから家にも、いっぱいスパイスがあつて(ああ)一か月間、そのカレーとか,,	/	/
444	394	NNS5	あつ、ずっと。	/	/
445	392-3	NS5	そう、たべてて、でも私好きだったからすごいうれしくて、逆に日本帰ってきてから、(うん)日本の料理ってすごい、なんだろう、スパイスがきいてないっていうか、(うん、ないない)すごい《少し間》薄いっていう…から、なんか物足りなくて(ああ)〈恋しくなつて〉〈〉。	/	/
446	395	NNS5	〈カナダは〉{ }、留学?。	/	/
447	396	NS5	留学、でもえっと一、三四か月くらい。	/	/
448	397	NNS5	ああ、それは英語?。	/	/
449	398	NS5	英語を勉強しに。	/	/
450	399	NNS5	すごい、カナダのどこですか?。	/	/
451	400-1	NS5	あの一、モンリオールって(ああ)いう、なんかすごいヨーロッパ、東のほうで(うん)、あたし一応学校でフランス語もやってたので、そこの公用語が英語とフランス語で,,	/	/
452	401	NNS5	あ、じゃあカナダ全国はフランス語使えないんですか?。	/	/
453	400-2	NS5	うん、(ああ)西のほうだと全然英語だけで。	/	/
454	402	NNS5	え、でもカナダのフランス語はちょっと違いますね、なんか。	中間	b
455	403	NS5	つて(ああ、ふふ)、そうよく、でも、私ほんとにできないから(ああ)、あの一、ジュヌセバ[↑]? (ああ)、なんかもうそれくらいしかいえなくて[笑いながら]、なんか、そうだから、でもどっちも勉強できたらいいなっておもつて。	/	/
456	404	NNS5	ああ、そうですね。	中間	c
457	405	NS5	そこ行つたんですけど、英語もままなら、なんかそんなできないから(うんうんうん)、結局フランス語は勉強できずに(ああ)。	/	/
458		NS5	しゃべれるんですか?、フランス語も。	/	/
459	406	NNS5	あ、なんか前は、結構しゃべつてたけど(ああ)、最近全然練習してないから、(ああ)読み書きはできるけど、(うん)なんか練習してないからしゃべれなかった。	/	/

460	407	NS5	あ、向こう…じゃあインドで勉強してた?。	/	/
461	408	NNS5	そう。	/	/
462	409	NS5	ああ。	/	/
463	410	NNS5	高校生に(あ)、教えてた。	/	/
464	411	NS5	あ、教えてたんですか。	/	/
465	412	NNS5	そうそうそう、最近全然(いやあ)なんにもやってないから[少し笑いながら]。	/	/
466	413	NS5	発音難しくないですか?。	/	/
467	414	NNS5	うんうん発音ですね。	中間	b
468	415	NS5	なんかRの発音が。	/	/
469	416	NNS5	そうそうそう、、難しい。	/	/
470	417	NS5	なんか、はっかあ。	/	/
471	418	NNS5	そうそうそれ[↑]。	/	/
472	419	NS5	それ、できなくて[笑いながら]。	/	/
473	420	NNS5	そう私もできなくなった。	/	/
474	421-1	NNS5	なんか、前は、	/	/
475	422	NS5	ああできた。	/	/
476	421-2	NNS5	なんか授業とかいったとき、インドでインドの学校の授業は(はい)、フランス語 だったら、フランス語しかしゃべれない↑。	/	/
477	423	NS5	ええー。	/	/
478	424	NNS5	なんか英語とか、全然<だめ>{<}。	/	/
479	425	NS5	<だめ>{>}?。	/	/
480	426	NNS5	だから、頑張って話してたけど、そのあと(ああ)。	/	/
481	427-1	NS5	高校生でフランス語勉強するのって、	/	/
482	428	NNS5	高校と大学。	/	/
483	427-2	NS5	ああ、みんな?。	/	/
484	429	NNS5	あ、じゃない。	/	/
485	430	NS5	ああ。	/	/
486	431	NNS5	なんか私、《少し間》あ、外国語学校(ああ)フランス語と日本語、学びに行ってた から。	/	/
487	432	NS5	へえーすごい。	/	/
488	433	NS5	でもフランス語はむずかしくて。	/	/
489	434	NNS5	難しい。	/	/
490	435	NS5	インド…何語でしたっけ?母語。	/	/
491	436	NNS5	私はマラティー語。	/	/
492	437	NS5	マラティー語の文法って、英語と同じなんですか?。	/	/

493	438	NNS5	ああ、あ日本語とく似てる>{<}。	/	/
494	439	NS5	<日本語>{>}と同じ[↑]。	/	/
495	440	NS5	あ、似てる。	/	/
496	441	NNS5	似てるけど、なんか母語なのに下手。	/	/
497	442	NS5	はははは[笑う]。	/	/
498	443	NNS5	なんか、学校とかは(あー)英語の学校行ってたから(はい)、全然マラティー語はなんか一つの科目としてならって(ああ)、だから(ああ)、なかなか。	/	/
499	444	NS5	じゃあ英語のほうが。	/	/
500	445	NNS5	うん、(ああ)できるけど、マラティー語はできない、<ふふ[笑う]>{<}。	/	/
501	446	NS5	<ふふふ[笑う]>{>}。	/	/
502	447	NS5	ず、家族と話すときはマラティー語?。	/	/
503	448	NNS5	マラティー語と英語(ああ)混ぜて話すから、(へー)うん。	/	/
504	449	NS5	すごい。	/	/
505	450	NNS5	だから、ふふふ、ちょっと。	/	/
506	451	NS5	ふふふ[笑う]。	/	/
507	452	NS5	なんか私の両親どっちも日本語しかしゃべれない、から(ああ)、英語、そう私がたぶん一番英語話せるから(ああ)、旅行いったときか全部私が(あ英語、あー)話さないといけないから[笑いながら]。	/	/
508	453	NS5	なんか父親も、仕事とかでちょっと英語のメールがきたりすると、全部あの訳して(ああー)[笑いながら]いわれる。	/	/
509	454	NNS5	でも日本はたぶん仕事とかも全部日本語だから。	/	/
510	455	NS5	そう。	/	/
511	456	NNS5	うん。	/	/
512	457	NS5	めったに英語使わないっていってて。	/	/
513	458	NS5	でもインド旅行行ったら普通に英語で?。	/	/
514	459	NNS5	英語か、あ、(英語)でも、なんかインドは県[↑]によって(ああ)言語がぜんぜんちがうから(ああそっか)、英語はたぶんほとんど通じる↑。	/	/
515	460	NS5	通じる、ああ。	/	/
516	461	NNS5	でも全然どんな言語、なんかほかの州行ったらなんか外国みたい(ああ)、なんか看板とかも(はい)ほかの言語で書いてあるからぜんぜん読めないし。	/	/
517	462	NS5	ああそうなのか、もう文字自体も?。	/	/
518	463	NNS5	文字自体も違うから。	/	/
519	464	NS5	でも、え、英語はくどこでも通じる>{<}。	/	/
520	465	NNS5	<英語か>{>}、ヒンディー語(ああ)、なんか北とかだったらヒンディー語は通じるけど、南はあんまり通じない(通じない)から、そこは英語(ああ)通じる。	/	/

521	466	NS5	デリーって。	/	/
522	467	NNS5	北。	/	/
523	468	NS5	北か。	/	/
524	469	NNS5	うんうん。	/	/
525	470	NNS5	そう、デリーの人はみんなヒンディー語話してる。	/	/
526	471-1	NS5	うーん、なんか来年旅行いったとき,,	/	/
527	472	NNS5	あ、デリー?。	/	/
528	471-2	NS5	そう、なんかもう、しゅ、そう旅行の本とか読んででもデリーがまあ一番。	/	/
529	473	NNS5	あータージマハルとか[笑いながら]。	/	/
530	474-1	NS5	だから、でも…ヒンディー語しゃべれない、から,,	/	/
531	475	NNS5	あ、でも<英語は大丈夫>{<}。	/	/
532	474-2	NS5	<英語は大丈夫、ああ>{>}。	/	/
533	476	NNS5	うん、そうそう。	/	/
534	477	NNS5	と、外国人だったら、ガイドさんとかは(あー)英語話すから、うん。	/	/
535	478	NS5	そう、インドはすごい(ふふ)、ずっと、なん・・知り合いの人が、インドが一番よ かったっていって(ええー[↑])、そうその人はインドカレー好きだし、(うんう ん)。	/	/
536	479	NNS5	たぶん日本と文化がぜんぜん違うから(ああー)。	/	/
537	480	NS5	なに、日本に来て、なに・・一番驚いたこととかってなんですか?。	/	/
538	481	NNS5	ああ、最初なんか、一番、はじめてきたとき、温泉(ああー[↑])、なんかみんなが 一緒に入ることが、(ああ)なんかすっごいいこうびっくりして。	/	/
539	482	NS5	インドでは入らない?。	/	/
540	483	NNS5	入らない。	/	/
541	484	NNS5	そう、だから全然入れなくて、(ああ)あ、ここに、今年来て(はい)、初めて温泉い ったのは三月(あっ)、そのときまで全然なんか【【。	/	/
542	485	NS5	【】え、でもいったんくです>{<}【【。	/	/
543	486	NNS5	【】<行き>{>}ました。	/	/
544	487	NS5	あー、<そのあおいちゃんは>{<}【【。	/	/
545	488	NNS5	【】<でも外国人の>{>}友達といった。	/	/
546	489	NNS5	みんな初めてだから、<あははは[笑う]>{<}。	/	/
547	490	NS5	<あー、そうか>{>}。	/	/
548	491	NS5	どこいったんですか?。	/	/
549	492	NNS5	北海道の温泉。	/	/
550	493	NS5	え、北海道行ったくんですか>{<}。	/	/
551	494	NNS5	<うん>{>}北海道。	/	/

552	495	NS5	へえーいいなあ。	/	/
-----	-----	-----	----------	---	---

データ 6

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS6	はじめまして><{>。	/	/
2	2	NNS6	<はじめまして><{>。	/	/
3	3	NS6	お名前は、<何というんですか><{>?。	/	/
4	4	NNS6	<そうですね><{>、「NNS21 の名前」[->]です。	/	/
5	5	NS6	何て呼ばれてますか?。	/	/
6	6	NNS6	「NNS21 の名前」《少し間》、あ、もう一度。	/	/
7	7	NS6	何て呼ばれてますか?。	/	/
8	8-1	NNS6	ああ、みんな、「NNS21 の名前」<…か><{>,、	/	/
9	9	NS6	<「NNS21 の名前」><{>…。	/	/
10	8-2	NNS6	「NNS21 の愛称」<でも><{>。	/	/
11	10	NS6	<NNS21 の愛称><{>さん。	/	/
12	11	NNS6	はい。	/	/
13	12	NS6	よろしく願います><{>。	/	/
14	13	NNS6	<願います><{>。	/	/
15	14	NNS6	<お名前は><{>?。	/	/
16	15	NS6	<私><{>…「NS21 の名前」,といます。	/	/
17	16	NNS6	はい、「NS6 の名前」さん<ですね><{>。	ne1	/
18	17	NS6	<はい><{>、ふふふ。	/	/
19	18	NNS6	よろしく願います><{>。	/	/
20	19	NS6	<願います><{>します。	/	/
21	20	NS6	えーどち、フランスってゆってましたよね。	yone3	/
22	21	NNS6	そうです[->]、<はい><{>。	/	/
23	22	NS6	<いいですね><{>、フランス。	ne2	/
24	23	NNS6	ふふ、まあ、ははは。	/	/
25	24	NS6	すごいおしゃれな町,っていうイメージが。	/	/
26	25	NNS6	あ、まあ、確かに、おしゃれなところも多いんですけど。	/	/
27	26	NS6	おしゃれな人多そう。	/	/
28	27	NNS6	えーどうだろうね(ははは)、ははは。	ne3	/
29	28	NNS6	日本人もおしゃれな人が多いと思いますけど、<ははは><{>。	/	/
30	29	NS6	<ああ><{>どうなんですかね[->]。	ne3	/
31	30	NNS6	はい。	/	/
32	31	NS6	なんで日本に留学しようと思ったんですか?。	/	/

33	32	NNS6	そうですね、私はフランスのほうは、日本語…勉強し、勉強したんですね、<あの、先行として><【【。	ne3	/
34	33	NS6	】】<あつフランスの大学で><{}?。	/	/
35	34	NNS6	はい。	/	/
36	35	NS6	あ、そうなんですね。	ne1	/
37	36-1	NNS6	そうですね、あの、そ、卒業するちょっと前には、あのーぶんぶ、文部科学省の(うん)、プログラム…のころ、ことを聞いて、,	/	/
38	37	NS6	うんうん。	/	/
39	36-2	NNS6	あの、そのプログラムは、あのー飛行機、費も【【。	/	/
40	38	NS6	】】 ああ、全部ただで行ける?。	/	/
41	39	NNS6	そうです。	/	/
42	40	NS6	<すばらしい><{}。	/	/
43	41-1	NNS6	<あの><{}、奨学金ももらえ、もらえるし、ああじゃもう1回留学してみようかなと思って、,	/	/
44	42	NS6	うんうん。	/	/
45	41-2	NNS6	T 大学に来ました。	/	/
46	43	NS6	あーそうなんですね。	ne1	/
47	44	NNS6	はい。	/	/
48	45	NS6	じゃあのー、その奨学金とかもらってるから、アルバイトとかあんまりする必要はない、<ですか><{}?。	/	/
49	46	NNS6	<あ、そうですね><{}、あのー、そうですね、あのー全然バイトしなくていいんですけど、いちおうバイト…してみたんですね。	ne3	e1
50	47	NS6	ああ、何やってるんですか?。	/	/
51	48	NNS6	あのー、コーヒー屋さん[↑]。	/	/
52	49	NS6	コーヒー屋さん。	/	/
53	50	NNS6	はい。	/	/
54	51	NS6	へー。	/	/
55	52	NNS6	ふふ。	/	/
56	53	NS6	ふふ、西千葉の、あのー近くですか?。	/	/
57	54	NNS6	あつ、千葉、千葉駅。	/	/
58	55	NS6	千葉駅。	/	/
59	56	NNS6	はい。	/	/
60	57	NS6	あ、そうなんですね。	ne1	/
61	58-1	NNS6	はい、楽しいですけど、,	/	/
62	59	NS6	うんうん。	/	/

63	58-2	NNS6	疲れるんですね、へへへ。	ne3	e1
64	60	NS6	ははは、疲れますよね、アルバイトは。	yone1	/
65	61	NNS6	はい、勉強…になったと思いますけど。	/	/
66	62	NS6	うんうんうん、そうですねー。	yone1	/
67	63-1	NNS6	うん、いちおう勉強になるんだから、	/	/
68	64	NS6	うんうん。	/	/
69	63-2	NNS6	お金は別に安いし。	/	/
70	65	NS6	ははは(ははは)。	/	/
71	66	NNS6	超<安いんですよ>{<}。	yo2	/
72	67	NS6	<時給安い>{>}ですか?。	/	/
73	68	NNS6	安いよ、<ははは>{<}。	yo2	/
74	69	NS6	<ははは>{>}、いくらなんですか?。	/	/
75	70	NNS6	850 円だから。	/	/
76	71-1	NS6	ああでも、私もあのコーヒー屋さんで働いてるんですけど、	/	/
77	72	NNS6	あそうですか。	/	/
78	71-2	NS6	850 円ぐらい、<私も>{<}。	/	/
79	73	NNS6	<ああ、>{>}そうですか(はは)。	/	/
80	74	NNS6	じゃ一緒ですね↑。	ne4	/
81	75	NS6	そう、一緒ぐらいの<金額ですね、ははは>{<}。	ne5	/
82	76	NNS6	<そんなに>{>}、大変な仕事なのにね↑、ははは。	ne4	/
83	77	NS6	ははは。	/	/
84	78	NNS6	ははは。	/	/
85	79	NS6	今はじゃ留学生の寮に住んでるんですか?。	/	/
86	80	NNS6	はい、そうです。	/	/
87	81	NS6	うーん。	/	/
88	82	NS6	稲毛のほうの。	/	/
89	83	NNS6	そしたら私たぶん知り合いいっぱいいる気がするんですけど。	/	/
90	84	NS6	私あの-Aプログラムの(はい)、チューターやってて、S さんって分かりますか?。	/	/
91	85	NNS6	ああ、S さん、<タイの>{<}。	/	/
92	86-1	NS6	<S の>{>}、そうそうそう、	/	/
93	87	NNS6	あ、そうですか。	/	/
94	86-2	NS6	チューターやってるの。	/	/
95	88	NNS6	ああ、いいね。	ne2	/
96	89	NS6	ははは。	/	/
97	90	NNS6	S が優しい。	/	/

98	91	NS6	優しい、ふふふ。	/	/
99	92	NNS6	優しい人、うん、〈大好き〉{〈〉}。	/	/
100	93	NS6	〈最近全然〉{〈〉}会えてないんだけど。	/	/
101	94	NNS6	ああ、そうですね、何してるんだろうね。	/	/
102	95-1	NNS6	〈私も〉{〈〉},,	/	/
103	96	NS6	〈何して〉{〈〉}、ははは。	/	/
104	95-2	NNS6	たまに会うけど,,	/	/
105	97	NS6	うんうんうん。	/	/
106	95-3	NNS6	そんなに会わないですね。	ne3	/
107	98	NS6	そう、Sさんのチューターしているの。	/	/
108	99	NNS6	はい。	/	/
109	100	NS6	だからいっぱい知り合いいるよ[↑]。	yo3	/
110	101	NNS6	ああ、まあ、確かに。	/	/
111	102	NS6	へへへ。	/	/
112	103	NNS6	Sを知り合うと、知り合うから。	/	/
113	104	NS6	そうそう、Sは明るいから、性格が(そうですね)、いろんな人と仲良くなれるから。	/	/
114	107	NNS6	うん。	/	/
115	108	NS6	それで私も友達になれるみたいな感じ。	/	/
116	109	NNS6	はい、うん、彼女は、確かに、仲良く、できる、###し。	/	/
117	110	NS6	ははは、そうだよね。	yone1	/
118	111	NNS6	はい。	/	/
119	112-1	NS6	じゃだれかチューター…つけたりしたんですか、〈日本に〉{〈〉},,	/	/
120	113	NNS6	〈ああはい〉{〈〉}。	/	/
121	112-2	NS6	T大学にきてから。	/	/
122	114	NNS6	はい、あの…あの…後期の時には一人がいて、後はあの…知り合いに変更した[↑]。	/	/
123	115	NS6	知り合いに…?。	/	/
124	116	NNS6	あのー、知り合いに、えー、あのー変えました。	/	/
125	117	NS6	ああ、そういうことか。	/	/
126	118	NNS6	せっかく一緒にマンション住んでるから、一緒に(うんうん)、その時もいろいろ###だから(うんうん)、まあ、じゃそういうふうやってるから、じゃ、(うんうん)この人にしましょうかと思って、《少し間》はい。	/	/
127	120	NS6	ああ、そうなんですね。	ne1	/
128	121	NNS6	はい。	/	/

129	122	NS6	なるほど。	/	/
130	123	NNS6	ふふふ。	/	/
131	124	NS6	ふふふ。	/	/
132	125	NNS6	そういうふうに、あの…海外旅行, やったことありますか?。	/	/
133	126	NS6	海外旅行[↑], あります。	/	/
134	127	NNS6	え、どこで?。	/	/
135	128-1	NS6	私は、えーと去年の夏に,,	/	/
136	129	NNS6	はい。	/	/
137	128-2	NS6	ヨーロッパ行きました。	/	/
138	130	NNS6	あ、本当ですか、どこで?。	/	/
139	131-1	NS6	ドイツと,,	/	/
140	132	NNS6	ああ、いいね。	ne2	/
141	131-2	NS6	フランスも行きました。	/	/
142	133	NNS6	あ、本当ですか、<どこ>{<}<。<。<。	/	/
143	134	NS6	<ルーブル>{<}美術館とか行きました。	/	/
144	135	NNS6	あ、じゃパリ?。	/	/
145	136	NS6	パリ。	/	/
146	137	NNS6	ふふふ、いいね。	ne2	/
147	138	NS6	パリ出身ですか?。	/	/
148	139	NNS6	はい。	/	/
149	140	NNS6	パリ、まあ、出身なんですけど、千葉みたいに、あの…パリ県[↑], って感じで。	/	/
150	141	NS6	ああ、こういう感じか。	/	/
151	142	NNS6	はいはい、郊外, ですね。	ne3	/
152	143-1	NS6	そう、パリと、ベルギーとか,,	/	/
153	144	NNS6	ああ、いいね。	ne2	/
154	143-2	NS6	回りました。	/	/
155	145	NNS6	ああそうね。	中間	c
156	146	NS6	疲れました、でも、ははは。	/	/
157	147	NNS6	楽しいね。	中間	b
158	148	NS6	たくさん歩いた(ははは)。	/	/
159	149	NS6	すごい楽しかった>{<}<。	/	/
160	150	NNS6	<ご飯もいっぱい食べ>{<}た?。	/	/
161	151	NS6	そう。	/	/
162	152	NNS6	ははは、<よかった>{<}<。	中間	a-不 使用

163	153	NS6	<おいしかった>{>}, ははは。	/	/
164	154	NNS6	ははは、よかったね。	ne2	/
165	155	NS6	あとは…韓国。	/	/
166	156	NNS6	あっいいね。	ne2	/
167	157	NS6	うん、韓国も行って、韓国料理いっぱい食べて。	/	/
168	158	NNS6	どう?, <辛いと言われた>{<}>。	/	/
169	159	NS6	<すごい辛い>{>}。	/	/
170	160	NNS6	ははは、<食べれる>{<}>?。	/	/
171	161	NS6	<辛いのもある>{>}。	/	/
172	162	NS6	キムチとかすごい辛い。	/	/
173	163	NNS6	辛い[↑]。	/	/
174	164	NNS6	日本と比べれば?。	/	/
175	165	NS6	日本のキムチが甘く感じる。	/	/
176	166	NNS6	あっ本当ですか、はは。	/	/
177	167	NS6	ぐらい辛い、ははは。	/	/
178	168	NNS6	ははは、日本もキムチが、ぎりぎり私に合う、ふふふ。	/	/
179	169	NS6	ああ、<そうなんですか>{<}>。	/	/
180	170	NNS6	<ぎりぎりの>{>} (ははは), 辛さ、これぐらい辛<さ>と思う>{<}>。	/	/
181	171	NS6	<うんうん>{>}。	/	/
182	172	NNS6	逆においしい。	/	/
183	173	NS6	はは、<ぎゃくにおいしい>{<}>。	/	/
184	174	NNS6	<これぐらいの>{>}。	/	/
185	175	NNS6	辛すぎると、もう、味はできないから。	/	/
186	176	NS6	ははは。	/	/
187	177	NNS6	はは、あの一口があけて、焼けてるんですね。	ne3	e1
188	178	NS6	<ははは>{<}>。	/	/
189	179	NNS6	<ははは>{>}。	/	/
190	180	NS6	フランスって辛い料理は<あまり>{<}>。	/	/
191	181	NNS6	<全然ないよ>{<}>。	yo2	/
192	182	NS6	ふーん。	/	/
193	183	NNS6	全部あまい。	/	/
194	184	NS6	ふーん<そうなんだ>{<}>。	/	/
195	185	NNS6	<全部甘い>{<}>。	/	/
196	186	NS6	甘い。	/	/
197	187	NNS6	はい、全部甘いです。	/	/

198	188	NS6	そうだよね。	yone1	/
199	189-1	NNS6	いつもバターとか,,	/	/
200	190	NS6	うんうん。	/	/
201	189-2	NNS6	クリームとか,,	/	/
202	191	NS6	<入れるよね>{<}	yone1	/
203	189-3	NNS6	<入れてるから>{>}。	/	/
204	192	NNS6	はい、たぶん世界で一番、甘いかも、ははは。	/	/
205	193	NS6	ははは、そうなんだ。	/	/
206	194	NNS6	それは今も食べたことない、ははは。	/	/
207	195	NS6	うんうん。	/	/
208	196	NNS6	フランス…以外の。	/	/
209	197	NS6	そうだよね[声が小さくなる]。	yone1	/
210	198	NNS6	はい。	/	/
211	199-1	NS6	フランスって、あの一主食パン,,	/	/
212	200	NNS6	はい。	/	/
213	199-2	NS6	だもんね。	ne4	/
214	201	NNS6	そうですね、はい。	/	/
215	202	NS6	お米ってまったくくない?。	/	/
216	203	NNS6	ありますよ[やや声が大きくなる]。	yo2	/
217	204	NS6	あっあるんだ。	/	/
218	205	NNS6	あの一…フランスは以外とたくさん、材料使ってるから。	/	/
219	206	NS6	ふーん。	/	/
220	207	NNS6	米も使ってますし、あの一、小麦粉で作られた(うんうん)、あの一パスタとかでも(うんうん)、まあいろいろ、あの一…なんだっけ、そのポテト(うんうん)、なんだっけ、忘れた、名前、日本語で。	/	/
221	208	NS6	ジャガイモ。	/	/
222	209	NNS6	ジャガイモ、<ジャガイモ>{<}	/	/
223	210	NS6	<ジャガイモ>{>}。	/	/
224	211-1	NNS6	ジャガイモ、も、よく使いますし,,	/	/
225	212	NS6	あっそうなんだ。	/	/
226	211-2	NNS6	あの一、(うん)変えるのが好き、フランス人が。	/	/
227	213	NS6	<変える>{<} 【 【。	/	/
228	214	NNS6	】】<日本人は>{>} (うん)米が毎日食べないと、ちょっと。	/	/
229	215	NS6	確かに、まい、毎日絶対お米は食べるっていうのが<日本人>{<}	/	/
230	216	NNS6	<そうそう>{>}、1回か二回、まあ普通2回ですけど(うん)、朝、夜、昼、夜とか、	/	/

			<ですけど>{<}</td> <td></td> <td></td>		
231	217	NS6	<確かに>{>}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
232	218	NNS6	フランス人は毎日変えることが好きだから。	/	/
233	219	NS6	ああ、じゃこの日はパンで、この日はパスタで<みたいなの>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
234	220	NNS6	<あっぱす>{>}</td>、パンは、ず、ずっと<ある>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
235	221	NS6	<ああ>{>}そうなんだ。	/	/
236	222	NNS6	パンはメインに、ならない。	/	/
237	223	NS6	《少し間》ああそうかそうか。	/	/
238	224	NNS6	うん、あの一、例えば朝はパン…、まあ食べることが多いですね、やっぱり。	ne3	/
239	225	NS6	うんうん。	/	/
240	226	NNS6	まあ、朝はパンが多い、で、あの一、例えば、私よくするのは例えばパスタとか米とかあればパンをやめる。	/	/
241	227	NS6	うんうん。	/	/
242	228	NNS6	でも野菜だけ食べたら、じゃちよっとパンを付ける。	/	/
243	229	NS6	うーん。	/	/
244	230	NNS6	っていう感じで。	/	/
245	231	NS6	ああそうなんですね[→]。	ne1	/
246	232-1	NNS6	はい、だから夜とかよく野菜食べてるから、	/	/
247	233	NS6	うん。	/	/
248	232-2	NNS6	であとでパンとだけ食べる。	/	/
249	234	NS6	うん。	/	/
250	235-1	NNS6	でも面などないから、	/	/
251	236	NS6	確かに。	/	/
252	235-2	NNS6	あの一、うんちよっと違います。	/	/
253	237	NS6	ああ、そうなんですね。	ne1	/
254	238	NNS6	はい。	/	/
255	239	NS6	私…フランス人の人って、ずっとパンを食べてるイメージでした[やや笑いを含んで]。	/	/
256	240	NNS6	あ、まあ食べるよ[↑]。	yo2	/
257	241	NS6	ははは。	/	/
258	242	NNS6	確かに食べるけど、まあ朝、朝じゃない?やっぱり。	/	/
259	243	NS6	ははは。	/	/
260	244	NNS6	ま、でもいつもあるって感じる。	/	/
261	245	NS6	うんうん。	/	/

262	246	NNS6	あのー…なんかフランス, 食べ物ってあのー, スターターなんでしょう、<あのーサラダとか>{<}	/	/
263	247	NS6	<すっ>{>}, ああ。	/	/
264	248	NNS6	次はメインでしょう。	/	/
265	249	NS6	うんうん。	/	/
266	250	NNS6	メインはまあ、パスタとか、なんでも、野菜とか肉とかなんでもいいから。	/	/
267	251	NS6	うん。	/	/
268	252	NNS6	次はチーズでしょう。	/	/
269	253	NS6	<うーん>{<}	/	/
270	254-1	NNS6	<チーズは>{>}パンが付けてるから,,	/	/
271	255	NS6	うーん。	/	/
272	254-2	NNS6	結局, チーズ食べる人が、みんな、いつもパンが食くべてるっていう感じが>{<}	/	/
273	256	NS6	<うーん>{>}	/	/
274	257	NNS6	私チーズはそんなに好きじゃないから(うん)パンは食べなくてもいい。	/	/
275	258	NS6	うんうんうんうん。	/	/
276	259	NNS6	あとはデザートだから(うん)、例えば果物とか、あのーよる、ヨーグルトはチーズに、チーズ食べたらヨーグルト食べないけれども、そういう感じ[↑]、まあ果物とか、あのーケーキたまに[↑]とか。	/	/
277	260	NS6	ははは。	/	/
278	261	NNS6	ははは。	/	/
279	262	NS6	いいな。	/	/
280	263	NNS6	そんな感じじゃない[→]、四つの、ご飯が付けて、順番に。	/	/
281	264	NS6	順番になんだ。	/	/
282	265	NNS6	はい。	/	/
283	266	NS6	へー、<日本は>{<}【【。	/	/
284	267	NNS6	】>{>}全部一緒に<食べるけど>{<}	/	/
285	268	NS6	<そう>{>}、日本は大きい食卓に、そうだね、一気にもう(はい)おいてある。	/	/
286	269	NNS6	はい、フランス順番ですね。	ne3	/
287	270	NS6	そうなんだ。	/	/
288	271	NNS6	はい。	/	/
289	272	NS6	すごい。	/	/
290	273	NNS6	ふふふ。	/	/
291	274-1	NS6	私フランス料理の食べ方が分からない、だから,,	/	/
292	275	NNS6	はい。	/	/
293	274-2	NS6	次何を来るのかなとか、ははは。	/	/

294	276	NNS6	楽しいでしょう。	/	/
295	277	NS6	そう、楽しい、分からないないから。	/	/
296	278	NNS6	結婚しとか、もうたくさん来るから、もう(ははは)、終わらないなあと思う。	/	/
297	279	NNS6	スターターが2つとか、メインも1つとか、もうすごいな、ははは。	/	/
298	280	NS6	うんうんうん。	/	/
299	281	NNS6	本当に。	/	/
300	282	NNS6	あのービュフェとかであっても、ちゃんと分かれてるんですね。	ne3	e1
301	283	NS6	おお。	/	/
302	284	NNS6	たまに結婚式とか、たまに結婚式とかは、ビュフェとかあるんですね。	ne3	e1
303	285	NS6	うんうん。	/	/
304	286	NNS6	あのー、たまにはテーブルに、あのーなんだろう、###があるんですけど、たまにビュフェのか、形であのー結婚式やってるんですけど、あのー……とりあえずチーズが最初に出ないとか。	/	/
305	287	NS6	チーズ?。	/	/
306	288	NNS6	あのー何だろう、あのー順番に出てるビュフェに、あのー全部出てない。	/	/
307	289	NS6	ああ、<最初,これ>< >みたいなの。	/	/
308	290	NNS6	<全部,同じ,最初>< >、そう、最初に全部出てない。	/	/
309	291	NS6	なるほど、うんうん。	/	/
310	292	NNS6	だから最初はサラダとか、まあ、いろいろね、スターターみたいな。	/	/
311	293	NS6	うん。	/	/
312	294	NNS6	あとはメインですね。	ne3	/
313	295	NS6	うん。	/	/
314	296	NNS6	だからメイン選んで、で、最後にはチーズとか、まあちゃんと順番に。	/	/
315	297	NNS6	だから早くチーズ食べたかったら、じゃ、待たないと、待たないといけない。	/	/
316	298	NS6	ああ、待たないといけないのか。	/	/
317	299	NNS6	はい。	/	/
318	300	NS6	へーそういう順番があるんですね。	ne1	/
319	301	NNS6	はい、よくある。	/	/
320	302	NS6	でも、そしたらバランスよく食べられますね。	ne1	/
321	303	NNS6	うーんどうだろうね。	ne3	/
322	304	NS6	ははは。	/	/
323	305-1	NNS6	たぶん、そ、まあ,,	/	/
324	306	NS6	だってそれ食べないと次くにいけない[↑>< >]。	/	/
325	305-2	NNS6	<ただ,らい,ライブ>< >、そうですね、まあライブスタイルの、(うん)ことですから。	/	/

326	307	NS6	うんうん。	/	/
327	308	NNS6	だいたい日本に来ると、まあ、デザート食べないとちょっと、なんか、あー足りないなという(ははは)気持ちがある[↑]。	/	/
328	309	NS6	なるんですか。	/	/
329	310-1	NNS6	はい、あの一まだお腹すいてる[↑],,	/	/
330	311	NS6	ははは。	/	/
331	310-2	NNS6	って感じ。	/	/
332	312	NNS6	いっぱい食べても、ちょっと甘い食べないとちょっと、終われない、ご飯は。	/	/
333	313	NS6	ああ、そうなんだ。	/	/
334	314	NNS6	はい。	/	/
335	315	NS6	そういうのあるんだ。	/	/
336	316	NNS6	はい。	/	/
337	317	NS6	すごい。	/	/
338	318	NNS6	ははは。	/	/
339	319	NS6	ははは。	/	/
340	320	NNS6	そう、だからいつも日本でも、よく甘いもの食べてる。	/	/
341	321	NS6	食べてるんですか。	/	/
342	322-1	NNS6	はい、日本にも甘いものいっぱいあるから,,	/	/
343	323	NS6	うん、あるね。	ne5	/
344	322-2	NNS6	まあ、大丈夫だから。	/	/
345	324	NS6	ははは。	/	/
346	325	NNS6	はい。	/	/
347	326	NS6	それは毎食ですか?。	/	/
348	327	NS6	朝も昼も夜も。	/	/
349	328	NNS6	ああ、うっ甘いものは?。	/	/
350	329	NS6	うん、なんかそういう順番…。	/	/
351	330	NNS6	ああ、いや、ああなんだろうね。	ne3	/
352	331	NNS6	朝ごはんは人によるんですね。	ne3	e1
353	332	NS6	うんうん。	/	/
354	333-1	NNS6	日本もそうだと思うんですけど、〈時間ない人が〉{<},,	/	/
355	334	NS6	<確かに>{>}。	/	/
356	333-2	NNS6	あの一、〈何ですか、パン〉{<},,	/	/
357	335	NS6	<確かに食べない人とかもいるし>{>}。	/	/
358	333-3	NNS6	パンとか、もうミルクとかすぐ食べて、行っちゃうでしょう。	/	/
359	336	NS6	そうそう。	/	/

360	337	NNS6	で、ゆっくり食べる人もいますよ。	/	/
361	338	NS6	うん。	/	/
362	339-1	NNS6	だから<ゆっくり食べる食べる人は>{<},,	/	/
363	340	NS6	<それと一緒に>{>}。	/	/
364	339-2	NNS6	あの一、だいたい甘いものばかりだから(うん)、別に順番とか、<気にしてない>{<}。	/	/
365	341	NS6	<ああ>{>}そうなんだ。	/	/
366	342	NNS6	はい、昼と夜は、まあ、順番があるっていつでも、あの一家庭料理とは面倒ため、面倒くさいから(うん)、あのスターターとかよく、あんまりない(うん)、普通は。	/	/
367	343-1	NNS6	###時はよくあるけど、あの一普通家庭で食べてるのはメインと、あの一チーズが好きな人はチーズ食べるけど、ま、デザート必ずあるって感じは、,	/	/
368	344	NS6	ははは。	/	/
369	343-2	NNS6	あの一果物だけいいから、うん。	/	/
370	345	NS6	ああそうなんですね。	ne1	/
371	346	NNS6	はい。	/	/
372	347	NS6	全然日本と違うんだね。	ne2	/
373	348	NNS6	そうです、これは違いますね。	ne3	/
374	349	NS6	面白い、ははは。	/	/
375	350	NNS6	ははは、本当に。	/	/
376	351	NS6	え一、《少し間》なんか日本食の中で、日本での食べ物の中で好きな食べ物ってありますか?。	/	/
377	352	NNS6	ああ、もう一度?。	/	/
378	353	NS6	日本の食べ物で好きなものは?。	/	/
379	354	NNS6	ああ、え一いっぱいあるね一。	ne3	f
380	355	NS6	へ一いっぱいあるんだ。	/	/
381	356	NNS6	うーん《少し間》最近うどん好き。	/	/
382	357	NS6	うどん[↑]、うーん。	/	/
383	358	NNS6	うどん好きですね=。	ne3	/
384	359	NNS6	=うどんと、あの一てんぷらとか。	/	/
385	360	NS6	てんぷら、いいね。	ne2	/
386	361	NNS6	はい、好き。	/	/
387	362	NNS6	最近、あつ、暑くなったから、あの一そば食べることも、(うーん)好きになった。	/	/
388	363	NS6	冷たいうどんとか、そば<おいしいですよ>{<}。	yone1	/
389	364	NNS6	<そうそうそう>{>}、冷たいそばがおいしい。	/	/
390	365	NS6	うんうん。	/	/
391	366	NNS6	で、な、暑い時はすごく、気持ち、(うん)いい、ですね一。	ne3	/

392	367	NS6	<分かる>{<}	/	/
393	368	NNS6	<はい>{>}	/	/
394	369	NS6	<ふふふ>{<}	/	/
395	370	NNS6	<でも夏>{>}、うん、よる、まあ、意外、その面が、ラーメンが、そう、意外と、あまり好きじゃないんですねー。	ne3	e1
396	371	NS6	ラーメンはそんなに好きじゃないですか？。	/	/
397	372	NNS6	うん、なんか重くて、うーん。	/	/
398	373	NS6	ああ、まあ、胃もたれは(うんうん)しやすい。	/	/
399	374-1	NNS6	そう、逆にうどんとそばが軽くて、はい、あの一冬だったとなべとかも,,	/	/
400	375	NS6	うーん。	/	/
401	374-2	NNS6	好きだし。	/	/
402	376	NS6	いいですね。	ne2	/
403	377	NNS6	はい。	/	/
404	378	NS6	私も夏になると、昼ごはんはもういつもうどんとか、そばとかです、冷たい。	/	/
405	379	NNS6	ああ、まあ、そう。	/	/
406	380	NS6	食欲が出なくなっちゃうから、熱いと。	/	/
407	381	NNS6	うん、分かる、ふふふ(ふふふ)。	/	/
408	382	NNS6	でもこれから私もこうなるかもしれない。	/	/
409	383	NS6	ははは。	/	/
410	384	NNS6	ははは。	/	/
411	385	NS6	そうですね。	yone1	/
412	386	NNS6	はい、そうですね(声が小さい)。	ne5	/
413	387	NS6	えっ千葉以外にどっか旅行したりしたところあります?、日本。	/	/
414	388	NNS6	あっ日本…私3年前あの一大阪で留学したから。	/	/
415	389	NS6	ああ大阪に留学したんだ。	/	/
416	390-1	NNS6	そう、あの一半年だけなんですけど,,	/	/
417	391	NS6	半年か。	/	/
418	390-2	NNS6	まあ、けっこう関西…まあ旅行したんですね。	ne3	e1
419	392	NS6	うーん。	/	/
420	393-1	NNS6	京都とか,,	/	/
421	394	NS6	京都とか。	/	/
422	393-2	NNS6	8回ぐらい行ったし。	/	/
423	395	NS6	すごい。	/	/
424	396	NNS6	よく分かる、京都のことは、ははは。	/	/
425	397	NS6	京都私より分かるかもね、<私>{<}	ne4	/

426	398	NNS6	<そう>{>}, そうかも。	/	/
427	399	NS6	3回ぐらいしか行ったことない、はは。	/	/
428	400-1	NNS6	もう全然分かる、行き方とか,,	/	/
429	401	NS6	すごい。	/	/
430	400-2	NNS6	あの一、歩いてる道とかも全部分かります。	/	/
431	402	NS6	京都ってすごいなんか、電車とかバスが複雑なイメージ。	/	/
432	403	NNS6	ああ、そうそうそう。	/	/
433	404	NS6	ね[↑]。	/	/
434	405	NNS6	そう、あの一…私も難しい、<何回も行ったのに>{>}【【。	/	/
435	406	NS6	】<外国人の人絶対>{>}迷うだろうなって、思う。	/	/
436	407	NNS6	バスは難しい。	/	/
437	408	NS6	そうだよ。	/	/
438	409	NNS6	はい、特にあの一私行ったときに間違ったのは(うん)、金額時と銀閣寺がありますね。	中間	d
439	410	NS6	あるね。	ne5	/
440	411	NNS6	だから、バスが銀閣寺のがあって、“ああこれだ”と思って、で、金閣寺行こうと思ったんですけど、本当は銀閣寺行く、バスだから、でなんかもう###で(ははは)、“えっ、ちよっと違うんですね”と、だから“金閣寺じゃないな”、で、見て、“あっ銀閣寺だ”、“なんだこれ”、<ははは>{>}。	/	/
441	412	NS6	<ははは>{>}。	/	/
442	413	NNS6	日本語分かっているのに、あの一、やっぱり日本語分かってない外国人だと、“これは金額時だ”と思っちゃうんですね。	中間	d
443	414	NS6	うんうんうん。	/	/
444	415	NNS6	ま、それ…まあちよっとちっちゃい…ね、あの一複<雑さだけ>{>}。	/	/
445	416	NS6	<確かに>{>}そうですよね、<金と銀の違いで>{>}【笑いを含んで】。	yone3	/
446	417	NNS6	<でも>{>}《少し間》けっこうあの一そういうものがいっぱいあるし、で、バスつく、使い方が難しいね、やっぱり。	ne3	/
447	418	NS6	うんうん。	/	/
448	419-1	NNS6	電車もたくさんあるし、あの一大阪から行き方もたくさんあるし(そうだよ)、阪急とか、JRとか,,	/	/
449	421-1	NS6	確かに,,	/	/
450	419-3	NNS6	いっぱいあるから。	/	/
451	421-2	NS6	迷いやすい。	/	/
452	422	NNS6	たぶんそう、うん。	/	/
453	423	NS6	ふふふ。	/	/

454	424	NNS6	ふふふ。	/	/
455	425	NS6	そうだよね。	yone3	/
456	426	NNS6	だいたいとかもない人は難しいと思うね、<やっぱり>{<}。	ne3	/
457	427-1	NS6	<うーん>{<} 《少し間》確かに日本語分かってる人でも、というか私日本人でもけっこう間違えるから,,	/	/
458	428	NNS6	ああ、はは。	/	/
459	427-2	NS6	ねー、日本語分らない人はもっと迷うよね。	yone3	/
460	430-1	NNS6	そうですね、私けっこうあの一そういうところ旅行すること慣れてるから、ま、なんとなくはできるけど,,	/	/
461	431	NS6	うんうん。	/	/
462	430-2	NNS6	まあ、確かに難しい。	/	/
463	432	NS6	ですよ。	yone3	/
464	433	NNS6	はい。	/	/
465	434	NS6	ほかどっか行ったことあるんですか?。	/	/
466	435	NNS6	ああ、日本で[↑]、あの一今年は長野、行った。	/	/
467	436	NS6	スキーとかですか?。	/	/
468	437	NNS6	あーはい。	/	/
469	438-1	NS6	おお(ははは)、<なんか>{<},,	/	/
470	439	NNS6	<全然できない>{<}。	/	/
471	438-2	NS6	私、長野といえば、スキーかなみたいな、へへへ。	/	/
472	441	NNS6	そうですね、まあ、温泉とかも行ったけど。	/	/
473	442	NS6	うんうんうん 《少し間》、えーいいですね,,	ne2	/
474	443	NS6	留学生と《少し間》一緒に…。	/	/
475	444-1	NNS6	ああはい、友達と、<日本人友達と>{<},,	/	/
476	445	NS6	<うーん>{<}、<いいですね>{<}。	ne2	/
477	444-2	NNS6	<行きました>{<}、はい。	/	/
478	446	NS6	私行ったことない、スキー。	/	/
479	447-1	NNS6	ああ、私子供のごろ行ったけど、ああ、“できるな”と思って,,	/	/
480	448	NS6	ははは。	/	/
481	447-2	NNS6	長野行って、もう全然できなかったの。	/	/
482	449	NS6	ははは。	/	/
483	450	NNS6	一回やって、もう、もうやめた、ははは。	/	/
484	451	NS6	ははは。	/	/
485	452	NNS6	あの一で待ってた、ずっと、はは。	/	/
486	453	NS6	はは、ずっと待ってたの?。	/	/

487	454	NNS6	はは、ずっと待って、無理だったから。	/	/
488	455	NS6	ははは。	/	/
489	456	NNS6	もう全然###すると思う。	/	/
490	457	NS6	ははは。	/	/
491	458	NNS6	できないから、はは。	/	/
492	459	NS6	《少し間》えっ[↑], フランスの方ってスキーよくやるんですか?。	/	/
493	460	NNS6	よくやりますよ。	yo2	/
494	461	NS6	あっやるんだ、やっぱり。	/	/
495	462	NS6	雪降るもんね。	ne4	/
496	463	NNS6	そう。	/	/
497	464	NNS6	そう、でも私…私の家族全員寒いところ好きじゃないから(うん)、子供の頃あんまり行ってないね。	ne3	/
498	465	NNS6	で、スキーは日本もそうだけど、まあ、高いんです。	/	/
499	466	NS6	うん。	/	/
500	467	NNS6	やっぱり同じ値段で、あの一高いところ行けるんじゃない。	/	/
501	468	NNS6	ですね↑。	/	/
502	469-1	NNS6	あの一、本当はね、たぶん、日本に、たぶん日本でもスキー一週間やれば、	/	/
503	470	NS6	うん。	/	/
504	469-2	NNS6	同じ値段に、一週間、タイとか行けるんじゃないですか。	/	/
505	471	NS6	確かに。	/	/
506	472	NNS6	うん。	/	/
507	473	NS6	ははは、あったかいところ行ける、確かに。	/	/
508	474	NNS6	そう、だから、うちの家族そういう考え方あるから、冬の時にいっつもあったかいところ行っちゃった<###>{<}	/	/
509	475	NS6	<あっ>{>}そうなんだ。	/	/
510	476	NNS6	はい、そっちのほうがいいなあーっていう(へへへ)、という、だから【【。	/	/
511	477	NS6	】】逃避するんだ。	/	/
512	478	NNS6	はい、スキーは学校に行ったけどね、小学校。	ne3	/
513	479	NS6	あ、そうなんだ。	/	/
514	480	NNS6	うん。	/	/
515	481	NS6	ふーん。	/	/
516	482	NNS6	はい。	/	/
517	483	NS6	すごい。	/	/
518	484	NNS6	でも行く人が多いね。	ne3	/
519	485	NS6	うーん。	/	/

520	486	NNS6	確かに。	/	/
521	487	NS6	そうなんです、やっぱり。	ne1	/
522	488	NS6	日本でもやっぱり冬にスキー行く人すごく多いから。	/	/
523	489	NNS6	はい。	/	/
524	490	NS6	へー。	/	/
525	491	NNS6	そうですね、日本人も、日本人、もっとなんか土日とか、ですね[↑]。	中間	d
526	492	NS6	うん[↑]。	/	/
527	493	NNS6	あの一二日旅行(うん)とかですね↑。	中間	d
528	494	NS6	うんうん。	/	/
529	495	NNS6	あと、一週間とか行くの多い、のかな?。	/	/
530	496	NS6	ああ、そうなんだ、長いね。	ne2	/
531	497	NNS6	ああ、うん、そうですね。	ne5	/
532	498	NNS6	まあ、ひ、休みが多いから、ははは。	/	/
533	499	NS6	すごい(ふふ)、休みが多い(ふふふ)、いいですね。	ne2	/
534	500	NNS6	けっ、日本人よりは多い。	/	/
535	501	NS6	あ、そうなんですか。	/	/
536	502	NNS6	うん。	/	/
537	503	NS6	確かに日本人ってすごい働いてイメージが、あるんですよ。	yone2	/
538	505	NNS6	ははは、そうですね、あとは、まあ、けっこう家族の、家族ですね、やっぱり。	ne3	f@
539	506	NS6	うーん。	/	/
540	507	NNS6	家族の…旅行だから、あの一子供も、あの一冬とか2週間休んでるんですね。	ne3	e1
541	508	NS6	うーん。	/	/
542	509-1	NNS6	<だから>{<},,	/	/
543	510	NS6	<あそうか>{>}, 学校休みですもんね。	ne4	/
544	509-2	NNS6	そう、だから、子供を1週間スキーにつれてあげたりとか、日本けっこうあの一友達旅行、<気がする>{<}。	/	/
545	511	NS6	<ああ確かに>{>}、友達で行くのが多いかもしれない。	/	/
546	512	NNS6	はい。	/	/
547	513	NNS6	で、あの長野行ったときでも、あの、みんな、あの一…日本人の子供があまりいなかった。	/	/
548	514	NS6	うーん。	/	/
549	515	NNS6	なんか外国人の子供いっぱいいたのに(うん)、だから、外国人やっぱりみんな、あつみんなじゃないけど、あの一家族に行った人が多くて。	/	/
550	516	NS6	うーん。	/	/
551	517	NNS6	で一、日本人はみんな友達。	/	/

552	518	NS6	確かに。	/	/
553	519	NNS6	友達。	/	/
554	520	NS6	そうかも。	/	/
555	521	NNS6	うん、ふふふ。	/	/
556	522	NS6	うーん。	/	/
557	523	NNS6	そういうこと、よく見た、ふふふ。	/	/
558	524	NS6	けっこうフランスの人って、家族旅行、よくすんですか?。	/	/
559	525	NNS6	うん、よくするね。	ne3	/
560	526	NS6	うーん、そうなんだ。	/	/
561	527-1	NNS6	あの一、子供も休みの時は、両親もあの一休み取ろうとして、,	/	/
562	528	NS6	うーん。	/	/
563	527-2	NNS6	で、取れる時は、あの一頑張って旅行行ったりとかするんですね<>[↑]。	ne3	/
564	529	NS6	<ああ、そう>{>}なんだ。	/	/
565	530	NNS6	はい。	/	/
566	531	NS6	日本はどうなんだろうなあ、でも家族によるのかなあ。	/	/
567	532	NNS6	なんだろうね、私よくあったんですけどね、家族と。	ne3	/
568	533	NS6	うん。	/	/
569	534	NNS6	何回も旅行行ったんですけど。	/	/
570	535	NS6	けっこうフランスだと休みが取りやすいんですか?。	/	/
571	536-1	NNS6	そうですね、あの一、,	/	/
572	537	NS6	】 ああ、それも関係してるのかも。	/	/
573	536-2	NNS6	そう、あの一…《沈黙1秒》まあ例えば4週間取れると言われたら(うん)、で、自由に取れるんですね[↑]。	ne3	e1
574	538	NS6	うーん、<すごい>{<}>。	/	/
575	539	NNS6	<あっ相談はもちろん>{>}相談はするんですけど、「ああ、この時は厳しいな、ちょっと、その時休んでください」とか、相談して、で、あの一、あの一、マネージャーとかがOKって言ったら、うん、あの一<、休める>{<}>。	/	/
576	540	NS6	<休めるんだ>{>}、へー。	/	/
577	541	NNS6	けっこうそういう、あの一、日本人けっこう、よく聞く、迷惑だなあーっていうく思ってしまうから、取らないですね<>{<}>。	中間	d
578	542	NS6	<そう、迷惑だなと思うから>{>}、そもそも取っていいですかっていうふうに、言わないと思うんですね。	yone2	/
579	543-1	NNS6	うーん、だからフランスはみんな取るから、,	/	/
580	544	NS6	ふーん。	/	/
581	543-2	NNS6	あの一…休んだら私、じゃあの一、###な仕事,を、なんか###な仕事をやりますよ	/	/

			とか(うんうん)、あ、じゃ助けますなって。		
582	545	NS6	ああ、そうなんだ。	/	/
583	546	NNS6	でも、そういう助けたら、じゃ助けてもらいます(うーん)、っていうあの一やっぱ り、迷惑よ、よりは、あの一助け合いという(うーん)、こう、かん、ふうにおも、 あの一、考えるから。	/	/
584	547	NS6	ああ、そういうふうを考えるんですね。	ne1	/
585	548	NS6	日本とけっこう逆というか。	/	/
586	549	NS6	そうですね、あの、まだ、そういうのなら、あの一なんという、サイクルだからな。	/	/
587	550	NNS6	うん。	/	/
588	551	NS6	だから、一回、彼が休んだから、じゃ私も休めばいいじゃんって(うん)、あつ彼女 休んだから、私も休めばいいじゃんって。	/	/
589	552	NNS6	うん。	/	/

データ 7

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS7	よろしくお願いします。	/	/
2	2	NNS7	よろしくお願いします。	/	/
3	3	NS7	えっと、名前、お名前、あー、僕は、えっと、「NS1 の名前」といいます。	/	/
4	4	NNS7	あ。	/	/
5	5	NS7	「NS1 の苗字」、(受諾書に書いた名前を見せながら)「NS1 の名前」という名前です。	/	/
6	6	NNS7	はい。	/	/
7	7	NS7	お名前お伺いしてよろしいですか?。	/	/
8	8	NNS7	「NNS1 の苗字」はあんまり聞かないですね。	ne2	/
9	10	NS7	そうですね、珍しい、うーん、ちょっと珍しいかもしれないです。	/	/
10	11	NNS7	えっと、あー、私↑、「NNS1 の名前」です。	/	/
11	12-1	NNS7	えっと…,	/	/
12	13	NS7	「NNS1 の苗字」[↑]、「NNS1 の苗字」は珍しいですか?。	/	/
13	12-2	NNS7	いや、そんな珍しくないです。	/	/
14	14	NS7	あー、そうなんです、けっこう…。	/	/
15	15	NNS7	クラスに2、3人はいるという…。	/	/
16	16	NS7	ああ、そうなんです、えーと…。	/	/
17	17	NNS7	まあ、李さんとか王さんとか比べると、ちょっと少ないけれども。	/	/
18	18	NS7	李さん、王さん、よく聞きます。	/	/
19	19	NNS7	でも、「調査者の苗字」さんよりは多いかな[↑]、ふふ。	/	/
20	20	NS7	ああ。	/	/
21	21	NNS7	たぶん。	/	/
22	22	NS7	「調査者の苗字」、###、そうなんですか。	/	/
23	23	NNS7	たぶん。	/	/
24	24	NS7	中国…。	/	/
25	25	NNS7	中国です。	/	/
26	26	NS7	そうなんですか。	/	/
27	27	NS7	はい、大学院生[↑]?。	/	/
28	28	NNS7	院生です。	/	/
29	29	NNS7	学部生ですか?。	/	/
30	30	NS7	僕学部です、はい、4年、学部4年です。	/	/
31	31	NNS7	じゃ、今卒論とか。	/	/

32	32	NS7	そうですね、卒論やらなきやいけないんですけど、なかなか、ふふふ、進まなくてなくて。	/	/
33	33	NNS7	ああ、大丈夫ですよ。	yo1	/
34	34	NS7	大丈夫ですか、ははは。	/	/
35	35	NNS7	一週間ぐらいで、ははは。	/	/
36	36-1	NNS7	私も修論…、もう来週…、,	/	/
37	37	NS7	ああ、そうなんですか。	/	/
38	36-2	NNS7	いや、来週締め切りじゃなくて、来週先生と面談の約束してて、“それまでに第一章書きます”って言って<笑いながら>、まだ書いてない<笑いながら>。	/	/
39	38	NS7	そうなんですか、えー、難しいですよ。	yone1	/
40	39	NNS7	そんなもんですよ。	yo3	/
41	40	NS7	えっ、何について書かれてるんですか?。	/	/
42	41	NNS7	あたしは、アニメ…に、ついて研究してて、アニメ、うーんとね、テレビアニメのほうじゃなくて、映画のほうで、なんだろう、日本のアニメってすごくてー[↑]、みたいな、ははは、まあ、そんな感じのものを。	/	/
43	42	NS7	ああ、はい、そうですか、アニメ。	/	/
44	43	NNS7	何をやってるんですか?。	/	/
45	44	NS7	僕は、そうですね、えっと、日本語学、明治、近代、明治ぐらいですか[↑]、翻訳の文章を、について、少し主流にしてやってるんですけど、なかなか、ちょっと…行き詰まってるというか<笑いながら>、難しいところですね。	ne3	/
46	45-1	NNS7	明治ですか、そうする、,	/	/
47	46	NS7	はい、明治です。	/	/
48	45-2	NNS7	でも、あれですよ。	yone1	/
49	47	NNS7	夏名漱石とか、太宰治、間違えた、太宰さんとか、そこらへんですよ。	yone1	/
50	48	NS7	そうですね、はい。	ne5	/
51	49	NS7	それで、翻訳の、翻訳者とか書いた文章を、でー、やってるんですけど。	/	/
52	50	NS7	そうですね、なかなか難しいです、大変です。	/	/
53	51	NNS7	えー、どういう観点でやってるんですか?。	/	/
54	52	NS7	そうですね、えっと…具体的には、その…、翻訳…、有名な作品だとたくさん翻訳が出てるんですけど、まあ、明治ぐらい初めから、明治、昭和、昭和の初めごろと、昭和の終わりごろと、あともっと最近のやつとか、たくさん何種類も出てるので、その、まあ、比べて、まあ、翻訳の文章もいろいろ変わってきてるので、そういうところの特徴を、まとめられたらいいなあーと思ったんですけども、ふふふ、なかなか。	/	/
55	53	NNS7	えーじゃ、例えばの(はい)話ですよ。	yo2	e2

56	54	NNS7	例えば、《少し間》今急に思い出せないんですけど、例えば『マクベス』があったとして、それを明治の時に訳した日本語バージョンと、しょ、昭和とか戦後に訳した日本語バージョンと、現代…日本語訳[↑]、的なのも比べて、その中で日本語がどういうふうになって、どういった特徴があるのかみたいな[↑]？。	/	/
57	55	NS7	はい、そうです、まさにそんな感じですよ。	/	/
58	56	NNS7	ああ。	/	/
59	57	NS7	なんかその、外国語の、影響で、日本語に導入されたというか、新しく作られたような、文法とかも少し、あの一、なんていうんですかね。	ne3	/
60	58	NS7	先行研究で言われているので、まあ、それをそのままなぞっても意味ないかなあと思うんですけど、もう少し詳しく###とって。	/	/
61	59	NNS7	じゃもとの言語は、気にするの？しないの？。	/	/
62	60	NS7	そうですね、作品を固定するんで、僕は、その一、今はあれですね、“チャールズ・ディケンズのクリスマス・キャロル”を一つ絞ってやってるんですけど、で、それを一回一通りやってみて、であと、そのあと、なんか手を広げるかどうかっていうのを、少しまた考えないといけないんですけど、取りあえずは、それだけで今やっています。	/	/
63	61	NNS7	なんかおもしろそうですね。	ne2	/
64	62	NS7	そう、まあ、なんかその、明らかに分かるところが日本語面白いかなあと思うんですけど、なかなか難しいです。	/	/
65	63	NNS7	なんか、私はあまり翻訳…の研究とかしないんですけども、ゼミで、ドイツ語[↑]、日本語の文学が、ドイツ語訳された時に、どういった、ドイツ語のほうでどういうふうになってるのか、っていう研究やってる人たちがいて、それでなんか日本語のオノマトペとか、すごく多くて、ドイツ語にはないし、日本語の###とかも、ドイツ語の中にはなかなか表現できなくて、違った言葉に変換されたりとか、なんかそこらへんみてる日本語っておもしろいなあって思いますよね。	yone2	/
66	64	NS7	アニメとかそうなんじゃないですか、中国とかでも日本のアニメとかどういう感じなんですか？。	/	/
67	65	NNS7	私、子供のごとは中国語吹き替えなんですけれども、中学校高校とかにあがると、なんだろう、ネットで[↑]、みて、で、字幕が下についてて【【。	/	/
68	66	NS7	】】ああ、日本語の音声っていうか、吹き替えじゃなくて？。	/	/
69	67	NNS7	日本、そう、日本語の音声で、日本のアニメをみて、で、字幕をみて、で一今はもう字幕要らないので、普通に、“あーははは”みたいなく笑いながら。	/	/
70	68	NS7	中国にいた時にも見えましたか？。	/	/
71	69	NNS7	見えましたよ。	yo2	e2
72	70	NS7	あ、そうなんですか。	/	/
73	71-1	NNS7	私の世代は、That 日本、アニメブーム世代、	/	/

74	72	NS7	あーそうなんですか。	/	/
75	71-2	NNS7	っていう、そんな括りで括られるほど、うん、同級生も、その時なんだろう、なんだったけ、あの一、花より男子[↑],,	/	/
76	73	NS7	ああ、はいく笑いながら。	/	/
77	71-3	NNS7	で一、あと、さくらか###、知ってるかどうか分かんないですけど、たぶんちょっと世代ずれるかもしれないんですけども、カード###っていう,,	/	/
78	71-4	NNS7	あの一、さくらちゃん、ブーム、うん[↑]、ほとんどの人がみてるし、あと、デジモンポケモンとか、その世代[↑]。	/	/
79	74	NS7	あーはい、そうなんですか。	/	/
80	75	NNS7	なんとなく、ふふ、あの一、初代のポケモン、初代のデジモン[↑]、ははは。	/	/
81	76	NS7	はい、###みました。	/	/
82	77	NS7	はい、僕も、たぶん一緒ぐらいの…。	/	/
83	78-1	NNS7	あたしですか、うーんと、大学に、今院生なんですけれども、大学2年生の時に、半年間ぐらい交換して、で、その後ちょっと1年間ぐらい日本語関係の仕事をやっ て、2013年から千葉大学でお世話になってるので,,	/	/
84	79	NS7	あーそうなんですか。	/	/
85	78-2	NNS7	だいたい2年間ぐらい[↑]。	/	/
86	80	NS7	2年、日本語やってるのは2年、3年[↑]、3年少しぐらい[↑]、っていう…。	/	/
87	81	NNS7	あっ日本語[↑]、日本語はもっと長いです。	/	/
88	82	NS7	あっ日本語はもっと長いんですか?。	/	/
89	83	NNS7	はい。	/	/
90	84	NS7	あっそうなんですか。	/	/
91	85	NNS7	高校の時からやってるので。	/	/
92	86	NS7	あっそうなんですか。	/	/
93	87	NS7	それはなんですかね。	ne3	/
94	88	NS7	学校のカリキュラムみたいな、感じですか?。	/	/
95	89	NNS7	えーと、だから、えっと、何だっけ「NSの苗字」さんだっけ?。	/	/
96	90	NS7	はい、「NSの苗字」です。	/	/
97	91-1	NNS7	坂中さんが、高校の必死に英語の文法やってた時に、私は必死に日本語の,,	/	/
98	92	NS7	あーそうなんですね。	/	/
99	91-2	NNS7	かしこまりました、みたいなのをやってました、ははは、そんな感じです。	/	/
100	93	NS7	ああ、はい、そうですね。	/	/
101	94	NNS7	私の出身地が長春なんですけれども、分るかな、あの一、東北の、こちら辺。	/	/
102	95	NS7	こちら辺、ふふふ、上の、上の?。	/	/
103	96	NNS7	日本語だと、日本だと、満州とかで、歴史の時に習わない?。	/	/

104	97	NS7	はい、満州…。	/	/
105	98	NNS7	そこら辺、そこです。	/	/
106	99	NS7	ああ、はい。	/	/
107	100	NNS7	なので、日本語教育がすごく盛んで、日本語教育盛んで、私は遅いほうかな、小学校の時から日本語の授業がある学校もあって、私は高校の時に、その高校に入って、その高校で日本語のカリキュラムがあって、ちょっと将来、日本語を、ます、何だろう、日本語を使って勉強したいなあ、みたいな感じで、そしたら高校にやらないきゃ大学に入れられないとバカな思いをして、ははは。	/	/
108	101	NS7	でも、早目にやるのはいいじゃないですか。	/	/
109	102	NNS7	いや、でも、本当は、英語やって、大学に入ってからでも日本語を選択できるのに、それを知らなくて、高校のときにやらないと大学に入った時に日本語できないと思って、日本語のカリキュラムを選んで、今に至る。	/	/
110	103	NS7	あー、そうですね、ああ、なるほど。	ne5	/
111	104	NS7	中国はその、選び時にその全体的はやっぱ英語?。	/	/
112	105	NNS7	英語英語。	/	/
113	106	NNS7	本当日本語は、数、かぞ、うーん、私のところだと、3、4校ぐらい、全中国でも20校、みまんか、それぐらいかな。	/	/
114	107	NS7	あーそうなんですか。	/	/
115	108	NNS7	日本語じゃなくて、あの一、英語以外の外国語を選択できる高校があって、その中で、日本語の選択ができる学校と、例えばフラン語、ドイツ語だったりとか、ロシア語だったり、っていう学校が別にあって。	/	/
116	109	NS7	そうなんですか。	ne1	/
117	110	NS7	でも日本だと全然そういう学校もないのかなあと思うんですけど、絶対英語やるし。	/	/
118	111-1	NNS7	ああ、でも、なんだろう、ずっと昔、ちょっと何年かはあんまり覚えてないんですけども、昔、中国の、なんだろう、国際的立場とか、中国の政治的立場をアップするには、外国語が必須だという、あの一、###さんがいて、その時に設立された学校が、私が通って<高校で、いわゆる>{<},,	/	/
119	112	NS7	<その、###というか>{>}。	/	/
120	111-2	NNS7	外国語人材を育成するための学校[↑]、なの。	/	/
121	113	NNS7	だから、なんだろう、その普通の4、えーと3年生の高校何だけれども、どっちかというと外国語に興味をおいた、高校。	/	/
122	114	NS7	ちょっと特殊というか、うーん。	/	/
123	115	NNS7	ちょっと特殊だね。	ne3	/
124	116-1	NNS7	普通はけっこうあの一、小学校に入って、ストレートで高校までいくというのが、	/	/

			あるんですけど、日本の私立的な感じの,,		
125	117	NS7	あー、一貫で、その…【【。	/	/
126	116-2	NNS7	】】一貫で、ほとんどの人が一貫で,,	/	/
127	118	NS7	あーそうなんですか。	/	/
128	116-3	NNS7	私の時はちょうど、外にも、「外の日も入ってきていいですよ」、っていうように、 なって、はじめて、入った。	/	/
129	119	NS7	あー、はい、その一貫以外の(そうそう)、別の学校からっていう感じ…。	/	/
130	120	NS7	そうなんですか、うーん、なるほど。	/	/
131	121	NNS7	すみません、なんか、つまらない話で、ははは。	/	/
132	122	NS7	いいえ、そんな、面白いです。	/	/
133	123	NS7	そうですか、僕も、英語中高と勉強してきたつもりなんですけど、全然、できなくて、ははは。	/	/
134	124	NNS7	ああ、英語難しいですよ。	yo3	/
135	125	NS7	###やっぱりなんか雰囲気###取る機会がないと、あんまりあれなんですけど。	/	/
136	126	NNS7	ですよ。	/	/
137	127	NS7	文法とか、けっこう###なんですけど。	/	/
138	128	NNS7	ああ、私英語だめです。	/	/
139	129	NS7	ああ、そうですか、英語、まあ、でも、日本語、そうですね。	ne3	/
140	130	NNS7	ああ、なんか就活してたんですよ。	yo2	e2
141	131	NS7	はい。	/	/
142	132	NNS7	夏休み前まで。	/	/
143	133	NS7	はい。	/	/
144	134	NNS7	で、面接あるごとに“英語できますか”って聞かれて、“すみません、できません”、ははは。	/	/
145	135	NS7	###。	/	/
146	136	NNS7	なんか、中国人だから、なお、なんか、更に英語期待される[↑]、はは、“君英語大丈夫よね”みたいな雰囲気が、ははは。	/	/
147	137	NS7	それはなかなか厳しいですね、日本語と中国語はできるのに。	ne2	/
148	138	NNS7	そう、英語できないんですよ。	yo3	/
149	139	NNS7	あっちなみに、進学するんですか?。	/	/
150	140	NS7	と、僕は就職するん、ですけど、今、あれですね、先生の試験があるんですけど、 教師、高校の教師の試験があったんですけど、落ちてしまって。	/	/
151	141	NNS7	おっ。	/	/
152	142-1	NS7	うーん,,	/	/
153	143	NNS7	まだ【【。	/	/

154	142-2	NS7	】】非常勤講師かなんかでやろうかなって思ってるんですけども。	/	/
155	144	NNS7	じゃ、講師, 志望?。	/	/
156	145	NS7	そうですね、まだ決まってないんですけど、一応希望、なんか登録みたいのがあるんですけど、それをやって、みたいなところですね。	ne3	/
157	146	NNS7	じゃ、な、何を教えるんですか?。	/	/
158	147	NS7	あつ、と、専門は国語ですね、国語。	ne3	/
159	148	NNS7	お。	/	/
160	149	NS7	難しいです、教えるの、ははは。	/	/
161	150	NS7	黄さんは、修士が終わったら、就職なんですか?。	/	/
162	151	NNS7	ああ、私…、一応就活はしました。	/	/
163	152	NS7	あーはい。	/	/
164	153	NNS7	内定ももらいましたけども、うん、中小なんで…。	/	/
165	154	NS7	ちょっと悩んでるとか、ですか?。	/	/
166	155	NNS7	いや、これ、しかもえなかったっていうか、あんまり真面目にやってなかったから、ははは、適当に中小選んだんですけど。	/	/
167	156	NNS7	そうですね、うーん、ちょっと3年間ぐらい働いて、それからまた考えるみたいな。	/	/
168	157	NS7	ああ、そうですね、一回、あの、働いてみるというもの、####ですよ。	yone1	/
169	158	NNS7	そうなん…。	/	/
170	159	NS7	ずっと日本で、お仕事する…というか、生活する…というと、あれなんですか?。	/	/
171	160	NNS7	どうなんだろう。	/	/
172	161	NS7	ふふ、いろいろ考えてる、選択肢としては、みたいな…<####ですか>{<}?。	/	/
173	162	NNS7	<選択しとしは>{>}、ある、あるけど、うーん、明日の####は分かんないもんね、ははは。	ne3	/
174	163	NS7	そうですね、はい、難しいですよ。	yone1	/
175	164	NNS7	なんかのきっかけで、日本にずっといるとか、なんかのきっかけでまた中国にもどるとか、いろいろあるわけだから。	/	/
176	165	NS7	日本いらっしゃるのは、どうなんですか、すごく、まあ、住みやすいとか、日本…どうなんですか、生活しやすいですか。	/	/
177	166	NNS7	おお。	/	/
178	167	NS7	僕、あんまり、####分らないんで、あれなんですけど。	/	/
179	168	NNS7	うーん、まあ、簡潔にいうと、生活しやすいけど。	/	/
180	169	NS7	はい。	/	/
181	170	NNS7	うーん、しやすすぎる[↑]、しすぎる[↑]。	/	/
182	171	NS7	ああ。	/	/
183	172	NNS7	なんだろう【【。	/	/

184	173	NS7	】】なんか、ちょっと優しすぎるというか、っていうところですか？。	/	/
185	174	NNS7	優しいというか【【。	/	/
186	175-1	NS7	】】丁寧すぎるというか、なんですか、	/	/
187	176	NNS7	なんだろう。	/	/
188	175-2	NS7	難しいですよ。	yone3	/
189	177	NS7	なんか、あんまりがつつしたところは、なに[↑]、<そういうところですか>{<}?。	/	/
190	178	NNS7	<なんだろう>{<}、なんか、サービスもすごくいいし、自動化設備も多いし、すごく進んではいるんだけど。	/	/
191	179	NNS7	ときどき、本当にときどきですよ。	yo2	e2
192	180-1	NNS7	別に文句じゃないんですけど、ははは、	/	/
193	180-2	NNS7	人間の暖みを感じられない、はは。	/	/
194	181	NS7	あー、はい、なるほど。	/	/
195	182-1	NNS7	なんか、例えばサービスはすごくいい、	/	/
196	183	NS7	はい。	/	/
197	182-2	NNS7	だけど、それって、全部マニュアルじゃん[↑]。	/	/
198	184	NS7	ああ。	/	/
199	185	NNS7	マニュアル外のことが起きたら、あんまり、なんか、心よく対応してくれようともしないし、なんか、ちょっとここ、“これは当店の規定にはないので、どうしてもだめです”みたいな、ちょっとそこらへん、規定は規定でしようがないと思うんだけど、なんか、なんだろう（そうですね）。	/	/
200	187	NNS7	大きな事じゃない限り、ちょっとゆ、融通をきくとかさ、あるじゃないですか、人間として。	/	/
201	188	NS7	はい。	/	/
202	189	NNS7	ちょっとそこらへん日本語とロボットが対話してるみたいで。	/	/
203	190	NS7	うん、なるほど。	/	/
204	191	NNS7	そんな感じかな。	/	/
205	192	NS7	そうですね、制度としてちょっと整えすぎてるとか、そういうところなんですかね。	ne3	/
206	193	NS7	よく分かんないんですけど。	/	/
207	194	NNS7	でも、生活しやすいですよ。	yo3	/
208	195	NS7	うーん、###。	/	/
209	196	NNS7	安全らしい。	/	/
210	197	NS7	そうですか、中国とか、もっと、なんなんですかね。	ne3	/
211	198	NS7	もっとなんですかね。	ne3	/
212	199	NS7	この、いろいろ自由というか、そういう感じなんですか？。	/	/

213	200	NNS7	ああ、そう、たぶん、全部中国、そうなんじゃない、かも、じゃないかもしれないけど。	/	/
214	201	NS7	はい。	/	/
215	202	NNS7	私を感じてる場所だと、やっぱり、例えばここ、これは当店でちょっとだめなんですけれども、言われて、でもお客さんがどうしてもそれがいいんだと言うと、じゃ、ちょっと上のほうに確認して、とか、店舗とかマネージャさんとかに確認して、じゃマネージャの権限でいいですよ、とか、あと、内緒にしてくれて、みたいな、ははは、そういう部分もあるし。	/	/
216	203	NNS7	本当に普通に例えばごはんところ行くと、他のところに出してある、例えば、なんだろう、お惣菜がとてもおいしいそうに見えて、それちょっと食べたいんだけどって言うと、店員さんが、はいよ、みたいな感じでサービスしてくれるところもあるし、してくれないところもあるんだけど、日本だと絶対ないじゃない？。	/	/
217	204	NS7	そうですね、はい。	ne5	/
218	205	NNS7	あれは、あちらのメニューのもので、これ、あなたのメニューはこれです、それには含まれてないので、だめですみたいな。	/	/
219	206	NS7	お客さんも言わないんです、そんなに中国の、なんだろう、分かんないんですけど、けっこう言っちゃうみたいな、日本は###みたいな、黙ってろうみたいな。	/	/
220	207	NNS7	その、客と店員の間に分厚い壁があるけど、中国だと、中に入ると確かに客と店員なんだけれども、だけど、そこにはコミュニケーションがあるみたいな。	/	/
221	208	NS7	あーはい。	/	/
222	209	NNS7	そんな感じ[↑]。	/	/
223	210	NS7	そうですね、確かに、日本コミュニケーション取ってる感じないですね。	yone1	/
224	211	NS7	うーん、難しいですけどね。	ne3	/
225	212	NS7	あんまり極端すぎても、よくない…、うーん、そうなんですね。	ne3	/
226	213	NS7	中国も、遊びにいきたいですけど、なかなか、機会がないですね。	ne3	/
227	214-1	NNS7	そうですか、でも、ほら,,	/	/
228	215	NS7	###ところが。	/	/
229	214-2	NNS7	さきちょうど、生協行ったんですけど、なんだっけ、がく、学旅？。	/	/
230	216	NS7	あーはい。	/	/
231	217	NNS7	あるんじゃないですか、まあ、中国、ちゃ###なんですけど、台湾とか香港とか、めっちゃやくち安かったですよ。	yo3	/
232	218	NS7	あっ本当ですか。	/	/
233	219	NS7	どういうあれなんですか、なんか、パッケージツアーみたいな、###？。	/	/
234	220	NNS7	たぶん、ホテルつき、飛行機代つき、のパッケージツアーじゃないかな。	/	/
235	221	NS7	ああ、はい。	/	/

236	222	NNS7	<でも><【 【。	/	/
237	223	NS7	】><あとは><}>、自由<みたいな、言ったら自由><}>。	/	/
238	224	NNS7	<自由も><}>あるし、ガイドさんつきのもある、いろいろあるらしいですよ。	yo2	/
239	225	NS7	ああ、やっぱ、そうなんだ。	/	/
240	226	NNS7	なんか、2、3万とか、結構安かった。	/	/
241	227	NS7	うーん。	/	/
242	228-1	NNS7	<2、3まんだったかな><}>,,	/	/
243	229	NS7	<安い、です><}>よね。	yone1	/
244	228-2	NNS7	なんか5万円以内だったと思う。	/	/
245	230	NS7	はい、ぜんぜん、国内旅行と一緒にぐらいですよ。	yone1	/
246	231	NNS7	ですよ、私なんか、あの、夏休みに一回帰国したんですけど、往復のチケット代がもう5万。	/	/
247	232	NS7	ああ、はい、すごいですね。	ne2	/
248	233	NS7	最近飛行機も安いです###ね。	ne4	/
249	234	NNS7	ねー、ジェットスターとか。	/	/
250	235	NS7	ああ、はいはい、##シーシーみたいな、###ですかね。	ne3	/
251	236	NNS7	そうそう。	/	/
252	237	NS7	中国の観光地とかって、もしかして、使われたりして、あんまりしないんですか?。	/	/
253	238	NNS7	基本…ふふふ。	/	/
254	239	NS7	この前、海外旅行、トルコとか行ったんですけど、なんか日本語で話かけられたりするんですよ、びっくりして。	/	/
255	240	NNS7	どうだろう、場所によるんじゃない?。	/	/
256	241	NS7	場所による…。	/	/
257	242-1	NNS7	上海とか、大連とか、日本人多い都市は、もしかしたらこいつぱつと見、日本人ぼいな、じゃ、日本人、日本語で話しかけようみたいな感じだけど、例えば、北京だと、例えば万里の長城のぼって、突然日本語話しかけられるのは,,	/	/
258	243	NS7	そうですね、ははは。	/	/
259	242-2	NNS7	たぶん日本人以外、日本人で、日本人で、ちょっとなんとか、何かキャッチして、ああ日本人ですかみたいな、ノリがなければ、たぶんない。	/	/
260	244	NS7	そうですね。	/	/
261	245	NNS7	でも中国基本漢字なので、全然大丈夫ですよ。	yo3	/
262	246	NS7	ああ、はは、本当ですか、あの一、簡体字みたいな。	/	/

データ 8

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS8	よろしくお願いします。	/	/
2	2	NNS8	よろしくお願いします。	/	/
3	3	NS8	えっと、私、えっと T 大学の文学部日本文化学科 1 年の NS8 と言います。	/	/
4	4	NNS8	NS8 さん。	/	/
5	5	NS8	はい。	/	/
6	6	NNS8	NS8(小さい声で)、私は文学部 4 年の国際言語文化学科、NNS8 です。	/	/
7	7	NS8	NNS8 さん。	/	/
8	8	NNS8	はい。	/	/
9	9	NS8	よろしくお願いします。	/	/
10	10	NNS8	よろしくお願いします。	/	/
11	11	NS8	国際ですか?。	/	/
12	12	NNS8	国際ですね、へへへ。	ne3	/
13	13	NS8	ははは。	/	/
14	14-1	NNS8	日文…(はい)、って私は友達が一人もないんで、	/	/
15	15	NS8	ああ、そうなんですか。	/	/
16	14-2	NNS8	文学かなど。	/	/
17	16	NS8	なんか、勉強する内容は、なんか、日本のことだったり、あと、ユーラシアの、アジアの付近の言語とか、文学とか、いろいろ範囲があるんですけど。	/	/
18	17	NNS8	ああ、はいはい。	/	/
19	18-1	NS8	私自身は、日本の、えっと、なんだっけ、中世、	/	/
20	19	NNS8	ああ、はいはいはい。	/	/
21	18-2	NS8	の文学をやりたくて。	/	/
22	20	NNS8	難しくないですか?。	/	/
23	21-1	NS8	ははは、なんか、楽しくて、なんでしょう、歴史の、	/	/
24	22	NNS8	ああ、はいはいはいはい。	/	/
25	21-2	NS8	とかも好きですし、文学も面白くて、そうなんですよ、ははは。	yo3	/
26	23	NNS8	えー、日本の中世だとだいたいいつごろですか?。	/	/
27	24	NS8	えーと、平安時代の終わりごろから鎌倉時代とか。	/	/
28	25	NNS8	結構、じゃ言語とかも違ったりしますか?。	/	/
29	26	NS8	そうですね、古文って形で。	ne3	/
30	27	NNS8	ああ、やばいやばい。	/	/
31	28	NS8	ははは。	/	/

32	29	NNS8	難しくないですか、頭痛くなったり?。	/	/
33	30	NS8	いや、私は好きですね。	ne3	/
34	31	NS8	でもなんかその代わり、なんか私英語とかが苦手で、はは、外国語が…。	/	/
35	32	NNS8	ああ、なるほどですね。	ne5	/
36	33	NS8	はい、<で、すっ>{<}	/	/
37	34	NNS8	<なんか>{>}、はいはいはい。	/	/
38	35	NS8	すみません、そちらのほうが得意ですか?。	/	/
39	36	NNS8	えっと、言語ですか?。	/	/
40	37	NNS8	日本語がいちおう(ほお)、そうですね、あと、英語とか全然ダメなんで、へへ。	/	/
41	38	NS8	いやいやいや、はは。	/	/
42	39	NNS8	なんか、国際でいったん、一回専門の外国語を学ぶんですよ、4年間。	yo2	e2
43	40	NS8	はい。	/	/
44	41	NNS8	で、その言語を用いて論文を書く形にするんですけど。	/	/
45	42	NS8	おおお。	/	/
46	43	NNS8	私に、あの一留学してるんで、自分の国のテーマでも全然大丈夫なんですよ。	yo2	e2
47	44	NS8	おお。	/	/
48	45	NNS8	で、自分の国のテーマをしたら、その自分の国の言語が使えるということになるんで、英語とか全然勉強してなくて、ははは。	/	/
49	46	NS8	ははは、えーそうなんですか。	/	/
50	47	NNS8	はい。	/	/
51	48	NS8	えー、ちなみにどうして日本語を…。	/	/
52	49	NNS8	どうしてですか?。	/	/
53	50	NS8	ははは。	/	/
54	51	NNS8	理由は、あの、中学校の時、たまたま(はい)、日本のアイドルが好きになったんですよ。	yo2	e2
55	52	NS8	ああ、はい。	/	/
56	53-a	NNS8	ちょうど韓国でジャニーズブームみたいな感じで、ちょっと日本の芸人達が(はい)、ちょっと流行ることになって、で、ドラマを一日に、もう数編っていうんですかね、(ああ)&, ,	/	/
57	53-b	NNS8	&見たんですよ。	yo2	e2
58	54	NS8	へえ。	/	/
59	55	NNS8	塾の前に、ドラマ見たいから、なんて、1.5倍の速さにしたり(ははは)、1.7倍の速さにしたり、かけあしみみたいな感じに、ははは。	/	/
60	56	NS8	ははは、かけあしですよ、ははは。	yone1	/
61	57	NNS8	みんなが、で、3年間一人でそうやって動画とか見てたんですよ。	yo2	e2

62	58	NS8	はい。	/	/
63	59	NNS8	で、いつ、なんか偶然な機会があって、ばら、バラエティ番組[↑](はい)、バラエティ番組(バラエティ)、20分(にじゅうぶんと発音)とかじゃないですか。	/	/
64	60	NS8	はい。	/	/
65	61	NNS8	それをみようとしたんですけど、字幕がなくて。	/	/
66	62	NS8	ああ。	/	/
67	63	NNS8	で、字幕無しにみようとしたら、以外と聞ける(おお)…ことになってて、じゃー、大学とかも日本語の専門の科に行ってみようかなあとって、高1から、なんとなーく。	/	/
68	64	NS8	へえ。	/	/
69	65	NNS8	なんか、そんな感じで。	/	/
70	66	NS8	なんかすごいうれしいですね。	ne3	/
71	67	NS8	ははは、はい、へえ。	/	/
72	68-1	NNS8	結構、にほん(日本)の文化とか好きなんで、	/	/
73	69	NS8	ああ、はい。	/	/
74	68-2	NNS8	日本科が好きで、もともと。	/	/
75	70	NNS8	で、日本で言語と、言語が韓国語と語順同じじゃないですか。	/	/
76	71	NS8	ああ、へえ。	/	/
77	72	NNS8	で、なんか、なんとなーく。	/	/
78	73	NS8	ああ、そうなんですか、ははは。	/	/
79	74	NNS8	ははは。	/	/
80	75	NS8	いや、すごいです、もう、本当に。	/	/
81	76	NS8	日本語、上手です、ははは。	/	/
82	77	NNS8	いえいえ、そんなこと。	/	/
83	78	NS8	すごーい。	/	/
84	79	NS8	えっジャニーズ何が流行ってたんですか?。	/	/
85	80	NNS8	ジャニーズ…、うん、そうですね、でももうほぼ10年前になっちゃうんで(はい)、その時は、なんかテレビとかでドラマを、日本のドラマを流しはじめたんですよ。	yo2	e2
86	81	NS8	ああ。	/	/
87	82	NNS8	その時期にちょうど、なんか文化的に解放みたいな感じになって。	/	/
88	83	NS8	はい。	/	/
89	84	NNS8	もともと日本の番組とかがテレビでダメになった時期から、ちょっとだんだん(ああ)、もう大丈夫ですよっていう、政府の政策的な感じ[↑](うんうん)、になった時期なんで。	/	/
90	85	NNS8	で、ドラマを、で、やっぱりなんていうんですかね。	ne3	/

91	86	NNS8	イケメンが出てくるドラマとかあるじゃないですか、はは。	/	/
92	87	NS8	ありますね、はは。	ne5	/
93	88	NNS8	で、国選とか、そうですね、国選で、私は KATTUN が好きだったんですけど(ああ)、嵐とか好きだった人が結構大半だったんですね、その時代は。	ne3	/
94	89	NS8	ええ、私も最初は KATTUN が好きで、はは。	/	/
95	90	NNS8	ああ、そうなんですか。	/	/
96	91	NS8	はは、もう本当その頃ですね、きっと。	ne4	/
97	93-1	NNS8	そうですね、<中2とか、中3だったんで><{}>,,	/	/
98	94	NS8	<すごく好きで><{}>。	/	/
99	93-2	NNS8	小学生じゃないですか、はは?。	/	/
100	95-1	NS8	そうですね、KATTUN、小学生の時に大好きで、,	/	/
101	96	NNS8	ああ、はいはい。	/	/
102	95-2	NS8	小学生6年生ぐらいの時から嵐に、<なったんですけど><{}>。	/	/
103	97	NNS8	<ああ、はい><{}>はいはい。	/	/
104	98	NS8	もうジャニーズ好きです、ははは。	/	/
105	99	NNS8	そうですね、なんか魅力があるんですよ、<面白いし><{}>。	yone2	/
106	100	NS8	<はーい><{}>。	/	/
107	101	NS8	格好いいだけじゃないとか(ああ、はいはいはい)、面白いし、演技もできる(はいはいはい)。	/	/
108	102	NS8	いいですよ、ははは。	yone2	/
109	103-1	NNS8	なんか、だんだん高校ぐらいになると、そういう興味とかもなくなるし、,	/	/
110	104	NS8	ああ。	/	/
111	103-2	NNS8	受験があるじゃないですか。	/	/
112	105	NS8	ああ、そうですね。	ne5	/
113	106	NNS8	本当に、日本語が好きじゃないと勉強ができないぐらいに、その(ああ)興味がなくなっちゃったんで。	/	/
114	107	NNS8	でも、なんとなく、これで、留学してます。	/	/
115	108	NS8	おお、うれしいですね。	ne3	/
116	109	NNS8	ふふふ。	/	/
117	110	NS8	えっ、どっか日本で行ったりとかしましたか、観光地とか?。	/	/
118	111	NNS8	なんか、名古屋と大阪行ったことあるんですけど。	/	/
119	112	NS8	はい。	/	/
120	113	NNS8	大阪を夜行で行ってたんですよ。	yo2	e2
121	114	NS8	へえ。	/	/
122	115	NNS8	その、普通に10時間とかバス乗るじゃないですか。	/	/

123	116	NS8	はい。	/	/
124	117-1	NNS8	で、その時期に雪が降ってたんで、	/	/
125	118	NS8	ああ。	/	/
126	117-2	NNS8	ほぼ 15 時間みたいな、ははは、	/	/
127	119	NS8	はは、へえ。	/	/
128	117-3	NNS8	感じに座ってて、もう腰痛いと、はは。	/	/
129	120	NS8	腰、つらいですね、はは。	yone1	/
130	121	NNS8	もう、夜行、夜行はやめようと思ったんですけど、その次に行ったところが名古屋 だったんですけど、名古屋も結局夜行にしようと、はは。	/	/
131	122	NS8	はは、安いですからね、やっぱり。	ne4	/
132	123	NNS8	そうですね。	ne5	/
133	124	NNS8	結構楽しかったです。	/	/
134	125	NS8	ああ、本当ですか。	/	/
135	126	NNS8	食べ物がおいしくて。	/	/
136	127	NS8	ああ、何食べましたか?。	/	/
137	128	NNS8	大阪では、着いた、着いて初めて食べたのがお好み焼きで(ああ)、でもおいしくて。	/	/
138	129	NS8	おいしいですね。	yone1	/
139	130	NNS8	はい。	/	/
140	131	NS8	私も好きです。	/	/
141	132	NNS8	よろしくお願いします。	/	/
142	133	NS8	ああ、名古屋だと、なんだろう、名古屋###しか出てこないな。	/	/
143	134	NNS8	ああ、何があるんですかね。	ne3	/
144	135-1	NNS8	えーと、味噌カツ[↑],,	/	/
145	136	NS8	ああ、ありますね。	ne5	/
146	135-2	NNS8	おいしかったです。	/	/
147	137	NS8	ああ、本当ですか。	/	/
148	138-1	NNS8	一個、味噌のソースがおいしいのって思ったんですけど、	/	/
149	139	NS8	ああ。	/	/
150	138-2	NNS8	以外とおいしくて。	/	/
151	140	NS8	はあ、はは。	/	/
152	141	NNS8	結構食べたくなります。	/	/
153	142	NS8	分かります、はは。	/	/
154	143	NNS8	出身どこですか?。	/	/
155	144	NS8	出身が長野県のちょっと下のほうなんで、名古屋、もうちょっと近いんですよ。	yo3	/
156	145	NNS8	ああ、いいな。	/	/

157	146	NS8	はい。	/	/
158	147	NNS8	長野県だと、結構雪降ります?。	/	/
159	148-1	NS8	そうですね、結構…,,	/	/
160	149	NNS8	いいな。	/	/
161	148-2	NS8	降る所だと、1メートルとか,,	/	/
162	150	NNS8	すごい。	/	/
163	148-3	NS8	朝起きて###たりして、あれ↑、みたい、はは。	/	/
164	151	NNS8	こんな感じじゃないですか。	/	/
165	152	NS8	こんな感じですね、ははは。	ne5	/
166	153	NS8	あーっと。	/	/
167	154	NNS8	ああ、いいな。	/	/
168	155	NS8	ちょっと、###、ははは。	/	/
169	156	NNS8	ちょっと長年住んでると、そういうだんだん慣れてきて(そう)、もう、またみたいな感じになるんじゃないですか。	/	/
170	157	NS8	はい、もっ。	/	/
171	158	NNS8	いいな、雪。	/	/
172	159	NS8	地元は降りませんでしたか、そんなに。	/	/
173	160-1	NNS8	けっこう降るほうだったんですけど,,	/	/
174	161	NS8	ああ。	/	/
175	160-2	NNS8	日本にきて、あんまり雪みたことないなあと思って(ああ)、もう4年目になるんですけど。	/	/
176	162	NS8	そうですね、この辺だと全然ですよ。	yone1	/
177	163	NNS8	千葉、千葉降らないですね。	ne4	/
178	164	NS8	ですよ。	/	/
179	165	NNS8	今年なんか東京とか降ったのに。	/	/
180	166	NS8	はは、びっくりしました。	/	/
181	167	NNS8	晴みたいな感じでしたね。	ne4	/
182	168	NS8	晴か、雨かみたいなの、あれって、雪はって、ははは。	/	/
183	169	NNS8	降るって言ったよね、みたいな感じですね。	ne4	/
184	170	NS8	ははは、ちょっとがっかりですよ、ははは。	yone1	/
185	171	NNS8	初雪見れる一、と思ったら、全然(ははは)降らないみたいな、ははは。	/	/
186	172-a	NS8	もう、なんででしょうね&,	/	/
187	172-b	NS8	&東京とそんなに変わら<ないのに><{>。	/	/
188	173	NNS8	<ですよ><{>。	/	/
189	174	NS8	ははは。	/	/

190	175-1	NNS8	なんか、先週の月曜日に、あの、先週、弟が、少し、こないだ来てて、,	/	/
191	176	NS8	へー。	/	/
192	175-2	NNS8	月曜日の4限を、ちょっと自主休講に(ははは)、し、したんですよ。	yo2	e2
193	177	NS8	ははは、はい。	/	/
194	178	NNS8	そしたら、その雪降ってたくじゃないですか{<}。	/	/
195	179	NS8	<ああ>{>}、そうですね。	ne5	/
196	180	NNS8	先生が向こうから来れなくて、休講になってたらしくて。	/	/
197	181	NS8	へえ。	/	/
198	182	NNS8	でも、千葉って、その日めっちゃ晴れてたよねみたいなのが、ははは。	/	/
199	183	NS8	はは、千葉は大したことなかった、はは。	/	/
200	184	NNS8	今日絶対休講にならないんだな、じゃじしゅ、自主休講にしようって思って(ははは)、行かなかったのに。	/	/
201	185	NS8	ははは、ちょうどよかったですね、ははは。	ne2	/
202	186	NNS8	はい、もう。	/	/
203	187	NS8	ははは。	/	/
204	188	NNS8	よかったと思いつつ、でもなんか悔しい(ははは)気もするみたいな、ははは。	/	/
205	189	NS8	ははは、確かに、ははは。	/	/
206	190	NNS8	友達に、なんで、なん、何も連絡きて、あの一してくれなかった(ははは)だろうと思いつつ。	/	/
207	191	NS8	ああ、いいですね。	ne2	/
208	192	NS8	でも、家族が遊びにきてくれるって。	/	/
209	194	NNS8	そうですね、さい、せん、その前まで卒論…(言いよどみながら)(はい)があつて、大学院の願書とかも(ああ)出さないといけなかったんで、忙しかったんですよ。	yo2	e2
210	195	NS8	<はい>{<}。	/	/
211	196-1	NNS8	<で、それで>{>}、ストレスたまって弟がなんか1週間、来る1週間前に「姉ちゃん行くよ」と言いだして、,	/	/
212	197	NS8	へえ。	/	/
213	196-2	NNS8	何やってんの(ははは)と思ったんですよ。	yo2	/
214	198	NS8	ははは。	/	/
215	199	NNS8	そんな計画もちゃんとしてないのに、1週間前に(ははは)、しかもこっちにそういう連絡するのって思って(ははは)、「忙しいんだよ」って(ははは)、言ったんですよ。	yo2	/
216	200	NNS8	でも来て、一緒に遊んで、あの、弟帰ってからなんか、でも寂しくなるなあと(ああ)、思っ、たんですよ、やっぱり。	ne3	/
217	201	NS8	そうですね。	yone1	/

218	202	NNS8	家族っていいなと、<思いますよね>{<}	yone2	/
219	203	NS8	<>{>}いいですよ。	yone1	/
220	204	NS8	よろしくお願ひします。	/	/
221	205	NNS8	実家によく帰られます?。	/	/
222	206	NS8	うーん、やっぱ夏休みとか、冬休みとか、と、の時じゃないと帰れないので、いやー、もう毎週帰りたいぐらいです。	/	/
223	207	NNS8	ははは。	/	/
224	208	NS8	ははは。	/	/
225	209	NNS8	えっ、えっと、どのぐらいかかるんですか?。	/	/
226	210	NS8	ここからだ、5時間ぐらいです。	/	/
227	211	NNS8	片道5時間ですか?。	/	/
228	212	NS8	はい。	/	/
229	213	NNS8	やばい。	/	/
230	214-1	NS8	なんか、交通のアクセスが悪くて、	/	/
231	215	NNS8	ああ、はいはいはい。	/	/
232	214-2	NS8	なんか新幹線使っても、特急使っても結局、一緒みたいな。	/	/
233	216	NNS8	ああ。	/	/
234	217-1	NS8	いや、でも、	/	/
235	218	NNS8	じゃ【【。	/	/
236	217-2	NS8	【】いや地元帰るのも大変<ですよ>{<}	yone3	/
237	219-1	NNS8	<いやいや>{>},,	/	/
238	217-3	NS8	飛行機<で、すよね>{<}	yone3	/
239	219-2	NNS8	<>{>}2時間半しかかからない、<ははは>{<},,	/	/
240	220	NS8	<えっ、本当ですか>{>}。	/	/
241	219-3	NNS8	けっこう、大阪の人とか、沖縄の人、とか、「韓国からきたらけっこう遠いよね」って言われるんですけど(はー)、いや、沖縄のほうが遠いよって(ははは)、飛行機でこっちは2時間半みたいな感じ(ははは)です。	/	/
242	221	NNS8	けっこう飛行機で便利だなあと<思いますね>{<}	ne3	/
243	222	NS8	<そうですね>{>}、もうびゅーんと行っちゃいますからね。	ne4	/
244	223	NNS8	そうですね。	ne5	/
245	224	NS8	えー、え、2時間半か、ははは。	/	/
246	225	NNS8	2時間半です(ははは)。	/	/
247	226	NNS8	まあ、まあ、着いてからの家に帰る道も、もうあるっちゃ(ああ)あるんですけど、そういうのいいとして、その飛行機だけでみると2時間半ですよ。	yo3	/
248	227	NS8	へえ。	/	/

249	228	NNS8	けっこう近いんですよ。	yo3	/
250	229	NS8	そうですね、なんか身近に感じてきました>{<}	/	/
251	230	NNS8	<ははは>{<}、以外と遠いと思ってる人けっこうたくさんいるんですけど、そんなかからないですよーって>{<}。	/	/
252	231	NS8	<ははは>{<}、へえ、ははは、そうなんですか、けっこう皆旅行で行ったりしてますからね。	ne4	/
253	232	NNS8	そうですね、やっぱり、最近日本人、って、よく旅行にきてたりしてますね。	ne5	/
254	233	NS8	やっぱそうですね、なんか、知り合いも春休みに何人か行くって言ってて、なんか、すごい人は2回ぐらい行くみたいな、ははは。	/	/
255	234	NNS8	えー、すごい。	/	/
256	235	NS8	はは、えって、ははは。	/	/
257	236	NNS8	へー。	/	/
258	237	NS8	いいですね。	ne2	/
259	238	NS8	やっぱ、私も旅行行きたいです、はは。	/	/
260	239	NNS8	海外旅行とか行ったことありますか？。	/	/
261	240	NS8	ないんですよー。	yo3	/
262	241	NNS8	でも、まだ1年生だと、まだまだ行く機会はあるんで。	/	/
263	242	NS8	行きたいです。	/	/
264	243	NNS8	ぜひぜひ。	/	/
265	244	NS8	<笑い>。	/	/
266	245	NNS8	できれば留学のほう勧めたいんですけど。	/	/
267	246	NS8	ああ、はー、してみたんですけどね。	ne3	/
268	247-1	NNS8	本当に短期でもいいんで、	/	/
269	248	NS8	はーい。	/	/
270	247-2	NNS8	留学って、結構ためになるなーと、思います。	/	/
271	249	NS8	えー、やっぱ文化の違いとかって、やっぱ苦労する面、多いですよ>{<}。	yone1	/
272	250	NNS8	<けっ>{<}、こうありますね。	ne3	/
273	251	NS8	へー、なん、何か、苦労されたことありますか？。	/	/
274	252	NNS8	苦労というか、未だに、よく分からないのが、そういうコミュニケーションでの(ああ)、なんていうんですかね、やりとりというか(ああ)、言葉の表現[↑](うーん)、が控えめな表現とかあるじゃないですか>{<}。	/	/
275	253	NS8	<ああ、ありますね>{<}。	ne5	/
276	254	NNS8	言い回しとか、そういうのが全然未だにできなくて。	/	/
277	255	NS8	ああ、あれは何か、もうたぶん日本人でも若い人は苦手だと思います<笑いながら>。	/	/
278	256	NNS8	<笑い>、結構自分が思ってるのを、単純に口にするタイプ<なんですよ>{<}。	yo2	e2

279	257	NS8	<はい>{>}。	/	/
280	258	NNS8	素直に[↑], (はい)っていうんですかね。	ne3	/
281	259	NNS8	<少し間>で、しかも悪い意味, では、もちろん人はそうなんですけど、人の前で悪い言葉とか(ああ)、あんまり使わないじゃないですか。	/	/
282	260	NS8	はい。	/	/
283	261-1	NNS8	そういうんじゃないくて、いい意味で単純に言うのも、コミュニケーション, をする上で(笑い)、ダメになるときもあったんで,,	/	/
284	262	NS8	ああ、難しい<ですよ><{>}。	yone1	/
285	261-2	NNS8	<まだ分かんない>{>}ですね。	ne3	/
286	263	NS8	社交辞令とか、もう、なんかちょっと、私も思ってることすぐ口に出しちゃうので、なんか「遊びに行こうね」と言われたら、「うん」って言って(はいはいはいはい)、もうそのつもりなんですけど。	/	/
287	264	NS8	「あれ、誘い来<くないな>」って><{><笑い>。	/	/
288	265	NNS8	<{>そうですね、連絡来ないね<笑い>、いつ行くのって、話になるんで。	/	/
289	266	NS8	と、むずむずしちゃいますよね<笑い>。	yone1	/
290	267-1	NNS8	じゃ、いま、「今決める?」となった、そこでまた「うーん、ちょっとまた後で」みたいな感じになっちゃったり(笑い)するんで,,	/	/
291	268	NS8	<笑い>ありますね。	ne5	/
292	267-2	NNS8	人のそこらへんが、分からない<ですよ><{>}。	ne3	/
293	269	NS8	<分からない>{>}ですよ<笑い>。	yone1	/
294	270	NNS8	と、うーん、あと苦勞をしたのは、留学生, が(はい)苦勞するのって、やっぱり友達作り, ですかね。	ne3	/
295	271	NS8	ああ。	/	/
296	272	NNS8	私はけっこう学科が40人とかで(はい)、授業とか入ると、友達がいって、普通に一緒に「隣いい?大丈夫?」って聞いて(ああ)、座る[↑], そういうパターンだったんですけど。	/	/
297	273	NS8	はい。	/	/
298	274	NNS8	他の学科に行くと、けっこう「友達作れないよ」とか(ああ)、言ってる子が、けっこう, いますね。	ne3	/
299	275	NS8	ああ。	/	/
300	276-1	NNS8	自分の学科の, と、特徴っていうか、特性[↑](はい), 的なものもあると思うんですけど、やっぱりみんな外国に対する, そういう認識とかが,,	/	/
301	277	NS8	ああ。	/	/
302	276-2-a	NNS8	なんて言うんですかね《少し間》。	ne3	/
303	276-2-b	NNS8	&なんか興味があるというんですかね。	ne3	/

304	278	NS8	ああ、<はい>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
305	279	NNS8	<が>{>}あるんで、けっこう外国人、という認識より、友達、とみてくれるんで。	/	/
306	280	NS8	ああ。	/	/
307	281	NNS8	そんな深い関係になれなくても、普通に話せるし。	/	/
308	282	NS8	はい。	/	/
309	283	NNS8	普通にお昼とか、隣にいたらお昼行くみたいな感じなんですけど=。	/	/
310	284	NNS8	=他の学科はあんまりそういうのが、(ああ)見られないらしくて。	/	/
311	285	NS8	<>{>}そうなんですか[→]。	/	/
312	286	NNS8	日文も、でもけっこうそういう、ゆ、留学生に対してのあれ、ないんじゃないですか[→]。	/	/
313	287	NS8	<>{>}本当ですか。	/	/
314	288	NNS8	だと思います=。	/	/
315	289	NNS8	=自分の、とも、うーん、人、友達はいないんですけどでも[笑いながら声がやや大きくなる]。	/	/
316	290	NS8	はい[笑いながら]。	/	/
317	291	NNS8	日文の知り合いとかを見ると、そんな(ああ)、そうですね。	ne3	/
318	292-1	NS8	ええ、私同じ学年に留学生いないので、<ちょっとなんか>{<},,	/	/
319	293	NNS8	<確か>{>}にそうですね。	ne5	/
320	292-2	NS8	<(笑い)>、分かんないですけど。	/	/
321	294	NS8	えーでもいってくれたら絶対話かけてに行っちゃうと思いますけどね、ははは、私も、ははは。	ne3	/
322	295	NNS8	ははは、うーん[↓]、留学生の立場として、そういう、友達がいたらうれしいですよ。	yo3	e3
323	296	NS8	ああ、本当ですか<笑い>。	/	/
324	297	NNS8	でも、なんか、深く《少し間》なんて言うんですかね。	ne3	/
325	298	NNS8	付き合うの、が、なんとなく、難しいです。	/	/
326	299	NS8	ああ。	/	/
327	300	NNS8	大変というか、どう接すればいいのか、全然分かんないんで。	/	/
328	301	NS8	ああ。	/	/
329	302	NNS8	《少し間》普通になんか授業とかで、1回ぐらい会ったんですけど、例えばものを、友達に借りて(ほほ)、でも同じ韓国人同士だったら、「ありがとう」って、おくと、あの向こうは何の答えも無しで受け取るんですよ。	yo2	e2
330	303	NS8	へえ。	/	/
331	304	NNS8	でも、日本って、「ありがとう」って言って、「いいえ」みたいな感じのやり取りがある<じゃないですか>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/

332	305	NS8	<ああ>{}、はい。	/	/
333	306-a	NNS8	そういうのも全然、まだ、(へー)ちょっと、まあ、慣れてはきたんですけど(はい)、 たまにそういう、なんというんですかね&,	ne3	/
334	306-b	NNS8	&わざとではない仕方[↑](ああ)、っていうんですかね。	ne3	/
335	307	NS8	ああ。	/	/
336	308	NNS8	そういうのもあつたりしますね。	ne3	/
337	309	NS8	そこなんかお互い理解してないと難しい<ですよね>{}。	yone1	/
338	310	NNS8	<そうですね>{}、けっこう。	ne5	/
339	311	NS8	へー。	/	/
340	312	NNS8	でもバイトとかしながら、そういうやり取りとか、隣を通りすぎるだけで、「あつ すみません」という(ああ)、そういう習慣[↑]、とかはけっこう身に、ついてきたん で。	/	/
341	313	NS8	へー、やっぱりいろんなところで勉強になるんですね。	ne4	/
342	314-2	NNS8	そうですね、やっぱり違う文化っていうのが。	/	/
343	315	NS8	はい、へー。	/	/
344	316	NNS8	でも、けっこう楽しいです。	/	/
345	317	NS8	お、本当<ですか>{}。	/	/
346	318	NNS8	<はい>{} (<笑い>)、日本語使うのが、本当に好きなんで。	/	/
347	319	NS8	へえ。	/	/
348	320	NS8	《沈黙 0.5 秒》ちなみにバイトは、何してるんですか?。	/	/
349	321	NNS8	あ、バイトですか=。	/	/
350	322	NS8	=はい=。	/	/
351	323	NNS8	=私ユニクロ、で<やっています>{}。	/	/
352	324	NS8	<ユニクロ>{}、(はい)へー、この辺のですか?。	/	/
353	325	NNS8	美浜って知ってますか<{}>?。	/	/
354	326	NS8	<ああ、はい>{}。	/	/
355	327	NNS8	その向こうにある、美浜一のほうに、ユニクロが、(ええ)あるんですけど。	/	/
356	328	NNS8	けっこう、そこでやっていますね。	ne3	/
357	329	NS8	ええ、じゃけっこう、お、おきやく、お客さんとも<接したり>{}。	/	/
358	330	NNS8	<そうですね>{} (<ですよね>)、なんかユニクロって、敬語使うじゃないですか。	/	/
359	331	NS8	はい。	/	/
360	332	NNS8	そういうのが最初ものすごく難しくて。	/	/
361	333	NS8	ああ。	/	/
362	334	NNS8	今もなんか、そのバイト用語と、人々の前で話すフォーマルな(ああ)、げん、言葉が 混ざっちゃってるんですよ、<私>{}。	yo2	e2

363	335	NS8	<ああ>{>}。	/	/
364	336	NNS8	で、なんかけっこうこの前も、1年の国際の、じゅ、授業[↑],で(はい),前に出て話をしたことがあるんですけど。	/	/
365	337	NNS8	最初なんか、もうバイト用語と混ざっちゃって、言葉(はい)、言語が混ざっちゃって。	/	/
366	338	NS8	はい。	/	/
367	339	NNS8	そういうのちょっと大変でした。	/	/
368	340	NS8	ええ、そうですね、いろいろ種類がありますもんね。	ne4	/
369	341	NNS8	はい。	/	/
370	342	NS8	同じ言葉でも、言い方が。	/	/
371	343	NNS8	でも(へー)、ユニクロで、働いたからこそ、得たものもあるんで(ああ)、たくさん。	/	/
372	344	NS8	そうで[↓]「声が小さくなる」、<笑い>。	/	/
373	345	NNS8	なんか言語一の、能力が増えますね。	ne3	/
374	346	NS8	あ、本当ですか、へー。	/	/
375	347	NNS8	やっぱりなんか、そうですね、ずっと日本語しゃべれないといけないじゃないですか。	/	/
376	348	NS8	よろしくお願いします。	/	/

データ 9

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS9	はい。	/	/
2	2	NNS9	どうぞ。	/	/
3	3	NS9	えーと、教育学部, 3年の、「NS9 の名前」と申します。	/	/
4	4	NS9	「NS9 の苗字」が苗字で、「NS9 の下の名前」が下の名前《少し間》。	/	/
5	5	NS9	でー…、えーと…教育学部では、小学校…あ、英語, 教育を、学んで、でまあ特に《少し間》一応小学校, の英語教育, とでも、中学校高校の英語教育も, 勉強しています。	/	/
6	6	NNS9	《沈黙 1 秒》うん、それで、よろしくお願ひします。	/	/
7	7	NS9	ふふふ[軽く笑う]<お願ひします>{<}	/	/
8	8	NNS9	<ふふふ[軽く笑う]>{>}	/	/
9	9	NNS9	《少し間》じゃあ、うーん、《少し間》あ、私は、あー「NNS9 の苗字」と申します=。	/	/
10	10	NNS9	=えー、トルコのイスタンブール, から来日しました=。	/	/
11	11	NNS9	=うーん…トルコで…うーん, 電子電気工学と機械運行の工学を, えー《少し間》を卒業して、えー別々で卒業してあとは日本, あーきました。	/	/
12	12	NNS9	《少し間》日本で《少し間》まあ理学部, あー…に所属りがっかりがく理学, 研究, 科に所属しています。	/	/
13	13	NNS9	あーそこでー…ちよつと…、うーん, てん…地震予測(ふーん), の研究, 簡単に言えば、地震予測, の研究を, します。	/	/
14	14	NNS9	《少し間》うーん、はいちよつと電子電気…と関係ある, 研究ですね[→]。	ne3	f
15	15	NNS9	うーん, はい、###よろしくお願ひします。	/	/
16	16	NS9	お願ひします。	/	/
17	17	NS9	お名前もう一回伺ってもいいですか?。	/	/
18	18	NNS9	「NNS9 の名前」。	/	/
19	19	NS9	「NNS9 の名前」。	/	/
20	20	NNS9	うん。	/	/
21	21	NS9	「NNS9 の名前」さん?。	/	/
22	22-1	NNS9	うん、そうです、,	/	/
23	23	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
24	22-2	NNS9	うーん, はい。	/	/
25	24	NS9	スペルはどういふのです?。	/	/
26	25	NNS9	ヤー, カタカナ、ヤ[↑]。	/	/
27	26	NS9	ヤー。	/	/

28	27	NNS9	あとはせん、「NNS9 の名前のカタカナ」。	/	/
29	28	NS9	「NNS9 の名前のカタカナ」。	/	/
30	29	NNS9	はい、<ム,ル>{<}。	/	/
31	30	NS9	<アルファベツ>{>}トで(うん)Y?。	/	/
32	31-1	NNS9	アルファベツの場合は、Y,,	/	/
33	32	NS9	Y?。	/	/
34	31-2	NNS9	「NNS9 の名前の英文字」。	/	/
35	33	NS9	G[↑]。	/	/
36	34	NNS9	M, U, R。	/	/
37	35	NS9	へー「NNS9 の名前」。	/	/
38	36	NNS9	そのGは《少し間》うーん、トルコ語でのGは、えー…、うー読むときは、ちょっと、うーん《沈黙1秒》Gじゃなくて、ちょっとG…を3つの別の文字もあります。	/	/
39	37	NS9	ふーん。	/	/
40	38	NNS9	Gの上にえーん、線をかけて、(あー)あーんそれは別のうー文字に、うーんなります(ふーん)=。	/	/
41	39	NNS9	=その、文字の読み方は、あうーん、ちょっとソフト…ト(うーん)うえーということになります=。	/	/
42	40	NNS9	=だから「NNS9 の名前」。	/	/
43	41	NS9	「NNS9 の名前」。	/	/
44	42	NNS9	「NNS9 の名前」、(ふーん)はい、そうですね。	ne3	/
45	43	NNS9	でそれが名前です、うん。	/	/
46	44	NS9	へー。	/	/
47	45	NNS9	苗字は、「NNS9 の苗字」。	/	/
48	46	NS9	「NNS9 の苗字」[↑]。	/	/
49	47	NNS9	うん。	/	/
50	48	NS9	ふーん。	/	/
51	49	NNS9	その名は《少し間》たぶん…世界中にいっぱいあると思います[やや笑いながら]。	/	/
52	50	NS9	<あ、そうなんだ>{<}。	/	/
53	51	NNS9	<###>{>}。	/	/
54	52	NS9	人気の名前なんだ。	/	/
55	53	NNS9	はい人気の、それ。	/	/
56	54	NNS9	イスラム教の、(うーん)名前な、ので。	/	/
57	55	NNS9	うーん、はい(ふーん)そうです。	/	/
58	56	NNS9	ところで、うー、日本の教育小学校中学校の教育《少し間》えーやってますんで(うん)=。	/	/

59	57	NNS9	=塾ではたらい、働いています?。	/	/
60	58-1	NS9	<あ、塾[↑]>{<},,	/	/
61	59	NNS9	<働いています>{>}?。	/	/
62	58-2	NS9	塾じゃなくて、前は、KUMON で働いてた KU,,	/	/
63	60	NNS9	KUMON、そうですか。	/	/
64	58-3	NS9	ふふ[軽く笑う]。	/	/
65	61	NS9	KUMON トルコにもありますか?。	/	/
66	62-1	NNS9	あー、トルコにない,,	/	/
67	63	NS9	ない,<ふーん>{<}。	/	/
68	62-2	NNS9	<と、ない>{>}。	/	/
69	64	NNS9	面白いです。	中間	a-不使用
70	65	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
71	66	NNS9	実は、最近私は、KUMON…のうーこうちょっと KUMON-について何かえー…《少し間》調べ…て(ふーん)います=。	/	/
72	67	NNS9	=その KUMON、うー…特に今日は KUMON の《少し間》あー《少し間》説明会もあ、ありました↑。	/	/
73	68	NS9	<へー>{<}。	/	/
74	69	NNS9	<それ>{>}は行かなかったけどでも明日は説明会があります=。	/	/
75	70	NNS9	=千葉《少し間》市で(ふーん)そこに行って、ちょっと KUMON…、でえっと、で私の興味はちょっと日本で、ちょっと全然違う興味ですけど(うん)日本の教育、で、(うん)こういう塾の影響をちょっと(うん)調べました。	/	/
76	71	NS9	ふーん。	/	/
77	72	NNS9	えー、自分で。	/	/
78	73	NNS9	あーもしできれば、あー将来ちょっと日本で、塾、(へー)作りたいです。	/	/
79	74	NS9	へー。	/	/
80	75	NNS9	ふふふ、面白いです。	/	/
81	76	NS9	ふふふふ[軽く笑う]。	/	/
82	77	NNS9	今も、塾で今ちょっとえー毎週一時間半ぐらい、授業<英語の授業やります>{<}。	/	/
83	78	NS9	<あーそうなんですか>{>}。	/	/
84	79	NS9	英語?。	/	/
85	80	NNS9	うん。	/	/
86	81	NS9	ふーん。	/	/
87	82	NNS9	えー英語と、えー、英語で、物理。	/	/
88	83	NS9	あー《少し間》へー。	/	/

89	84	NNS9	の授業ですね。	ne3	/
90	85	NS9	高校生にですか?。	/	/
91	86	NNS9	あーはい高校生(ふーん), 高校, 一年生今、学生に。	/	/
92	87	NS9	ふーん。	/	/
93	88	NNS9	英語で, えー物理の授業、あと英語の授業=。	/	/
94	89	NNS9	=そ、それで、うーん面白いです、ははは[大きく笑う]。	/	/
95	90	NS9	うーん、面白いですか↓、へー。	/	/
96	91	NNS9	ふん↓。	/	/
97	92	NS9	みんな分かりますか英語で物理《少し間》やってて?。	/	/
98	93-1	NNS9	英語で物理《少し間》うーんあの学生は、英語、知って(うん)分かってるので、	/	/
99	94	NS9	<得意な子が多い?><{>。	/	/
100	93-2	NNS9	<えー><{>はい、得意学生ですよ。	yo3	/
101	95	NS9	ふーん。	/	/
102	96	NNS9	うーん、だからできできると思いました(うーん)=。	/	/
103	97	NNS9	=私はちょっと…教えるときは、うーん分かってると思いました(ふーん)=。	/	/
104	98	NNS9	=家でも勉強しますので。	/	/
105	99	NS9	へー。	/	/
106	100	NNS9	うーん…【【。	/	/
107	101	NS9	】】 普段は、でも日本語で話してる、高校生たちってこと?。	/	/
108	102-1	NNS9	全然日本語話せない、	/	/
109	103	NS9	あ、話せ。	/	/
110	102-2	NNS9	授業, 授業中で。	/	/
111	104	NS9	<まあ、あ><{>。	/	/
112	105	NNS9	<英語><{>。	/	/
113	106	NS9	でも日本…の高校に通ってる<高校生?><{>。	/	/
114	107	NNS9	<うんうん><{>そうですそうです(へー)そうですね。	ne3	/
115	108	NS9	そういうのがあるんですね。	ne1	/
116	109	NNS9	うーん。	/	/
117	110	NS9	千葉市で?。	/	/
118	111	NNS9	あー船橋の<方で><{>。	/	/
119	112	NS9	<船橋?><{>。	/	/
120	113	NS9	へー私船橋に住んでる<ははは[大きく笑う]><{>。	/	/
121	114	NNS9	<そうですかははは[大きく笑う]><{>。	/	/
122	115	NNS9	これは西区の船橋<で><{>。	/	/
123	116	NS9	<あ、><{>西船橋(うん)ですか。	/	/

124	117	NS9	へー、私は船橋だけど、でも西船橋、もなんか自転車でびゅーっと行けます。	/	/
125	118	NNS9	ふーん。	/	/
126	119	NNS9	<ははは[大きく笑う]近っ>{<}	/	/
127	120	NS9	<ははは[大きく笑う]>{<}	/	/
128	121	NNS9	ほんとに《少し間》近いことです、うーん↓。	中間	a-不使用
129	122	NS9	うん、そうですね。	ne5	/
130	123	NS9	なんていう塾ですか?。	/	/
131	124	NNS9	あー関塾。	/	/
132	125	NS9	関塾(うん)あ、ドクター?。	/	/
133	126	NNS9	あドクター(あー)関塾(へー)そうですね。	ne3	/
134	127	NS9	それって英語で教える(うん)のがあるんですね=。	ne1	/
135	128	NS9	=知らなかった。	/	/
136	129	NNS9	ちょっと今、最近いろいろ、塾とか、では、あー《少し間》トライプラス?(うーん)と関塾と、KUMON…の、あー会社員と会って、(ふーん)いろいろ情報、もらって(へー)あーそれによってそう、例えばどっちが、もっとシステムが(うん)いいですって、うーんいい点悪い点は(うーん)それ比べて、でトライでちょっと《少し間》トライたぶん…来年…《少し間》うー一年間二年間の、間、そういう塾を作りたいです(ふーん)=。	/	/
137	130	NNS9	=でもちょっと、うーん自分の経験を、もう入れて(うん)あ普通の関塾…じゃなくて(うーん)えー…ちょっと、例えば、トルコでも、こういう塾がありました(うん)=。	/	/
138	131	NNS9	=こういう塾で、えーちょっと…少しえーシステムが、えーうーん、異なりました(ふーん)=。	/	/
139	132	NNS9	=例えばいろいろ経験を、合わせて《少し間》授業、あつくるつか作りたい=。	/	/
140	133	NNS9	=特に、えー理由は、うー《少し間》日本の学生は《少し間》私にとってあまり留学のことを《少し間》(あー)知らないと思う。	/	/
141	134	NS9	そうかもしれない。	/	/
142	135	NNS9	あー留学に行くことをちょっと《少し間》なに難しくと(うん)考えると思いました。	/	/
143	136	NS9	うーん。	/	/
144	137	NNS9	それが留学…のことは。	/	/
145	138	NNS9	特にえー高校生は(ああ、そうですね)、大学院、入れないと思う。	/	/
146	139	NS9	うーん。	/	/
147	140	NNS9	行かないと思う、<留学>{<}	/	/
148	141	NS9	<海外の大学?>{<}	/	/
149	142	NNS9	はい、海外<の大学に>{<}	/	/

150	143	NS9	<うーん>{ }。	/	/
151	144	NNS9	[咳]。	/	/
152	145	NNS9	だから、うーん[咳]日本でこういう例えば、海外の大学に、あー《少し間》大学の試験…に、例えば、準備を(ふんふん)する塾とか(あー)。	/	/
153	146	NNS9	こういう《沈黙1秒》とこゝろ《少し間》開きたいんです。	/	/
154	147	NS9	ふーん。	/	/
155	148	NNS9	私とうーん[咳]私…とちょっと、えー、うーん先輩もいます、日本で。	/	/
156	149	NS9	ふーん。	/	/
157	150	NNS9	###ふふふ[軽く笑う]。	/	/
158	151	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
159	152	NNS9	全然違います、今やってる、研究とあははは(ははは、そうですね)、<うーん>{ }。	/	/
160	153	NS9	<トルコ>{ } 《少し間》トルコ、の塾ってどういう感じですか？。	/	/
161	154	NS9	日本とは【【。	/	/
162	155	NNS9	】】トルコの塾はえー日本で?[↑]《少し間》あーちっちゃな塾はいっぱいあります。	/	/
163	156	NS9	ふーん。	/	/
164	157	NNS9	トルコで、えー…大きい《少し間》例えば、あー五階すんすん…(うん)五階とでこういう(うん)大きい建物で、えー大きい塾、うーん学校みたい。	/	/
165	158	NS9	うんうん。	/	/
166	159	NNS9	でも、えーその塾に行って《少し間》ずっと出ればえーん、うーん、いくつの授業、えで一順番があつて、であ物理、あとはうーん数学(うーん)、あとは、化学、その塾、ちょっと、えー《少し間》クラスは、ではうーん数は学生の数は、三十人、(ふーん)くらい、大きいクラスで、あとはシステムも、日本のシステムをちょっと…ええーうん新しいシステムを今じゅ塾、トルコの塾でやってきた、そのシステムで例えば、えースマート《少し間》えー《少し間》(うん)画面があります(ああ)。	/	/
167	160	NNS9	=それ、ちょっとえー、その普通のスマートフォンみたい(うんうん)スマート画面で、では(へー)えー…、ちょっと…いろいろビデオでいろいろ、うーん《沈黙1.5秒》なに写真などで(うんうん)はいろいろ授業を教えること、例えば、最近はちょっとこういう、芸術的…技術的な、えーシステムを…お今あー…現在の、トルコの塾の会社は《少し間》でき、た《少し間》そうです。	/	/
168	161	NS9	ふーん。	/	/
169	162	NNS9	で、私の…子供の時は《少し間》あー《少し間》うそういう視線はなかったけども一ずっと、勉強でした。	/	/
170	163	NS9	ふーん。	/	/
171	164	NNS9	う《少し間》それははい《少し間》授業もあつて、えー授業の後は、ちょっと KUMON	/	/

			みたい(うん)KUMONしてるみたい。		
172	165	NNS9	えー先生たちは、えー質問を、例えば、えー問題を《少し間》えーと、ととう、解けるようにぬ、な、支援していました。	/	/
173	166	NS9	ふーん。	/	/
174	167	NS9	《少し間》結構、小学生とかから塾に行くの、トルコでも?。	/	/
175	168	NNS9	あぁトルコで《少し間》うーん《少し間》今小が、く生で前は小学生はいらなかった。	/	/
176	169	NS9	うんうん。	/	/
177	170	NNS9	小学生…たちは、ちょっとトルコは、えー教育システムで、あーん《沈黙1秒》ちょっと《少し間》前はえー…うあー《少し間》えと、日本でえー学校にー入るために(うん)えー試験があります=。	/	/
178	171	NNS9	=では小学校ありん…あると思います=。	/	/
179	172	NNS9	=<あの>{<}【【。	/	/
180	173-1	NS9	】<小学校>{<}、公立はないけど(ふん)私立の、,	/	/
181	174	NNS9	はい、<私立のであります>{<}。	/	/
182	173-2	NS9	<学校だと、うん>{<}。	/	/
183	175	NNS9	あと高、校学校は?。	/	/
184	176	NS9	高校?。	/	/
185	177	NNS9	高校<学校>{<}。	/	/
186	178	NS9	<高校は>{<}、私立でも公立でも(はん)試験ある、うん>{<}。	/	/
187	179	NNS9	<あります、うん>{<}それあります。	/	/
188	180	NNS9	あトルコでもう…そうです、(うん)同じです。	/	/
189	181	NNS9	あー《少し間》はい。	/	/
190	182	NNS9	ん《少し間》じゃあトルコで、ちょっと今まで、えーこういう小が、く生は…塾に、行くことがちょっと、いらな(うん)かった。	/	/
191	183	NS9	うん。	/	/
192	184	NNS9	でも最近は、えー今、システムは、えー別のシステムは、えーできた、政府より。	/	/
193	185	NS9	<ふーん>{<}。	/	/
194	186	NNS9	<そのシステムで>{<}、あー《沈黙1秒》えー小学、う小学生は、小学生1年2年3年、生も、えー毎年、えー受験しました。	/	/
195	187	NS9	へー。	/	/
196	188	NNS9	あー、ちょっと、一年生は、受験を、しました。	/	/
197	189	NS9	ふーん。	/	/
198	190	NNS9	あとは《少し間》2年…生の時も、三年生の時もその三つの試験の、結果はそれは、30%30%40%《少し間》一緒で、100%で、(ふーん)えーもっと、いい、えー高校に《少	/	/

			し間》行けますかも(ふーん)しれない。		
199	191	NNS9	あー高学《少し間》あー行けます。	/	/
200	192	NNS9	高校生も同じように、一年生二年生あとは、最後は《少し間》あー、大事な、うーん、試験で、大学に、入りました。	/	/
201	193	NS9	へー。	/	/
202	194	NNS9	《少し間》んー。	/	/
203	195	NNS9	でも《少し間》前は私の、子供う…の時は、《少し間》うーん、ほんとにシステム悪かったと思う。	/	/
204	196	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
205	197	NNS9	例えば、高校一年二年三年終わった後、(うん)あのわたし、私の場合は四年えー…(うん)四年もありました。	/	/
206	198	NNS9	四年あとは四年…の最後の例えば《少し間》あー学期で、(ふんふん)試験があつて、その試験は三時間の試験。	/	/
207	199	NS9	あー。	/	/
208	200	NNS9	三時けん?せんで四年間の、ことを三時間(ふふふ[軽く笑う])で《沈黙1秒》受けて(うーん)それは例えばその日は、病気かどうか(うーん)それは構わない。	/	/
209	201	NS9	<うーん>{<}	/	/
210	202	NNS9	<ふふふ[かすれた笑い]>{>}。	/	/
211	203-1	NNS9	もし病気だったら、《沈黙一秒》,,	/	/
212	204	NS9	もうしょうがない?。	/	/
213	203-2	NNS9	しょうがない<です>{<}。	/	/
214	205	NS9	<ふふふ[軽く笑う]>{>}。	/	/
215	206	NNS9	あとはその三、時間の、うーんー試験を受けて、パニックになります。	/	/
216	207	NNS9	でも(ふーん)私が###と、そのシステムが全然今、別の種類えシステムが、<できた>{<}。	/	/
217	208	NS9	<ふーん>{>}。	/	/
218	209	NS9	《少し間》毎年試験みたいな?。	/	/
219	210	NNS9	そうです。	/	/
220	211	NS9	<へー>{<}。	/	/
221	212	NNS9	<毎年>{>}。	/	/
222	213	NNS9	あとはしゅーん…で四年…目で《少し間》あー《少し間》んー、二つに、分けて(うーん)《少し間》そのシステム(うーん)は、ほんといいです。	/	/
223	214-1	NNS9	<あ>{<},,	/	/
224	215	NS9	<日本>{>}も(うん)そういう風になる、らしいね。	ne3	/
225	216	NS9	よく知らないけど、高校生、で一年、高校三年間なんですけど、一に、一年の時に、試	/	/

			験受けて二年の時も受けて、三年の時も受けて、でその《少し間》合計ってどうか (うーん)その平均とかで(うーん)大学に, apply するみたいな, 風になるって。		
226	214-2	NNS9	うーんそうです。	/	/
227	217	NS9	うーん、その方がいいですかね。	ne3	/
228	218	NNS9	ふっ[軽く笑う]。	/	/
229	219-1	NS9	ふふ[軽く笑う]ずっと勉強, する (そうですね) 、うーん。	/	/
230	221	NNS9	難しいです。	/	/
231	222	NS9	<ふふふ[軽く笑う]><{>。	/	/
232	223	NNS9	<んん[咳払い]><{>。	/	/
233	224	NNS9	でも日本の教育システムでほんとに学生たちは、《少し間》はは[少し笑う](ふふ ふ[少し笑う])状態は学生たちのほんとに《少し間》あまり良くないと思うくははは [軽く笑う]><{>。	/	/
234	225-1	NS9	<うーん><{>なんか、入ってしまえばもう(うーん)あんまり<勉強しない><{>, ,	/	/
235	226-1	NNS9	<が,><{>大学に入るまで,,	/	/
236	225-2	NS9	そうそう。	/	/
237	226-2	NNS9	その名前なんですか?。	/	/
238	227-1	NNS9	その, あー…受験のそのじゅけじゅ,,	/	/
239	228	NS9	大学受験?。	/	/
240	227-2	NNS9	大学じゅ受験,,	/	/
241	229	NS9	受験。	/	/
242	227-3	NNS9	まで,,	/	/
243	230	NS9	<まで[↑]><{>。	/	/
244	227-4	NNS9	<の><{>, 間の例えば二十年《少し間》あ二十年, じゃなくて、例えば十五年, 間の, 名前がある…そう, でした。	/	/
245	231	NS9	え?なんだろう?。	/	/
246	232	NNS9	あーんん[咳払い]。	/	/
247	233	NS9	いつからいつまで?。	/	/
248	234	NNS9	それを, うん, え例えばとくせん, たくさんあー試験がありますので(うん)その…い ろいろ名前があったと思う。	/	/
249	235-1	NNS9	それは,,	/	/
250	236	NS9	《少し間》なんだろう, 受験期[↑], とか?。	/	/
251	235-2	NNS9	受験期?。	/	/
252	237	NS9	違う, かな。	/	/
253	238	NNS9	<んー><{>。	/	/
254	239	NS9	<長い期間><{>の話ですか?。	/	/

255	240-1	NNS9	ん長い期間で一えーたくさんの試験…がありますので、それは、学生の間は、あー 《沈黙1秒》ちょっと悪い、い名前、	/	/
256	241	NS9	悪い?。	/	/
257	240-2	NNS9	はありました。	/	/
258	242-1	NNS9	受験《少し間》えーには英語で、あー《沈黙1秒》exam、	/	/
259	243	NS9	<exam?><{>。	/	/
260	242-2	NNS9	<exam><{>he, hell。	/	/
261	244	NS9	ふーん。	/	/
262	245	NNS9	hell は、地獄?。	/	/
263	246	NS9	うんうんうん。	/	/
264	247	NS9	えーなんだろう?。	/	/
265	248	NNS9	試験地獄[↑]《少し間》<ですか?><{>。	/	/
266	249	NS9	<ははは><{>。	/	/
267	250	NS9	いやーそういう言葉ないなあ。	/	/
268	251	NS9	なん、なんだろう。	/	/
269	252	NS9	《少し間》大体なん、いつからいつまで、の話?。	/	/
270	253	NS9	もう小学生<から?><{>。	/	/
271	254-1	NNS9	<小学生><{>から、大学、	/	/
272	255	NS9	入るまで?。	/	/
273	256	NS9	<高校卒業まで?><{>。	/	/
274	254-2	NNS9	<たくさんあり><{>(へー)たくさん、受験あるし…に、試験あります。	/	/
275	257-1	NNS9	で、《少し間》ちょっと、うん分かんない、	/	/
276	258	NS9	分かんない?。	/	/
277	257-2	NNS9	そう、<ふふふ[軽く笑う]><{>。	/	/
278	259	NS9	<ははは[大きく笑う]><{>。	/	/
279	260	NS9	<なんでしょう?><{>。	/	/
280	261	NNS9	<面白い名前><{>が、(ふーん)あったり###調べました。	/	/
281	262	NNS9	その(ふーん)wikipedia、とか、普通(ふーん)のところで《少し間》見たことあります><{>。	/	/
282	263	NS9	<なんだろうか><{>。	/	/
283	264	NNS9	ふーん。	/	/
284	265-1	NS9	でも確かに、大学に入ってしまったらもう《少し間》結構、	/	/
285	266	NNS9	楽になります。	/	/
286	265-2	NS9	うーん<そうそんな感じ><{>。	/	/
287	267	NNS9	<はははは[大きく笑う]><{>。	/	/

288	268	NS9	はは[大きく笑う]。	/	/
289	269	NNS9	日本の大学…ほんとに、う、簡単、大学をで一勉強ほんとにぬエリート(うん)###になります。	/	/
290	270	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
291	271	NNS9	ここでええ、後輩たちは(うん)んん[咳払い]、大学、生なので《沈黙1秒》そういうことははは(うーん)###しました。	/	/
292	272	NS9	うーん、確かに。	/	/
293	273-1	NS9	あんまり,,	/	/
294	274	NNS9	う逆に、(うん)トルコで大学は難しいです。	/	/
295	273-2	NS9	あー入るのは?。	/	/
296	275	NNS9	入るのは難しいーですけど、(うん)でも、日本ん…どうあ日本日本、日本より、《少し間》もっとあの、(うん)簡単です。	/	/
297	276	NNS9	日本でも、うーんほんとに難しいですね。	ne3	f
298	277	NNS9	《少し間》あー、トルコで、試験だけですね。	ne3	f
299	278	NS9	うーん。	/	/
300	279	NNS9	試験の後は、面接はない。	/	/
301	280	NS9	あー。	/	/
302	281	NS9	《少し間》そっか日本は、たまーにあります。	/	/
303	282	NS9	ある場合もある。	/	/
304	283	NNS9	<うー>{<}	/	/
305	284	NS9	<必ず>{>}じゃないけど>{<}。	/	/
306	285	NNS9	<はい>{>} (うん) えんでそれはいい大学はほんとに(うん)試験、えー面接あると思いますね(うん)なんでも。	ne3	/
307	286	NNS9	《少し間》それも、うーん《沈黙1秒》少しこの、トルコでない、(うーん)直接行く。	/	/
308	287-1	NNS9	でも、大学で、うーん,,	/	/
309	288	NS9	卒業するのが難しい?。	/	/
310	287-2	NNS9	大学によって違うー(うん)けどでも《沈黙1秒》んー《少し間》一般で、ちょっと難しいです=。	/	/
311	289	NNS9	=その、(うん)###より、はんーなに一例えば授業で特に、あー他の学部わかんないけど、自分のことで《少し間》あー、ほんとに、試験…たちはその試験は、ほんとに難しかった。	/	/
312	290	NS9	うーん。	/	/
313	291	NNS9	《沈黙1秒》<んー>{<}。	/	/
314	292	NS9	<あと>{>}トルコーは、大学ー、海外の大学に行くってことはもっとポピュラーです	/	/

			か、〈日本より?〉{<}		
315	293	NNS9	〈ボピュラ〉{>}ーですね、〈そうです〉{<}。	ne3	/
316	294	NS9	〈ふーん〉{>}。	/	/
317	295	NNS9	えー、ERASMUS という、んーERASMUS と読める、プログラムがあります。	/	/
318	296	NNS9	これがま、《沈黙1秒》ERASMUS は、ヨーロッ…パーあるヨーロッパの有名人《少し間》です。	/	/
319	297	NNS9	前は昔(うん)住んでた人。	/	/
320	298	NNS9	その人の名前で、えー、こういうプログラムが、できた。	/	/
321	299	NNS9	でも、これなに…ヨーロッ、パの国、々、の間[↑], とトルコのトルコも、それを含めてました。	/	/
322	300	NNS9	えーっ例えば、こうヨーロッパの国々のあい、だ、学生の、交流、(ふーん)交流、活動です。	/	/
323	301	NNS9	例えば、えーんデンマークから、例えば、ドイツに、学生が行って、ドイツの(ふーん)###で学んで(んー)五ヶ月一年間くらい。	/	/
324	302	NS9	〈ふーん〉{<}。	/	/
325	303	NNS9	〈あとは、>{>}トルコの学生は例えば、えーイタリアーに行って、イタリアーの学生は、えートルコに、(うーん)来て、お互い。	/	/
326	304	NNS9	私の場合は例えば二人の子供に、学生は、いました。	/	/
327	305	NS9	へー。	/	/
328	306	NNS9	私の、二人のともだい…二人じゃなくて…みつつ、三人ともイスタンブール、###に行きました>{<}。	/	/
329	307	NS9	〈ふーん〉{>}。	/	/
330	308	NNS9	五ヶ月一年間くらい(ふーん) こういう…勉強があります。	/	/
331	309	NS9	《少し間》交換留学?。	/	/
332	310	NNS9	はい、〈交換留学です〉{<}。	/	/
333	311	NS9	〈はー 《少し間》 ふーん〉{>}。	/	/
334	312	NNS9	えー…、お金をそのプログラムを(うーん)えー奨学金あげました。	/	/
335	313	NS9	ふーん。	/	/
336	314	NNS9	あー 《沈黙1秒》 その、ちょっとヨーロッパのプログラムすごいの。	/	/
337	315	NS9	ふーん。	/	/
338	316	NNS9	〈###プログラム〉{<}。	/	/
339	317	NS9	〈で、じゃあ〉{>}、日本とか他の国の一大学に《少し間》ヨーロッパ以外の《少し間》大学に行くのは結構《少し間》それトルコの中でもハードル高いんですか《少し間》〈ヤームルさんみたいこ〉{<}。	/	/
340	319-1	NNS9	うーん、そうですね、あー、あアメリカ、とヨーロッパに、いよく行きます(うーん)	/	/

			けど、えー、それ以外の、国は、		
341	320	NS9	あんまり聞かない?。	/	/
342	319-2	NNS9	あまりないっすでも最近あちよっとう奨学金も、なかったので今まで(うーん)。	/	/
343	321	NNS9	でも最近、あー政府ーはいくつも奨学金のプログラムを(ふーん)あー…《少し間》始めました。	/	/
344	322	NNS9	その、プログラムは《少し間》あーで例えば…私の友達が今《少し間》日本のこと、(ふーん)あー選んで、奨学金を受けた(ふーん)政府ーから。	/	/
345	323	NNS9	こういうーいくつもプログラムありました。	/	/
346	324	NNS9	じゃ、それで奨学金を得て、(うんうんうん)交換…留学は(うんうん)増えると思えますくはは[軽く笑う] (そうですね)。	/	/
347	326	NS9	《少し間》学費高いですかトルコの大学?。	/	/
348	327-1	NNS9	全然…、	/	/
349	328	NS9	高くない?。	/	/
350	327-2	NNS9	あ、ゼロ。	/	/
351	329	NS9	ゼロ?。	/	/
352	330	NS9	あーそうなんだ。	/	/
353	331	NNS9	《少し間》あう…私の学生えでえで私は、例えばちよっと、あむ《沈黙1秒》うーいくくらいでした?。	/	/
354	332-1	NNS9	あー二万、二万円、	/	/
355	333	NS9	<二万円?>{<}	/	/
356	332-2	NNS9	<<くらいだった>>{>}。	/	/
357	334	NS9	一年間で?。	/	/
358	335	NNS9	《沈黙1秒》あーいえいえ、半年で(あー)二万円。	/	/
359	336	NNS9	二万円…はいくらいだった。	/	/
360	337	NS9	ふーん。	/	/
361	338	NNS9	で私は卒業…するときは、え三年なん、三年間前?。	/	/
362	339	NS9	うんうん。	/	/
363	340	NNS9	それは政府より、こういうー、大学の《少し間》あー…学費、とか(うん)それは、ゼロに、(ふーん)えーなった。	/	/
364	341	NNS9	《少し間》今ゼロです[やや笑いながら]。	/	/
365	342	NS9	そうなんだ、日本はすごい学費が(うん)高く、なった。	/	/
366	343-1	NS9	こ、今国立ー《少し間》私立ーはすごい高くて国立はもう、それでも、一年間五十万ぐらいの、	/	/
367	344	NNS9	うーん、そうです、日本でほんとに高い<です>{<}。	/	/
368	343-2	NS9	<うーん>{>}、また上がるかもしれない。	/	/

369	345	NNS9	うーん。	/	/
370	346	NNS9	《少し間》あとは日本で…で一大学生, 留学生も, 日本…人の学生も####あります ><{>。	/	/
371	347	NS9	<ふふふ[軽く笑う]><{>。	/	/
372	348	NNS9	それは分か, 分かんない[やや笑いながら]。	/	/
373	349	NS9	うーん。	/	/
374	350	NNS9	それはう 《少し間》 普通は例えばえ, 他の国でも, トルコでも同じ, と思う。	/	/
375	351	NNS9	例えばアメリカ, 人はアメリカで, もっと安い, お金を払いました。	/	/
376	352	NNS9	でもアメリカに行っ, たら, 例えば留学生として, もっと高いお金を, からわなければ例えば, なくてはならないで, トルコでも同じ。	/	/
377	353	NNS9	例えば, えー他の学生たちは, 別の…留学を, してる学生たちは, 《少し間》三倍四倍の(へー)お金を払いました。	/	/
378	354	NNS9	《沈黙 1.5 秒》 えーま, いま今 《少し間》 食事はゼロ, あ払いました。	/	/
379	355	NNS9	でもその, まだ, 留学生は(うん) ちょっとおうー高く, 高い(ふーん) お金を払います。	/	/
380	356	NNS9	でも日本で####[やや笑いながら]。	/	/
381	357	NS9	あははは[大きく笑う]。	/	/
382	358	NS9	でも留学生にとってはじゃあ同じ方が, 安く済む《少し間》からまあいいってこと?。	/	/
383	359	NNS9	留学生のう…お金は大丈夫。	/	/
384	360	NNS9	(うん)分かってます。	/	/
385	361-1	NNS9	いま, 私にとってちょっと日本一人ーのことはちょっと 《少し間》 もっと<安くて ><{>, ,	/	/
386	362	NS9	<あー安くて><{> もいいふふ[やや笑いながら]。	/	/
387	363	NS9	確かに, なんか奨学金, とかもあんまり, ない。	/	/
388	364	NS9	なんか奨学返す時に, 利子払わない(うん) と, 多く払わなきゃいけない(うーん) っていうのがすごい多いから。	/	/
389	361-2	NNS9	ここではバイトが, うーん 《少し間》 人気なので(うーん) みんなバイトしてますね。	ne3	f
390	365	NNS9	《沈黙 5 秒》 ずっと教育の話を。	/	/
391	366	NS9	ははは[軽く笑う]。	/	/
392	367	NNS9	ははは[大きく笑う]。	/	/
393	368	NS9	ふふふ[軽く笑う]。	/	/

データ 10

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS10	ふふふ[軽く笑う]、もう沈黙?<ははは[大きく笑う]><{>。	/	/
2	2	NS10	<###><{>, はじめまくして><{>。	/	/
3	3	NNS10	<はじ><{>めまして。	/	/
4	4	NS10	えっとー「NS10 の名前」といいます。	/	/
5	5	NNS10	「NS10 の名前」?。	/	/
6	6	NS10	「NS10 の名前」。	/	/
7	7	NNS10	<「NS10 の名前」 さんですか><{>。	/	/
8	8	NS10	<えっとー《少し間》><{>んーなんだろう、言語学をやってて(あー)うーんとね《少し間》日本語とドイツ語の、比較[↑]の(へー)の研究をやってます。	/	/
9	9	NNS10	ほー。	/	/
10	10	NS10	よろしくお願いします。	/	/
11	11	NNS10	よろしくお願いします。	/	/
12	12	NNS10	「NNS10 の名前」。	/	/
13	13	NS10	「NNS10 の名前」?。	/	/
14	14	NNS10	「NNS10 の名前」。	/	/
15	15	NS10	「NNS10 の名前」?。	/	/
16	16	NNS10	うん、そう。	/	/
17	17-1	NNS10	あの一「NNS10 の名前の漢字」に,,	/	/
18	18-1	NS10	「NNS10 の名前の漢字」に,,	/	/
19	17-2	NNS10	うーん、「NNS10 の名前の漢字」[↑]。	/	/
20	18-2	NS10	<「NNS10 の名前の漢字」?><{>。	/	/
21	19	NNS10	<「NNS10 の名前の漢字」><{>てなんか、漢字…で書くと、ツル。	/	/
22	20	NS10	<ツル?><{>。	/	/
23	21	NNS10	<だから><{>草草に日ーにい、あとあと四又っていう漢字で(へー)そう蔓(うんうん)になります。	/	/
24	22-1	NNS10	で、「NNS10 の名前」,,	/	/
25	23	NS10	「NNS10 の名前」。	/	/
26	22-2	NNS10	と申します。	/	/
27	24	NNS10	《少し間》で私、うーん[咳払い]《少し間》内モンゴル出身。	/	/
28	25-1	NNS10	あの一(うん)中国一国籍一で(うん)あって、モンゴル族という,,	/	/
29	26	NS10	中国国籍で、モンゴル族?。	/	/
30	25-2	NNS10	モンゴル族、内モンゴル、モンゴル人、という、<感じ><{>。	/	/

31	27	NS10	<へー>{}え、国はモンゴルの、その中国の中の、モンゴルの近くに住んでるとかではないんですか?。	/	/
32	28	NNS10	あーそうですね、モンゴルはあ、あの外モンゴルと内モンゴルって分けてにゃ(ふーん)うん。	/	/
33	29	NNS10	うん。	/	/
34	30	NS10	あーわかんない<へへへ[大きく笑う]>{}。	/	/
35	31	NNS10	<そう、>{}なんか、戦争でね(うん)ぬえ、だから、あの外モンゴルを、が、独立して(うん)今、中国のうちに[↑](うん)あの少数民族(うんうん)として、モンゴル族も住んでいる。	/	/
36	32	NS10	うんうん。	/	/
37	33-1	NNS10	だから私は、そっち<のく>{}、,	/	/
38	34	NS10	<今中国の>{}、国の中に住んでる?。	/	/
39	33-2	NNS10	住んでる(へー)少数民族。	/	/
40	35	NS10	難しいですね、グループは>{}。	ne3	/
41	36	NNS10	<はは>{}[大きく笑う]グルーうんそれちょっと難しい。	/	/
42	37	NNS10	そう民族が多い(うんうん)いからね、なんか。	ne3	/
43	38-1	NS10	なんか、私前授業一緒に受けてた人も、(ふーん)内モンゴル《少し間》(あー)なんかドンさんとかって、,	/	/
44	39-1	NNS10	あドンさん、,	/	/
45	38-2	NS10	<ドンさん?>{}。	/	/
46	39-2	NNS10	<分かるよ>{}。	yo2	/
47	40	NNS10	&ドンさん、<一緒にいたから>{}。	/	/
48	41	NS10	<<内モンゴル>>{}ですーって言って(ふんふん)モンゴルじゃないのかなーっと[軽く笑いながら]。	/	/
49	42	NNS10	はっはっは[笑いながら]。	/	/
50	43	NNS10	なるほどいつも(うーん)そう聞かれる[↑]<ふーん>{}。	/	/
51	44	NS10	<そう分かんない>{}くてへへ<へ>{}[大きく笑う]。	/	/
52	45	NNS10	<な>{}るほどね。	ne5	/
53	46	NS10	へー。	/	/
54	47	NNS10	うーん。	/	/
55	48	NS10	そうなんだ。	/	/
56	49	NS10	いつから日本にいるんですか?。	/	/
57	50	NNS10	私一來でもう3年間に(あっ)なる(そうなんですね)、<うーん>{}。	/	/
58	53	NS10	<大学>{}院生?。	/	/
59	54	NNS10	うん、今院生一、二年生です。	/	/

60	55	NS10	2年生あつ、同じですね。	ne4	/
61	56	NNS10	<おー><く>。	/	/
62	57	NS10	<私も><く>。	/	/
63	58	NNS10	もう卒論でくすかあ?><く>。	/	/
64	59	NS10	<ふふふー[笑う]><く>書かなきゃいけない(はー)ですよねえ。	yone2	/
65	60	NNS10	止まっています。	/	/
66	61-1	NNS10	あの最近もうそろそろ(うん)ん現地調査に、(あつ)行くってことで、	/	/
67	62	NS10	へー(ん)何を研究してるんですか?。	/	/
68	61-2	NNS10	私特に少数民族の(うん)教育[↑]。	/	/
69	63	NS10	教育?。	/	/
70	64	NNS10	うん、モンゴル族(うんうん)のそのお《少し間》中国の(うん)大きなそういう社会の中(うん)で、その少数民族として、少数民族の教育は[↑]、どのような[↑]、あ のば、あの一なんていう、ど、どのような[↑]《少し間》今、現状とか(うんうん)実 態を[↑]、把握するというこで。	/	/
71	65	NS10	<へー><く>。	/	/
72	66-1	NNS10	<色><く>々、まあ、政策もあるし[↑](うん)経済と関係(うん)もあるし色々<おうん ><く>、,	/	/
73	67-1	NS10	<それを><く>実際に中国に行って、	/	/
74	66-2	NNS10	そうですね。	/	/
75	67-2	NS10	その、少数民族の人等から話を聞いたり《少し間》(うーん)そういうこと?。	/	/
76	68	NNS10	そうですね、私も、まあそろそろそういうインタビューとか(うんうんうん)で、う ん《少し間》。	/	/
77	69	NNS10	なんか特に、なんか私たちのようなモンゴル人[↑](うん)が、今、いろんな、子 供を《少し間》あモンゴル人の子供(うん)が、その漢民族の[↑](うん)ま、大きな 民族は(うーん)漢民族じゃ<ん?><く>。	/	/
78	70	NS10	<うん><く>。	/	/
79	71	NNS10	その、だから漢民族の学校を選んで(うん)自分のそのも、母語を[↑]、話せなくなっ てる。	/	/
80	72	NS10	あーなるほど><く>。	/	/
81	73	NNS10	<そう、><く>そういう状態があ、危機だなんて思って(うん)んー《少し間》で、特に その、親たち。	/	/
82	74	NNS10	例えばそのえ学校を選択するとき(うん)に、親が[↑]、選択す(うんうん)るでし よ?。	/	/
83	75	NNS10	私たちす、小さいときに><く>。	/	/
84	76	NS10	<小さい><く>から。	/	/

85	77	NNS10	うん、そうそう。	/	/
86	78	NNS10	だから、学校を選択するときに[↑]親たちに[↑]インタビューとかやる<と><く>。	/	/
87	79	NS10	<へー><{}> (にゃー) そうなんだ、難しい。	/	/
88	80	NNS10	難しい。	/	/
89	81	NS10	<えへへへ[大きく笑う]><{}>。	/	/
90	82-1	NNS10	<私もまあ><{}> 昨日も夜まで3<時まで計画書><{}>, ,	/	/
91	83	NS10	<えっ, ひどい><{}> ふっ[軽く笑う]。	/	/
92	82-2	NNS10	ほんと。	/	/
93	84	NS10	<へー><{}>。	/	/
94	85	NNS10	<計画書><{}> 書いた(うん)て、まあもうそ、まああとまあ4日間ぐらい残(うん)ってるので《少し間》うん、帰るのは《少し間》<ちょっと、けいかく><{}>。	/	/
95	86	NS10	<そっか><{}>。	/	/
96	87	NNS10	ってドイツ語(うん)すごい話せるんですか?<{}>。	/	/
97	88	NS10	<ドイツ語><{}>。	/	/
98	89-1	NS10	わ、でも全然しゃべれなくてー,,	/	/
99	90	NNS10	うーん, <###><{}>。	/	/
100	89-2	NS10	<なんかー><{}> 《沈黙1秒》一応しゃべる, こないだドイツ語検定, (ふん)の準1級をとったんだけどー, 一応そのしゃべるのも《少し間》試験にはあるけどー(あー)なんか, 読む方, やっぱり研究は, (うん)せ《少し間》漫画の, 翻訳についての研究をやっていて(うーん)で, 全部資料って文字いじゃないですか?。	/	/
101	91	NNS10	うん<うん><{}>。	/	/
102	92-1	NS10	<だか><{}>ら, 論文とかはそれなりに読めるけど(うん)日常会話はあまりできなくて,,	/	/
103	93	NNS10	ほー, あ, あ(うえ)そしたら《少し間》そうか, じゃじゃあま, そうしたら会話…の方…や, なんか会話, と論文(ふん)のどっちが難しい?。	/	/
104	92-2	NS10	《少し間》あ私は論文の方が読める。	/	/
105	94	NNS10	読める, なんで?<{}>。	/	/
106	95	NS10	<なんか, 聞><{}>きとるのが難しくてー(うん), なんか, あんまりー, べ, 日本語《少し間》外国語の勉強ってー教科書読んだりとかー, 書いたりとかー, だからー(うん)会話の練習をしたことがなくてー。	/	/
107	96	NNS10	うんうんうん。	/	/
108	97-1	NS10	でーヶ月ドイツに, 行ったときは[↑](ほー)結構その, 毎日ドイツ語でしゃべってたから, (うん)あの, いいしーヶ月やると結構, それなりにできるようになるけど, (にほーん)日本帰ってきちゃうとほほほっ[軽く笑いながら], ,	/	/
109	98	NNS10	あー<###><{}>。	/	/

110	97-2	NS10	<しゃべる>{>}人がいなくてー。	/	/
111	99	NNS10	その関係から<戻ってきたらね>{>}。	ne4	/
112	100	NS10	<そうそうそう>{>}。	/	/
113	101	NNS10	うーくん>{>}。	/	/
114	102	NS10	<読む>{>}のは、日本でもできるじゃない(うーん)あの本…はいっぱいあるけど。	/	/
115	103	NNS10	そうくですね>{>}。	/	/
116	104-1	NS10	<なんか、>{>}ドイツ語しゃべるのは[↑][少し間]あんまり、《少し間》やる機会がないから(うん)、<###>{>},,	/	/
117	105	NNS10	<どこで>{>}勉強してるのドイツとかは《少し間》うーん[咳払い]<学部で?>{>}。	/	/
118	104-2	NS10	<最初は、>{>} (うん)ちゅうう、大学の千葉大学の一(おー)学部でー、ドイツ語はじめてー。	/	/
119	106	NS10	《少し間》だから基本的には大学でやってる。	/	/
120	107	NNS10	おーお。	/	/
121	108	NNS10	な、何先生誰先生誰?。	/	/
122	109	NS10	っとね、石井先生、石井正人先生って<いう人>{>}。	/	/
123	110	NNS10	<あー知>{>}りません。	/	/
124	111	NS10	《少し間》んー教えて(うん)てー(うん)。	/	/
125	112	NS10	でー、そうだから今、《少し間》修論ね、(うーん)書かないといけないんだけど(うーん)まだ全然進んでないから[軽く笑いながら](うーん)。	/	/
126	113	NNS10	なんか、特に漫画…を、<こう《少し間》通訳とかってするの?>{>}。	/	/
127	114	NS10	<漫画の《少し間》えっとね>{>}漫画の中の(うん)あの一効果音、オノマトペ、とかを(うーん)翻訳、私がするんじゃなくて、(う)もう日本語版が[↑]ドイツ語になって、その向こうで売ってて(はわわわ)で、それを、くらぶ、比べて《少し間》なんだろう、その、この、オノマトペが、(うん)どういう《少し間》アルファベットに、書き換えられてる(ほー)かっていうのを《少し間》やってて。	/	/
128	115	NS10	だからまだその、資料漫画読みながら、にほんばぶオノマトペを、こう、パソコンで全部入力して行って[少し笑いながら](ひょーん)まとめているところ。	/	/
129	116	NNS10	《少し間》すごいねえ。	ne2	/
130	117	NNS10	色々[少し笑いながら]いる面白いもの<を>、研究してる人がいる>{>}。	/	/
131	118	NS10	<ふふふっ[笑う]、う全然>{>}、違いますよね(うーん)、人によって。	yone2	/
132	120	NNS10	そうですね、うーん、《少し間》なんか、私のゼミも、うーん、なんかあ《少し間》人文社会科学[↑](うん)ですよ(うん)。	中間	d
133	121	NNS10	=それで、中には、なんか人類学と社会=。	/	/
134	122	NNS10	=私の(うん)方はちょっと社会教育(うんうん)に、入るから、人類学の方にもいろんな、なんかラクダを…、研究している、あと豚を研究しているととか、いろんなのほ	/	/

			ほ[笑いながら]《少し間》本当に>{<}【【。		
135	123	NS10	】】<ははは>[大きく笑う]ふーん、え先生は>{<}だ、どなたがいるので？。	/	/
136	124	NNS10	あ今私の一、私の指導員の先生(うーん)は《少し間》周飛帆、周先生。	/	/
137	125	NS10	周先生？。	/	/
138	126	NNS10	うん。	/	/
139	127	NS10	ふー<くん>{<}。	/	/
140	128	NNS10	<わかる>{<}?。	/	/
141	129	NS10	周先生、はね会ったことがないんーですけどー、この一田中先生が(あー)よく周先生の話を、(あー)してくれます。	/	/
142	130	NNS10	そうそう<そう>{<}。	/	/
143	131	NS10	<ふふ>{<}ふ[笑う]。	/	/
144	132	NNS10	仲がいい<みたい>{<}。	/	/
145	133	NS10	<う>{<}そう<く>{<}そう[軽く笑いながら]>{<}。	/	/
146	134	NNS10	<ふふ>[大きく笑う]>{<}。	/	/
147	135	NNS10	一緒にテニス、テニスとか<く>{<}ってなんか、やってる、そう<く>{<}。	/	/
148	136	NS10	<あ、そう<く>{<}、やってます[軽く笑いながら]>{<}。	/	/
149	137	NS10	《少し間》うーん。	/	/
150	138	NNS10	あー<く>{<}、田中先生はドイツ語。	/	/
151	139	NS10	そう田中先生はドイツ(あ)語なんで。	/	/
152	140	NNS10	ふ<ーん>{<}。	/	/
153	141	NS10	<く>{<}だから、私が、一ヶ月ドイツに行ったときは、田中先生が、コーディネーターとして、向こうの大学と、連絡を取って、引率で、連れて行ってきて、(はーん)そう。	/	/
154	142	NS10	でも私の指導教官は田中先生ではない。	/	/
155	143	NS10	なんか《少し間》学部るとき田中先生指導教官にできなくて。	/	/
156	144	NNS10	あーあーはいはい。	/	/
157	145	NS10	そう。	/	/
158	146-1	NNS10	えでもあとなん、久保田先生も、ドイツ語、	/	/
159	147	NS10	黒田先生？。	/	/
160	146-2	NNS10	久、保、田、かな、久保田<せ>{<}、	/	/
161	148	NS10	<久>{<}保田先生？。	/	/
162	149-1	NS10	え、久保田<先>{<}、	/	/
163	146-3	NNS10	<今>{<}英語を一教えてる。	/	/
164	149-2	NS10	あの一、	/	/
165	150	NNS10	ちょっと暑い。	/	/

166	149-3	NS10	<えへへへへ[大きく笑う]>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
167	151	NNS10	<ふふっ>{<}[軽く笑う]</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
168	152	NS10	今日夏###<暑い>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
169	153	NNS10	<あーシメ>{<}、シメシメという<かジメジメというのかな>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
170	154	NS10	<そうそうそうそう>{<}、梅雨に入った<から>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
171	156	NNS10	<そう>{<}ですね《少し間》だから[軽く笑いながら]《少し間》すごく、(うん)なんですか</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
172	157-1	NNS10	久保田先生も、ドイツ語一よっ《少し間》<まあ>{<}、</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
173	158-1	NS10	<あほ>{<}んとですか、私の>{<}、</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
174	157-2	NNS10	<って違>{<}うかな?</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
175	158-2	NS10	知ってる久保田先生は、英語の、なんか脳科学とかの<人?>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
176	159	NNS10	<そそそ>{<}そそあの先生</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
177	160	NS10	あーでも【【</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
178	161	NNS10	】】えーでも、なんか、書いっ、てたのは一み、見たら一なんか一、英語一ドイツ語一中国語一って色(へー)々書いてったので《少し間》あ待った中国語<はわかんない>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
179	162	NS10	<そうなんだ>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
180	163	NNS10	あの先生の(うん)英語の授業私とってる</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
181	164	NS10	あほんとに?</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
182	165	NS10	私去年その、脳の言語の授業?、あ(あー)は一受けたけど、でもあんまりドイツ語は、そんなに分からないですっ(あー)て<言ってた>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
183	166	NNS10	<そゆ>{<}ことか</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
184	167	NNS10	ふーんなるほど</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
185	168	NS10	そう</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
186	169	NNS10	ううん[咳払い]</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
187	170	NNS10	《少し間》うーん</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
188	171	NS10	《少し間》うんうんそう中(あはは[大きく笑う])国にも、梅雨とかありますか?</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
189	172-1	NNS10	梅<雨>{<}、</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
190	173	NS10	<ジ>{<}メジメしなくい>{<}?</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
191	172-2	NNS10	<い>{<}ーや</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
192	174-1	NNS10	なんか、中国は地域によって広いだ<から>{<}、</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
193	175	NS10	<ああそうか>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
194	174-2	NNS10	地域によってまた、違ったり</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
195	176	NNS10	南の方がそう(うん)いう梅雨、とかありますね</td> <td>ne3</td> <td>/</td>	ne3	/
196	177	NS10	あー、あったかい、ところ?</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/

197	178	NNS10	そうですね、うん。	ne3	/
198	179	NS10	<私><【 【。	/	/
199	180-1	NNS10	】><うち一、><の}のところだったら、なんか、すごく、四季がし、しっかりあのはつきりして(ふ一) <なん><{、,	/	/
200	181	NS10	<中><{ } 国のどのへんに住んでたんですか?。	/	/
201	180-2	NNS10	私一、中国の一番なんという、なんか黒龍江省分かりますか?、北の方。	/	/
202	182	NS10	え?どこ?[軽く笑いながら]。	/	/
203	183-1	NNS10	あ<一><{、,	/	/
204	184	NS10	<分かんない><{ }。	/	/
205	183-2	NNS10	なんか、中国じゃ<一><{ }?。	/	/
206	185-1	NS10	<うん><{ }、<《少し間》中国の><{ }、,	/	/
207	186	NNS10	<中国って><{ } いうとたつの、鳥みたいなそういう(うんうんうんうん) うん 《少し間》 んーあ、鶏みたいです。	中間	d
208	185-2	NS10	<ふんふん><{ }。	/	/
209	187	NNS10	<それで><{ } 私頭の方一番北の方[↑](へ一)北の方で、(ん)そのロシアとモンゴル(うんうんうんうん)の境界《少し間》してる場所。	/	/
210	188	NS10	結構寒い一ですか?。	/	/
211	189-1	NNS10	う一、,	/	/
212	190	NS10	<寒そう><{ }。	/	/
213	189-2	NNS10	<結構><{ } 寒いところで<す><{ }。	/	/
214	191	NS10	<寒><{ } いところ、<そうなんだ><{ }。	/	/
215	192	NNS10	<そうロシア><{ } 寄り。	/	/
216	193	NS10	私は暑いのが、嫌いなので。	/	/
217	194	NS10	《少し間》 うふふふ[大きく笑う]え暑いのが好きですか<{ }?。	/	/
218	195	NNS10	<私><{ } 暑いの方がいいよ><{ }。	yo2	/
219	196	NS10	<あ><{ } ほんと[↑]にあたり寒い方がいいんですよ。	yo3	/
220	197	NNS10	実は今の時期が私一、一番、好きというか(へ一)な。	/	/
221	198	NNS10	あとは秋。	/	/
222	199	NS10	<秋><{ }?。	/	/
223	200	NNS10	<秋><{ } かな、そう。	/	/
224	201-1	NNS10	なんかクーラーつけてない[↑]><{ }、,	/	/
225	202	NS10	<う><{ } ん、うん<、うん><{ }。	/	/
226	201-2	NNS10	<まだ><{ } つけてない。	/	/
227	203	NNS10	それで一あの一冬、冬のそういう寒さがもうなくなってる時は一番好き。	/	/
228	204-1	NS10	へ一私もう<そろそろ><{ }、,	/	/

229	205	NNS10	<うっふふ[大きく笑う]>{>}。	/	/
230	204-2	NS10	そろそろクーラーつけたい[軽く笑いながら]。	/	/
231	206	NNS10	いやーいやーいやーいや<ー>{<}。	/	/
232	207	NS10	<っふ>{>}ふっ[笑う]。	/	/
233	208	NNS10	はい、あ、だから、そうですねこれは文化<…ですね>{<}。	ne3	f
234	209	NS10	<文化なの>{>}かな、違うし。	/	/
235	210	NNS10	私クーラーが全然、苦手です。	/	/
236	211	NS10	あ、そうなんですくねー>{<}。	ne1	/
237	212	NNS10	<うーん>{>}。	/	/
238	213	NS10	っと私、ドイツはすごく涼しいんですくよ>{<}。	yo2	/
239	214	NNS10	<ほー>{>}ドイツ絶対<うーん>{<}【。	/	/
240	215-1	NS10	】<そう、>{>}日本よりも、なんか、(ん)こう、日本の北海道ぐらいの位置にある(あー)から、すごく涼しくて、夏に行っても、全然クーラーとか、いらなし、家についてなくてクーラーが、	/	/
241	216	NNS10	ひょーん。	/	/
242	217-1	NNS10	で、冬は、あの、なんかむそそ<冬>{<}、	/	/
243	215-2	NS10	<冬>{>}は寒い。	/	/
244	217-2	NNS10	ほー。	/	/
245	218-1	NS10	暖房は、ちゃんとあるし、(うん)すごい、あの部屋の、密封性がすごく高いから、	/	/
246	219	NNS10	あーなるほど。	/	/
247	218-2	NS10	風が入ってこない。	/	/
248	220	NS10	すごい、涼しくて、私は冬の方が、好きだった[軽く笑いながら]>{<}。	/	/
249	221	NNS10	<はー>{>}ん。	/	/
250	222	NNS10	じゃドイツ、なん、何で造ってるかな。	/	/
251	223	NNS10	その、レンガンとか粘土[↑]<《少し間》かな>{<}?。	/	/
252	224	NS10	<うん、>{>}そうレンガとか、(ふーん)うん。	/	/
253	225-1	NS10	たぶんこの建物、似たような感じだと>{<}、	/	/
254	226	NNS10	<うー>{>}ん、私ーの、あそうですね、おっ【【。	/	/
255	225-2	NS10	】】そこもレンガ(うん)はってあるし。	/	/
256	227	NNS10	うん。	/	/
257	228	NNS10	冬はね、内…《少し間》内モンゴルはね(うん)、まあロシアと近いから(うん)、そのマイナス40度ぐらい<もあるよ[↑]>{<}。	yo2	/
258	229	NS10	<ええ?[笑いながら]>{>}。	/	/
259	230	NNS10	だからドイツ、ドイツ<はだったら>{<}【【。	/	/
260	231	NS10	】】<やドイツは>{>}そんなににならない[笑いながら]。	/	/

261	232	NNS10	そんなにないですか？。	/	/
262	233-1	NS10	そんなに私は、	/	/
263	234	NNS10	<あはははっ[大きく笑う]><{>。	/	/
264	233-2	NS10	<でも冬は><{>、旅行でしか行ったことないから(うーん)マイナス、マイナスになるぐらい。	/	/
265	235-1	NS10	マイナス《少し間》(っかえー)5度、とかで、ほんとに寒いとマイナス10度、になる、らしい<けど><{>、	/	/
266	236	NNS10	<うー><{> まだまだくだねそれ<{>。	ne2	/
267	235-2	NS10	<うん、そう><{>。	/	/
268	237	NNS10	ははっ[笑う]。	/	/
269	238	NS10	私はその時期にはいったことが無いから、《少し間》 そうなんだ、(あーん)マイナス40度とかは《少し間》体験したくことが無い<{>。	/	/
270	239	NNS10	<なるほど、><{>あるある。	/	/
271	240	NNS10	だからマイナス40度の時に一外に例えばなんかイトがあるやん。	/	/
272	241	NS10	<うん><{>。	/	/
273	242	NNS10	<あ><{> れイトっていうのかな？。	/	/
274	243	NNS10	イー《少し間》イト、<か><{>？。	/	/
275	244	NS10	<井戸><{>？。	/	/
276	245	NNS10	井戸？。	/	/
277	246-1	NS10	水が、	/	/
278	247	NNS10	そうそう水が(うん)あーみ、水が出るも(うん)の？。	/	/
279	248	NNS10	そこに、なんか例えばーなんか《少し間》うー水とかー、その手えでこう(うん)なんか、はったら、手がもう放せなく(ふっふふ[笑う])なるっていう。	/	/
280	249	NNS10	その瞬間で、ほんとに、瞬間で(へー)もうこお、凍っちゃう。	/	/
281	246-2	NS10	うんうんうん。	/	/
282	250	NNS10	うーん。	/	/
283	251	NS10	えー怖いくふっふっふ[笑う]><{>。	/	/
284	252	NNS10	<ふふふ[笑う]><{>。	/	/
285	253	NNS10	だから、いつも移動する、冬の時移動(うん)するときも、なんかあ、その車とか(ふんふんふん)タクシーを利用する。	/	/
286	254	NS10	そうくだよね<{>。	/	/
287	255	NNS10	<だから><{> 寒いところ。	/	/
288	256	NS10	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
289	257	NNS10	私(ん)故郷にいるときすぐ(ん)いつも病気になる。	/	/
290	258-1	NNS10	体がねえ(うん)もう<さむ><{>、	/	/

291	259	NS10	<寒す>{>}ぎて。	/	/
292	258-2	NNS10	寒すぎて。	/	/
293	260	NS10	そうなんだ。	/	/
294	261	NNS10	うーくん><。	/	/
295	262	NS10	<怖>{>}いなあ[軽く笑いながら]。	/	/
296	263	NNS10	あっはは[軽く笑う]。	/	/
297	264	NNS10	《少し間》 え千葉, 千葉出身ですか?。	/	/
298	265	NS10	私は、(ふーん) 栃木県っていう(あー)ところ。	/	/
299	266-1	NNS10	<しって>{>},,	/	/
300	267	NS10	<知ってます>{>}, 栃木県?。	/	/
301	266-2	NNS10	知ってます、《少し間》 知ってます><。	/	/
302	268	NS10	<すごい>{>}。	/	/
303	269	NNS10	あうふふ[軽く笑う]。	/	/
304	270	NS10	日本の中でも、あまり知名度のないところで。	/	/
305	271	NNS10	いえいえ。	/	/
306	272	NS10	ふふふっ[笑う]><。	/	/
307	273	NNS10	<知>{>}ってます知ってます。	/	/
308	274-1	NS10	でも(うん)留学生は結構日光とか《少し間》<なんか>{>},,	/	/
309	275-1	NNS10	<あーあ>{>}一日光<そうだ、なんか旅行で>{>},,	/	/
310	274-2	NS10	<そう、旅行に《少し間》>{>}うん行く人が多いみたい。	/	/
311	275-2	NNS10	そうそこはね、言語学校の旅行とかいつも日光とかに><する。	/	/
312	276	NS10	<あほんとに>{>}?。	/	/
313	277	NS10	なんか紅葉を見に行ったりとかー、結構歴史があるからー《少し間》外国人の方がよく知ってる。	/	/
314	278	NNS10	あー(うん)でも私いったことがない。	/	/
315	279	NS10	<あははへへへ[大きく笑う]>{>}。	/	/
316	280	NNS10	<うっふふふふ[笑う]>{>}。	/	/
317	281	NNS10	日光がどうですか?。	/	/
318	282-1	NNS10	日光の,,	/	/
319	283	NS10	日光, 私の家から(###)は、あんまり近くないから、(ほーほー) 日光私《少し間》 栃木県内だけど(うん)普通に一泊二日とかで、(あおー)家族で旅行行ったりとか。	/	/
320	282-2	NNS10	なんか違うところがあるんですか?。	/	/
321	284	NNS10	ほんとにそんなに綺麗なの?。	/	/
322	285	NS10	《少し間》 うーん、ま綺麗らしいま、(うーん) 山?, 山だから(あー)あの秋にー紅葉で、赤とか黄色とかになるのは、たぶん、千葉はあんまり山がない[軽く笑いながら]	/	/

			からー(あー)《少し間》その辺は違うのかも。		
323	286	NNS10	山[↑]の中でー[↑]その温泉するということ><?。	/	/
324	287	NS10	<あ><?>そうそうそうそう。	/	/
325	288	NNS10	へー、それはいいくねえ><?。	ne2	/
326	289	NS10	<すごい><?>山。	/	/
327	290	NS10	すごくね、坂が、すごい有名な坂があって、(うーん)なんか絶対日光に旅行に行ったら絶対そこは通るんだけどもぐねぐねぐねこう《少し間》道が(うん)こうー山だからまっすぐなれなくて、ずーっとカーブがね、いっぱいあるの[軽く笑いながら]。	/	/
328	291	NNS10	ほー。	/	/
329	292	NS10	そうそこと(うん)かがすごい紅葉が綺麗なところって。	/	/
330	293	NNS10	なるほど。	/	/
331	294	NS10	うん。	/	/
332	296	NNS10	そうですね、日光…あと《少し間》言語学校にいるとき(うん)日光がー一つあってあとあー、なんか《少し間》マザー牧場?。	/	/
333	297	NS10	マザー牧場?。	/	/
334	298	NNS10	うーん。	/	/
335	299	NS10	言語学校は千葉の?。	/	/
336	300	NNS10	《少し間》千葉、なんか蘇我の方。	/	/
337	301	NS10	あー蘇我の方。	/	/
338	302	NNS10	そうそう<そう><?>。	/	/
339	303	NS10	<あでも><?>蘇我からだったらマザー牧場すぐ【【。	/	/
340	304	NNS10	】】近い。	/	/
341	305	NS10	近いいですよね><?>。	yone2	/
342	306	NNS10	<近><?>いいですね。	ne5	/
343	307	NNS10	うん、あとー《少し間》あとなんだったつけその浅草とか?(うんうんうん)んーそこも《少し間》そういうー、ルーツがあって、(うん)毎年は違ったり行ったり来たり。	/	/
344	308	NS10	確かに><?>。	/	/
345	309	NNS10	<まあに><?>私いるときにマザー牧場に行った。	/	/
346	310	NS10	へーでもなんかマザー牧場が一番なん、なん、なんだろう、別に歴史があるわけじゃないし[軽く笑いながら]、(わん)日本的っていう感じじゃないーですよ。	yone2	/
347	312-1	NNS10	そうですね、そこはニュージーランドのいろんなくなんかー><?>,,	/	/
348	313	NS10	<あー,><?>そうなんだ。	/	/
349	312-2	NNS10	うん、羊ー(うんうんうん)とかー牛とかー、飼ってるー。	/	/
350	314-1	NS10	<マオリ><?>,,	/	/

351	315	NNS10	<でも>{>}すごい…まあいい, いい, いい<感じだった>{<}あはは[軽く笑う]。	/	/
352	314-2	NS10	<うふふふ[大きく笑う]>{<}。	/	/
353	316	NS10	日本ていう感じではないけど確か(あー)に、千葉だったら、マザー牧場か、(うーん)なんか、シーパラダイスシーパラ?。	/	/
354	317-1	NNS10	あなんか(なんか)ドイツ…,,	/	/
355	318	NS10	あ, ドイツ村もあくる>{<}。	/	/
356	317-2	NNS10	<村>{>}あーそそ。	/	/
357	319	NS10	ドイツ村もあるしーなんかねその《少し間》(んー)シーパラっていうね水族館みたいなのがね(あー)マザー牧場の近くに, あるらしい。	/	/
358	320	NNS10	は<いー>{<}。	/	/
359	321	NS10	<私>{>}は行ったことが無い[軽く笑いながら]。	/	/
360	322	NNS10	それは私行ってな(うん)い。	/	/
361	323	NNS10	私、なんかよく, なんかかも, 鴨川?。	/	/
362	324	NS10	あ、そうそうそうそ<う>{<}。	/	/
363	325	NNS10	<そ>{>}こは見に行った。	/	/
364	326	NS10	そっか(うー)鴨川(うん)なんかね、(うん)私、千葉に来てからあんまり《少し間》し千葉の, 下の方に, 行ったことなくてえ。	/	/
365	327	NNS10	にゃーそれいたー, 一番北の方ね、そっち側。	ne3	/
366	328	NS10	うん?。	/	/
367	329	NNS10	かも鴨川<一番北の>{<}方で。	/	/
368	330	NS10	<うんうんうん>{>}。	/	/
369	331	NNS10	なるほど。	/	/
370	332	NNS10	そっか<うーん>{<}。	/	/
371	333	NS10	<なんか>{>}すごい田舎だよねって思っちゃう。	/	/
372	334	NNS10	んふくふ[軽く笑う]>{<}。	/	/
373	335	NS10	<ふ>{>}ふふ[軽く笑う]。	/	/
374	336	NS10	千葉だとすぐ(うーん)その, 浅草もそうだしー(あー)東京の方にすぐ出れるか(あー)らー《少し間》いっつも遊びに行くときは東京とか(んー)神奈川とか行っ(あー)ちゃうから。	/	/
375	337	NNS10	なるほど, なるほど。	/	/
376	338	NNS10	うん。	/	/
377	339	NS10	うん。	/	/
378	340	NNS10	旅行とか好き?。	/	/
379	341	NNS10	大好き?。	/	/
380	342	NS10	<旅>{>}行はねえ、結構好きー。	/	/

381	343	NNS10	ほううえー。	/	/
382	344	NS10	行くー。	/	/
383	345-1	NS10	さい, でもあんまり最近,	/	/
384	346	NNS10	外国とかにかく《少し間》どこどこ>{<}	/	/
385	345-2	NS10	<外国はあんまり>{>}行ったことなくてー(うん)そのドイツとー、ドイツの隣?。	/	/
386	347	NS10	フランスとか(うん)ベルギーとか(ほー)、オーストリアとチェコとかに、ドイツにいるときにちょっと, 出てる[↑<みたいな>{<}。	/	/
387	348	NNS10	<すごいねえ>{>}。	ne2	/
388	349	NNS10	いっぱい行ったんじゃないか>{<}。	/	/
389	350	NS10	<そふっ[軽く笑いながら]《少し間》のわー,>{>}<行った>{<}。	/	/
390	351	NNS10	<ふふふ[笑う]>{>}。	/	/
391	352	NS10	去年, 去年(うん)一週間ちょっとドイツに行って(うん)その間にオーストリア行ったりとかすこした, けど, けど(ふーん)。	/	/
392	353	NS10	そこ以外《少し間》なんか, 中国も行ったことないし(うんうんうん)韓国とか台湾とかその近くの, (うん)ところは行ったことがなくて(うーん)日本, 箱根とか, 温泉に行ったりする。	/	/
393	354	NNS10	あーなるほど。	/	/
394	355	NNS10	私ーなんかー《少し間》今日本…と(うん)あと韓国に行っ(うんうん)た, うん。	/	/
395	356	NNS10	《少し間》あとね…あとないねえ。	ne3	/
396	357	NS10	ふ<ふふふふ[大きく笑う]>{<}。	/	/
397	358	NNS10	<へへへ>{>}, へ[大きく笑う]。	/	/
398	359	NS10	ロシアは, ふふふ[笑いながら]?。	/	/
399	360-1	NNS10	ああー, <ロシアねー>{<}[↑], ,	/	/
400	361	NS10	<行かない>{>}?。	/	/
401	360-2	NNS10	それを, 言う面白いんですけど(うん)なんかロシアと(うん)満州里っていうなん(うん)なんかちょっと境界があって(うんうん)その, 国の《少し間》これなに, なに, ド, ドアみたいな門を, (うんうん)門が(うん)なんか建てられてるの, でしょ[↑]。	/	/
402	362	NNS10	そこに私, 足をこう, ちょっと(うん)<踏んで, やーロシアに入ったよってって感じで[笑いながら]《少し間》それで一回行ったことがある[笑いながら]《少し間》ふふっふ>{<}。	/	/
403	363	NS10	<ふふふふっ, ふふっふふふ《少し間》ふふっ, ふふふふふっ, なるほどお>{>}。	/	/
404	364	NNS10	んーちょうどなんかー, 満州里のー(うん)きよ, 境界だか(うん)ら満州里が境界なので, ん<ーふふっ[笑う]>{<}。	/	/
405	365	NS10	<でもー厳しい>{>}, あの辺なんか厳しいよね。	yone1	/

406	366	NS10	国境を超え(あーあー)るのとかー。	/	/
407	367	NNS10	なんか、一つの門があ(うん)ってー、でー、もうちょっとーもうちょっと行きましたら(うん)そこになんか《少し間》んーなんという、なんかー《少し間》あの私兵みたいな人が(うんうんうん)うるちよる。	/	/
408	368	NS10	銃を<持っている…><{>。	/	/
409	369	NNS10	<銃を持つ><{>(うん)てーその守ってる。	/	/
410	370	NS10	<うん><{>。	/	/
411	371	NNS10	<でも><{>それはすごくとお、遠く見えるか(うんうん)らーあー、ここに観光地みたいー《少し間》なんか観こ、あのー…お客さんがいっぱいいて<###>って見る[笑いながら]><{>。	/	/
412	372	NS10	<###>《少し間》銃><{>を持つてる人を見るっていうこと?。	/	/
413	373	NNS10	いや<いやや><{>。	/	/
414	374	NS10	<あの><{>国境の[軽く笑いながら]。	/	/
415	375	NNS10	銃を持つてる人は一たぶんロシア人で(うん)もう、もうちょっと、すごい遠いところに(うんうんうん)いる《少し間》という感じで。	/	/
416	376	NS10	あーそうなんだー。	/	/
417	377	NS10	<うん><{>。	/	/
418	378	NNS10	<すぐ><{>その門のところに(うん)は誰もいない(ふーん)な観光地、という、感じで。	/	/
419	379-1	NS10	へ<ー><{>, ,	/	/
420	380	NNS10	<そう><{><そう><{>。	/	/
421	379-2	NS10	<観><{>光地になってるんだ。	/	/
422	381	NNS10	うーん。	/	/
423	382	NNS10	そ、(へー)そこになんかあ、そのー、灯、灯…たい、というものかな?。	/	/
424	383	NNS10	なんというかな、そういう(うん)《少し間》なんというなんか高いところがあっ(うん)てーなんかロシアを遠く見える(あー)っていうこれな、何?。	/	/
425	384	NS10	灯台?。	/	/
426	385	NNS10	あ灯<台><{>。	/	/
427	386	NS10	<灯><{>台。	/	/
428	387	NNS10	あ、そっか、<ふふっ[笑う]><{>。	/	/
429	388	NS10	<へー><{>。	/	/
430	389	NNS10	灯台みたいなところで(うん)ま、上ってー(うん)そこからそのロシアを見る、と<いう><{>。	/	/
431	390	NS10	<へ><{><ー><{>。	/	/
432	391	NNS10	<うん><{>。	/	/

433	392	NS10	すごい。	/	/
434	393	NNS10	<そ><{} 【 【。	/	/
435	394	NS10	】<日本><{}全部海だからー(んー)ははっ[軽く笑う], (あー)一步踏み入れたりとか(ははっ[軽く笑う])できないじゃない[軽く笑いながら]。	/	/
436	395	NNS10	そうなんです<{}>。	/	/
437	396	NS10	<すごい><{}>なあって思って(んー)る。	/	/
438	397-1	NNS10	《少し間》そう<私><{}>, ,	/	/
439	398	NS10	<面白い><{}>。	/	/
440	397-2	NNS10	うん、いるところが、すごく(うん)社会的な今、いろんな民族が(うんうんうん)あって、ちょっと複雑[↑]。	/	/
441	399	NS10	うん。	/	/
442	400	NNS10	すごそ、なんか傍に、ロシア人がいるしモンゴル人がいるし。	/	/
443	401-1	NNS10	私のー住んでいるー自分の、故郷にもー少数民族が 23, 32, (へー)32? 《少し間》<32の><{}>, ,	/	/
444	402	NS10	<32[軽く笑いながら]><{}>。	/	/
445	401-2	NNS10	少数民族がいく<{}>。	/	/
446	403	NS10	<へー><{}>。	/	/
447	404	NNS10	うん。	/	/
448	405	NS10	すごいなく<{}>。	/	/
449	406	NNS10	<モ><{}>ンゴル以外も(うん)《少し間》あのダフルとかーオロチョンとかー、ロシア族ロシア<族もいる><{}>。	/	/
450	407	NS10	<ロシア族も><{}>いる?。	/	/
451	408	NNS10	うん<ロシア族もい><{}>る。	/	/
452	409	NS10	<へー><{}>。	/	/
453	410	NS10	わあすごいなあ。	/	/
454	411	NNS10	んーか。	/	/
455	412	NS10	そっかあ。	/	/
456	413	NNS10	《少し間》そういう。	/	/
457	414	NS10	《少し間》あんまり日本で民族とか考えたこと<ない><{}>。	/	/
458	415	NNS10	<あー><{}>、なるほどね。	ne5	/
459	416	NS10	一応…ちょっとある、北海道のアイヌ人とかー(うんうん)、あるけどー《少し間》あんまり。	/	/
460	417	NS10	今でも自分たちがアイヌ人っていうつもりでゆってこないからー、(あー)分かんないと思う。	/	/
461	418-1	NS10	普通に今は日本人, ,	/	/

462	419	NNS10	《少し間》<日本人ですね>{<}</td> <td>ne4</td> <td>/</td>	ne4	/
463	418-2	NS10	<日本人, っていう>{<}う, 感じ。	/	/
464	420	NS10	もう全部日本人って(うーん), 思ってるかなーと思って。	/	/
465	421-1	NNS10	でも(ん)ううん[咳払い]そうですねうちのーなんか, ゼミ人ぎ人社研の, ゼミの(うん)中で, 中川先生っ(うんうん)という先生がうう<ーん>{<},,	/	/
466	422	NS10	<うん, >{<}アイヌ語ーや<ってる>{<}。	/	/
467	423	NNS10	<っすー>{<}っそうですね, アイヌ語アイヌ…の《少し間》いろんなも(うん)の?, 研究してるしてるしー《少し間》だから, アイヌ語も話せる人が少なくなっ<るー>{<}という。	/	/
468	424	NS10	<そー>{<}。	/	/
469	425	NNS10	うん, 言っていました。	/	/
470	426	NS10	《沈黙 1 秒》難しいよね。	yone2	/
471	427-1	NNS10	うん, でもあの人たちのアイデンティティって何だろうって<ふふ[軽く笑う]>{<},,	/	/
472	428	NS10	<うふふ[笑う]>{<}わかんない私も。	/	/
473	427-2	NNS10	ん<ー>{<}。	/	/
474	429-1	NS10	<あ>{<}今《少し間》んーなんだろう今, 例えば中国だったら, 中国の中だけど私は少数民族ですって, すごい言うー(あー)けど>{<},,	/	/
475	430	NNS10	<強>{<}調する<ですね>{<}。	ne5	/
476	429-2	NS10	<でも>{<}, アイヌ人…が, 私はアイヌ人ですって言ってるのを私は(ん)見たことが無いからー,,	/	/
477	431	NNS10	なるほど。	/	/
478	429-3	NS10	《少し間》ん, もう, 溶け込んでるのかな(あー)って思って。	/	/
479	432	NS10	元はとわ, おじいちゃんばあちゃんはアイヌ人だけど, こう日本の人と結婚してーみたいな(あー)ハーフみたいに(あー)なってる《少し間》とかだとわ, 全然分からないからー(あー)難しいなーって。	/	/
480	433	NNS10	<んー>{<}。	/	/
481	434	NS10	<んー>{<}。	/	/
482	435	NNS10	でもアイヌ人がー, その, ちょっと顔がー少数民族みたい(うんうん)に見えるよね。	中間	d
483	436	NS10	うん。	/	/
484	437	NNS10	ん<ー>{<}。	/	/
485	438	NS10	<って>{<}言うけどねー(うん)。	ne5	/
486	439-1	NNS10	<私ー>{<},,	/	/
487	440	NS10	<分かんない>{<}。	/	/
488	439-2	NNS10	なんか見たことみ, 見たことはえる(うん)ってうんあってー《少し間》ほんとにま	/	/

			あ少数民族の(へー)そういう感じがあるっくという感じ>{<}【【。		
489	441	NS10	】>{<}やっぱり>{<}日本人と違うなくーっ>{<}て。	/	/
490	442	NNS10	<そう>{<}、やっぱー、違ったりすくるっていうんー>{<}。	/	/
491	443	NS10	<そうなんだー>{<}、そっか。	/	/
492	444	NNS10	大阪でー一人の《少し間》女の子とすごーく、美人、美人(へー)んー。	/	/
493	445	NNS10	ん綺麗綺麗。	/	/
494	446	NS10	そうなんだ。	/	/
495	447	NNS10	うん。	/	/
496	448	NS10	ああたし全然会ったことないなあ。	/	/
497	449	NNS10	んー。	/	/
498	450	NS10	アイヌ知識もないし。	/	/
499	451	NNS10	<ふふっ[軽く笑う]>{<}。	/	/
500	452	NS10	<今>{<}方言とかもあんまり《少し間》若い子はく使わないから>{<}。	/	/
501	453	NNS10	<そうだね>{<}今はまったく日本語だから(んー)話してるのは、うーん[↓]。	/	/
502	454	NS10	そうだよねえ。	yone2	/
503	455	NS10	《沈黙1秒》あたしでも友達に沖縄の子がいてえ(うん)、その子はー、たまにー、何ゆってるか分からない[笑いながら]。	/	/
504	456	NNS10	あおー。	/	/
505	457	NS10	普通にーしゃべってるときは《少し間》すごく日本語[↑]、東京の言葉でー、しゃべるけどー、こう親とかとその子が電話するときー(うん)、もう全然分らない、横で聞いてて。	/	/
506	458	NNS10	んごーん。	/	/
507	459-1	NS10	すごい《少し間》<すごいじか>{<}、,	/	/
508	460-1	NNS10	<でも日本>{<}ていうともう、地域によってもその<方言とかがいっぱい>{<}、,	/	/
509	459-2	NS10	<そうそうそうそう>{<}。	/	/
510	460-2	NNS10	ですよ〜ね>{<}。	yone1	/
511	461	NS10	<大>{<}阪の子とかも、分か(あー)んないしー。	/	/

データ 11

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS11	こんにちは。	/	/
2	2	NS11	はじめまして。	/	/
3	3	NNS11	あの、「NNS11 の名前」ともうしますが。	/	/
4	4	NS11	「NNS11 の名前」さん?。	/	/
5	5	NNS11	はい、なんかあったことが、気がするんですけど。	/	/
6	6	NS11	ああー。	/	/
7	7	NNS11	あったことがあるような気がするんですけど、はは[軽く笑って]。	/	/
8	8	NS11	たしかに、私は「NS11 の名前」と(はい)申します。	/	/
9	9	NNS11	ええ、もしかしたらイングリッシュハウスとかいったことが?。	/	/
10	10	NS11	イングリッシュハウス、そうですね、去年よくいってたりしてたんですけど。	/	/
11	11	NS11	もしかしたら、ジジョンさん、イジジョンさん。	/	/
12	12	NNS11	あー、友達、そうですね、イジソン、その韓国人。	/	/
13	13	NS11	韓国人。	/	/
14	14	NNS11	あー。	/	/
15	15	NNS11	そっかそっか。	/	/
16	16	NNS11	たぶんそれであう、あったと、思いますね。	ne3	f
17	17	NS11	<ジョジョンさん><{ } 【 【。	/	/
18	18	NNS11	】 <どっか><{ } みたことがある、気がしたんだけど、へへ[軽く笑う]。	/	/
19	19	NS11	うんうん、たしかに。	/	/
20	20	NS11	ジジョンさんと仲いいですか、友達?。	/	/
21	21	NNS11	イジサンと?。	/	/
22	22	NS11	はい。	/	/
23	23	NNS11	そうですね、一応、あの一、あったら話すかな、へへ(うーん)。	/	/
24	24	NNS11	それぐらい仲がいいと思います。	/	/
25	25	NS11	面白い子ですよ。	yone2	/
26	26	NNS11	<へへへ><{ } [笑う]。	/	/
27	27	NS11	<へへへ><{ } [笑う]。	/	/
28	28	NNS11	そうですね。	ne5	/
29	29	NNS11	えっと、韓国…韓国語で話してますか?あのイジサンと。	/	/
30	30	NS11	イジサンとは、あのはい、韓国語で話してます。	/	/
31	31	NNS11	すごいね。	ne2	/
32	32	NS11	いえいえ。	/	/

33	33	NNS11	あの一、韓国にいるときから、友達ですか?。	/	/
34	34	NS11	いや、ここ、大学であって(うん)、大学で知り合って、はい。	/	/
35	35	NNS11	え、今は何年生でしたっけ。	/	/
36	36	NS11	いま私は大学院の、二年生じゃない、一年生です[すこし笑いながら]。	/	/
37	37	NNS11	あ一、はい、イジ…イジサンは?。	/	/
38	38	NNS11	四年生か。	/	/
39	39	NS11	イジサン…は四年生ですね。	ne3	/
40	40	NNS11	そうですね、たしか、そう一緒にどうやってであったかな、イジサンと、覚えてないわ[軽く笑う]。	/	/
41	41	NS11	イジサンは?。	/	/
42	42	NNS11	い、え、日本語の授業だったかな。	/	/
43	43	NS11	あ、そうなんですか。	/	/
44	44	NNS11	いや、覚えてない、全然覚えてない[軽く笑いながら]。	/	/
45	45	NS11	へえ。	/	/
46	46	NNS11	へへへ[笑う]。	/	/
47	47	NNS11	あの一応、そうですね、なんか一緒に飲み会とかも一回いったことが(ふうん)あった気がします。	/	/
48	48	NS11	そうなんだ。	/	/
49	49	NNS11	え、理学はなんの勉強ですか?。	/	/
50	50	NS11	理学…いま生物の勉強してます。	/	/
51	51	NNS11	ええ、生物、バイオロジティーですか?。	/	/
52	52	NS11	はいバイオロジーですね。	ne3	/
53	53	NS11	なんの勉強してますか<{}>?。	/	/
54	54	NNS11	<私>{}は、工学部のナノサイエンス。	/	/
55	55	NS11	ナノサイエンス[↑]、あ、(うん)なるほど。	/	/
56	56	NNS11	つらいけど、へへへ[笑いながら]。	/	/
57	57	NS11	すごい。	/	/
58	58	NNS11	はい、え、あの研究は?。	/	/
59	59	NNS11	どんな研究ですか?。	/	/
60	60	NS11	研究はえっと、ヒストンでしてますか?。	/	/
61	61	NS11	<ヒッソン>{}。	/	/
62	62	NNS11	<知りません>{}ねえ。	ne3	f
63	63-1	NS11	あの一、,	/	/
64	64	NNS11	ヒッ素?。	/	/
65	63-2	NS11	ヒストン。	/	/

66	65	NS11	ヒストンっていうたんぱく質なんですけど、(えーはい)DNA の、周りに(はい)、DNA の周りを包んでいる(はい)、たんぱく質。	/	/
67	66	NNS11	そのなんか形みたいなの、があるやつ？。	/	/
68	67-1	NS11	そうくというか{<},,	/	/
69	68	NNS11	<DNA スパイラルというか>{>}。	/	/
70	67-2	NS11	そうです、そうです、そうです、そうです。	/	/
71	69	NNS11	らせんみたいな。	/	/
72	70	NS11	はいはいはいはい。	/	/
73	71	NNS11	で、それくなんか形らせん{<}それ。	/	/
74	72	NS11	<そう、その>{>}周りについてるたんぱく質。	/	/
75	73	NNS11	あそうそうそれです。	/	/
76	74	NNS11	なんかいろいろ種類があつて(そうですね)、そういうなんかAからGまでだっけ。	/	/
77	75	NS11	AからG。	/	/
78	76	NNS11	そう、<酵素>{<}。	/	/
79	77	NS11	<アミノ酸>{>}のことですか？。	/	/
80	78	NNS11	あー、ちがうか、それはちがう、違いますか。	/	/
81	79	NS11	そういう感じです。	/	/
82	80	NNS11	DNA についてですか？。	/	/
83	81	NS11	そう、ですね、どっちかという、うん。	ne3	/
84	82	NS11	どういう研究？。	/	/
85	83	NNS11	私は、逆光電分光法かな[笑いながら](ふふ)。	/	/
86	84	NNS11	逆光電分光法。	/	/
87	85	NS11	は一。	/	/
88	86	NNS11	光電効果ってしてってますか？。	/	/
89	87	NS11	あ、あの一だれだっけあの一、韓国人の(うん)男の人いますよね。	yone3	/
90	88	NS11	研究してる、えちがうっけ。	/	/
91	89	NNS11	<あー、韓国人>{<}?。	/	/
92	90-1	NS11	<なんかナノサイエンスに>{>},,	/	/
93	91	NNS11	韓国人？。	/	/
94	90-2	NS11	知り合いがいるんですけど,,	/	/
95	92	NNS11	一年生かな、知ってるのは。	/	/
96	90-3	NS11	あ、そうなんですか。	/	/
97	93-1	NNS11	研究,,	/	/
98	94	NS11	ジニョンさん。	/	/
99	93-2	NNS11	ああー、じゃあ知ってます知ってる、あそれが韓国人のひとのだったから私中国人	/	/

			だった気がするんだけど。		
100	95	NS11	あー。	/	/
101	96	NNS11	違うかな、今はもう卒業しましたが。	/	/
102	97	NS11	今大学院生ですね。	ne3	/
103	98	NNS11	あれ。	/	/
104	99	NS11	あってないかもしれないですね[声小さくなる]。	ne3	/
105	100	NNS11	え、ナノサイエンスですか?。	/	/
106	101	NS11	うんうんうん。	/	/
107	102	NNS11	えっ↑、何年生?。	/	/
108	103-1	NS11	今大学、だから、	/	/
109	104	NNS11	二年生?。	/	/
110	103-2	NS11	M2ですね。	ne3	/
111	105	NNS11	M2。	/	/
112	106	NNS11	《少し沈黙》。	/	/
113	107	NNS11	なんの研究ですか?。	/	/
114	108	NS11	私もよくわかりません[笑いながら]。	/	/
115	109	NNS11	###、あれ、うちの研究室は韓国人はいないですね、たしか(ふうん)。	ne3	/
116	110	NNS11	留学生としては二人しかなくて(はあ)、私とドクターコースの人、ウイグル中国い・・中国人かな。	/	/
117	111	NNS11	私がい、ナノサイエンスってのは私がベトナム人が一人かな。	/	/
118	112	NS11	ふうん。	/	/
119	113	NS11	いまじゃあえっと、何年生なんですか?。	/	/
120	114	NNS11	私?。	/	/
121	115	NS11	はい。	/	/
122	116	NNS11	いやあ、工学部の四年、あのおまだ学部生の四年ですよ。	yo2	e2
123	117	NS11	学部四年生(うん)ああ。	/	/
124	118	NNS11	でも、一年生のときからみかけた留学生はそれしかないかな。	/	/
125	119	NS11	ふうん。	/	/
126	120	NNS11	ベトナム人の一人。	/	/
127	121	NS11	うん、じゃあ【【。	/	/
128	122	NNS11	】】韓国人もいるんだ知らなかったな。	/	/
129	123	NS11	そうですね。	/	/
130	124	NNS11	びっくりしました、ははは[笑う]。	/	/
131	125	NS11	まあ研究室、結構たくさんあるから、いろいろあるじゃないですか。	/	/
132	126	NNS11	あ、でも、大学院、二年生ですよ?。	yone3	/

133	127	NS11	二年生ですね、はい。	ne3	/
134	128	NNS11	うーん…そっかそっか、ああみたこと、もし、僕が顔をしってる、しっても、韓国人かは知らないかもしれないですね[笑いながら]。	ne3	/
135	129	NS11	あ、そうですよね、ははは[笑いながら]。	yone1	/
136	130	NNS11	そうですか、知らなかったなあ、びっくりした。	/	/
137	131	NS11	来年、じゃあ大学院に?。	/	/
138	133	NNS11	そうですね、もし、問題がなければ[笑いながら]。	/	/
139	134	NS11	というど?。	/	/
140	135	NNS11	院試が大丈夫ければ。	/	/
141	136	NNS11	院試に行く、あの大学院にいっつもり《少し間》(うん)ですね[声が小さい]。	ne3	e1
142	137	NS11	《少し間》千葉大学も考えてる?。	/	/
143	138	NNS11	あー千葉大学しかとってないです、今のところは。	/	/
144	139	NS11	あ、あなるほど。	/	/
145	140	NNS11	一応、そううちの研究は他の大学でできないらしい[笑いながら]。	/	/
146	141	NS11	今やってる研究ってたのしいんですか?。	/	/
147	142	NNS11	うーん、まだ、完全にはやれてないけど、いまは先生、先生が院試に集中してくださいとか、言われてるから(うん)、あの手伝いしかやってないから(うん)。	/	/
148	143	NNS11	でも、まあいろいろ、うーん、修論↑、みんなの発表をみると、なんか面白いなって思って、(ふうん)、ふつう聞いているのは、あの一、光電効果だから、(うん)やるところが逆光電効果だから[笑いながら]、ちょっとおもしろいなっておもって(ふうん)。	/	/
149	144	NS11	へえ。	/	/
150	145	NNS11	え、なんか千葉大学、いまおいてある扱ってる装置は(うん)、たぶん世界のなかにこれしかないといわれている、ふふ[笑いながら]。	/	/
151	146	NS11	へー。	/	/
152	147	NNS11	先生たちが[笑いながら]、すごいなっておもって。	/	/
153	148	NS11	《沈黙3秒》。	/	/
154	149	NS11	じゃあ、修士まで行く予定ですか、それとも、博士まで?。	/	/
155	150	NNS11	あ、###いられたらドクターまでいくとおもってる。	/	/
156	151	NS11	あ、すごいですねふふふ[笑う]。	ne2	/
157	152	NNS11	いや、すごいというか、働きたくないかもしれない、ふふふ[笑う]。	/	/
158	153	NS11	はははは[笑う]、まあそうですね	/	/
159	155	NNS11	なんかみんなの…就活みて、大変だなって[少しわらって]。	/	/
160	156	NS11	うーん、分かります。	/	/
161	157	NNS11	就活はしてないんですか?。	/	/

162	158	NS11	そろそろもうはじめなきゃいけないですね。	ne3	/
163	159	NNS11	おお。	/	/
164	160	NS11	うーん。	/	/
165	161	NS11	イジェサンは、もう終わったらいいですよ↑。	yo2	/
166	162	NNS11	あの、就活?。	/	/
167	163	NS11	うんうん。	/	/
168	164	NNS11	へー、そうですか。	/	/
169	165	NS11	詳しくはわかんない、詳しくはわかんないけど、うん。	/	/
170	166	NNS11	日本の会社で働くつもりですかね?。	ne3	/
171	167	NS11	たぶん日本で働くんじゃないですかね?。	ne3	/
172	168	NNS11	へえー。	/	/
173	169	NS11	うん。	/	/
174	170	NNS11	すごいね。	ne2	/
175	171-1	NNS11	イジサンの日本語はすごい日本人ばいだから,,	/	/
176	172	NS11	そうですか。	/	/
177	171-2	NNS11	たぶん<問題ないと思います><く>。	/	/
178	173	NS11	<あははは[笑う]><く>。	/	/
179	174	NS11	まあ上手ですよ、うんうん。	yone1	/
180	175	NNS11	そう、彼女は韓国、韓国人の日本語はいつも、すごいなっておもってるんですけどね、私は[すこしわらって]。	ne3	/
181	176	NS11	ほんとですか[少し笑いながら]。	/	/
182	177-1	NNS11	韓国の、韓国,,	/	/
183	178	NS11	韓国人がしゃべる日本語。	/	/
184	177-2	NNS11	がすごい、そう。	/	/
185	179	NS11	すごい、へえ。	/	/
186	180-1	NNS11	韓国人…ぼくないっていうか、あの一,,	/	/
187	181	NS11	韓国人ぼくない[笑いながら]。	/	/
188	180-2	NNS11	話すは。	/	/
189	182	NNS11	なんか、もしマレーシア人だったら、この人マレーシア人だっけすぐわかる、日本語で(ああ)。	/	/
190	183	NNS11	中国人かなあと思って【【。	/	/
191	184	NS11	】】癖がないってことですかね。	ne3	/
192	185	NNS11	発音かな。	/	/
193	186	NS11	ふうん。	/	/
194	187	NNS11	発音からわかる、どこから(ふうん)きたのか、中国人とかベトナム人とか、インド	ne3	/

			人とか(うん)、でも、韓国はわかんないですね。		
195	188	NNS11	韓国だけが(うん)、ちょっと日本人ぽいなおもって[笑いながら]。	/	/
196	189	NS11	まあどっちかというと言語がちかいかから、ですかね。	ne3	/
197	190	NNS11	たぶんね。	ne3	/
198	191	NNS11	なんか、聞くと全然ちがうけど(ふふふ)、韓国語と日本語は、うん、でも、わかんないけど、歴史的に近いからかな、はは[笑いながら]。	/	/
199		NS11	ふーん[声が小さい]。	/	/
200	192	NNS11	ぜんぜんわからない、うん、ぜんぜん日本語がわからない、韓国人はあの、あったことがあるんですけど、でも、もう、発音がきれいかな、上手だともう[笑いながら]。	/	/
201	193	NNS11	でも韓国人、韓国にいったことがないから、たぶん、まだわかんないですねよ。	中間	b
202	194	NS11	####。	/	/
203	195	NNS11	もしかしたら、ここにきてる韓国人は、優秀なひとばかりかもしれないけど[笑いながら]。	/	/
204	196	NS11	いやいやいや、そんなこと[笑いながら]。	/	/
205	197	NS11	なるほど、ああ、近いので。	/	/
206	198	NNS11	そうですね、韓国は、近い。	/	/
207	199	NS11	遊びにいても、楽しいかと思います。	/	/
208	200	NS11	日本はいつ来たんですか?。	/	/
209	201	NNS11	んー、2013年。	/	/
210	202	NS11	2013年。	/	/
211	203	NNS11	三年前かな。	/	/
212	204	NS11	ふうん。	/	/
213	205-1	NNS11	《少し間》で、でも、その前は二年間くらい勉強してて、(ああ),,	/	/
214	206	NS11	マレーシアで?。	/	/
215	205-2	NNS11	そうそうそう、日本にきて、なんかリセットされてるみたいな感じ[すこし笑いながら]。	/	/
216	207	NNS11	ぜんぜんしゃべれなくて、最初は、うーん。	/	/
217	208	NS11	でもいますごい、お上手な。	/	/
218	209	NNS11	いやいまは、いまがんばってます。	/	/
219	210	NS11	ふふふ[笑う]。	/	/
220	211	NNS11	まだがんばっています[笑いながら]。	/	/
221	212	NNS11	四年、マレーシアにいるとき2年間はすごいうつらかったんで、(うん)その影響ってか、そのおかげかな、ははは[笑う]。	/	/
222	213	NS11	うーん。	/	/

223	214	NNS11	そう、毎日勉強してて、あさから夕方。	/	/
224	215	NS11	<そうなんですか>{<}。	/	/
225	216	NNS11	<あ一朝>{>}八時から、六時まで、(へえー)、毎日二年間おんなじスケジュールで。	/	/
226	217	NS11	え、ずっと日本語ですか?。	/	/
227	218	NNS11	そう、ずっと日本語[笑いながら]。	/	/
228	219	NS11	えー[↑]すごい。	/	/
229	220	NNS11	日本に生き残るために[笑いながら]。	/	/
230	221	NS11	なにが一番難しいですか?。	/	/
231	222	NNS11	日本語ですか?。	/	/
232	223	NS11	はい。	/	/
233	224	NS11	日本語のなかで、どういうところが。	/	/
234	225	NS11	漢字とか?、(ああそうですね)マレーシアって(はい)、漢字ってありますか?。	/	/
235	226	NNS11	ない、ないですね(ああ)。	ne3	/
236	227	NNS11	マレーシアは英語と一緒に、ローマ字つかってる(おお)。	/	/
237	228	NNS11	でもたぶん、別の言語だから、なれてない言語だからすべてがむず、すべてが難しいと思います[笑いながら]。	/	/
238	229	NS11	うーん。	/	/
239	230	NNS11	一番難しいはなんだろう、あの、単語、語彙かな?。	/	/
240	231	NNS11	語彙はやっぱり覚えるしかないから、(ああ)で、おぼえる…能力が低いから[笑いながら]。	/	/
241	232	NS11	いやいやいや。	/	/
242	233	NNS11	だからねえすこしずつ…覚えながら(うーん)。	/	/
243	234	NNS11	今まで、あのーそうですね、頑張ってきたんですけど、やっぱりまだまだわからない語彙がある[軽くわらって]。	/	/
244	235	NS11	いやぁ全然全然。	/	/
245	236	NNS11	そこが、そこが一番難しいかな、語彙。	/	/
246	237	NS11	うーん。	/	/
247	238	NNS11	うん、文法的には、英語の逆だけだから、まぁ。	/	/
248	239	NS11	語順は一緒ですか?。	/	/
249	240	NNS11	はい?。	/	/
250	241	NS11	語順。	/	/
251	242	NS11	あのー、言葉の順番、なんか主語。	/	/
252	243	NNS11	あー言葉の順番ですか。	/	/
253	244	NNS11	え、英語?マレー語?。	/	/
254	245	NS11	マレー語と日本語の。	/	/

255	246	NNS11	あ、全然ちがいます。	/	/
256	247	NS11	全然違いますか、へー。	/	/
257	248	NNS11	全然違います。	/	/
258	249	NS11	へー。	/	/
259	250	NNS11	うん。	/	/
260	251	NS11	どっちかという、英語と一緒にですかね?。	ne3	/
261	252	NNS11	あの一、まあいやマレー語と英語もまた別で。	/	/
262	253	NS11	また別。	/	/
263	254	NNS11	そうですね。	ne3	/
264	255	NS11	へー。	/	/
265	256	NNS11	あー、ときどき一緒。	/	/
266	257	NNS11	マレー語はときどき、英語と似てて時々、日本語と似てます。	/	/
267	258-1	NNS11	なんか場合によって、,	/	/
268	259	NS11	いや、むずかしい[笑いながら]。	/	/
269	258-2	NNS11	うん。	/	/
270	260	NS11	へー。	/	/
271	261	NNS11	《少し間》。	/	/
272	262	NNS11	だから両方ともにてるから、まあそれがプラスかな[笑いながら]。	/	/
273	263	NS11	ふーん。	/	/
274	264	NNS11	でも、マレー語はたぶん、一番簡単な言語じゃないかなと思って[笑いながら]。	/	/
275	265	NS11	えへへ[笑いながら]。	/	/
276	266	NS11	マレーシア人にとってですよね[笑いながら]。	yone2	/
277	267	NNS11	はは、では、過去形も気にせずにいけるから、あの、言葉の変化がない。	/	/
278	268	NS11	あ、そうなんですか。	/	/
279	269	NNS11	そう、たとえば、英語はあります、たべる、たべたとか、なんかそういう変化、がある。	/	/
280	270	NNS11	マレーシア、マレー語は全然変化がなくて、(へえ)過去形やたら、なんかある、発音だけいれて、もうかこけいになるから(へえ)、非常に簡単じゃないかな、とおもって[笑いながら]。	/	/
281	271	NNS11	しゃべるためのマレー語は簡単な。	/	/
282	272	NS11	ふうん。	/	/
283	273	NNS11	《沈黙3秒》。	/	/
284	274	NNS11	言葉のへんこ、変化は覚える必要があるから[笑いながら](うん)。	/	/
285	275	NS11	そうなんですね。	ne1	/
286	276	NS11	マレーシアってあついですか?。	/	/

287	277	NNS11	マレーシアはあついですね、いまくらいかな。	ne3	/
288	278	NS11	いまくらい?。	/	/
289	279	NNS11	日本の夏くらい。	/	/
290	280	NS11	いつも、つねに?。	/	/
291	281	NNS11	そうですね(へえ)。	ne3	/
292	282	NNS11	ただしちょっと湿気が違います。	/	/
293	283	NS11	湿気がちがう?。	/	/
294	284	NNS11	湿気がちょっと低い。	/	/
295	285	NNS11	あの一湿度が低い。	/	/
296	286	NS11	あー、湿気がないんですね。	ne1	/
297	287	NNS11	そこが、いや<ぜんぜん####><{>。	/	/
298	288	NS11	<####><{>。	/	/
299	289	NNS11	全然違います、すごいあの、すごしやすいというか。	/	/
300	290	NS11	へー。	/	/
301	291	NNS11	うーん、なんか暑い、汗があついですけど[笑いながら]、でもあの、なんていうの、むし…【【。	/	/
302	292	NS11	】】蒸し暑くはない。	/	/
303	293	NNS11	あ、そうそう蒸しあつくはない、だから、シャワー浴びた後にすごいすっきりする。	/	/
304	294	NS11	ええ。	/	/
305	295	NNS11	日本だと、へへ[わらって]、シャワー浴びた後に、あの一お風呂でて、ぺたぺたかんじがする[笑いながら]から。	/	/
306	296	NS11	そうですね、夏にははい。	/	/
307	297	NNS11	湿気がたかいから、そこが…違いますね。	ne3	/
308	298	NNS11	かなー。	/	/
309	299	NS11	うんうん。	/	/
310	300	NNS11	でも、日本の夏以外は、すべていい、完璧かなと思って。	/	/
311	301	NS11	冬寒くないんですか。	/	/
312	302	NNS11	あ、冬は寒いね。	ne3	/
313	303	NS11	寒いですか。	/	/
314	304	NNS11	寒いけど、ウインタースポーツ(はい)、冬スポーツができるから楽しいなっておもって(へえ)、マレーシアはないから、やっぱりあの、冬。	/	/
315	305	NS11	なんかされてるんですか?。	/	/
316	306	NNS11	私は、スノーボードかな。	/	/
317	307	NS11	スノーボード、へえ。	/	/
318	308	NNS11	スノーボードがすきで[笑いながら]、マレーシアでできないやつ。	/	/

319	309	NS11	へえうまいですか?。	/	/
320	310	NNS11	うまくないです[笑いながら]。	/	/
321	311	NS11	あははは[わらう]。	/	/
322	312	NNS11	ははは[笑う]。	/	/
323	313	NNS11	でも面白い、楽しい。	/	/
324	314	NS11	うん、次の日の筋肉痛がやばいですよね。	yone1	/
325	315	NNS11	そうそれは、####そうですね。	ne5	/
326	316	NNS11	あの一あるけないくらいですね(そうですね)、だいたいは。	ne3	/
327	317	NNS11	でも、楽しい、やると楽しい。	/	/
328	318	NNS11	《少し間》、上手はじゃないけど、まあまあ、あの一すべれるだけで(うーん)、楽しいですね。	ne3	/
329	319	NNS11	なんか、木がいっぱいあるところに、さっさっさっつと[笑いながら]。	/	/
330	320	NS11	えーすごい。	/	/
331	321	NNS11	ぶつかったりするけどへへへ[笑う]。	/	/
332	322	NNS11	でもすべるのは楽しいな、その…意識[↑]、意識じゃない、なんていうんだっけ、scenal…【【。	/	/
333	323	NS11	】】景色?。	/	/
334	324	NNS11	景色、そう。	/	/
335	325	NNS11	マレーシアに、私が今までみたことがない景色がみながら(ああ)、すべるから、《少し間》そこが一番(へえ)いいくですね>{<}。	ne3	/
336	326	NS11	<どこに>{<}いかれたんですか?。	/	/
337	327-1	NNS11	に…新潟(新潟)…とか,,	/	/
338	328	NS11	長野?。	/	/
339	327-2	NNS11	北海道とか長野とか。	/	/
340	329	NS11	北海道もいったんですか?。	/	/
341	330	NNS11	そう北海道まで[笑いながら]。	/	/
342	331	NS11	北海道よかったですか?。	/	/
343	332	NNS11	はい?。	/	/
344	333	NS11	北海道よかったですか?。	/	/
345	334	NNS11	うん?。	/	/
346	335	NS11	北海道、はよかったですか?。	/	/
347	336	NNS11	あ、よかったですね(ふうん)。	ne3	/
348	337	NNS11	やっぱり、あの一、ふふ、雪が雪の質が違うっていうかふふふ。	/	/
349	338	NS11	ふーん、いつてみたいですね。	ne3	/
350	339	NNS11	え、北海道はまだいったことがないですか?。	/	/

351	340	NS11	私実は行ったことがない、あはは[笑う]。	/	/
352	341	NNS11	私は夏の時もいったことがあります。	/	/
353	342	NS11	ほんとですか?。	/	/
354	343	NNS11	そう、それも…夏の時で、冬用のコートを買ったところで、(へえ)そのときはなんかわからないけど寒かったです。	/	/
355	344	NS11	へえ。	/	/
356	345	NNS11	夏でも。	/	/
357	346	NS11	何月に行ったんですか?。	/	/
358	347	NNS11	えーっと夏休み。	/	/
359	348	NS11	夏休み。	/	/
360	349	NNS11	一二年生の時だったかな、二年生の時でした。	/	/
361	350	NS11	八月ごろ?。	/	/
362	351	NNS11	そう八月ごろ。	/	/
363	352	NNS11	って行って、寒くて、ウインターコートをかかった[笑いながら]。	/	/
364	353	NS11	へえー寒いんですか。	/	/
365	354	NNS11	風がさむいかな(ふうん)。	/	/
366	355	NNS11	でも夏だから、太陽をあびて、いいなっておもった、そこがいいと、思います。	/	/
367	356	NNS11	韓国はやっぱり違いますか、日本と。	/	/
368	357	NS11	そんなには違いはないと思います。	/	/
369	358	NNS11	夏の時も、蒸し暑くて。	/	/
370	359	NS11	いやでも夏は、あの一湿気は日本よりは低くて【【。	/	/
371	360	NNS11	】】へー、マレーシアといっしょだ。	/	/
372	361	NS11	そうですね、でもあついのは一緒かも。	/	/
373	362	NNS11	ああ。	/	/
374	363	NS11	でもあの冬が、たぶんあの、東京[↑]、いま千葉にくらべて(うん)、わたし住んでるところソウルなんです(うん)↑(うん)。	ne3	/
375	364	NS11	ソウルは緯度的に高いほう、なので(ふんふんふん)、あの、冬は寒い(へえ)。	/	/
376	365	NS11	冬だとなんか、北海道よりはさむくないとおもんですけど、ソウルだとマイナス10度くらい。	/	/
377	366	NNS11	じゃあマイナス、それは寒いね。	ne2	/
378	367	NNS11	え、湿気は、日本と一緒にですか?。	/	/
379	368	NS11	いや、夏は【【。	/	/
380	369-1	NNS11	】】いや夏じゃなくって、あの一、,	/	/
381	370	NS11	冬ですか?。	/	/
382	369-2	NNS11	そう、なんか日本だと冬になると、湿気が低くなるじゃないですか。	/	/

383	371	NS11	あーそれは、そうですね、もっと低くなるとおもいますね。	ne3	/
384	372	NNS11	あーこの韓国のほうが、もっと低い。	/	/
385	373	NS11	そうですね。	ne5	/
386	374	NNS11	あー、それはなんか、いろいろつけなきゃならないね。	ne2	/
387	375	NS11	そうですねへへへ[笑いながら]。	ne5	/
388	376	NS11	すごく乾燥しくやすい<く>。	/	/
389	377	NNS11	<乾燥>{>}しやすい。	/	/
390	378	NS11	うん。	/	/
391	379	NNS11	なるほど、では夏の時は韓国のほうがいいかもしれないね。	ne2	/
392	380	NS11	そうですね、ほんとに。	ne5	/
393	381	NNS11	え、いない、あの何年間くらいでしたっけ?。	/	/
394	382	NNS11	高校のとき、4年間ですか、韓国。	/	/
395	383	NS11	あ、いや、高校まで。	/	/
396	384	NS11	小中高韓国だったから、もうなんかほとんど韓国。	/	/
397	385	NNS11	何年間くらいですか?。	/	/
398	386	NS11	何年間[笑いながら]、何年間ですかね。	ne3	/
399	387-1	NS11	うーん、六…小学校六年、三年三年、十…十五、,	/	/
400	388	NNS11	15年?。	/	/
401	387-2	NS11	15年、15年より経ってますよね。	yone2	/
402	389	NNS11	えー、すごい、すごい[笑いながら]、完全に韓国人になりましたね、へへへ[笑いながら]。	ne2	/
403	390	NS11	そうですね。	ne5	/
404	391	NNS11	へへへ[笑う]、食べ物は何、韓国の食べ物はもうなれました?。	/	/
405	392	NS11	あーあたしあまり辛いのが好きじゃくて、<あははは>{>}[笑う]。	/	/
406	393	NNS11	<あははは>{>}[笑う]。	/	/
407	394	NNS11	ああなるほどね。	ne3	/
408	395	NS11	食べ物はどうですか?。	/	/
409	396	NNS11	マレーシアのですか?。	/	/
410	397	NS11	うん、辛いですかね。	ne3	/
411	398	NNS11	マレーシアはいろいろですね。	ne3	/
412	399	NS11	そうですか。	/	/
413	400	NNS11	マレーシアは、なんか国民…国民というか、あの…えっと得いらんな人が住んでるから、中国系とか、インド系、マレー系、(うん)いろんなあるから、習慣もまざって(ふうんた)食べ物も混ざってるから、(ふうん)辛いほうもありますが、甘いのもあります。	/	/

414	401	NS11	ふうん。	/	/
415	402	NNS11	なんかすごい、あの、幅広い(幅広い)食べ物。	/	/
416	403	NS11	なんか、いろんなスパイスがありそう。	/	/
417	404	NNS11	あ、そう、あ、インド料理だったら、いろんなスパイスつかってて、中華料理だったら、あー、それは中国、場所によって(うん)スパイスおおいもあるし(うん)だからそうですね、なんか、日本の食べ物はあんまり、ないけど、ほかはたぶん(うん)、いっぱいあります。	/	/
418	405	NS11	なんか、あの一、お肉とか食べれない人もいるんですか?。	/	/
419	406	NNS11	たまにいます。	/	/
420	407	NNS11	でもぜんぜん問題ないね(うん)。	ne3	/
421	408	NNS11	あの一、肉食だけじゃない、マレーシアは(ふうん)。	/	/
422	409	NNS11	そう、いろんな食べ物あるから、その人たちにも住みやすいんじゃないかなとおもってます。	/	/
423	410	NNS11	《少し間》私の英語の…先生はインド人だったけど、彼女はあの、肉食じゃないから、あのなんていうんだっけ、食事く…<ベジタリアン>{<}	/	/
424	411	NS11	<ベジタリアン>{<}	/	/
425	412	NNS11	そう、ベジタリアンだから、でもマレーシアはほかの国と比べたら住みやすいっていわれた。	/	/
426	413	NS11	ベジタリアンのひとも?。	/	/
427	414	NNS11	そう(へー)、ここか、あの一ヨーロッパ[↑]?, ヨーロッパならあの一イギリス、イギリスが一番あの、住みやすいといわれて。	/	/
428	415	NNS11	イギリスはなんかちゃんとベジタリアン用の食べ物を書いてあるんで。	/	/
429	416	NS11	ふーん、そうなんですね。	ne1	/
430	417	NNS11	らしいです、うん。	/	/
431	418	NNS11	《少し間》すごいあの、ベジタリアンの人もなんだっけ…ケアしてるみたいなの、すごい。	/	/
432	419	NS11	日本はそういうところはちょっと大変ですよ、ベジタリアンとしてそういうのは。	yone3	/
433	420	NS11	じゃないですか、ははは。	/	/
434	421	NNS11	でも、一人友達がいるんですけど、モウヒットさん、知ってるかな?。	/	/
435	422	NS11	ひと・・?。	/	/
436	423	NNS11	モウヒット。	/	/
437	424	NS11	モウヒット。	/	/
438	425	NS11	ちょっとだけなら<みたことあるかも>{<}	/	/
439	426	NNS11	<インド人>{<}	/	/

440	427	NNS11	あれは、そうですね、ベジタリアンだけど、でも食べ物に関しては問題がなさそう。	/	/
441	428	NS11	そうですか？。	/	/
442	429	NNS11	た、たとえば、みんなと一緒に食べるだったら、それはちょっと困るかもしれない(うん)。	/	/
443	430	NNS11	インド料理がいっぱいあるから。	/	/

データ 12

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS12	じゃあ話しましょう[笑いながら]。	/	/
2	2	NS12	はい。	/	/
3	3	NS12	はじめまして。	/	/
4	4	NNS12	へへ、はじめまして。	/	/
5	5	NNS12	えっと「NNS18の苗字」と申します。	/	/
6	6	NS12	「NNS18の苗字」さん。	/	/
7	7	NNS12	はい、「NNS18の苗字」です、はい。	/	/
8	8	NS12	えっと「NSの名前」。	/	/
9	9	NNS12	「NS18の苗字」さんですか。	/	/
10	10	NS12	はい。	/	/
11	11	NNS12	はい、えっと、「NNS18の苗字」てどの「NNS18の苗字」ってわかりますか?、あの…。	/	/
12	12	NS12	漢字ですか?。	/	/
13	14	NNS12	そうですね、「NNS18の苗字」は<漢字で「NNS18の苗字」><{>。	/	/
14	15	NS12	<あ、わか>{>らない。	/	/
15	16-1	NNS12	書きますが,,	/	/
16	17	NS12	ああ「NNS18の苗字」。	/	/
17	16-2	NNS12	音読みだったら「NNS18の苗字の音読み」になりますので、はい。	/	/
18	18	NS12	あーそうですね。	ne5	/
19	19	NNS12	はい、「NS18の苗字」みんな知ってますね。	ne4	/
20	20	NS12	そうですね、結構。	ne5	/
21	21	NNS12	あ、いつもの「NS18の苗字」。	/	/
22	22	NS12	ははは[笑いながら]、一般的な「NS18の苗字」。	/	/
23	23	NNS12	そうですね。	ne5	/
24	24	NNS12	今何学部ですか?。	/	/
25	25-1	NS12	今文学部…,,	/	/
26	26	NNS12	文学?。	/	/
27	27	NNS12	三<年生>{<}>?。	/	/
28	25-2	NS12	<の>{>}, 三年生です。	/	/
29	28	NNS12	へえー。	/	/
30	29	NS12	はいー。	/	/
31	30	NNS12	あっ【【。	/	/

32	31	NS12	【】なに学部なんですか?。	/	/
33	32	NNS12	あっ、自分は今修士二年生なので(あー)、はい。	/	/
34	33	NS12	あーそうなんですわね=。	ne1	/
35	34	NS12	=何の分野の勉強↑?。	/	/
36	35	NNS12	えっと自分はいま、えっとあの一、えーでんY先生してますか?。	/	/
37	36-1	NNS12	Y先生(うん)のいま、まあ言語の研究なんですけど、	/	/
38	37	NS12	ああ言語。	/	/
39	36-2	NNS12	まあいわゆるコーパス言語、	/	/
40	38	NS12	ああなるほど。	/	/
41	36-3	NNS12	はい、はい。	/	/
42	39	NNS12	今は何をやってるんですか?。	/	/
43	40-1	NS12	いまはえっと、ほんとにこういう(はい)、あの今はなしてる接触場面とかの(あっ)、私も勉強してて、	/	/
44	41	NNS12	そうですか。	/	/
45	40-2	NS12	はい。	/	/
46	42	NNS12	へえー。	/	/
47	43-1	NS12	まさにいまの、ふふふ[笑いながら],,	/	/
48	44	NNS12	あーそうですか。	/	/
49	43-2	NS12	この状況とかを(うん)、やってます。	/	/
50	45	NNS12	生データをとってから文字化して。	/	/
51	46	NS12	そうですね、そんな感じです。	/	/
52	48	NNS12	あー、なるほど。	/	/
53	49	NS12	うーん。	/	/
54	50	NNS12	いまどんなすばらしい研究成果か(ふふふ)なんかできたんですか{<}?。	/	/
55	51	NS12	<いまから>{>}卒論のさん【【。	/	/
56	52	NNS12	【】書くところ?。	/	/
57	53	NS12	そうですね、テーマを決めて徐々にいくところなんですけど(ふうん)。	/	/
58	54	NS12	なのでまだそんなに、そんなに、ふふふ[笑う](あ)研究が進んでるわけじゃなくなつて。	/	/
59	55	NNS12	しょうがないですね=。	ne2	/
60	56	NNS12	=まあ学生ですからね、いま。	ne2	/
61	58	NS12	そうですね、これからどんどんという、ふふふ[笑いながら]。	/	/
62	59	NNS12	でも楽しくやればいいじゃないですかね↑、へへへ。	ne3	/
63	60	NS12	そうですね[笑いながら]。	ne5	/
64	61	NNS12	そういうもんですからね↑、<うーん>{<}。	ne3	/

65	62	NS12	<うーん>{>}, そんな感じです。	/	/
66	63	NNS12	えー、どうですか将来は、就職?進学ですか?。	/	/
67	64	NS12	うんといまのところ就職しようかなっておもってて、今>{> 【 【。	/	/
68	65	NNS12	】】 <いいね>{>},,	ne2	/
69	66	NNS12	就職の、ほうがいいと、<思います>{>}。	/	/
70	67	NS12	<ははは>{>} [笑いながら]、いえ、あれでも(ええ)、あれですか、中国で(はい)あ の、四年間勉強して(はい)、その修士の二年間はこっちで勉強してるっていう感 じなんですか?。	/	/
71	68	NNS12	そうですね、はい{>}。	ne3	/
72	69	NS12	<なるほどなるほど>{>}。	/	/
73	70-1	NNS12	まあ自分は、えーまず卒業してから、中国で一年間働いてから、,	/	/
74	71	NS12	あつ、そうなんですな→。	/	/
75	70-2	NNS12	はい、入学資金を、ちゃんと稼いでから(ああ)、まあ、きたんです、はい。	/	/
76	72	NS12	なるほど、じゃあ(はい)一年間は社会に出て。	/	/
77	73	NNS12	はい、もう全然おじさんになりました。	/	/
78	74	NS12	ははは[笑う]。	/	/
79	75	NNS12	へへへ、もう若くないです[笑いながら]、へへへ。	/	/
80	76	NS12	あははは[笑う]、へーなるほど。	/	/
81	77	NNS12	そうです、はい。	/	/
82	78	NS12	うーん、で、こ、今後、も、も戻らない?。	/	/
83	79	NNS12	あ、進学です、<はい>{>}。	/	/
84	80	NS12	<あ>{>}、今後も進学で…。	/	/
85	81	NNS12	千葉大でおんなじ研究室で、はい。	/	/
86	82	NS12	はく…博士?。	/	/
87	83	NNS12	博士、はい。	/	/
88	84	NS12	ああ、博士に(はい)、へええー。	/	/
89	85	NNS12	[沈黙 0.5 秒]。	/	/
90	86	NS12	なるほど、じゃあもっとまだまだ研究?。	/	/
91	87	NNS12	いやあほんと、あのつらいんですね。	yone2	/
92	88	NS12	あはははは[笑う]。	/	/
93	89-1	NNS12	きつとつらいにきまってると思うんですけど(そうですね[笑いながら])、まあ、 それ以外の道もまだ検討中ですから。	/	/
94	91	NS12	ああなるほど。	/	/
95	92	NNS12	まあ、ま、ま、迷ってて、どうしたらいいかほんとにわからない状態ですー。	/	/
96	93	NS12	ああ。	/	/

97	94	NNS12	まあ、とりあえずは進学します。	/	/
98	95	NS12	なるほど。	/	/
99	96	NNS12	っていう感じです。	/	/
100	97	NS12	へー、もともと日本に興味があって、っていう感じで<日本に来たんですか?><{/>。	/	/
101	99	NNS12	<そうですね><{/>、ええ、まあ大学四年間はずっと日本語科に所属してたので(なるほどなるほど)、日本語を勉強して、まあ日本の文化とかも知り始めてから(うん)、まあ、素晴らしい国だとおもってね、ぜひまあその国でまあ、いろんな面で成長できるから、からとおもって(うん)、まあ、来ました、はい。	/	/
102	100	NS12	でも結構日本語はずっと勉強してらっしゃるんですね。	ne1	/
103	101	NNS12	いや、まじめに勉強してるわけじゃなくて(ははは)、テレビ見るのが好きなんで(あー)、ビデオとかテレビとかね↑、<うん><{/>。	ne3	/
104	102	NS12	<なるほど><{/>、え、どういう系統の番組みるんですか?。	/	/
105	103-1	NNS12	いや、自分が例えばあの、TBSのモニタリングみたいな、	/	/
106	104	NS12	あーモニタリング[笑いながら]。	/	/
107	103-2	NNS12	そう、面白い、あーそうですねえ、<ええ><{/>。	ne3	/
108	105	NS12	<バラエティ><{/>とか結構好き、ですか?。	/	/
109	106	NNS12	そうですね、ええ、ええ。	ne3	/
110	107	NNS12	でも日本人も、すごくユーモアのセンスを持っていると思いますよ。	yo3	/
111	108	NS12	え、ほんとですか?ははは[笑う]。	/	/
112	109	NNS12	うんうんうん。	/	/
113	110	NS12	ははは。	/	/
114	111	NNS12	はは[笑いながら]、そうですね、まあ【【。	yo3	/
115	112	NS12	】あ、たしかにモニタリングとかそれけっこう面白いですよね><{/>[笑いながら]。	yone2	/
116	113	NNS12	<面白いですよね><{/>=。	yone3	/
117	114	NNS12	=もしかしたら、こういう場面がもに、モニタリングされたらまあ。	/	/
118	115	NS12	あーたしかに、ははは[笑う]。	/	/
119	116	NNS12	実は、モニタリングですってみたいない感じでね↑。	ne4	/
120	117	NS12	たしかに(うん)、へへへ[笑う]。	/	/
121	118	NNS12	びっくりするよね、それね。	yone3	/
122	119	NNS12	先週もちょっとあの、面白い番組、あの、見てたんですけど(うん)、あの、なんか京都の人、もし無料なものが、ただでもらえる場合だったら(ああ)、まあ大阪の人と京都の人は→。	/	/
123	120	NS12	よく見ますそれ、ははは。	/	/
124	121	NNS12	そうそうそう。	/	/
125	122	NNS12	で、あの、自分の指導教官が大阪出身なので。	/	/

126	123	NS12	ああなるほど。	/	/
127	124	NNS12	ええ。	/	/
128	125	NS12	へー→。	/	/
129	126	NNS12	で、本人に聞いたら、京都のひとは嫌いなやつらなんです、って[笑いながら]。	/	/
130	127	NS12	あははは[笑う]。	/	/
131	128	NNS12	なんか、大阪のひとと、京都の人がひそかに競争してるような。	/	/
132	129	NS12	ちょっとバ…(ええ)バトルですよ、あそこ、はは。	yone1	/
133	130	NNS12	ええ、で、えっと、そのなかのあるおじさんが、なんか京都出身のおじさんが(うん)、大阪の人がなんか、なんかパンパラパーっていうのが知ってますか?。	/	/
134	131	NS12	パンパラパー?。	/	/
135	132	NNS12	パンパラパー。	/	/
136	133	NS12	パン?。	/	/
137	134	NNS12	うん、「パンパラパーですね、大阪ねえ、パンパラパー」っていう感じですねえ。	ne3	/
138	135	NS12	あーなるほどなるほど、ははは[笑いながら]。	/	/
139	136	NNS12	ええ、っていって、大阪のおじさんが京都の人がプライドが高い。	/	/
140	137	NS12	あーそれよく言いますよねえ。	yone1	/
141	138	NNS12	そうそうそうそう。	/	/
142	139	NNS12	プライドが高すぎで(うーん)、なんか私には常にう・・裏があるって感じですね、ええ。	ne3	/
143	140	NS12	ああ、なるほど、ふふふ[笑う]。	/	/
144	141	NNS12	えへへへ[笑う]、そういう文化の差が日本でもあるのかなっていう(あー)、すごくびっくりしましたよ、はい。	yo3	/
145	142	NS12	そうですね(うん)、やっぱりちょっと(うん)、大阪はテイストが違う、ちょっと違うのかな(そっか)って感じはしますね。	ne5	/
146	143	NNS12	へー、で、大阪、のかたはどんなイメージですか?。	/	/
147	144-1	NS12	大阪の…大阪の方はどうでしょう、けっこうやっぱり、大阪弁[↑]、あのしゃべり方(はい)が独特で、	/	/
148	145	NNS12	なんでやねんとか。	/	/
149	144-2	NS12	話し方もはやい、話すスピードとかもはやいって(はい)結構【【。	/	/
150	146	NNS12	】あれ、わざと早く話すんですか?、あるいはまあそういう習慣とか。	/	/
151	147	NS12	たぶん習慣なんだと思う>{<。	/	/
152	148	NNS12	<習慣です>{>よね。	中間	b
153	149	NS12	私ほんとにあの東北なので(はいはい)、遠いので、あんまり接点ないんですけど、大阪の方とか。	/	/
154	150	NNS12	あそっか。	/	/

155	151-1	NNS12	え、宮城のほうに、ほ、方言もあるときつ、くみまし、ききましたけど><{>, ,	/	/
156	152	NS12	<あ、方言ありますあります><{>。	/	/
157	151-2	NNS12	なにになっぺとか。	/	/
158	153	NS12	あ、べとか、そうですね(そうですね)=。	ne3	/
159	154	NS12	=あ語尾にえへへ[笑う](ええ)つけたりしますねえ。	ne3	/
160	155	NNS12	ほーそっかあ。	/	/
161	156	NS12	ただちょっとでもそんなに(ええ)、なんかよくいうのは、その東北の人とか(はい)結構地方から、こういう関東とかにきた人って(はい)、あんまり自ら(ええ)、方言をだしたりしないんですけど(ええ)。	/	/
162	157	NNS12	あ、しないんですか?。	/	/
163	158	NS12	はい(へー)、大阪のひとつてけこうそのまんまだすっていうのがあって、面白くなってるって><{> [笑いながら]。	/	/
164	160	NNS12	<そうですね><{>、えーなんか…、ぜんぜん人の気持ちを全然配慮しないでー[笑いながら]。	/	/
165	161-1	NS12	ははは、そう、なんか合わせることはあんまりしないで(うん)、もう大阪弁は大阪弁で話すっていうひとが、	/	/
166	162	NNS12	ああ。	/	/
167	161-2	NS12	だれに対しても大阪弁で話すとかってひとが【【。	/	/
168	163	NNS12	】】 なにかあったらざっくばらんという…タイプですか?。	/	/
169	164	NS12	ほんとに、うん、かんじで。	/	/
170	165	NNS12	まあ、たしかに日々の研究生活で感じています。	/	/
171	166	NS12	あははは[笑いながら]。	/	/
172	167	NNS12	先生のことですね↑[笑いながら]。	中間	b
173	168	NS12	あー、えっ、先生もやっぱり大阪弁で話し、関西の【【。	/	/
174	169	NNS12	】】 そうですね、あんまり、ええ、えっとたとえば会議とか授業とかでももちろん(ああ)、標準語でしゃべったりしますので、えっとふっ、普段の会話だったら(ああ)、だれだれねんとかやねんとか【【。	/	/
175	170	NS12	】】 ああ、わかりますか、そういう【【。	/	/
176	171-1	NNS12	】】 いや、わからなくて<常に、まあ><{>, ,	/	/
177	172	NS12	<あ、わからないんだ{>}>、あはは[笑う]。	/	/
178	171-2	NNS12	となりと、隣の人がかならず訳してくれないと、なんとなく変↑、でもなんとなくそういう意味なんだなーと(ああ、はは)、まあ、はっきり、ま、か、まあ、そういう意味かなー、と。	/	/
179	173	NS12	だいたいこういう感じかなあみたいな、<ははは><{>。	/	/
180	174	NNS12	<そうそう><{>そう。	/	/

181	175	NNS12	でもだんだん慣れてきましたから(あーそっか)。	/	/
182	176	NNS12	たとえば最初にえっと、「論文を確認してもらえませんか」、「字数はなんぼ?」 って(うーん)、「字数はなんぼってどういういみですか」[笑いながら]、ちょっと 書いたのがたぶん「いくらですね↑」。	/	/
183	177	NS12	あーん。	/	/
184	178	NNS12	分かりました、はい。	/	/
185	179	NS12	ちょっとじゃあ最近慣れてきたんですね、ふふ[笑いながら]。	ne1	/
186	180	NNS12	いやまだまだ、まだまだ慣れてますね[笑いながら]。	ne3	f
187	181	NS12	あははは[笑う]。	/	/
188	182	NS12	《少し間》、へー、すごい、ふふふ。	/	/
189	183	NNS12	ええ、そうです[声が小さい]、ふふふ(ふふふ)。	/	/
190	184	NNS12	関西の人はおもしろいですね。	ne4	/
191	185	NS12	あ、でもおもしろいですよね。	yone3	/
192	186	NNS12	なんか言い方もおもしろいし。	/	/
193	187	NS12	うん、やっぱユーモアがそれこそ。	/	/
194	188	NNS12	そんなに、まあちょっとまあ典型的な日本人っていうイメージじゃあない(ああ ー)ってかんじはしますね。	ne3	/
195	189	NS12	そうですね、ちょっと違うかもしれないですね。	ne3	/
196	190	NS12	=その外国からみる日本人という像とはまた少し違うかも(そうですね)《少し間》、 しれないですね。	ne3	/
197	191	NNS12	[沈黙 1 秒]。	/	/
198	192	NS12	うーん。	/	/
199	193	NNS12	え、宮城県にはなにかおいしいものがありますか?。	/	/
200	194	NS12	あ、おいしいものは【【。	/	/
201	195	NNS12	】】####旅行が大好きなので、たぶんは。	/	/
202	196	NS12	あ、ほんとですか?。	/	/
203	197	NNS12	もう、学会とかあったら、まあどっか行って、まあ、あっちこっちまわって(はは) 食べたりしてとか。	/	/
204	198	NS12	おいしいものは(はい)、あれですね、牛タンとか。	ne3	/
205	199	NNS12	牛タン。	/	/
206	200	NS12	牛の舌↑。	/	/
207	201	NNS12	ああ、そっか。	/	/
208	202	NS12	やき、やきにくっていうか牛タンとか(牛タン)、あとはかまぼとかは、<分かりま すか>{<}?。	/	/
209	203	NNS12	<あーはいはいはい>{<}、知ってます。	/	/

210	204	NS12	かまぼこと、あと、もち、ず、餅の種類なんなんですけどずんだもちってわかりますか[笑いながら]？。	/	/
211	205	NNS12	いやぁ聞いたことないですねえ。	ne3	/
212	206	NS12	枝豆…なんなんですけど、(ええ、ええ)枝豆を甘くにするんですよ。	yo2	/
213	207	NNS12	へえー。	/	/
214	208	NS12	あまくにて、餅にかけてたべるんですけど。	/	/
215	209	NNS12	うーん、おもしろいです、<ええ>{<}	中間	a-不使用
216	210	NS12	<そう>{<}なんですよ。	yo3	/
217	211	NS12	=でも、まあ、結構、き、まあ、好き嫌いはあるんですけど、私はすごい好きで。	/	/
218	212	NNS12	ああ地元の人ですからね。	ne2	/
219	213	NS12	そうなんですよ、ふふふ[笑う]。	yo3	/
220	214	NNS12	なるほど。	/	/
221	215	NS12	結構もちといたらずんだもちっていうくらい(ふうん)結構すきで。	/	/
222	216	NNS12	なんか、宮城のシーフードがとても有名ですねー、<お、おさかなとか>{<}	中間	d
223	217	NS12	<あ、そうですね>{<}、南三陸とか。	/	/
224	218	NNS12	なんか、生のままで、食べる習慣もまあ(そうで…)全日本がそうなんですけど(うん)、宮城県のひとはまあ、とくにまあ。	/	/
225	219	NS12	そうですね、あの一、おいしいもの、かきとか。	/	/
226	220	NNS12	あ、かきはね、有名ですね、かきねー。	ne5	/
227	221	NS12	うーん、南三陸のかきとかは(うん)、おっきくておいしいですよ、ふふふ[笑う]。	yo3	/
228	222	NNS12	あ、そうですか(ふふふ)。	/	/
229	223	NNS12	かきはどういう風に食べたりしますか、なまのままで食べますか？。	/	/
230	224	NS12	かきは生で食べるときもありますけど、あの蒸したりとか(はい)焼き、焼いたりとか(ああはい)、フライに、かきフライにしたりとか。	/	/
231	225	NNS12	うん、カキフライですね↑。	ne1	/
232	226-1	NNS12	まえは、あの、あの、とんかつ和幸でなんか働いたことあるんで、	/	/
233	227	NS12	あ、そうなんですか、あはは[笑う]。	/	/
234	226-2	NNS12	カキフライが、まあ、よく知ってますね、はい。	ne3	/
235	228	NS12	え、ああいう生ものは大丈夫ですか？。	/	/
236	229	NNS12	さいしょはね、まあ、たぶんご存じじゃないとおもいますが、まあ中国人が、まあ生のままで食べるとなんか胃袋を壊してしまうんですよっていう(ああ)伝統意識がまあずっとあって(うんうん)、やっぱりまあちょっと、まあ、やいてもいいんですけど、まあちょっとまあ熟してから(ああーなるほど)、まあ、食べたほうがいいのかもかもしれませんー。	/	/

237	230	NS12	じゃああんまりおさしみっていう…あれは【【。	/	/
238	231	NNS12	】】最初は怖いんですよ。	yo2	e2
239	232	NS12	ああやっぱ怖いんですよね。	yone1	/
240	233	NNS12	最初はマジで生のままで食べるの?って[笑いながら]。	/	/
241	234	NS12	やかないの?みたいな[笑いながら]。	/	/
242	235	NNS12	死んじゃったらどうしようって[笑いながら](ははは)、まあまあでも一回試したら(うん)、超おいしいっておもって、はい。	/	/
243	236	NS12	あー、それからもう大丈夫?。	/	/
244	237	NNS12	もう完全に大丈夫です(ふふふ)、はい、はい。	/	/
245	238	NS12	そう、やっぱたべないんですねえ=。	ne1	/
246	239	NS12	=びっくりしますよね。	yone3	/
247	240	NNS12	知らないから。	/	/
248	241	NS12	最初、生で食べる(うん)、ってなると。	/	/
249	242	NNS12	なぜかという、うーん、普通から見ればな生ものには、まあちょっとウイルス(うん)、いっぱいはいってるじゃないですか、まあ><。	/	/
250	243	NS12	<そう><>ですよ。	/	/
251	244	NNS12	そうですね、そのまま食べると人間はまあ耐えられないのかなっていう(あはははは)、そうですねたぶん間違ってる(ふふふ)、じゃないかなあと思いますね↑、ええ。	ne3	/
252	245	NS12	へー(うん)、やっぱりぜんぜん(うん)、日本では生で食べるのが。	/	/
253	246	NNS12	でも生のままでいいんじゃないですかね。	ne3	/
254	247	NNS12	<おいしいですもん><。	/	/
255	248	NS12	<あ、ほんとうですか?><>。	/	/
256	249	NNS12	うん。	/	/
257	250	NS12	ふふふ[笑う]。	/	/
258	251	NNS12	また、あのとえば、まあ生ものじゃなくて、まあ、に、日本の方がですね↑、たとえばそうめんとかね(うん)、最初は全然なんでそういうまあ簡単な食べ方で簡単ですけれどね↑。	ne3	/
259	252	NS12	ああ。	/	/
260	253	NNS12	で、食べてから、めっちゃおいしいって。	/	/
261	254	NS12	あー、そうなんです。	ne1	/
262	255-1	NNS12	とくに夏だと胃袋にもいいし、	/	/
263	256	NS12	いいですよ。	yone1	/
264	257	NS12	優しい<ですよ><>。	yone2	/
265	255-2	NNS12	<優しい><>です、食べたら、はい。	/	/
266	258	NS12	へー、え、じゃあ日本の(うん)、食べ物の中なかで、一番すきなものは?。	/	/

267	259	NNS12	いや、とんかつ。	/	/
268	260	NS12	あ、とんかつ[↑]、<だからとんかつやさんなんだ>{<}[笑いながら]。	/	/
269	261	NNS12	<とんかつ、だから、だからです、だからです>{<}[笑いながら]はいはい。	/	/
270	262	NS12	へえ、とんかつは、ないんですか中国には。	/	/
271	263	NNS12	ないんですね。	ne3	/
272	264	NS12	あ、ないんですね(ええ)。	ne1	/
273	265	NNS12	あ、日本のものがあるんですけど(うん)、なんか例えば日本のレストランがまあ中国の支店があつて(ああ)、そういうのもやるけど(ああー)。	/	/
274	266	NNS12	まあ中国からまあ、うーん…ないかもしれませんねえ、うん。	ne3	/
275	267	NS12	じゃあもともと中国にある料理ではない(うん)、料理ではないですね{<}。	ne1	/
276	269	NNS12	<たぶん>{<}そうですねえ、たぶん日本のものだと思います(うーん)、それは。	/	/
277	270	NS12	ああ、へえー、あれくおいしいですよね{<}。	yone2	/
278	271	NNS12	<あと、まあ>{<}中国両方あるのが、たとえばチャーハンとかね。	/	/
279	272	NS12	ああー。	/	/
280	273	NNS12	まあ多少、やり方が違う(そうですね)。	/	/
281	275-1	NNS12	ええ、日本のチャーハンのほうが、ちょっとあまくて、	/	/
282	276	NS12	甘いん、ですね↑。	ne1	/
283	275-2	NNS12	うん、特別な味だとおもいます、はい(へえー)。	/	/
284	277-1	NS12	あ、でもこのまえ、私(はい)中国の女の子(うん)友達がいるんですけど(うん)、一緒に餃子をつくって食べたんですけど、	/	/
285	278	NNS12	なに餃子?。	/	/
286	277-2	NS12	中国の方水餃子ですよ。	yone3	/
287	279	NNS12	あ、水餃子ですね。	ne5	/
288	280-1	NS12	あの一、日本焼き餃子が普通なんで、	/	/
289	281	NNS12	焼き餃子がふつう、はい。	/	/
290	280-2	NS12	なんかわたしは焼き餃子をつくって(はい)、その子は水餃子をつくって、こう一緒に食べたんですけど。	/	/
291	282	NNS12	で、皮が、あの一、手作り、ですか?。	/	/
292	283	NS12	そう、っていってましたね。	ne3	/
293	284	NS12	でもそのときは買って作ったんですけど。	/	/
294	285	NNS12	ふうーん。	/	/
295	286	NS12	でもやっぱりちょっと皮が薄いみたいで日本のは。	/	/
296	287	NNS12	餡は一緒?。	/	/
297	288	NS12	ん?。	/	/
298	289	NNS12	餡は一緒?、その中身は<一緒>{<}。	/	/

299	290	NS12	<餡は>{>}, 中国風にしました。	/	/
300	291	NNS12	ああそっか。	/	/
301	292	NS12	あれブロック肉からやるんですよね=。	yone3	/
302	293	NS12	=あれ(へえ)、あのひき肉がない。	/	/
303	294	NNS12	ひき肉がない、あばんぱんぱんぱん自分できって(うん)。	/	/
304	295	NS12	うん、切ってやりました。	/	/
305	296	NNS12	へえー。	/	/
306	297	NS12	なんか中国にはもともとひき肉うってないって。	/	/
307	298	NNS12	まあうってないと思います(ですよ) [笑って]。	/	/
308	299	NS12	あ、やっぱそうなんですね。	ne1	/
309	300-1	NNS12	あとまあそうですね、自分でまあ,,	/	/
310	301	NS12	ミンチして。	/	/
311	300-2	NNS12	そうそうそうそう、ええ。	/	/
312	302	NS12	ふふふ [笑って]。	/	/
313	303	NS12	それであとにらをいれて(ふうん)、食べた。	/	/
314	304	NNS12	あ、にらですか。	/	/
315	305	NS12	にらとほんとお肉だけでつくって(へえ)食べたんですけど。	/	/
316	306	NNS12	あ、なるほど。	/	/
317	307	NS12	そう水餃子っていうのもびっくりしました。	/	/
318	308	NNS12	水餃子はね、ちょっとまあ、えー、まあ自分から見れば焼き餃子より(うん)、というかまあ、技術が必要だと思います(ああ)=。	/	/
319	309	NNS12	=な、なぜかっていうと、それを水に入れるんですよね。	中間	d
320	310	NNS12	もれちゃうと全然味が失ってしまうのでー (ですよ) 。	/	/
321	312	NNS12	そう、はい、ちょっと、まあ、皮のまあ、うつ、薄さが違いますよね(ああー)、まあ。	中間	d
322	313	NS12	へえー。	/	/
323	314	NNS12	焼き餃子が(うん)、まあ重要なのはなんか、その焼く時間ですね。	ne3	f
324	316	NS12	そうですね、そのパリパリに、ふふふ [笑いながら]。	/	/
325	317	NNS12	まあこげないように [笑いながら]。	/	/
326	318	NS12	うんうん、焼けるかっていうところで。	/	/
327	319	NNS12	それはね、うん。	/	/
328	320	NS12	そう、へえ、え、中国のどこらへんの出身なんですか?。	/	/
329	321	NNS12	自分はその、かほ、河北省です。	/	/
330	322	NS12	あー、<河北省>{<}>。	/	/
331	323	NNS12	<河北省>{>}は、北京にすごいちかいところで(ああ)、ええ、北京のちょっと下。	/	/

332	324	NS12	下らへん。	/	/
333	325	NNS12	海辺、はい。	/	/
334	326	NS12	ああ、そうなんです。	ne1	/
335	327	NNS12	はい。	/	/
336	328	NS12	私夏に、(はい)、その、その中国人の友達が(はい)、中国に帰っちゃうんで、(はい)夏休みにちょっと中国遊びに行こうとおもってて(ええ)、上海に、ふふふ[笑う]。	/	/
337	329	NNS12	あ、誘いました?。	/	/
338	330	NS12	そう、上海に、もう一人の日本人の友達と(はい)、旅行にいこうっていう話をしてて。	/	/
339	331	NNS12	あ、行きました?、まだですか?。	/	/
340	332	NS12	んと、これから、夏…休み(あ)〈行こうと思って〉〈〉。	/	/
341	333	NNS12	〈上海ですか〉〈〉?。	/	/
342	334	NS12	上海に。	/	/
343	335	NNS12	あ、上海のしょうろん、小籠包とか。	/	/
344	336	NS12	あ、やっぱり小籠包[笑いながら]。	/	/
345	337	NNS12	小籠包ですね。	ne3	/
346	338	NS12	ふふふ[笑いながら]。	/	/
347	339	NNS12	かにとか。	/	/
348	340	NS12	ああそう、カニ。	/	/
349	341	NS12	ふふふ[笑いながら]。	/	/
350	342	NNS12	上海まだいったことないですねえ。	ne3	f
351	343	NS12	あ、ほんとですか。	/	/
352	344	NNS12	ええ、いったことないですよ。	yo3	/
353	345	NS12	やっぱ、広いと行けないです、広いから中国、〈あんまりいろんな〉〈〉【【。	/	/
354	346	NNS12	】くうん、じゃなくて〉〈〉、自分が上海の人がまあそもそもまあ嫌いなんだから[笑いながら]。	/	/
355	347	NS12	あ、そうなんですか?。	/	/
356	348	NNS12	ははは[笑いながら]。	/	/
357	349	NS12	ふふふ[笑いながら]。	/	/
358	350	NNS12	まあ、なんか京都の人くと大阪の人みたいですね〈〉。	ne3	f
359	351	NS12	〈あーなるほどなるほ〉〈〉。	/	/
360	352	NS12	やっぱ中国でもあるんですか、地域でこの【【。	/	/
361	353	NNS12	】ありますよー。	yo2	/
362	354	NNS12	=まあ地域の競争が大変ですよ。	yo2	e2

363	355	NS12	へえー。	/	/
364	356-1	NNS12	たとえばね、北京と天津とか、	/	/
365	357	NS12	うん。	/	/
366	356	NNS12	上海と杭州とか、あと南の広州と香港とか。	/	/
367	358	NS12	うーん、へえ。	/	/
368	359	NNS12	近いですから、競争してますよ。	yo3	
369	360	NS12	あー(うん)、なるほど。	/	/
370	361	NS12	え、一番その(うん)代表的な(そう)、あれはなんなんですか?。	/	/
371	362	NNS12	なんでも似てるからじゃあどっちがほんもの、みたいな。	/	/
372	363	NS12	ああ、なるほど。	/	/
373	364	NNS12	そう、食べ物まあ、だいたい同じし、まあ、あのあの中国っていわゆる GDP っていうのが(あー)国民総生産とかもだいたい似てるし、まあ、ど、どっちかより実力をもってる都市なのかっていう。	/	/
374	365	NS12	あーやっぱ、<あるんですね>{<}。	ne1	/
375	366	NNS12	<競争がずっと、まあ続いていますよ>{>}。	yo2	e2
376	367	NS12	へえー。	/	/
377	368	NNS12	で、自分はまあちょっと上海と遠いんですけど(ええ)。	/	/
378	369	NNS12	なぜ嫌いかという(うん)、あの上海の人は、まあケチで、中国で有名ですよ。	yo2	/
379	370	NS12	あ、そうなんですか?。	/	/
380	371	NNS12	ケチ、計算高いです。	/	/
381	372	NS12	へえー。	/	/
382	373	NNS12	ええ。	/	/
383	374	NS12	けっこうなんか、上海は日本の東京みたいって。	/	/
384	375	NNS12	まあ東京のひとよりも 10 倍ケチなんじゃないですか。	/	/
385	376	NS12	あははは[笑う]。	/	/
386	377	NS12	そんなにケチなの>{<}?。	/	/
387	378	NNS12	<ほんと>{>}計算してますよ=。	yo2	/
388	379	NNS12	=お、男だって(へえ)、なんかまあ一緒に、まあ例えば友達だから食事に行ったら(ああ)、まあ今日はお金ないからとりあえず払ってもらえませんかって、払いましたけど(うん)あとで、まあいろんなやり方でひそかに貸してくれ貸してくれって。	/	/
389	380	NS12	あー、そうなんですね。	ne1	/
390	381	NNS12	い、いろんなやり方でね、まあ直接は言わないですけど(ああ)、はい。	/	/
391	382	NS12	へえーそうなんだ[笑いながら]、ふふふ。	/	/
392	383	NNS12	へへへ[笑う]。	/	/
393	384	NS12	え、逆に(ええ)、寛大というかケチじゃないのは、どこらへんの地域の。	/	/

394	385	NNS12	ケチじゃないっていうのが例えば中国の東北…とかね(ああ)、ちょっともうちょっと北のくほうですね、ええ>{<}	ne3	/
395	386	NS12	<北のほう>{>}, へえー。	/	/
396	387	NNS12	北のほうの、まあケチじゃないですけど、ちょっとまあ乱暴というか[笑いながら]。	/	/
397	388	NS12	あ、そうなんです(ああ)。	ne1	/
398	389	NNS12	言い方が乱暴ですね(ああ)。	ne3	f
399	390	NNS12	=いやや乱暴じゃないまあまあそっちの人はまあ当然まあ慣れてるから問題ないですけど(ああ)。	/	/
400	391	NNS12	自分が北京に近いところにすんでるひとは、まあやっぱりまあ東北のひとはちょっと乱暴だ(ああ)。	/	/
401	392	NS12	あー、そうなんです(ああ)。	ne1	/
402	393	NNS12	なんで気持ちを考えてくれないのって。	/	/
403	394	NS12	あーへー。	/	/
404	395	NNS12	そうそうそう。	/	/
405	396	NNS12	そういうイメージです(ああ)。	/	/
406	397	NS12	なるほど。	/	/
407	398	NNS12	やっぱりまあ、まあ広い、広いですからね↑>{<}	ne4	/
408	399	NS12	<広い>{>}ですもんねえ。	ne5	/
409	400	NNS12	広いですからねえ。	ne4	/
410	401	NS12	また、ほんと南のほういくと全然ちがいますか?。	/	/
411	402	NNS12	ああ、南のほうは、広州だと、南の広州に一年間住んでたことがありまして(ええ)、広州の人は逆に優しくすぎると思います。	/	/
412	403	NS12	あ、そうなんです(ああ)。	ne1	/
413	404	NNS12	ええ。	/	/
414	405	NS12	広州は、あの広いのほうですか?。	/	/
415	406	NNS12	広いです。	/	/
416	407	NS12	広いほうのか。	/	/
417	408	NNS12	広州、香港に近いところですね↑。	ne3	/
418	409	NS12	あ、香港の、近いところ>{<}	/	/
419	410	NNS12	<はい、南の>{>}。	/	/
420	411	NS12	ああ、うん。	/	/
421	412-1	NNS12	ちょっと、はい、広州の人はちょっと、方言まあまあ、全然か、標準中国語の、北京語を喋れないので、ほとんどの人が、	/	/
422	413	NS12	あ、そうなんです(ああ)。	ne1	/
423	412-2	NNS12	まあしゃべっても、ちょっと発音が<変な>{<},	/	/

424	414	NS12	<ちよっとちがう>{>}。	/	/
425	412-3	NNS12	ええ、大変なので、やっぱり慣れるのがたい…問題ですね(へえ)。	ne3	f
426	415	NNS12	慣れるのが問題ですね。	ne3	f
427	416	NS12	そうなんですね。	ne1	/
428	417	NNS12	え、千葉に来たら、全然なれる問題ならないです、慣れるのが問題にならないですね。	ne3	f
429	418	NS12	うーん。	/	/
430	419	NNS12	全然まあすぐに入れる、今の生活。	/	/
431	420	NS12	ああー、そうなんですね。	ne1	/
432	421	NNS12	食文化もだいたい一緒だし。	/	/
433	422	NS12	ああ、そうなんですね。	ne1	/
434	423	NS12	じゃああんまり、日本にきてすごい大変だったっていうことはそんなに、なかったですか?。	/	/
435	424	NNS12	あー、大変だったことですか?。	/	/
436	425-1	NNS12	いや、<楽しい>{<},,	/	/
437	426	NS12	<何か>{>}があわないとか。	/	/
438	425-2	NNS12	あ、そうですねえ、合わないところがちよっとありまして。	/	/
439	427	NS12	あ、やっぱ、ははは[笑う]、何が<あります>{<}?。	/	/
440	428	NNS12	<まあ>{>}そんなに、日本人みたいに考えることができないですね。	ne3	f
441	429	NNS12	=日本人はちよっとまあ、ええ、細かいというか、まあちよっと(ああ)考えるのが、まあ…中国人より、普通に多く考えるはずですね、日本人は。	ne3	f
442	430	NS12	ああ、考えすぎっていう感じですか。	/	/
443	431	NNS12	いや自分から見ればですよ。	yo2	/
444	432	NS12	ああー。	/	/
445	433	NNS12	日本人だったら普通だと思いますけど、日本人同士だと普通だと思いますけど。	/	/
446	434	NS12	ああなるほどなるほど。	/	/
447	435	NNS12	ええ、またはまあ、ポライトネスとか、れ、礼儀の面ですね(うーん)。	ne3	f
448	436	NNS12	まあ、中国人よりレベルが高いと思いますね(あー)、ええ。	ne3	f
449	437	NS12	たしかに<そこらへんは>{<}【【。	/	/
450	438	NNS12	】】<毎回会うと>{>}、あのすみませんとか(あー)、中国人はそういう習慣はないですね。	ne3	f
451	439	NS12	謝りすぎだなんていうのはやっぱりおもいますか?。	/	/
452	440	NNS12	いや、とは思わないないですね(ああ)。	ne3	f
453	441	NNS12	やっぱそれは日本ですから。	/	/
454	442	NS12	あーもう日本だからっておもってれば(ええ)、そうでもない。	/	/

455	443	NNS12	で、そういう文化してるから逆に面白いと思いますね(ああー)。	ne3	f
456	444	NNS12	そういう人間社会ですから。	/	/
457	445	NS12	あははは[笑って]。	/	/
458	446	NNS12	うん。	/	/
459	447	NS12	でも結構うん、すぐすいませんとは言っちゃうかもしれないです、ふふふ[笑う]。	/	/
460	448	NNS12	ああ、そうですね(うん)、場合によりますね。	ne5	/
461	449	NS12	うん。	/	/
462	450	NNS12	そうですよ。	yo3	/
463	451	NS12	そうなんだ。	/	/
464	452	NNS12	そうですね、えっと、上海にいったらですね、いやあの、どうやって行きますか、あの飛行機?。	/	/
465	453	NS12	飛行機でいくつもりでした。	/	/
466	454	NNS12	船でいってもおもしろいですよ。	yo3	/
467	455	NS12	へえー、船どっからでてるんですか?。	/	/
468	456	NNS12	たぶん福岡。	/	/
469	457	NS12	ああ福岡。	/	/
470	458	NNS12	そうですねたぶん福岡だとも思います(へえ)。	/	/
471	459	NS12	福岡から(うん)、フェリーで。	/	/
472	460	NNS12	船で景色が、なんか海の景色が(ああ)、すごいいいと思います。	/	/
473	461	NNS12	日本海の。	/	/
474	462	NS12	あ、面白いですね。	ne5	/
475	463	NNS12	面白いです。	/	/
476	464	NS12	全然飛行機でしか考えてなかったですけど。	/	/
477	465	NNS12	ふつう飛行機はいつも、まあ普通の行き方ですけど(うん)、はい。	/	/
478	466	NNS12	で、普段何か趣味とか、ありますか?。	/	/
479	467	NS12	趣味はそれこそ、旅行行くのが好きで。	/	/
480	468	NNS12	旅行いくのが。	/	/
481	469	NS12	はい、結構いろんなところに、まあ国内もだし、国外も、海外にもだったりいろいろいくんですけど。	/	/
482	470	NNS12	そうですか。	/	/
483	471	NS12	うん。	/	/
484	472	NS12	もう終わりかな。	/	/
485	473	NNS12	あ、<そろそろ>{<}。	/	/
486	474	NS12	<そろそろですかね>{>}。	ne3	/
487	475	NNS12	ふふふふ[笑い]。	/	/

488	476	NS12	はははは[笑い]。	/	/
489	477	NS12	どこ行きましたか、日本来てから。	/	/
490	478	NNS12	あ、日本来てから。	/	/
491					

データ 14

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS14	始めまして[笑いながら]。	/	/
2	2	NNN14	えーと、まず自己紹介ですよね、はい。	中間	d
3	3	NS14	私は、えーと(はい)、文学部4年生の(あーはい)「NS14の苗字」と申します。	/	/
4	4	NNN14	あーはい(はい)、私は人社研の博士後期課程に(はい)、と、今は1年生をやっております、 「NNS14の苗字」と申します。	/	/
5	5	NNN14	<よろしく>{<}【【。	/	/
6	6	NS14	】】<「NNS14の苗字」さん>{<}。	/	/
7	7	NNN14	そうですね、<はい>{<}。	ne3	/
8	8	NS14	<あ>{<}、分かりました>{<}。	/	/
9	9	NNN14	<えっと名前>{<}もう1回、お。	/	/
10	10	NS14	と、「NS14の苗字」です、<「NS14の苗字」>{<}。	/	/
11	11	NNN14	<「NS14の苗字」>{<}。	/	/
12	12	NS14	あーはい。	/	/
13	13	NS14	分かりました、はい[笑いながら]。	/	/
14	14	NS14	<よろしく>{<}【【。	/	/
15	15	NNN14	】】<よろしくお願ひします>{<}。	/	/
16	16	NS14	博士、なんですね。	ne2	/
17	18	NNN14	そうですね、文学部4年生、<ですね>{<}。	ne1	/
18	19	NS14	<4年生>{<}です。	/	/
19	20	NNN14	専攻のほうは《少し間》、<どちらですか>{<}?。	/	/
20	21	NS14	<専攻は>{<}、文学部で、と、今日本語教育、<やっています>{<}。	/	/
21	22	NNN14	<あー>{<}、そうなんですか。	/	/
22	23	NS14	はい。	/	/
23	24	NNN14	私の指導教員は、えっとI先生ご存じかな、と思っ。	/	/
24	25	NS14	あー、分からくないです>{<}。	/	/
25	26	NNN14	<あ、そうですか>{<}、はい。	/	/
26	27	NS14	M先生分かりますか?。	/	/
27	28	NNN14	あっ、分からないです[笑いながら]。	/	/
28	29	NS14	分からない[笑いながら]、うん。	/	/
29	30-1	NNN14	史学の先生なんで、,	/	/
30	31	NS14	ああ、そうなんですね。	ne1	/
31	30-2	NNN14	はい、たぶんちょっと分野が違うから(うーん)、ちょっと(はい)、ご存じないかも(は	/	/

			い)知れないですけど、はい。		
32	32	NS14	は一、すみません[笑いながら]、<よろしくお願ひします>{<}。	/	/
33	33	NNN14	<はい、今4年生>{<}ですよ?。	中間	d
34	34	NS14	そうです、<4年生です>{<}。	/	/
35	35	NNN14	<これから進学>{<}ですか、それとも、普通に就職…。	/	/
36	36	NS14	就職…ですね。	ne3	/
37	37	NNN14	あ、はい。	/	/
38	38-1	NS14	4月から<もう>{<}、,	/	/
39	39	NNN14	<あ、そうですか>{<}。	/	/
40	38-2	NS14	働きます、はい。	/	/
41	40	NNN14	えー、あとで、はたら、働いたことない<ですから>{<}。	/	/
42	41	NS14	<あ、そう>{<}なんですね。	ne1	/
43	42	NNN14	はい、もうずっと進学進学で。	/	/
44	43	NS14	ああ、そうなんですね。	ne1	/
45	44	NNN14	そうですね。	ne5	/
46	45	NNN14	一回ちょっと社会に出て、働いて、みようかなー(ああ)、と思つて(はい)、はい。	/	/
47	46-1	NS14	でも、4月から、うん、でも私決まつたのが1月で、今月で、,	/	/
48	47	NNN14	へー。	/	/
49	46-2	NS14	で、卒業論文も先週[↑]、先々週(ああ)、12日に出したんですけど。	/	/
50	48	NNN14	はい。	/	/
51	49	NS14	その、4日前ぐらいに決まつて[笑いながら]。	/	/
52	50	NNN14	は、そう<ですか>{<}。	/	/
53	51	NS14	<<笑い>>{<}。	/	/
54	52	NNN14	良かったですよ。	中間	a
55	53	NS14	はい、本当。	/	/
56	54-1	NNN14	バイト先の、なんか(はい)、あの…T大学生けっこう多いんですけど、,	/	/
57	55	NS14	はい。	/	/
58	54-2	NNN14	だいたい、去年の、去年かな(はい)、じゅう…12月あつ、あり、当たり前から(そうですね)、みんな決まつて、はい。	/	/
59	56	NS14	去年、中に決まりたかつたんですけど[笑いながら]>{<}。	/	/
60	57	NNN14	<そうね>{<}、その前はすごく皆苦労、なさつた(うん)らしくて、話はいろいろ聞いたんですけど。	/	/
61	58	NS14	時期がこう、今年、こん、今年度は変わつちやつて。	/	/
62	59	NNN14	そうですね、なんか体験なき、時期はなんとか(そう)なんとか。	/	/
63	60	NS14	はい。	/	/

64	61	NNN14	一回就職したことないですけど[笑いながら]。	/	/
65	62	NS14	<笑い>、いや、大変でした、<笑い>。	/	/
66	63	NNN14	ああ、そうですか、良かったですね。	中間	a
67	64	NS14	はい。	/	/
68	65	NNN14	うーん[↓]。	/	/
69	66-1	NS14	で、じゃ、博士、卒業…とかしたら(そうですね)働くんですか(うん)?。	/	/
70	70	NNN14	そうそう、働かないと、やばいんです<笑い>。	/	/
71	71	NS14	<笑い>、なんか研究者になるとか、ではない?。	/	/
72	72	NNN14	うーん、やっぱり(はい)向こうに帰って(ああ)、ちょっと大学の先生にな、なれたらしいなといいなど。	/	/
73	73	NS14	ああ、なるほど、<はい><く>。	/	/
74	74	NNN14	<いちおう><く>目標はそういう目標を立ててるんですけど、どうかな、分かんないです[笑いながら]。	/	/
75	75	NS14	<笑い>、博士までいったら、<自分の><く>【【。	/	/
76	76	NNN14	】<あー><く>、でも、そつ、なん、何年目で卒業できるか<笑い>、分かんないし><く>。	/	/
77	77	NS14	<<笑い>><く>。	/	/
78	78	NNN14	<そうですね><く>。	/	/
79	79	NS14	<あー、だよ><く>、べん、勉強好きなんですか?。	/	/
80	80	NNN14	いや、全然。	/	/
81	81	NS14	<笑い>。	/	/
82	82	NNN14	全然。	/	/
83	83	NS14	<笑い>、そうですね。	ne5	/
84	84	NNN14	なんかなんとなくここまでやってきたみたいなの[笑いながら]。	/	/
85	85	NS14	ああ、はい<はいはい><く>。	/	/
86	86	NNN14	<ふん><く>。	/	/
87	87	NS14	でも、すごいですね。	ne2	/
88	88	NNN14	いやー=。	/	/
89	89	NS14	=私は絶対博士までは[笑いながら]、<笑い>、勉強があまり好きじゃないので[笑いながら]。	/	/
90	90	NNN14	や、大学卒業した、時期に、なんか(はい)まだ就職して、したくないなって(ああ)、軽い気持ちで修士課程に(なるほど)入ったんですけど。	/	/
91	91	NS14	はい。	/	/
92	92-1	NNN14	もうこ、この道に入ったら(ああ)、もう<笑い>、	/	/
93	93	NS14	<笑い>。	/	/

94	92-2	NNN14	あと、がん、あと道がない(はい)みたいな感じで、	/	/
95	94	NS14	なるほど。	/	/
96	92-3	NNN14	どんどん、もう前に(はいはい)進むしかないみたいな。	/	/
97	95	NS14	うんうん。	/	/
98	96-1	NNN14	途中なんか辞めて、そ、就職すると、	/	/
99	97	NS14	はい。	/	/
100	96-2	NNN14	なんか、その前の(はい)かけた2年3年間はちょっとむ、無駄になる(ああ、はい)、なるんじゃないかなと思って(うん)、でーまた進学して、###まで来たんですけど。	/	/
101	98	NS14	は一、すごいですね。	ne2	/
102	99	NNN14	いーえ、全然[笑いながら]。	/	/
103	100	NS14	<笑い>。	/	/
104	101	NNN14	<笑い>。	/	/
105	102	NS14	ちゅう、ごく人、の方のチューターを(はいはいはい)、昨年やったんですけど。	/	/
106	103	NS14	なんか、あまりこう、博士まで、とか、高学歴になると(はい)、なんか就職があまり、できないとかっていうのを相談されてたんですけど。	/	/
107	104	NS14	<そういうこと>< 【 【。	/	/
108	105	NNN14	】><ええ、留学生><{}>のほうですか?。	/	/
109	106	NS14	そうですそうです。	/	/
110	107	NS14	そんなことはくないですか><{}>?。	/	/
111	108	NNN14	<りゅうがく><{}>、中国のほうはむしろ日本よりは(ああ)、高学歴ほど…。	/	/
112	109	NS14	ああ、そうなんです。	ne1	/
113	110	NNN14	いや、研究職にも付きやすいじゃないですか。	/	/
114	111	NS14	はいはいはい。	/	/
115	112	NNN14	はい。	/	/
116	113	NS14	研究職はそうですね。	ne5	/
117	114	NNN14	日本、日本の場合は、例えば、ば博士号を取ったとしても(はい)、なかなか大学に(うん)入ることはできないじゃないですか。	/	/
118	115	NS14	はい。	/	/
119	116	NNN14	例え入ったとしても、やっぱり非常勤として(うん)、もう最初、もう、くれ、もうなんか何年間働いて、で、正職に…なれるかどうかは、わから、もう不安(うん)けっこう大きい(はい)んですし。	/	/
120	117	NNN14	そうですね、うん、それが中国と比べたら、中国のほうが(うんうん)まあ(そうですね)、入りやすいと言ったら入りやすい(ああ)かもしれないですね。	ne3	/
121	118	NS14	じゃ、何を話してたのか[笑いながら]、留学生…[笑いながら]、ああ、そうなんです、<なんかけっこう><{}> 【 【。	/	/

122	119	NNN14	】<チューター>{>}やってらっしゃるんですか。	/	/
123	120	NS14	チューターやってました。	/	/
124	121	NNN14	はい。	/	/
125	122	NS14	一年間だけなんですけど。	/	/
126	123	NNN14	うーん。	/	/
127	124	NS14	あまり他の学科の方と話す機会ってなかったので(はい)、それまで。	/	/
128	125	NNN14	私もこないだM先生の授業で(はい)、知ってるかな、韓国人のもう一人の(はい)、今博士1年の(はい)、なんだったけ、名前忘れたんですけど、なんか場面におけるなんか(はい)、なんとか(ああ)、接触…場面【【。	/	/
129	126	NS14	】韓国人の方ですか。	/	/
130	128	NNN14	そうですね、インドネシアの方って知ってます?。	/	/
131	129	NS14	何の方ですか?。	/	/
132	130	NNN14	あのおそのの、あのー文化(はい)えっと総合校舎の、あのー3階に留学生の交流室<ある、いる、あるんですよ>{>}。	中間	d
133	131	NS14	<ああ、はい、ありますね>{>}。	ne5	/
134	132	NNN14	そこになんか、あのーチューターか、まあ先に(はい)、なんかえーと、日ーごとに一人の、あのー(はい)一人の担当者はあそこにいますよね。	中間	d
135	133	NS14	ああ、そう、なんか、あまり使ったこと、なくて。	/	/
136	134	NNN14	そうですか、じゃインドネシアのお姉さん知らないかも。	/	/
137	135	NS14	はい。	/	/
138	136	NNN14	そうかそうか。	/	/
139	137	NS14	はい、知らないかもしれないです[笑いながら]。	/	/
140	138	NNN14	《少し間》趣味は何ですか?。	/	/
141	139	NS14	ああ、趣味ですか。	/	/
142	140	NNN14	<はい>{>}。	/	/
143	141	NS14	<趣味は>{>}、そうですね、なんか最近、うん、けっ、そんなに[笑いながら]趣味というほどでもないんですけど。	/	/
144	142	NNN14	はい。	/	/
145	143	NS14	おさい、ほ、裁縫ですか。	/	/
146	144	NNN14	はいはいはい。	/	/
147	145	NS14	なんか、いろいろ縫ったりとか、(へえ)刺繍…って、分かりますか?。	/	/
148	146	NNN14	はい。	/	/
149	147	NS14	刺繍をしたりとか。	/	/
150	148	NNN14	へえ。	/	/
151	149	NS14	のんびり、<笑い>。	/	/

152	150	NNN14	私もある時期に(はい), はまった時あるんですけど。	/	/
153	151	NS14	あ、本当くですか>{<}。	/	/
154	152	NNN14	<###>{>}に(はい)、まあ全然つづか、続かなかった[笑いながら]。	/	/
155	153	NS14	<笑い>、<ええ>{<}。	/	/
156	154	NNN14	<途中>{>}放り出して(ああ)、もういやと思って。	/	/
157	155	NS14	はい。	/	/
158	156	NNN14	結構短気ですから。	/	/
159	157-1	NS14	<笑い>、私もでも最近始めたばかりなんで、	/	/
160	158	NNN14	はい。	/	/
161	157-2	NS14	いつ、やめるか<分かんない>{<}。	/	/
162	159	NNN14	<でもなんか、あの>{>}、あの、なんかあの、教える図の、あの、本の中に()結構なんか(はいはいはい)、こう、手順とか書いてありますから(ああはいはい)、こうやるああやるって、一二三四、もう、あれ、あれをたら<笑い>、もう頭が痛くなつて[笑いながら]、そう>{<}。	/	/
163	160	NS14	<へー写真>{>}とかついてても(そう)、分からないことですよ。	yone1	/
164	161	NNN14	そうそうそうそう。	/	/
165	162	NS14	いやー、そうですね。	ne5	/
166	163	NNN14	そうですね、<で>{<}【【。	/	/
167	164	NS14	】】<趣味>{>}。	/	/
168	165	NNN14	私、趣味、うーん、結構書類、書類で(はい)、趣味は何ですかって(はい)、書いてくださいとか、ことあるんですけど、なんだろう、趣味は。	/	/
169	166	NS14	<笑い>。	/	/
170	167	NNN14	いちおうね、いちおう、文章、文面には(文面では)、はは、どく、読書って(ああ)書いてありますけど。	/	/
171	168	NS14	ああ、はいはい。	/	/
172	169	NNN14	まあ、全然、ふふ。	/	/
173	170	NS14	読書は日本語のほうですか、中国語のほうですか。	/	/
174	171	NNN14	今は学校結構忙しくて、読んでものはだいたい、あの、論文当たりですけど。	/	/
175	172	NS14	はい。	/	/
176	173	NNN14	昔だったら、推理小説結構好きなんですけど>{<}。	/	/
177	174	NS14	<ああ、そうなんです>{>}。	ne1	/
178	175	NNN14	はい。	/	/
179	176-1	NS14	私はあんまり読書、ははは、	/	/
180	177	NNN14	そこは<全然>{<}。	/	/
181	176-2	NS14	<苦手>{>}なんですよね、なんか。	yone2	/

182	178	NNN14	ああ。	/	/
183	179	NS14	長い、こう、分厚い本とかだと(はい)、すぐ飽きちゃって[笑いながら]。	/	/
184	180	NNN14	あー私、日本の、あれ結構好きです。	/	/
185	181	NS14	ああ、そうですか。	/	/
186	182-1	NNN14	告白っていう,,	/	/
187	183	NS14	ああはいはいはい。	/	/
188	182-2	NNN14	映画、映画化もされてまして,,	/	/
189	184	NS14	うんうん、はい。	/	/
190	182-3	NNN14	あれをみてて、おーすごいなと思って。	/	/
191	185	NS14	へー。	/	/
192	186-1	NNN14	ちょっと暗いイメージが,,	/	/
193	187	NS14	ああはいはいはい。	/	/
194	186-2	NNN14	のが好きです。	/	/
195	188	NS14	好きですか、ははは。	/	/
196	189	NNN14	はい、ふふ。	/	/
197	190-1	NS14	じゃ本読んだ後に、映画みたりとかも,,	/	/
198	191-1	NNN14	あつ,,	/	/
199	190-2	NS14	しますか?。	/	/
200	191-2	NNN14	最初は映画を見て,,	/	/
201	192	NS14	ああ、<はい>{<}。	/	/
202	191-3	NNN14	<その後>{<}、あー小説も読んでみようかなっていう感じで>{<}。	/	/
203	193	NS14	<ああなるほどなるほど>{<}、はいはいはい。	/	/
204	194	NNN14	って感じで、みたいですけど、ああ面白いとか(ははは)、ふふふ。	/	/
205	195	NS14	はは、そうなんですネ。	ne1	/
206	196-1	NNN14	そう、人間黒い面が見れたなあ,,	/	/
207	197	NS14	ははは。	/	/
208	196-2	NNN14	うれしいみたいな、ははは、私の<人格どれだけ>{<},,	/	/
209	198	NS14	<ははは>{<}。	/	/
210	196-3	NNN14	悲願でそうみたいな、ははは。	/	/
211	199	NS14	ははは、ええ、スリルがあって、ははは。	/	/
212	200	NNN14	ふふふ、今一人暮らしですか?。	/	/
213	201	NS14	一人暮らしでーす。	/	/
214	202	NNN14	ええ、私も一人暮らしが<好きです>{<}。	/	/
215	203	NS14	<あそうなんですか>{<}。	/	/
216	204	NNN14	えっ寂しくないですか?。	/	/

217	205	NS14	うーん、いやでも、よ、4年間一人暮らししたので。	/	/
218	206	NNN14	おっ、4年間も[↑]。	/	/
219	207	NS14	はい。	/	/
220	208	NNN14	すごいですね。	ne2	/
221	209	NS14	はい。	/	/
222	210-1	NS14	うん、ひ、寂しい、は、学校に来たら、,	/	/
223	211	NNN14	うん。	/	/
224	210-2	NS14	サークルの人たちとかに会えるので。	/	/
225	212-1	NNN14	私は2年、私は千葉に、あの一来たのは(はい)、2年半前(なんですけど)<>,,	/	/
226	213	NS14	<あ、そうなん><>ですか。	/	/
227	212-2	NNN14	その前は(はい)、あの一埼玉…(はい)の学校に通って、で[花を吸る音]、あの時は、あのルーム、メートは(はい)一人いたんですけど,,	/	/
228	214	NS14	あそうなんですか。	/	/
229	212-3	NNN14	で、千葉に来てから(はい)、一人暮らしを始めたんですよ。	yo2	e2
230	215	NS14	はい。	/	/
231	216	NNN14	もうむちゃくちゃ寂しいですよ。	yo3	/
232	217	NS14	<ははは><>。	/	/
233	218	NNN14	<ははは><>。	/	/
234	219	NS14	ひと、二人で住んだんですね。	ne1	/
235	220	NS14	=寮[↑],とか<だったんですか><>?。	/	/
236	221	NNN14	<うんじゃなくて><>、<あの一…><>。	/	/
237	222	NS14	<あ一緒に><>だっ(た)んですね<>。	ne1	/
238	224	NNN14	<一緒に><>、はい、そうですね、部屋は別々(なんですけど)。	/	/
239	225	NS14	はい。	/	/
240	226	NNN14	はい。	/	/
241	227	NS14	えー寂しいと、何します?。	/	/
242	228	NNN14	寂しいと[↑]、うーん、ドラマみるしかない(なんです)ね<>。	ne3	/
243	229	NS14	<あ、ドラマ><>、ははは。	/	/
244	230	NNN14	ははは。	/	/
245	231	NS14	ああなるほど、テレビつけて。	/	/
246	233	NNN14	そうですね、はい、最近本当に、クレヨンしんちゃんをみながら(ああ)、もう住んでるみたな、<ははは><>。	/	/
247	234	NS14	<ははは><>、楽しいですよ。	yone1	/
248	235	NNN14	ははは、なんかくだらないみたいなアニメを、みると、なんか、逆にストレス解消になるな一と(ははは)思っ(て)て[笑いながら]。	/	/

249	236	NS14	くだらないアニメはいいですね。	ne5	/
250	237	NNN14	うん、なんかこうあの、頭使わない話だと(ははは)、ただまあ、へへへって笑うだけみたいな。	/	/
251	238	NS14	ああ、確かに。	/	/
252	239	NNN14	それはいいなと思って(はい)、そう、ふふふ。	/	/
253	240	NS14	さい、埼玉の大学ですか?。	/	/
254	241	NNN14	あ、修士の。	/	/
255	242	NS14	修士の。	/	/
256	243	NNN14	はいはい。	/	/
257	244	NS14	ああ、はいはい。	/	/
258	245	NS14	じゃ同じ, 学問で?。	/	/
259	246	NNN14	いや、違うんですよ。	yo3	/
260	247	NS14	あ、違うんですか。	/	/
261	248	NNN14	はいはい、前は民族学やってたんですけど。	/	/
262	249	NS14	ああそうなんですね。	ne1	/
263	250	NNN14	全然分野が違って。	/	/
264	251	NS14	違うんですね。	ne1	/
265	252-1	NNN14	で、そこの先生は博士一はちょっと(はい)、あの…指導ができなくて,,	/	/
266	253	NS14	はい。	/	/
267	252-2	NNN14	で、こっちに…来ることになったんですね、はい。	ne3	/
268	254	NS14	すごいですね。	ne2	/
269	255	NNN14	いえいえ。	/	/
270	256	NS14	勉強好きなんじゃないですか[笑いながら]、ははは。	/	/
271	257	NNN14	ふふふ、好きじゃないです。	/	/
272	258	NS14	好きじゃないですか[笑いながら]。	/	/
273	259	NNN14	はい、いちおうね。	ne3	/
274	260-1	NS14	えっ、埼玉にいるごとは、なんかこう埼玉の観光地とか,,	/	/
275	261	NNN14	ふふふ。	/	/
276	260-2	NS14	行ったりとかしました?。	/	/
277	262	NNN14	埼玉って[笑いながら]、<観光地あるんですか>{<}?。	/	/
278	263	NS14	<埼玉で観光地>{>}ある、ははは。	/	/
279	264	NNN14	あるんでしたっけ、ははは、あるんでしたっけ。	/	/
280	265	NS14	あまりないですか。	/	/
281	266	NNN14	あまりないじゃないですか。	/	/
282	267	NS14	こっちに来てからはなんか[↓]。	/	/

283	268	NNN14	ああ、今年の2月はいちおう(はい)、旅行に行くんですけど。	/	/
284	269	NS14	ああ、そうなんですか。	/	/
285	270	NNN14	はい。	/	/
286	271	NS14	はい。	/	/
287	272-1	NNN14	あのー、姉さん、たちが来るんですので、	/	/
288	273	NS14	ああはいはいはい。	/	/
289	272-2	NNN14	一緒に旅行に行こうかなあって。	/	/
290	274	NS14	はい。	/	/
291	275	NNN14	で、草津温泉まで。	/	/
292	276	NS14	あー。	/	/
293	277	NNN14	はい、まだ行ったことないんですけど>{<}。	/	/
294	278	NS14	<草津は>{>}、群馬県ですか。	/	/
295	279	NNN14	そうですね、はい。	ne3	/
296	280	NS14	去年私行きました。	/	/
297	281	NNN14	あっ本当ですか。	/	/
298	282	NS14	去年の、に、3月ですか。	/	/
299	283	NNN14	はいはい。	/	/
300	284	NS14	草津行きましたよ。	yo2	/
301	285	NNN14	楽しかったですか?。	/	/
302	286	NS14	楽しかったで一す。	/	/
303	287	NNN14	本当ですか。	/	/
304	288	NS14	もう寒いんで【【。	/	/
305	289	NNN14	】】有名な食べ物とかは?。	/	/
306	290	NS14	有名な食べ物ですか[→]。	/	/
307	291	NNN14	はい。	/	/
308	292	NS14	ははは。	/	/
309	293	NNN14	いちおうね、なんか(ははは)ほうとう、あのー郷土料理がほうとうって言われたんですよ。	yo2	e2
310	294	NNN14	私ほうとうもともと結構好きで。	/	/
311	295	NS14	ほうとうですか。	/	/
312	296	NNN14	はい。	/	/
313	297	NS14	ほうとうはたぶん、《少し間》山梨県じゃないですか、あれ。	/	/
314	298	NNN14	あ、そうですか。	/	/
315	299	NS14	ははは。	/	/
316	300	NNN14	なんか、日本人におしえ、教えてもらって、なんか「ほうとうぜひ食べてください	/	/

			よ」って。		
317	301	NS14	いや、山梨県だと思います、ははは。	/	/
318	302	NNN14	おお。	/	/
319	303	NS14	山梨県も私行ったことがあります。	/	/
320	304	NS14	ほうとう食べました、その時。	/	/
321	305	NNN14	はいはいはい。	/	/
322	306	NS14	<ほうとうは>{<}【【。	/	/
323	307	NNN14	】】<郷土料理>{>}けっこう好きなんですよ。	yo3	/
324	308	NS14	ああそうなんですか。	/	/
325	309	NNN14	はい。	/	/
326	310	NS14	草津だと何ですかね。	ne3	/
327	311-1	NNN14	<うん>{<},,	/	/
328	312-1	NS14	<なんか>{>},,	/	/
329	311-2	NNN14	なんか、なんだろう。	/	/
330	312-2	NS14	ふふふ、食べ物あまり食べなかったような、気がするんですけど。	/	/
331	313	NS14	でも、温泉がいつ、いっぱいあるんで。	/	/
332	314	NNN14	はい、えっと2泊[にばくと発音]…す、する(ああ)つもりなんですけど。	/	/
333	315	NS14	そうなんですわ。	ne1	/
334	316	NNN14	で、1日目は、えっと温泉で(はい)、二日目はスキーで。	/	/
335	317	NS14	ああスキー。	/	/
336	318	NNN14	そうです、へへへ。	/	/
337	319	NS14	スキーいいですね。	ne2	/
338	320	NNN14	でも初めてなんですけど、<今回>{<}。	/	/
339	321	NS14	<ああそうなん>{>}ですか。	/	/
340	322	NNN14	はい。	/	/
341	323	NS14	ああ、すごい。	/	/
342	324	NNN14	楽しい、楽しくなるかなあと思って。	/	/
343	325	NS14	ぐん、群馬県、その群馬県の<スキーですか>{<}?。	/	/
344	326-1	NNN14	<うーん、なんか>{>}###のスキー場があって>{<},,	/	/
345	327	NS14	<あああるん>{>}ですか。	/	/
346	326-2	NNN14	はい、けっこう旅館にも近いし,,	/	/
347	328	NS14	ええ。	/	/
348	326-3	NNN14	なんかあの一無料な、しゃ、シャトルバスも,,	/	/
349	329	NS14	はいはいはいはい。	/	/
350	330	NNN14	はい、あるから。	/	/

351	331	NS14	えっ初めて、緊張しますね、ははは。	ne4	/
352	332	NNN14	どうだろう、ふふふ。	/	/
353	333	NS14	えっ結構、運動はされますか?。	/	/
354	334	NNN14	いやー。	/	/
355	335	NS14	ああ、しないですか?。	/	/
356	336	NNN14	しないです。	/	/
357	337	NS14	はい、じゃもう…。	/	/
358	338	NNN14	普段歩くのは面倒くさい。	/	/
359	339	NS14	ははは。	/	/
360	340	NNN14	ふふふ、###が自転車か電車で、はは。	/	/
361	341	NS14	ははは、はいはいはい。	/	/
362	342	NNN14	そうそうそう。	/	/
363	343	NS14	ええ、じゃ結構、筋肉痛とかに、〈なりそう〉{<}。	/	/
364	344	NNN14	〈ああ本当〉{>}、そうなるんですか。	/	/
365	345	NS14	スキーはたぶんなると思いますよ〉{<}。	yo3	/
366	346-1	NNN14	〈前ちょっと〉{>},,	/	/
367	347	NS14	はい。	/	/
368	346-2	NNN14	前の友達にもなんか(はい)、あのー「初めて、ならもう絶対次の日に筋肉痛になるよ」って(ははは)、言われて、言われたんですよ。	yo2	e2
369	348	NS14	いや、はいはいはい。	/	/
370	349	NNN14	どうだろうなと思って。	/	/
371	350	NS14	結構、体ストレッチしてからのほうが良いと思います。	/	/
372	351	NNN14	ちょっとポーズを…、取って(ははは)、写真ぐらい取ってもらって(あそう、ははは)、で、終わりにしようか。	/	/
373	352	NS14	ははは、それはない、それはないですけど。	/	/
374	353	NNN14	ははは、筋肉痛、筋肉痛になるのは面倒くさいなと思って。	/	/
375	354	NS14	ああ、そうそう、結構<痛い>すよね〉{<}。	yone2	/
376	355	NNN14	〈せつ、そう〉{>}、せつかくちょっと、[花を啜る音]、いや、休め、めるためにもう旅行に行ってるわけで。	/	/
377	356	NS14	うんうん、ふふふ。	/	/
378	357	NS14	###。	/	/
379	358	NS14	ははは、体が痛くなるのはいやだし。	/	/
380	359	NNN14	そうそうそう。	/	/
381	360-1	NS14	いや、私は(はい)、スキーは結構雪…が多いところで育ったので、	/	/
382	361	NNN14	あ、そうなん、え、実家はどこですか?。	/	/

383	360-2	NS14	実家は、秋田県って、分かります?。	/	/
384	362	NNN14	あ、はい、分かります分かります。	/	/
385	363	NNN14	米がすごく有名で。	/	/
386	364	NS14	そうですそうです。	/	/
387	365	NNN14	ははは。	/	/
388	366	NS14	そうですね、切なくて、結構(ははは)。	/	/
389	367	NS14	はい、秋田県なので、結構雪が多くて。	/	/
390	368	NNN14	はい。	/	/
391	369	NS14	はい。	/	/
392	370	NNN14	さい、さ、さ、埼玉県、より、あの一、あの何だっけ、名物が多いじゃないですか、秋田県。	/	/
393	371	NS14	ああ、でもまあ、秋田出身なので、秋田の###は知ってます。	/	/
394	372	NNN14	ですよ。	中間	c
395	373-1	NS14	はい、雪は結構ちっちゃい時から降ってたんで、	/	/
396	374	NNN14	はいはい。	/	/
397	373-2	NS14	何歳ですかね=。	ne3	/
398	375	NS14	=小学校とかに入る前から(うん)、スキーは(はい)、<毎年してました>(く)。	/	/
399	376	NNN14	<じゃ千葉県は>(い)、あの一寒いほう、と思ってらっしゃるんですか。	/	/
400	377	NS14	千葉ですか。	/	/
401	378	NNN14	はい、秋田と、<比べたら>(く)。	/	/
402	379	NS14	<千葉>(い)、秋田と比べたら、温かいと思います。	/	/
403	380	NNN14	ですよ。	中間	c
404	381	NS14	こっちは雪が降らないので、<ふふふ>(く)。	/	/
405		NNN14	<はい>(い)、私はじつ、あの一、中国は、あの一(はい)、上海よりちょっと下の杭州(はい)、###杭州なんですけど、[鼻をすする音]	/	/
406		NNN14	で、緯度的にはは、あの一日本(はい)、あの一千葉の(はい)、ほうが高いですけど(はい)。	/	/
407	382	NNN14	でも日本はあの一海囲まれてるから(はいはいはい)、そのわりにちょっとあたたかい、暖かいですので、で、ほぼ、天…候はほぼうちの実家とはあまり変くわらないですので(く)。	/	/
408	383	NS14	<ああそうなん>(い)ですか。	/	/
409	384	NNN14	はい。	/	/
410	385	NS14	じゃ過ごしやすい?。	/	/
411	386	NNN14	はいはい、それは(うんうん)、それはけっこう助かるなあって。	/	/
412	387	NS14	うんうんうん、ふふふ。	/	/

413	388	NNN14	日本に来て一番、[息を吸う]うーん、一番慣れないのは、食事ですね。	ne3	/
414	389	NS14	食事ですか。	/	/
415	390	NNN14	うん。	/	/
416	391	NS14	は、えっ、どんな…《沈黙1秒》違いがありますか？。	/	/
417	392	NNN14	私まず、だめ、生ものがだめなんですよ。	yo2	e2
418	393	NS14	ああ、そうなんです。	ne1	/
419	394	NNN14	はい。	/	/
420	395	NS14	じゃお寿司とかを><【【。	/	/
421	396	NNN14	】><で《少し間》><、そういなり寿司ぐらいしか、<しか食べれなくて><。	/	/
422	397	NS14	<ああ、はは><、いなり寿司。	/	/
423	398	NNN14	うん、そうですね。	ne5	/
424	399	NS14	うんうん。	/	/
425	400	NNN14	あと、ラーメン結構好きですよ。	yo2	e2
426	401	NS14	あ、ラーメン。	/	/
427	402	NNN14	日本のラーメンめっちゃおいしいなあと思って><。	/	/
428	403	NS14	<ああ><そうなんです。	ne1	/
429	404	NNN14	せん、先月かな、友達と(はい)、ずっとな、あの一有名で知ってたんですけど。	/	/
430	405	NS14	はい。	/	/
431	406	NNN14	一蘭のラーメン。	/	/
432	407	NS14	ああ、はいはい。	/	/
433	408	NNN14	すごく有名じゃないですか。	/	/
434	409	NS14	はい。	/	/
435	410	NNN14	しかもなんか中国ですごく人気<…なんですよ><。	yo2	e2
436	411	NS14	<ああそうなんですか><。	/	/
437	412	NNN14	わ、分け分からないんですけど。	/	/
438	413	NS14	はい。	/	/
439	414	NNN14	<で><【【。	/	/
440	415	NS14	】><中国に><お店があるんですか？。	/	/
441	416	NNN14	ふーん。	/	/
442	417	NS14	中国人に人気ということですか><？。	/	/
443	418	NNN14	<そうですね><、うんうん(ああ)、なんか、どこからの情報(はい)かは分かりませんが、取りあえず日本に来て、まあラーメン食べると言ったら、もう必ず一蘭ラーメン(へえそうなんですか)、で食べたい、みたいな感じで。	/	/
444	419	NS14	は一。	/	/
445	420-1	NNN14	友達と私もずっとそれ知ってたんですけど、	/	/

446	421	NS14	はい。	/	/
447	420-2	NNN14	いや、そんなうまいかなあとって,,	/	/
448	422	NS14	ははは。	/	/
449	420-3	NNN14	で、先月千葉に(はい)、あの一、あそこ一軒あるじゃないですか。	/	/
450	423	NS14	はいはいはい。	/	/
451	424	NNN14	で、食べに行ったんですよ。	yo2	e2
452	425	NNN14	で、食べてて(はい)、お、おいしかったんですよ。	yo2	e2
453	426	NS14	はい。	/	/
454	427-1	NNN14	で、食べた終わったあとに、ああおいしいなあってって,,	/	/
455	428	NS14	はい。	/	/
456	427-2	NNN14	でも、なんか噂…ほどじゃないかなと思って。	/	/
457	429	NS14	ははは、期待が、高かったですね<{}>。	ne2	/
458	431-1	NNN14	ああそうですね、いや、でも、あの一、続きがあるんですけど,,	/	/
459	432	NS14	はい。	/	/
460	431-2	NNN14	で、その1週間後(はい)、他のラーメン屋さんに食べに行ったんですよ。	yo2	e2
461	433	NS14	はい。	/	/
462	434	NNN14	で、食べたら、ああやっぱり一蘭<{}>おいしいわって<{}>。	/	/
463	435	NS14	<{}>ははは<{}>、他のと比較して。	/	/
464	436	NNN14	そうですね。	ne5	/
465	437	NS14	ああそうなんです。	ne1	/
466	438-1	NNN14	そう、一蘭だけ食べたら、ああおいしいおいしいってそれで終わりですけど,,	/	/
467	439	NS14	はいはいはいはい。	/	/
468	438-2	NNN14	なんかほかのラーメン屋さん、た、食べ比べたら,,	/	/
469	440	NS14	うーん。	/	/
470	438-3	NNN14	は一なるほどみたいな。	/	/
471	441	NS14	ははは、分かったんですよ、おいしさが。	ne4	/
472	442	NNN14	そうそうそう。	/	/
473	443	NS14	えー、えったべ、食べたことないんですよ、実は。	yo3	/
474	444	NNN14	本当ですか。	/	/
475	445	NS14	はい。	/	/
476	446	NNN14	ぜひ食べてくださいよ。	yo3	/
477	447	NS14	ああ、そうなんです。	/	/
478	448	NS14	武蔵家って分かりますか?。	/	/
479	449	NNN14	ああ分かります分かります。	/	/
480	450	NS14	ははは。	/	/

481	451	NNN14	あそこ日本人が、<あの一、学生さん結構勤めたんで>{<}	/	/
482	452	NS14	<結構、やす、やすいし>{>}。	/	/
483	453	NNN14	はい、あそこの、あの一ほかのところもチェーン点ありますよね。	中間	d
484	454-2	NS14	ああ、そうですね、はい、いっぱいあると思います。	/	/
485	455	NS14	なんか醤油味、を、ベースにして、何味なんですかね。	ne3	/
486	457	NS14	すごく油っ、ぼくて、ははは、すごくお腹が減ってる時にしか食べないんですけど。	/	/
487	459	NNN14	うん、私は一蘭、一蘭を食べる前に(はい)、らいものラーメン結構好きなんですよ。	yo2	e2
488	460	NS14	な、何ラーメンですか?。	/	/
489	461	NNN14	あの、北海道のらいもん。	/	/
490	462	NS14	ああ、はいはい。	/	/
491	463	NNN14	好きだったんですよ=。	yo2	e2
492	464-1	NNN14	=あの一(はい)、細い、細面より私太面のほうが好きで、	/	/
493	465	NS14	はい、太麺なんですかね。	ne1	/
494		NNN14	そうですね、で、今味全然おも、思いだせないないんですけど、	/	/
495	466	NS14	ははは、思い出せない、ははは。	/	/
496	464-3	NNN14	たぶん、いっ、いっ、いっ、一緒においしい、一緒、同じぐらいおいしいじゃないかな。	/	/
497	467	NS14	あつ一蘭、は、ど、何ラーメンですか、醤油とか<###とか>{<}	/	/
498	468	NNN14	<いやなんか>{>}、普通の、豚骨系かな。	/	/
499	469	NS14	豚骨。	/	/
500	470	NNN14	はい。	/	/
501	471	NS14	うーん。	/	/
502	472-1	NNN14	で、なんかあの一、食べる前に、こうアンケートみたいなものを、	/	/
503	473	NS14	はい。	/	/
504	472-2	NNN14	はい、出されるんですけど(へえ)、なんかスープ濃い系か、薄い系か、	/	/
505	474	NS14	ああなるほど、注文の時に。	/	/
506	472-3	NNN14	そうですね、ネギを多めか(はい、)少なめかみたな。	/	/
507	475	NNN14	で、自分のあの一好みに沿って(はいはいはい)、こう…(はい)書いて、で、厨房に渡して、でなんか、自分の書いた通りに(うんうん)作ってくれるみたな、(はい)感じで食べたんですけど。	/	/
508	476	NS14	なんか、こ、濃いめとかにしました?。	/	/
509	477	NNN14	濃いめで。	/	/
510	478	NS14	ははは、濃いめで、ははは。	/	/
511	479	NNN14	全部、濃いめで。	/	/

512	480	NS14	こっ、こってりが好き…。	/	/
513	481	NNN14	そう、こってりが好きです。	/	/
514	482	NS14	ああ、そうなんですネ。	ne1	/
515	483	NNN14	はい。	/	/
516	484	NS14	ひさびさ、武蔵屋も、ははは。	/	/
517	485	NNN14	ふふふ、好きかもですね。	中間	b
518	486	NS14	好きかもしれないです。	/	/
519	487	NNN14	はい、今度行ってみよう。	/	/
520	488	NS14	けっこうこってりなので、あそこは。	/	/
521	489	NNN14	そうですね、うん、ふふふ。	中間	c
522	490	NS14	でも、胃に来るかもしれないです、胃が痛くなるかもしれない、ははは<>。	/	/
523	491	NNN14	<ああそうなんですか>{>}、そんなにこってりですか?。	/	/
524	492	NS14	結構油が、すごーいので。	/	/
525	493	NNN14	ああ、じゃ基本はこってり系と辛い系が好きなんですから。	/	/
526	494	NS14	ああ本当ですか、辛いのもあると思います。	/	/
527	495	NNN14	本当ですか。	/	/
528	496-1	NS14	でも、なんか、こう、結構…男の人が行くような、ははは,,	/	/
529	497	NNN14	へー。	/	/
530	496-2	NS14	ところなので。	/	/
531	498	NNN14	へえ、今度行ってみよう。	/	/
532	499	NS14	はい、ぜひぜひ。	/	/
533	500	NNN14	はい、おいしそう、うーん。	/	/
534	501	NS14	《少し間》ふふふ。	/	/
535	502	NNN14	《沈黙 1 秒》そっか。	/	/
536	503	NS14	ふふふ。	/	/
537	504	NNN14	[鼻をすする音]。	/	/
538	505	NS14	《沈黙 0.5 秒》なんだろう、じゃ。	/	/
539	506	NNN14	なんだろう。	/	/
540	507	NS14	ははは。	/	/
541	508	NNN14	ふふふ、私初対面はね、そうなんですネ、なかなか。	ne3	/
542	509	NS14	辛い物好き…だったら、中国でもけっこう辛いもの食べてたんですか?。	/	/
543	510	NNN14	うん、食べてました。	/	/
544	511	NS14	中華料理は結構辛い?。	/	/
545	512	NNN14	辛いですね。	ne3	/
546	513	NS14	ああそうなんですネ。	ne1	/

547	514	NNN14	はい。	/	/
548	515	NS14	=でも中国人の中に、別に(はい)、そんなにすごい辛いものが食べる(うん), ような人ではないんですけど。	/	/
549	516	NNN14	はい。	/	/
550	517	NNN14	でも、日本に来てから(はい)、なんか日本人の、なんか激辛みたいな(はい), は, 私にとっては普通なんですわね。	ne3	/
551	518	NS14	ああそうなんですか。	/	/
552	519	NNN14	みたいな[笑いながら]。	/	/
553	520	NS14	私の、そのチューターしてた人も(はい)、なんか、日本は全然辛くないって言ってて、ふふふ。	/	/
554	521	NNN14	そう、あのカレー屋さんの場合は(はいはいはい)、ここ一番のカレーって、あの一番辛さ選べるん(はいはい)じゃないですか?。	/	/
555	522	NS14	はいはいはい。	/	/
556	523	NNN14	1 から 10 辛まで。	/	/
557	524-1	NNN14	で、だいたいみんなは 3...まで(うんうん)、止めるんですけど、私...5 は...(はい) あのちょうどいいなって,,	/	/
558	525	NS14	<ああ、すごいですね>{<}, ははは。	ne2	/
559	524-2	NNN14	<6 は一回頼んだことあるんですけど>{<}、ああ辛っと思って、ははは,,	/	/
560	526	NS14	ははは。	/	/
561	524-3	NNN14	6 は。	/	/
562	527	NS14	まで、ははは。	/	/
563	528	NNN14	そうですね。	/	/
564	529	NS14	えーそうなんですか。	ne1	/
565	530	NNN14	ここい、ここ一番屋さんのカレーの辛さは今まで食べたものの中で、一番辛いと思いました。	/	/
566	531	NS14	ああ本当ですか。	/	/
567	532	NNN14	はい、6 の辛さで、はい。	/	/
568	533	NS14	でも 5 までなら。	/	/
569	534	NNN14	うん。	/	/
570	535	NS14	えー5...は(5 まで)食べるひっ、日本人あまりいないと思います、ふふふ。	/	/
571	536	NNN14	えっいやいやいや。	/	/
572	537	NS14	本当ですか、います?。	/	/
573	538	NNN14	でも、なんか、10 辛...頼んだお客様も、いるらしい{<}。	/	/
574	539	NS14	<本当ですか>{<}、すごいですね。	ne2	/
575	540	NS14	いや、普通のカレーでもちょっと辛いと思うんで、はは{<}。	/	/

576	541	NNN14	<あれ、カレー>{>}食べてるというより、えっ、あの一、ふふ、と、とうがらし<食べてる[笑いながら]>{<}。	/	/
577	542	NS14	<とうがらしたべる>{>}、ふふふ。	/	/
578	543	NNN14	ふふふ。	/	/
579	544	NS14	えーすごいですね。	ne2	/
580	545	NNN14	テレビもまえ、結構前やってましたね、なんかあの一(はい)、とうがらしをなんか好むじよし、じよし、じよし、女性がなんか増えるみたいな。	ne3	/
581	546	NS14	ああそうなんですか。	/	/
582	547	NNN14	うん。	/	/
583	548	NS14	ブームですかね、ふふふ。	/	/
584	549	NNN14	そうですね、なんか、ごはん、ごはんの上に、白いご飯の上に(はい)、こうずずず、ぱーと、とうがらし1本ぐらいの量を(え[↑]、ははは)かけて、もうこのまま食べるって、し、幸せって言ってた。	/	/
585	550	NS14	へえすごいですね。	ne2	/
586	551	NNN14	ってテレビはやってるけど、ふふふ。	/	/
587	552-1	NS14	えー私も辛いもの好きーなほうではあるんですけど,,	/	/
588	553	NNN14	はいはい。	/	/
589	552-2	NS14	そこまで、<ははは>{<}。	/	/
590	554	NNN14	<そこまで>{>}ではないですよ。	yone1	/
591	555	NS14	そこまで<ではないです>{<}。	/	/
592	556	NNN14	<分かりますわ>{>}。	/	/
593	557	NS14	えーすごいですね。	ne2	/

データ 15

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS15	じゃあ、自己紹介から。	/	/
2	3	NS15	そうですね、自己紹介から、ははは。	/	/
3	4	NNS15	なんかちょっと変な雰囲気になりますね、ははは。	ne4	/
4	5	NS15	緊張します、ははは。	/	/
5	6	NNS15	ははは、私も緊張してますよ。	yo3	/
6	7	NS15	ははは。	/	/
7	8	NNS15	はじめまして、私はえっと、NAZA[NNS16 の名前]、です。	/	/
8	9-1	NS15	ナザ…,,	/	/
9	10	NNS15	NAZA。	/	/
10	9-2	NS15	NAZA さん、え、なんてお呼びすれば。	/	/
11	11	NNS15	あ、NAZA で。	/	/
12	12-1	NS15	<NAZA さんで>{<},,	/	/
13	13	NNS15	<大丈夫です>{>}。	/	/
14	12-2	NS15	大丈夫ですか、ははは。	/	/
15	14	NNS15	私はインドネシアから来ました。	/	/
16	15	NS15	あー。	/	/
17	16	NS15	はい。	/	/
18	17	NNS15	はい。	/	/
19	18	NNS15	今は博士 2 年生。	/	/
20	19	NS15	あー、そうなんです→。	ne1	/
21	20	NNS15	千葉大学で勉強してます。	/	/
22	21	NS15	あっ(ふふふ)、いつから千葉大学にいるんですか?。	/	/
23	22	NNS15	去年からです。	ne3	e1
24	23	NS15	あっ、そうなんです。	/	/
25	24	NS15	うーん、それまでは、あの、インドネシアとかで?。	/	/
26	25-1	NNS15	それまでは、えーっと私の修士課程までは、えっと慶應大学で、	/	/
27	26	NS15	あー、そうなんです。	ne1	/
28	25-2	NNS15	だったんです↑。	ne3	/
29	27	NNS15	でー、私の指導先生が、定年退職で、(うーんうん)ま、次の先生はまあ千葉大学に してくださいと言われ(あー)てここにきました。	/	/
30	28	NS15	その先生の、なんかおすすめていうか、ははは。	/	/
31	29	NNS15	おすすめ、ははは。	/	/

32	30	NNS15	おすすめでちょっと千葉大学に来ちゃいました。	/	/
33	31	NS15	うーん、あそうなんだ。	/	/
34	32	NNS15	そうなんです。	/	/
35	33	NNS15	ふふふ、よろしくお願ひします。	/	/
36	34	NS15	よろしくお願ひします。	/	/
37	35	NS15	えっと、私も、あの大学院の今、修士の1年生(修士の一年生)で、MHと言ひます。	/	/
38	36	NNS15	MHさん。	/	/
39	37	NS15	はい。	/	/
40	38-1	NS15	え、ふふふ、出身はまあ普通に日本なんですけど、あの福島県ていう、	/	/
41	39	NNS15	あー、福島県。	/	/
42	38-2	NS15	はい、(はいはいはい)東北の方の出身で一す、ふふふ。	/	/
43	40	NNS15	あー、福島(はい)、で津波の時は家族は大丈夫だったんですか?。	/	/
44	41-1	NS15	私は、あの、海側じゃなくて(あ、海側ではない)、もうちょっと陸の(あ、陸の方ですか)方にいたんで、津波とかは全然、	/	/
45	42-1	NNS15	<全然>{<,},	/	/
46	41-2	NS15	<大丈夫でした>{>}。	/	/
47	42-2	NNS15	大丈夫でしたか。	/	/
48	43	NNS15	それは良かったですね。	ne2	/
49	44	NS15	はい、ふふふ。	/	/
50	45	NNS15	2011年でしたっけ?。	/	/
51	46	NS15	あ、そうですね、11年。	ne3	/
52	47	NNS15	私もびっくりしました。	/	/
53	48-1	NNS15	あのテレビで見て(うんうんうん)、ほんとにこれ、ほんとに日本で津波起こってるの今って、(あー)すごい、なんかこうすごいねこうそのまま津波の動画が流れてて(うんうんうん)なんかすごい波が(あ、そうですね)高くて、で、インドネシアも2004年に、	/	/
54	49-1	NS15	<あつ>{<,},	/	/
55	48-2	NNS15	<大きな、大きな津波が i>{>},,	/	/
56	49-2	NS15	うんうんうん。	/	/
57	48-3	NNS15	あったので、なんかこうすごいその苦しみの思い出をあの時思い出しました、あーインドネシアと一緒にだっけ。	/	/
58	50	NNS15	ははは、いう感じで。	/	/
59	51-1	NS15	結構、その時は被害はあった、	/	/
60	52	NNS15	すごい、多かったんですよ(あー)、被害が。	yo2	/
61	53	NNS15	特にね、インドネシアはその、津波の対策がまだそんなに(うん)整えてないので(う	/	/

			ん)。		
62	54	NNS15	で人のその津波に対する意識も(うん)、ね、そんなに日本人みたいにね、こうまあ例えば地震があったらこうすればいいんだよみたいな感じで。	/	/
63	51-2	NS15	うん、あーありますよね。	yone2	/
64	55	NNS15	インドネシア人全くそうゆう感覚ないんですよ。	yo3	/
65	56	NS15	<あそうなん>{<}ですか。	/	/
66	57	NNS15	<そうそうそうそう>{<}。	/	/
67	58	NS15	んー、なんか地震があんまり起きないってことですか?。	/	/
68	59	NNS15	地震は起きてるんですけども、ただ頻繁には日本みたいにね、起きてないね。	ne3	/
69	60	NS15	あー、そうなんです。	ne1	/
70	61	NNS15	うん、たまには、でも、なんだろその地震に対するとか津波に対する教育が、まだそんなに(うん)ねきちんとしてないから=。	/	/
71	62	NNS15	=だからあの時も2004年に起きた津波の被害がすごい多かったですよ。	yo3	/
72	63	NS15	あー、そうだったんですね。	ne1	/
73	64	NNS15	そうそうそうそう。	/	/
74	65	NS15	私も、結構、2004年だから、いくつか?。	/	/
75	66	NNS15	はははは。	/	/
76	67	NS15	はははは。	/	/
77	68	NS15	てか全然、あそんな大変なことが起きてるんだみたいな漠然な感じで見てたんで、そんなやっぱり、そうですね、急に来るからもう対処しようがないっていうかほほほほほ。	/	/
78	69	NNS15	そうそうそうそう。	/	/
79	70	NS15	あの時もまあそうでしたけど。	/	/
80	71	NNS15	あの時はどこだったんですかね。	ne3	/
81	72	NNS15	津波起きた時は。	/	/
82	73-1	NS15	あ、普通に、高校生だったんですけど、テスト中で、ははは、(あー)全然わかんねえなって思いながら(はいはいはい)テストやってたら、ま、き、揺れ出して、でも大体なんかさっきもゆったように、日本はやっぱり地震が多いので、(ねえ、そうそうねえ)またかぐらいの感じだったんですけど、,	/	/
83	74	NNS15	そっかそっかそっかそっかははは。	/	/
84	73-2	NS15	でも、なんかだんだんおつきなくなってきちゃって、え、どうしようどうしようみたいな、ははははは、感じになったんですけど、その時は、学校にいたんで(はい)、結構皆一緒にいたんでそんなに、なんか恐怖もあんまりなく、な、なくなっていくかちよっと怖くなって思いつつそこまでなんかパニックとかにはならずっていう感じだったんで。	/	/

85	75	NNS15	あー、じゃあでもほんとにどれくらい揺れたんですか、こう建物が、学校が。	/	/
86	76	NS15	あ、でも結構揺れて普通に、揺れてて窓ガラスがパリーンとかいきなりわれちゃって、たぶん(あー)ゆれが大きすぎて、(なるほど)耐えられなくて、ガラスが割れたりとか。	/	/
87	77	NS15	とりあえずなんかもう皆どうしようみたいな感じだったんですけど、その学級委員長みたいな人が、机に潜ってみたいな急に、ふふふ、言ってくれて、皆で一斉にこう机の下でこう潜ってるみたいな。	/	/
88	78	NNS15	はあー。	/	/
89	79	NS15	感じでしたね。	ne3	/
90	80	NNS15	なるほど、机の下にもぐるんだ。	/	/
91	81	NNS15	なんかインドネシア人は、おー、私、特に私もそうだったんですけど、もう地震があったらとにかく逃げる、ふふ、(あー)外へ逃げるみたいな感じで。	/	/
92	82	NS15	うんうんうんうん。	/	/
93	83	NNS15	こうあの時も、結構大きな地震があって、私の出身地で、(うんうん)どうしようどうしようとお、もう真夜中にね(あー)どうしようどうしようって(あー真夜中)もうとにかくとにかくもうなにも持てずに、何も持てずにこう私のお兄さんの子供だけ持ってもうとにかく逃げる皆もう逃げ出した。	/	/
94	84	NS15	うん。	/	/
95	85	NNS15	逃げる逃げる、ふふふ、感じで、その時ももうほんとに(うん)どうしようもなかったんですね。	ne3	/
96	86	NS15	いや、そうですね。	yone1	/
97	87	NNS15	だから、そう、それがやっぱりそのね、その第一の対策が必要なんです、やっぱり。	中間	d
98	88	NS15	うんうんうんうん。	/	/
99	89	NS15	そっか、いやなんかもう、て、まあ日本も一応堤防っていうのがあったと思うんですけど、堤防とかもないっていう感じですかね?。	ne3	/
100	90	NNS15	堤防、どうだろうね、堤防あん、私、結構ね、そのその地震の源が結構遠かったん、まあ海の方なんですけど。	/	/
101	91	NS15	あー海の方。	/	/
102	92	NNS15	堤防が無かったんですね、たぶん(んー)。	ne3	/
103	93	NNS15	だから、さっきゆったように、まだね、そんなに津波とか、そのね、その地震対策に対する設備が(うん)まだそんなに整えてないね。	ne3	/
104	94	NS15	うーん。	/	/
105	95	NNS15	だから、こう建物自体もやっぱりこうすごいコンクリートばかりで固定してる、家なんですよ(うんうん)。	yo2	/

106	96	NNS15	私の家もそうだし、(うん)=。	/	/
107	97	NNS15	=だから地震が起こると、あ、なんかすごい怖いですよね、こう…。	yone2	/
108	98	NS15	うん。	/	/
109	99	NNS15	なんだろう、日本だと(うん)私のアパートもそうだし、こう日本はその地震が起こつてるときになんかこう建物の壁が揺れる、もうこう、(あー)なんだろう、こう柔軟性があるんじゃないですか[↑]。	/	/
110	100	NS15	そうですね、一応。	ne5	/
111	101	NNS15	そうそうそうそう。	/	/
112	102	NS15	そう作ってるらしいですよ、うんうん。	yone2	/
113	103	NNS15	そうそうそうそう。	/	/
114	104	NNS15	でインドネシアの家はもバンみたいな(あーそういう感じ)そうそういう感じ、だから怖いですよ、ほんとに。	yo3	/
115	105	NS15	んーうんうん。	/	/
116	106	NNS15	なんかその地震に対する柔軟性持っていないと思うので、だから、よくあるんですよ、こう地震終わったらボンッてもう人がその家の中に(あー)飲み込まれたりとか、するんですよ。	yo3	/
117	107	NS15	さー、そうなんだあ。	/	/
118	108	NNS15	そうそう。	/	/
119	109	NS15	いやー、ははは。	/	/
120	110	NNS15	そう。	/	/
121	111	NS15	そのおっきいやつ、2004年以降のやつは、もうおっきいのとかは特にきてない感じですか?。	/	/
122	112	NNS15	来ましたよ、2009年に。	yo2	/
123	113	NS15	あ、2009年に。	/	/
124	114	NNS15	うん、2009年に、私西ジャバ出身地、まあ西ジャバもね、私は陸の方なんですけども、(うん)海もあって(うん)、そのときに津波もありました。	/	/
125	115	NNS15	でも(うん)、あっち、あっちも、2004年のあっちの津波よりは小さかったんですけど(んー)。	/	/
126	116	NNS15	被害も少なかったね。	ne3	/
127	117	NS15	あー、そうなんですええ。	ne1	/
128	118	NNS15	そうそうそう。	/	/
129	119	NS15	んー。	/	/
130	120	NNS15	だからもうほんとに2010年に来たから、その南インドネシアのその大きな津波私も思い出しました。	/	/
131	121	NS15	あー。	ne3	/

132	122	NNS15	やー、皆きつと苦しいだろうってね。	/	/
133	124	NS15	うん、そうですね、もうあんときはもうそのニュースばかりしかやってなかったので、ずっと、ずーっと、津波の映像、(ははは)ははは、みたいな。	/	/
134	125	NNS15	ですよ、はは。	yone1	/
135	126	NS15	もうどんどんつらくなってくるみたいな、ははは。	/	/
136	127	NS15	私は、全然そう考えると、ほんと海側じゃなかったの、そんなに影響もなくて感じだったかな。	/	/
137	128	NS15	ただ学校が、あの、原発のせいで、学校が休みになりました、一か月くらい。	/	/
138	129	NNS15	あつ、原発だよ、そうだよ、原発に【【。	yone3	/
139	130	NS15	】】 そうですね、休みになって、まああの時はなんか、なんか雨が降ったら絶対外に出ちゃいけないって言われていて、なんかもう一週間くらいずっと、家の中にいました。	ne5	/
140	131	NNS15	家の中、へえ。	/	/
141	132	NS15	なんか親は、もう、学校が休みでも親は仕事とかに行かないといけなくて行ってたんですけど、もう子供だけは絶対外に出したらだめだ、みたいな時があって、ひっ、一週間くらい(一週間くらい)ずっと家の中で過ごしてるときとかありましたけど。	/	/
142	134	NNS15	そうだよ、原発に時間、事件は今、福島の人々はどう思うんですか、そのやっぱり(うん)原発は。	/	/
143	135	NS15	そう(はは)ですね、まあ、まあいろいろ、いろいろあるんで一概に言えないんですけど、その原発があることによって、そこがしゅ、やっぱり良い(いいしゅ、うん)就職先みたいな風になってた人もいるので、一概には言えないんですけど。	/	/
144	136	NS15	まあでもなんだろう、たぶん、私、的に、私的にてかたぶん福島の人的には、たぶんその原発があったところには、しばらくというか、30年以上は帰れないだろうなっていう感じですかね。	ne3	/
145	137	NNS15	ああ、なるほど(はい)。	/	/
146	138-2	NNS15	やっぱりその、原発の近くに住んでいる人ではやっぱり(そうですね)、苦しいんだよ、ねえ、きっと。	yone1	/
147	140	NS15	うーん、大体、違う福島県内のところに、まあ引っ越した人もいれば、普通に関東とかに来た人も、(あー)たぶんいるんじゃないかなあと思いますけど。	/	/
148	141	NS15	そのやっぱり子供の方が影響出やすいので、(なるほど)原発とかだと、特に。	/	/
149	142	NS15	なので、引っ越した人とか、で最近なんか、その原発の、なんだろう、こう封鎖してたところが(うんうん)解除になったりするんですけど、そこに戻っても店もやってないし、お医者さんもないし。	/	/
150	143	NNS15	いない?。	/	/
151	144	NS15	いないんですよ、やっぱりなかなか。	yone2	/

152	145	NNS15	へえ。	/	/
153	146	NS15	なんで、帰っても、急に病気になった時に(はんはんはんはん)見てくれる人が近くにいないし、みたいな。	/	/
154	148	NNS15	それはそうだよね、心配だよね。	yone1	/
155	150	NS15	そうなんですよね、なんで、帰りたくても帰れないみたいな、はは、感じらしいんですよ、なんか。	yone2	/
156	151	NNS15	はあー、なるほどなるほど(うんうん)。	/	/
157	152	NNS15	なんかこの前テレビで見たんですけど、なんかその町の復活みたいな(うんうん)、復活の活動みたいな、若者がこう田舎帰りみたいな(うんうん)里帰りなって、こうそこでカフェ開いたりとか(あー)設けたりとかするんですけども、(うんうん)それも福島、のほうにも結構そういうなん、復活の運動ってはやってる、まあはやってるっていうか結構(あー)あちこちで行われているんですか?。	/	/
158	153	NS15	でも、やってるとは思うんですけどね、なんかあんま詳しいことを知ってなくて、たぶんやってるとは思うんですけど、ど、どんな感じでやってるのか、何だろう【。	ne3	/
159	154	NNS15	】でもほんとに、若者って少ないですか?。	/	/
160	155	NS15	あー、うん、少ない、でもやっぱりボランティアとかで、なんだろう、まあ、県外からくる人もいれば、まあ県内の人で(うんうん)、福島をどうにかこう復興させたいから、(うんうん)頑張ってるみたいな(うん)ニュースは、たまに(たまになんですか)見るんですけど。	/	/
161	156	NS15	そうですね、なんで《少し間》、あとはどうだろ、今、仮設とかって今進んでるのかな、(あっ)仮設はさすがにもうないかなあ。	/	/
162	157	NNS15	仮設もう、もうないですか、皆こう今は、自分の家に。	/	/
163	158	NS15	たぶんなんか、アパートみたいなのを建ててるんじゃ、なんか仮、仮住宅(仮住宅)みたいな、その、なんだろう、それまでのもうちょっとプレハブとかじゃなくて、もうちょっと頑丈な(うん)やつに、を、建ててるんじゃないかなあと、さすがに結構もう経ってるんで、じゃないかなあとは思いますが。	/	/
164	159	NS15	そうですね、こないだ、こないだ福島のニュースやってたけどなあ、ちょっとあんまり、ははは。	/	/
165	160	NNS15	ちょっと、ははは。	/	/
166	161	NS15	見てなかったから、詳しく、あれですけど。	/	/
167	162	NNS15	いや、なんかねえ、そうやっぱりそのこう、ねその津波とその、今まだ原発も続いているので(うん)、福島の人々は、もうね、どのように生活してるんだろうね、って(うん)、おも、思うんですよ。	yo2	/
168	163	NNS15	あの、例えばね、やっぱり原発が、もうほんとに危ないから(うん)こう食べ物とか、(あーそうですね)水とかどうするんだろうって、なんか、私の友達は、私はあんまり気にしてないですけども(うん)。	/	/

169	164	NNS15	昔、そのスーパーに行ったら、福島県産(うんうんうんうんうん)とか福島の近くの県産とかあったこれはだめみたいな感じで(あー)これ危ないとかね(うんうんうんうん)、これ####したほうがいいよって(うん)。	/	/
170	165	NNS15	ね、だからあー、ね、人々がこんなに頑張って復活しようと思ってるのに(うん)、でもほんとにね、やっぱりね、買う人もやっぱりま、げ、思い出すんだよね、その原発(うん)の事件。	yone2	/
171	166	NNS15	ねえ、もらっ、あのーちょっと危ない、その福島県産の野菜(うん)とかはね、なにかね、こう物理的なもの入ってたら困るからとかみみたいな感じで(うん)すごいなんかこう、うんどうだろうね。	ne3	/
172	168	NS15	そうですね、まあたぶん最近はその一番ピークだった時よりかは、あんまりそういうのがないとは思うんですけど。		/
173	169	NS15	やっぱり、その原発の事故があった直後とかはもうほんとに、やっぱりなんだろう、福島のもは(ねえ)、たぶん福島県の人でもなかなか(なかなか)ちょっと手が出しにくかったんじゃないかと。	/	/
174	170-1	NNS15	じゃああの時は、どうしたんですか、津波後はこう食べ物、(うんうん)福島県産のちょっと野菜とか肉だめだったら、他の県の、	/	/
175	171	NS15	そうですね、ス、あの海側はほんとにやっぱり津波の影響とあって、なかなかその食料の調達とかも大変だったと思うんですけど、(うん)もうちょっと内陸側に入ってくると、なんか水も、なんだろう、お風呂に入れなかったのも一日くらい、だったんですよ(あーそうだったのか)。	yo3	/
176	172	NS15	=結構そんな感じではやい(あー)感じで、復興、復興でなかなか復旧してくれたので、ライフラインが。	/	/
177	173	NS15	なんでそんなに、ね、内陸側は、そこまでなんだろう、スーパーにも、ふ、そうですね、並んでたと思うな、普通に。	/	/
178	170-2	NNS15	そう。	/	/
179	174	NS15	最初の数日はやっぱ混乱してた、と思うんですけど。	/	/
180	175	NNS15	混乱してたよね、きっと。	yone1	/
181	176	NS15	なんか普通に一週間、くらいたって、たったらもう大体並んで、たぶん量は少なかったとは思うんですけど。	/	/
182	177	NNS15	うんうんうんうん。	/	/
183	178-1	NS15	困るほど…,,	/	/
184	179	NNS15	困るほどではなかった。	/	/
185	178-2	NS15	ではなかった、ので。	/	/
186	180-1	NS15	でもそうですね、その家で、野菜とかも一応つくっ、あのじいちゃんとかばあちゃんとかが作ってるんですけど、しばらくはちょっと、大人は別に良いけど、子供はちょっと,,	/	/

187	181	NNS15	子供はね。	ne5	/
188	180-2	NS15	よくわからないから待ってて、みたいな感じで、は、(あー)言われましたかね、一応。	ne3	/
189	182	NNS15	やっぱりあったんですねえ。	ne1	/
190	183	NS15	うん。	/	/
191	184	NNS15	それは。	/	/
192	185	NS15	でも、そうかな、今はそんなに、一応やっぱり出してるのは全部検査通してるやつなんで大丈夫だと思うんですけど。	/	/
193	186	NS15	=ただ、その山とかに(うん)、あの、個人で山菜とりに入ったりとか(そうそう)するじゃないですか(うん)。	/	/
194	187	NS15	それはなんか危ないらしい(危ないらしい)危ないらしいという(そっか)情報だけ(そっか)うわさなのかほんとなのかわからないんですけど、その検査通してないやつなんで山菜とかは。	/	/
195	188	NNS15	それはそうだよ、普通にはいってるから。	yone1	/
196	190	NS15	うんうん、なんか山の方が結構その雨とかの影響でしみ込んでいるところが(あー)あるらしいですよ。	yone2	/
197	191	NS15	まあ放射能目に見えないんで(そっかそっか)しょうがないんですけど。	/	/
198	192	NNS15	その感じもありますね。	ne5	/
199	193	NS15	だから山菜とかは、割かし気を付けた方がいいみたいな、ことは言われまし、言われてる(言われてる)って感じですかね。	ne3	/
200	194	NNS15	へえー。	/	/
201	195	NS15	それ以外はもう全然普通に家のやつ食べてるんですけど。	/	/
202	196	NNS15	家のやつも食べてますね。	ne5	/
203	197	NS15	トマトでも、キュウリでも、普通に、食べてますかね。	ne3	/
204	198	NNS15	そっかそっか。	/	/
205	199	NS15	うんうんうん。	/	/
206	201	NNS15	それは、そうだね、え、その、その、津波(うん)に対する思いは、その、ね、その津波で流された友達とか家族ないですか?。	/	/
207	202	NS15	あっ、それはだいじょぶ、私のところは、幸いそういうのは(うん)なかったんですけど、いとこが海側に住んでたんですよ。	yone2	/
208	203	NS15	=なんで、その結構家の近くまで来たらしいんですけど、波が、家が流されることはなく、ただそのいとこの友達とか、ではやっぱりその津波のせいでなくなっちゃった子とかもいたらしいんですけど。	/	/
209	204	NNS15	へえ。	/	/
210	205-1	NS15	私の、そのまわりとか、友達とかその親戚とか(うん)では、特にそういうことは無	/	/

			かった,,		
211	206	NNS15	そういうことは無かった。	/	/
212	205-2	NS15	ですかね、幸いなことに。	ne3	/
213	207	NNS15	幸いに、良かったんですね。	ne2	/
214	208	NS15	うーん。	/	/
215	209	NNS15	なんか、そうですねー、あの一、《少し間》ま私もね、あの一、2004年の津波、私の家からすごい遠いなんですね↑(うん)。	ne3	/
216	210	NNS15	別の島なんですけども、(うんうん)。	/	/
217	211	NNS15	でも、なんだろう、こう、あの一、あの時私も丁度大学1年生の時だったかな(うん)。	/	/
218	212	NNS15	あの、まあ津波は遠かったんだけど、(うん)でもやっぱり被害が、(うんうん)あまりにも多かったのね(うんうん)。	ne3	/
219	213	NNS15	ね、やっぱりこう、なんでこんなに、ね、対策できなかったんだろうってすごい(うんうん)あの時は思ったんですね。	ne3	/
220	214	NS15	うん。	/	/
221	215	NNS15	やっぱりこう、ね、あの一、まあでも日本にき、まあ日本、まあ日本のその2011年のまあ(うん)被害に比べると、(あーうん)なんかその差が多いのでね、ふふ。	ne3	/
222	216-1	NS15	<そうですか>{<},,	/	/
223	217-1	NNS15	<やっぱりその>{>},,	/	/
224	216-2	NS15	<けどどっちもやっぱり>{<},,	/	/
225	217-2	NNS15	<だんだんだんだん>{>},,	/	/
226	216-3	NS15	<ひどかった>{<}【【。	/	/
227	217-3	NNS15	】】<なんでだろうなんでだろうって>{>},,	/	/
228	218	NS15	うん。	/	/
229	217-4	NNS15	なんかすごく、ね、あの時は思ったんですね、やっぱり。	yone2	/
230	219	NS15	うん。	/	/
231	220	NNS15	まあやっぱり、ね、あの、その、人々の、まず人々の意識が、あんまりにも弱くて、その、津波と(うんうんうんうん)、あの…。	/	/
232	221	NS15	危機意識みたいな、(そうそう)感じの。	/	/
233	222	NNS15	そうそう、危機意識があんまりにもなかった(うんうん)ので。	/	/
234	223	NNS15	だから、たぶんそれが原因で(うん)、ね、その、被害が多かったんだろうかなって(うん)思ったよね、やっぱり。	yone2	/
235	224	NS15	なんか日本だと、そのやっぱり地震が多いんで、小学校の時から、なんか防犯、たい、防犯っていうか、防犯っていうのかな、違うな、防災訓練みたいなやつを、ずっと結構やらされて育ってくるんですね=。	yone2	/

236	225	NS15	=なんか地震がきたら(地震だと)、机の下に隠れてとか、そういうのも結構普通に、たぶん海側の方だと、そのやっぱ津波のこととかあるんで、高台に逃げるとかもやってたのかなとは思んですけど、なんかそういう訓練とかもない感じですか?。	/	/
237	226	NNS15	それが訓練が無いんだよね、ほんとに。	yone2	/
238	227	NS15	あ、そうなんですわ。	ne1	/
239	228	NNS15	なんか(うん)、もう地震が起きたらどうすればいいのか、どこへいけばいいのかさえも、(うんうん)たぶんインドネシア人分からないですよ。	yo2	/
240	229	NS15	あー。	/	/
241	230	NNS15	そう、それさえも分からないたぶん。	/	/
242	231	NS15	うんうんうんうん。	/	/
243	232	NNS15	もうもちろんね、その時はもうパニックで、たぶんね(うんうんうんうん)ね、どこにいけば、わからない状態だけど。	/	/
244	233	NNS15	でも、学校とかも、まあ普通にこう村の中でも、そういう訓練が無いんですよ、きつと=。	yo2	/
245	234	NNS15	=だから 2004 年をもって、その、ね、(うん)大きな津波をもって、最近津波とか(うん)その、ね、地震の理解するその、意識を(うん)、あるように、こうまあその学校とかね(うんうん)、でこうまと、りゃ、学生たちに話せるその意識ね、まあそういう訓練はあると思うんだけど(うん)。	/	/
246	235	NNS15	未だ、たぶんあっちの人々にとっては、その今は津波に対する意識がすごい強いと思うんですけども、(うん)他の地域はどうだろうね。	ne3	/
247	236	NS15	あー。	/	/
248	237	NNS15	たぶんそんなに、こう全体的にインドネシア人は全体的にまだその訓練がないので、こう(うんうん)ね、政府からのなんだろうその、市民に対する訓練をまだそんなに整えてないので(うんうん)。	/	/
249	238	NNS15	これからはそうよね、必要なだよえきつと(うん)。	yone2	/
250	239	NNS15	ね、2011 年その津波みたらいつか起こるか分からないからね↑。	ne4	/
251	240	NS15	そうですね、<地震は>{<}【【。	yone3	/
252	241	NNS15	】<まあ、予測とか>{>}、ね(うん)、いろいろあるけれど。	/	/
253	242	NS15	そうですね。	yone3	/
254	243	NNS15	ね、ふふふ。	/	/
255	244	NS15	予測はあっても【【。	/	/
256	245	NNS15	】> そうそう(ですよえー)、またじ、大きな津波とか地震また起こるぞ、みたいなね(うん)予測はあると思う、でもいつかはっきり分からないから。	/	/
257	247	NS15	そうですね、3 日後とか言われたらちゃんと準備するけど。	/	/

258	248	NNS15	はははは。	/	/
259	249-1	NS15	はは、だから 30 年以内に来るって言われても、(はは)いつくんのかなっていう,,	/	/
260	250	NNS15	いつくるのかわからないですよ。	yone1	/
261	249-2	NS15	感じでもんね、うんうん。	ne4	/
262	251	NNS15	そっかそっか、そうだからやっぱり日本語に学ぶべきだよ、やっぱりその…(うん)。	yone2	/
263	252	NNS15	ね、その対策とかそういう(うん)、でもやっぱり難しいんだよ。	yone2	/
264	253	NNS15	まだまだ時間がかかると思うので。	/	/
265	254-1	NNS15	まあ私も日本に生活してるから(うんうん)、ね、こうある程度、チラシとかテレビとか(うん)、地震が起きたら、もうとにかくもう机があれば机の下に潜ってみたい、ははは(ははは、そうですよね)、感じで、そうそうそう落ち着いてあの一、なんだろう、その地震用のそのバッグとかあるじゃないですか、こう,,	/	/
266	256	NS15	あー、ありますよね。	yone3	/
267	254-3	NNS15	ね、そのこう…【【。	/	/
268	257	NS15	】】なんかいろいろこう入ってるやつ。	/	/
269	258	NNS15	そうそう、はははは。	/	/
270	259	NS15	はははは。	/	/
271	260	NNS15	そうそう、ね、大切なものそこに入れて、はは、な感じで、ねえ、それさえ向こうにはもうないから(うん)。	/	/
272	261	NNS15	インドネシアも、だからこれからはちゃんとね、まあ少しずつ、訓練、ね、対策、必要だと思うよね、(うん)、ふふふ。	yone2	/
273	263	NS15	そうですよね、いつ来るか分かんないから。	/	/
274	264	NNS15	<すぐ分かんないからね>(うん)。	/	/
275	266	NS15	<ですよ>(うん)、ほんとに、地震に関しては、《少し間》いや、そうですよねー。	yone1	/
276	268-1	NNS15	じゃあちっさいころからはずっと福島,,	/	/
277	269	NS15	あーそうです、<そうです>(うん)。	/	/
278	268-2	NNS15	<ですか>(うん)?。	/	/
279	270	NNS15	で、初めて大学に入って、福島県を出たん、出て(あつ)、千葉。	/	/
280	271	NS15	そうですね、福島を出たのは、そうですね、大学になって、《少し間》ですね、ふふ。	ne3	/
281	272	NNS15	大学出てから(ふふふ)、ははははは。	/	/
282	273	NS15	なんで【【。	/	/
283	274	NNS15	】】どうですか、あの一、千葉大学の生活と福島県の生活は。	/	/

データ 16

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS16	初めまして。	/	/
2	2	NNS16	初めまして。	/	/
3	3	NS16	あっ、「NS22 の名前」と言います。	/	/
4	4	NNS16	あ、はい、「NNS22 の名前」と言います。	/	/
5	5	NS16	「NNS22 の名前」さん。	/	/
6	6	NNS16	はい、モンゴル出身です。	/	/
7	7	NS16	あーなんかそう聞いたんですけど、さっき、彼女[調査者]から。	/	/
8	8	NNS16	はい、ふふ。	/	/
9	9	NS16	モンゴル…ということはあの一、K 先生とか、の関係なん、ですか？。	/	/
10	10	NNS16	あっ、全然違いますね、はい。	ne3	e1
11	11	NS16	あっそうなんですか、<はははははは>{<}。	/	/
12	12	NNS16	<人社研なんですけど>{<}、経済[↑]、はい、なので。	/	/
13	13	NS16	はいそうですね[笑いながら]。	ne5	/
14	14	NS16	本当に全然違いますね、ははは。	ne5	/
15	15	NNS16	はい、先生たちはみんな全然違いますね、はい{<}。	ne3	e1
16	16	NS16	<あー>{<}、あっ経済の関係(はい)なんですか↓。	/	/
17	17	NS16	あの一学部から T 大、 なんですか{<}?。	/	/
18	18-1	NNS16	<あっ、学部>{<}は H 大学を(へー)卒業して、	/	/
19	19	NS16	えっ[↑]。	/	/
20	18-2	NNS16	で、去年の 7 月から(はー)T 大学に(はー)入りました。	/	/
21	20	NS16	えっ、でも、あっそうか、一応は地震、が、来たあとに、H 大学にいらっしやっただこと[↓]、 <ですね>{<}。	ne1	/
22	21	NNS16	<そうですね>{<}。	/	/
23	22	NS16	<ちょっと、なんか、そう>{<}【 【。	/	/
24	23-1	NNS16	】】<ちょっと地震が起きて>{<}、	/	/
25	24	NS16	うんうん。	/	/
26	23-2	NNS16	で、その一 3 月に地震起きたんじゃないですか(うんうんうん)、で、4 月から入学 されました。	/	/
27	25-1	NS16	へー、	/	/
28	26	NNS16	<直後ですね、ふふふ>{<}。	ne3	/
29	25-2	NS16	<一番大変な時ですね>{<}。	ne4	/
30	28	NNS16	そうですね[笑いを含んで]、ちょっと最初怖かったけど(そうですね)、まあ、実際	/	/

			に行ってみて、うーん…。		
31	29	NS16	はは、<どうでした>{<}?。	/	/
32	30	NNS16	<悩んできました>{>}、はは。	/	/
33	31	NS16	はは、ちょっと、私はなんかちょっと関係ない(はい)けど、学部からT大学なんですけど(あ、そうなんですか)、ちょっとH大は、はは、そのなんというか当時の(ああ)、ちょっと気になるんですけど。	/	/
34	32-1	NNS16	ああ、そうですね、当時は(うん)あの一週りの留学生たちがけっこう(そう)、放射線を気にしてて(そうですね)、毎日マスク<かけたりしていたんですけど。	/	/
35	35	NS16	ですよ、日本人だって気にしてる。	/	/
36	36-1	NNS16	で、私はあの一マスクつけると(うんうんうん)、苦しいので(はは)、あんまりつけられなくて、	/	/
37	37	NS16	はは、うんうんうん。	/	/
38	36-2	NNS16	あと…現地の水飲まなくて(そうですね)、ペットボトルの水飲んだり、	/	/
39	39	NS16	うんうんうん、最初はまあ>{<}。	/	/
40	36-4	NNS16	<していたけど>{>}、まあ、周りの日本人はみんな普通にしていたから、	/	/
41	40	NS16	ははは。	/	/
42	36-5	NNS16	ま、最初の1カ、2カ月で(うーん)、もうそういう、<あんまり気にしなくなって>{<}。	/	/
43	41	NS16	<どうでもよくなった>{>}という、ははは。	/	/
44	42	NNS16	はい、<ははは>{<}。	/	/
45	43	NS16	<ははは>{>}。	/	/
46	44	NNS16	だんだん慣れて(はいはい)きましたね、うん。	ne3	/
47	45	NS16	すごいあの一原発のその近くはちょっと、<よくないですね>{<}。	ne4	/
48	47	NNS16	そうですね、でもけっこう離れていたの、H大学は。	/	/
49	48	NS16	ずっと警戒し続けるというはねー。	ne4	/
50	49	NNS16	そうですね、ははは。	ne5	/
51	50	NS16	限度がありますよ[やや笑いながら]。	yo3	/
52	51	NNS16	ふふふ。	/	/
53	52	NS16	いや、でも、もう、なんか食べ物とかもなんか買ったりとか(ああ)、そんな感じじゃなかったですか?。	/	/
54	53-1	NNS16	あ、一応最初のごろは(うん)福島産のものはやっぱり買ってなくて→{<},,	/	/
55	54	NS16	<それはそうですね>{>}、ははは。	yone1	/
56	53-2	NNS16	他のものはちょっと高かったんですけど。	/	/
57	55	NS16	うんうんうん。	/	/
58	56	NNS16	ま、でもだんだん、4年もいたから(ははは)、そのうち福島県、産<のものもいただきました、ははは>{<}。	/	/

59	57	NS16	<ははは、いいかみたいな>{ }。	/	/
60	58	NNS16	はい。	/	/
61	59	NS16	あー、今は相当神経質な人じゃないと(ああ)、やっぱそれは…関東ならの範囲ではないかと…思いますけどね。	ne3	/
62	60	NNS16	そうですね、はい[声が小さくなる]。	yone1	/
63	61	NS16	は一、えっ普通にでも暮らせるって感じでしたか、最初から。	/	/
64	62	NNS16	全然普通<でした、はい>{ }。	/	/
65	63	NS16	<あっそれはは>{ }>そうだったんですねー。	ne1	/
66	64	NNS16	はい、はい。	/	/
67	65	NS16	あーなんか、<結構意外な感じですけど>{ }。	/	/
68	66	NNS16	<まあ、さん>{ }、まあ、周りの人はみんな全然普通でした、ふふ。	/	/
69	67	NS16	う…ん、特になんか泊まる場所がないとか、お風呂がで、水が出ないとかそういうこともなく[→]、<普通に暮らせるっていう…>{ }。	/	/
70	69	NNS16	<ああ、そうですね>{ }、はい、福島市内だったので。	/	/
71	70	NS16	あっそうなのか。	/	/
72	71	NNS16	はい。	/	/
73	72	NS16	やっぱりちょっと津波がきたところだと(はい)、大変だったけど…<…>というのはあるでしょうね>{ }。	ne4	/
74	73	NNS16	<そうですね>{ }、はい。	ne5	/
75	74-1	NS16	私の友達も福島出身の人がいたんですけど、	/	/
76	75	NNS16	はい。	/	/
77	74-2	NS16	やっぱり、そう、そういう地域とはちょっと離れているから、	/	/
78	76	NNS16	ああ。	/	/
79	74-3	NS16	もう、4年ぐらいかな(ああ)、だから学部から一緒なので(ああ)、それから、今もう全然普通に暮らしているみたいには言っていましたね、当時から。	ne3	/
80	77	NNS16	そう、そうなんですね、はい、えー。	中間	c
81	78	NNS16	えっ学部から T 大学で、今修士…?。	/	/
82	80	NS16	ああ、そうですね、<そのまま上がってきた…>{ }。	/	/
83	81	NNS16	<何年生>{ }>ですか?。	/	/
84	82	NS16	修士の1年生ですね。	ne3	/
85	83	NNS16	あっ1年生。	/	/
86	84	NS16	はいはいはい。	/	/
87	85	NNS16	あっ、何を研究してるんですか[やや笑いを含んで]?。	/	/
88	86	NS16	そう、それはね、あの一国文学、日本の文学で(ああ)、あの一江戸文学、についてですね。	ne3	/

89	87	NNS16	へー(はい)、すごい難しそうです、ははは。	中間	a-不 使用
90	88	NS16	いやー、でもね、うん、でもけっこう確かに難しいかもしれない、ははは。	/	/
91	89	NNS16	うんうん。	/	/
92	90	NS16	うん、なんか独特なことが多くて、今と違う(ああ)ことも、多い、ですね。	ne3	/
93	91	NNS16	調査者さんと、(うん)あの同じ授業取ったりとかしてるんですか?。	/	/
94	92-1	NS16	あっそうなん、なんかね、やっぱ博士課程と修士課程だと(うん)取る授業とかも結構違って(ああ)、くるので、	/	/
95	93	NNS16	ああ。	/	/
96	92-2	NS16	あの日本語教育論を取ってるので、	/	/
97	94	NNS16	ああ。	/	/
98	92-3	NS16	その関係で、あのー、誘っていただいたんですけど。	/	/
99	95	NNS16	ああ。	/	/
100	96	NS16	はい。	/	/
101	97	NNS16	へー。	/	/
102	98	NS16	そう。	/	/
103	99	NNS16	ふふふ。	/	/
104	100-1	NS16	教師になりたいんですけど(ああ)、修士に来るともう一つ一段階上の教員免状が取れるので(ああ)、ま、せつかく進学するなら、あのーとりあえず、げ、限界までは[やや笑いながら]頑張ったほうがいいと思うので}<>,,	/	/
105	101	NNS16	<えーすごい>}<>ですね。	ne2	/
106	100-2	NS16	なので、あの言語系の[↑](ああ)、授業も取るっていう、<感じですね>}<>[声が小さくなる]。	ne3	/
107	102-1	NNS16	<ああ、じゃ卒業したら>}<>,,	/	/
108	103-1	NS16	そうですね、学校<の先生…>}<>,,	/	/
109	102-2	NNS16	<学校の>}<>先生ですね。	/	/
110	103-2	NS16	になりたいと思ってます。	/	/
111	104	NNS16	へー。	/	/
112	105	NS16	まあ、それになりたくて、もう一回、年取ってたけど(ああ)、学校来た、ので、<はい>}<>。	/	/
113	106	NNS16	<ああ>}<>、そうなんです(ああ)ね[声が小さい]。	ne1	/
114	107	NS16	そうですね[囁くような小さい声で]。	ne3	/
115	108	NNS16	今、あの普通の免許、教師の<免許は取って、るんです(ああ)ね>}<>。	中間	a
116	109	NS16	<あっそれは持ってます>}<>、はい<はいはいはい>}<>。	/	/
117	110	NNS16	<すごい>}<>ですね。	ne2	/

118	111	NS16	そうですね(ああ)、確かに経済学部…とかで取る、とく大変なことになるっ<く>。	/	/
119	112	NNS16	<そう><{}>、全然そういう資格、資格いっぱいあるんですけど(ああ)、ちょ、ちょっと取りにくい[やや笑いながら]。	/	/
120	113	NS16	ああ、そうですか(やー)、あの、教員免状は、ま、そこまで関係あるかという微妙なんですけど[やや笑いながら](うん)あれですけど、他のも【【。	/	/
121	114	NNS16	】】 そうですね、他の資格けっこうあるみたいですけど、私全然受けてないです、ふふふ。	/	/
122	115	NS16	うん、たいていそうですよ=。	yo2	/
123	116	NS16	=あの、日本人の学生でも、資格がほしいということになったら、学校の、の、があって、学校の、通ったあとにまたもう一つ予備校に行くとか(そうですね)、ダブルスクールで在学中の人はやって、ますよね。	yone2	/
124	117	NNS16	はあ。	/	/
125	118	NS16	<そう、本当大変ですよ><{}> [囁くような小さい声で]。	yone2	/
126	119	NNS16	<はい、留学生><{}> だからそういうのも、うん、あんまり、<できないですね><{}> [やや笑いながら]。	ne3	/
127	120	NS16	<うーっ、そう><{}> ですね。	ne5	/
128	121	NNS16	うん。	/	/
129	122	NS16	なんかやっぱり学校優先…したほうがいい(うん)、と思う、からね。	ne5	/
130	123	NNS16	はい。	/	/
131	124	NS16	あー大変だ。	/	/
132	125	NNS16	ははは、<えー><{}>。	/	/
133	126	NS16	<そういう><{}> 経済学部すごい大変そうなイメージが、学部のごろから(うん)もうテストテストテストテストって (そうですね)。	/	/
134	128-1	NS16	しかもなんか今、だと、学部でも取る順番とか(はい)、あと取っていい条件の数がすごい厳しくなっちゃったから、。	/	/
135	129	NNS16	ああ。	/	/
136	128-2	NS16	うーん、その分ちょっと自由ではなくなってしまって、。	/	/
137	130	NNS16	ああ。	/	/
138	128-3	NS16	教養とか大変そう、取る、それ取るだけでも、って感じ(ああ)ですね。	ne3	/
139	131	NNS16	はい、えっそうですね。	ne5	/
140	132	NS16	こちら、でも終止からここに?。	/	/
141	133	NNS16	修士、そうです、去年、去年の4月から、<入学しました><{}>。	/	/
142	134	NS16	<先生とかは><{}>、どんな、方ですか?。	/	/
143	135	NS16	知らない気もするけど[やや笑いを含んで]。	/	/
144	136	NNS16	T先生って、聞いたことありますか?[やや笑いを含んで]。	/	/

145	137	NS16	あ、そう、やっぱり学部を、終わった(ははは、はい)、どんな感じの?。	/	/
146	138-1	NNS16	うーん、先生は、あの一東京大学を修士まで出て、	/	/
147	139	NS16	おお。	/	/
148	138-2	NNS16	アメリカの大学で5年間ドクター…、	/	/
149	140	NS16	はは、5年間ドクター、はは。	/	/
150	138-3	NNS16	ああ、博士号取ったから、	/	/
151	141	NS16	ああ、すごいですね。	ne2	/
152	138-4	NNS16	あの、なんというんですか、え、授業も英語で、	/	/
153	142	NS16	えっ授業も英語なのか、へー。	/	/
154	138-5	NNS16	私と喋る時も英語で、メールとか全部、読む資料も英語なので、	/	/
155	143	NS16	ああっ、と。	/	/
156	138-6	NNS16	それはちょっと大変ですっ、ねー)<。>	ne3	/
157	144	NS16	<やっぱ大変ですか>)<、あの英語のほうが<楽ではない>)<。>	/	/
158	145	NNS16	<ま、ねっ>)<ネイティブじゃないから(はは、そうですか)、しかも日本に何年間も住んでるから(ああ、そうですね)、英語より日本語のほうが【【。	/	/
159	146	NS16	】】H大学にいたから(はいそうなんです)、ははは、H県産とかも()、もう<見分けるかから、ははは>)<。>	/	/
160	147	NNS16	<はい、そうなんです>)<、ははは、はい。	/	/
161	148	NS16	ははは、スペシャリストだから、ははは。	/	/
162	149	NNS16	はい、そうなんですけど。	/	/
163	150	NS16	また英語から。	/	/
164	151-1	NNS16	うん、今修論も英語で書かないといけ<ないの>)<。>、	/	/
165	152	NS16	<ああ>)<、えっ、ちょっと大変ですね。	ne2	/
166	151-2	NNS16	けっこう、大変です、ふふふ。	/	/
167	153	NS16	えっ、英語についてなんか、特別になんかや<ってること>とかありますか?。	/	/
168	154	NNS16	英語のっ、うん[↓]【【。	/	/
169	155	NS16	】】まず授業についていくことでアップするみたい<な感じ>ですか)<。>?。	/	/
170	156-1	NNS16	<そうですね>)<、あと経済の修士課程って、ほとんどの(ああ)授業の資料とか英語なので、	/	/
171	157	NS16	ああ、そうなんだ。	/	/
172	156-2	NNS16	はい。	/	/
173	158	NS16	そうでしょうね、まあ。	ne5	/
174	159-1	NNS16	ま、読んだり書いたりするのが、	/	/
175	160-1	NS16	<ま、そのまま>)<。>、	/	/
176	159-2	NNS16	<普通みたい<ですね>)<、はい。	ne3	/

177	160-2	NS16	なんというかね、そのまま訓練みたいな感じですかね。	ne3	/
178	161	NNS16	そうですね、でも私けっこう大変なので、今から頑張らないと(ああそうね)、すごく大変です[やや笑いながら]。	/	/
179	162	NS16	そう、英語とか読むときには、じゃモンゴル、辞典とか、ですか・、〈それとも日本語の〉{〈}。	/	/
180	163	NNS16	〈最近日本語に〉{〉}翻訳するのが(ああ)、もっと分かりやすくなってきたんですけど=。	/	/
181	164-1	NNS16	=なぜかというとその(はい)、モンゴル語の単語で、	/	/
182	165	NS16	あーあー。	/	/
183	164-2	NNS16	翻訳されるのが限られている、みたいで、	/	/
184	166	NS16	あーそっか、へー。	/	/
185	164-3	NNS16	なんていうんですかね、ま、まざって[↑](うんうん)、モンゴル語でも調べたり(うんうんうん)、日本語でも調べたり、で、ようやく、やっと理解してます、ははは。	/	/
186	167	NS16	ああ、大変だ、そうか。	/	/
187	168	NNS16	うん、そうですね、〈大変ですね〉{〈} [囁くような小さい声で]。	ne5	/
188	169	NS16	〈ですね、私はは〉{〉}いちおう、専攻が、日本の文学だから(うん)、そんなに英語の論文とかも読むことがないので(ああ)、そこはちょっと大変だなあと、〈思いますね〉{〈}。	ne3	/
189	170	NNS16	〈そうですね〉{〉}。	ne5	/
190	171	NS16	ただ、ま、あーって、資料、も、(うん)対象にするそのものが江戸時代のものだから(ああ)、下手すると活字になって、いない、ので。	/	/
191	172	NNS16	ああ。	/	/
192	173	NS16	そう、だからあの一《少し間》、なんだろう今って普通に50音って(うん)50個しかないんですけど、昔もっと多かったですよ。	yo2	/
193	174	NNS16	そうですね。	中間	c
194	175	NS16	そ、「い」だけでよん、四個ぐらいあつたりとか(ああ)、なんかぐちゃぐちゃ崩して書くから(はいはいはい)よく分かんなかったり(へえ)[笑いながら]とかするんですけど、そういうの…を、そのまま活字になって直してないので(うん)、そのまま読まなきゃいけないとか(えー)、それはちょっと大変かなと思う〉{〈} 【【。	/	/
195	176	NNS16	【】〈そう、じゃ昔の〉{〉}日本の文字も読めてる《少し間》、〈という、ことですね、ははは〉{〈}。	ne1	/
196	177	NS16	〈そうですね、でもあれはもう写本とか〉{〉}、手で書く、書いてるやつは本当に難しい、(ああ)〈ですね〉{〈}。	ne3	/
197	178	NNS16	〈へー〉{〉}。	/	/
198	179	NS16	もう書道やってたりするといいいのかもしれないけど、そうじゃなくても江戸時代	ne3	/

			であると普通に出版されてるので(ああ)、木に彫ってそれを、バレンとかで刷って(はい)、で、大量に出すっていう感じだから、まだましですけどね。		
199	180	NNS16	へー。	/	/
200	181	NS16	うん。	/	/
201	182	NNS16	そうですか。	/	/
202	183	NS16	そこがちょっと大変というか、気が重いなという[やや笑いながら]…。	/	/
203	184	NNS16	はは、そうですね。	ne5	/
204	185	NS16	こんな大量な量の原本をよ、<読むっていうちゅ、うん><【【。	/	/
205	186-1	NNS16	】<私のあのー、モンゴル人の><先輩が、,	/	/
206	187	NS16	うんうん、はいはい。	/	/
207	186-2	NNS16	あの、人社研の博士課程に1人いるんですけど、,	/	/
208	188	NS16	はい。	/	/
209	186-3	NNS16	彼女も、文学研究していて、,	/	/
210	189	NS16	おお、いつの時代のなんでしょうかね[声が小さくなる]。	ne3	/
211	186-4	NNS16	そー、確かに全然読めない日本の本もあって、ました、ははは。	/	/
212	190	NNS16	図書館から<借りたって言って><。	/	/
213	191	NS16	<なんかもう、ぐにゃぐにゃしてる><ようなやつ、はは。	/	/
214	192	NNS16	はい、だからこれは勉強しない、日本語だけじゃって、言っていたんですけど(そうですね)、それ見ても、<全然分からなかったです、ふふふ><。	/	/
215	193	NS16	<いや、ははは、それは日本人でも><いやだという、<ははは><。	/	/
216	194	NNS16	<えー難し><そうですね。	ne2	/
217	195	NS16	文法とか、言葉の、単語とかも(うん)今…と違いますからね(ああ)、やっぱり江戸時代ならまだけっこう、近いけど[↓]。	ne3	/
218	196	NNS16	ふーん。	/	/
219	197	NS16	そうですね[声が小さい]。	/	/
220	198	NNS16	へー。	/	/
221	199	NS16	はい、それが大変、じゃ大変かなあー(ふふふ)という、<感じ><【【。	/	/
222	200	NNS16	】<えっ><(はい)、同じ研究する、修士の人って何人ぐらいいるんですか?。	/	/
223	201-1	NS16	えっとね、時代とかを関係なくして(はい)、ん、,	/	/
224	202	NNS16	あ、大丈夫です[NNSの携帯電話が鳴ったため]。	/	/
225	201-2	NS16	あ、そう、時間…時代とかを関係なくして、単に日本文学だけだと、えといま博士課程の人も合わせて研究室には、1、2、3、4、5、6、7人ぐらいいますかね。	ne3	/
226	203	NS16	日本人と留学生はおなじ、わけないで(はあ)、はい、<っていう感じ><。	/	/
227	204	NNS16	<はあ、いいですね><。	ne2	/
228	205-1	NNS16	<私は><, ,	/	/

229	206	NS16	<あ、そう↑>{>}。	/	/
230	205-2	NNS16	経済は(うん)、全学的に、経済の修士は二人だけ[笑いながら]。	/	/
231	207	NS16	へえ～[↑]。	/	/
232	208	NNS16	ふふふ、私たぶん一人の日本人の男の子で、去年もほとんどの授業二人だけ[軽く笑いながら]、ふふふ。	/	/
233	209	NS16	いやあ、きついですね><{>}。	ne2	/
234	210	NNS16	<で、今年は>{>} (うん)、一対一の授業が結構[笑いながら]。	/	/
235	211	NS16	ああ、なんか二人でも、あ、なんていうか、もう一週間ごとに(そうですね)発表してたりして、ふふふ、ふふふ、結構、ふふふ><{> [笑いながら]。	/	/
236	212	NNS16	<そうそうそう、そうなんですよ、交替で>{>} [少し笑いながら]。	yo3	/
237	214	NS16	そうですねえ、うわぁ<大変だ>{>}。	/	/
238	215	NNS16	<うん、だから>{>}、うーん…経済学…を(うん)、あの修士まで学ぶってあんまり、いないみたいですね。	ne3	/
239	216	NS16	うんうんうん。	/	/
240	217	NNS16	文学とか、文系のひとは結構多いのでいいなあって思います[軽く笑いながら]。	/	/
241	218	NS16	ああそうですね、直接なんか仕事につながるっていうのは、学部でも結構、いけてしまう(ああー)んだろうし、あとあの資格を取りたいっていう方面に(ああー)行ってしまう人も(ああー)いそうですね[笑いながら]。	yone3	/
242	219	NS16	勉強は続けたいけど、(ああ)資格の勉強をする方に重点を置きたいから(ああ)、修士にはこないで、ふふふ、また予備校みたいな人[笑いながら]も多いのかなって思いますね。	ne3	/
243	220	NNS16	<うーん>{>}。	/	/
244	221	NS16	<うんうんうん>{>}。	/	/
245	222	NS16	《少し間》なんかちょっとでもさみしいですね、二人は。	ne2	/
246	223	NNS16	そうなんです[笑いながら]。	/	/
247	224-1	NS16	そう、しかも(ふふふ)女の子なら<いいけど>{>},,	/	/
248	225	NNS16	<そうですね>{>} [笑いながら]。	yo3	/
249	224-2	NS16	っていうのもちょっとありますよね、ふふふ[笑いながら]。	yone1	/
250	226	NNS16	はい[少し笑いながら]。	/	/
251	227	NS16	男の子かみたいな、<いいけど>{>} [笑いながら]。	/	/
252	228	NNS16	<男の子>{>}は、ふふふ、あんまり話してないから、<はははは>{>} [笑いながら]。	/	/
253	229	NS16	<ははははは>{>}、ほんとか[笑いながら]。	/	/
254	230	NNS16	そうなんです。	/	/
255	231	NS16	きついな。	/	/
256	232	NS16	あ、なんかでもお子さんがいるって聞いたんですけど。	/	/

257	233	NNS16	あ、はい。	/	/
258	234	NS16	今、何歳くらいなんですか?><{<}	/	/
259	235	NNS16	<今><{>、一歳四か月ですね。	ne3	e1
260	236	NS16	おお、かわいい盛りっちゃ(ふふふ)、さか…まだ(はい)反抗期はこない?。	/	/
261	237	NNS16	ん、もうちょっと来てますよ、<今><{<}[笑いながら]。	yo3	/
262	238	NS16	<あはは><{>はは[笑う]。	/	/
263	239	NNS16	結構大変[笑いながら]。	/	/
264	240	NS16	そうか(ふふ)。	/	/
265	241	NS16	え、どん、どんな感じ?。	/	/
266	242-1	NNS16	うーん…一緒に(うんうん)、外出すると(うん)、特に<あの><{<},,	/	/
267	243	NS16	<外出[>{>}笑いながら]?。	/	/
268	242-2	NNS16	お店とか入ると(はいはいはい)、あの、ベビーカーから(はいはい)降りたいといっ て(はははは)、ずっと叫んでます[笑いながら]。	/	/
269	244-1	NNS16	で、降りたら,,	/	/
270	245	NS16	え、降りたいって叫ぶんだ、ふふ。	/	/
271	244-2	NNS16	うん、で、おろしたら(はいはいはい)、どこにも行っちゃうから、<結構大変><{<}	/	/
272	247	NS16	<そうです><{>よね、つないで、ふふ、ないとくいけない><{<}	/	/
273	248-1	NNS16	<でも><{>、だっこしようとしても,,	/	/
274	249	NS16	<嫌がるんだ?><{<}	/	/
275	248-2	NNS16	<嫌、はい><{>、嫌がって(ああー)自分で歩きたいって(へー)アピールして。	/	/
276	250	NS16	でもなんか、それ自体はいいような気がしますけど(ふふふ)、どう、歩きたくない ってぐずってる子より(ああ、そう)見てる方は(あそう、はい)ほほえましい(はい) ですけど[笑いながら]。	/	/
277	251	NNS16	まあ活発でいいんですけど、(ああ、そう)、うん、ちょっと(まあでもね)、はい、 ふふふ、これから<大変です><{<}[軽く笑いながら]。	/	/
278	252	NS16	<体力><{>がね、ついていけないから[笑いながら]。	/	/
279	253-1	NNS16	そうなんです、いま結構、体力もついてきて(うんうん)私をこうしたりすると,,	/	/
280	254	NS16	<倒れそう><{<}[笑いながら]。	/	/
281	253-2	NNS16	<おさ、おさえ><{>られないですよ、<ふふふふ><{<}[笑いながら]。	yo3	/
282	255	NS16	<ははは><{>。	/	/
283	256	NNS16	まだ小さいですけど><{<}	/	/
284	257	NS16	<男の><{>子、女の子どっちですか?。	/	/
285	258	NNS16	男の子です。	/	/
286	259	NS16	ああ、そっか、これからもあばれ続ける(ふふふ)ようなことが[笑いながら]、もう わかっているという(はい)。	/	/

287	260	NNS16	でも、ほんとに、かわいいです。	/	/
288	261	NS16	いいなあ、ふふ。	/	/
289	262	NNS16	ふふふ。	/	/
290	263	NS16	いいないいな。	/	/
291	264	NNS16	ちょうど、あの…あー、四年生の生のとき(うーん)、結婚して妊娠して(うんうんうん)、去年の四月に出産して(うんうんうん)、あ、二月出産して(あそうですね)、子供が一歳ちょっとのとき(うんうん)、四月から大学に(大変)、はいりました[笑いながら]。	/	/
292	265	NS16	え、そのころはなんかちょっとおとなしいとかそんな感じではあった?。	/	/
293	266	NNS16	うん、まあ小さいときはミルクあれば、ふふふ。	/	/
294	267	NS16	ああ、そっかそっか。	/	/
295	268	NNS16	あれだったのでお母さんが、助けに、手伝いに来てくれて。	/	/
296	269	NS16	おお、モンゴルからですか?。	/	/
297	270	NNS16	はい、私学校言ってる間に(あんあんあん)、世話しました[笑いながら]、ふふふ。	/	/
298	271	NS16	大変じゃ大変だけど、でも面白そうですね、なんか><。	ne2	/
299	272-1	NNS16	<でも、今は><,>,,	/	/
300	273	NS16	心強いですよ(はい)、両親がいると。	yone1	/
301	272-2	NNS16	今は三年でこどもが保育園のかよって(ああ)、《少し間》いますね[声が小さくなる]。	ne3	/
302	274	NS16	保育園ってなんかどんな感じなんだろう、ちょっといったことがなくて(ああ、そうですね)。	/	/
303	276	NS16	友達もそんなになんか早く預けるっていう人がいなかったから、(ああ)あんまりよくわからない<ですけど><。	/	/
304	277	NNS16	<結構><入りにくいんですよ。	yo2	/
305	278	NS16	やっぱりそうか。	/	/
306	279-1	NNS16	点数つけられて、しかも(うんうん)私学生だから、学生の点数が<低い><,>,,	/	/
307	280	NS16	<低そう><ですよ。	yone3	/
308	281	NS16	なんかね(はい)、面倒みられるでしょみたいな、<なんかそういう><[笑いながら]。	/	/
309	279-2	NNS16	<なん、はい、うん><何回も(うん)、不合格をして(へえ)、公立保育園で。	/	/
310	282	NS16	うん。	/	/
311	283	NNS16	で、千葉大に、<保育園があるんですよ><。	中間	d
312	284	NS16	<ありますよね付属の、はい><。	yone1	/
313	285-1	NNS16	あれに、去年の10月から(うんうん)、預かってもらって、,	/	/
314	286	NS16	そのほうがよさそうですね。	ne5	/

315	285-2	NNS16	うん、四月から公立保育園になりました。	/	/
316	287	NNS16	<でも結構>{<}【【。	/	/
317	288	NS16	】】<やっぱ千葉>{>}大の保育園より、公立のほうがいい理由とあって。	/	/
318	289	NNS16	まあ…どちらがいいかという、(うん)比べられないんですけど(ああ)、ただ公立のほうが安いので[笑いながら]。	/	/
319	290	NS16	あ、そうなんだ。	/	/
320	291	NNS16	それだけ[笑いながら]。	/	/
321	292	NS16	なんか意外ですね、それちょっと。	ne3	/
322	293	NNS16	まあ…所得によって(ああ)免除されるので。	/	/
323	294	NS16	あそうかそうか。	/	/
324	295	NNS16	うん、そうなんです。	中間	c
325	296	NNS16	でも千葉大の保育園もすごいよかったです{<}。	/	/
326	297	NS16	<そう>{>}ですよ、千葉大の中にあるし[笑いながら]。	yone1	/
327	298	NNS16	うん、あと千葉大の教員たちともよく会うので、ふふふ[笑う]。	/	/
328	299	NS16	あーそっかそっか。	/	/
329	300	NNS16	教員と、職員の子供が<多かった>{<}。	ne3	/
330	301	NS16	<そうですよね>{>}。	/	/
331	302	NNS16	え、結婚とか考えてるんですか?[笑いながら]。	/	/
332	303	NS16	いやあまりそういう人ができなくて、あはははは[笑う]、いる状態、いる状態[笑いながら](ふふふ)、モテないだけなんだけど[笑って](いえいえ)、まああみたいな、(うん)いいな結婚したい、あはははは[笑う]。	/	/
333	304	NNS16	日本人は(はい)、だいたい30代…くらいまで【【。	/	/
334	305	NS16	】】そうですね、友達もそういう人が多いし、若くして結婚しちゃって子供がずっとできなかつたりすると、なかなか(あー)長続きがしないみたいな(あー)こともありえましたね。	ne3	/
335	306	NS16	でもそれすごい遠くにお嫁にいったので(ああ)、そこのお母さんとうまくされないみたいな[少しわらって](いやあ)、そのままちょっと子供もできなかったから、(ああ)もどってきて、またいろいろあってみたいな[笑いながら]、感じですね。	ne3	/
336	307	NNS16	へえー。	/	/
337	308	NS16	23くらいだったから、たぶん同じ年くらいだったと思うんですけど。	/	/
338	309	NNS16	はい。	/	/
339	310	NS16	ただまあでもあれは…【【。	/	/
340	312	NNS16	】】あーそうなんです、やっぱりひとによると思いますね。	中間	d
341	313	NS16	そうですよね、そうですよね。	yone1	/
342	314	NNS16	まあ、モンゴル人は割と、結婚する年齢が早いんですね。	中間	d

343	315	NS16	うん、うん。	/	/
344	316	NNS16	向こうにいる、あの高校の同級生たちは、子供二人いる人もいて(へーすごい)[笑 いながら]、あと三人いる人も一人います。	/	/
345	317	NS16	ああ、でもねえなるべくなんかまとめて近いうちに生んだほうがいいのかなんて思 う時もありまくすよね>{<}。	yone1	/
346	318	NNS16	<そういう…>{<}、そういう人も…そうよく言われます。	/	/
347	319	NS16	うんうん。	/	/
348	320	NNS16	一回産んだら、近いほうがいいよっていうんですけど。	/	/
349	321-1	NS16	うーん…まあでもなあそこは(ふふふ),,	/	/
350	322	NNS16	人によって。	/	/
351	321-2	NS16	今二人目産むともっと大変だっていうことが[笑いながら],,	/	/
352	324	NNS16	そうですね、もう今は<考えてないです>{<} [笑いながら]。	/	/
353	321-3	NS16	<予想できる>{<}、予想できる[笑いながら](はい)。	/	/
354	325	NS16	ああ、そう関わってくるからな結構、人生設計に。	/	/
355	326	NNS16	うん、そうなんですね→。	中間	c
356	327	NS16	だからいまそういう風に、ふふ。	/	/
357	328	NS16	でも働きだしてからまた休んでってなると大変だから、逆に(そう)学生で融通が利 くうちに、なんか一緒にいられるほうがいいですかね、どうですか。	ne3	/
358	329	NNS16	<でも>{<}、それは日本のしゃ、社会でちょっと、(ああ)あわない気がしますね。	ne3	e1
359	330	NS16	ああ。	/	/
360	331	NNS16	今就活もちよつとずつ(うんうん)やってるんですけどやっぱり新卒で子供いると なると、会社がびっくりしてるような感じなんで。	/	/
361	332	NS16	マイナス要素にはならないと思いますけどね(へえ)、学生のうちにすごい大変な 時期ってのが過ぎるわけなんで。	ne3	/
362	333	NNS16	はい。	/	/
363	334	NS16	《少し間》は[↓]、うん。	/	/
364	335	NNS16	でも、いろいろ《少し間》ありますね、ふふ[笑って]。	ne3	/
365	336	NS16	あああ、そっかあ…。	/	/
366	337	NNS16	うん。	/	/
367	338	NS16	《少し間》ああなんでしょうね、でも確かにね、そういう若くして結婚した子以外 は、もうみんな 30 過ぎてから結婚する<感じ…>{<}でしたね>{<}。	ne3	/
368	339	NNS16	<なりますよね>{<}。	yone1	/
369	340	NS16	まあ、26 くらいの昔くらいなら適齢期に結婚した人とかもいますけど、それはなん か子供できなかったみたいな話で(ああ)、またそれはそれですね。	ne3	/
370	341	NNS16	はい。	/	/

371	342	NS16	ああ[沈黙 0.5 秒]。	/	/
372	343-1	NNS16	うーん[沈黙 0.5 秒]これから、《少し間》頑張ります[笑いながら],,	/	/
373	344	NS16	私もがんばる><。	/	/
374	343-2	NNS16	<就活も><>[笑いながら]。	/	/
375	345	NS16	結婚したい、<ははは><。	/	/
376	346	NNS16	<そうですね><>、ふふふ[笑う]。	/	/
377	347	NS16	めっちゃうける。	/	/
378	348	NS16	就活なあ、就活どういう、企業、日本で就職<しますか><>?。	/	/
379	349-1	NNS16	<日本で><>就活、就職しようと考えてるんですけど(うんうんうん)、まあ、積極的に、就活始めてなくて,,	/	/
380	350-1	NS16	まあでもねえ,,	/	/
381	349-2	NNS16	<ちょっといろいろいってみて><>,,	/	/
382	350-2	NS16	<そのマンツーマン><>で毎週発表だと(ふふ)、###ない。	/	/
383	351	NNS16	そうですね[笑いながら]、今はちょっと研究のほうが忙しくなってきました。	/	/
384	352	NS16	ああ。	/	/
385	353	NNS16	研究というか修論の準備、ですね。	ne3	/
386	354	NS16	ああ、そうか、なんか他人事じゃない、はは[軽く笑う]。	/	/
387	355	NNS16	はい、はは。	/	/
388	356	NS16	今がちょうど盛りみたいな感じですかね、研究の準備とかは。	ne3	/
389	357	NNS16	そうですね。	ne5	/
390	358	NS16	国文だと結構その七月あたりにプレ発表がある、(はあ)って。	/	/
391	359	NNS16	あー、修士二年生の時?。	/	/
392	360	NS16	そうですね、はいはいはい。	ne3	/
393	361	NNS16	あー。	/	/
394	362	NS16	近代文学のゼミとかで、今年修論ですって人は(へえ)、だいたい今の時期にゼミでプレ発表してから、学会、学校内でしてみたいな、感じですかね。	ne3	/
395	363	NNS16	すごいはやい、はやいですね。	ne2	/
396	364-1	NS16	まあね、うんうん,,	/	/
397	365-1	NNS16	普通かもくれないけど、私は><,,	/	/
398	364-2	NS16	<ど、どうなんですかね?><>。	ne3	/
399	365-2	NNS16	あの、一人だから、たぶん9月にプレ発表があるみたいです(うん)。	/	/
400	366	NS16	《少し間》夏が使えるっていうのは大きいですね自由に。	ne2	/
401	368	NNS16	そう…ですねえ、《少し間》え、いま、修士二年ですよ?。	中間	d
402	369	NS16	あ、一年生です。	/	/
403	370	NNS16	あ、いや一年生ですけど、<二年間で終わるん、ですよ><>。	中間	d

404	371	NS16	<あ、そうか、そうですね>{>}二年間で、うん。	/	/
405	372	NNS16	じゃあ、これからもう(はあ)、ふふふ[笑う]。	/	/
406	373	NS16	ふふ、大変では大変です。	/	/
407	374	NNS16	修士いや、修論も書き始めるんですか?>{<}。	/	/
408	375	NS16	<いや、>{>}まだ一年生で(ああ)、ちょっともう、やっぱ授業が忙しいですね、結構[少し笑いながら]。	ne3	/
409	377	NNS16	そうですね、何単位?。	/	/
410	378	NS16	32 だったかな>{<}。	/	/
411	379	NNS16	<あ、>{>}同じです。	/	/
412	380	NS16	でもとりあえず、一年生でとり終えたい、ある程度はっておもって(うんうん)、32を一年で取ろうとするとちょっとほかの学校のほうに、いつてる日っていうのがあって、(ああ)そっちでも取られるのでちょっと危ないかなっておもって(ああ)、二単位くらいは残してあるん、ですよ、来年に(ああ)=。	yo2	/
413	381	NS16	=まあ、あの、まったく学校にこなくなっちゃうのもよくないと思うので。	/	/
414	382	NNS16	そうですね、はい。	yone1	/
415	383	NS16	そう。	/	/
416	384	NNS16	そうですね。	ne5	/
417	385	NS16	だから結構がつつりはいつて(ははは)、普通に修士ですけど全部二限から始まる授業、(あ、そうなんですか)はははは、健康的な日々(笑いながら)、送ってますね。	ne3	/
418	386	NNS16	え、どの辺に住んでるんですか?。	/	/
419	387	NS16	えっとねえ、この近くですね、千葉県内で(ああ)八千代市ってところなんですけど(ああ)、成田に行く、成田方面にくだっていくけどそこまで全然くだらないみたい。	ne3	/
420	388	NNS16	ああそうなんですね。	ne1	/
421	389	NS16	船橋、津田沼と成田の、といえば全然津田沼寄りのあたりですね。	ne3	/
422	390	NNS16	津田沼?。	/	/
423	391	NS16	うん、<津田沼よりのあたり>{<}。	/	/
424	392	NNS16	<あじゃあ近いですね>{>}。	ne2	/
425	393	NS16	うん、近いですね。	ne3	/
426	394	NS16	一時間くらいかかりますかね?。	ne3	/
427	395	NNS16	だいたい、あ終わったみたいですね。	ne3	/

データ 17

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS17	お願いします。	/	/
2	2	NNS17	お願いします。	/	/
3	3	NS17	自己紹介, から…。	/	/
4	4	NNS17	うん, じゃ, どうぞ, はい。	/	/
5	5	NS17	えっと, 今, T 大学, 法政経学部の 1 年生…。	/	/
6	6	NNS17	あっ, 1 年生。	/	/
7	7	NS17	はい, 1 年生です。	/	/
8	8	NS17	「NS17 の名前」 っ て 言 い ま す 。	/	/
9	9	NNS17	「NS17 の名前」 さん, はい, 「NS17 の名前」 さん, はい。	/	/
10	10	NS17	よろしく 願 い し ま す 。	/	/
11	11	NNS17	よろしく 願 い し ま す 。	/	/
12	12	NNS17	うーん, 僕…, えーと, 工学部のほうで勉強しているんで, 今, 4 年生です。	/	/
13	13	NS17	4 年生, はい, 分かりました。	/	/
14	14	NNS17	お願い します 。	/	/
15	15	NNS17	僕, 中国の出身なんで…。	/	/
16	16	NS17	あっ, 中国出身で, はい, じゃ, 「調査者」 さん と 一 緒 の … 。	/	/
17	17	NNS17	あ, そう だ す ね 。	ne3	/
18	18	NNS17	えっと, NS17 さん?。	/	/
19	19	NS17	はい。	/	/
20	20	NNS17	NS17 さん<笑い>, はい。	/	/
21	21	NS17	はい, そう だ す 。	/	/
22	22	NNS17	NS17 さん の 出 身 は ど こ で す か ? 。	/	/
23	23	NS17	あっ, 僕は日本…の, ぐん, 群馬県 っ て 分 か ま す か ね ? 。	ne3	/
24	24	NNS17	はい, 群馬県, しっ, 知 っ て ま す 。	/	/
25	25	NS17	はい, 群馬県と, まあ, 温泉とか有名で。	/	/
26	26-1	NNS17	こないだなんか, その, 群馬と, なんか, どっちら, 長野[↑],,	/	/
27	27	NS17	ああ, 長野。	/	/
28	26-2	NNS17	の 間 で , な ん か バ ス … ツ ア ー の 事 故 が 起 き て し ま っ て 。	/	/
29	28	NS17	ああ, そう だ す ね 。	ne5	/
30	29	NNS17	そう だ す ね 。	/	/
31	30-1	NS17	あれはちょっと大学生, おんなじぐらいの, 年齢の人が,,	/	/
32	31	NNS17	そう だ す ね 。	/	/

33	30-2	NS17	亡くなって、本当、あれですよ、気の毒な事件だと。	yone3	/
34	32	NNS17	まあ、そう、多くの大学生の、大変でした。	ne5	/
35	33	NS17	はい、すごく悲しい事件でした、本当に。	/	/
36	34	NNS17	そうですね、群馬県で、ああ。	/	/
37	35	NS17	そうですね、あっちのほうはスキーが有名で、あの一、山奥の道で、危ない、峠[↑]、あの一、くねくねした…。	/	/
38	37	NNS17	そうですね、なんか、カーブがおお、多すぎですよ。	yo3	/
39	38	NNS17	うーん、なんか、だいが運転できる人じゃないと。	/	/
40	39	NS17	そうですね(そうですね)、難しかったみたいで(うん)、すごく大変だったって(うん)、はい、気をつけないと。	/	/
41	40	NNS17	群馬県って、なんか、ちょっ、ちょっとまあ、あんまりにも失礼なんですけど。	/	/
42	41	NS17	はい。	/	/
43	42	NNS17	よくニュースをみて、その魅力のあるかなあーっていう…。	/	/
44	43	NS17	ははは。	/	/
45	44	NNS17	ははは。	/	/
46	45	NS17	そうなんですよ。	yone2	/
47	46	NNS17	面白いなあと思って<笑いながら>、ははは。	/	/
48	47	NS17	ははは、いや全然いいですよ、あの一…。	yo1	/
49	48	NNS17	ははは、はい。	/	/
50	49	NS17	あの、はい、もう、それ逆に、もう、群馬県皆知ってるんで。	/	/
51	50	NNS17	はは。	/	/
52	51	NS17	はい、もう、どんどん言ってもらっちゃって大丈夫ですよ。	yo3	/
53	52	NNS17	はは、そうですね、その時、み、見ちゃうと、ええ、群馬県ってどういうところですかね、と思って、ははは。	/	/
54	53	NS17	ははは(はい)、あの一、群馬県、あの一、日本でもなんか、知られていない県、一番、1位とか、魅力がない県、1位、魅力が、魅力度が一番低いとか。	/	/
55	54-1	NNS17	でも、僕いつも、み、見たときになんか(はい)、なんか、一番最後の、2位とか、	/	/
56	55	NS17	はは、そう、そうですね。	ne5	/
57	54-2	NNS17	1位とか、3位ぐらい、ええ、群馬県とか、うんうん。	/	/
58	56	NS17	栃木、茨城とか分かります?。	/	/
59	57	NNS17	うんうん、そう、はい。	/	/
60	58	NS17	そこの、関東地方の上の北関東(うん)、北関東のほうが、あんまり魅力がないって皆、日本で思われてるんですね、はい。	ne3	/
61	59	NNS17	ふふ<笑い>。	/	/
62	60	NS17	ふふ<笑い>。	/	/

63	61-1	NNS17	うんうん、あそこの、あの、マイ映画、うーん、見たんですけど(はい)、その、あ あ、えーと、いちおう映画名は記憶ないんですけど,,	/	/
64	62	NS17	はい、英語。	/	/
65	61-2	NNS17	その、いちおう車[↑]。	/	/
66	63	NS17	車。	/	/
67	64	NNS17	車、その車の、あの一試合とか、なんか山で、山の奥で、なんか、車の、そうそう そう。	/	/
68	65	NS17	あっ、インシャルDとか。	/	/
69	66	NNS17	そう、そうインシャルD、そう、そうですね。	中間	c
70	67	NS17	あっ、あの一、アニメ。	/	/
71	68	NNS17	アニメ、そう。	/	/
72	69	NS17	あの一、薄い、あの、それこそ、まあ、事故があったとこの付近の峠道、すごいカ ーブの。	/	/
73	70	NNS17	そう。	/	/
74	71	NS17	ああ、はい、それ有名、すごく山の、とこなんで。	/	/
75	72	NNS17	あ、あそこですね。	ne5	/
76	73	NNS17	なんか、それは、すごく魅力的ではないかなあと(ああ)、思っていましたね、はい。	ne3	/
77	74	NS17	車好きなんですか?。	/	/
78	75	NNS17	車、うーん、僕、機械系ではないんで(あ、そうなんですか)、あまりそう、僕ちょ っと都市系[↑]、エネルギー系みたいな…。	/	/
79	76	NS17	ああ、エネルギーですか。	/	/
80	77	NNS17	そうですね。	ne3	/
81	78	NS17	ああ、はいはい。	/	/
82	79	NNS17	車は、最近、うん。	/	/
83	80	NS17	ちょっと普通に運転できればぐらい?。	/	/
84	81	NNS17	そう。	/	/
85	82	NNS17	車は興味あるんですか?。	/	/
86	83	NS17	あんま、そんなに、普通、そんなには、興味はないですね。	ne3	/
87	84	NS17	まだ、運転免許書も持ってないので。	/	/
88	85	NNS17	ああ。	/	/
89	86	NS17	はい。	/	/
90	87	NNS17	僕もそうですね。	ne5	/
91	88	NNS17	今年卒業する前に、なんか、いちおう、決まったんですけど、し、あの一、し、進 路は決まったんですけど。	/	/
92	89	NS17	あ一、はい。	/	/

93	90	NNS17	その一、会社に入る前に、なんか取ろうかなあとって、まあ…。	/	/
94	91	NS17	ふふふ、運転免許証。	/	/
95	92	NNS17	そうですね(はい)、でも、まあ、うんうん、これから使い道あんまりないんじゃないかなあとって(はは)、取るかどうか、迷ってるんで。	/	/
96	93	NS17	はい、まあ、でも取っついて、損はないとは、思いますよね。	yone2	/
97	94	NNS17	でも、そうですね、向こうに帰っちゃうんで。	中間	c
98	95	NS17	ああ、中国に[↑]。	/	/
99	96	NNS17	そうです、どうしようかなあと、思っちゃいました。	/	/
100	97	NNS17	あと、群馬県、もう一つ、群馬県についてのことなんですけど。	/	/
101	98	NS17	はい。	/	/
102	99	NNS17	なんか、あそこの女性が強いって<笑い>(ああ)、きい、聞いてしまったんですけど、ははは。	/	/
103	100	NS17	ははは。	/	/
104	101	NNS17	本当[↑]、ははは、うん。	/	/
105	102	NS17	つ、強い、そうですね。	ne5	/
106	103	NS17	よく<知ってますね>{<}	ne2	/
107	104	NNS17	<<笑い>>あ、はい{>}。	/	/
108	105	NS17	なんか、いろいろそういう噂が流れたりするんですけど(そうですね)、なんでしょうね、僕の友達も(はい)、その強いおん、女性の方っていっぱいいたかなあ、みたいな。	/	/
109	106	NNS17	あの、なんか、その、ある言葉で「かかあ天下」。	/	/
110	107	NS17	ああ、かかあ天下、すごい、そうですね。	ne5	/
111	108	NS17	よくご存じですね。	ne2	/
112	109	NNS17	電車で面白いなあとって。	/	/
113	110	NS17	はいはいはい。	/	/
114	111	NNS17	お母さんはどうですか<笑い>?。	/	/
115	112	NS17	えっと、うちの家庭は、お父さんよりもお母さんのほうが怖い。	/	/
116	113	NNS17	ああ、やはりそうなんですか、面白いですね。	ne2	/
117	114	NNS17	一般的な日本人の女性は、あの一、その、あの一、なんか、なんか大人[↑]、大人[↑]、なんか優先させる気持ちとか、つよ、なんか日本に来て、強いじゃないかなあと感じて。	/	/
118	115	NS17	はは、そう、女性がけっこう強かったりっていうのが、うちだったらもう完全に母親が、もうずっと怒って(ああ)、あれ、父親は静かで、へへ<笑い>。	/	/
119	116	NNS17	ああ、父親は外で働いて。	/	/
120	117	NS17	それ家帰ってきて、あの一、なんか、一番上なのはやっぱ、お母さん。	/	/

121	118	NNS17	お母さん、ああ、面白いです。	/	/
122	119	NS17	いちおう怒るのもお母さんだし、よく怒られてました。	/	/
123	120	NNS17	ああ、そうなんですか。	/	/
124	121	NS17	勉強しなさいとか、ふふ。	/	/
125	122	NNS17	もう、今は十分じゃないですか、千葉大に入って。	/	/
126	123	NS17	いやいやいや、そんな、とんでもないです。	/	/
127	124	NNS17	うん、あの、兄弟いるんですか?。	/	/
128	125	NS17	兄弟、はい、おね、いちおう姉が一人、はい。	/	/
129	126	NNS17	ああ、姉が。	/	/
130	127	NS17	はい。	/	/
131	128	NNS17	姉さんはしゃ、社会人?。	/	/
132	129	NS17	はい、もう社会人で、今は、もう地元群馬県で働いていますね、はい。	ne3	/
133	130	NNS17	ああ、群馬県なんだ。	/	/
134	131	NS17	兄弟はいらっしゃいますか?。	/	/
135	132	NNS17	うん、僕、ふ、双子なんで、妹がいます。	/	/
136	133	NS17	ああ、双子なんですか?。	/	/
137	134	NNS17	そうです。	/	/
138	135	NS17	妹さんは今中国で?。	/	/
139	136	NNS17	働いています。	/	/
140	137	NS17	ああ、中国で。	/	/
141	138	NNS17	それで、なんか、結婚してるんで。	/	/
142	139	NS17	きょう?。	/	/
143	140	NNS17	ああ、もう結婚したんで。	/	/
144	141	NS17	ああ、結婚、ああ。	/	/
145	142	NNS17	そうですね、子供も、今、もう2カ月ぐらいになってるんじゃないかな。	/	/
146	143	NS17	あ、そうなんですか、ああ、もう赤ちゃんが生まれて。	/	/
147	144	NNS17	そうですね。	ne5	/
148	145	NS17	いいですね。	ne5	/
149	146	NNS17	うん、なんか、女の子のほうで。	/	/
150	147	NS17	女の子で、はい。	/	/
151	148	NNS17	そうです。	/	/
152	149	NS17	双子でしたか、すごいですね。	ne2	/
153	150	NNS17	双子、向こう、わが国はなんか【【。	/	/
154	151	NS17	】】ああ、一人子政策ですよ。	yone1	/
155	152	NNS17	そう、一人っ子政策=。	/	/

156	153-1	NNS17	=最近つい、あの一、つい最近なんか、その政策をや、や、	/	/
157	154	NS17	やめて。	/	/
158	153-2	NNS17	つぶしちゃって、なんか。	/	/
159	155	NS17	一人っ子政策、双子は認められるんですしたっけ?。	/	/
160	156	NNS17	うん、認められましたね、なんか。	ne3	/
161	157	NS17	はい。	/	/
162	158	NNS17	よく分からないんですけど、ある日なんか、まあ、国ぜん、全体的になんか、いいですよっていうかというか。	/	/
163	159	NS17	おお。	/	/
164	160	NNS17	なって。	/	/
165	161	NS17	なってきて、なるほど。	/	/
166	162	NS17	で、その一人っ子政策の時に、双子の時だったら、双子はOKって…。	/	/
167	164	NNS17	あ、そうですね、二人はOKで、同時に生まれたんで<笑いながら>。	/	/
168	165	NS17	ああ、はい、そうですね。	yone1	/
169	166	NNS17	そうですね<笑いながら>。	/	/
170	167	NS17	いや、素晴らしいですね。	ne2	/
171	168	NNS17	うん、そうです。	/	/
172	169	NS17	じゃ、中国で兄弟が同じ###にいるっていうのは、すごく珍しい…ですかね。	ne3	/
173	170	NNS17	ああ、たまになんかそうですね、あの、二人子の家庭もあるみたいですよ。	yo2	/
174	171	NS17	ああ。	/	/
175	172-1	NNS17	ぜん、その、あの一、,	/	/
176	173	NS17	補助金とか。	/	/
177	172-2	NNS17	あの一、それぞれ、罰金されちゃうんで、,	/	/
178	174	NS17	ああ。	/	/
179	172-3	NNS17	そ、あの一、それ罰金さえ払えば(ああ)、大丈夫みたいんで。	/	/
180	175	NS17	大丈夫みたいで。	/	/
181	176	NNS17	うん、ふふ<笑いながら>。	/	/
182	177	NS17	まあ、一人が一番えっと暮らしやすいように、政策が続くの。	/	/
183	179	NNS17	そうですね、あと、その一村の方、土地のほう、田舎のほうもし、あの一、もし、最初女の子、なんか生まれたら、おとと、男の子なんかいいですよって、その、そういうところもあるんです。	/	/
184	180	NS17	ああ、最初女の子だったら、男の子は次だったら、大丈夫。	/	/
185	181	NNS17	そうですね、その一【【。	/	/
186	182	NS17	】】場所によって、土地によって。	/	/
187	183-1	NNS17	そうですね、そう、男の子、あの一農業のほうに、,	/	/

188	184	NS17	あー、はいはい。	/	/
189	183-2	NNS17	なんか、ま、まわしちゃうから、その、おん、男の子いないと、なんかいけないみたいなの。	/	/
190	185	NS17	ああ、なるほど。	/	/
191	186	NNS17	そう。	/	/
192	187	NS17	それは認められる。	/	/
193	188	NNS17	そうです。	/	/
194	189	NS17	じゃ、いろいろ地域によって違ったりするんですね。	ne1	/
195	190	NNS17	地域によって違います。	/	/
196	191	NNS17	厳しいところもありまして。	/	/
197	192	NS17	都市とか…(そうですね)あつちの、ほうになってくると。	/	/
198	193	NNS17	そうですね、そうですね。	ne5	/
199	194	NNS17	なんかうちの国広すぎるから、まあ(ははは)、しょうがない。	/	/
200	195	NS17	本当大きいですよ、中国。	yone1	/
201	196	NNS17	大きいですよ。	yo2	/
202	197	NNS17	よく、よく分からないんですけど。	/	/
203	198	NNS17	住みやすいところ(ああ)、住みにくいところ(ああ、そうですね)、半分半分ぐらいじゃないですか。	/	/
204	199	NS17	まあ、日本も都市だと住みづらいなあって感じるころがありますね、僕だと。	ne3	/
205	200	NS17	あまり、狭い、人がいっぱいいて、そう、東京とか行くと、人がいっぱい過ぎて、電車とか、そのぎゅうぎゅうになっちゃたりして(ああ、そう、そうですね)、移動が大変だったり、というのがあったり(ああ)、あと、土地が高いから車とかでどこにでも行けなかったりとか。	/	/
206	201	NNS17	ああ、そうですね、僕も悩んで、なんか、そう、免許とろうかなと思って。	/	/
207	202	NS17	はい。	/	/
208	203-1	NNS17	車、かわ、なんか、買うかどうか分からないんで、	/	/
209	204	NS17	はい。	/	/
210	203-2	NNS17	なんか、いちおう東京のほうに所属されて、あの、車はたぶん買わないんじゃないかなあと思って。	/	/
211	205	NS17	そうですね。	ne5	/
212	206	NNS17	免許も要らないんじゃないかなあ。	/	/
213	207	NS17	そうですね。	ne5	/
214	208	NNS17	考えて。	/	/
215	209	NS17	そうですね。	ne5	/
216	210	NS17	全部電車とかで。	/	/

217	211	NNS17	そう、そうですね、電車で。	ne5	/
218	212	NS17	あと、駐車場とかもすごい高いですし。	/	/
219	213	NNS17	あ、駐車、そうですね。	ne5	/
220	214	NS17	はい、という問題、都市、都会のほうだと出てくるのかな。	/	/
221	215	NNS17	まあ、群馬県だと、なんか、その知識が広いから、なんか、駐車場なんか安いとか。	/	/
222	216	NS17	はい、すごくやすい、普通に一般的な、この、アパートとか、マンションとか、アパートとかだと、駐車場が無料についてくる(あー)、というのがあって。	/	/
223	217	NS17	千葉でもなかなかないですよ。	yone2	/
224	218	NNS17	千葉はまあ、そう、東京の一番近いから。	/	/
225	219	NS17	近いから、そうですね、電車がメインなんですけど、群馬は車がないと、どこにも、移動できんかくて、はい。	/	/
226	220	NNS17	なんか、群馬の一般的な家庭で、なんか、車が多いって聞いたんですけど。	/	/
227	221	NS17	あ、そうですね。	ne3	/
228	222	NS17	日本で1位ですね。	ne3	/
229	223	NNS17	そうですね、1位って。	ne5	/
230	224	NS17	一世帯当たりに2台とか。	/	/
231	225	NNS17	2台とか、3第とか、そうですね、聞いたんですけど。	/	/
232	226	NNS17	いいなあ、と、思って。	/	/
233	227	NS17	そうですね、群馬だと車が必須品なんで、一家に2台とかあるのも全然当たりみたいな感じですね。	ne3	/
234	229	NNS17	ああ、そうですね、あと、そうですね、やはりあそこの女性が強いから、なんか、働く人も、女性も多いし、なんか聞いたんですけども。	/	/
235	230	NS17	はい、車乗っているいろいろ行ったりとかありますよね。	yone2	/
236	231	NNS17	はい、なんか、NS17さんはなんかどちらの女性がいいですか？。	/	/
237	232	NS17	ははは。	/	/
238	233	NNS17	将来もし、その…。	/	/
239	234	NS17	怖い、あの一、あれですか。	/	/
240	235	NNS17	うん、うん、も、もし、将来、なんか女性と今、います？。	/	/
241	236	NS17	今、いないです、はは。	/	/
242	237-1	NNS17	もし、付き合う、付き合おうとしたら、,	/	/
243	238	NS17	付きあおうとしたら、はい。	/	/
244	237-2	NNS17	なんか、地元、地元のほうがいいですか？。	/	/
245	239	NS17	あ、地元の女性か、ここの女性かって。	/	/
246	240	NNS17	そうですね、はい。	ne3	/
247	241	NS17	あ、はい。	/	/

248	242	NNS17	ごめんなさい、はい。	/	/
249	243	NS17	地元の子もすごく魅力的な方がいたんですけど、まあ、こっちも、いろいろな出身の県がいて、なんか、たの、面白い、まあ、できればこっちのほうがいいですね。	ne3	/
250	244	NNS17	あつ。	/	/
251	245	NS17	遠くになっちゃくんで、へへ。	/	/
252	246	NNS17	今1年生でもう慣れましたらか?。	/	/
253	247	NS17	そうですね、いちおう最初慣れなくて、だんだん慣れてきました。	/	/
254	248	NNS17	1年生だと去年の、1年生ですか、あつ去年の…。	/	/
255	249	NS17	4月ですね、はい。	ne3	/
256	250	NNS17	ああ、4月、ああ、僕も今年3月卒業…。	/	/
257	251	NS17	ああ、そうなんですか、じゃ4年間千葉大学。	/	/
258	252	NNS17	もう4年間というより、2年間で。	/	/
259	253	NS17	あ、2年間、3年生の時に。	/	/
260	255	NNS17	そうですね、ここに来て、前は、その…。	/	/
261	256	NS17	中国ですね。	ne1	/
262	257	NNS17	いや、前は、あの一、理科大[↑]、知ってますか?。	/	/
263	258	NS17	ああ、知ってます、知ってます。	/	/
264	259-1	NNS17	その、やめて、3年生から,,	/	/
265	260	NS17	千葉大学に。	/	/
266	259-2	NNS17	そうです。	/	/
267	261	NS17	ああ、なるほど。	/	/
268	262	NNS17	その、へん、編入で、そうですね。	ne3	/
269	263	NS17	ああ、そうですか。	/	/
270	264	NS17	理科大学もすごく有名ですよ、もう。	yone1	/
271	265	NNS17	厳しい、厳しくて、何回も、何課目も怒られちゃって。	/	/
272	266-1	NS17	ははは、あの一、留年、のが一番多い大学(そうですね)・・・だと聞いたことがありますけど。	/	/
273	269	NNS17	そうですね、僕の同級生も中国人なんで、あの一、中国人だと、あそこに入れ、入れやすいと聞いたんですけど。	/	/
274	270	NS17	お。	/	/
275	271	NNS17	面接だけで。	/	/
276	272	NS17	おお。	/	/
277	273	NNS17	僕、いちおう筆記試験僕受けたんですけど、他の人、なんか面接だけでなんか、あそこ入ってなんか、その、なんか、あまりなんか、言いにくいんですけど。	/	/
278	274	NS17	はい。	/	/

279	275	NNS17	その、あの、そう、あまり勉強することにあまり集中じゃない、集中できないじゃないですか。	/	/
280	276	NS17	ああ。	/	/
281	277	NNS17	なんか留年してて、ちょっと寂しくて、なんか他の大学に行ってみようかなと(ああ)、その環境を変えて。	/	/
282	278	NS17	はい。	/	/
283	279	NNS17	田舎のほうなんですよ、ああ、野田キャンパス。	yo3	/
284	280	NS17	ああ、野田キャンパス。	/	/
285	281	NNS17	そうですね、東京のほうではなくて。	/	/
286	282	NS17	はいはいはい。	/	/
287	283	NNS17	はい、うん。	/	/
288	284	NS17	わりと、じゃ千葉のほうが都心に近くて。	/	/
289	285	NNS17	千葉のほうが便利だし、総武線なんか。	/	/
290	286	NS17	そうですね、すぐ東京に行けますね。	ne4	/
291	287	NNS17	そうですね、よかったと思って、うん。	/	/
292	289	NS17	どうですか、日本に来てからの暮らしは?。	/	/
293	290	NNS17	うん、だいぶ、	/	/
294	291-1	NS17	楽しいですか?。	/	/
295	292	NNS17	そう、困ったことはあまりないし、なんかすごく便利なんで。	/	/
296	291-2	NS17	ああ。	/	/
297	293	NNS17	そうですね、な、慣れましたし。	/	/
298	294	NS17	慣れましたか、良かったですね。	ne2	/
299	295	NNS17	良かったですね、はい、うん。	ne3	/
300	296	NS17	日本、さき女性の話出ましたが、日本の女性はどうですか、はは?。	/	/
301	297	NNS17	ああ、日本の女性静かで、	/	/
302	298-1	NS17	静かですか、はは。	/	/
303	299	NNS17	いいなと思って、静かで、そう。	/	/
304	298-2	NNS17	あと、小柄ですね。	ne3	/
305	300	NNS17	僕背が高いとは言えないんですけども。	/	/
306	301	NS17	日本人だと…。	/	/
307	302	NNS17	小柄ですね。	ne3	/
308	303	NS17	ああ、中国人だと、あれですか。	/	/
309	304	NNS17	大きい人なんか、	/	/
310	305-1	NS17	いっぱいいますか?。	/	/
311	306	NNS17	うん、僕のいも、地元で大きいの人、なんか、最近なんか、え、え、たぶん、栄養	/	/

			が良いじゃないですか。		
312	305-2	NS17	はは。	/	/
313	307	NNS17	なんか、あの、背が高いなど。	/	/
314	308	NS17	背が、はい、はは。	/	/
315	309	NNS17	###とか、はは。	/	/
316	310	NNS17	じゃ、将来就職とか考え、就職とか。	/	/
317	311	NS17	就職ですか?。	/	/
318	312	NNS17	そうですね、ああ、NS17さん。	/	/
319	313	NS17	あつ、僕の…?。	/	/
320	314	NNS17	そうですね、就職、4年生終わったら、就職とか。	/	/
321	315	NS17	どこが就職がいいかどうか。	/	/
322	316	NNS17	そうですね。	ne3	/
323	317	NS17	そうですね、うんと、まあ、なんと、今法政経学部で、	/	/
324	318-1	NNS17	あ、そうですか。	/	/
325	319	NS17	まあ、入れるとしたら金融関係の企業か、後は普通の一般企業の営業か、あとは会計って分かります?。	/	/
326	318-2	NNS17	あ、会計、はい、会計士とか。	/	/
327	320	NS17	会計をやって、そうですね、そっちの会計の職にも少し興味があるんで、ちょっと今いろいろ迷ってる場所なんですけど。	/	/
328	321	NNS17	あ、その資格とか今取ろうかと思っていますか?。	/	/
329	322	NS17	あ、まあ、そうですね、会計士の仕事ってすごく難しいみたいで、	/	/
330	323-1	NNS17	はい。	/	/
331	324	NS17	なんか、社会人になって勉強して取るか、ちょっとあの、資格がなくても会計の部門みたいな、経理、って分かります?。	/	/
332	323-2	NNS17	ああ、経理、はい。	/	/
333	325	NS17	そっちのほうの職にも就くことができるんで、まあ、そっち関係にも少し興味あるかなと。	/	/
334	326	NNS17	ああ。	/	/
335	327	NS17	一番会計士になれたら、一番うれしいんですけど、すごく資格が難しいんで、まあ、勉強頑張って、って感じですかね。	ne3	/
336	328	NNS17	なんか大学で、その、なんか、そ、その、資格は、なんか、はくき[↑]、はき[↑]、とか。	/	/
337	329	NS17	簿記、ですか。	/	/
338	330	NNS17	うん。	/	/
339	331	NS17	あ、簿記ですか。	/	/

340	332	NNS17	簿記って、ごめん。	/	/
341	333	NS17	はい、大丈夫です。	/	/
342	334	NNS17	その、簿記なんか、僕の中国の友達も、なんか取ってるみたいんで。	/	/
343	335	NS17	ああ、取ってるみたいですか、ああ、はい。	/	/
344	336	NNS17	それも取るんだと思って。	/	/
345	337	NS17	ああ、そうですね、今簿記も授業やってますんで。	/	/
346	338	NNS17	あ、簿記、そうなんですか。	/	/
347	339	NS17	簿記があると、その、すごく就職に、日本の企業だと有利っていいですね。	ne3	/
348	340	NS17	あの、やっぱ結構その資格持ってるって便利みたいですね。	ne3	/
349	341	NNS17	そうですね、僕理系なんで、その辺よく…。	/	/
350	342	NS17	はは、あんまり、はい。	/	/
351	343	NNS17	簿記とか、会計士の資格[↑]。	/	/
352	344	NS17	あ、はい。	/	/
353	345	NNS17	なんか、周りの人も取るみたいんで。	/	/
354	346	NS17	中国人の友達？。	/	/
355	347	NNS17	そうですね。	ne3	/
356	348	NS17	中国に住んでいる方ですか？。	/	/
357	349	NNS17	いいえ、日本の。	/	/
358	350	NS17	日本の、ああ、文系の…。	/	/
359	351	NNS17	そうですね、文系の。	ne3	/
360	352	NS17	ああ、はいはい。	/	/
361	353	NNS17	なんか。	/	/
362	354	NS17	そうですね、結構その、経済系の学部に住んでるいちおう最高峰の資格がなんか会計士だったりするので、法学だと弁護士なんですけど、経済系だと会計士が多いかなって感じですね。	ne3	/
363	355	NS17	そうですね、会計士のしご、資格取るとかなり、えっと、まあ、職に安定しつけるというか、まあ、そういうメリットがあるんで。	/	/
364	356	NNS17	そうですね。	/	/
365	357	NNS17	日本で、日本にき、きてから、なんか、日本でやっぱりいろんな資格が必要じゃないかと、,	/	/
366	358-1	NS17	ああ。	/	/
367	359	NNS17	あの、ということが、,	/	/
368	358-2	NS17	ということが。	/	/
369	360	NNS17	あの、どこでも資格取らなきゃとか。	/	/
370	358-3	NS17	ふふふ。	/	/

371	361	NNS17	そうですね、向こうに会社に入ったら、また電気士の資格とか。	/	/
372	362	NS17	ああ、電気士、はい。	/	/
373	363	NNS17	あと、できるだけ建築士も取ってほしいなあと言われてまして。	/	/
374	364	NS17	ああ、そうなんです。	ne1	/
375	365	NNS17	そうですね、まあ、いろいろ。	/	/
376	366	NS17	電気関係の、あの。	/	/
377	367	NNS17	そうですね、あと電気関係、建築士の行動とかも、なんかあの、してほしいとか言われちゃうんで。	/	/
378	369	NS17	ああ、ちなみに仕事はどういう関係に付こうと思っているんですか？。	/	/
379	370	NNS17	僕、あの、なんかその、いちおうイメージとしてその会社は IT 系なんですけど、僕やっているのはインフラ系、そのファシリティ、	/	/
380	371-1	NS17	ああ、はいはい。	/	/
381	372	NNS17	なんかやってるんで(はいはい)、うん。	/	/
382	371-2	NS17	そっちの、あの、インフラ関係を…？。	/	/
383	373	NNS17	そうですね、インフラ関係、そう。	ne3	/
384	374	NS17	作るとかじゃなくて、設計とかですか？。	/	/
385	375	NNS17	ああ、作るとか、あと、作ることも多いし、あと、お客さんと直接に話して、	/	/
386	376-1	NS17	ああ、その、話して。	/	/
387	377	NNS17	いちおうコンサルティングもありますし、あの、研究もありますし、よく分かりません。	/	/
388	376-2	NS17	いろいろじゃ、とにかく、その結構インフラの設備を、えっと、いろいろ計画したり、アドバイスもしたり(そうです)、立てたり(そうです)、いろいろ、	/	/
389	378-1	NNS17	そんな感じです。	/	/
390	379	NS17	すごいですね。	ne2	/
391	378-2	NNS17	はい。	/	/
392	380	NS17	本当、生活に必需なものなので、すごいですね。	ne2	/
393	381	NNS17	いえ、とんでもないんで。	/	/
394	382	NS17	いやー。	/	/
395	383	NNS17	あの、あと変化が激しくてその会社内で、社内であのーたまにグループあ、あのーやり直したりとか(ああ)、き、切られたりとか(ああ)その変化も激しくて、	/	/
396	384-1	NS17	ああ、はい、厳しい環境。	/	/
397	385	NNS17	うん、そうですね、うん。	/	/
398	384-2	NS17	でもすごく誇れる仕事…であると思いますね。	ne3	/
399	386	NNS17	そうですね、もし、やりがいがあれば、やりがいがあればなんかまた、うん…。	/	/
400	388	NS17	必要なものがないと僕たちも生きていけないので。	/	/

401	389	NNS17	ああ、そうですね、そうです、その会社で、うん、勉強になることができれば、まあ。	/	/
402	390				

データ 18

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NNS18	じゃあ、まず、自己紹介から。	/	/
2	2	NS18	改めて<笑いながら>。	/	/
3	3	NS18	すいませんね。	ne3	/
4	4	NS18	遅れちゃったんで、改めてえ。	/	/
5	5	NNS18	はい、はい。	/	/
6	6	NS18	あの一、あ、僕、だから、「NS18 の苗字」と申します(はい)。	/	/
7	7	NS18	あの一、院、生、院の、えーと…ドクターの2年<ですかね><{>。	ne3	/
8	8	NNS18	<ドクターの2年目><{> (はい)。	/	/
9	9	NS18	で、歴史をやってまして。	/	/
10	10	NNS18	え、な、何て?。	/	/
11	11	NS18	歴史、歴史。	/	/
12	12	NNS18	歴史。	/	/
13	13	NNS18	あ、専門?。	/	/
14	14	NS18	専門が歴史…で、あの、朝鮮史、韓国・朝鮮(はい)の歴史をやっていると(はい)、そういう感じですね。	ne3	/
15	15	NS18	はい、あの…<笑いながら>。	/	/
16	16	NNS18	僕は「NNS18 の名前」です。	/	/
17	17	NS18	「NNS18 の名前」?。	/	/
18	18	NNS18	「NNS18 の名前」。	/	/
19	19	NNS18	あの、だい…あの、何ていう…あの一、ロシアの(はい)「名前1」っているじゃないですか(はい)。	/	/
20	20	NNS18	で、僕が「NNS18 の名前」です。	/	/
21	21	NS18	「NNS18 の名前」さん。	/	/
22	22	NNS18	「NNS18 の名前」です。	/	/
23	23	NS18	「NNS18 の名前」さん。	/	/
24	24	NNS18	そうです。	/	/
25	25	NS18	あ、「NNS18 の名前」。	/	/
26	26	NNS18	で一、千葉大の、あの、M2 です。	/	/
27	27	NS18	M2?、<あー><{>。	/	/
28	28	NNS18	<マスター><{>、マスター2 年生で。	/	/
29	29	NS18	あ、マスター2 年生、はい。	/	/
30	30	NNS18	はい、で、専門が、えっと…コンピュータービジョン…の研究を。	/	/

31	31	NS18	コンピューター。	/	/
32	32	NNS18	そう。	/	/
33	33	NS18	はあ→。	/	/
34	34	NNS18	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
35	35	NS18	いやいや、全然<じゃあ><【【。	/	/
36	36	NNS18	】】<動画><}&#gt;とか、映像とか、加工の(へえー)研究を<やってるんですけど><}&#gt;。	/	/
37	37	NS18	<画像加工とか><}&#gt;?。	/	/
38	38	NNS18	そうですね。	ne3	/
39	39	NS18	いやあ、そしたら、あれですね、専門の話をしてもちょっと分からないですね。	ne3	/
40	40	NS18	お互いに多分<2人で笑いながら>。	/	/
41	41	NNS18	あ、専門の話はあんまりしたくない<笑いながら>。	/	/
42	42	NS18	ああ、そうか、ははは[軽く笑う]。	/	/
43	43	NS18	日頃やってるから、あんま、別に興味ない?<笑いながら>。	/	/
44	44	NS18	ああ、じゃあ今、修論?、しゅう、<修論ってか><【【。	/	/
45	45	NNS18	】】<しゅう…><}&#gt;、修論って<いうか><【【。	/	/
46	46	NS18	】】<修士け><}&#gt;、ろん…<研究><}&#gt;?。	/	/
47	48	NNS18	<そ、そう><}&#gt;ですね、やっています(はー)。	/	/
48	49	NS18	ど、どうされる?、就職…。	/	/
49	50	NNS18	あ、就職、僕もう決まりました。	/	/
50	51	NS18	あ、おめでとうございます[だんだん小さくなってほとんど聞こえない]。	/	/
51	52	NNS18	ありがとうございました。	/	/
52	53	NS18	にほ、日本ですか。	/	/
53	54	NNS18	日本企業(あ)、IT企業です。	/	/
54	55	NS18	IT企業で。	/	/
55	56	NNS18	はい。	/	/
56	57	NS18	ほう、じゃあもう…、そっか、じゃあもう後は、研究<やって><【【。	/	/
57	58	NNS18	】】<研究つづく><}&#gt;<だけ><}&#gt;。	/	/
58	59	NS18	<あとは卒業して><}&#gt;。	/	/
59	60	NNS18	卒業して、卒業できなければ、どうしようかな、あははは。	/	/
60	61	NS18	卒業できないなんてことあるの?。	/	/
61	62	NNS18	分かんない。	/	/
62	63	NS18	なんかー、ぶ、文系はね、あの、論文出せなかったらアウトなんですけどー(ああ)、あのー、私のとこはねー。	ne3	/
63	64	NS18	理系の人は、その、研究が出せないってあんま、き、聞かないんですけどね。	ne3	/
64	65	NNS18	研究結果が、なんというか、なんか、####で出せるかな(ああ)、ちょっとわかんない	/	/

			いけど。		
65	66	NNS18	<笑い>。	/	/
66	67	NS18	まあでも、基本的にもう後だって、研究だけってことですよ。	yone1	/
67	68	NNS18	はい。	/	/
68	69	NS18	あの一、じゃあもう、ほかは自由だから。	/	/
69	70	NNS18	あ一、そう、ふふふ<笑いながら>。	/	/
70	71	NS18	あ、そりゃあ、いや別に、あの、ははは、もちろんけん、研究もあるわけですけど。	/	/
71	72	NS18	なんか、あれなんですか、あの一…、今はまってることってない、ないんですか?<自由時間の>{<}。	/	/
72	73	NNS18	<あ、僕?>{>}。	/	/
73	74	NS18	はい。	/	/
74	75	NNS18	僕一、特に趣味とか、ないですね。	ne3	e1
75	76	NS18	ないですか。	/	/
76	77	NNS18	つまらない、ふふふ[笑う]、つまらない人間ですけど。	/	/
77	78	NS18	それ言ったら私も飲む、飲むぐらいしか楽しみがないので一、飲みに行くような、あ、私お酒が好きなんでね。	ne3	/
78	79	NNS18	あ、そう。	/	/
79	80	NS18	はい、それぐらいですね。	/	/
80	81	NNS18	あ、酒だったら僕も一、<いけ、いけますよ>{<}。	yo1	/
81	82	NS18	<あ、そうですか>{>}。	/	/
82	83	NNS18	ふふふ[笑う]。	/	/
83	84	NS18	あ、研究室の人たちと?。	/	/
84	85	NNS18	ん一、違います。	/	/
85	86	NNS18	財団という所に住んでいて(はい、はい)、で、財団の人と一緒に。	/	/
86	87	NS18	へえ一、ざ、財団?。	/	/
87	88	NNS18	財団ですね。	ne3	e1
88	89	NS18	財団?。	/	/
89	90	NNS18	そうですね。	ne3	e1
90	91	NS18	え、す、住んでるとこ?。	/	/
91	92-1	NNS18	住んでる…りよ、寮みたいな、	/	/
92	93	NS18	寮みたいな、あ一。	/	/
93	92-2	NNS18	はい、所で。	/	/
94	94-1	NS18	あ、それはなんか、奨、学金っていうか、	/	/
95	95	NNS18	そうですね。	ne5	/
96	94-2	NS18	あれでもらってる、	/	/

97	96	NNS18	<もらって>{<}</td> <td>/</td> <td>/</td>	/	/
98	94-3	NS18	<その人たちが>{<}</td>、留学してる人たちが、	/	/
99	97	NNS18	そうですね。	ne5	/
100	94-4	NS18	住む?。	/	/
101	98	NNS18	はい。	/	/
102	99	NS18	あー、え、どこら辺にあるんですか、千葉?。	/	/
103	100	NNS18	千葉のすぐ、あの、みどりー台駅の近く(はあ)。	/	/
104	101	NS18	みどり台駅の近く?。	/	/
105	102	NNS18	みだりだ、緑町、みどり台駅ですね。	ne3	e1
106	103	NS18	みどり台駅?、あの一、<京成の?>{<}</td>。	/	/
107	104	NNS18	<えっと、OSF>{<}</td>、知ってますか?。	/	/
108	105	NS18	え?。	/	/
109	106	NNS18	OSF。	/	/
110	107	NS18	OSF?。	/	/
111	108	NS18	いやー、俺はちょっと北門側なんで<笑い>、ちょっと分かんない<です>{<}</td>。	/	/
112	109	NNS18	<ちょっと分かんない>{<}</td>。	/	/
113	110	NS18	OSF、へー、あ、そう。	/	/
114	111	NNS18	####[雑音と重なりはつきり聞こえない]。	/	/
115	112	NS18	それは一、あれですか、中国一の人だけじゃなくて?。	/	/
116	113	NNS18	あ、中国、多いです。	/	/
117	114	NS18	中国。	/	/
118	115	NS18	他のでも、あれですか、他の国からの留学生とか、いるんですか。	/	/
119	116	NNS18	うん。	/	/
120	117	NS18	ふーん。	/	/
121	118	NNS18	みんな。	/	/
122	119	NS18	へー。	/	/
123	120	NNS18	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
124	121	NS18	そっちの人<は>{<}</td>。	/	/
125	122	NNS18	<飲むなら>{<}</td>僕もいけるよ、ははは(ははは)。	yo3	/
126	123	NS18	まあ、飲むのはね、まあもちろんお酒飲めないって人もいるからね、あれですけどね。	ne3	/
127	124	NS18	あー、そうですか、じゃあもうー…、じゃあ今は、気楽に(そう)、気楽に?。	/	/
128	125	NS18	しん、進学とか考えなかったんですか、ドクターの方は?。	/	/
129	126	NNS18	[軽く息を吸ってから]いやー、ちょっと…、昔は進学したくて、でも今は経済的な(あー)問題もあって、あと一、自分の能力も(あー)、あんまり…、なんていうの、	/	/

			ドクター進学して卒業できるかなって、ふふふ[笑う]、心配するから。		
130	127	NS18	まあ、あの一、ドクターは、あの、能力うんぬんの前に<笑い>、職がないので<笑いながら>、ははは[笑う]。	/	/
131	128-1	NNS18	僕の知り合いで、なんか一、6年、5年で、その、なんていう、卒業できなくて(はい)、結局一、博士ちゅう、なんていう、,	/	/
132	129	NS18	中途退学、ええ。	/	/
133	128-2	NNS18	ちゅ、なんていう、あれ一、修了だっけ(はい)って形で、卒業じゃなくて。	/	/
134	130	NS18	博士、博士論文ってか、あれが書けなかったってことですよ。	yone1	/
135	131	NNS18	そうですね。	ne5	/
136	132	NS18	ええ。	/	/
137	133	NNS18	足りないから。	/	/
138	134	NS18	は一[ため息をつくように]、それもありますし、書いたところで、ははは[軽く笑う]、就職ができないっていう<笑いながら>。	/	/
139	135	NNS18	あ一、そう。	/	/
140	136	NS18	そうなんですよ。	yone1	/
141	137	NS18	あの一、だからはい(はい)、あの、はい、それは<二人で笑う>、別に。	/	/
142	138	NNS18	まあ、勉強、勉強はとりあえず【【。	/	/
143	139	NS18	】】まあまあ、置いといて、<仕事><【【。	/	/
144	140	NNS18	】】<仕事して><【、(あ一)もしまた勉強したかったら(ああ、まあそうですね)、社会人ドクターとか。	/	/
145	142	NS18	確かにそうですね、社会人で今、通えますもんね。	ne4	/
146	143	NNS18	ふん。	/	/
147	144	NS18	へえ一、<ITか><【。	/	/
148	145	NNS18	<い、今><【2年、今2年生?。	/	/
149	146	NS18	あ、今2年生です。	/	/
150	147	NNS18	え、就活は?。	/	/
151	148	NS18	就活はしてないですね↓。	ne3	/
152	149	NNS18	なんか、博士の就活時期はちょっと違うんですか?。	/	/
153	150-1	NS18	はい、まあ、僕は、就職ってよりは、どちらかって言うと研究の<ほうを><【,,	/	/
154	151	NNS18	<研究をやり><【。	/	/
155	150-2	NS18	やりたいんで。	/	/
156	152	NNS18	千葉大の研究<を><【。	/	/
157	153	NS18	<いや><【、ま、千葉大一<笑い>)じゃなくてもいいんですけど、研究、ができるんならあれですけども。	/	/
158	154	NS18	まあ、まずはちょっと、あれですね、あの一、論文をもっと、書いて、博士論文を	ne3	/

			ちょっと(はい)、出す準備を。		
159	155	NS18	あの、3年なんですけど、3年で出された人間はいないので。	/	/
160	156	NNS18	あ、そう。	/	/
161	157	NS18	私の分野では(うん)、3年で出せたら超天才か、超バカかですね。	ne3	/
162	158-1	NNS18	いや、でも,,	/	/
163	159	NS18	どっちかですね。	ne3	/
164	158-2	NNS18	まあ、信じるしかない、出来る。	/	/
165	160	NS18	ははは(ははは)〈二人で笑う〉。	/	/
166	161	NS18	まあまあ、確かにね、3年でやるつもりでは、いなきやいけないんだけど、あのね、後回しにしてね、お酒ばかり飲んでてもしょうがないんですけど。	/	/
167	162	NNS18	〈笑い〉いや、お酒飲むは、その一、ストレスの解放(あー、そうそう)の〈ために〉〈〉。	/	/
168	163	NS18	〈それはそうなんですけど〉〈〉、あな一、[息を吸う]ちょっと私の場合はストレス解消以上の、〈二人で笑う〉お酒の量をちょっとしてまして、最近ちょっと不安なんですけどね。	/	/
169	164	NNS18	は一。	/	/
170	165	NS18	あ↓そんな感じ=。	/	/
171	166-1	NS18	=いや、だから、やっぱりその就職、[息を吸う]うーん、しゅう、あの一…、なんていうか、り、理系のってか、り、文系理系じゃないんですけど、あの、結構、あの一、マスター行って、私の学問の方は(うん)、逆に文学、文学部の4年生で卒業したら普通、就職がほとんどだから(うーん)、あんまりその、マスターまで,,	/	/
172	167	NNS18	行かないの。	/	/
173	166-2	NS18	行かないし、マスターで就職って人も、もちろんいるんですけど、例えば先生になる人なんか、学校の先生になる人が(うん)、あの、マスターまで行って、学位取って行くってのは聞くんですけど(うーん)。	/	/
174	168-1	NS18	なんか、い…、そのIT企業とか、やっぱりだから理系の人は結構ねくマスターまで行って〉〈〉,,	/	/
175	169	NNS18	〈マスターは一般ですね〉〈〉。	ne5	/
176	168-2	NS18	研究所とかね、いろいろ(そうですね)、就職するってのは多たって聞いたから、まあ全然違うなあと思ってたんですけどね(うん)、でもねー↓。	ne3	/
177	170	NS18	いやだから逆に、やっぱり、どうなんだろうと思って、だから、マス、やっぱりその就職決まったらもう、あの絶対あそ、遊びたくなる。	/	/
178	171	NNS18	ははは(ははは)、違います、違います、はは。	/	/
179	172	NS18	でも、だって修士出るには、あれじゃないですか、研究もね、しなきゃいけないから。	/	/
180	173	NNS18	いろいろ条件がありますから。	/	/

181	174	NS18	つらくないかなと思って、ははは[笑う]、それが。	/	/
182	175	NS18	就職決まったら絶対俺、俺だったら遊んじゃいそうですけどね。	ne3	/
183	176	NNS18	ははは[笑う]、遊び放題じゃないよ、ははは。	yo1	/
184	177	NS18	でなんか、学部の時は、まだ卒論だから、ちょっとあれじゃないですか、ゆるいつて言うかね、まあ、まだレベルがそんなね、高くなくても。	/	/
185	179	NNS18	そうですね、出せば認め、る…、(はい)認めてくれるけど。	/	/
186	180	NS18	ちょ、ちょっとマスターの場合はね。	ne4	/
187	181	NNS18	マスターはちょっと質…が(はい)。	/	/
188	182	NS18	だから、ね、遊びほうけてて、なんか、ね、パパッとやったのを出したらちょっとまずい気もするし。	/	/
189	183	NNS18	そうですね。	ne5	/
190	184	NS18	だからなんか、結構、ど、ど、今だからね、就職決まって何やってるんだろうってちょっと興味が、ははは(ははは)<2人で笑う>。	/	/
191	185	NS18	すいませんね。	ne3	/
192	186	NS18	なんか余計なあれ聞いちゃってあれなんですけど。	/	/
193	187	NS18	《少し間》いや、なかなかそういうちょっとね(うん)、状況が、ないんで、何やられてるのかなってちょっと聞いてみたかったんですけど<笑いながら>。	/	/
194	188	NNS18	ははは[笑う]。	/	/
195	189	NS18	<笑いながら>まあ特に、やってない。	/	/
196	190	NS18	はあ、まあ、あ、そうですね、じゃあ、結構あれなん、あの一、あれですか、学科の人とかと遊びに行ったりしないんですか、学科とか、研究室の人とか。	/	/
197	191	NNS18	学会ですか?。	/	/
198	192	NS18	学会って言うか、あの、けんきゅ、けんきゅ、研究室所属じゃないんですか?。	/	/
199	193	NNS18	あ、研究室、そうですね。	ne3	e1
200	194	NS18	研究室の人と、遊びに行ったりとかってしないんですか?。	/	/
201	195	NNS18	あー、それは、たまに行く。	/	/
202	196	NS18	たまに行くぐらい。	/	/
203	197	NNS18	うーん。	/	/
204	198	NS18	<あんまり>{<}</>。	/	/
205	199	NNS18	<研究室>{<}</>のメンバー、あんまり酒飲めない。	/	/
206	200	NS18	あー、そうなんですか。	/	/
207	201	NNS18	<笑いながら>先生は飲めるけど。	/	/
208	202	NS18	何人ぐらいいるんですか、研究室のメンバー。	/	/
209	203	NNS18	えーとね、M2が…、博士はいない。	/	/
210	204	NS18	博士いない、はあ。	/	/

211	205	NNS18	M2 が 4 人で…、えっと 9 人いる。	/	/
212	206	NS18	9 人。	/	/
213	207	NNS18	はい。	/	/
214	208	NS18	マスターだけで?。	/	/
215	209-1	NNS18	マスター、〈いや〉{<},,	/	/
216	210	NS18	〈学部?〉{>}。	/	/
217	209-2	NNS18	マスター、学部含めて。	/	/
218	211	NS18	含めて 9 人、ふーん。	/	/
219	212	NNS18	B4 も含めて。	/	/
220	213	NS18	ああ、9 人か。	/	/
221	214	NNS18	で、あんまりなんか、真面目…、なんていう、真面目雰囲気であんまり酒飲まない、ふふふ[軽く笑う]。	/	/
222	215	NS18	へー。	/	/
223	216	NNS18	分かんないけど、真面目でもー(うん、うん)。	/	/
224	217	NS18	まあ、真面目でもね。	ne4	/
225	218	NNS18	ねえ、でも飲むよね。	yone3	/
226	219	NS18	〈二人の笑い〉。	/	/
227	220	NNS18	ちょっと、〈分かんないけど〉{<}。	/	/
228	221	NS18	〈あんまり人柄が〉{>} 見えないじゃないですか。	/	/
229	222	NS18	あ、じゃあ、全体的にはあんまりそんな、飲む感じじゃ・・・ (そうですね)、飲んでるって感じじゃない。	/	/
230	223	NNS18	そうですね、うん。	ne5	/
231	226	NS18	ちょっとじゃあ、物足りないですか(うん)。	/	/
232	227	NNS18	でも先生は、二人いる(うんうん)。	/	/
233	228	NNS18	で、二人、量飲める人、ですよ。	中間	b
234	229	NS18	じゃあ先生を誘って行くわけには。	/	/
235	230	NNS18	いやー…、そんな、ふふふ[軽く笑う]。	/	/
236	231	NS18	そんな感じでもない。	/	/
237	232	NNS18	ふふふ[笑う]。	/	/
238	233	NS18	あ、そうなんですか。	/	/
239	234	NS18	え、やっぱりあれなんですか、あの一、当然こん、CG とかですよ。	yone3	/
240	235	NS18	コンピューター。	/	/
241	236	NNS18	うん、コンピューター理論。	/	/
242	237	NS18	ってことは、なんかパソコンみんな、一台あって、〈###研究室に〉{<}。	/	/
243	239	NNS18	〈あ一、そうですね〉{>}、何台も、行列、あの、なんていう、並列計算で、何台も(へ	/	/

			一)、取り組んで。		
244	240	NS18	まずちょっと並列計算ってのが二人の笑い、わかんないんですけど、何台かあつて(はい)、じゃあ【【。	/	/
245	241	NNS18	】】で、一つのプログラムを、ま、同時に全部走らせる。	/	/
246	242	NS18	へえー。	/	/
247	243	NNS18	CPU がたくさんある、ふふふ[軽く笑う]。	/	/
248	244	NS18	同時に?。	/	/
249	245	NNS18	同時に。	/	/
250	246	NS18	何台も?。	/	/
251	247	NNS18	何台も、ふふふ[笑う]。	/	/
252	248	NS18	そもそも一台しか使ったことないから二人の笑い、二台使うなんてことないんで。	/	/
253	249	NS18	あ、そう、へー。	/	/
254	250	NS18	え、じゃあ、そこに行かないとできないんですか、研究は?。	/	/
255	251	NS18	自分のコンピューターじゃ【【。	/	/
256	252	NNS18	】】自分のコンピューターだと…《少し間》、弱いですね。	ne3	e1
257	253	NS18	あー、ちょっと計算する力とかが。	/	/
258	254	NNS18	そう、だから一つの計算だと、大体一時間は、少ないでも一時間で(ああ)、長ければ一週間とか(ああ、なんだー)《少し間》、なっちゃうんですよ。	yo2	e2
259	255	NS18	あ、なるんだ(うん)。	/	/
260	256	NNS18	で、自分のパソコンだと、もう熱が、暴走して(あー)、壊れるから。	/	/
261	257	NS18	ああ、じゃあちょっと、とてもそんなあれは、できないね。	ne4	/
262		NNS18	そうですね。	ne5	/
263	259-1	NNS18	で、自分のパソコンだと、その、コードだけを書いて、そのコードを、あの一、サーバーに,,	/	/
264	260-1	NS18	あ、持ってって、<実験するみたいな>{<},,	/	/
265	259-2	NNS18	<持ってって>{>}。	/	/
266	260-2	NS18	試してみたいな。	/	/
267	261	NNS18	はい。	/	/
268	262	NS18	はあー、じゃあ、やっぱ研究室行かないとできない?。	/	/
269	263	NNS18	できないですね。	ne3	e1
270	264	NS18	結構じゃあ、一日、中いるんですか、研究室に。	/	/
271	265	NNS18	うん、行って、行って、で、さ、あのなんていう、その…、プログラムを(うん)走る間に(うん)、その、自分が予想してる結果を、自分がデボットを書いて(うん)、で、結果もらえて、結果、できたらそれを見て、あの、合ってるか、予想合ってる	/	/

			か(あー)、で、見直す。		
272	266	NNS18	で(へー)、そういう作業で、その、走ってるの間に、自分が作業するから、ふふふ [笑う]。	/	/
273	267	NS18	え、そうなの、なんか。	/	/
274	268	NNS18	常に、忙しいですよ、ふふふ[笑う]。	yo3	/
275	269	NS18	常に忙しいですね、待ってる間【【。	ne5	/
276	270	NNS18	】で、まっ、で、結果が違ったら、あ、どこまで違った、ってまた、コードを修 正して、またもう一回走る(へえー)、走らせるっていうのを。	/	/
277	271	NS18	すごいな。	/	/
278	272	NS18	あ、だからコードを書くっていうのは(うん)、プログラムを作るっていう、そうい う感じくなのかな>{<}。	/	/
279	273	NNS18	<そうですね>{<}。	/	/
280	274	NS18	へえー。	/	/
281	275	NNS18	コードを書くは、その、最終的な段階は、コードを書く(うんうん)。	/	/
282	276-1	NNS18	で、その前の段階は、あ、どうやってそのアルゴ??、アルゴ、<アルゴリズムを>{<},,	/	/
283	277	NS18	<アルゴリズム>{<}。	/	/
284	276-2	NNS18	書いて、その性能、精度を上げるための、どうやってその部分、どの部分が変わる かを考えて、ふふふ[笑う]。	/	/
285	278	NNS18	で、やる。	/	/
286	279	NS18	<ちょっとすごいですね>{<}。	ne2	/
287	280	NNS18	<なんかね>{<}、細かい細かい作業で、大変です。	/	/
288	281	NNS18	ま、どの研究でも大変ですけど(うん)、<軽い笑い>自分の感じ、自分の研究の、自 分のやり方は(あー)、ちょっと多分賢いじゃないけど。	/	/
289	282	NNS18	もっと、あの一、賢いのやり方は、多分リモートせ、リモートで、じ、家でやって、 で、コードをサーバーを、で、あの一…、ま送信して(うんうんうん)、で結果がメ ールに(ほうほうほう)届くって(ほうほうほう)、で、家でもできる。	/	/
290	283	NS18	あ、<家でずっとやってる>{<}。	/	/
291	284	NNS18	<のもできるけど>{<}、自分がそういうやり方はできないから。	/	/
292	285	NS18	いやー、<それはもう>{<}。	/	/
293	286	NNS18	<一日>{<}。	/	/
294	287	NS18	まあまあ、家帰ったら、家帰ったらゆっくりすりゃいいんだよ。	yo1	/
295	288	NNS18	ははは。	/	/
296	289	NS18	研究室いる間は真面目にやって、ということですよ。	yone2	/
297	290	NNS18	そうですね。	ne5	/
298	291	NS18	家帰ったら、もう後は、飲む二人の笑い。	/	/

299	292	NNS18	え、そんな飲んでるんですか<二人の笑い>、へー(うん)。	/	/
300	293	NS18	あ、じゃあ研究室いる間はもう、じゃあもう、はじめ、やっぱりずっと。	/	/
301	294	NNS18	そうですね。	ne5	/
302	295	NS18	なんか、結構、あの、僕北門の方なんですけど、北門ってあっちの方なんですけど。	/	/
303	296	NNS18	はい。	/	/
304	297	NS18	なんかあの一、あっちの方、理系の理工学部とかの多分研究室があるから(あー)、 なんか結構夜遅くまで残って<やってるみたい>{<}。	/	/
305	298	NNS18	<ああ>{<}、そうですね。	ne5	/
306	299	NS18	あの一、実験がなんか深夜までかかるとかって聞いたんですけど。	/	/
307	300	NNS18	そうですね。	ne5	/
308	301	NS18	そういうのは、別に特にない、ですか?、その、あの深夜まで<かかるとか>{<}。	/	/
309	302	NNS18	<あー、あるある>{<}。	/	/
310	303	NS18	あ、それもあるんですか。	/	/
311	304	NNS18	最近は、増える。	/	/
312	305	NNS18	もう、家、なんていう、研究室出て、もう、<笑いながら>誰もいない、ふふふ[軽く笑う](はー)。	/	/
313	306	NNS18	学校、多分学校一番残れたなって、<笑いながら>感じで(へー)、誰もいなかった。	/	/
314	307	NS18	誰もいない、もうほんとに。	/	/
315	308	NNS18	多分電気がついてるの、たまについてる、研究室もあるから。	/	/
316	309	NS18	え、じゃあもう、ほんとと真夜中までやって。	/	/
317	310	NNS18	うん、やってる(はー)。	/	/
318	311	NNS18	もう、その一、もう作業で、もう時間、夢中になって(うん)、もう時間とか関係なく。	/	/
319	312	NS18	あ、もう気が付いたらみたいな。	/	/
320	313	NNS18	き、そうそうそう、早い。	/	/
321	314	NS18	基本的にだから、何時までいるなんて別にないから(ないない)、もう自分で進めて<{<}。	/	/
322	315	NNS18	<作業終わって>{<}、あ、今日、今日もうこ、まあ、結構進んだかなって(うんうんうん)。	/	/
323	316	NNS18	で、後今日は、ミスあって、で、どうしても頭回転がもう、遅くなったから、どうしてもミスが(あーあー)、どこにあるか、バックが見つけないので、とりあえず帰って寝て明日。	/	/
324	317	NS18	あ、もう今日はもう、ちょっと疲れてもう集中力、ね(そうそう)、切れてなくなったから、もう明日にしようって。	/	/
325	318-1	NNS18	そういう、そういう時は、ちょっと、まあ、	/	/

326	319	NS18	リセットして。	/	/
327	318-2	NNS18	ストップして、帰る。	/	/
328	320	NNS18	そうしないは、ちょっとね、ふふふ[軽く笑う]。	/	/
329	321	NS18	あー、なんかちょっと全然想像がつかないですけどね。	ne2	/
330	322	NS18	いや、でもなんか面白いですね。	ne2	/
331	323	NS18	あ、面白いって、大変だと思うんですけど。	/	/
332	324	NNS18	<二人の笑い>。	/	/
333	325	NS18	あの一、知らないね、全くあれだから、分からないですから、逆に(うん)。	/	/
334	326	NS18	はあ、最終的に、じゃあもう、目標みたいなやつばなんか、あれなんですか、一つそういう…なんか、プログラムみたいな、ん?、ど、どうなんですかね、<その、研究とかって><{>。	ne3	/
335	327	NNS18	<あー、そうだね><{>、なんかね、最終的に…、なんか、アプリケーションの作りたいから(うん)。	/	/
336	328	NNS18	今は、基盤作る。	/	/
337	329	NNS18	その基盤が出来たら、アプリケーション化して、まあなにか、面白い形にしようかなと思って。	/	/
338	330	NS18	へー、自分でアプリケーション作っちゃう?。	/	/
339	331	NNS18	ふふふ[軽く笑う]、自分は多分できないけど、そういう、まあ、ウィンドウズのアプリケーションみたいな、できたらいいなって、へへへ[笑う](へー)。	/	/
340	332	NS18	あれなんですか、就職したら、やっぱりそういう<あれなんですか、システム><{>?。	/	/
341	333	NNS18	<あ、でも、そういう><{>ところは、全く関係ない所に行くんですけど。	/	/
342	334	NS18	あ、あ、そうなんですか。	/	/
343	335	NNS18	コンピュータービジョンのところをやって(うん)、でも就職の所は、その、ウェブ業界なので(あー)。	/	/
344	336	NS18	ウェブの作成とか、<関連みたいな><{>。	/	/
345	337	NNS18	<ウェブの><{>、作成は多分なくて、ウェブの構築とか(へー)、データベースの、ところを。	/	/
346	338	NS18	あ、データベースね。	ne1	/
347	340	NNS18	そうですね、なんか、どうやってデータベースを、の構造を(うん)、なんていう、いかに…良くなって(うん)、検索速くなるっていうのを(はあはあはあ)。	/	/
348	341	NNS18	検索が遅いのは(うん)、データベースの構造が悪いから(うんうんうん)。	/	/
349	342	NS18	イライラしますもんね。	ne4	/
350	343	NNS18	そうそう。	/	/
351	344	NS18	いや、データベースは、我々も使いますけど。	/	/
352	345	NS18	<ああいうあれなのか><{>。	/	/

353	346	NNS18	<まあ、あんまり>{>}、最初はあんまり興味なくて(うん)、でもね…、うん、やったら多分面白いかなって、へへへ[軽く笑う](ふーん)、信じてやる、ふふふ[笑う]。	/	/
354	347	NS18	ど、どこにある、会社、なんですか。	/	/
355	348	NNS18	会社は東京。	/	/
356	349	NS18	東京。	/	/
357	350	NNS18	そうです、神谷町(神谷町)駅にある、IT 企業。	/	/
358	351	NNS18	あんまり大きくない、中小企業だけど(ああ)。	/	/
359	352	NS18	じゃあ、あの一、卒業したらもう引越して…。	/	/
360	353	NNS18	そうですね、はい。	ne5	/
361	354	NS18	はあ、東京暮らしですか。	/	/
362	355	NNS18	都会から、多分。	/	/
363	356	NS18	<二人の笑い>。	/	/
364	357	NNS18	まあ、<都内、都内は、ちょっと>{<}。	/	/
365	358	NS18	<千葉、千葉から>{>}通うってわけにはね、もう、学生終わったらね、寮に暮らす。	/	/
366	359	NNS18	そうです。	/	/
367	360	NS18	あ、あれ、えっと、院からですか、とうきよ、日本に来たのは。	/	/
368	361	NS18	あの、学部から？。	/	/
369	362	NNS18	あ、僕はもう…、うーん、なんていうね一、学部一も、学部からですね。	ne3	e1
370	363	NS18	学部から、千葉大に。	/	/
371	364	NNS18	日本語学校で、理学部から、そうですね、入った。	/	/
372	365	NS18	で、千葉大の理学部に入って。	/	/
373	366	NNS18	はい。	/	/
374	367	NS18	あ一、じゃあもう、ずいぶん長、らく、日本に。	/	/
375	368	NNS18	そうですね、ふふふ[笑う]。	ne3	/
376	369	NS18	ろ、5、6年以上ぐらい。	/	/
377	370	NNS18	以上ですね、はい。	ne3	/
378	371-1	NS18	あ一、そのもう、ほんとに日本語がもう、,	/	/
379	372	NNS18	いや、ふふふ[笑う]。	/	/
380	371-2	NS18	いえ、ほんとに。	/	/
381	373	NS18	ああ、そうですか6年、長いですね。	ne2	/
382	374	NS18	結構じゃあ、あの、でもまあもちろん夏とか、あの一、旧正月でしたっけ、中国の方、あの、かえ、帰られたり？。	/	/
383	375	NNS18	2年に一回ですね。	ne3	e1
384	376	NS18	2年に一回。	/	/
385	377	NNS18	そうです。	/	/

386	378	NS18	もうー、<まあ>{<} 【 【。	/	/
387	379	NNS18	】】 <そんなに>{>} 金ない。	/	/
388	380	NS18	お金ー、そうですね、かかりますもんね。	ne4	/
389	381	NNS18	帰ってもあんまりやることないから。	/	/
390	382	NS18	<二人で笑う>。	/	/
391	383	NNS18	<笑いながら>つまらないので、あー、日本戻りたーいって感じ(ああ)。	/	/
392	384	NS18	やっぱり、もうなんか、6年も離れて暮らしてるとー、なんか、ははは[笑う]。	/	/
393	385	NNS18	そのー、日本の気候も慣れちゃったからね。	ne3	/
394	386	NS18	おお。	/	/
395	387	NNS18	動いたら暑いから。	/	/
396	388	NS18	動いたら暑い、ん、<どっち>{<}。	/	/
397	389	NNS18	<ベトナム>{>} 行ったことありますか。	/	/
398	390	NS18	ベトナム…は、ないですね。	ne3	/
399	391	NS18	<ベトナム…>{<} 【 【。	/	/
400	392	NNS18	】】 <ない>{>}、どこかに行ったことはある?、<海外>{<}。	/	/
401	393	NS18	<あの>{>}、シンガポールはある。	/	/
402	394	NNS18	シンガポール。	/	/
403	395	NS18	シンガポールとか…、あの、まあ、もちろん韓国もありますし。	/	/
404	396	NNS18	が、学会で?。	/	/
405	397	NS18	あ、学会で、学会、では韓国ですかね。	/	/
406	398	NNS18	学会、シンガポールは、旅行?。	/	/
407	399	NS18	シンガポールは旅行です。	/	/
408	400	NNS18	ははは(ははは)いいね。	ne2	/
409	401	NNS18	シンガポールは行ったこと<ない>{<}。	/	/
410	402-1	NS18	<いや>{>} あの一、ち、ほんと小さい時ですけどね、えー、あの一、なんか住んでる方が、呼んでもらって、	/	/
411	403	NNS18	ああー。	/	/
412	402-2	NS18	シンガポール…、行ったんですけど、いや、面白かったんですけど。	/	/
413	404-1	NS18	でも、まあまあ、ベトナムもね、またね、	/	/
414	405	NNS18	ベトナム 【 【。	/	/
415	404-2	NS18	】】 また違う、[息を吸う]あ、ベトナムって、どちら?。	/	/
416	406	NNS18	僕、ハノイの。	/	/
417	407	NS18	ハノイ。	/	/
418	408	NNS18	北の方です。	/	/
419	409	NS18	北の方。	/	/

420	410-1	NS18	は一、いやだから、ベトナム一、の、あの一、やっぱり歴史とか、あの一ちょっといろいろ(あ一)、僕はまああの、朝鮮の<###なんですけど>{<,、	/	/
421	411	NNS18	<歴史の勉強>{>?。	/	/
422	410-2	NS18	歴史の勉強の時には、あの(はい),,	/	/
423	412	NNS18	せか、世界の歴史?。	/	/
424	410-3	NS18	世界…、あの、ベトナム, って昔、あの一,,	/	/
425	413	NNS18	戦争…ですね。	ne3	/
426	410-4	NS18	まあまあ、ベトナム戦争ね(<笑い>), もう有名なんですけど、ひどいね。	ne4	/
427	414	NNS18	<笑いながら>ひどい。	/	/
428	415-1	NS18	あの一,,	/	/
429	416	NNS18	もう笑いの話じゃないけど、ふふふ[笑う]。	/	/
430	415-2	NS18	ははは[笑う], もうベトナム, そうですね、ベトナム…[息を吸う]。	ne5	/
431	417	NS18	あの一、僕は実はあの一、おじいちゃんが、あれなんですよ。	yo2	/
432	418	NS18	あの一…、戦争<していたときに>{>【【。	/	/
433	419	NNS18	】】<あ、参加?>{>, 参加したんですか?。	/	/
434	420	NS18	あ一、いやいや、あの、えーと、ベトナム戦争じゃなくて、あの、太平洋戦争です、第二次(あ一)、WW2の時に、あの、ベトナムにね、侵略、日本が侵略した時に、あれなんですよ。	yo2	/
435	421	NS18	ベトナムの、あの一…、で最後(は一)、敗戦を迎えたんですよ(はいはいはい)=。	/	/
436	422	NS18	=あの、ひこ、飛行機の、整備、整備士でね(うんうん、はいはいはい)=。	/	/
437	423	NS18	=だからベトナムで、あの、フィリピンでは死にかけて。	/	/
438	424	NNS18	ふふふ[軽く笑う]。	/	/
439	425	NS18	いやいや、ほんとに、あのフィリピンはさ、アメリカ軍が攻めてきたから死にかけて、でベトナム、なんかベトナムに移ったらしいんですよ=。	yo2	/
440	426	NS18	=そしたらなんか、ベトナムは【【。	/	/
441	427	NNS18	】】ベトナム, 前にはフィリピンに?。	/	/
442	428	NS18	フィリピンにいて。	/	/
443	429	NNS18	攻めた?。	/	/
444	430	NS18	攻められて、でアメリカに攻められて。	/	/
445	431	NNS18	え、そうなの?。	/	/
446	432-1	NS18	に、逃げたっていうか、その、ベトナムの方がまだアメリカ軍が攻めてなかった、来なかったんで,,	/	/
447	433	NNS18	あ、そう。	/	/
448	432-2	NS18	逃げて、最後、ベトナムで…、な、なんていうか。	/	/
449	434	NNS18	え、なんで、フィリピンに、あの、駆られたんですか?。	/	/

450	435	NS18	あ、あの、それはもう、あの最初っからずっと南のあっちの、あの、太平、あの…、フィリピンよりさらに南の、なんていうか、インドネシアとか(ふーん)、あっちの方で戦ってて。	/	/
451	436	NS18	で、フィリピン、だからどんどんどん攻められて撤退するわけじゃないですか、アメリカ軍に、日本が(ふーん)。	/	/
452	437	NS18	で、フィリピンで、最後、あの一、ベトナムまで移ったんですよ、ギリギリのところまで。	yo3	/
453	438	NS18	くっという…あの、それもちょっと、あんまり、ははは{<}。	/	/
454	439	NNS18	<僕知らなかった、知らなかったので、面白かったよね、面白いね>{>}。	ne2	/
455	440	NS18	あの一、今、あの一、そうなんですよ、だからベトナムで、最後(へー)、いき、生き延びたというか、まあね、あれね。	/	/
456	441	NS18	だからまあ、ちょっと、つながりというと、それぐらいしかないんですけど<笑いながら>。	/	/
457	442	NS18	いや、でもなんか、あれみたいですよ。	yo2	/
458	443	NS18	あの一、ラッキーだった、その人、おじいちゃん。	/	/
459	444	NS18	まあもう、亡くなっちゃったんですけどね、このおじいちゃん。	/	/
460	445	NS18	ベトナムね、あの、フィリピンだったら、ちょっと、あの、ね、ほんと、ひ、戦闘が激しかったから(うん)。	/	/
461	446	NS18	ま、ベトナムはね、そのあと、今度はね、やっぱりあの一、独立戦争のね(うん)、あれがありますからね。	/	/
462	447	NS18	[息を吸う]だから一回ちょっと、ベトナムとかもね、やっぱ行きたい、など思ってるんですけど、なかなか機会がない<二人の軽い笑い>。	/	/
463	448	NS18	で研究する、地域でもないから、ははは[軽く笑う](そう)、なかなか機会がないと、あれなんです、あの一、僕はまだちょっとそうですよね、あの一…、まあ、シェウさんのね、あの、中国もまだ行ったことない、ベトナムも行ったことないし、ちょっと、[息を吸う]、うーん、行きたいなど思ってるんですけどね<笑い>。	ne3	/
464	449	NS18	金がね、<お金がないから>{<}。	/	/
465	451-1	NNS18	<そうですね>{>}、まずお金はね、	/	/
466	452	NS18	まずはお金がないと。	/	/
467	451-2	NNS18	お金がないとね。	ne5	/
468	453-1	NS18	今、だって、直行便とか出てるわけ、じゃない、だって、<あの一>{<},,	/	/
469	454	NNS18	<ありますね>{>}。	ne5	/
470	453-2	NS18	<成田とかから>{<}。	/	/
471	455	NNS18	<成田から>{>}、成田から。	/	/
472	456	NS18	ハノイ、ハノイまで、何時間ぐらいですか?。	/	/

473	457	NNS18	5時間、4時間半ぐらい、5時間。	/	/
474	458	NS18	4時間半、5時間、はあ。	/	/
475	459	NS18	結構、ベト、ベトナム、北と南でやっぱ違うんですか?、あの、ホーチミンと。	/	/
476	460	NNS18	あー、結構、うん、文化とか…なんかね、考え方がちょっと、違う。	/	/
477	461	NS18	あ、違います?、やっぱり、南と。	/	/
478	463	NNS18	うん、そうですね、<昔、分かれかけたからね>{<}。	ne3	/
479	464	NS18	<まあまあ、そうですね、###昔の>{>}。	ne5	/
480	465	NNS18	そういう理解からも、<違ってくる>{<}。	/	/
481	467	NS18	<別の国>{>}でね、だって、別の国っていうか、別の国にさせられたというか、まあ難しいんだけども(うん)。	/	/
482	468	NS18	やっぱり、言葉なんかもね、違ったり?。	/	/
483	469	NNS18	言葉はま、まあ、近い。	/	/
484	470	NNS18	近いけど、その考え方が、多分お金の使い方が、ちょっと違う。	/	/
485	471	NS18	そうなんですか(うん)、南の人と。	/	/
486	472	NNS18	<少し笑いながら>でも、みな、南の人、の人はね、なんか、じ、じゆ、10 ドンあって(うん)、その10 ドン、全部使ってる。	/	/
487	473	NS18	ああ、結構お金は、派手に使っちゃう感じ?。	/	/
488	474	NNS18	そう、北の方はあんまり使わなくて、節約っていうの。	/	/
489	475	NS18	あー(笑い)、こつこつこつこつ?。	/	/
490	476	NNS18	そう、だから北の方が、なんか、日本と同じ感じで(へー)、あの、みな、南の方は、アメリカ風、ふふふ[笑う](あー)。	/	/
491	477	NNS18	どんどん使ってる、みたいな。	/	/
492	478	NS18	豪快なー、使い方。	/	/
493	479	NNS18	そう、豪快な使い方。	/	/
494	480	NS18	へー。	/	/
495	481	NNS18	そう、使い方が、荒いって言うの、ふふふ[軽く笑う]。	/	/
496	483	NS18	北と南ねえ、[息を吸う]いやあ、ま、もちろんどっちも行ったことないんですけど、ま、気候なんかも違うの?(うーん)、あ、まあ、気候。	/	/
497	484	NNS18	気候は、まあ、<違う>{<}。	/	/
498	485	NS18	<どうなんですかね>{>} (うーん)、北の方は。	ne3	/
499	487	NNS18	み、北の方は、日本と同じで、あの季節が4つ分けて(うん)、で、南の方がずっと暑い。	/	/
500	488	NS18	ずっと暑い。	/	/
501	489	NNS18	うん。	/	/
502	490	NS18	あー。	/	/

538	526	NNS18	いや、降らない。	/	/
539	527	NS18	雪は降らないけど。	/	/
540	528-1	NNS18	降らないけど,,	/	/
541	529	NS18	寒い。	/	/
542	528-2	NNS18	寒い。	/	/
543	530	NS18	何度ぐらいですか、5度、5度とか?。	/	/
544	531	NNS18	いや、5度はいかない。	/	/
545	532-1	NNS18	やっぱ10何度だけど,,	/	/
546	533	NS18	えー、そ、それはちよっと、〈笑い〉{<}	/	/
547	532-2	NNS18	<い、いや、違うよ>{>}。	yo1	/
548	534	NNS18	15度だけど、その寒さが違うよ。	yo1	/
549	535	NS18	寒さが違う↑〈軽く笑いながら〉。	/	/
550	536	NNS18	そう、だから、温度、関係ないですよ。	yo1	/
551	537	NS18	うん。	/	/
552	538	NNS18	だから、ロシアみたい(うん)【【。	/	/
553	539	NS18	】】あー、ああいう寒さじゃなくて、あー。	/	/
554	540	NNS18	寒さじゃない。	/	/
555	541	NNS18	なんていう、温度で関係なく…、でしょ?。	/	/
556	542	NS18	なるほど。	/	/
557	543	NNS18	うん、その寒さが、すごいじゃん(あー)。	/	/
558	544	NNS18	ロシ、モンゴルは、マイナス4、マイナス何十度とかなるじゃない(あーあー)。	/	/
559	545	NS18	ああいう寒さじゃないけど(うん)、寒い(うん)。	/	/

データ 19

行	発話文 番号	話者	発 話 内 容	機能	中間 言語
1	1	NS19	ふふ[軽く笑いなら]、ちょっと携帯切っときます。	/	/
2	2	NNS19	ふふふ。	/	/
3	3	NS19	えーっと、じゃあどうしましょうか。	/	/
4	4	NS19	まず、(ああ)どんな研究の内容って、あ、あ、「NS3 の苗字」です。	/	/
5	5	NNS19	「NNS3 の下の名前」です。	/	/
6	6	NS19	ふふ[軽く笑う]、研究について、何か、じゃあ、今研究なさっている内容を教えてもらってもいいですか?。	/	/
7	7	NNS19	うーんと、私はえっと政策ですけれども。	/	/
8	8	NS19	はい、せ、せ?。	/	/
9	9	NNS19	せ、い、さ、く。	/	/
10	10	NS19	政策。	/	/
11	11	NNS19	はい(はい)。	/	/
12	12	NNS19	あの一、ですけれど、まあ…うーんあの、なんというかな、そんなに、まだまだ、まだ一年生、まだまだという博士はもう、ということになるんですけども、なんか、みんな授業しないで(はい)、か、論文の集まりあるんですけども、うーん…まあね、まあね、なかなかあんまりつれて…ついていけないということもあるんですけども(ほお)。	/	/
13	13	NNS19	まあ一応、うーん…なんか政策ったら(はい)、たぶん政策って、あのどっちですか、専門は?。	/	/
14	14	NS19	専門は今、教育学。	/	/
15	15	NNS19	あっ、教育学ですか、わたしも教育なんで。	/	/
16	16	NNS19	あっ、教育、私の指導の先生が教育、あの、I 先生…教育学の(はい)、あのお…社会、えっと一号館のあるじゃないですか。	/	/
17	17-1	NNS19	ああ、はい、<社会の>{<},,	/	/
18	18	NS19	<政治>{>}。	/	/
19	17-2	NNS19	政治の先生?。	/	/
20	19	NNS19	でも、一回も政治関係の先生の授業とったことないような、<気がします>{<}。	/	/
21	20	NS19	<ああ>{>}、あの何年生ですか?。	/	/
22	21	NNS19	え?。	/	/
23	22	NS19	何年生ですか?。	/	/
24	23	NNS19	あ、私は今は、えーっと M2 ですね。	ne3	/
25	24	NS19	あ、M2 ですか。	/	/

26	25	NS19	はい。	/	/
27	26	NNS19	どちらですかね?。	ne3	/
28	27-1	NS19	えーと、先生はN先生っていう<先生><,>、	/	/
29	28	NNS19	<ああ新倉先生><)>。	/	/
30	27-2	NS19	あ、ご存知ですか?。	/	/
31	29	NNS19	おばちゃん。	/	/
32	30	NS19	あ、そこのはい、センターの。	/	/
33	31	NNS19	ああ、なるほど。	/	/
34	32	NS19	なんですけど。	/	/
35	33	NNS19	私はこっち、なんで、あそこ、一号館にある、まああの(ほお)、たぶん政治、先生 なんか、政策過程とか教えてる…らっしゃるんですよ。	yo2	e2
36	34	NNS19	=あの、あれの場合は(あ)、あの修士の場合は。	/	/
37	35	NS19	ああ、そうなんです。	ne1	/
38	37	NNS19	そうですね、なんか政策過程、教育政策とかかなたぶんですけれども(ふうん)。	/	/
39	38	NS19	え、それについてやってるんですか。	/	/
40	39	NNS19	ああ、いや私…今はあの、なんかね[軽く笑う]、まああのネパールにおける(はい)、 公共政策のあり方とか(うーん)、まあ国がどのような政策するかとか(なるほど)、 まあ、そういうふうなことが↑、うん。	/	/
41	40	NS19	それを、あえて日本でやってる理由ってなんかやっぱり日本と関係させるんです か?。	/	/
42	41	NS19	じゃなくて?。	/	/
43	42	NNS19	うーん、えっと、なんというかな、うーん…日本と関係させるじゃないけど、まあ、 大学も日本に行ったし、大学院も日本に行って、まあ一応博士もから行こうかなと いうことが、なんで日本ということは、まあ、私日本来て長いんですよ(ああ)=。	yo2	e2
44	43	NNS19	=うーん…《少し間》まあくそうですね<)>。	ne3	/
45	44	NS19	<どのくらい><)>なんですか?。	/	/
46	45	NNS19	えっと一、日本語学校二年行って、大学四年行って、大学院が二年いて(ああ)、ま あ博士課程ですけれど。	/	/
47	46	NS19	ああ、そうなんです。	ne1	/
48	47	NNS19	はい、長いんですよ。	yo3	e3
49	48	NS19	じゃあ、もう《少し間》、10年近くになるってことですか?。	/	/
50	49	NNS19	そうですね。	ne3	/
51	50	NS19	あー、<なるほどお><)>。	/	/
52	51-1	NNS19	<あの><)>、なので、まあ、そうだなあ、なんで日本という(ああ)、要するに[軽く 笑う]、なんで日本やってるといって、まあなんで日本にきたと<いうこと><,>、	/	/

53	52	NS19	<ああ、そう>{}という話になってくる。	/	/
54	51-2	NNS19	なるんですね。	ne3	/
55	53	NS19	なるほど。	/	/
56	54	NNS19	まあ、それで《少し間》、ただ日本から帰っていくとき(うん)、なんか《少し間》、ああ、ちょっとなんとかもっていこうということで(うーん)、やっぱり《少し間》【【。	/	/
57	55	NS19	】】その、その前、な、なんというんですかね、前は千葉大ですか?。	ne3	/
58	56	NS19	じゃなくて、別の<大学>{}【【。	/	/
59	57	NNS19	】】<学部は>{}本当は学部は本当は敬愛大学だったんですよ。	yo2	e2
60	58	NS19	あっ、そうなんですね。	ne1	/
61	59	NNS19	学部敬愛大学で、大学院が千葉大の教育学の(はい)、えっと一、教育学研究科(はい)《少し間》、の言語社会系…。	/	/
62	60	NS19	あー、の同じ先生のところ<ですか>{}?。	/	/
63	61	NNS19	<ああ>{}同じ先生ね(ああ)。	/	/
64	62	NNS19	それで博士課程は人社に入ったわけ。	/	/
65	63	NS19	あ、そか、そ、人社研なんですね。	ne1	/
66	64	NNS19	今は。	/	/
67	65	NS19	は一、なるほど一、ああ、そうなんですね。	ne1	/
68	66	NS19	ああ、そうか、こういうふうに移れるんですね。	ne1	/
69	67	NS19	=え、でも先生がおんなじなんですよ?。	yone1	/
70	68	NNS19	《沈黙1秒》。	/	/
71	69	NNS19	あ、先生おんなじで、持ってない先生もいらっしゃるんですけれども(ほお)。	/	/
72	70	NNS19	あの、私の先生が持ってらっしゃったから[↑]、うつ、移るということよりもまあ(はい)、えっと一《少し間》、なんというかな、入学金を払わなくていいけど、まあ(うん)、おんなじ千葉大学内だから。	/	/
73	71	NNS19	でも(うん)あの一試験とかちゃんと受けますよ。	yo2	e2
74	72-1	NNS19	=普通の人みたいに、	/	/
75	73	NS19	ああ、そうなんですね。	ne1	/
76	72-2	NNS19	はい、試験を受けて、###んで、ああ、その一、##先生は一年から二年にいったみたいではないんですよ。	yo3	e3
77	74	NS19	ああ、そうなのか、へえー[↑]。	/	/
78	75	NS19	でも、そしたら《少し間》なにかいろいろ…システムで違うところとかってないんですか?。	/	/
79	76	NS19	その教育…と人社研に《少し間》、移ると。	/	/
80	77	NNS19	《沈黙1秒》。	/	/

81	78	NS19	<別に>{<} 【 【。	/	/
82	79	NNS19	】】<事務>{>}がちよつと違うんですけども、じぶん、むこうと、なんか人社が留学者多いじゃないですか(ああ)。	/	/
83	80	NNS19	たぶん、あの、あの、もう人社が留学者多くて、教育は##留学者それほど多くなかったんですよ(うん)。	yo2	e2
84	81-1	NNS19	うーん…とそんなに、なんというかな《少し間》、じ、あの一、人社きても、授業が↑,,	/	/
85	82	NS19	】】うーん、はい。	/	/
86	81-2	NNS19	行ってないんですよ。	yo2	e2
87	83	NNS19	他の授業とってないんで、自分の先生の、じ、授業と、まあ、えつと僕もやってる###、副指導の先生の授業とってるから、なんか、何が違うかということは、まあ、なに、事務所に提出するものは、まあある《少し間》、けれども(ああはい)、その一人社は《少し間》、留学者多いから(うん)、《少し間》ですね(ふうん)。	ne3	/
88	84	NNS19	だからまあ、そんなに、かん、ちがいは<ない>{<}。	/	/
89	85	NS19	<あつ>{>} 【 【。	/	/
90	86	NNS19	】】教育学と人社は、あちらなんですけど。	/	/
91	87	NS19	ああ、そうなんですか。	/	/
92	88	NS19	その中でも、論文の内容とかを《少し間》、その一、あえて、ちよつ、けん…変えなきゃいけないとかないんですか?。	/	/
93	89	NS19	その教育…、教育学研究科…に合う内容を、教育学研究科でやらなきゃいけないくて、人社研にいったら人社研にある内容をやらなきゃいけないとか、そういうのってないんですか?。	/	/
94	90	NS19	同じような研究内容でそのまま、大丈夫なんで<すか>{<}?。	/	/
95	91	NNS19	<いや>{>} 《少し間》、ごめんなさい、あの一、違います。	/	/
96	92	NNS19	えーつと、なんていうかな《少し間》、あの一、教育にいる時はもちろん最後は、教育にどうつなげるか、つてことを書かなきゃいけないけれども(ああ)。	/	/
97	93	NNS19	まあ、あの、たぶん、その、先生がたぶん…あれですよ。	yo2	e2
98	94-1	NNS19	あの一、自分の指導の先生何をしてるのか、その先生がいつ、たまに(うん)、なんか、あれ、なんというんだろう、私の先生が他は何書いてもいいけど、最後には(はい)、教育学だからちよつと、教育にどうかかわるのか、いち、1ページとか、2ページくらいとか(はあ)、まあ保留として(はあ)、書いてねということが,,	/	/
99	95	NS19	ああ、やっぱそうなんで<すねえ>{<}。	ne1	/
100	94-2	NNS19	<ほり>{>}る、補論というのかな、補論として、まあ、後ろにかいて、あのお、教育にどうつなげるかということが、ちよつと補論として書かいてね、と言われたし。	/	/
101	96	NNS19	なんか5,6ページぐだいでだったら(ふーん)、全部自分の書いて、最後はこれが書	/	/

			ける、どうか、あの、どう教えていくかというか<書いた>{<}		
102	97	NS19	<ああ>{<}なるほどお。	/	/
103	98	NNS19	人はまだ論文書くか決まってるから、わかんないんですよ。	yo3	e3
104	99	NS19	ああ、そうなんです。	/	/
105	100	NS19	やっぱりあちよつと変わって、同じ先生でもやっぱりちよつと変わってくるっていう…ことなんですかね(ああ)。	ne3	/
106	101	NS19	そのちよつとだけその、合わせるために【【。	/	/
107	102	NNS19	】】書いてないですね(ああ)。	ne3	/
108	103	NNS19	まあ、教育はやっぱり、その補論《少し間》(うーん)がたぶんいらんかな人の場合はと思うんですけども。	/	/
109	104	NS19	あーなるほどなるほど。	/	/
110	105	NNS19	あとは…そうだ《沈黙2秒》【【。	/	/
111	106	NS19	】】うーん、そういう違いもあるのか。	/	/
112	107	NS19	いや私もその、《少し間》一時考え…てたんですけど《少し間》。	/	/
113	108	NS19	でもやっぱり教育、今のいるところだったら教育の、その課に《少し間》、いる課のところに合わせて、(ああ)ある程度自分の論文の方向性とか決めなきゃいけないので、たしかに人社研にいたら、《少し間》もうちよつと、なんかその…自由にかけたかなって思ったりも(なるほど)、してたんですけどねえ。	ne3	/
114	109	NNS19	えっと、何の研究ですか?。	/	/
115	110	NS19	えーっと、今まあやってるのが、えっと交換留学生が、《少し間》一年間《少し間》、まあ大学で過ごして、そのあと戻ってから何年か経ったあとに、その一年間がどうい影響をそのあと及ぼしてるかっていう…それについて、や…やってるつもりなんですけどね、ふふふ[笑いながら]。	ne3	/
116	111	NNS19	あ、具体案と言うか結果とかもうでたんですか?。	/	/
117	112	NNS19	<結果とか>{<}【【。	/	/
118	113	NS19	】】<いやあ>{<}、まだ、まだですね。	ne3	/
119	114	NS19	なんかちよつと、データまだあつめてる途中なのでまだまだですね。	ne3	/
120	115	NS19	研究の内容は、どんな?。	/	/
121	116	NNS19	いや、まだ[笑いながら]。	/	/
122	117	NNS19	全部、全部だめなんですよ、まだ。	yo2	e2
123	118-1	NNS19	この六ヶ月以上前なんかネパールでも地震があつて、,	/	/
124	119	NS19	ああそつかさつかさ、そうですね。	ne5	/
125	118-2	NNS19	それでもあんまり、まったく落ち着いてないんで勉強全くできてない状態です(ああ)。	/	/
126	120	NNS19	論文の…全く論文の、あの…何もはじまってないんで一。	/	/

127	121	NS19	ああ、そうなんですね。	ne1	/
128	122	NS19	大丈夫だったんですか?。	/	/
129	123	NNS19	《少し間》あんまり大丈夫、まあ家族はみんな《少し間》、無事でした(ああ)けども、一応いろいろ《少し間》、あったから。	/	/
130	124	NS19	ああ、なるほど。	/	/
131	125	NNS19	それで、もうまったく【【。	/	/
132	126	NS19	】】それどころじゃなかったっていう[笑いながら]、ふふふ。	/	/
133	127	NNS19	そう、もうあんまり論文とかもなにも(ああ、)できてないことだったんですよ。	yo3	e3
134	128	NS19	ああ、そうなんですね。	ne1	/
135	129	NS19	じゃあ、このあとまあもうちょっとしたらテーマちゃんと決めて、やっていくっていう。	/	/
136	130	NNS19	《少し間》たぶん、そうまあこんど、ふふふ、うーん、どのようにこうけい政策つくったほうがいい(ああ)、まあとか、あのちょっととすくいかいとかくものとも、先生がいちおうよんだけど(ふうん)、ちゃんとお前電話とかはちゃんとかけよ、こうしちゃんときまった、きまりとかいってるけど(あー)、《少し間》。	/	/
137	131	NNS19	あの一まあ博士にはいるときはやっぱりこんな感じで書きますという(はい)、かいてこうあれは入るためのものだったから。	/	/
138	132	NS19	うーんまあまあまあ、まあわかります、はい。	/	/
139	133	NS19	なるほど。	/	/
140	134	NNS19	あれだよ、もうそれだけです。	yo2	e2
141	135	NNS19	あの一、あんまりないです、全くすすんでない(ふうん)。	/	/
142	136	NNS19	言い合いになってる[笑いながら]、ふふふ。	/	/
143	137	NS19	その論文でどん…何語で読むものなんで、ネパール語で読むんですか?。	/	/
144	138-1	NNS19	えっとねえ,,	/	/
145	139	NS19	英語とか?。	/	/
146	138-2	NNS19	あれが困るんですよ。	yo2	e2
147	140	NNS19	ネパール語である…論文はないです。	/	/
148	141	NNS19	本は一二箇所だけ、一二冊だけあって(はい)、その本が《少し間》ネパールから《少し間》おくってもわなきゃいけない、日本でも買えないし(はい)、えーとアマゾンとかでも買えないです。	/	/
149	142	NS19	ああ。	/	/
150	143	NNS19	ネパール語の本に(なるほど、)ついては。	/	/
151	144	NNS19	で日本…て、日本からもネパールの政策とかについて(ふん)、そんなに研究、まあネパールについての研究者まづはないんですよ、あんまり。	yo3	e3
152	145	NS19	ああ、そう。	/	/

153	146	NNS19	う、な、すくな、まあたぶん私あってない、たぶん知らないかもしれないけど、そんなにネパールことじゃない、ネパールのヒマラヤとかについてあるかもしれないけど。	/	/
154	147	NS19	ああー。	/	/
155	148	NNS19	あの一なんか経済とかそんなものについては、ないですよ(ああ)。	yo3	e3
156	149	NNS19	JICA くらい…が JICA の報告書くらいですよ。	yo3	e3
157	150	NS19	ああ。	/	/
158	151	NNS19	あんまり、ないですよ。	yo3	e3
159	152	NS19	ああ、なるほど。	/	/
160	153	NNS19	だからえっと…そんなにない。	/	/
161	154	NNS19	もちろん英語も、《少し間》英語もあるとおもうんですけども、そんなに調べてるバーンとあって、どっか、であとはあんまり日本語と英語の論文そんなに[↑]《少し間》、なんというかな…そこまで深く理解できないから、困ってるです[笑いながら]。	/	/
162	155	NS19	あーあの、その、え、言葉の問題じゃなくてその【【。	/	/
163	156	NNS19	】】言葉の問題もあるんですよ(うーん)。	yone2	/
164	157	NNS19	深く理解できないから。	/	/
165	158	NS19	なんか政策とかなったら、もうかなり専門用語がな、でも私も多分わからなくなってくるんだろうなっていうような専門用語ばかりだろうと思うんですけど。	/	/
166	159	NS19	大変ですよ、そういうの[軽く笑いながら]全部。	yone1	/
167	160-1	NNS19	そうなんだから、うーんちょっと、,	/	/
168	161	NS19	うーん、###。	/	/
169	160-2	NNS19	ちょっと、もうちょっと、自分なりの(うーん)、うーん自分なりに《少し間》、ちゃんとしっかりできてないのかなっていうことが、ふふふ。	/	/
170	162	NS19	はははははは[大きく笑う]。	/	/
171	163	NS19	でも三年で卒業するつもり、でも修士の人、あっ、博士の人って三年じゃなくて四年だったり五年とかいうひとも(あっ)いいじゃないですか、もう。	/	/
172	164-1	NNS19	あ、私はえっと、指導の先生三年で、,	/	/
173	165	NS19	退官ですか?。	/	/
174	164-2	NNS19	退官で、あの、えっともう、六十なるんですよ(ああ)。	yo2	e2
175	166	NNS19	あと二年半で 60 になるから(なるほど)、書かなきゃいけないんですよ。	yo2	e2
176	167	NS19	はははは[やや大きく笑う]。	/	/
177	168	NNS19	で、(はい)えっと、ほかの先生うつることも、あんまり…面倒みてくれそうな先生がいなくて(ふうん)。	/	/
178	169	NNS19	あーもう面倒見てくれるといやーなんかわかんない。	/	/

179	170	NNS19	たぶん、先生が卒業させたら、まあ先生があれしづらいけどなかったらだめ、ほかの面倒見てくれる先生もいないし、まあ年もとってるし。	/	/
180	171	NS19	へへへへへ[やや大きく笑って]。	/	/
181	172	NS19	そんな年じゃないですよ。	yo1	/
182	173	NNS19	うん、そう、もう年もとってるし、あの一やっぱり自分の将来も考えなきゃいけないじゃないですか。	/	/
183	174	NS19	うん、そうですね。	ne5	/
184	175	NNS19	ずっと研究研究ばかりなのに(うん)ないじゃないですか(ああ)。	/	/
185	176	NS19	それはそうですね。	ne5	/
186	177	NNS19	まあああの千葉大で研究しても、そのあとちゃんと国へ帰って、ちゃんと仕事しっかりみつかってもいいけど(うーん)、ないんじゃないですか。	/	/
187	178	NNS19	将来性はほとんど《少し間》、ないところもあるんですよ、やっぱり。	yo2	e2
188	179	NS19	うーん。	/	/
189	180	NNS19	じゃあ、あの、ちゃんと研究して、国に帰って、仕事しっかり、仕事みつかるということあればいいけど(うん)、それが、やっぱり、ないんですよ。	yo2	e2
190	181	NS19	うーん。	/	/
191	182	NNS19	あの一、(うーん)だと、研究して、研究して、まあ、たぶん二三年とかもうちょっと長い時間かけて、研究していても、あの一《少し間》、あ、そのとき年もとってるし、まあ博士とつても国帰っても(うん)、あんまり仕事も、うーん、ないとか(ああ)、あれだと、時間ばかりかけちゃって自分の将来とか全部考えなきゃいけないから(ああ)、あの…まあ日本には、非漢字圏、たぶん研究してるのを、で、いろいろ見たと思うんですけども、非漢字圏とか、まあそういうもの…国の人々にあんまり[↑]、よい政策ないじゃないですか。	/	/
192	183	NNS19	なんか、言葉の問題だったりとか(ああ)、で、日保にいて日本で勉強して、日本で、ちゃんとした形の仕事みつかるという将来性もないんですよ。	yo2	e2
193	184	NS19	うーん。	/	/
194	185	NNS19	あの一、例えば、政策についても研究しても、どうするのかということがあから(うーん)、あの【【。	/	/
195	186	NS19	】】その、どうするつもりなんですか?。	/	/
196	187	NNS19	いやあ、三年で終われば(はい)、終わってまあ一応将来的には、私の計画的には、一応三年でここで終わって(おお)、あの一、やっぱり日本の博士はネパールでは、まあダメほどではないけれども、でも、えっと、ネパールいっても、なんか、どうか働こうとしたら、競争相手はアメリカとか、イギリスからの博士になるんですよ。	yo2	e2
197	188	NS19	ああ。	/	/
198	189	NNS19	だと、それだと《少し間》、勝てないんですよ、どうしても。	yo2	e2

199	190	NS19	なるほどなるほど。	/	/
200	191	NNS19	で、まあ世界大学のランキングもあるんですけども(うんはいはい)、そのランキングは、ある中でも[↑]あの一、日本の大学のランキング一番上なのは、大学のランキングうえで、アメリカとかイギリスのどこの大学のランキング下でも(うん)、あの一《少し間》、下の大学のアメリカとかイギリスいったら、向こうの大学の人々は勝っちゃう。	/	/
201	192-1	NNS19	あのまあ、要するに、〈採用〉{<},,	/	/
202	193	NS19	<英語>{>}圏の?。	/	/
203	192-2	NNS19	採用されちゃうんですよ。	yo2	e2
204	194	NS19	ああー、うん。	/	/
205	195	NNS19	だと、三年で日本で博士とってまあ一応《少し間》、予定ではそれでポストドクターとかアメリカとかどっか、アメリカかなとは思うんでうすけれども、一回ちょっとポストドクターくらい一回は(はい)、ちゃんとこっちも持ってるし、むこうも持ってるから、それで国帰るのは計画的には、あの一ないと、日本だけ、日本の博士課程だけでもっていったら、(うん)ないですよ、最終的に[軽く笑う]。	yo3	e3
206	196	NS19	将来的にはじゃあ、ネパールで仕事するんですか?。	/	/
207	197	NNS19	ああ、もうそうですよ。	yo2	e2
208	198	NNS19	だから政策とかそういうふうなことだと、まあ将来的にはネパール、〈あの一〉{<}。	/	/
209	199	NS19	<政府>{>}関係で働く{<}{<}?。	/	/
210	200	NNS19	<政府>{>}関係…まあ国の発展とかのために政治とか、あの政治に近い、政治せ、まあ一応、政策とかだと、政治に近いものになるんですけども、政府関係だと行政になっちゃうんですよ。	yo2	e2
211	201	NS19	ああ、はい。	/	/
212	202	NNS19	それがどう、なんか、#####、作るのはこちらですけども、あの一ポリシー、マーケティングはこっちになるんですけども(はい)。	/	/
213	203	NNS19	行政だとそれはどう、実施するのか(ああ、はい)、政策すると実施する、ああ、政府関係だと実施するのほうになるんですよ。	yo3	e3
214	204	NS19	ああ、なるほどはい。	/	/
215	205	NNS19	作るだと、あの一政治のほうになるんで。	/	/
216	206	NNS19	そっち日本するんで、まあやっぱり国帰ってネパールの経済とかネパールに、いろんなことが教えるということがあるんですけども《少し間》、その中でも、上にいけば上にいくほど、まだ大変なってくることも、たぶん、へへへ[軽く笑う]、そうですね。	ne3	/
217	207	NS19	あー、なるほど、そうなってるんですね。	ne1	/
218	208	NNS19	唯一じゃないんで、難しいです、はは。	/	/

219	209	NS19	研究職はないんですか?。	/	/
220	210	NNS19	はい?。	/	/
221	211	NS19	研究職っていうのは、その大学…のその、そのずっと大学で、研究職ですか?、その将来的なビジョンとしては。	/	/
222	212	NNS19	ああ、まあね、ネパールの…だいたいね。	ne3	/
223	213	NS19	だい…大学,あるいは政府機関の研究職。	/	/
224	214	NNS19	研究職と政策とか、または政治家とか。	/	/
225	215	NS19	あああー、<なるほど><く>。	/	/
226	216	NNS19	<政治家><}>とかも、あるかもしれないから。	/	/
227	217	NS19	なるほど、そういうの考えてるんですね↓。	ne3	/
228	218	NS19	うーん、そう文系のひとつってなんか、かなりもう、まあ理系もそうだと思いますけどどれも、すごい絞られるじゃないですか。	/	/
229	219	NS19	その一、たとえば今、特にドクターまでいくと、そのあとのなんていうんだろうな、まあ、方向一気に変えれないっていうか、例えば、政治だったらもうその政治関係にいかなきゃ(そう)いけないし、経済だったらおそらく経済関係とかも、法律だったら、法律から急に経済にいこうと思ってもちょっとまあ難しかったりとか(そうねえ)、ありますよね。	yone3	/
230	220	NS19	それが、もうそれを考えてちょっと怖いなと思って、教育で【【。	/	/
231	221	NNS19	】】 え、理系だったんですか学部は?。	/	/
232	222	NS19	えっとー、微妙なラインなんですけど学部は、小学校の理科、教育の小学校の理科なんで(あああ)、論文は完全に理系の論文【【。	/	/
233	223	NNS19	】】 千葉大…(はい)理科だと、あのー1, 2, 3号館ですよ?。	yone1	/
234	224	NS19	3ですね、<はい><く>。	ne5	/
235	225	NNS19	<3><}>号館の、あの###先生とか<笑い>、へへへ[軽く笑って]、ちょうど出てくるのが、###先生とか、あと何先生かなあ。	/	/
236	226	NS19	そう、ネパール行ってたんですよ[笑いながら]。	yone3	/
237	227	NNS19	ふふふ、それで、へへへ[軽く笑う]。	/	/
238	228	NS19	そこについては掘り下げ、こじあけていいのかな、ははは[軽く笑う]。	/	/
239	229	NNS19	ふふふ。	/	/
240	230	NS19	今、今どうしてるか知ってます><}>?。	/	/
241	231	NNS19	<わか><}>んないです。	/	/
242	232	NS19	分からないですよ。	yone3	/
243	233	NS19	あのーなんか、全然わかんない。	/	/
244	234	NNS19	終わり[笑いながら]。	/	/